

古賀市
子ども・子育て支援等に関するアンケート
調査結果報告書

古 賀 市

令和7年3月

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果のまとめ	3
1	就学前児童保護者・小学生保護者調査結果のまとめ	3
2	小学6年生・中学3年生調査結果のまとめ	10
3	生活実態保護者調査結果のまとめ	12
4	若者調査結果のまとめ	14
III	調査結果	16
1	就学前児童	16
(1)	子育て環境について	18
(2)	保護者の就労について	23
(3)	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	36
(4)	子育て支援事業の利用状況等について	50
(5)	土曜・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	83
(6)	お子さんの病気の際の対応について	88
(7)	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	103
(8)	小学生になってからの放課後の過ごし方について	120
(9)	仕事と子育ての両立支援制度について	125
(10)	子どもの権利について	134
(11)	子育て全般について	136
2	小学生保護者	157
(1)	保護者の就労状況について	159
(2)	お子さんの病気対応について	165
(3)	お子さんの放課後の過ごし方について	173

(4) 子育て全般について	180
(5) お子さんの家庭生活について	193
(6) 子どもの権利について	197
(7) 子育てに関する施策について	199
3 小学6年生	208
(1) 学校や勉強について	209
(2) 放課後のすごしかたについて	210
(3) 家でのすごしかたについて	216
(4) あなたの考えについて	223
(5) その他	240
4 中学3年生	242
(1) 学校や勉強について	243
(2) 放課後の過ごし方について	244
(3) 家での過ごし方について	251
(4) あなたの考えについて	258
(5) その他	275
5 保護者	277
(1) あなた（記入者）のことについて	277
(2) お子さんについて	284
(3) お子さんの保護者について	323
(4) 世帯の状況について	340
(5) 市の子育て支援について	373
6 若者	388
(1) 普段の生活について	388
(2) 人間関係や悩み事について	396
(3) 仕事について	403
(4) 結婚について	407
(5) 将来について	410
(6) 自身について	412
(7) 政策について	420
IV 自由回答	422
1 就学前児童	422
2 小学生保護者	428
3 小学6年生	434
4 中学3年生	435
5 保護者	436
6 若者	440

I 調査の概要

1 調査の目的

古賀市は、子ども・子育て支援事業計画（令和2年度から令和6年度）に基づき、子育て支援事業を実施しておりますが、計画が令和6年度で終了することから、次期計画策定に向け、市民のみなさまの子育てに関する実態やご要望・ご意見などを、アンケートを通じておうかがいすることといたしました。

2 調査対象

就学前児童：市内在住の就学前児童の保護者

小学生保護者：市内在住の全小学2年生・4年生・5年生の児童の保護者

小学6年生：古賀市立小学校に通う全小学6年生

中学3年生：古賀市立中学校に通う全中学3年生

小・中学生の保護者：古賀市立小学校・中学校に通う全小学6年生、中学3年生の児童の保護者

若者：古賀市在住の16歳以上39歳未満の方

3 調査期間

令和6年5月27日～令和6年6月21日

4 調査方法

就学前児童の保護者、若者：郵送配布・郵送回収及びインターネット回答

小学生の保護者、小学6年生、中学3年生、小・中学生の保護者：学校を通じて配布・インターネット回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童の保護者	1,000通	574通	57.4%
小学2・4・5年生の保護者	1,690通	757通	44.8%
小学6年生	618通	459通	74.3%
中学3年生	581通	401通	69.0%
小学6年生・中学3年生の保護者	1,199通	546通	45.5%
若者	698通	235通	33.7%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査結果のまとめ

1 就学前児童保護者・小学生保護者調査結果のまとめ

(1) 子育て環境について

- ・子育てサークル活動等への参加ニーズがみられる。参加へのきっかけづくりとして、地域の子育て活動の情報提供等が必要である。
- ・子育ての悩みについて、近所や地域の人に相談する人が減少していることから、近所や地域でのつながりの希薄化がうかがえる。

【就学前児童保護者：問7】

子育てサークルなどの自主的なグループ活動に、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が48.4%と最も高く、次いで「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」の割合が37.3%、「現在参加しており、今後も参加するつもりである」の割合が13.8%となっています。現在参加されていない人の子育てサークルへの参加ニーズがみられます。

【就学前児童保護者：問7-1】

子育てサークルに参加していない人の理由は、「活動に参加する余裕や時間がないから」の割合が57.4%と最も高く、次いで「特に必要を感じないから」の割合が28.8%、「活動の情報や参加方法を知らないから」の割合が25.8%となっています。これらのことから、活動時間を柔軟に対応できるようにすることや子育てサロン、サークル活動等の情報提供が必要です。

【就学前児童保護者：問8、小学生保護者：問13】

子育てに関する悩みの相談先として、就学前児童の保護者及び小学生の保護者ともに、「配偶者・パートナー」の割合が最も高く、次いで「その他の親族（親、きょうだいなど）」、「職場の人、友人」の割合が高くなっています。

一方、就学前児童の保護者及び小学生の保護者ともに、「近所の人、地域の知人」の割合が減少しており、近所や地域でのつながりの希薄化がすすんでいることがうかがえます。

(2) 保護者の就労について

- ・前回調査と比較して、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しており、働く母親が増加している。
- ・現在就労していない母親の希望就労形態は、「フルタイム」が多い。

【就学前児童保護者：問10、小学生保護者：問6】

現在の母親の就労状況について、就学前児童保護者では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が30.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が24.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が21.8%となっています。平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」の割合が増加しています。

小学生の保護者では、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が44.3%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が36.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が14.2%となっています。

【就学前児童保護者：問 10－2、小学生保護者：問 6－2】

現在就労していない母親の希望する就労形態について、就学前児童の保護者では、「フルタイム」の割合が 20.0%、「パートタイム、アルバイト等」の割合が 80.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイム」の割合が増加しています。

小学生の保護者では、「フルタイム」の割合が 15.4%、「パートタイム、アルバイト等」の割合が 84.6%となっています。

今後、母親の就労増加が予測されますが、希望する就労形態としては、フルタイムの就労を希望する母親が多い状況です。保護者の就労形態に応じて、教育・保育事業の利用も変化することが考えられます。

(3) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

- ・ 定期的な教育・保育事業の利用が増加している。
- ・ 保護者の現在の就労状況や希望する就労形態をはじめ、保育所や幼稚園のニーズも見極めながら、教育・保育事業を展開していくことが必要である。

【就学前児童保護者：問 11】

幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業を「利用している」の割合が 68.5%、「利用していない」の割合が 31.5%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。

【就学前児童保護者：問 12、問 12－1】

平日「定期的に」利用したい教育・保育事業については、「認定こども園」の割合が 66.4%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が 40.2%、「幼稚園」の割合が 36.2%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「認定こども園」「小規模な保育施設」の割合が増加しています。

また、平日定期的に利用したいと思う教育・保育事業について、複数の選択が可能な中、「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」を希望している人で、その中でも特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用希望で「はい」の割合が 51.7%、「いいえ」の割合が 47.0%となっています。

保護者の就労について記載しているように、今後、母親の就労増加が予測されますが、現在就労していない母親の希望就労形態としては、「フルタイム」が多いことから、保護者の現在の就労状況や希望する就労形態をはじめ、保育所や幼稚園のニーズも見極めながら、総合的に教育・保育事業を展開していくことが必要です。

(4) 子育て支援事業の利用状況等について

- ・ 認知度の低い子育て支援事業がある。
- ・ 「これまでに利用したことがある（利用度）」よりも「今後利用したい（希望度）」が高くなっている事業もあり、周知徹底をして認知度を上げるとともに、気軽に利用できるように支援していくことが必要であると考えられる。

【就学前児童保護者：問 13】

「これまでに利用したことがある（利用度）」では、『赤ちゃん訪問』『古賀市ホームページ』で「はい」の割合が高くなっています。「今後利用したい（したかった）（希望度）」では、『ブックスタート事業』『古賀市ホームページ』『広報こが』で「はい」の割合が高くなっています。

また、「知っている（認知度）」が低い事業もあるため、周知徹底を図るとともに、今後、

利用希望者が気軽に事業を利用できるようにしていくことも必要だと考えられます。

(5) 土曜・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

- ・土曜日の保育ニーズは減少傾向にある。
- ・休日保育は、土曜日の保育ニーズほど高くはないが、ある一定のニーズが見られるため、支援ができるよう量の確保をする必要がある。
- ・幼稚園の長期休暇中における定期的な教育・保育事業のニーズは高くなっている。

【就学前児童保護者：問 14】

土曜日の保育ニーズについては、「利用する必要はない」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「月に 1～2 回は利用したい」の割合が 29.3%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が 12.0%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。

日曜日・祝日の保育ニーズについては、「利用する必要はない」の割合が 81.4%と最も高く、次いで「月に 1～2 回は利用したい」の割合が 15.0%となっています。

休日保育は、土曜日の保育ニーズほど高くはありませんが、ある一定のニーズが見られるため、量の見込みを確保する必要があると考えられます。

【就学前児童保護者：問 15】

「幼稚園」を利用されている人で、夏休みや冬休みなど長期休暇中における教育・保育事業の利用希望について、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が 27.2%、「利用する必要はない」の割合が 18.5%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が増加しています。

(6) お子さんの病気の際の対応について

- ・「ここん・こが」の病児保育の認知度が高く、小学生の保護者よりも就学前児童の保護者においてよく知られている。
- ・病気やケガで、普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合、6～7 割において母親が仕事を休んで対応している。
- ・今後も病児・病後児保育のニーズがあるため、引き続き支援ができるよう量の確保が必要である。

【就学前児童保護者：問 16、小学生保護者：問 7】

病児保育の認知度、「たんぽぽ」に病児保育があることを知っているかについて、就学前児童の保護者では、「知っている」の割合が 56.1%、「知らない」の割合が 43.2%となっています。小学生の保護者では、「知っている」の割合が 50.1%、「知らない」の割合が 49.7%となっています。

「ここん・こが」で、就学前児童の保護者では、「知っている」の割合が 90.2%、「知らない」の割合が 8.9%となっています。小学生の保護者では、「知っている」の割合が 81.0%、「知らない」の割合が 18.8%となっています。

【就学前児童保護者：問 16－1、小学生保護者：問 8】

子どもが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法は、就学前児童の保護者では、「母親が休んだ」の割合が 75.3%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が 41.7%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が 32.6%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「父親が

休んだ」「母親が休んだ」「病児の保育を利用した」の割合が増加しています。

小学生の保護者では、「母親が休んだ」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が 21.7%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が 19.2%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「父親が休んだ」「母親が休んだ」の割合が増加しています。

【就学前児童保護者：問 16－2、小学生保護者：問 9】

今後の病児保育の利用希望は、就学前児童の保護者では、「利用したい」の割合が 48.6%、「利用したいと思わない」の割合が 44.0%となっています。病後児保育の利用希望、就学前児童の保護者では、「利用したい」の割合が 38.4%、「利用したいと思わない」の割合が 48.6%となっています。

今後の病児・病後児保育の利用希望は、小学生の保護者では、「利用したい」の割合が 21.5%、「利用したいと思わない」の割合が 76.9%となっています。

(7) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

- ・保護者の用事等で不定期に利用している主な事業は、「幼稚園の預かり保育」と「一時預かり」となっている。

【就学前児童保護者：問 17】

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期で利用している主な事業について、「利用していない」の割合が 86.6%と最も高くなっています。平成 30 年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。一方、「幼稚園の預かり保育」の割合が減少しています。

(8) 小学生になってからの放課後の過ごし方について

- ・就学前児童の保護者において放課後の過ごし方は、「学童保育所」の割合が最も高くなっており、次いで「自宅」の割合が高くなっている。
- ・小学生の保護者において放課後の過ごし方は、「自宅」の割合が最も高く 7 割程度、次いで「習い事」の割合が高くなっている。

【就学前児童保護者：問 20、小学生保護者：問 10、問】

就学前児童の保護者では、放課後の過ごし方をみると、「学童保育所」の割合が 14.1%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 10.1%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「ファミリー・サポート・センター」の割合が増加しています。

小学生の保護者では、放課後の過ごし方として、「自宅」の割合が 71.9%と最も高く、次いで「運動系の習い事(野球、サッカークラブなど)」の割合が 42.4%、「文化系の習い事(ピアノ、書道教室など)」の割合が 25.4%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「学童保育所」の割合が増加しています。

学童保育のニーズについては、「利用する必要はない」の割合が 67.9%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間利用したい」の割合が 12.4%となっています。利用する必要はないと答えた割合が高いですが、今後母親の就労状況の変化により学童のニーズが増加することが予測されます。

(9) 仕事と子育ての両立支援制度について

- ・前回調査と比較すると、母親の育児休業を取得した割合は増加しており、母親・父親の両方が取得した割合も増加している。
- ・育児休業取得後、職場に復帰する時期については、保育所の関係や経済的理由により、希望よりも早く復帰している傾向がみられる。

【就学前児童保護者：問 21】

育児休業の取得状況をみると、「母親が取得した」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「取得していない」の割合が 31.0%、「母親と父親の両方が取得した」の割合が 12.7%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「母親が取得した」「母親と父親の両方が取得した」の割合が増加しています。

【就学前児童保護者：問 21-2、問 21-3、問 21-4】

育児休業取得後、職場復帰をする時期について、希望では「1 歳～1 歳 6 か月未満」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「2 歳～2 歳 6 か月未満」の割合が 17.0%、「3 歳～3 歳 6 か月未満」の割合が 12.9%となっています。可能であれば育児休業制度を充分に利用したい意向があると考えられます。

しかしながら実際は、「1 歳～1 歳 6 か月未満」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「6 か月～1 歳未満」の割合が 22.7%、「6 か月未満」の割合が 17.4%となっています。希望より早く復帰した理由としては、「希望する保育所に入るため」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が 36.2%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 20.7%となっています。

(10) 子どもの権利について

- ・子どもの権利の認知度は、小学生の保護者よりも就学前児童の保護者の方が高くなっている。一方で、知らないと答えている割合も一定数いるため、周知・啓発が必要である。

【就学前児童保護者：問 23、小学生保護者：問 21】

子どもの権利の認知度について、就学前児童の保護者では、「名前も内容も知っている」の割合が 40.2%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 32.4%、「知らなかった」の割合が 26.8%となっています。

小学生の保護者では、「名前も内容も知っている」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 33.9%、「知らなかった」の割合が 26.2%となっています。

【就学前児童保護者：問 25、小学生保護者：問 23】

子どもの権利の中で特に大切だと思うことについて、就学前児童の保護者・小学生の保護者ともに、「子どもが暴力や言葉で傷つけられないこと」の割合が最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えること」「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」の割合高くなっています。

(11) 子育て全般について

- ・就学前児童の保護者調査において、前回調査と比較し、子育ての環境や支援への満足している割合は増加している。

就学前児童保護者調査、小学生保護者調査に共通している傾向等

- ・子育てをする上で特に不安に思っていることや悩んでいることとして、「子育てで出費がかさむ」の割合が4割程度となっており、「子どもとふれあう時間が十分にとれない」の割合が2割程度となっている。
- ・今後求められている支援として、「子ども連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす」や「子どもたちが安心・安全に遊べる放課後の居場所」といったニーズが高く、環境整備を求める割合が高い。
- ・子育て情報を得るために、利用したいと思う手段や機能は、「インターネット」が最も高くなっていることから、インターネットでの情報提供のニーズが高くなっている。

【就学前児童保護者：問 26】

子育て環境や支援への満足度について、「ふつう」の割合が 33.1%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 30.0%、「やや不満」の割合が 14.8%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「やや満足」「満足度が高い」の割合が増加しています。

【就学前児童保護者：問 27、小学生保護者：問 12】

子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることについては、就学前児童の保護者では、「子育てで出費がかさむ」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「子育てによる身体の疲れが大きい」の割合が 29.3%、「子どもとふれあう時間が十分にとれない」の割合が 22.1%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「子どものしつけや接し方がよくわからない」「子育てによる身体の疲れが大きい」「子育てで出費がかさむ」の割合が増加しています。

小学生の保護者では、「子育てで出費がかさむ」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「子どもとふれあう時間が十分にとれない」の割合が 27.7%、「不安に思うことは特にない」の割合が 16.9%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「子どもとふれあう時間が十分にとれない」「子どものしつけや接し方がよくわからない」「子育てによる身体の疲れが大きい」の割合が増加しています。

【就学前児童保護者：問 29、小学生保護者：問 24】

今後、どのような取り組みがあれば子育てをしやすいかについて、就学前児童の保護者調査では、「子ども連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「保育所や幼稚園の費用負担軽減」の割合が 44.8%、「子どもがのびのびと遊べる場」の割合が 33.6%となっています。

また、小学生の保護者調査においても、「子どもたちが安心・安全に遊べる放課後の居場所」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「子ども連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす」の割合が 50.1%、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備」の割合が 32.4%となっています。

【就学前児童保護者：問 32、小学生保護者：問 16】

子育てに関する情報の入手先希望について、就学前児童の保護者では、「インターネット」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「親族（親、きょうだいなど）」の割合が 53.5%、「近所の人、地域の人、友人」の割合が 42.7%となっています。

小学生の保護者では、「インターネット」の割合が 71.3%と最も高く、次いで「紙（フリーペーパー・雑誌・本など）」の割合が 51.9%、「LINE」の割合が 44.6%となっています。

様々な手段、機能を組み合わせて活用し、情報を発信していくことが効果的だと考えられます。

【就学前児童保護者：問 34、小学生保護者：問 25】

ヤングケアラーの認知度について、就学前児童の保護者調査では、「言葉も内容も知っている」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 20.2%、「言葉は聞いたことがある」の割合が 12.4%となっています。

小学生の保護者では、「言葉も内容も知っている」の割合が 81.0%と最も高くなっています。

2 小学6年生・中学3年生調査結果のまとめ

(1) 学校や勉強について

- ・授業の理解度については、小学6年生・中学3年生ともに「だいたいわかる」の割合が高くなっているが、一方でわからないの割合も一定数いることから、授業についていけなくなっている子どもたちへの支援が必要である。

【小学6年生：問3、中学3年生：問3】

授業の理解度について、小学6年生では、「だいたいわかる」の割合が59.3%と最も高く、次いで「とてもよくわかる」の割合が30.7%となっています。

中学3年生では、「だいたい分かる」の割合が62.6%と最も高く、次いで「とてもよく分かる」の割合が18.5%、「あまり分からない」の割合が16.2%となっています。

(2) あなたの考えについて

- ・進学希望として、小学6年生・中学3年生ともに「大学まで」の割合が高くなっている。
- ・進学のこと、心配なことについて、「今の自分の学力」を挙げる一方で、「授業料などの学費」の割合も高くなっている。
- ・悩みごとについて、「勉強のこと」の割合が小学6年生で3割近く、中学3年生では5割近くとなっている。
- ・相談相手は、「親」や「友達」の割合が特に高くなっている一方で、「誰にも相談できない、相談したくない」の割合も一定数存在しているため、気軽に相談できるような窓口が必要である。

【小学6年生：問11、中学3年生：問11】

将来どの学校まで行きたいかについて、小学6年生では、「大学まで（大学院を含む）」の割合が44.0%と最も高く、次いで「専門学校まで（高校卒業後に進学するもの）」の割合が23.7%、「高等学校まで」の割合が21.1%となっています。

中学3年生では、「大学まで（大学院をふくむ）」の割合が55.9%と最も高く、次いで「高等学校まで」の割合が26.2%、「専門学校まで（高校卒業後に進学するもの）」の割合が14.0%となっています。

【小学6年生：問12、中学3年生：問12】

進学のこと、心配なことについて、小学6年生では、「今の自分の学力」の割合が55.8%と最も高く、次いで「とくに心配はない」の割合が36.4%、「授業料などの学費」の割合が20.0%となっています。

中学3年生では、「今の自分の学力」の割合が71.6%と最も高く、次いで「特に心配はない」の割合が22.9%、「授業料などの学費」の割合が20.9%となっています。

【小学6年生：問14、中学3年生：問14】

悩んでいることや心配なこと、困っていることについて、小学6年生では、「特にない」の割合が49.0%と最も高く、次いで「勉強のこと」の割合が27.7%、「自分の性格のこと」の割合が16.6%となっています。

中学3年生では、「勉強のこと」の割合が48.1%と最も高く、次いで「特にない」の割合が37.7%、「自分の性格のこと」の割合が16.7%となっています。

【小学6年生：問15、中学3年生：問15】

悩みごとの相談相手について、小学6年生・中学3年生ともに、「親」の割合が最も高く、次いで「友だち」「学校の先生」の割合が高くなっています。

3 生活実態保護者調査結果のまとめ

(1) 子どもについて

- ・朝食を欠食している子どもの割合が1割を超えている。
- ・夕食の共食は状況について、子どもだけで食べている割合が4割半ば、ひとりで食べている割合がほぼ1割となっている。
- ・外出をする際に困ることについて、「特に困ることはない」の割合が最も高い一方で、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配であること」「歩道や信号がない通りが多く、安全性に心配があること」の割合も高くなっていることから、道路等の整備が求められている。
- ・子どもをどの段階まで進学させたいかについては、「大学」の割合が高くなっている。

【問6、問8】

子どもの朝食の摂取状況について、「毎日食べる」の割合が86.3%と最も高くなっています。一方、「ほとんど食べない」の割合が2.0%となっています。

夕食の共食状況について、「母」の割合が58.4%と最も高く、次いで「家族みんなで」の割合が46.7%、「兄弟姉妹」の割合が46.2%となっています。

【問16】

子どもと、過去1年間に行ったことについて、「外食をする」の割合が95.1%と最も高く、次いで「スポーツ観戦や映画館に行く」の割合が59.0%、「泊まりがけで家族旅行に行く」の割合が57.5%となっています。

【問17】

子どもと、外出する際に困ったこと、困ることについて、「特に困ることはない」の割合が48.4%と最も高く、次いで「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配であること」の割合が29.5%、「歩道や信号がない通りが多く、安全性に心配があること」の割合が12.3%となっています。

【問18】

子どもをどの段階まで進学させたいかについて、「大学まで（大学院を含む）」の割合が64.1%と最も高く、次いで「専門学校まで（高校卒業後に進学するもの）」の割合が13.4%、「高等学校まで」の割合が12.1%となっています。

(2) 保護者について

- ・父親の就労状況は「正社員・正規職員」の割合が最も高い。
- ・母親の就労状況は「パート・アルバイト」の割合が最も高い。

【問19】

父親の就労状況について、「正社員・正規職員」の割合が78.8%と最も高くなっています。

母親の就労状況について、「パート・アルバイト」の割合が44.9%と最も高く、次いで「正社員・正規職員」の割合が27.8%、「働いていない」の割合が11.4%となっています。

(3) 世帯の状況について

- ・経済的な理由で控えたものとして、『趣味やレジャーの出費を減らした』『外食を控えた』の割合が高くなっている。
- ・教育費で負担が大きいものとしては、「習い事の費用」や「塾の費用」が挙げられている。
- ・現在の生活状況について、「やや苦しい」と「大変苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が4割を超えている。

【問 28、問 29】

経済的な理由で経験したことについて、『趣味やレジャーの出費を減らした』『外食を控えた』で「よくあった」の割合が高くなっています。

子どもの教育費で負担が大きいと感じたものについて、「習い事の費用」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「塾の費用」の割合が 35.7%、「負担が大きいと特に感じるものはない」の割合が 21.1%となっています。

【問 30】

現在の生活状況について、「ふつう」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 32.1%、「大変苦しい」の割合が 10.6%となっています。

(4) 市の子育て支援について

- ・必要としている支援について、「給付金などの現金支給」や「子どもの医療費の助成」、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援」といった経済面での支援が求められている。

【問 31】

必要としていること、重要だと思う支援について、「給付金などの現金支給」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「子どもの医療費の助成」の割合が 23.6%、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援」の割合が 19.4%となっています。

4 若者調査結果のまとめ

(1) 普段の生活について

- ・外出について、多くの人の外出頻度は高いが、ひきこもり状態の人も少ないながら、一定数存在する。
- ・ひきこもり傾向にある人の中では、ひきこもり状態が1年以上続いている割合が高い。
- ・不登校からひきこもり状態になることも多いことから、学齢期からの支援も必要である。

【問2、問3、問4】

外出について、「仕事や学校で平日は毎日外出する」の割合が77.0%と最も高く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」の割合が10.2%となっています。

外出をあまりせず、ほとんど家にいる状態になってどのくらい経つかについて、「1年～3年未満」の割合が46.2%と最も高く、次いで「3年～5年未満」の割合が23.1%、「6ヶ月～1年未満」の割合が15.4%となっています。

そうなったきっかけについて、「不登校（小学校・中学校・高校）」、「受験に失敗した（高校・大学）」の割合が100.0%と最も高く、次いで「妊娠した」の割合が30.8%となっています。

(2) 人間関係や悩み事について

- ・人間関係で不安に思っていることとして、「職場（アルバイト先）での人間関係」の割合が高い。
- ・どのような機関に相談したいかについては「親身に聴いてくれる」や「信頼できる人がいる」といった安心感があるような人や場所に相談したいという傾向がある。

【問12、問14】

人間関係に関して不安に思っているものについて、「職場（アルバイト先）での人間関係」の割合が26.8%と最も高く、次いで「家族関係」の割合が12.3%、「友人関係」の割合が11.1%となっています。

関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいかについて、「親身に聴いてくれる」の割合が48.1%と最も高く、次いで「信頼できる人がいる」の割合が46.4%、「無料で相談できる」の割合が40.9%となっています。

(3) 仕事について

- ・就労状況について、勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））」の割合が2割近くになっている。
- ・現在の雇用形態について不安なことについて、「収入が少ない」や「立場が不安定」が挙げられており、安定した収入や雇用形態を求めている。

【問17、問18、問19】

就労状況について、「勤めている（正社員）」の割合が44.3%と最も高く、次いで「学生（予備校生を含む）」の割合が27.7%、「勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））」の割合が17.9%となっています。

契約社員、派遣社員又はパート・アルバイトと答えた人で、現在の雇用形態について不安

なことについて、「収入が少ない」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「立場が不安定」、「不安なことは無い」の割合が 19.0%となっています。

また、正社員として就職したいかについて、「したい」の割合が 50.0%、「このままでも良い」の割合が 50.0%となっています。

(4) 将来について

- ・夢を持つことについて、『夢や希望に向かって頑張るということは大切なことだと思う』の割合が高く、『夢や希望を持ってもしかたがない』の割合が低いことから、将来への希望が高いことが考えられる。

【問 29】

夢を持つことについて、『夢や希望に向かって頑張るということは大切なことだと思う』で「そう思う」の割合が高くなっています。一方、『夢や希望を持ってもしかたがない』で「全くそう思わない」の割合が高くなっています。

(5) 自身について

- ・自分自身について、『社会のために役に立つことをしたい』の割合が高い一方で、『理由があるなら家や自室に閉じこもるのは仕方がないと思う』の割合も高くなっている。
- ・居場所について、『自分の部屋』『家庭（実家や親族の家を含む）』の割合が特に高くなっている。

【問 31、問 33】

自分自身にあてはまることについて、『社会のために役に立つことをしたい』『理由があるなら家や自室に閉じこもるのは仕方がないと思う』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『嫌な出来事があると、外に出たくなくなる』で「いいえ」の割合が高くなっています。

居場所について、『自分の部屋』『家庭（実家や親族の家を含む）』で「そう思う」の割合が高くなっています。一方、『職場（過去の職場を含む）』で「あてはまるものはない、わからない」の割合が高くなっています。

(6) 政策について

- ・相談窓口についての認知度が低いため、周知・啓発が必要である。
- ・古賀市の政策に望むことについて、「放課後などに気軽に行ける安全な居場所を提供する」の割合が最も高く、「いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口を充実させ、支援する」や「経済的な困難を抱えている家庭を支援する」といった支援が求められている。

【問 34、問 35】

相談窓口について、「知っている」の割合が 17.0%、「知らない」の割合が 82.1%となっています。

古賀市が取り組む青少年や若者の政策に望むことについて、「放課後などに気軽に行ける安全な居場所を提供する」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口を充実させ、支援する」の割合が 30.6%、「経済的な困難を抱えている家庭を支援する」の割合が 23.4%となっています。

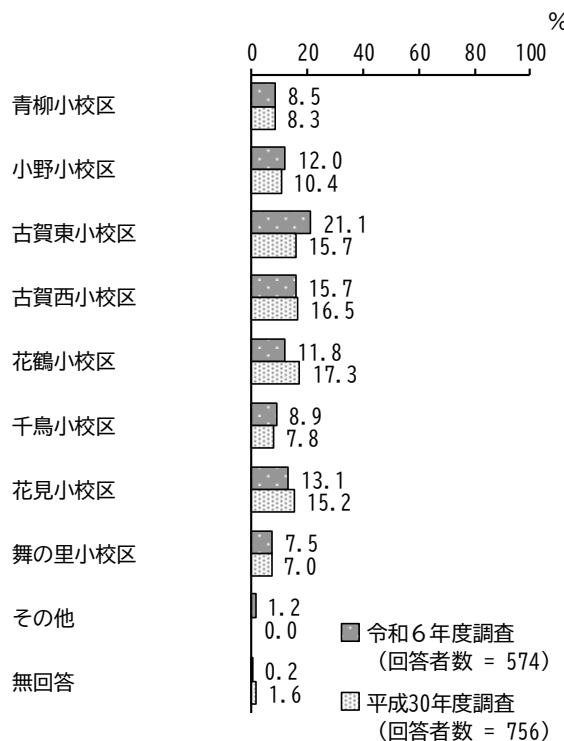
Ⅲ 調査結果

1 就学前児童

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「古賀東小校区」の割合が21.1%と最も高く、次いで「古賀西小校区」の割合が15.7%、「花見小校区」の割合が13.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「古賀東小校区」の割合が増加しています。一方、「花鶴小校区」の割合が減少しています。



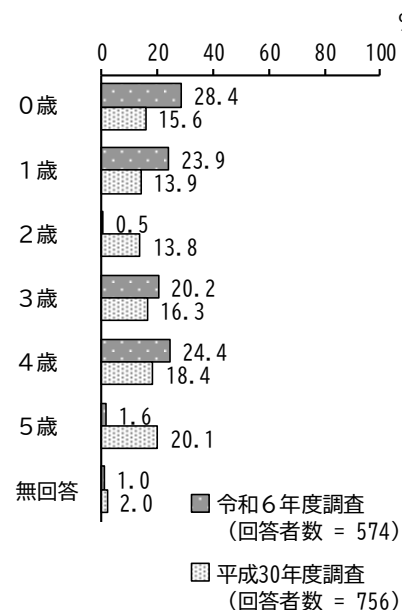
【その他の意見】

- ・ 分からない
- ・ 引っ越してきたばかりで、どこに属するのか分からない。
- ・ 選択可能地域で青柳小校区だが、花鶴小に通学予定。

問2 対象のお子さんの生年月月をご記入ください。() 内に数字でご記入ください。

「0歳」の割合が28.4%と最も高く、次いで「4歳」の割合が24.4%、「1歳」の割合が23.9%となっています。

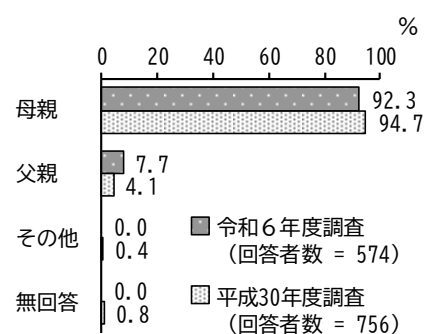
平成30年度調査と比較すると、「0歳」「1歳」「4歳」の割合が増加しています。一方、「2歳」「5歳」の割合が減少しています。



問3 調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が 92.3%、「父親」の割合が 7.7%となっています。

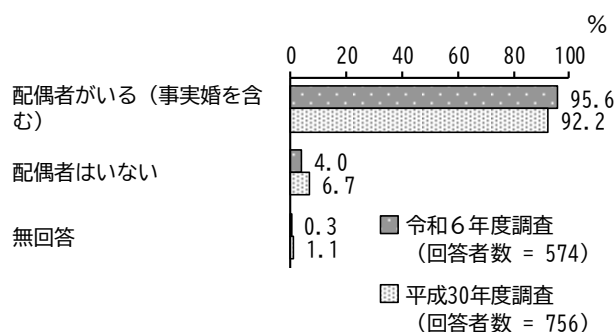
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 調査票にご回答いただいている方の配偶関係について当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる（事実婚を含む）」の割合が 95.6%、「配偶者がいない」の割合が 4.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

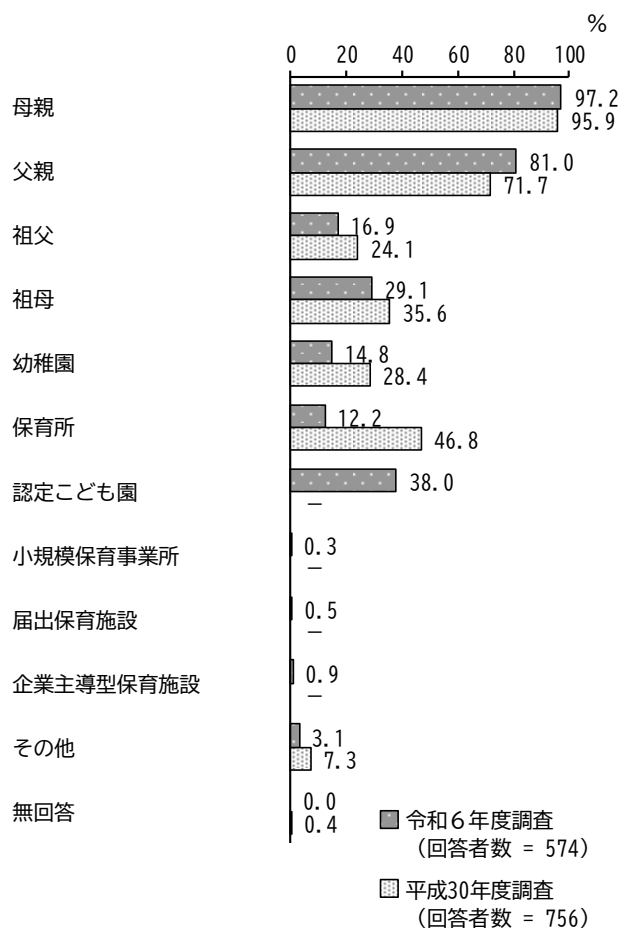


(1) 子育て環境について

問5 対象のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「母親」の割合が 97.2%と最も高く、次いで「父親」の割合が 81.0%、「認定こども園」の割合が 38.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「父親」の割合が増加しています。一方、「祖父」「祖母」「幼稚園」「保育所」の割合が減少しています。



※前回調査では、「認定こども園」、「小規模保育事業所」、「届出保育施設」、「企業主導型保育施設」の選択肢はありませんでした。

【その他の内容】

- ・子ども支援発達センター
- ・姉
- ・いちばん星
- ・ベビーシッター

- ・療育施設
- ・病児保育ちゅーりっぷ

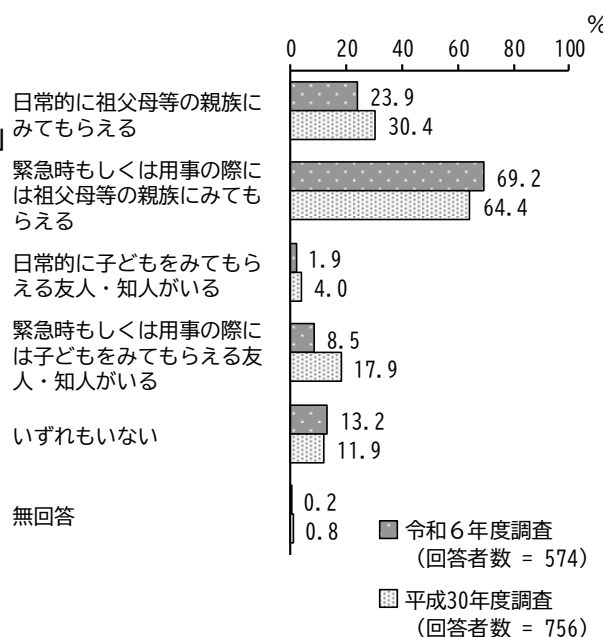
- ・託児所

など

問6 日頃、対象のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 23.9%、「いずれもない」の割合が 13.2%となっています。

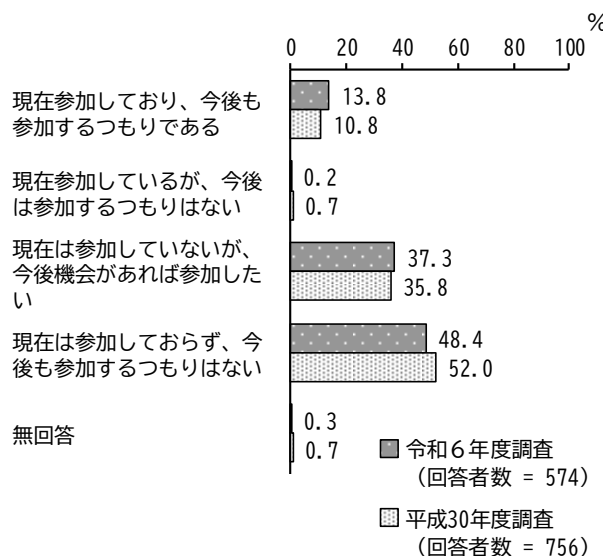
平成 30 年度調査と比較すると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が減少しています。



問7 あなたは、子育てサークルなどの自主的なグループ活動に参加していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」の割合が 37.3%、「現在参加しており、今後も参加するつもりである」の割合が 13.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

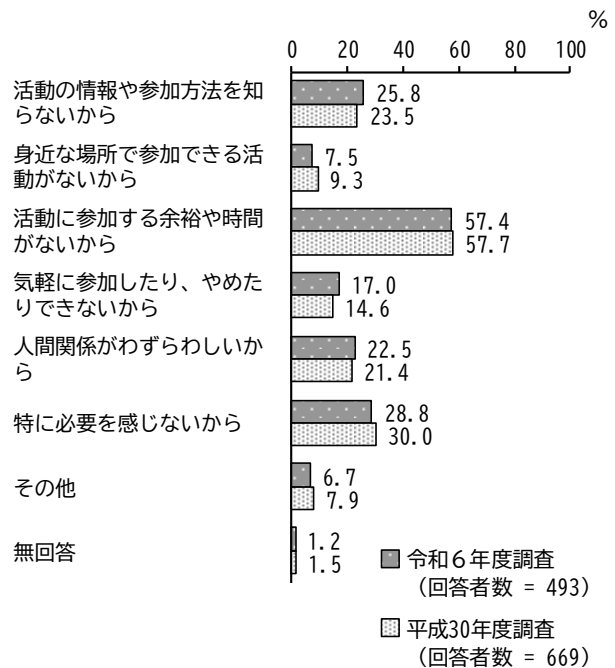


問7で「現在参加しているが、今後は参加するつもりはない」～「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問8へお進みください。

問7－1 現在参加していない理由、または今後参加しない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「活動に参加する余裕や時間がないから」の割合が57.4%と最も高く、次いで「特に必要を感じないから」の割合が28.8%、「活動の情報や参加方法を知らないから」の割合が25.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【その他の内容】

- ・子どもの通院の為。
- ・移動手段が限られているから。

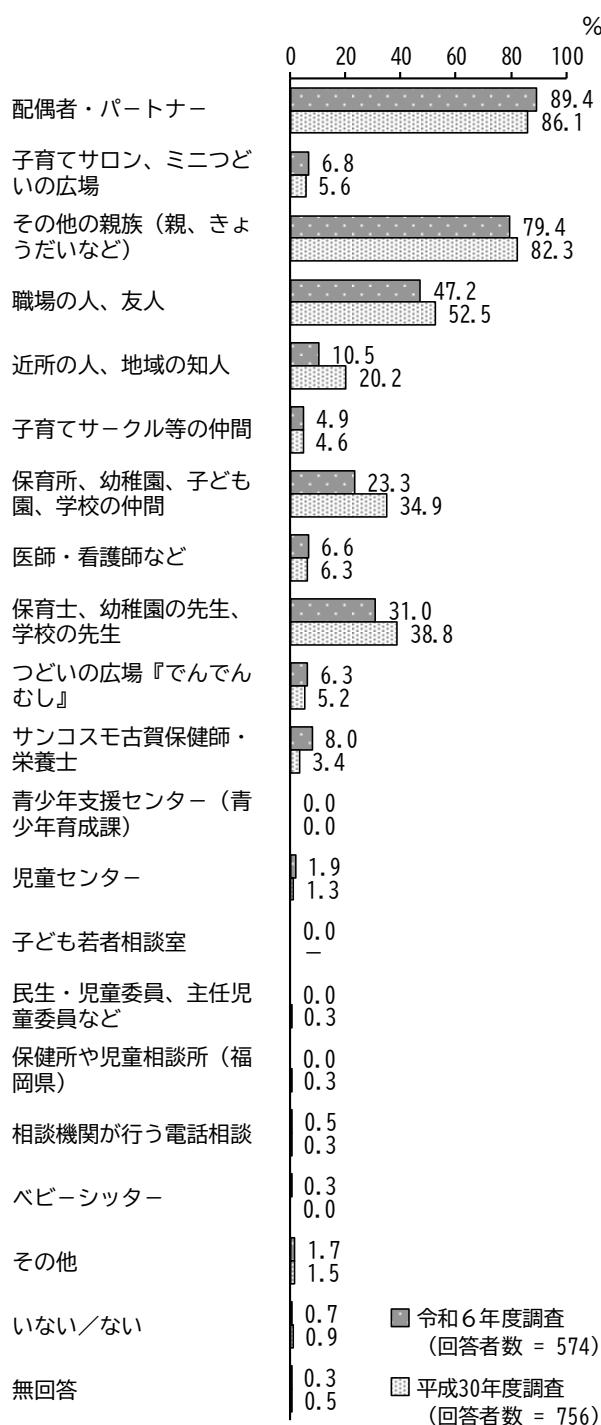
- ・子どもがまだ小さいため。
- ・休息を優先しているから。

など

問8 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「配偶者・パートナー」の割合が89.4%と最も高く、次いで「その他の親族（親、きょうだいなど）」の割合が79.4%、「職場の人、友人」の割合が47.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「職場の人、友人」「近所の人、地域の知人」「保育所、幼稚園、子ども園、学校の仲間」「保育士、幼稚園の先生、学校の先生」の割合が減少しています。



※前回調査では、「児童センター」の選択肢は「児童館・児童センター」となっていました。

※前回調査では、「子ども若者相談室」の選択肢はありませんでした。

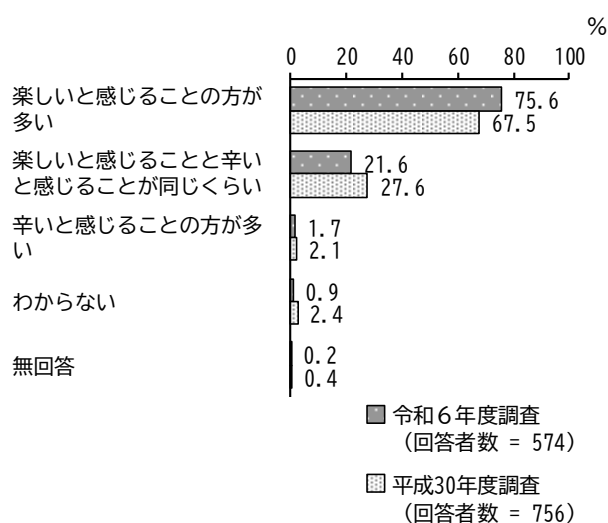
【その他の内容】

- ・発達ルームの先生方
- ・療育の施設の先生
- ・ツイッター、ママリ
- ・SNS
- ・ソーシャルワーカー

問9 あなたは、子育てが楽しいと感じることが多いですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が75.6%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」の割合が21.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「楽しいと感じることの方が多い」の割合が増加しています。一方、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」の割合が減少しています。



【「子育てが楽しいと感じることの方が多い」の理由】

- ・徐々におしゃべりできることが増え、喜怒哀楽を見られることが嬉しく、楽しい。
- ・子どもの成長を見られることが嬉しいから。
- ・毎日可愛くて仕方がない。成長1つ1つがとても嬉しい。
- ・辛い時もあるがかわいくて仕方がないので辛さを忘れられるから。

【「子育てが辛いと感じることの方が多い」の理由】

- ・今現在イヤイヤ期で大変だから。
- ・幸せだなー可愛いなーと思う時もあれば痾癪を起こされたりワガママを言われたりすると疲れると思うから。
- ・大変と思うことがほとんどで、楽しいとあまり思わない。
- ・仕事・家事・育児の両立の厳しさに直面したときに疲れが出てしまうときがある。
- ・自分の体力的な事と時間に追われて余裕がなくなる事が多い為。
- ・ワンオペなので、かわいい・大変がどちらもある為。

など

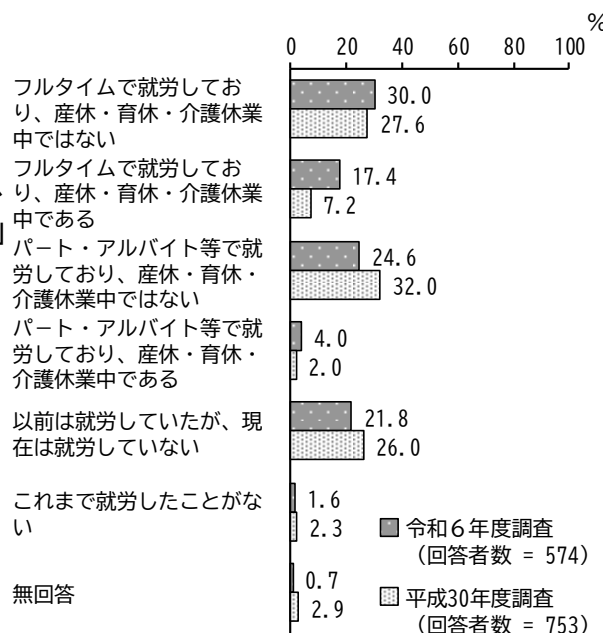
(2) 保護者の就労について

問 10 対象のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

問 10 の（１）母親【父子家庭の場合、記入は不要です】当てはまる番号１つに○をつけてください。

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 24.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 21.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」の割合が増加しています。一方、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が減少しています。



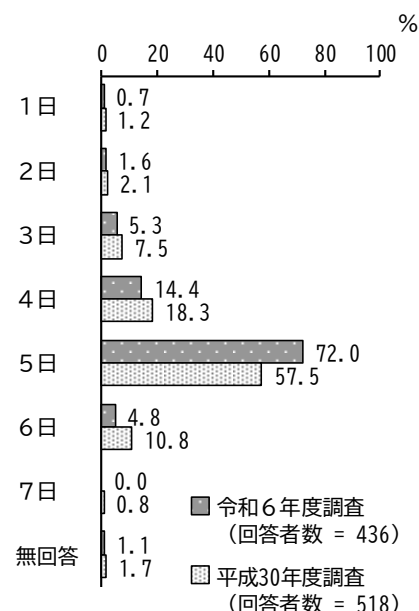
問 10 の（１）で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問 10 の（１）－１ 週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

週当たりの「就労日数」

「５日」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「４日」の割合が 14.4%となっています。

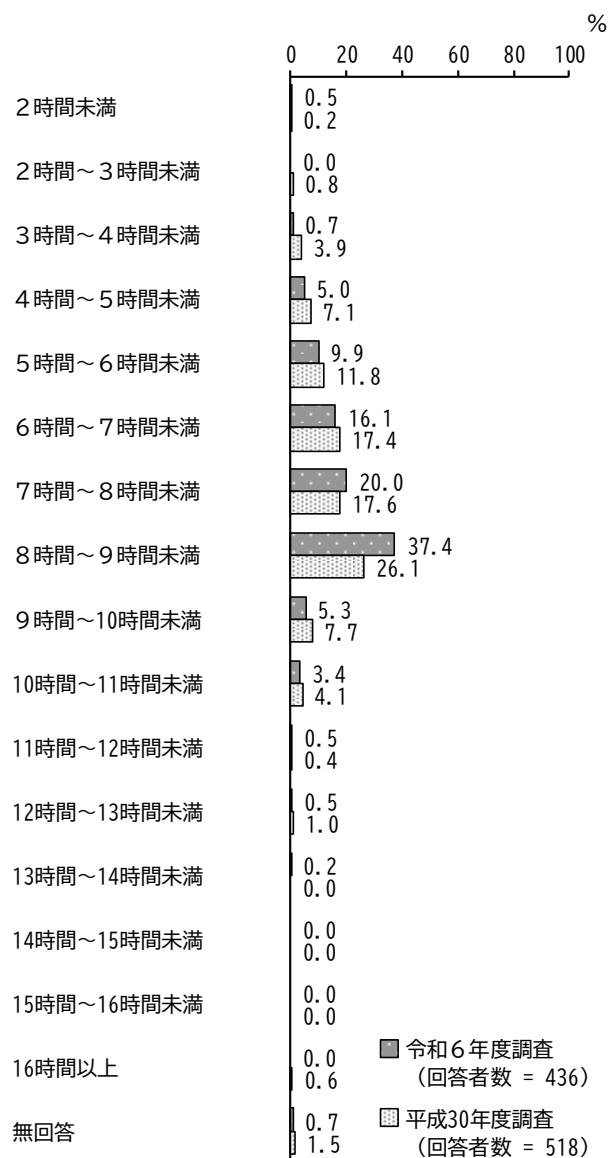
平成 30 年度調査と比較すると、「５日」の割合が増加しています。一方、「６日」の割合が減少しています。



1 日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が37.4%と最も高く、次いで「7時間～8時間未満」の割合が20.0%、「6時間～7時間未満」の割合が16.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。



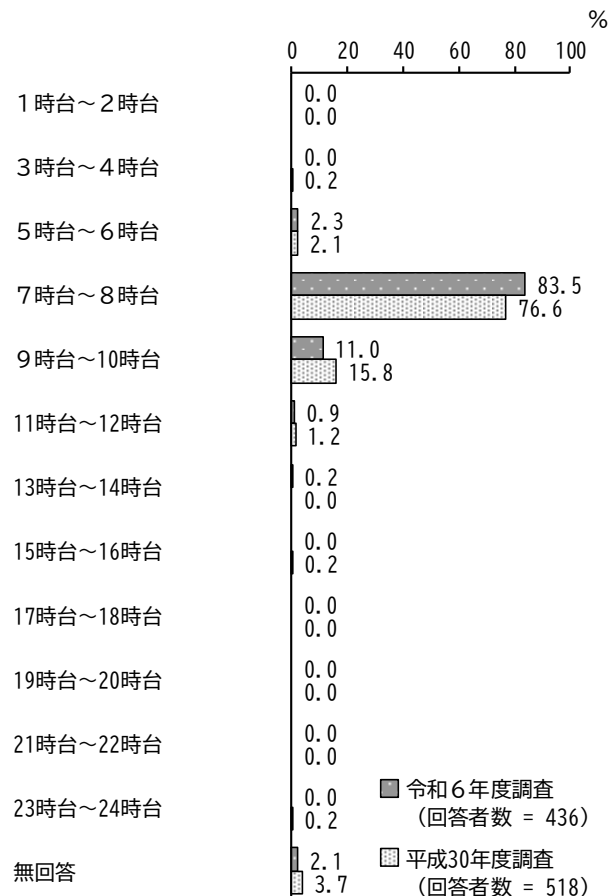
問10の(1)で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問10の(1)－2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず24時間表示でお答えください。()内に数字でご記入ください。(例：18時、20時)

家を出る時間

「7時台～8時台」の割合が83.5%と最も高く、次いで「9時台～10時台」の割合が11.0%となっています。

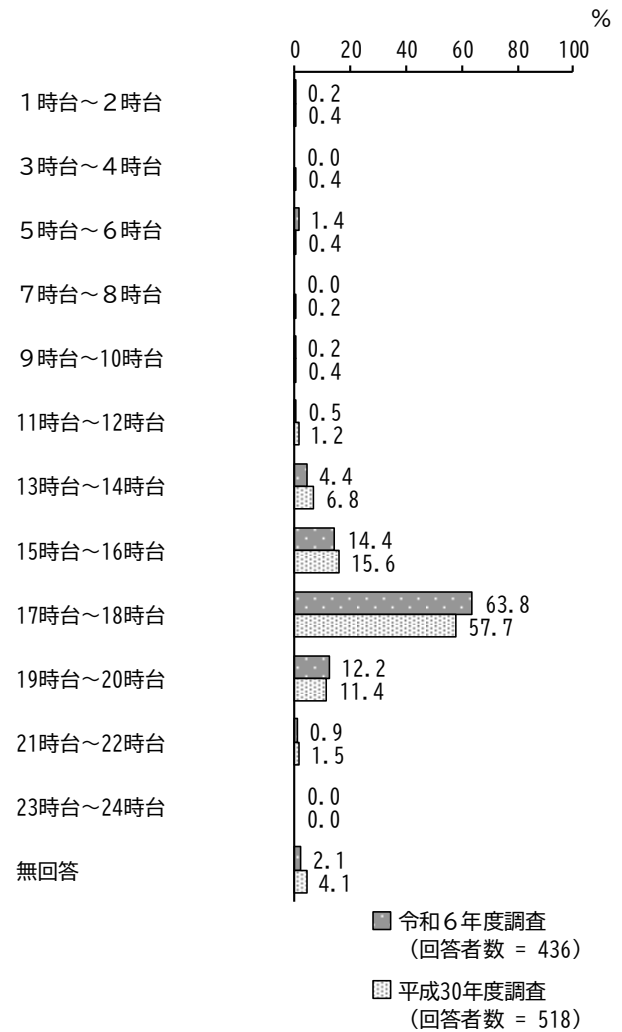
平成30年度調査と比較すると、「7時台～8時台」の割合が増加しています。



帰宅時間

「17 時台～18 時台」の割合が 63.8%と最も高く、次いで「15 時台～16 時台」の割合が 14.4%、「19 時台～20 時台」の割合が 12.2%となっています。

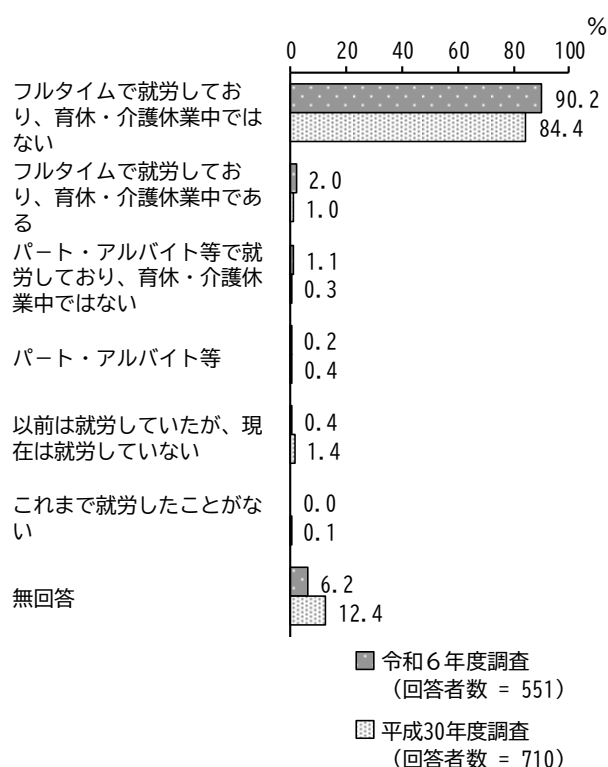
平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台～18 時台」の割合が増加しています。



問 10 の（２） 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 90.2%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。



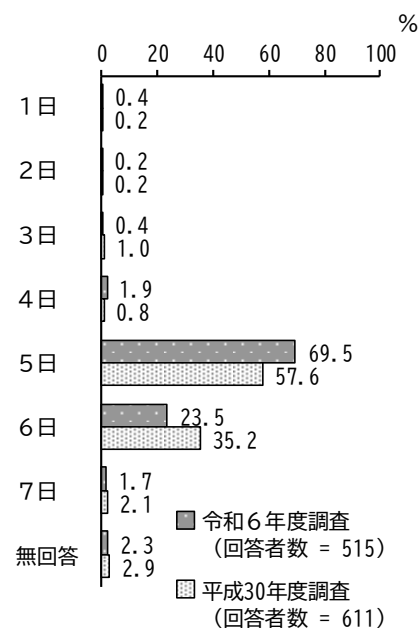
問 10 の（２）で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」～「パート・アルバイト等」に○をつけた方にうかがいます。

問 10 の（２）－１ 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

週当たりの「就労日数」

「5 日」の割合が 69.5%と最も高く、次いで「6 日」の割合が 23.5%となっています。

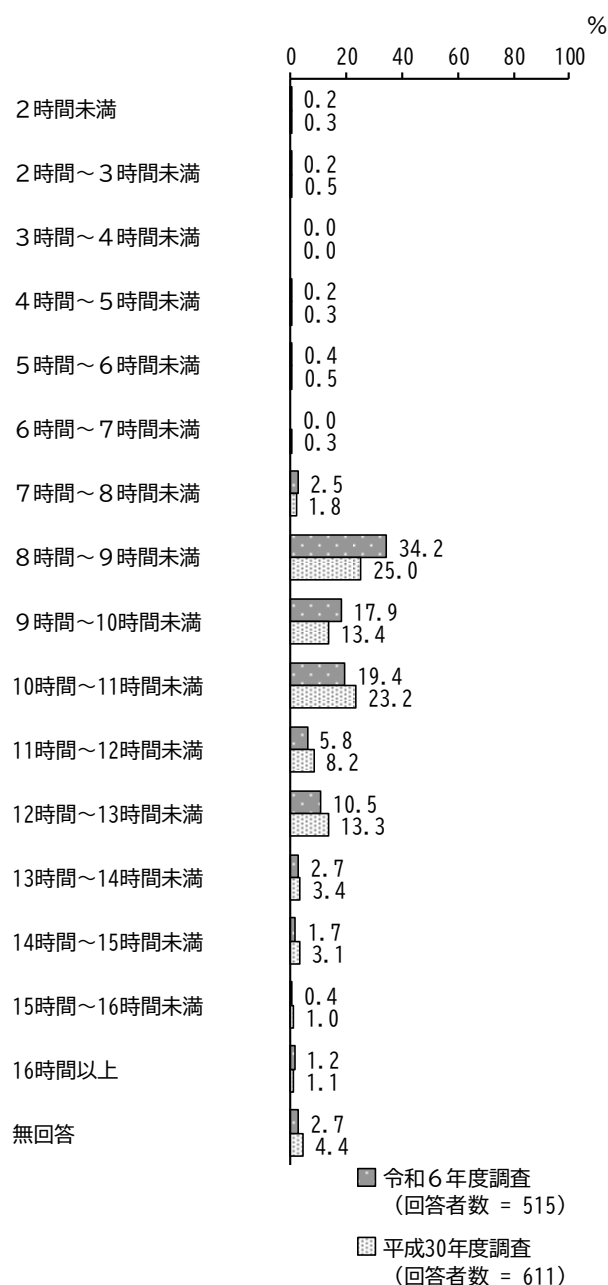
平成 30 年度調査と比較すると、「5 日」の割合が増加しています。一方、「6 日」の割合が減少しています。



1 日当たり就労時間

「8 時間～9 時間未満」の割合が 34.2%と最も高く、次いで「10 時間～11 時間未満」の割合が 19.4%、「9 時間～10 時間未満」の割合が 17.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「8 時間～9 時間未満」の割合が増加しています。

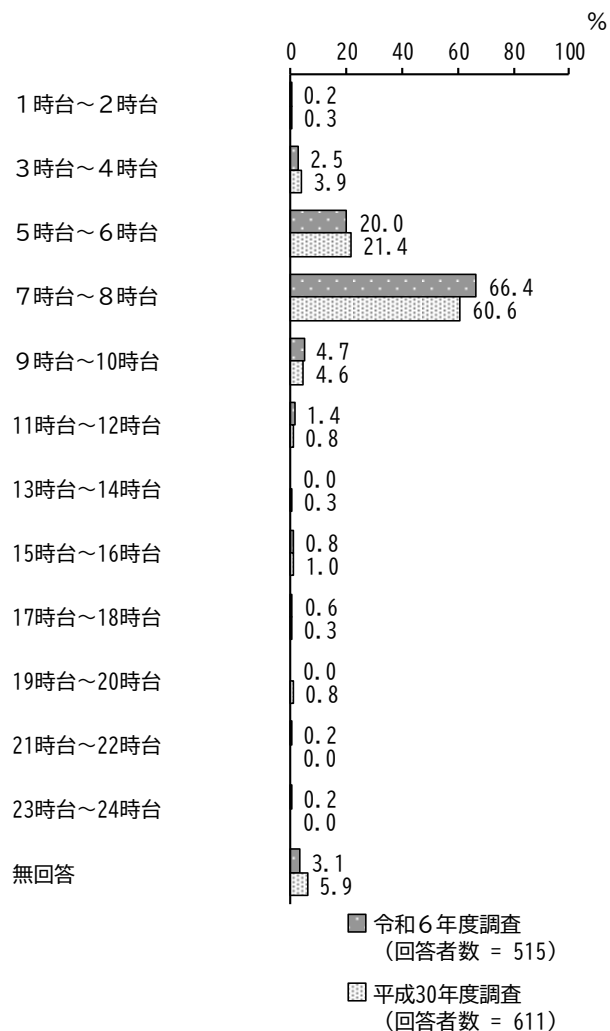


問 10 の（２）－２ 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず 24 時間表示でお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。（例：18 時、20 時）

家を出る時間

「7 時台～8 時台」の割合が 66.4%と最も高く、次いで「5 時台～6 時台」の割合が 20.0%となっています。

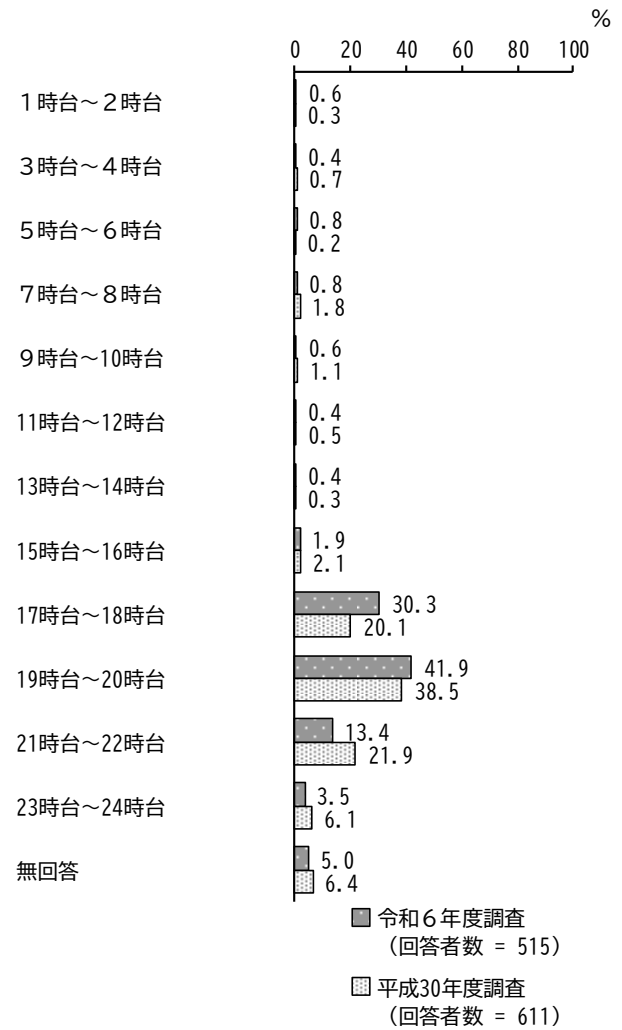
平成 30 年度調査と比較すると、「7 時台～8 時台」の割合が増加しています。



帰宅時間

「19 時台～20 時台」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「17 時台～18 時台」の割合が 30.3%、「21 時台～22 時台」の割合が 13.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台～18 時台」の割合が増加しています。一方、「21 時台～22 時台」の割合が減少しています。



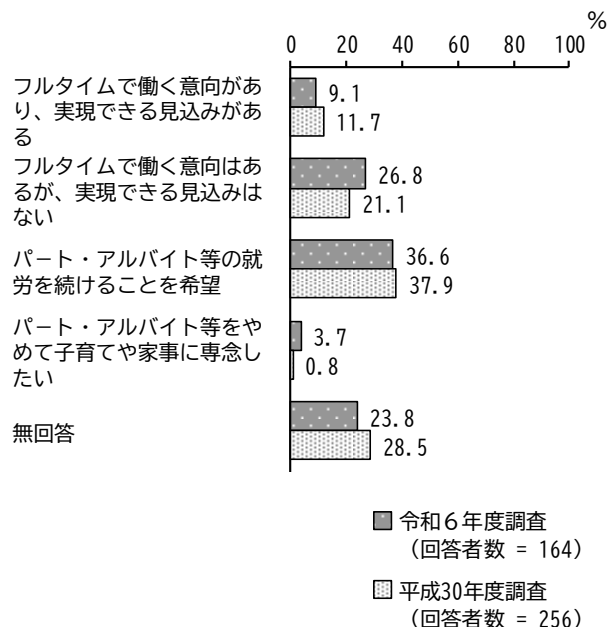
問10の(1)または(2)で「パート・アルバイト等で就労しており、(産休・)育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等(で就労しており、産休・育休・介護休業中である)」に○をつけた方にうかがいます。

問10-1 今後、フルタイムで働く意向がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

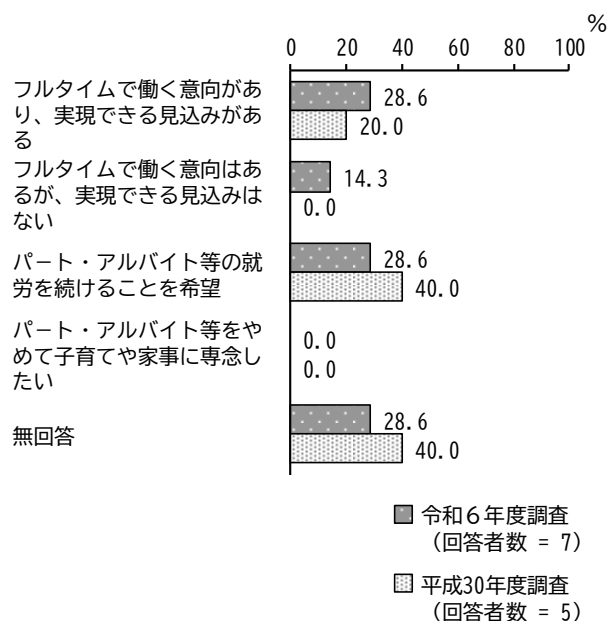
「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が36.6%と最も高く、次いで「フルタイムで働く意向はあるが、実現できる見込みはない」の割合が26.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで働く意向はあるが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。



(2) 父親

「フルタイムで働く意向があり、実現できる見込みがある」、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が2件となっています。「フルタイムで働く意向はあるが、実現できる見込みはない」が1件となっています。



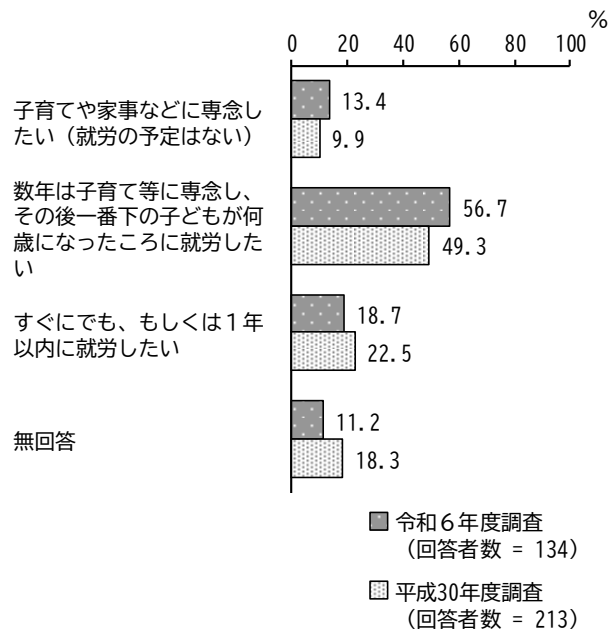
問10の(1)または(2)で「5」「6」に○をつけた方にうかがいます。

問10-2 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1) 母親

「数年は子育て等に専念し、その後一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が56.7%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が18.7%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が13.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「数年は子育て等に専念し、その後一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が増加しています。

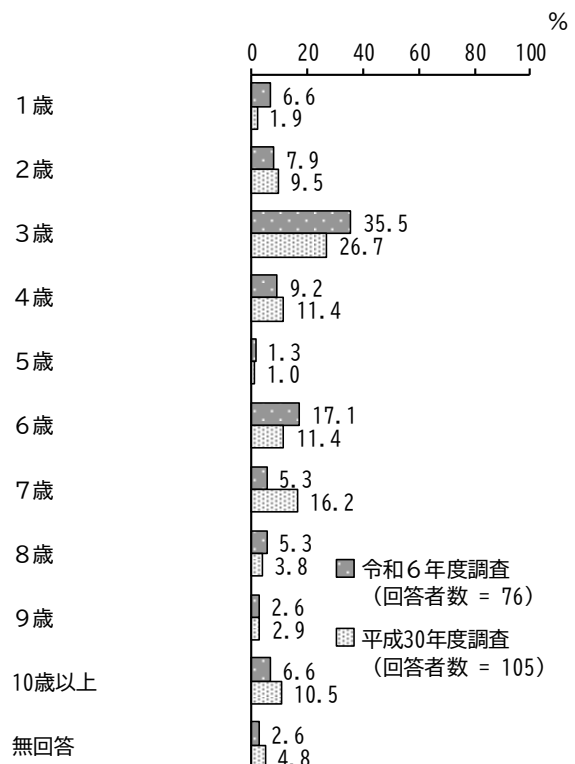


※前回調査では、「数年は子育て等に専念し、その後一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の選択肢は「数年は子育て等に専念し、その後一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」となっていました。

一番下の子どもが何歳になったところに就労したいか

「3歳」の割合が35.5%と最も高く、次いで「6歳」の割合が17.1%となっています。

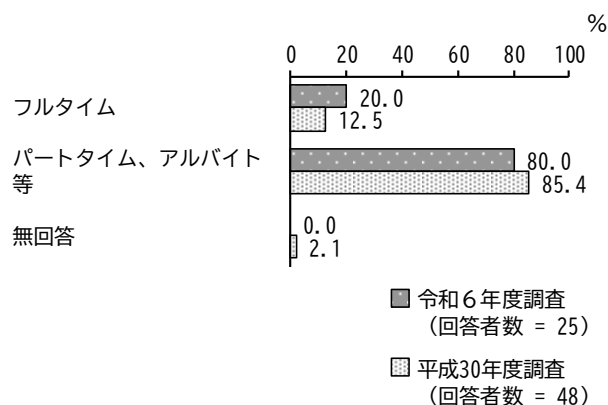
平成30年度調査と比較すると、「3歳」「6歳」の割合が増加しています。一方、「7歳」の割合が減少しています。



希望する就労形態

「フルタイム」の割合が 20.0%、「パートタイム、アルバイト等」の割合が 80.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイム」の割合が増加しています。一方、「パートタイム、アルバイト等」の割合が減少しています。



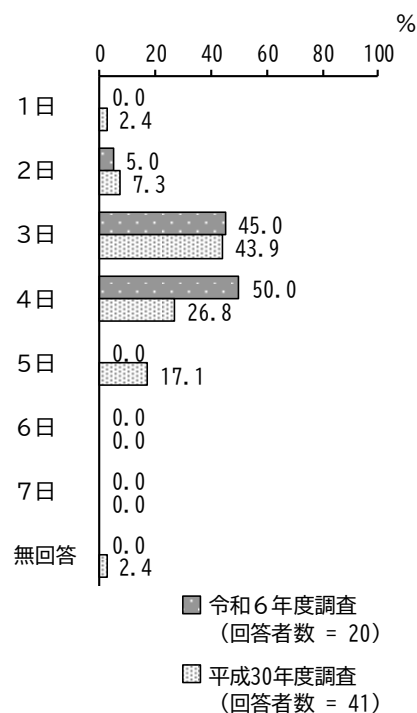
※前回調査では、「フルタイム」の選択肢は「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」となっていました。

※前回調査では、「パートタイム、アルバイト等」の選択肢は「パートタイム、アルバイト等（「①」以外）」となっていました。

パートタイム、アルバイト等 1週当たり希望就労日数

「4日」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が 45.0%となっています。

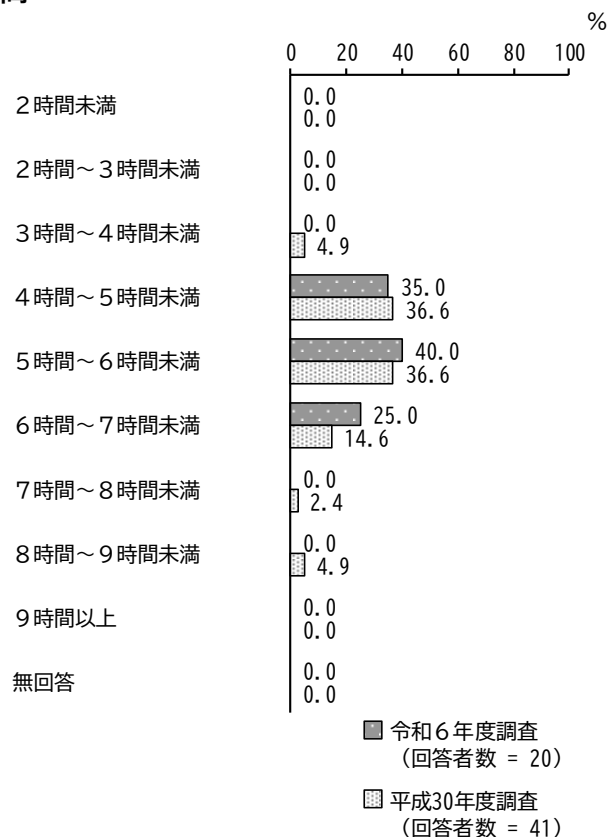
平成 30 年度調査と比較すると、「4日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。



パートタイム、アルバイト等 1日当たり希望就労時間

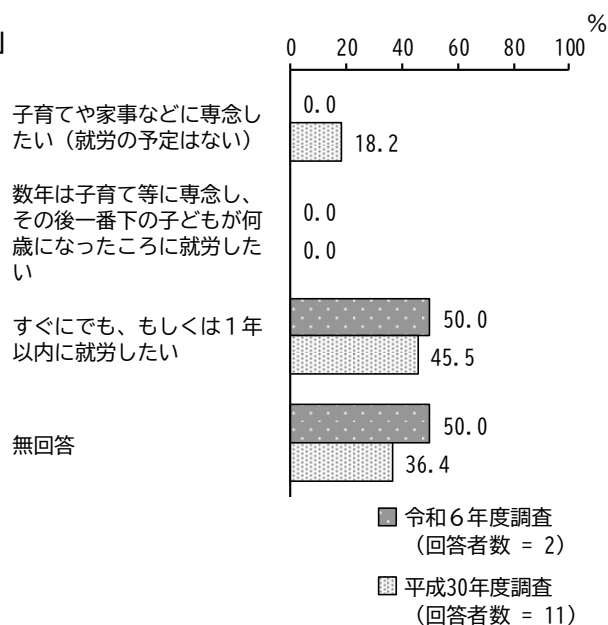
「5時間～6時間未満」の割合が40.0%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が35.0%、「6時間～7時間未満」の割合が25.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「6時間～7時間未満」の割合が増加しています。



(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。

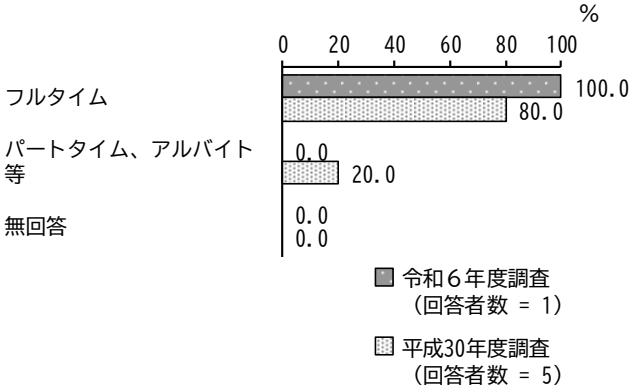


※前回調査では、「数年は子育て等に専念し、その後一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の選択肢は「数年は子育て等に専念し、その後一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」となっていました。

一番下の子どもが何歳になったころに就労したいか
有効回答がありませんでした。

希望する就労形態

「フルタイム」が1件、「パートタイム、アルバイト等」が0件となっています。



※前回調査では、「フルタイム」の選択肢は「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」となっていました。
※前回調査では、「パートタイム、アルバイト等」の選択肢は「パートタイム、アルバイト等（「①」以外）」となっていました。

パートタイム、アルバイト等 1週当たり希望就労日数
有効回答がありませんでした。

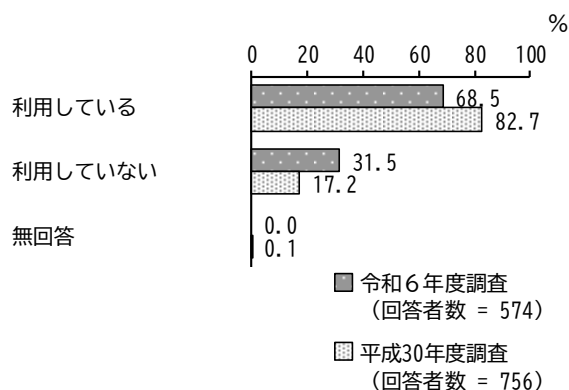
パートタイム、アルバイト等 1日当たり希望就労時間
有効回答がありませんでした。

(3) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問11 対象のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」の割合が68.5%、「利用していない」の割合が31.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。一方、「利用している」の割合が減少しています。

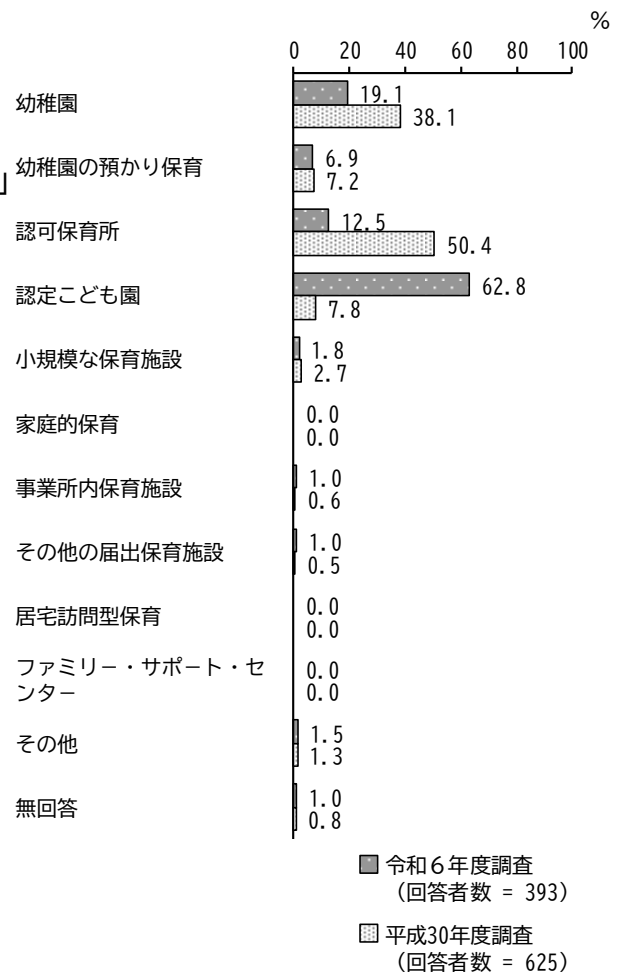


問11で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問11-1 対象のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「認定こども園」の割合が62.8%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が19.1%、「認可保育所」の割合が12.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「幼稚園」「認可保育所」の割合が減少しています。



【その他の内容】

- ・発達支援施設
- ・療育施設
- ・療育と一時預かり保育

【現在利用している教育・保育事業の実施場所別】

現在利用している教育・保育事業の実施場所別にみると、古賀市外で「幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の届出保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全 体	393	19.1	6.9	12.5	62.8	1.8	—	1.0	1.0	—	—	1.5	1.0
古賀市内	374	17.9	7.2	12.8	65.2	1.1	—	0.3	0.8	—	—	1.3	1.1
古賀市外	17	41.2	—	5.9	11.8	17.6	—	17.6	5.9	—	—	5.9	—

問 11 で「利用している」に○をつけた方に、問 11－2、問 11－3 についてうかがいます。

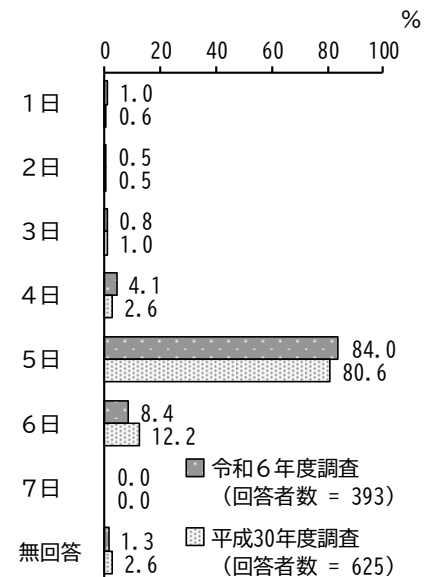
問 11－2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、（ ）内に具体的な数字でご記入ください。

（1）現在

1 週当たり利用日数

「5 日」の割合が 84.0%と最も高くなっています。

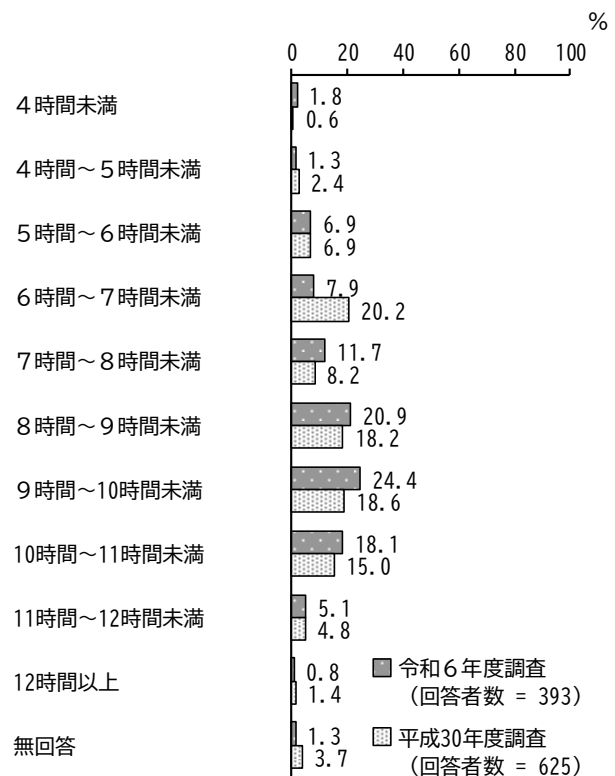
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1 日当たり利用時間

「9 時間～10 時間未満」の割合が 24.4%と最も高く、次いで「8 時間～9 時間未満」の割合が 20.9%、「10 時間～11 時間未満」の割合が 18.1%となっています。

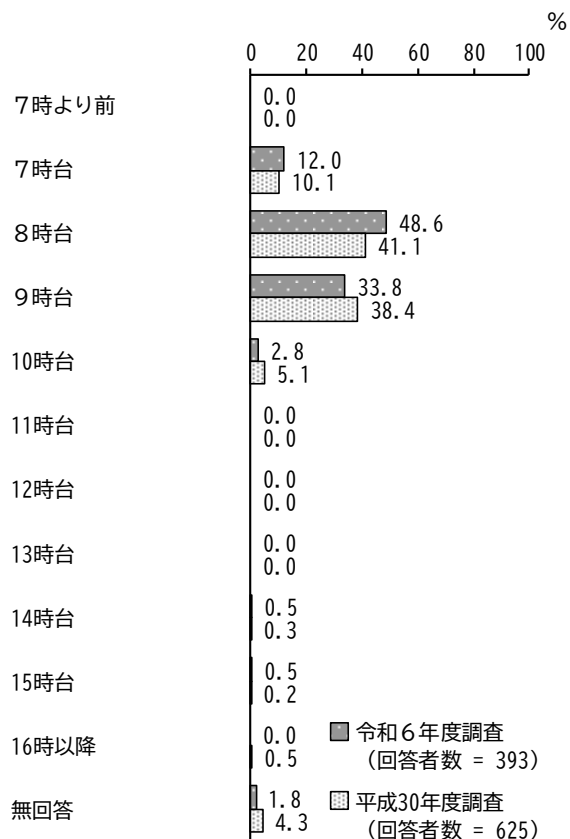
平成 30 年度調査と比較すると、「9 時間～10 時間未満」の割合が増加しています。一方、「6 時間～7 時間未満」の割合が減少しています。



利用開始時刻

「8時台」の割合が48.6%と最も高く、次いで「9時台」の割合が33.8%、「7時台」の割合が12.0%となっています。

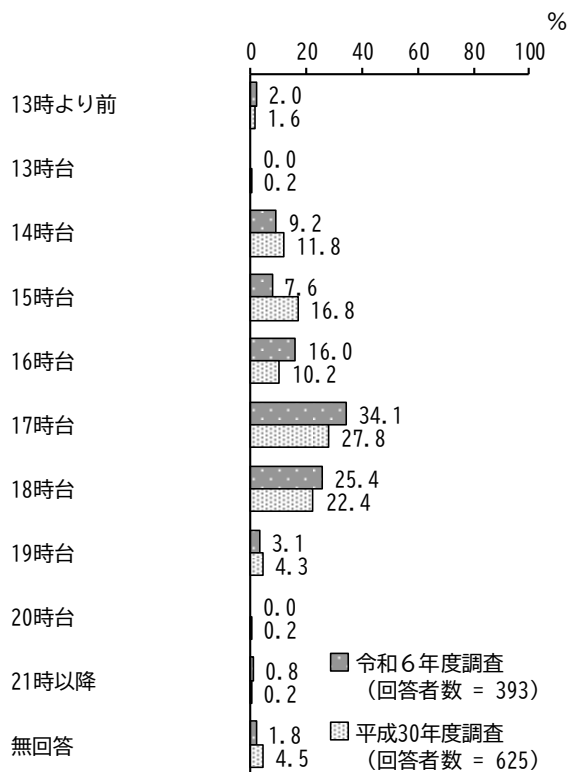
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。



利用終了時刻

「17時台」の割合が34.1%と最も高く、次いで「18時台」の割合が25.4%、「16時台」の割合が16.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「16時台」「17時台」の割合が増加しています。一方、「15時台」の割合が減少しています。

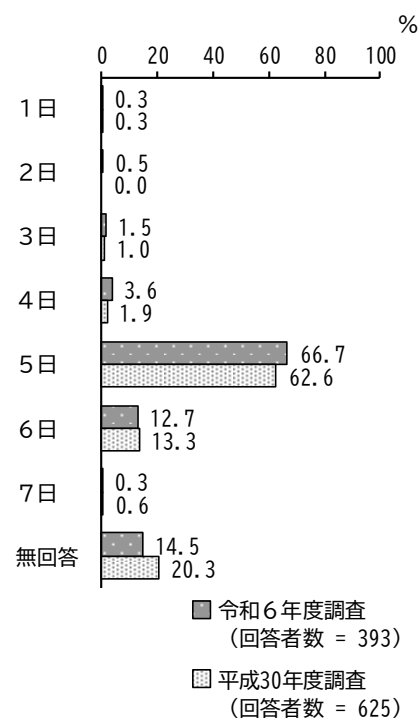


(2) 希望

1週当たり利用日数

「5日」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「6日」の割合が 12.7%となっています。

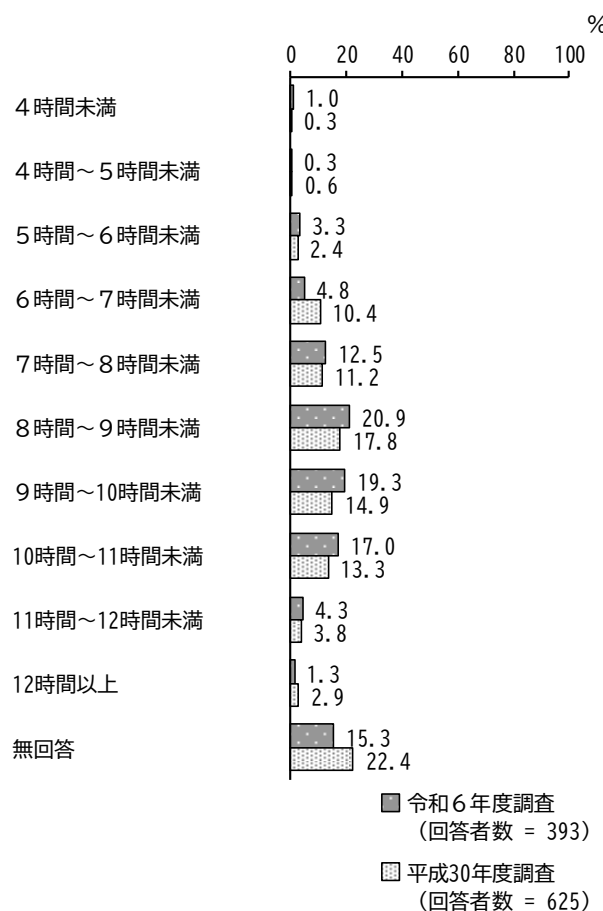
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1日当たり利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が 20.9%と最も高く、次いで「9時間～10 時間未満」の割合が 19.3%、「10 時間～11 時間未満」の割合が 17.0%となっています。

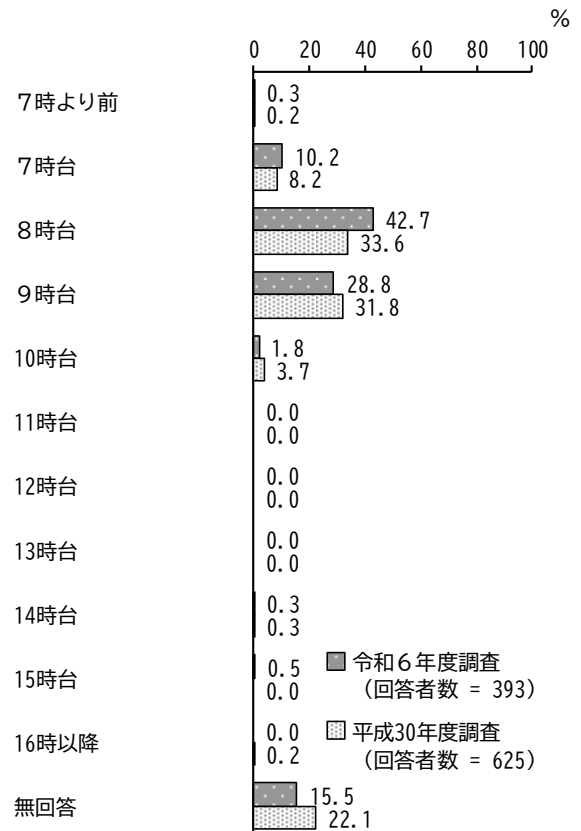
平成 30 年度調査と比較すると、「6 時間～7 時間未満」の割合が減少しています。



利用開始時刻

「8時台」の割合が42.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が28.8%、「7時台」の割合が10.2%となっています。

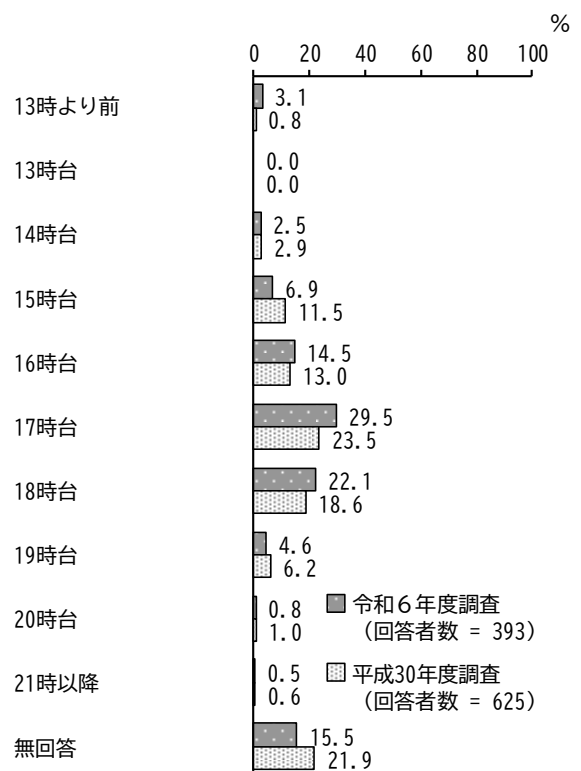
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。



利用終了時刻

「17時台」の割合が29.5%と最も高く、次いで「18時台」の割合が22.1%、「16時台」の割合が14.5%となっています。

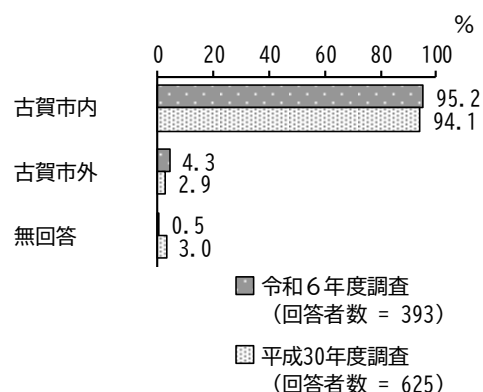
平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割合が増加しています。



問 11－3 現在利用している教育・保育事業の実施場所について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「古賀市内」の割合が 95.2%、「古賀市外」の割合が 4.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

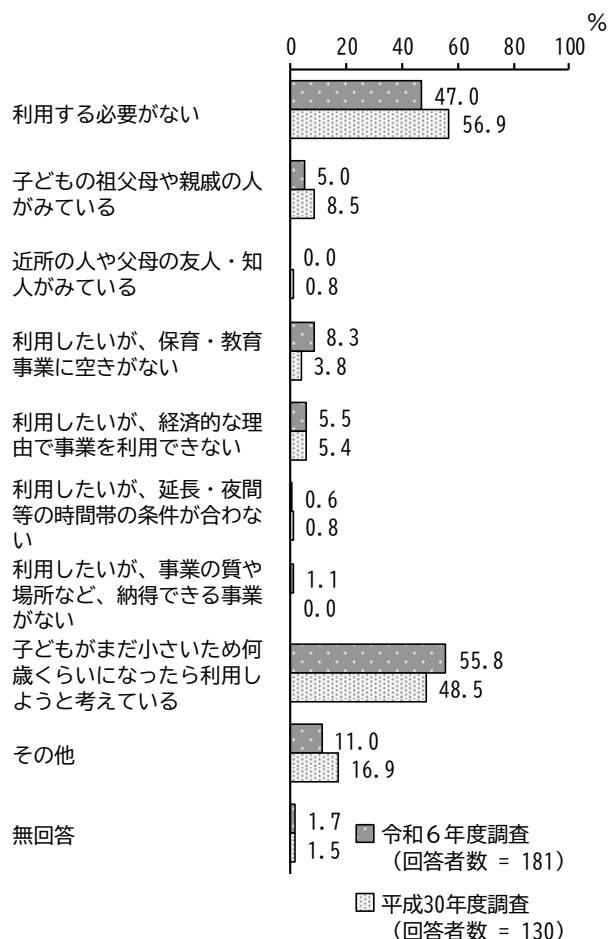


問 11 で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 11－4 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもがまだ小さいため何歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「利用する必要がある」の割合が 47.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子どもがまだ小さいため何歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が増加しています。一方、「利用する必要がある」の割合が減少しています。



※前回調査では、「利用する必要がある」の選択肢は「利用する必要がある（子どもの母親が父親が就労していないなどの理由）」となっていました。

※前回調査では、「子どもがまだ小さいため何歳くらいになったら利用しようと考えている」の選択肢は「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている」となっていました。

【その他の内容】

- ・ 現在、保育所の見学をしている。
 - ・ 2人目が生まれて育休退園したため。
 - ・ 療育施設
 - ・ 乳児園に居るため。
 - ・ 7月に保育所入所希望で現在結果待ちの状態。
 - ・ 病気で入院中のため（子）。
 - ・ 利用したいが同居家族は反対。
- など

【年齢別】

年齢別にみると、1歳で「利用する必要がない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため何歳くらいいなったら利用しようと考えている	その他	無回答
全 体	181	47.0	5.0	—	8.3	5.5	0.6	1.1	55.8	11.0	1.7
0歳	129	42.6	3.9	—	5.4	3.1	—	1.6	59.7	11.6	0.8
1歳	51	58.8	7.8	—	15.7	11.8	2.0	—	47.1	9.8	2.0
2歳	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
3歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「利用する必要がない」の割合が高くなっています。

単位：％

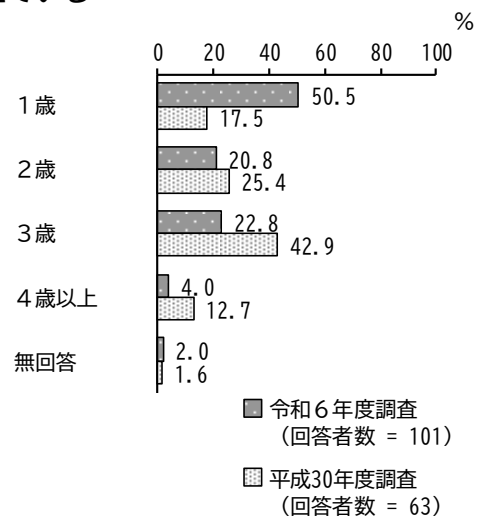
区分	回答者数 (件)	利用する 必要がない	子どもの祖 父母や親 戚の人が みている	近所の人 や父母の 友人・知 人がみて いる	利用した いが、保 育・教 育事業に 空きがな い	利用した いが、経 済的な 理由で事 業を利用 できな い
全 体	181	47.0	5.0	—	8.3	5.5
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	100.0	—	—	—	—
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	80	32.5	2.5	—	8.8	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	8	62.5	50.0	—	12.5	12.5
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	15	33.3	—	—	6.7	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	74	63.5	4.1	—	8.1	12.2
これまで就労したことがない	2	—	—	—	—	—

区分	利用したい が、延長・ 夜間帯の 条件が合 わない	利用したい が、事業 の質や場 所など、 納得でき ない	子どもが まだ小さ いため何 歳くらい になったら 利用しよ うと考 えている	その他	無 回 答
全 体	0.6	1.1	55.8	11.0	1.7
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	—	—	100.0	—	—
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	—	1.3	58.8	15.0	2.5
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	12.5	—	50.0	—	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	—	—	60.0	6.7	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	—	1.4	51.4	9.5	1.4
これまで就労したことがない	—	—	100.0	—	—

子どもがまだ小さいため何歳くらいになったら利用しようと考えている

「1歳」の割合が50.5%と最も高く、次いで「3歳」の割合が22.8%、「2歳」の割合が20.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳」の割合が増加しています。一方、「3歳」「4歳以上」の割合が減少しています。

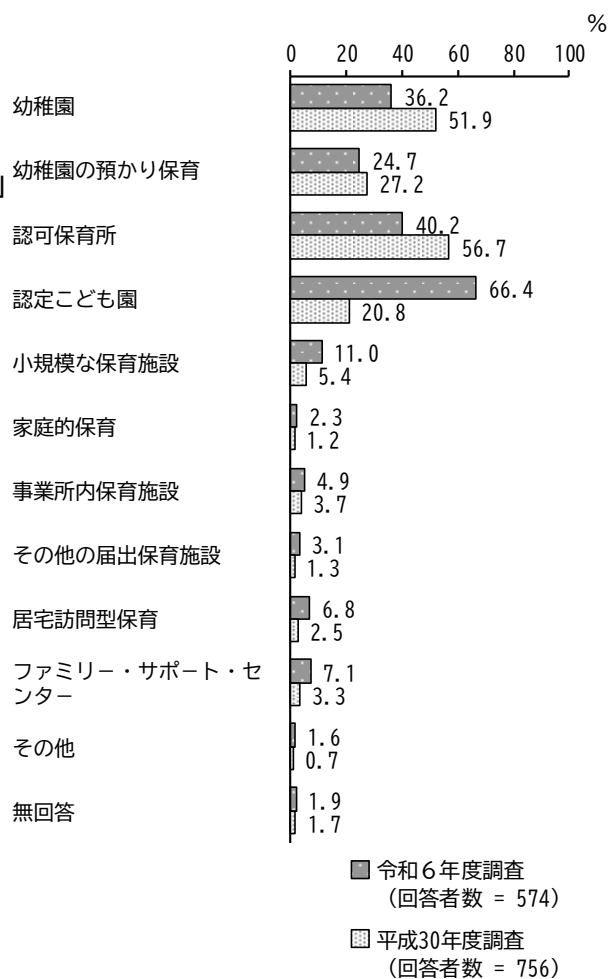


すべての方にうかがいます。

問 12 現在、利用している、利用していないにかかわらず、対象のお子さんについて、平日「定期的に」利用したいと思うものすべてに○をつけてください。

「認定こども園」の割合が 66.4%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が 40.2%、「幼稚園」の割合が 36.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「認定こども園」「小規模な保育施設」の割合が増加しています。一方、「幼稚園」「認可保育所」の割合が減少しています。



【その他の内容】

- ・夜間育児のサポート
- ・病児保育
- ・不定期の一時あずかりサービス
- ・院内保育
- ・発達支援施設
- ・習い事ができるスクール

【年齢別】

年齢別にみると、0歳で「認可保育所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の届出保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全 体	574	36.2	24.7	40.2	66.4	11.0	2.3	4.9	3.1	6.8	7.1	1.6	1.9
0歳	163	38.7	22.1	54.6	68.7	20.9	3.7	7.4	5.5	6.7	6.7	1.2	2.5
1歳	137	35.0	23.4	43.8	67.2	11.7	1.5	5.1	3.6	6.6	6.6	0.7	2.2
2歳	3	100.0	—	33.3	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—
3歳	116	36.2	27.6	32.8	65.5	5.2	2.6	2.6	2.6	7.8	9.5	0.9	1.7
4歳	140	33.6	29.3	30.0	62.9	5.0	1.4	4.3	0.7	6.4	5.0	3.6	0.7
5歳	9	22.2	11.1	11.1	88.9	—	—	—	—	11.1	11.1	—	11.1

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	育 幼稚園の預かり保	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	施設 その他の届出保育	居宅訪問型保育	ファミリ－サポ －センター	その他	無回答
全 体	574	36.2	24.7	40.2	66.4	11.0	2.3	4.9	3.1	6.8	7.1	1.6	1.9
フルタイム で就労して おり、産 休・育休・ 介護休業中 ではない	172	18.0	15.7	40.1	80.2	6.4	0.6	4.7	3.5	8.1	11.0	1.2	0.6
フルタイム で就労して おり、産 休・育休・ 介護休業中 である	100	27.0	23.0	61.0	79.0	18.0	3.0	7.0	6.0	7.0	6.0	3.0	－
パート・ア ルバイト等 で就労して おり、産 休・育休・ 介護休業中 ではない	141	34.0	26.2	33.3	63.1	9.2	2.8	4.3	2.8	5.7	5.0	2.1	2.1
パート・ア ルバイト等 で就労して おり、産 休・育休・ 介護休業中 である	23	17.4	21.7	43.5	65.2	13.0	4.3	－	－	8.7	4.3	－	－
以前は就労 していた が、現在は 就労してい ない	125	73.6	36.8	35.2	46.4	13.6	3.2	4.8	1.6	6.4	6.4	－	3.2
これまで就 労したこと がない	9	66.7	44.4	－	11.1	11.1	－	11.1	－	－	－	－	11.1

【母親の就労希望別】

母親の就労希望別にみると、すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいで「認可保育所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育
全 体	134	73.1	37.3	32.8	44.0	13.4	3.0
子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	18	61.1	33.3	22.2	16.7	22.2	5.6
数年は子育て等に専念し、その後一番下の子どもが何歳になったところに就労したい	76	80.3	32.9	25.0	43.4	6.6	2.6
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	25	60.0	52.0	56.0	64.0	28.0	—

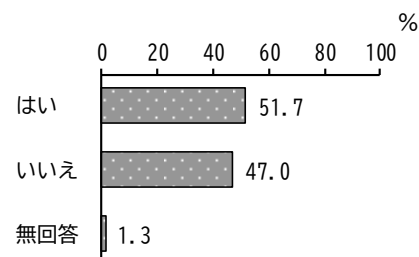
区分	事業所内保育施設	その他の届出保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全 体	5.2	1.5	6.0	6.0	—	3.7
子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	—	—	—	—	—	16.7
数年は子育て等に専念し、その後一番下の子どもが何歳になったところに就労したい	2.6	1.3	6.6	6.6	—	2.6
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	16.0	4.0	12.0	8.0	—	—

問12で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「認可保育所」～「その他」にも○をつけた方にうかがいます。

問12-1 問12で○をつけられたもののうち、特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「はい」の割合が51.7%、「いいえ」の割合が47.0%となっています。

回答者数 = 149



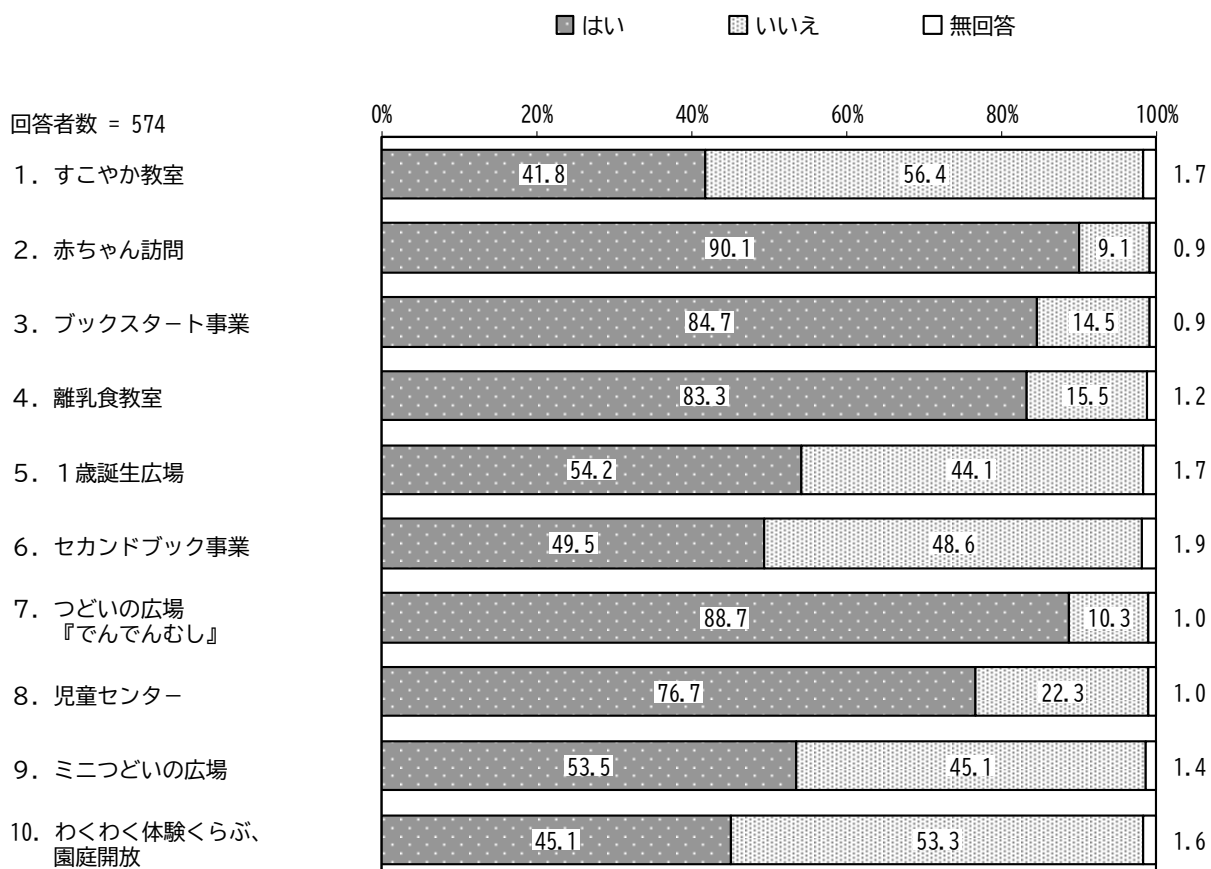
(4) 子育て支援事業の利用状況等について

問 13 各事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「1. はい」「2. いいえ」のどちらかに○を、Dについては現在の利用回数を、Eについては希望利用回数をご記入ください。

A 知っている

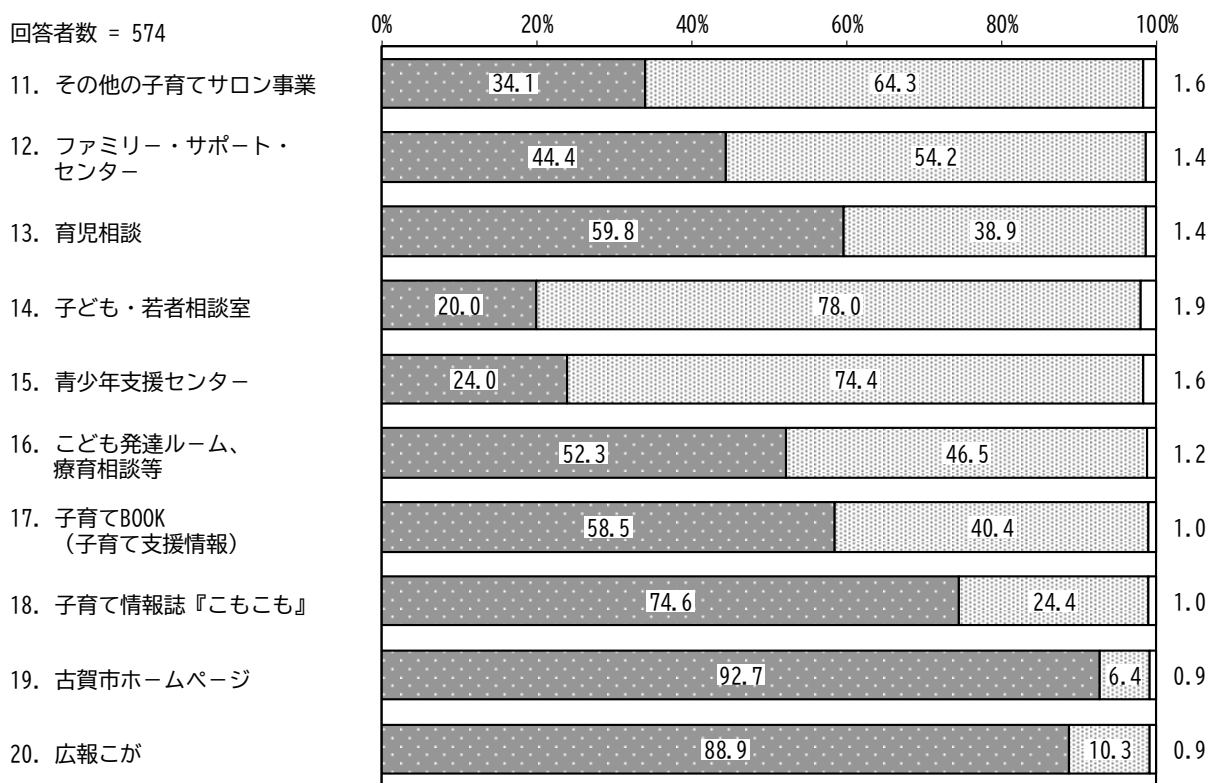
1. すこやか教室

『19. 古賀市ホームページ』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『14. 子ども・若者相談室』『15. 青少年支援センター』で「いいえ」の割合が高くなっています。



■ はい ■ いいえ □ 無回答

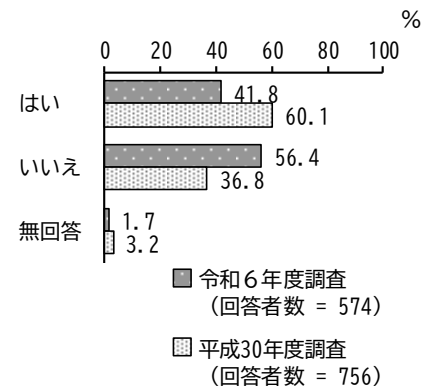
回答者数 = 574



(前ページのグラフ 続き)

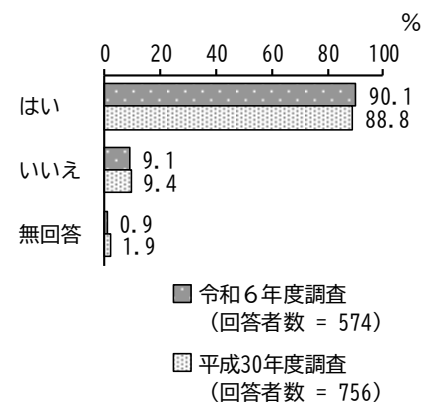
1. すこやか教室

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



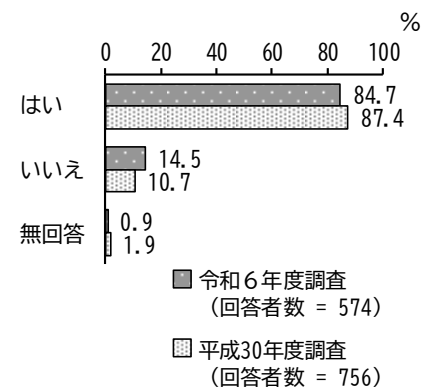
2. 赤ちゃん訪問

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



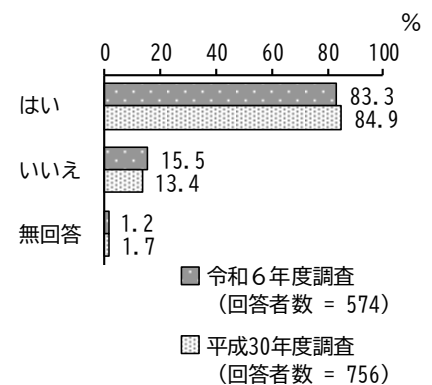
3. ブックスタート事業

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



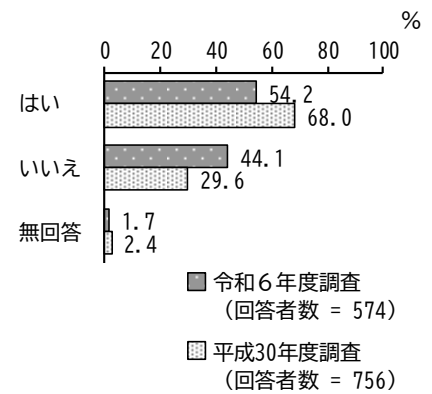
4. 離乳食教室

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



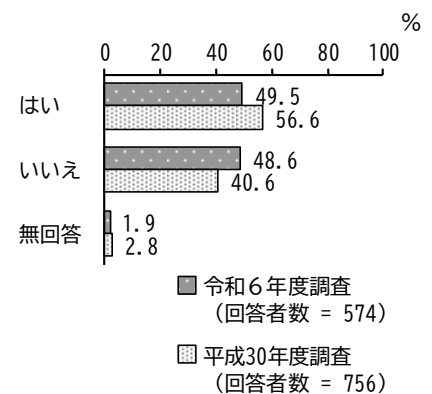
5. 1歳誕生広場

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



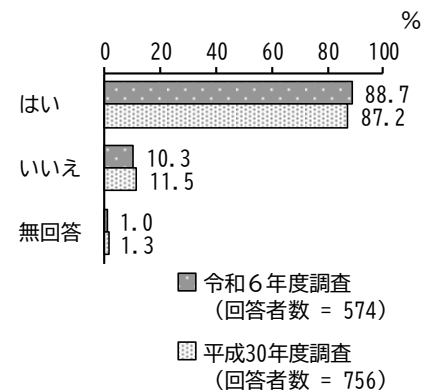
6. セカンドブック事業

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



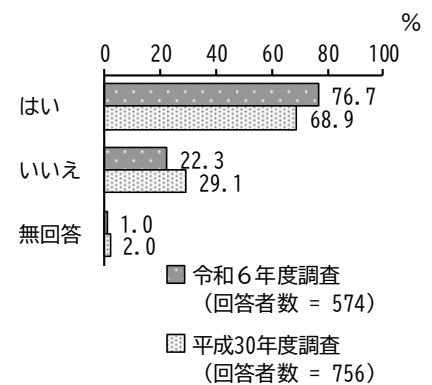
7. つどいの広場『でんでんむし』

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



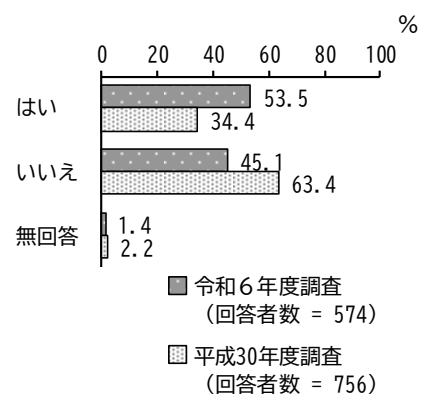
8. 児童センター

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



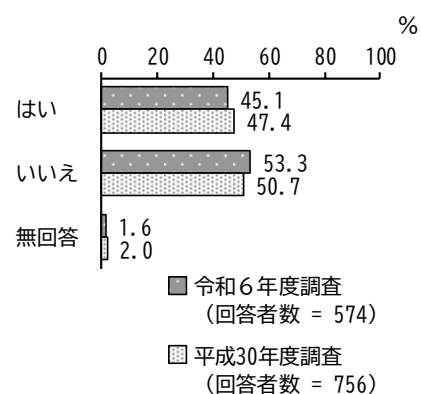
9. ミニつどいの広場

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



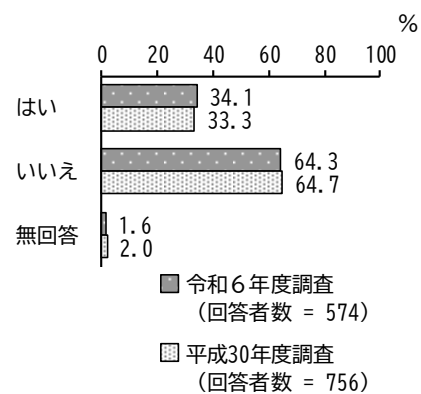
10. わくわく体験くらぶ、園庭開放

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



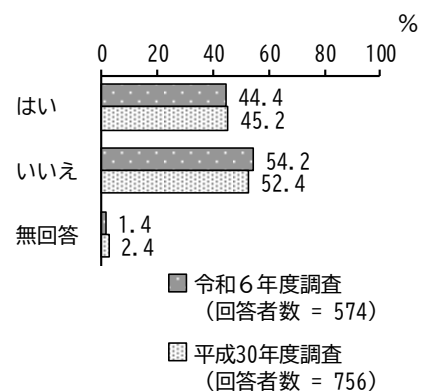
11. その他の子育てサロン事業

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



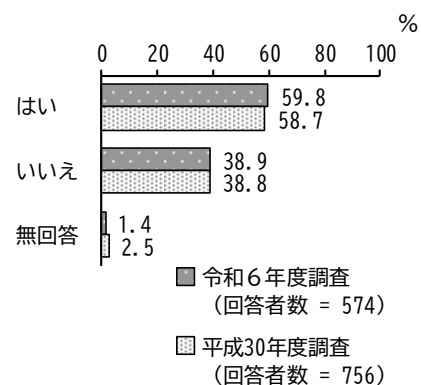
12. ファミリー・サポート・センター

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



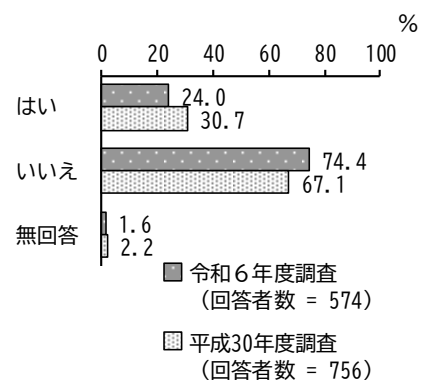
13. 育児相談

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



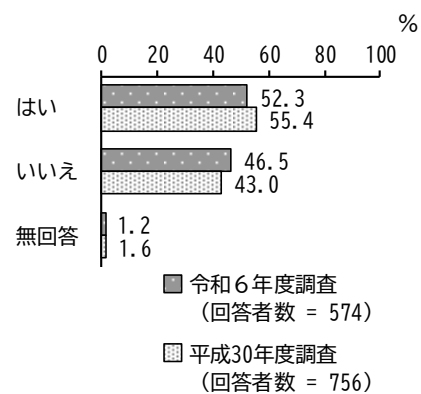
15. 青少年支援センター

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



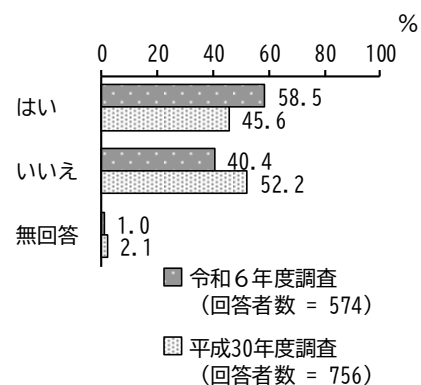
16. こども発達ルーム、療育相談等

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



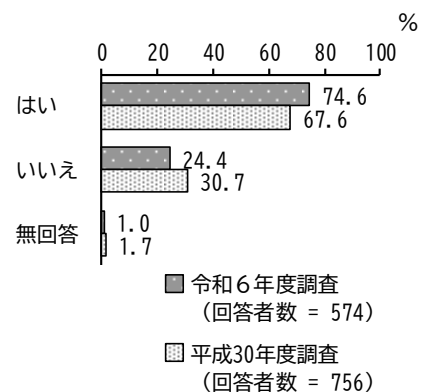
17. 子育て BOOK（子育て支援情報）

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



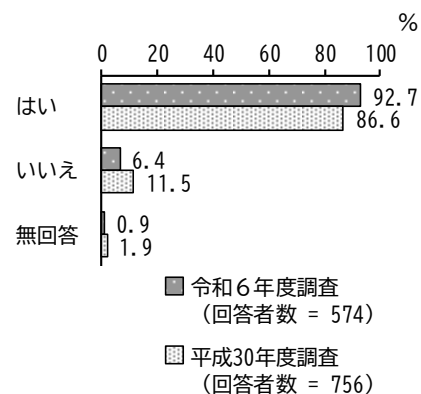
18. 子育て情報誌『こもこも』

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



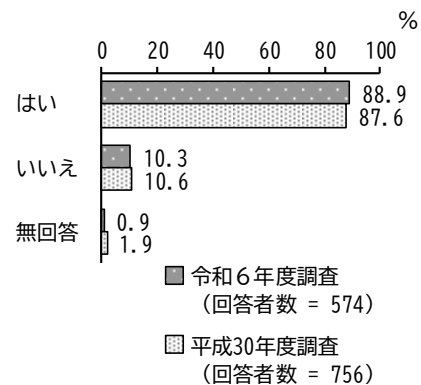
19. 古賀市ホームページ

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



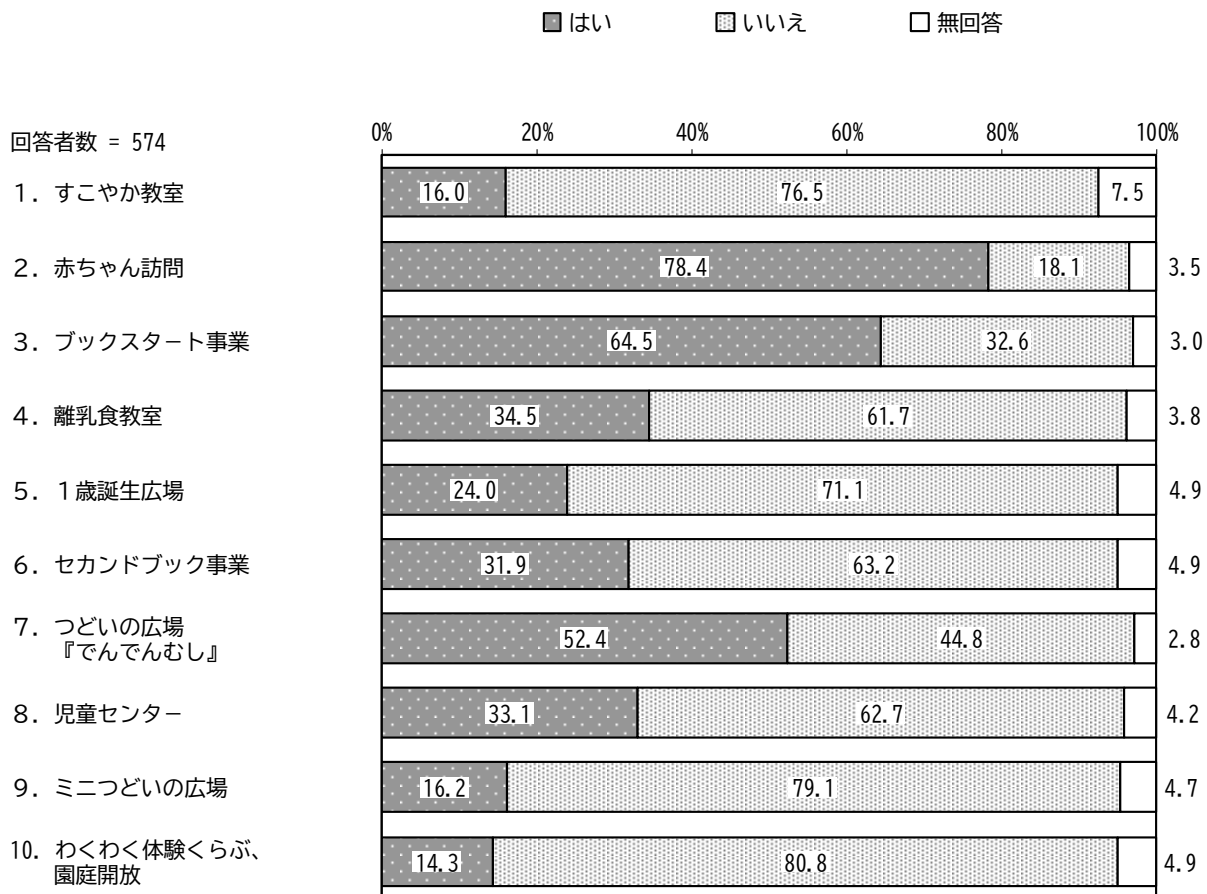
20. 広報こが

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



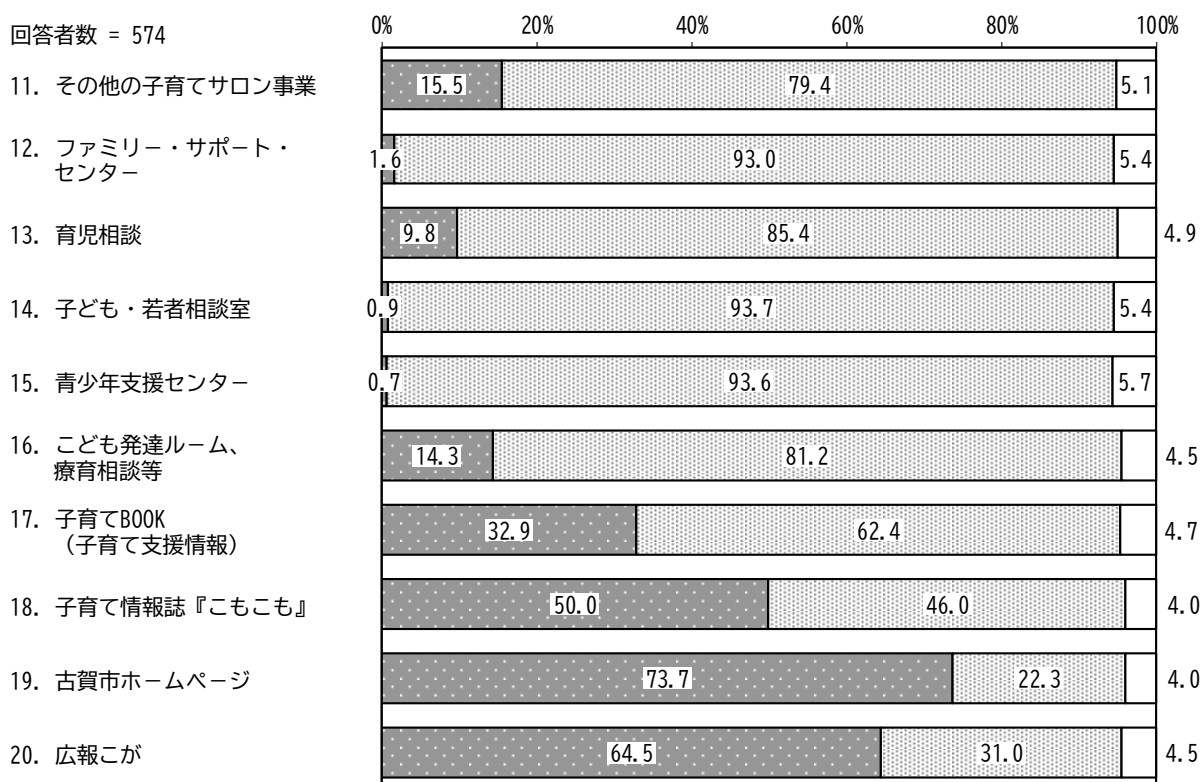
B これまでに利用したことがある

『2. 赤ちゃん訪問』『19. 古賀市ホームページ』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『12. ファミリー・サポート・センター』『14. 子ども・若者相談室』『15. 青少年支援センター』で「いいえ」の割合が高くなっています。



■ はい ■ いいえ □ 無回答

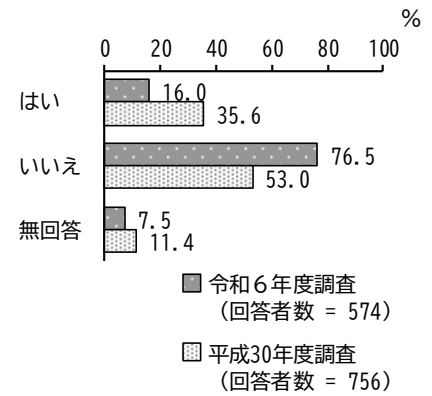
回答者数 = 574



(前ページのグラフ 続き)

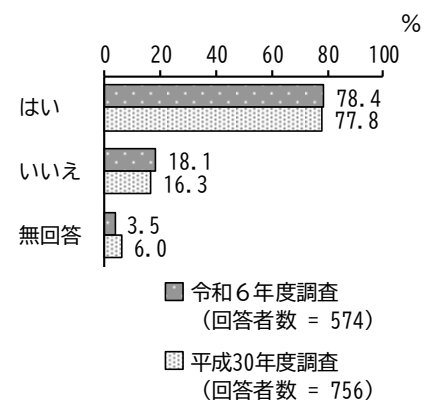
1. すこやか教室

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



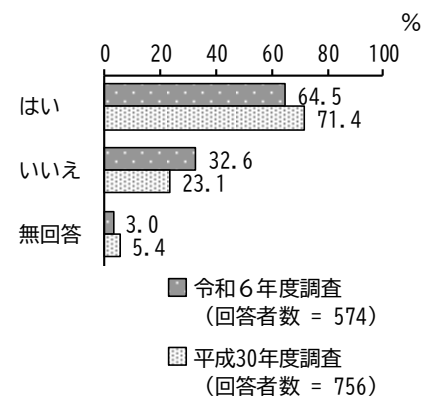
2. 赤ちゃん訪問

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



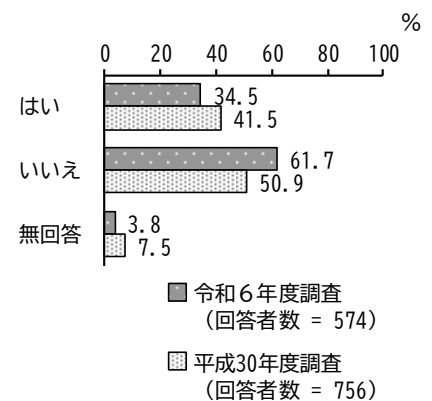
3. ブックスタート事業

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



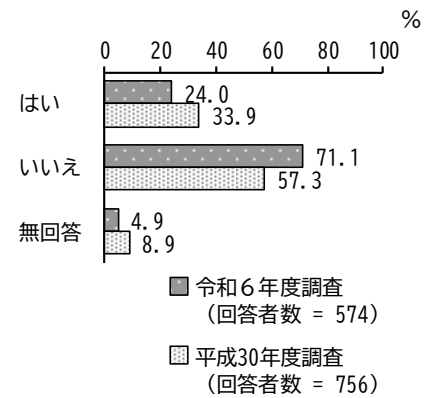
4. 離乳食教室

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



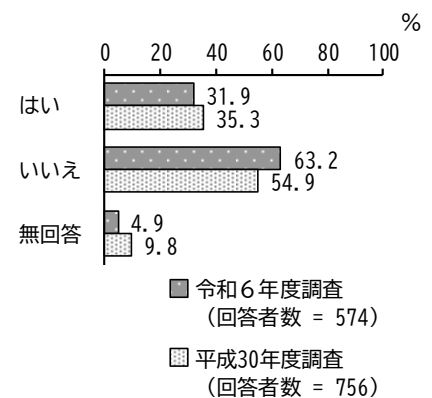
5. 1歳誕生広場

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



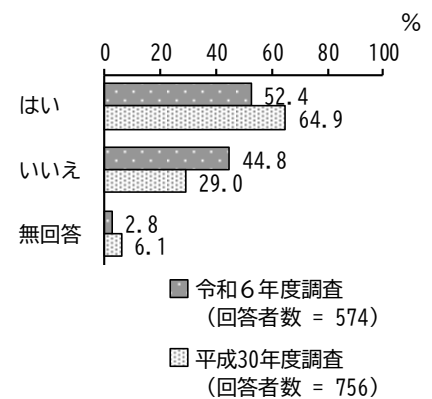
6. セカンドブック事業

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



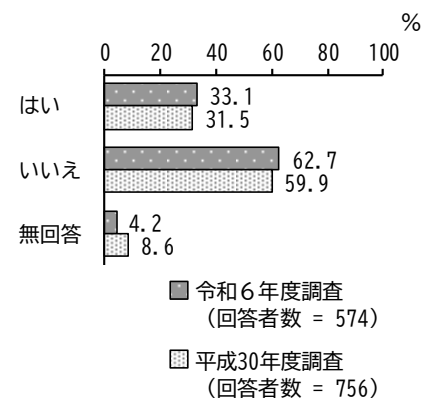
7. つどいの広場『でんでんむし』

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



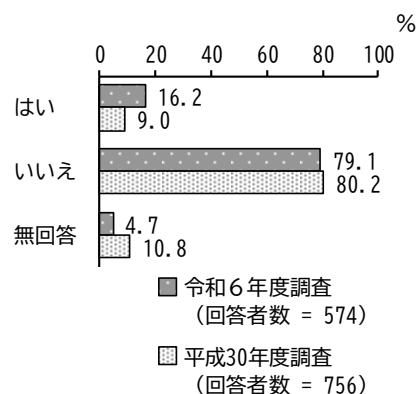
8. 児童センター

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



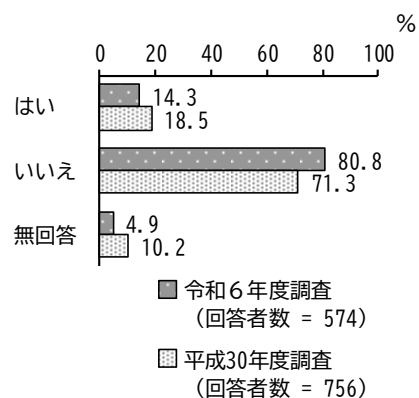
9. ミニつどいの広場

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



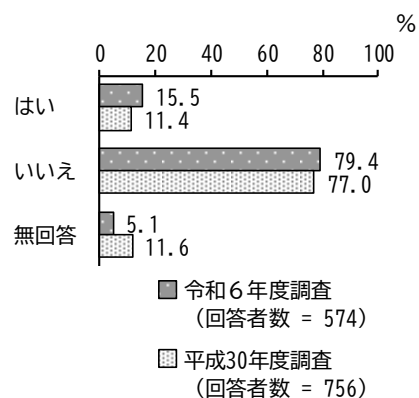
10. わくわく体験くらぶ、園庭開放

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



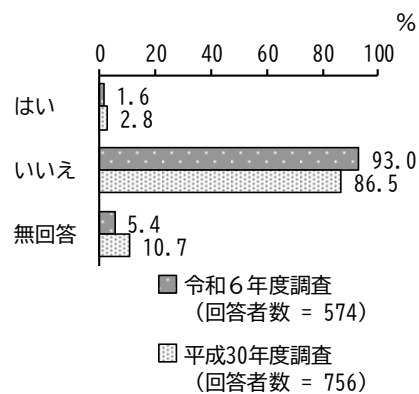
11. その他の子育てサロン事業

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



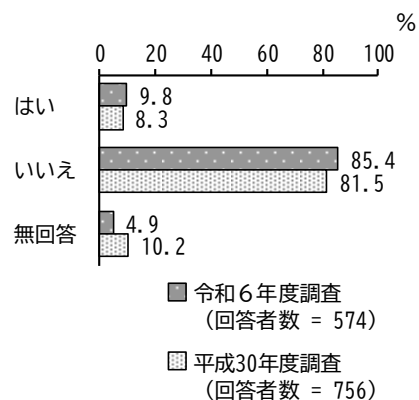
12. ファミリー・サポート・センター

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



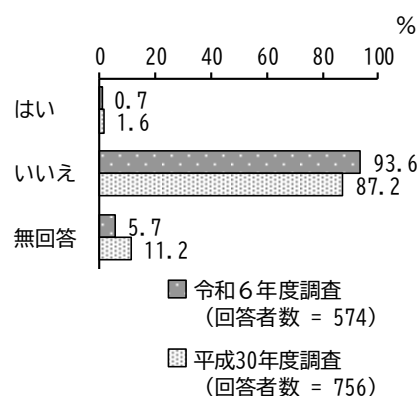
13. 育児相談

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



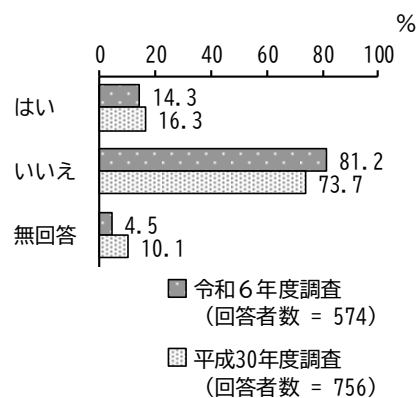
15. 青少年支援センター

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



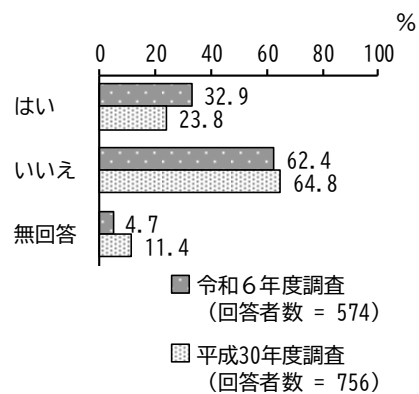
16. こども発達ルーム、療育相談等

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



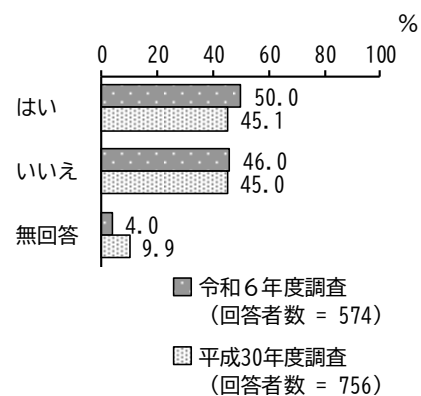
17. 子育て BOOK（子育て支援情報）

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



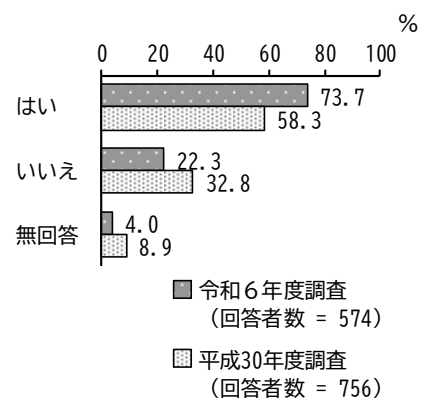
18. 子育て情報誌『こもこも』

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



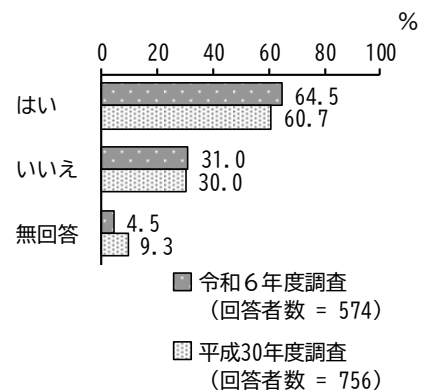
19. 古賀市ホームページ

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



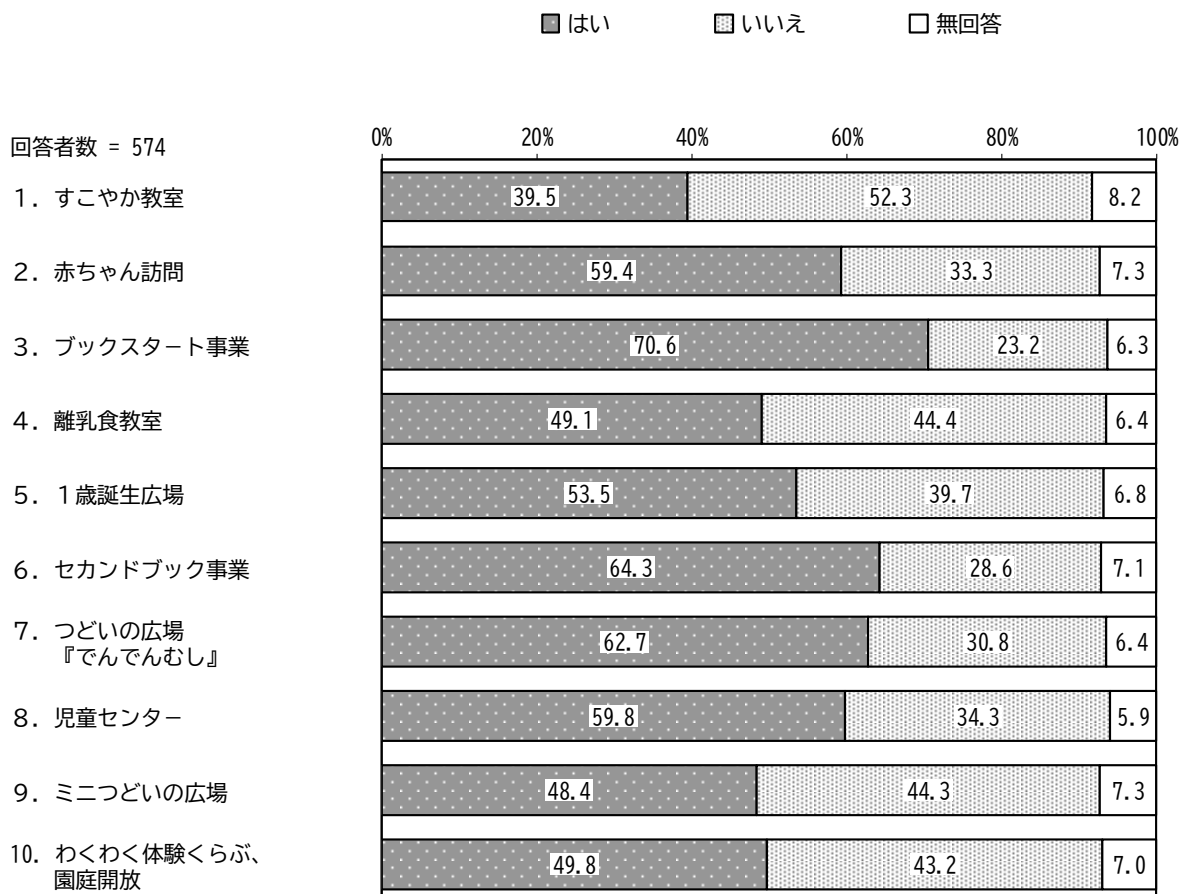
20. 広報こが

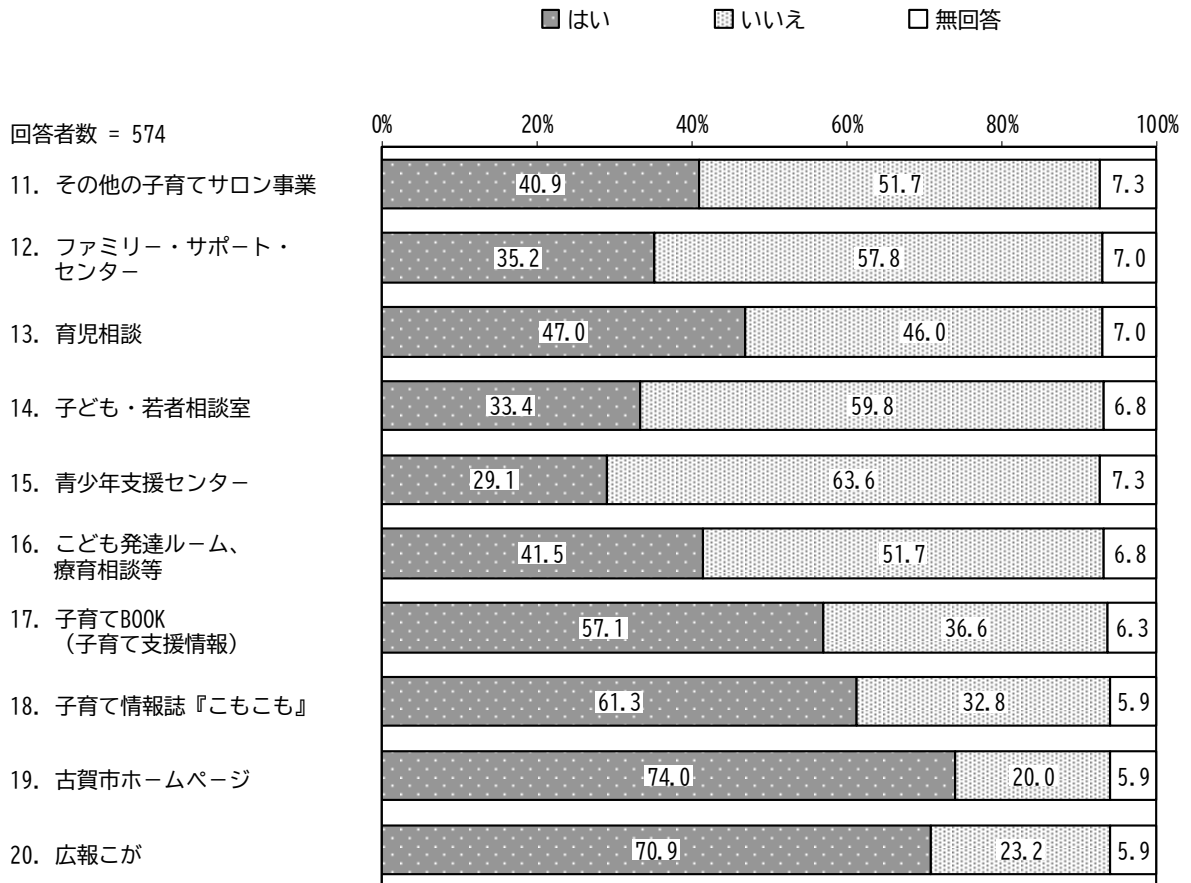
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



C 今後利用したい（したかった）

『3. ブックスタート事業』『19. 古賀市ホームページ』『20. 広報こが』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『12. ファミリー・サポート・センター』『14. 子ども・若者相談室』『15. 青少年支援センター』で「いいえ」の割合が高くなっています。

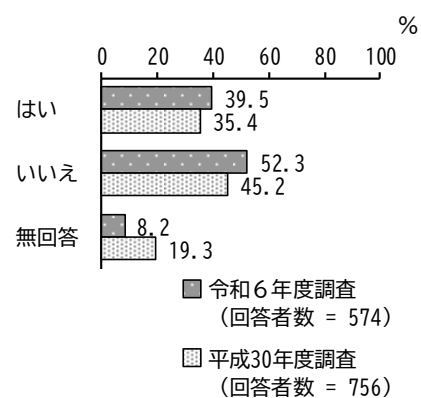




(前ページのグラフ 続き)

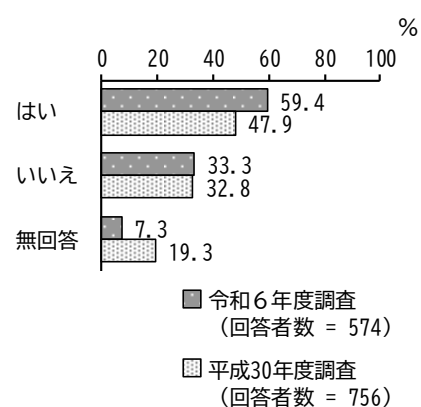
1. すこやか教室

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



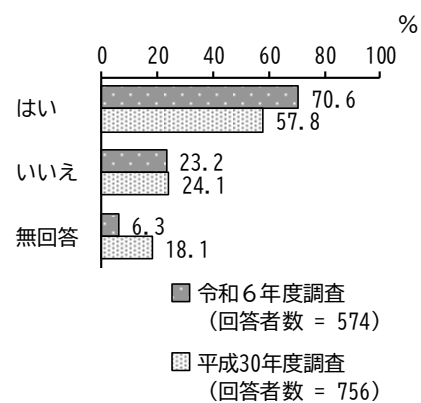
2. 赤ちゃん訪問

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



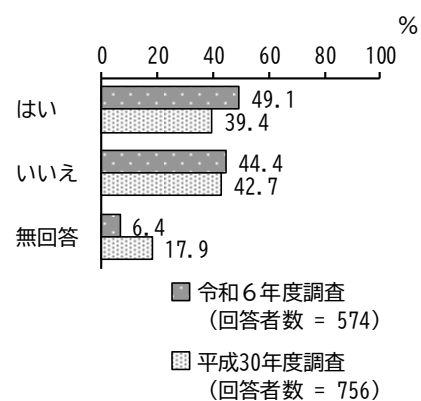
3. ブックスタート事業

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



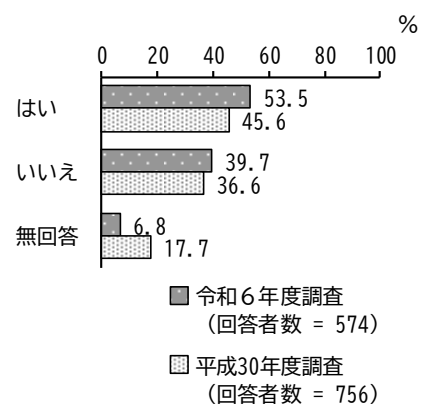
4. 離乳食教室

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



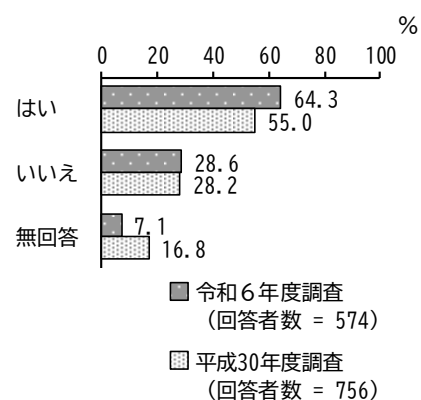
5. 1歳誕生広場

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



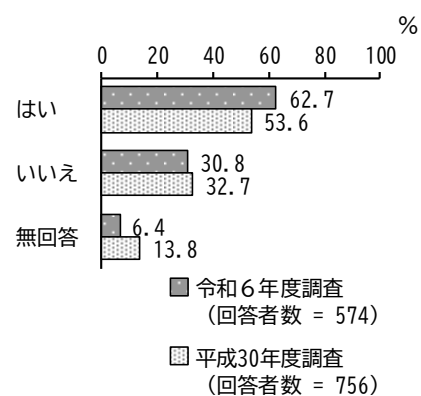
6. セカンドブック事業

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



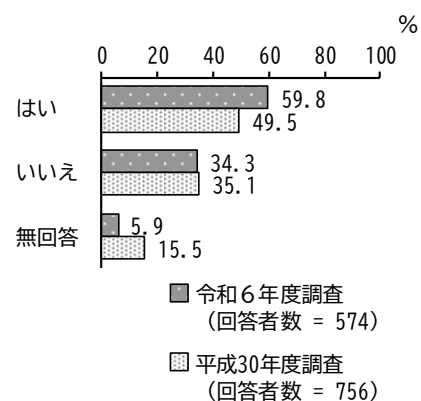
7. つどいの広場『でんでんむし』

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



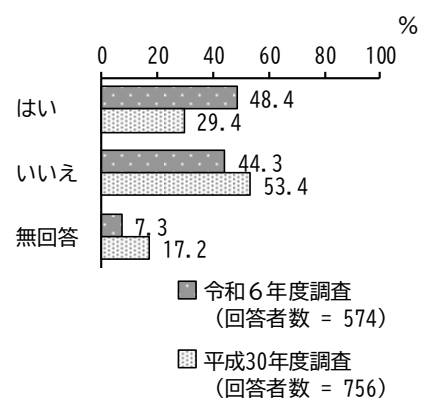
8. 児童センター

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



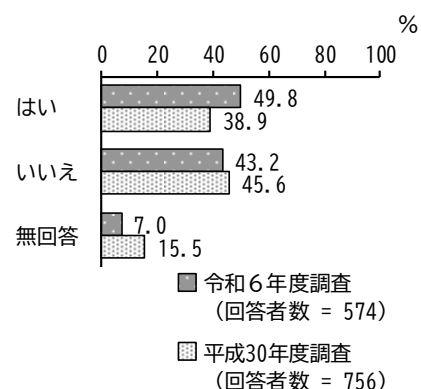
9. ミニつどいの広場

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



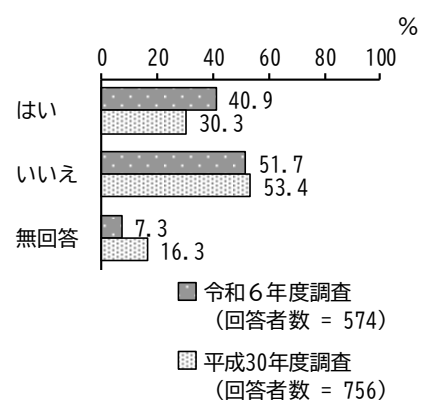
10. わくわく体験くらぶ、園庭開放

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



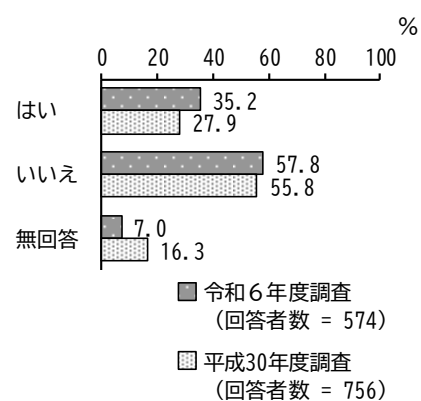
11. その他の子育てサロン事業

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



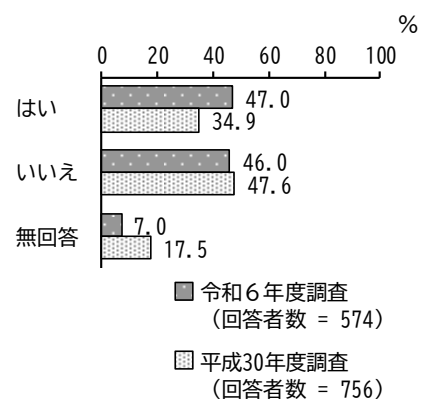
12. ファミリー・サポート・センター

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



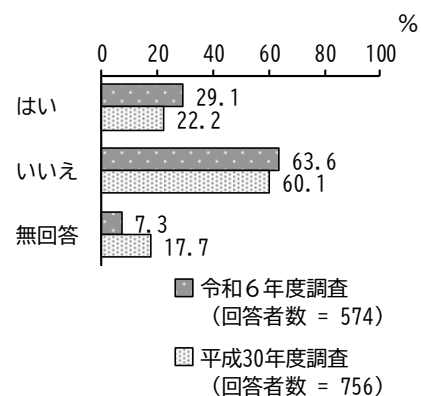
13. 育児相談

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



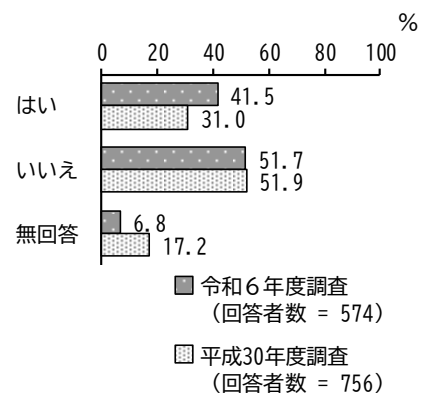
15. 青少年支援センター

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



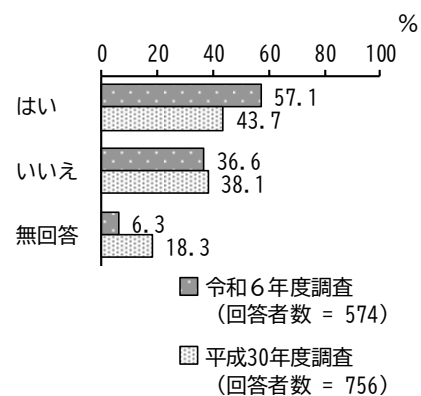
16. こども発達ルーム、療育相談等

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



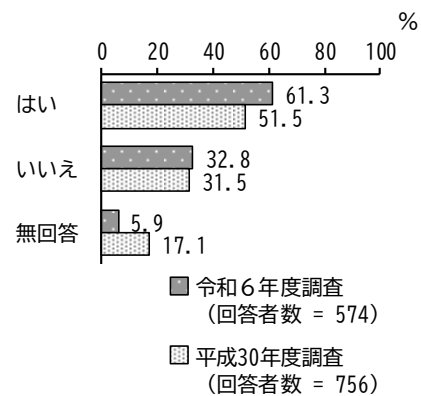
17. 子育て BOOK（子育て支援情報）

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



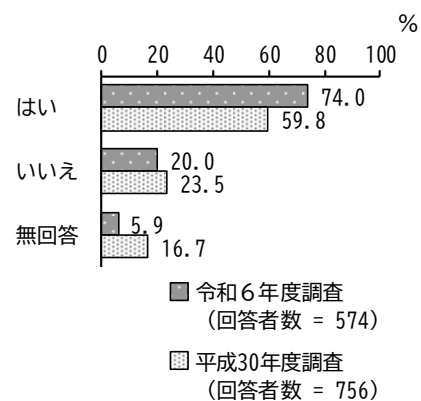
18. 子育て情報誌『こもこも』

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



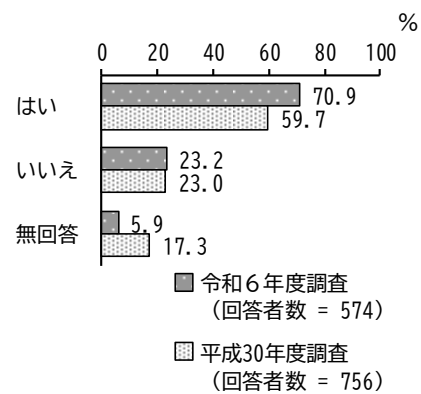
19. 古賀市ホームページ

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



20. 広報こが

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



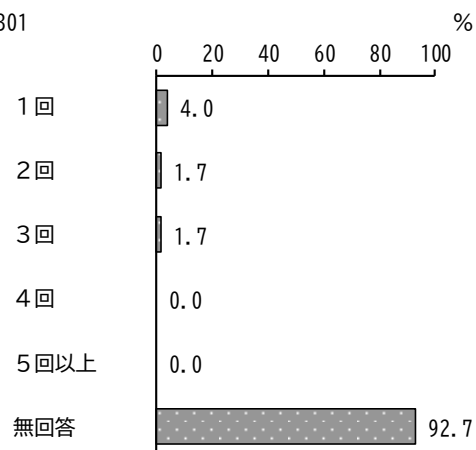
D 現在の利用回数

7. つどいの広場『でんでんむし』

週あたり利用回数

「1回」の割合が4.0%と最も高くなっています。

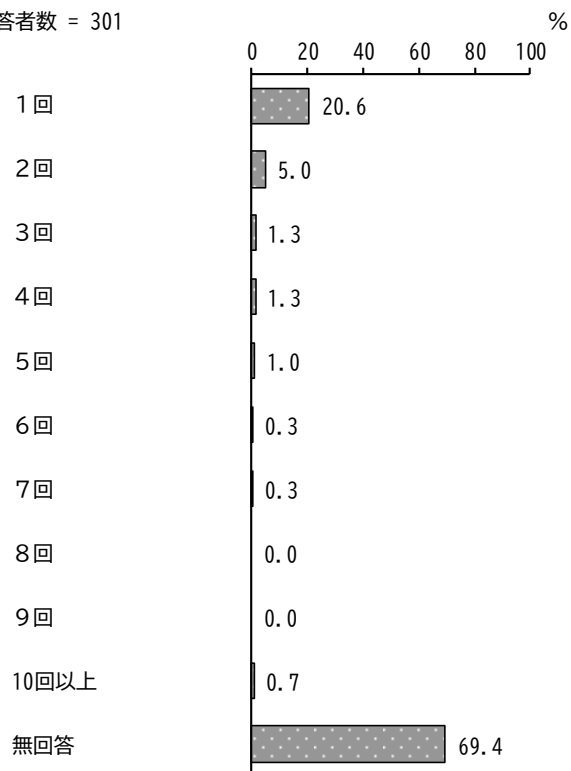
回答者数 = 301



月あたり利用回数

「1回」の割合が20.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 301

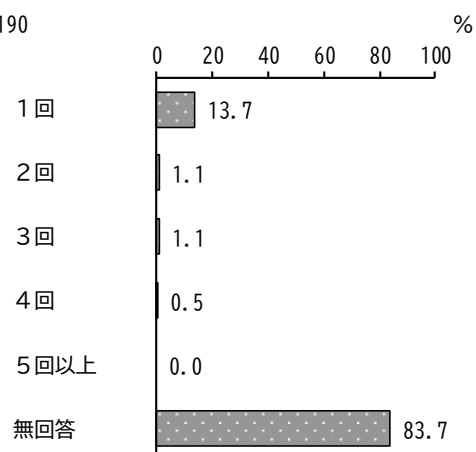


8. 児童センター

週あたり利用回数

「1回」の割合が13.7%と最も高くなっています。

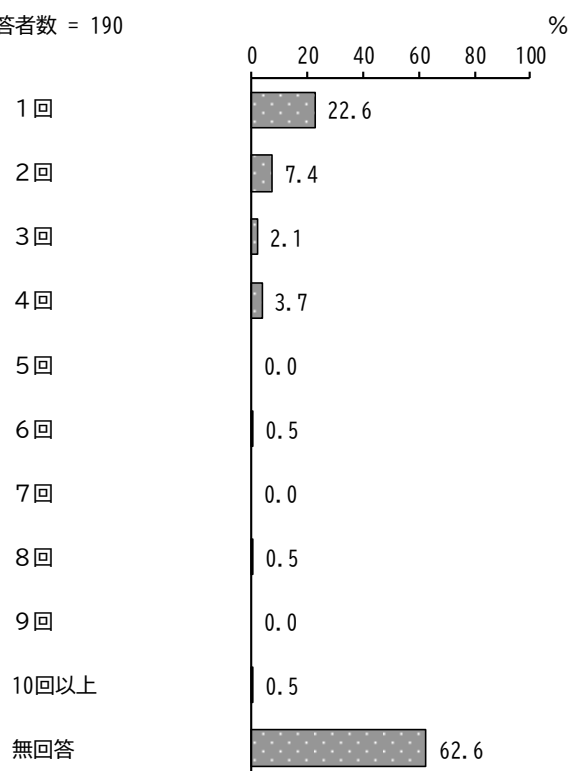
回答者数 = 190



月あたり利用回数

「1回」の割合が22.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 190



9. ミニつどいの広場 月あたり利用回数

「1回」の割合が22.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 93

1回

22.6

2回

2.2

3回

0.0

4回

0.0

5回

0.0

6回

0.0

7回

0.0

8回

0.0

9回

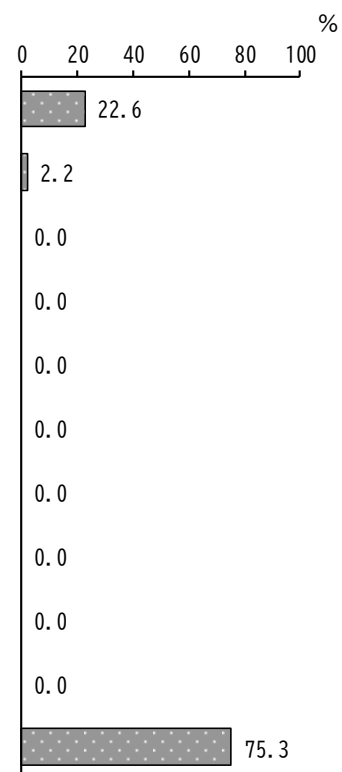
0.0

10回以上

0.0

無回答

75.3

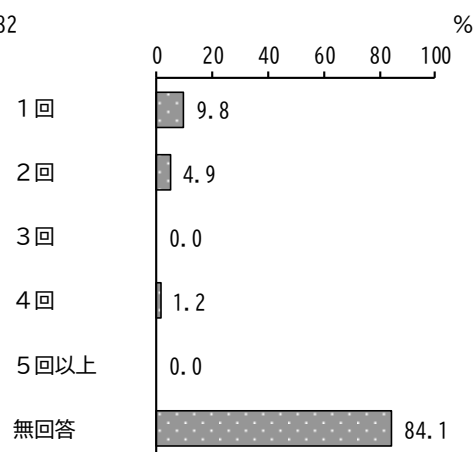


10. わくわく体験くらぶ、園庭開放

週あたり利用回数

「1回」の割合が9.8%と最も高くなっています。

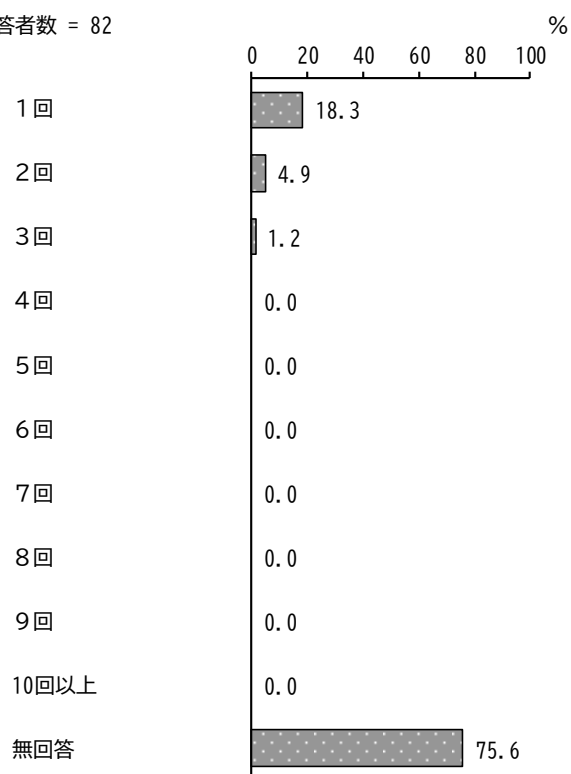
回答者数 = 82



月あたり利用回数

「1回」の割合が18.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 82

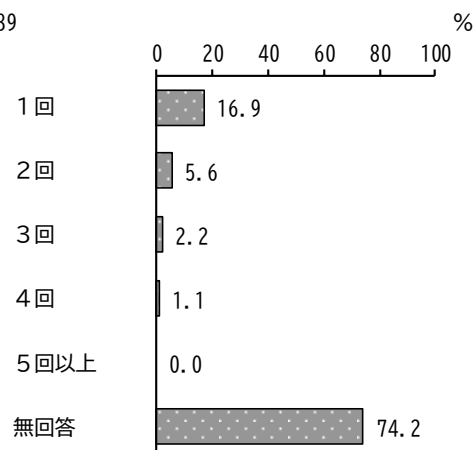


11. その他の子育てサロン事業

週あたり利用回数

「1回」の割合が16.9%と最も高くなっています。

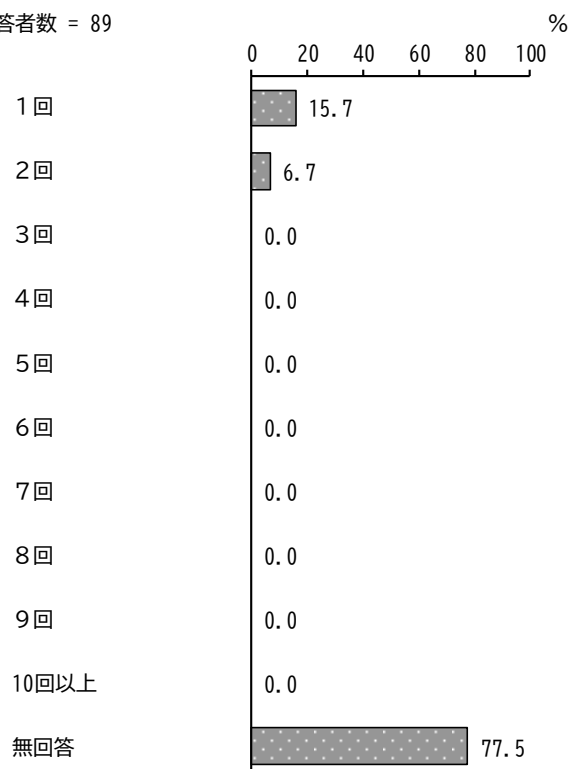
回答者数 = 89



月あたり利用回数

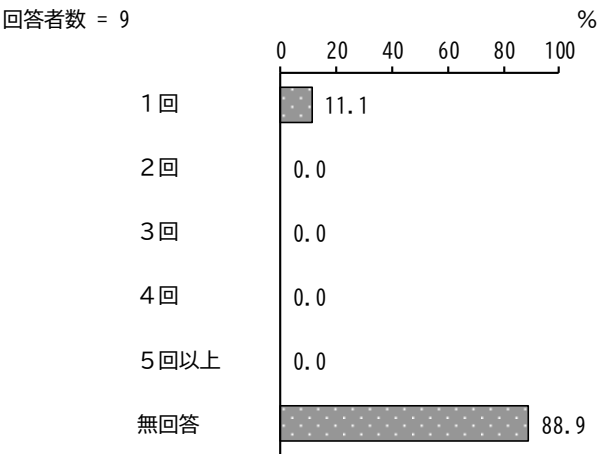
「1回」の割合が15.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 89



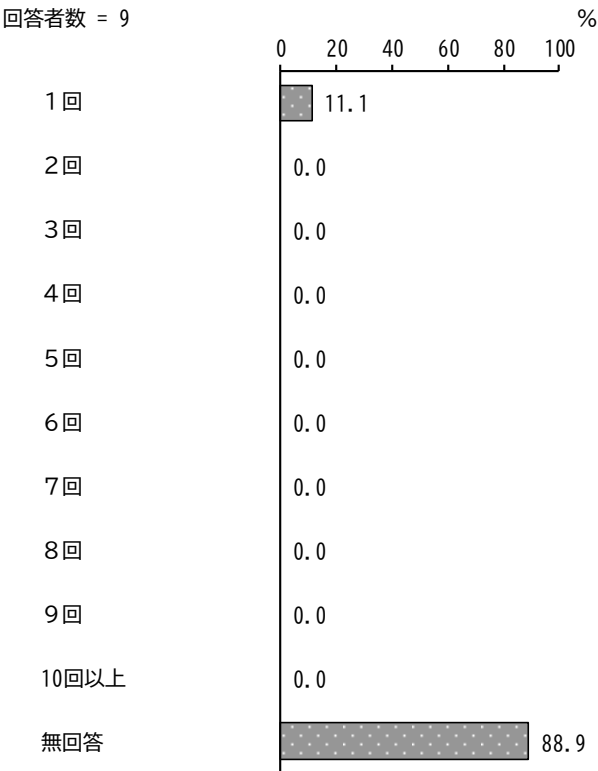
12. ファミリー・サポート・センター
週あたり利用回数

「1回」が1件となっています。



月あたり利用回数

「1回」が1件となっています。



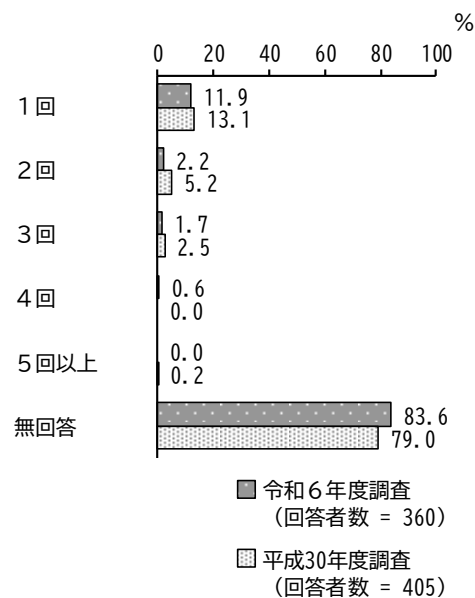
E 今後の希望利用回数

7. つどいの広場『でんでんむし』

週あたり利用回数

「1回」の割合が11.9%と最も高くなっています。

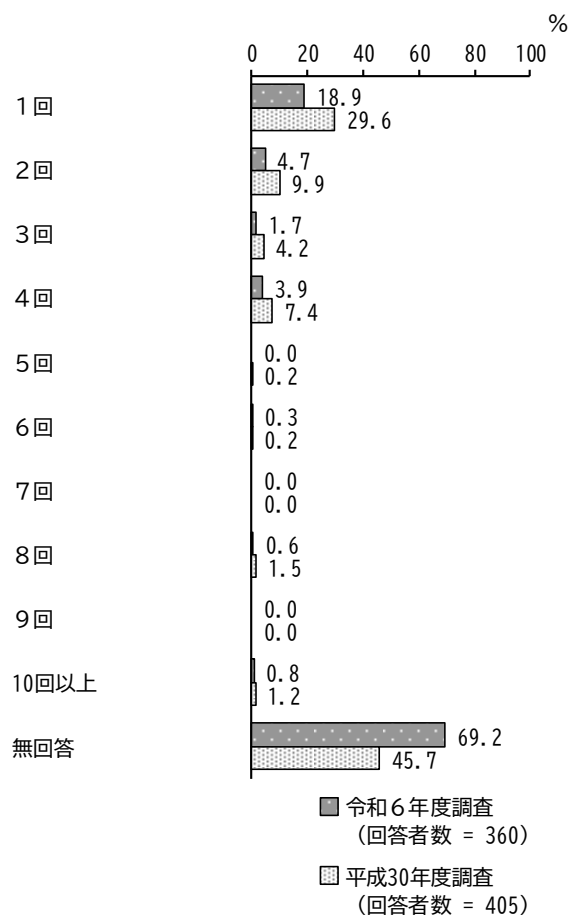
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



月あたり利用回数

「1回」の割合が18.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「1回」「2回」の割合が減少しています。

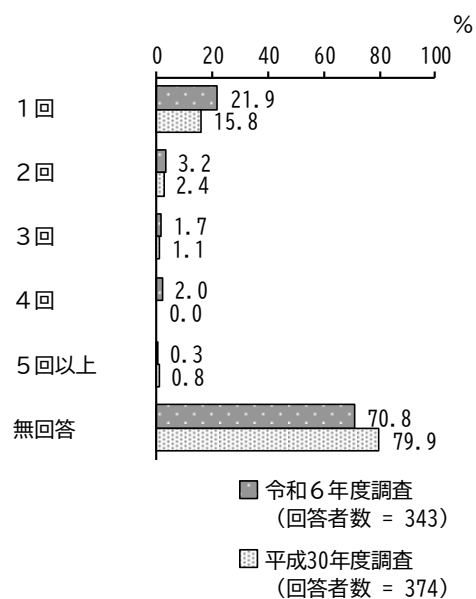


8. 児童センター

週あたり利用回数

「1回」の割合が21.9%と最も高くなっています。

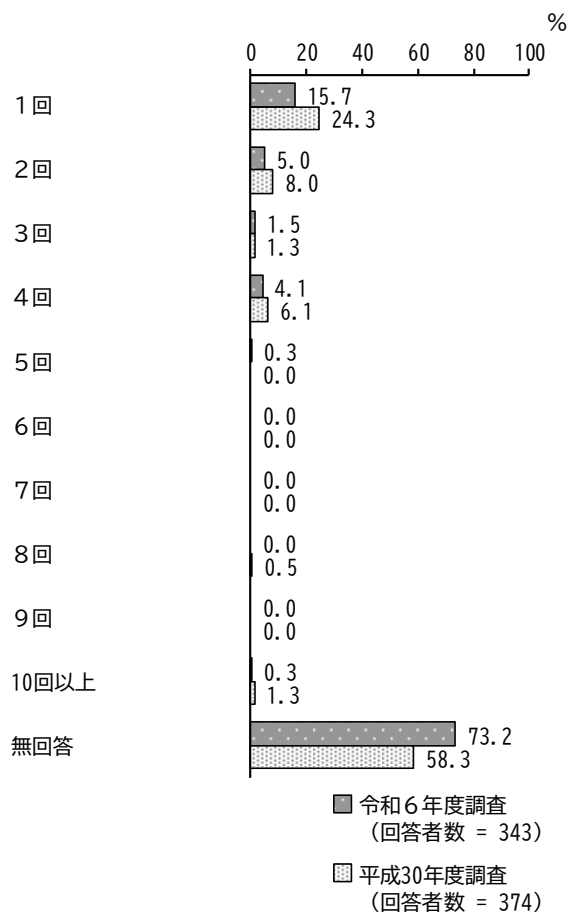
平成30年度調査と比較すると、「1回」の割合が増加しています。



月あたり利用回数

「1回」の割合が15.7%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「1回」の割合が減少しています。

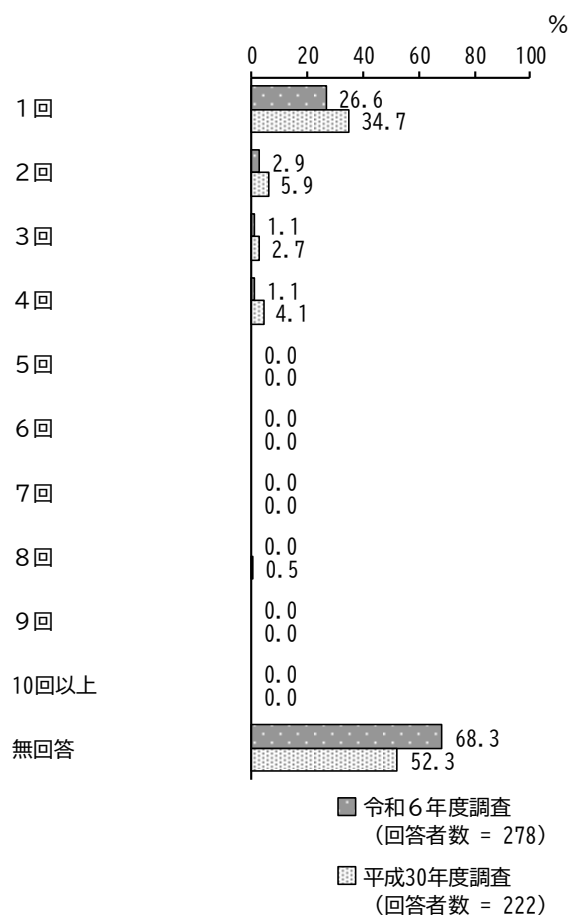


9. ミニつどいの広場

月あたり利用回数

「1回」の割合が26.6%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「1回」の割合が減少しています。

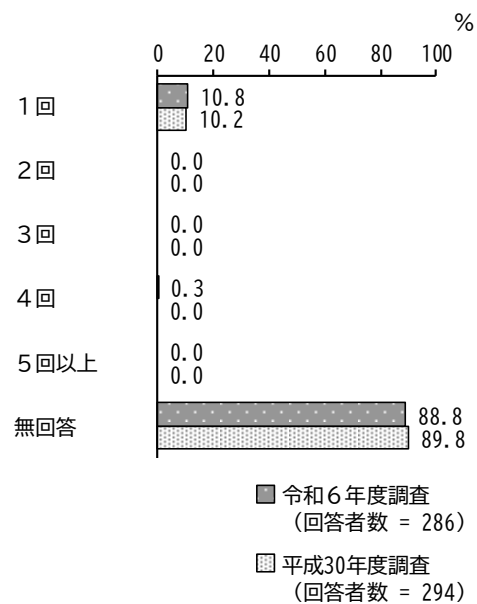


10. わくわく体験くらぶ、園庭開放

週あたり利用回数

「1回」の割合が10.8%と最も高くなっています。

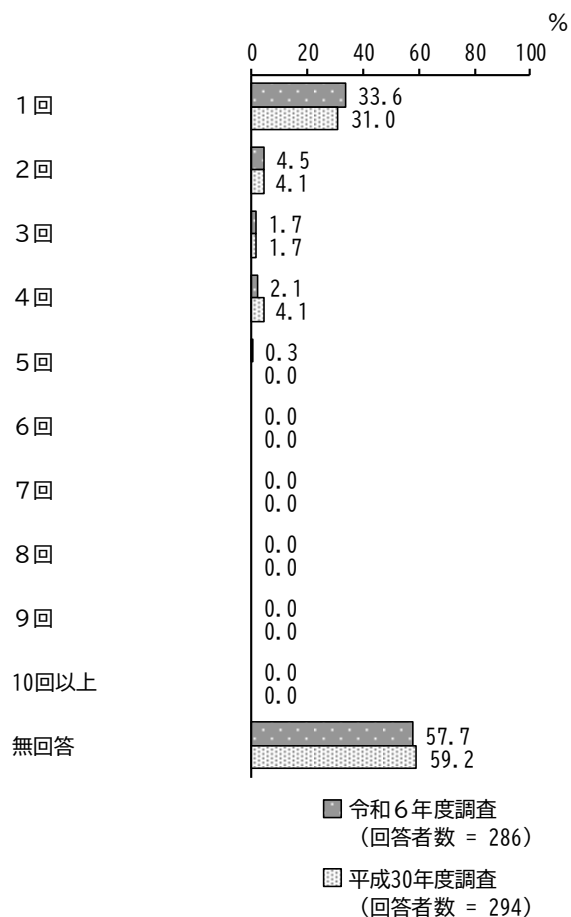
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



月あたり利用回数

「1回」の割合が33.6%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

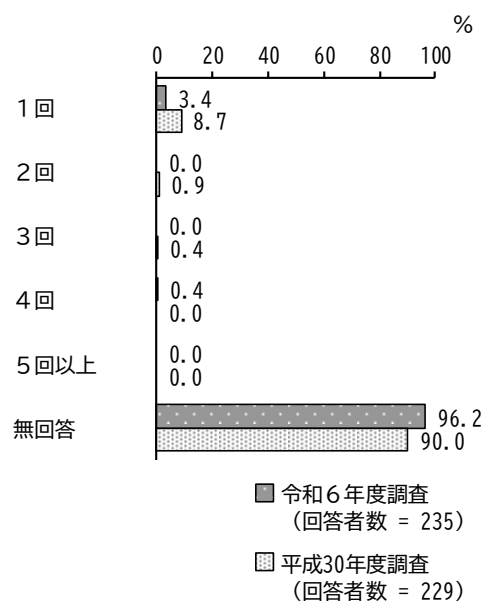


11. その他の子育てサロン事業

週あたり利用回数

「1回」の割合が3.4%と最も高くなっています。

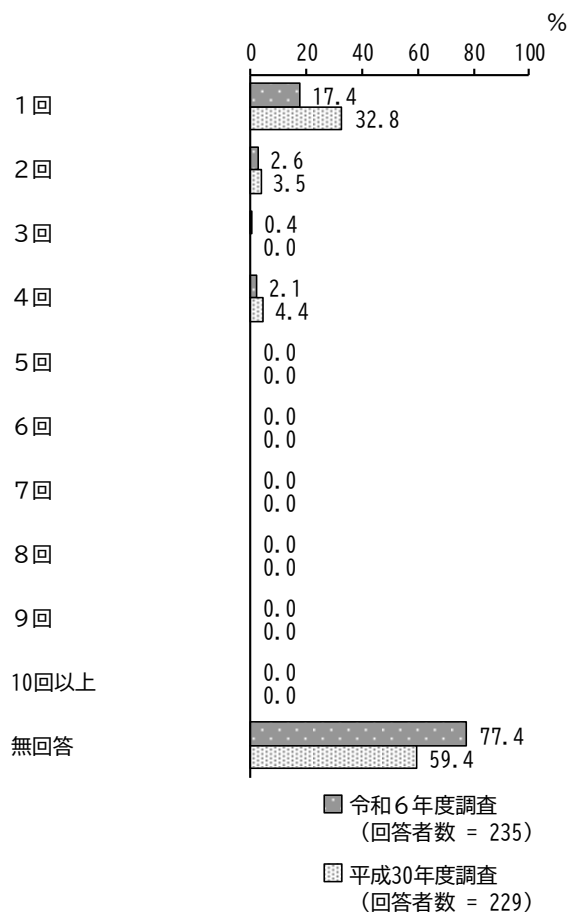
平成30年度調査と比較すると、「1回」の割合が減少しています。



月あたり利用回数

「1回」の割合が17.4%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「1回」の割合が減少しています。

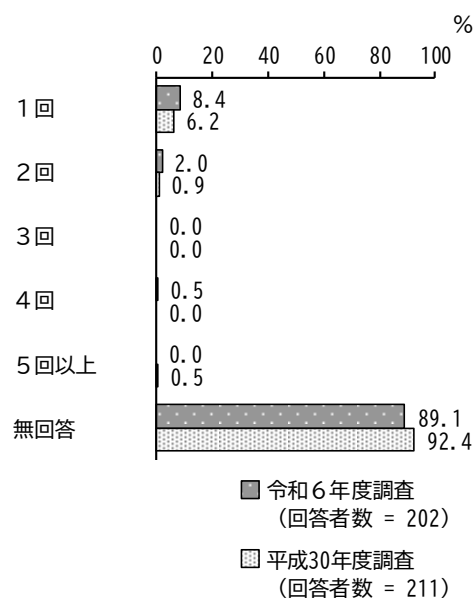


12. ファミリー・サポート・センター

週あたり利用回数

「1回」の割合が8.4%と最も高くなっています。

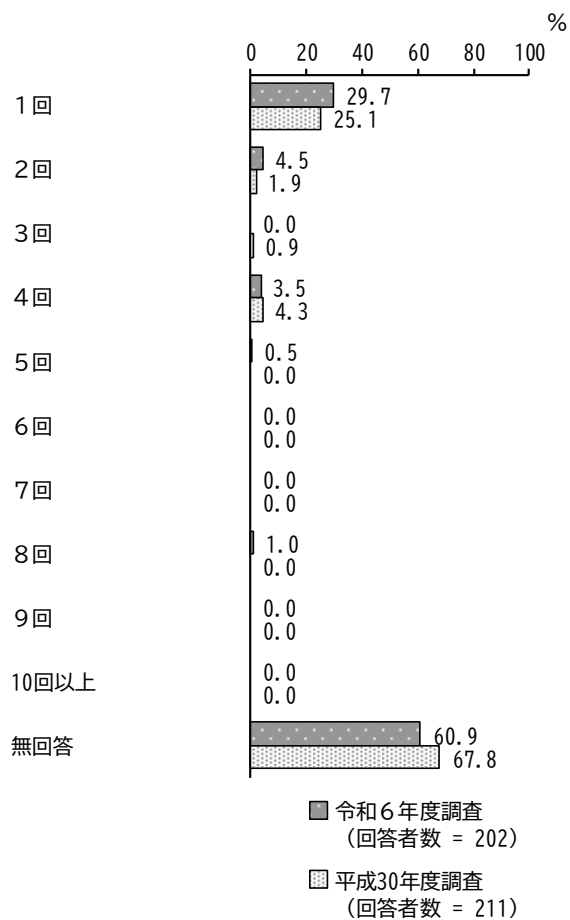
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



月あたり利用回数

「1回」の割合が29.7%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



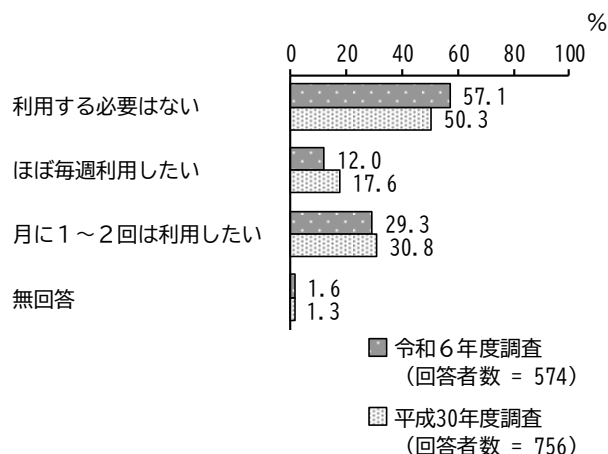
（５）土曜・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

問 14 対象のお子さんについて、平日以外に定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、24 時間表示でご記入ください。

（１）土曜日

「利用する必要はない」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」の割合が 29.3%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が 12.0%となっています。

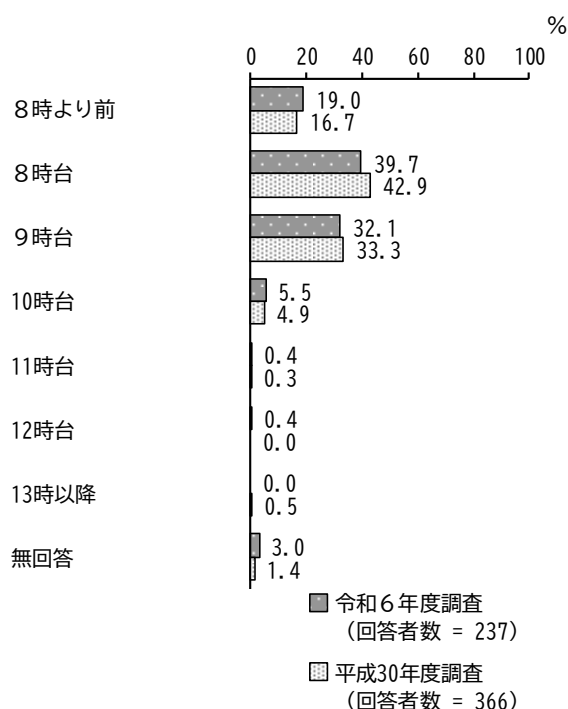
平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「ほぼ毎週利用したい」の割合が減少しています。



利用開始時間

「8時台」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が 32.1%、「8時より前」の割合が 19.0%となっています。

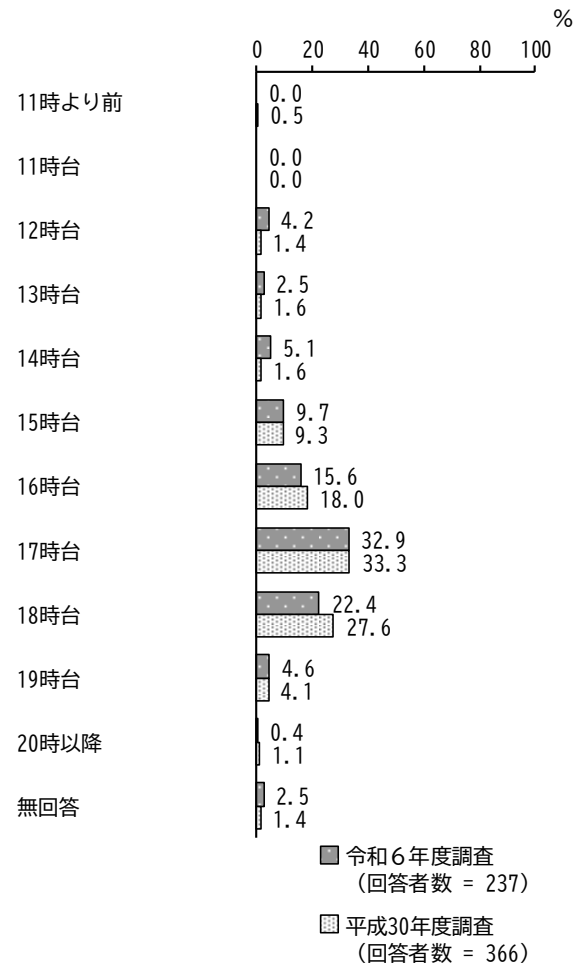
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用終了時間

「17 時台」の割合が 32.9%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 22.4%、「16 時台」の割合が 15.6%となっています。

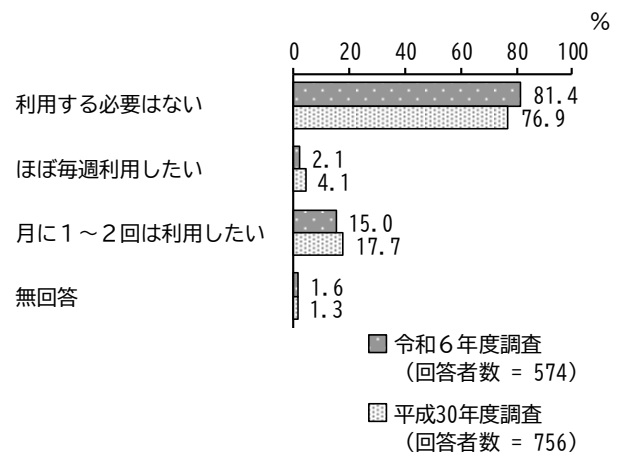
平成 30 年度調査と比較すると、「18 時台」の割合が減少しています。



(2) 日曜日・祝日

「利用する必要はない」の割合が 81.4%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 15.0%となっています。

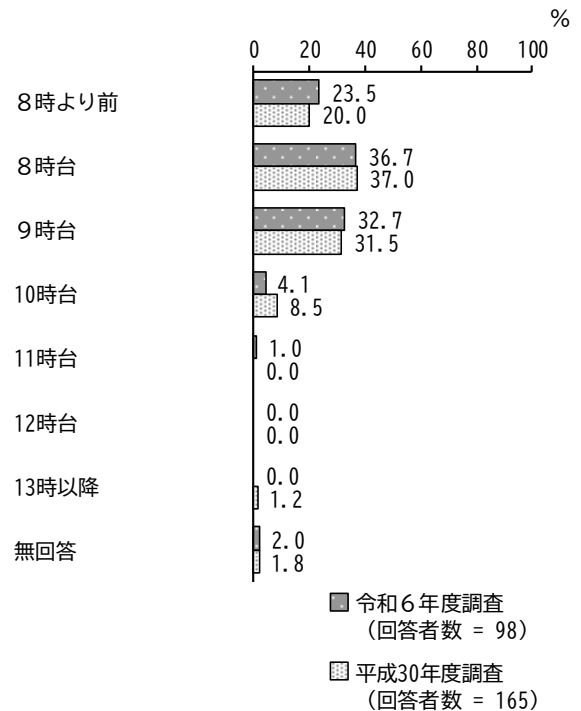
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用開始時間

「8時台」の割合が36.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が32.7%、「8時より前」の割合が23.5%となっています。

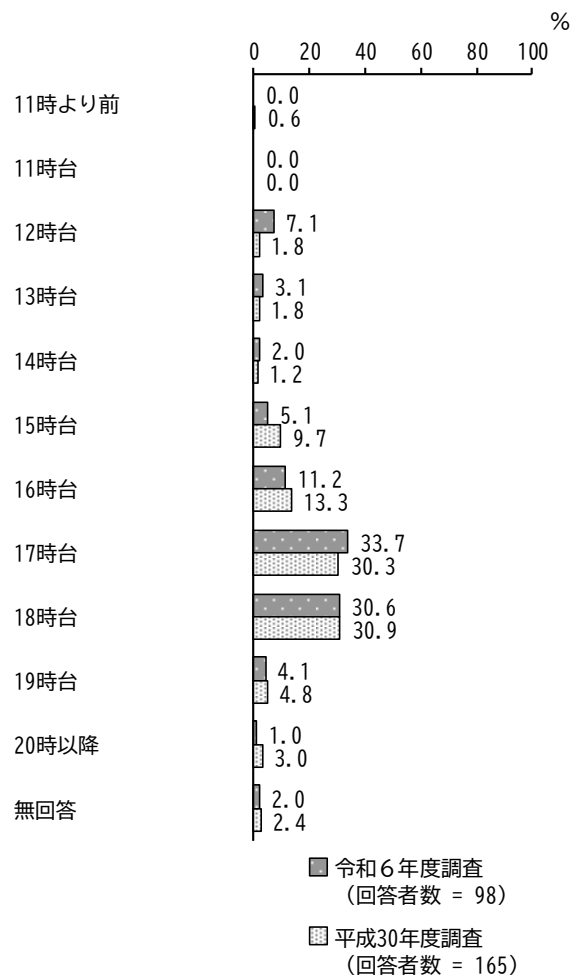
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用終了時間

「17時台」の割合が33.7%と最も高く、次いで「18時台」の割合が30.6%、「16時台」の割合が11.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「12時台」の割合が増加しています。

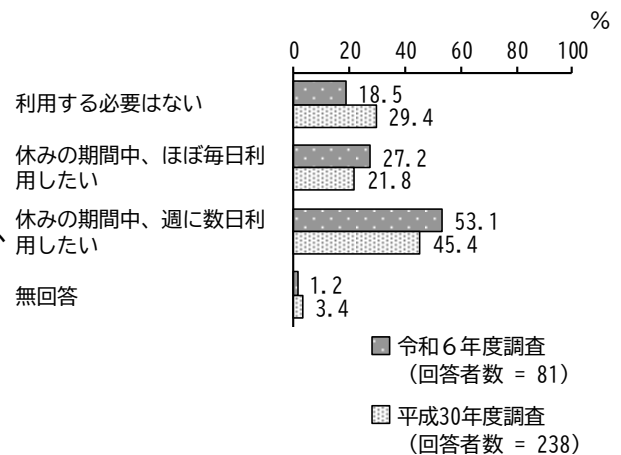


「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問 15 対象のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に教育・保育事業を利用したいですか。希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間表示でご記入ください。

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が 27.2%、「利用する必要はない」の割合が 18.5%となっています。

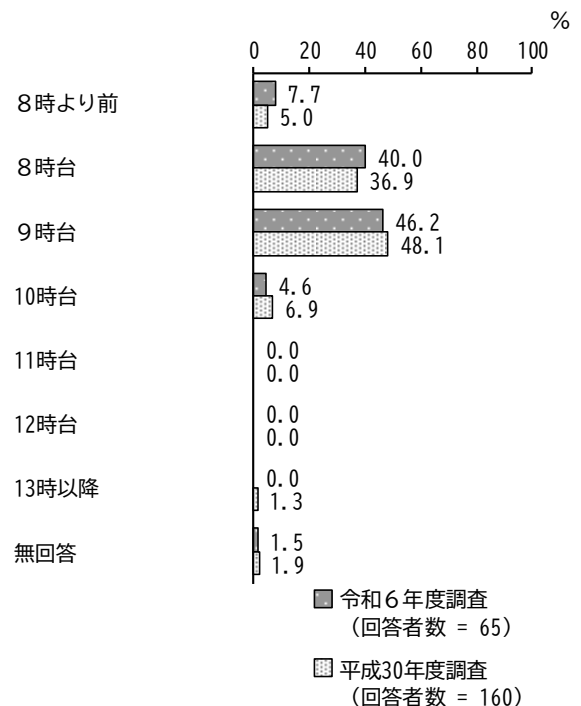
平成 30 年度調査と比較すると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用する必要はない」の割合が減少しています。



利用開始時間

「9時台」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「8時台」の割合が 40.0%となっています。

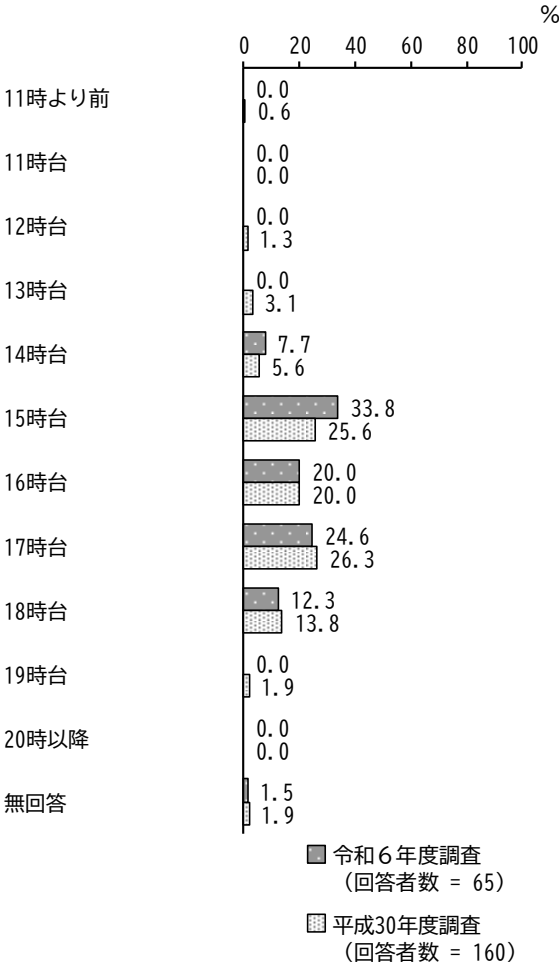
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用終了時間

「15 時台」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 24.6%、「16 時台」の割合が 20.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「15 時台」の割合が増加しています。



（６）お子さんの病気の際の対応について

問 16 あなたは市内に、病児保育があることを知っていますか。当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

独立行政法人福岡東医療センター「たんぽぽ」

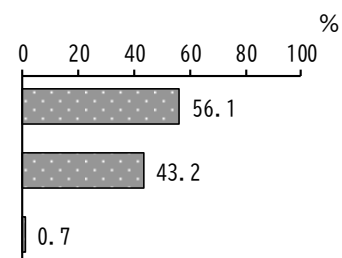
「知っている」の割合が 56.1%、「知らない」の割合が 43.2%となっています。

回答者数 = 574

知っている

知らない

無回答



こでまり小児科クリニック「ここん・こが」

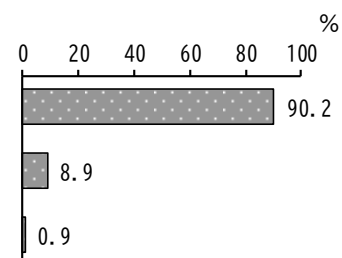
「知っている」の割合が 90.2%、「知らない」の割合が 8.9%となっています。

回答者数 = 574

知っている

知らない

無回答

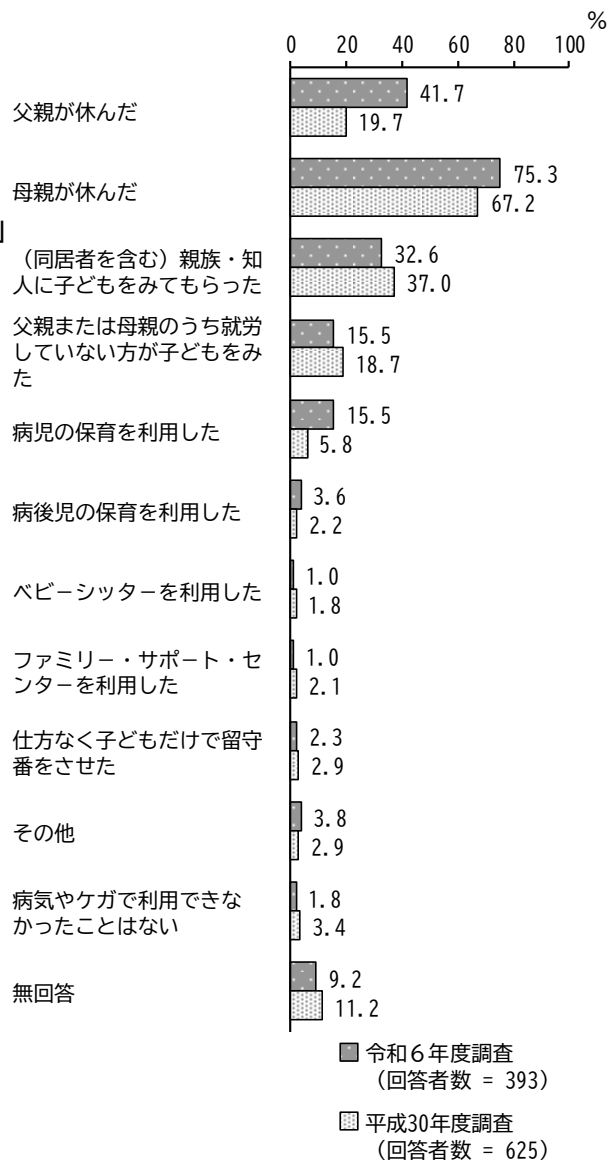


平日の教育・保育事業を利用している方のみにかかっています。

問 16-1 対象のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

「母親が休んだ」の割合が75.3%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が41.7%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が32.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」「母親が休んだ」「病児の保育を利用した」の割合が増加しています。



【その他の内容】

- ・職場に連れて行った。
- ・発達支援施設
- ・里親
- ・祖母（遠くの）

【年齢別】

年齢別にみると、0歳で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	子どもをみてもらった (同居者を含む)親族・知人に	父親または母親のうち就労して いない方が子どもをみた	病児の保育を利用した	病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センタ ーを利用した	仕方なく子どもだけで留守番 をさせた	その他	病気やケガで利用できなかった ことはない	無回答
全 体	393	41.7	75.3	32.6	15.5	15.5	3.6	1.0	1.0	2.3	3.8	1.8	9.2
0歳	34	44.1	82.4	35.3	8.8	5.9	—	—	—	—	5.9	—	8.8
1歳	86	44.2	81.4	34.9	12.8	19.8	4.7	1.2	1.2	2.3	5.8	2.3	8.1
2歳	2	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0
3歳	116	39.7	70.7	26.7	19.0	15.5	1.7	—	—	3.4	1.7	0.9	8.6
4歳	140	43.6	73.6	36.4	17.1	15.0	5.0	2.1	2.1	2.1	4.3	2.9	8.6
5歳	9	22.2	77.8	44.4	11.1	22.2	—	—	—	—	—	—	22.2

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

単位：％

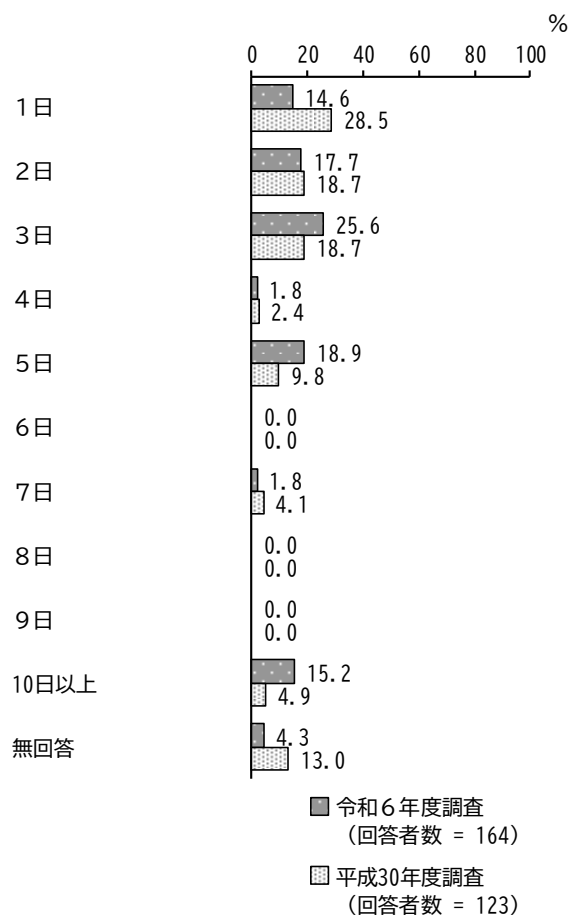
区分	回答者数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	子どもをみてもらった （同居者を含む）親族・知人に	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児の保育を利用した	病後児の保育を利用した
全 体	393	41.7	75.3	32.6	15.5	15.5	3.6
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	171	55.6	88.3	43.3	9.9	26.3	7.6
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	20	50.0	70.0	40.0	20.0	10.0	－
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	133	32.3	85.0	30.8	7.5	9.0	－
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	8	50.0	100.0	12.5	12.5	12.5	12.5
以前は就労していたが、現在は就労していない	51	21.6	13.7	5.9	52.9	2.0	－
これまで就労したことがない	7	－	14.3	－	14.3	－	－

区分	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	病気やケガで利用できなかったことはない	無回答
全 体	1.0	1.0	2.3	3.8	1.8	9.2
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	2.3	2.3	3.5	4.7	1.2	3.5
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	－	－	－	5.0	－	10.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	－	－	1.5	3.0	3.0	7.5
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	－	－	－	－	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	－	－	2.0	3.9	2.0	25.5
これまで就労したことがない	－	－	－	－	－	71.4

1. 父親が休んだ日数

「3日」の割合が 25.6%と最も高く、次いで「5日」の割合が 18.9%、「2日」の割合が 17.7%となっています。

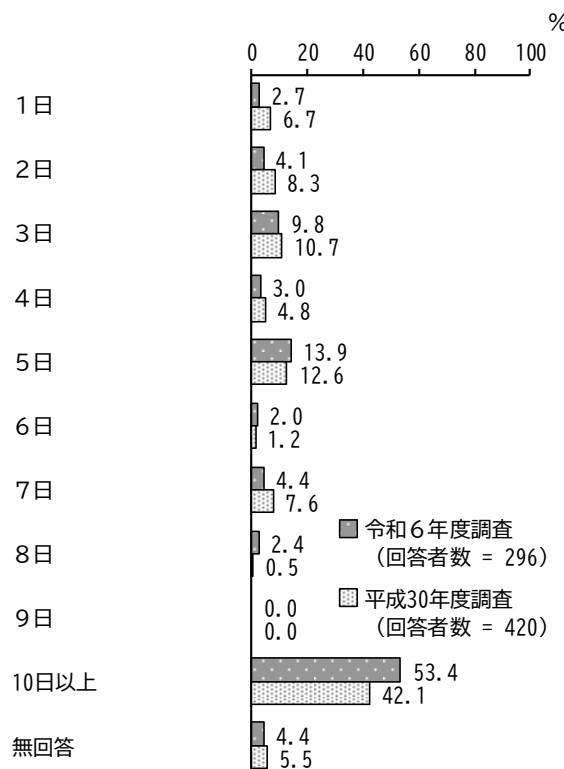
平成 30 年度調査と比較すると、「3日」「5日」「10日以上」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



2. 母親が休んだ日数

「10日以上」の割合が 53.4%と最も高く、次いで「5日」の割合が 13.9%となっています。

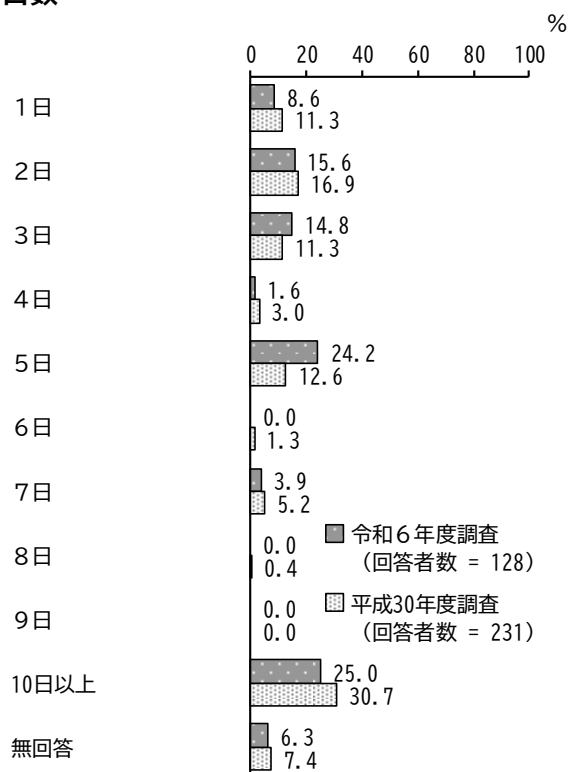
平成 30 年度調査と比較すると、「10日以上」の割合が増加しています。



3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数

「10 日以上」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「5 日」の割合が 24.2%、「2 日」の割合が 15.6%となっています。

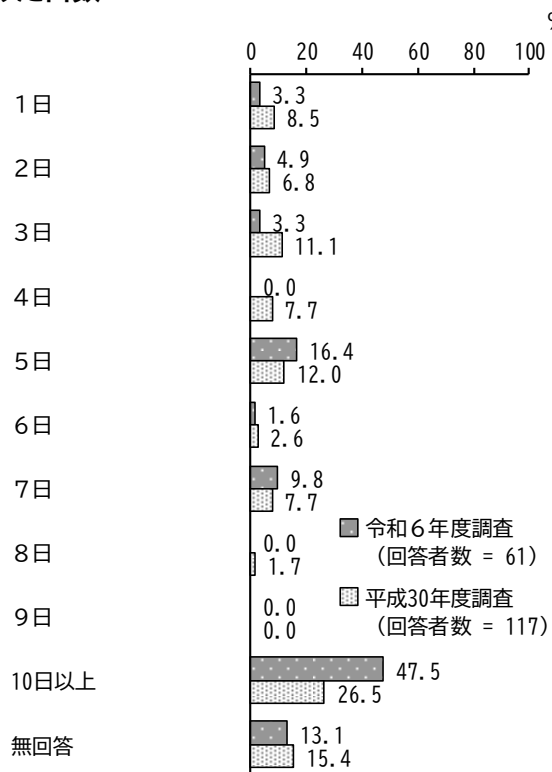
平成 30 年度調査と比較すると、「5 日」の割合が増加しています。一方、「10 日以上」の割合が減少しています。



4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数

「10 日以上」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「5 日」の割合が 16.4%となっています。

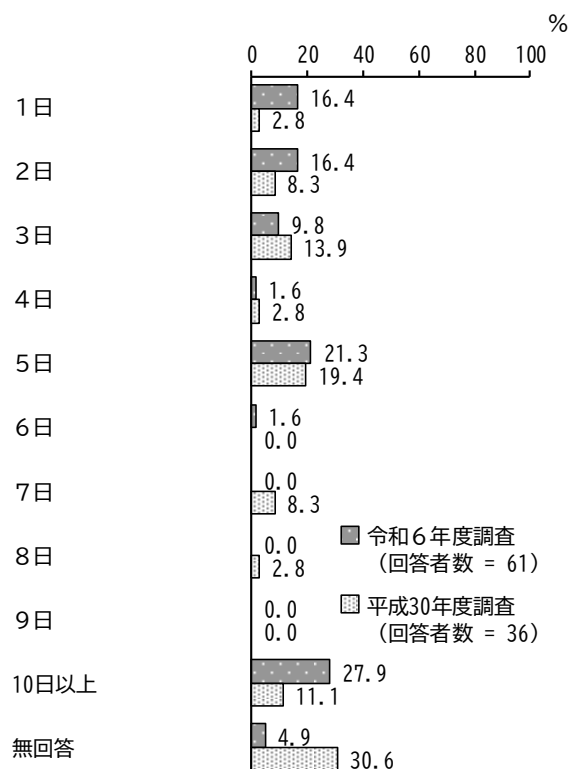
平成 30 年度調査と比較すると、「10 日以上」の割合が増加しています。一方、「1 日」「3 日」「4 日」の割合が減少しています。



5. 病児の保育を利用した日数

「10 日以上」の割合が 27.9%と最も高く、次いで「5 日」の割合が 21.3%、「1 日」、「2 日」の割合が 16.4%となっています。

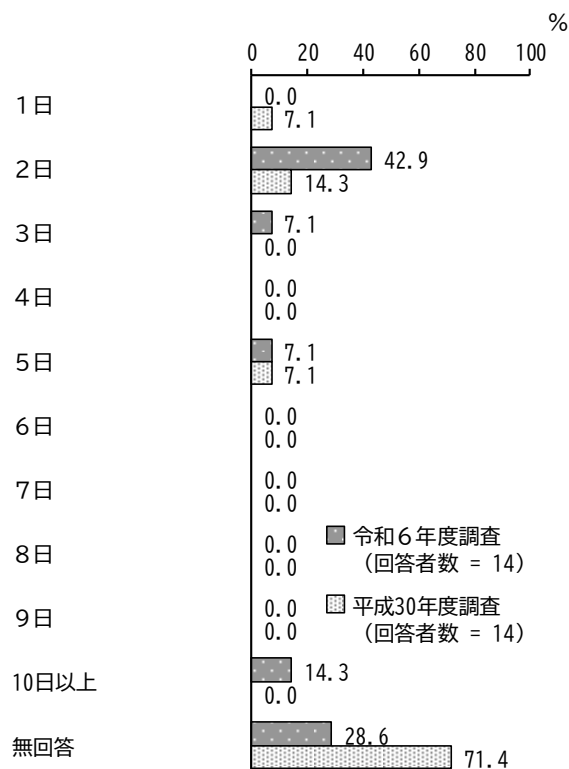
平成 30 年度調査と比較すると、「1 日」「2 日」「10 日以上」の割合が増加しています。一方、「7 日」の割合が減少しています。



6. 病後児の保育を利用した日数

「2 日」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「10 日以上」の割合が 14.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「2 日」「3 日」「10 日以上」の割合が増加しています。一方、「1 日」の割合が減少しています。



7. ベビーシッターを利用した日数

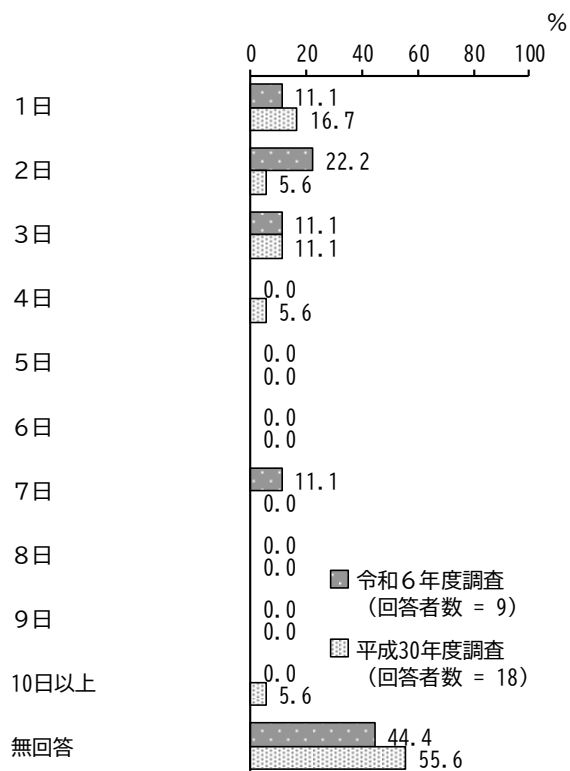
有効回答がありませんでした。

8. ファミリー・サポート・センターを利用した日数

有効回答がありませんでした。

9. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

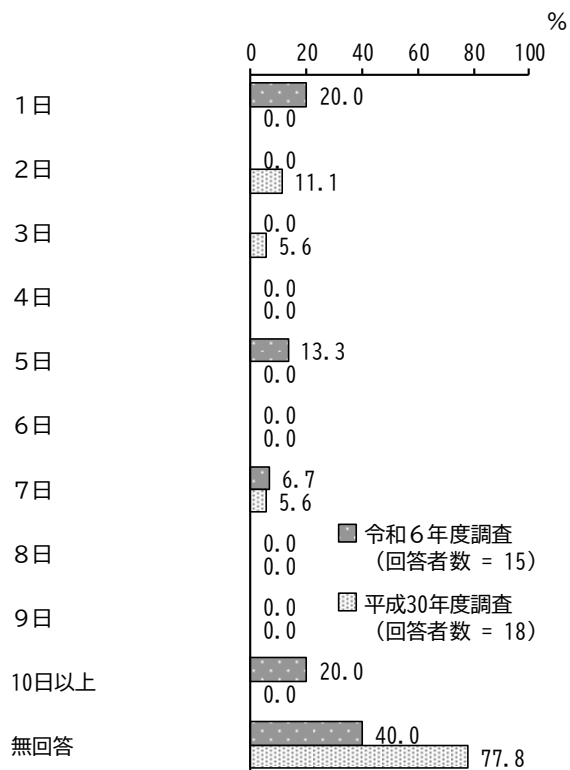
「2日」が2件となっています。「1日」、「3日」、「7日」が1件となっています。



10. その他の日数

「1日」、「10日以上」の割合が20.0%と最も高く、次いで「5日」の割合が13.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」「5日」「10日以上」の割合が増加しています。一方、「2日」「3日」の割合が減少しています。

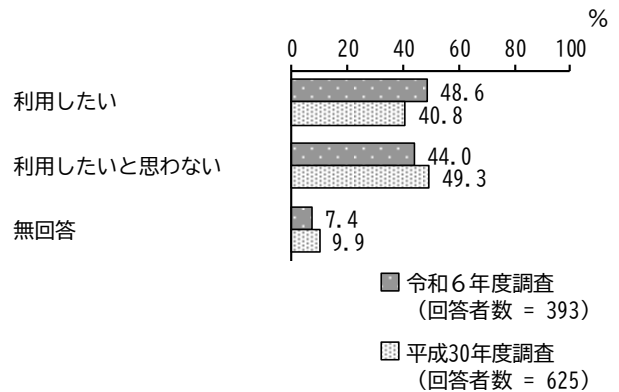


問 16－2 今後、病児保育や病後児保育の利用希望はありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

病児保育

「利用したい」の割合が 48.6%、「利用したいと思わない」の割合が 44.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用したいと思わない」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、0歳で「利用したい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用したいと思わない	無回答
全 体	393	48.6	44.0	7.4
0 歳	34	64.7	29.4	5.9
1 歳	86	57.0	38.4	4.7
2 歳	2	—	50.0	50.0
3 歳	116	45.7	48.3	6.0
4 歳	140	45.0	46.4	8.6
5 歳	9	33.3	44.4	22.2

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中であるで「利用したい」の割合が高くなっています。

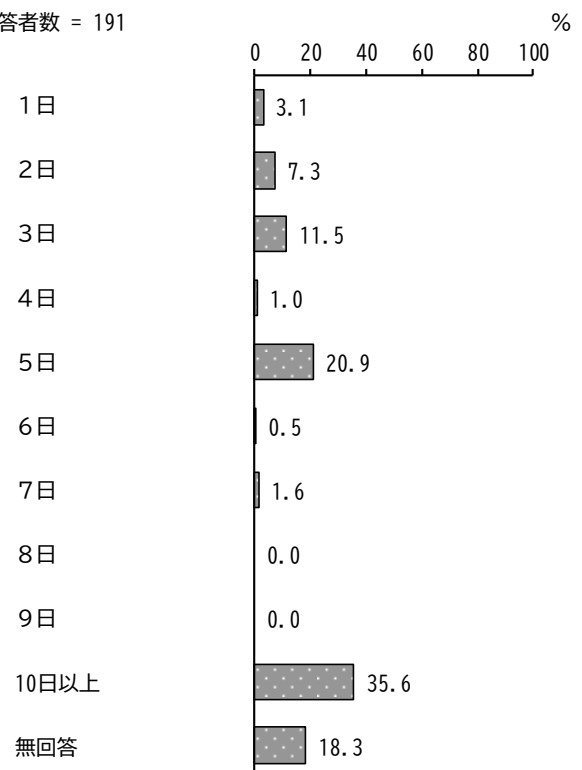
単位：％

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用したいと思わ ない	無回答
全 体	393	48.6	44.0	7.4
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	171	63.2	35.1	1.8
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	20	65.0	35.0	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	133	41.4	51.1	7.5
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	8	50.0	50.0	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	51	19.6	56.9	23.5
これまで就労したことがない	7	14.3	28.6	57.1

利用希望日数

「10 日以上」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「5 日」の割合が 20.9%、「3 日」の割合が 11.5%となっています。

回答者数 = 191



病後児保育

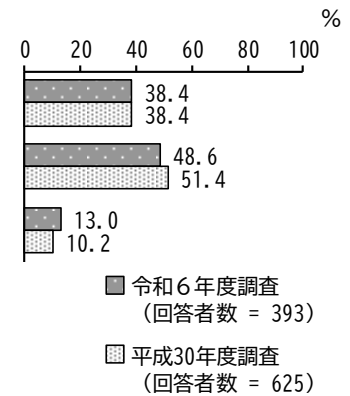
「利用したい」の割合が 38.4%、「利用したい
と思わない」の割合が 48.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。

利用したい

利用したいと思わない

無回答



【年齢別】

年齢別にみると、0歳で「利用したい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用したいと思わ ない	無回答
全 体	393	38.4	48.6	13.0
0 歳	34	55.9	32.4	11.8
1 歳	86	41.9	46.5	11.6
2 歳	2	—	50.0	50.0
3 歳	116	37.9	50.9	11.2
4 歳	140	36.4	50.0	13.6
5 歳	9	—	66.7	33.3

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中であるで「利用したい」の割合が高くなっています。

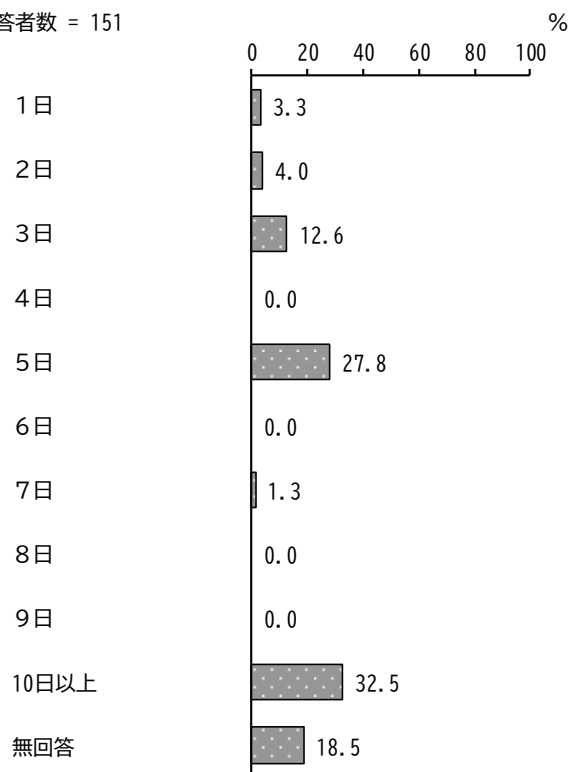
単位：％

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用したいと思わ ない	無回答
全 体	393	38.4	48.6	13.0
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	171	53.8	39.8	6.4
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	20	55.0	35.0	10.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	133	25.6	59.4	15.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	8	37.5	50.0	12.5
以前は就労していたが、現在は就労していない	51	17.6	56.9	25.5
これまで就労したことがない	7	28.6	14.3	57.1

利用希望日数

「10 日以上」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「5日」の割合が 27.8%、「3日」の割合が 12.6%となっています。

回答者数 = 151

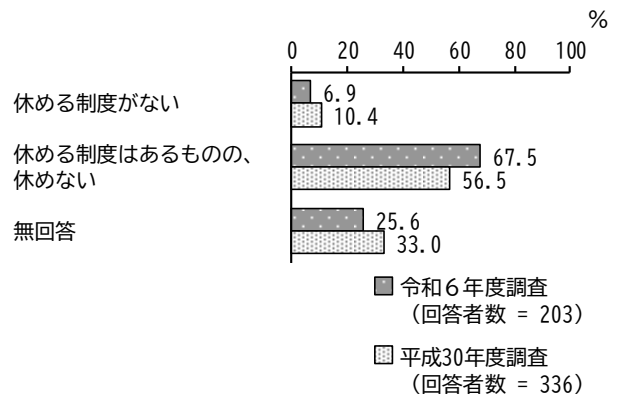


問 16－1 で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」～「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 16－3 仕事を休めなかった理由について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、制度はあるものの休めなかった方はその理由についてご記入ください。

「休める制度がない」の割合が 6.9%、「休める制度はあるものの、休めない」の割合が 67.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「休める制度はあるものの、休めない」の割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	休める 制度が ない	休める 制度は ある ものの、 休めない	無 回 答
全 体	203	6.9	67.5	25.6
0 歳	15	13.3	66.7	20.0
1 歳	44	4.5	65.9	29.5
2 歳	—	—	—	—
3 歳	60	10.0	66.7	23.3
4 歳	79	5.1	68.4	26.6
5 歳	4	—	75.0	25.0

【制度はあるものの休めなかった理由】

- ・休みを取りづらい。
- ・職場の人手不足。
- ・給与が下がる為。
- ・有休が足りない。
- ・忙しかったため。
- ・休み希望を言いにくいから。
- ・外せない仕事があったため。
- など

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「休める制度はあるものの、休めない」の割合が高くなっています。

単位：％

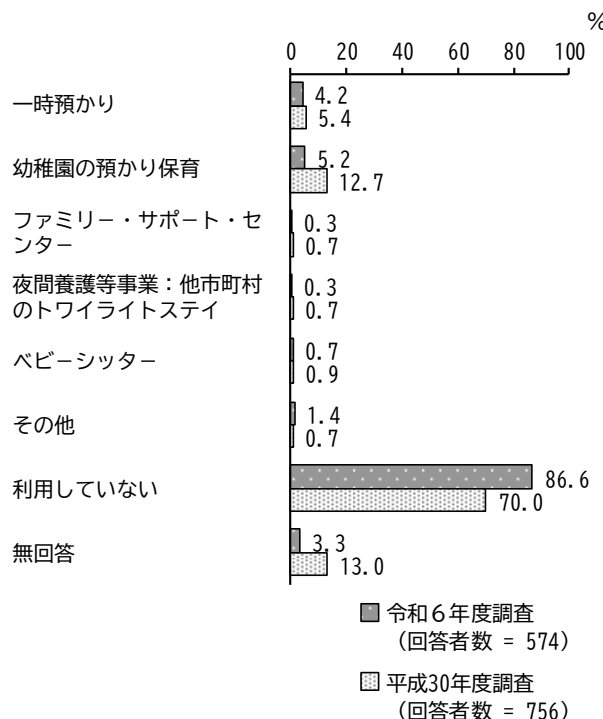
区分	回答者数 (件)	休める 制度が ない	休める 制度は ある ものの、 休めない	無 回 答
全 体	203	6.9	67.5	25.6
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	105	4.8	80.0	15.2
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	11	—	63.6	36.4
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	52	7.7	69.2	23.1
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	2	—	—	100.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	30	16.7	30.0	53.3
これまで就労したことがない	1	—	—	100.0

(7) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 17 対象のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的でその都度利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数も()内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が86.6%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。一方、「幼稚園の預かり保育」の割合が減少しています。



【その他の意見】

- ・ 認定こども園での預かり（新2号）
- ・ 保育園
- ・ ショートステイを月に2回程度、1回に4時間利用しています。
- ・ 里親
- ・ 乳児院

【年齢別】

年齢別にみると、0歳で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	夜間養護等事業…他市町村のトワイライトステイ	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
全 体	574	4.2	5.2	0.3	0.3	0.7	1.4	86.6	3.3
0歳	163	3.1	—	—	—	—	1.2	93.3	2.5
1歳	137	5.8	1.5	—	—	—	1.5	89.1	2.2
2歳	3	—	33.3	—	—	—	—	66.7	—
3歳	116	4.3	9.5	—	—	—	—	81.9	5.2
4歳	140	4.3	11.4	1.4	1.4	2.9	2.9	80.0	3.6
5歳	9	—	—	—	—	—	—	100.0	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中であるで「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：％

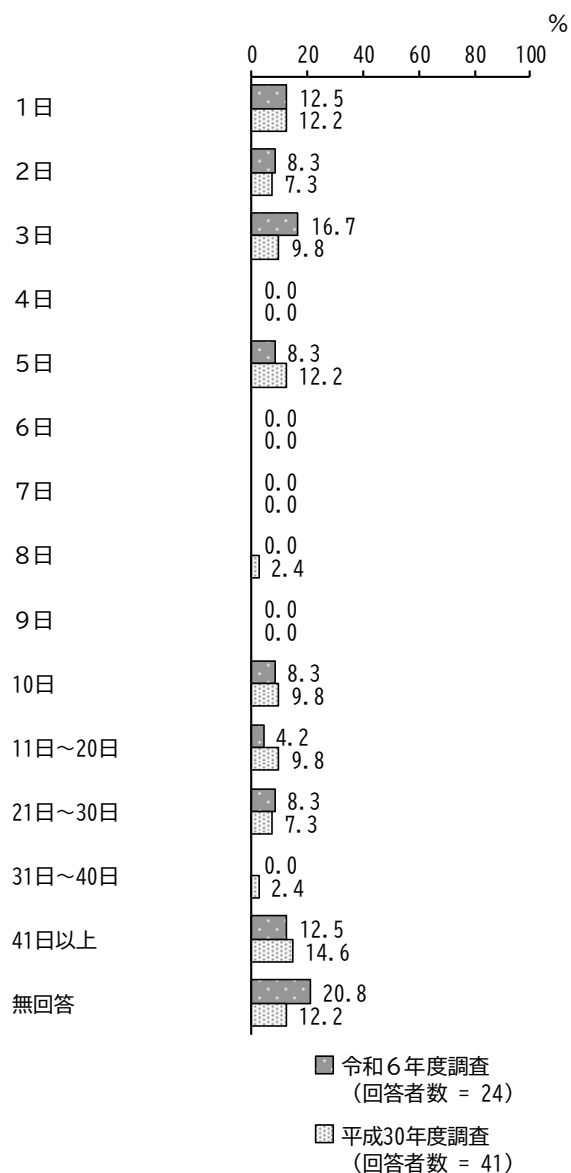
区分	回答者数 (件)	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポ ート・センター	夜間養護等事業・他市 町村のトワイライト ステイ
全 体	574	4.2	5.2	0.3	0.3
フルタイムで就労しており、産休・育 休・介護休業中ではない	172	5.8	2.9	1.2	1.2
フルタイムで就労しており、産休・育 休・介護休業中である	100	6.0	1.0	－	－
パート・アルバイト等で就労してお り、産休・育休・介護休業中ではない	141	2.1	8.5	－	－
パート・アルバイト等で就労してお り、産休・育休・介護休業中である	23	4.3	－	－	－
以前は就労していたが、現在は就労し ていない	125	1.6	8.8	－	－
これまで就労したことがない	9	－	11.1	－	－

区分	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
全 体	0.7	1.4	86.6	3.3
フルタイムで就労しており、産休・育 休・介護休業中ではない	1.2	1.7	87.8	4.1
フルタイムで就労しており、産休・育 休・介護休業中である	－	－	91.0	3.0
パート・アルバイト等で就労してお り、産休・育休・介護休業中ではない	1.4	3.5	81.6	3.5
パート・アルバイト等で就労してお り、産休・育休・介護休業中である	－	－	95.7	－
以前は就労していたが、現在は就労し ていない	－	－	88.0	1.6
これまで就労したことがない	－	－	66.7	22.2

1. 一時預かりの日数

「3日」の割合が16.7%と最も高く、次いで「1日」、「41日以上」の割合が12.5%となっています。

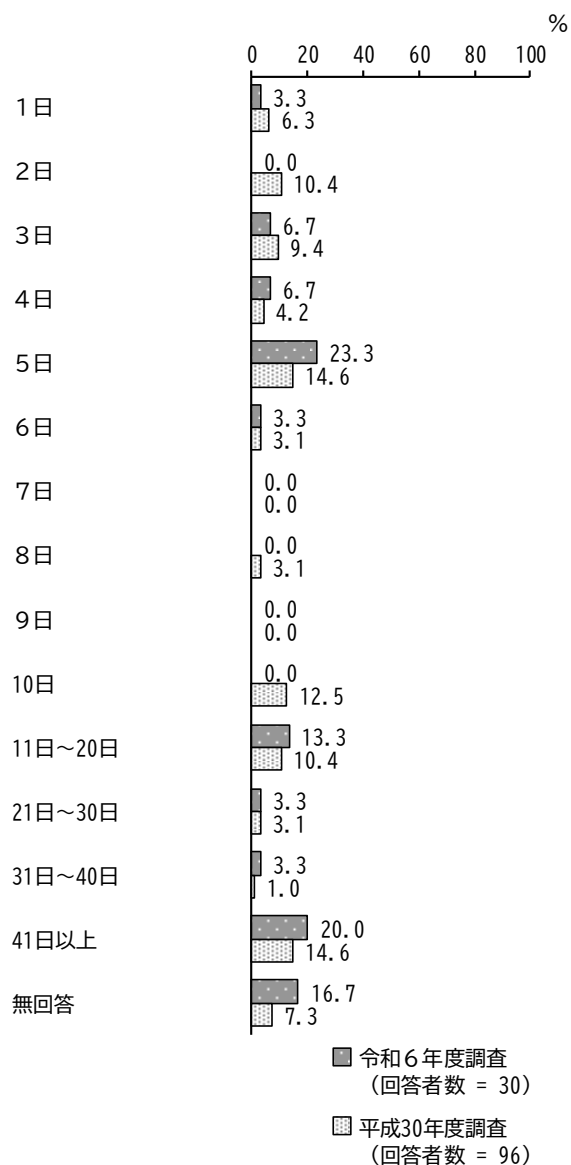
平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「11日～20日」の割合が減少しています。



2. 幼稚園の預かり保育の日数

「5日」の割合が23.3%と最も高く、次いで「41日以上」の割合が20.0%、「11日～20日」の割合が13.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」「41日以上」の割合が増加しています。一方、「2日」「10日」の割合が減少しています。



3. ファミリー・サポート・センターの日数

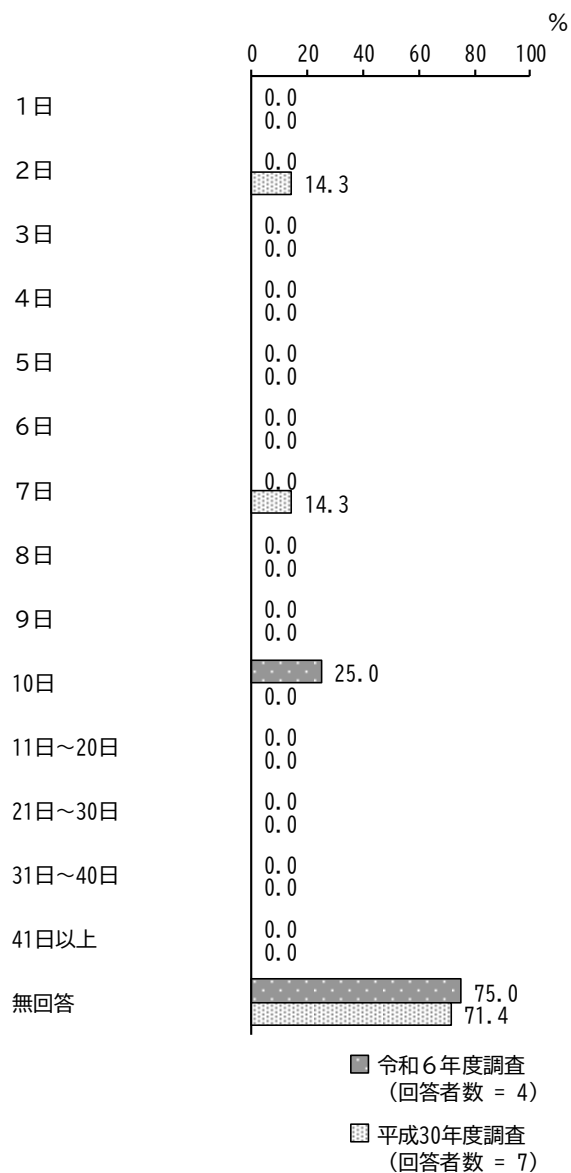
有効回答がありませんでした。

4. 夜間養護等事業：他市町村のトワイライトステイの日数

有効回答がありませんでした。

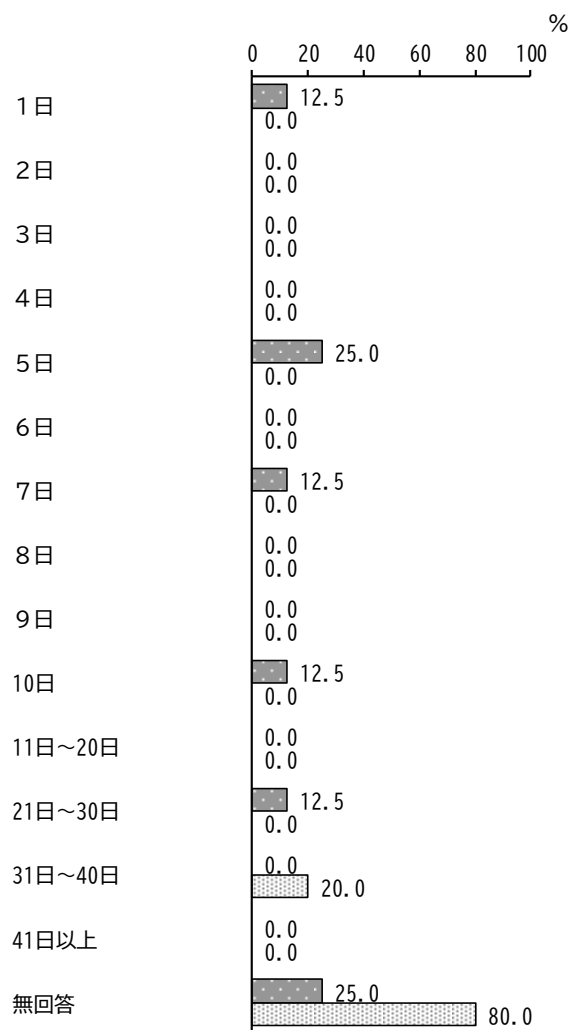
5. ベビーシッターの日数

「10 日」が1 件となっています。



6. その他の日数

「5日」が2件となっています。「1日」、「7日」、「10日」、「21日～30日」が1件となっています。



■ 令和6年度調査
(回答者数 = 8)

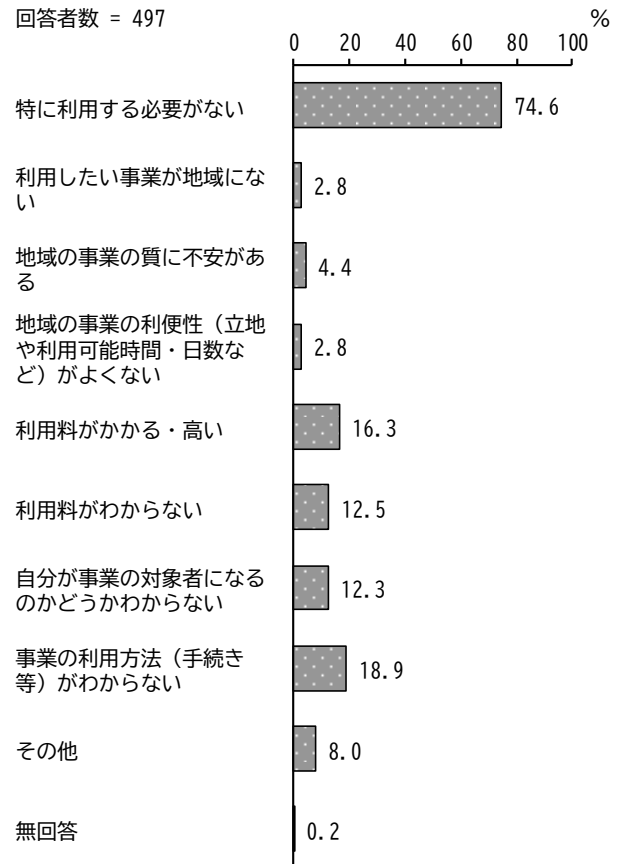
▨ 平成30年度調査
(回答者数 = 5)

問 17 で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 17－1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が 74.6%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 18.9%、「利用料がかかる・高い」の割合が 16.3%となっています。

回答者数 = 497



【その他の内容】

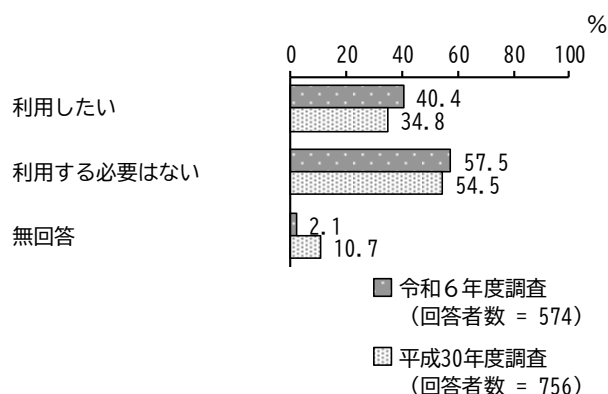
- ・利用のための手続きや準備が面倒。
- ・手ぶらで利用できないから。
- ・乳児院
- ・慣れていない場所に預ける事に心配してしまう。
- ・子どもが嫌がる為。

など

問 18 対象のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問 17 に掲げる事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください）。

「利用したい」の割合が 40.4%、「利用する必要はない」の割合が 57.5%となっています。

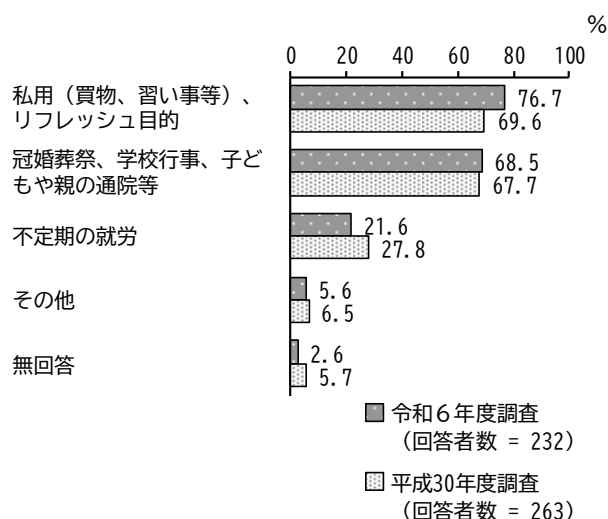
平成 30 年度調査と比較すると、「利用したい」の割合が増加しています。



利用目的

「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が 76.7%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」の割合が 68.5%、「不定期の就労」の割合が 21.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が増加しています。一方、「不定期の就労」の割合が減少しています。



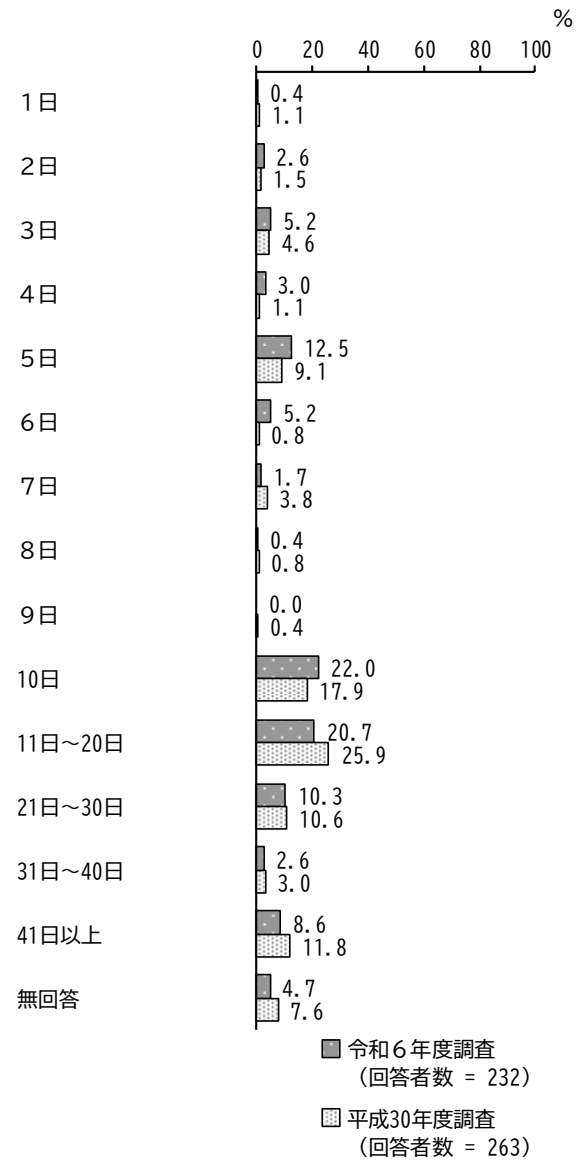
【その他の内容】

- ・親に預けられない時
- ・出産に伴い、2歳の長男が退園になったため、下の子の育児のために利用しました。
- ・自己学習の研修会 ・研修や通院や家の契約、引っ越しなど。
- ・子どもの習い事の送迎の委託先を検討中です。※子どもが習い事に興味を持ち始めましたが、復職後は送迎にさける時間がないため。

年間の合計日数

「10 日」の割合が 22.0%と最も高く、次いで「11 日～20 日」の割合が 20.7%、「5 日」の割合が 12.5%となっています。

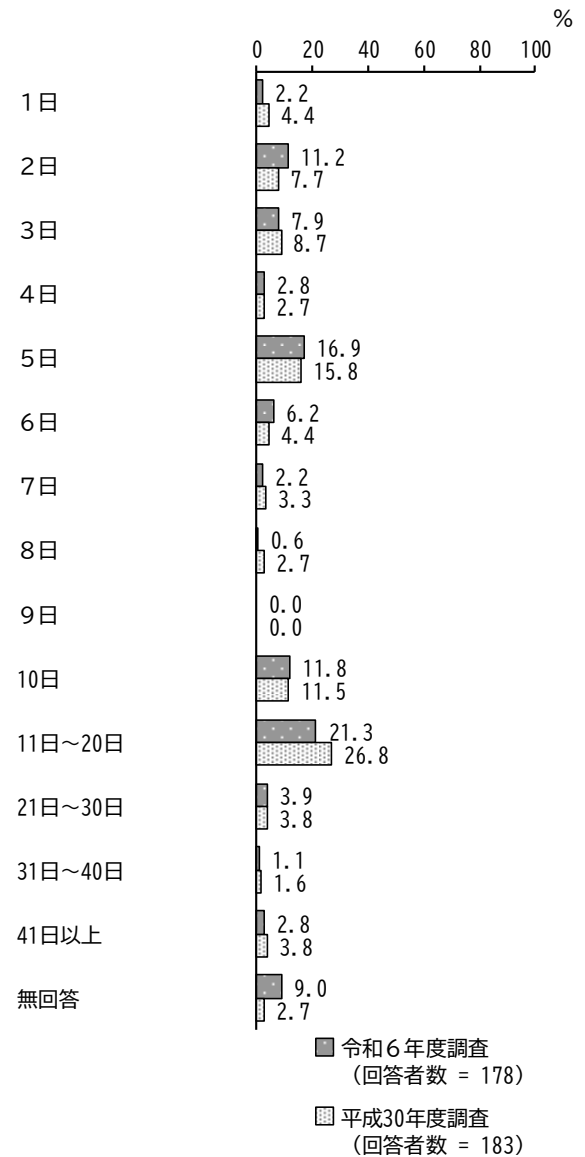
平成 30 年度調査と比較すると、「11 日～20 日」の割合が減少しています。



①私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的の日数

「11 日～20 日」の割合が 21.3%と最も高く、次いで「5 日」の割合が 16.9%、「10 日」の割合が 11.8%となっています。

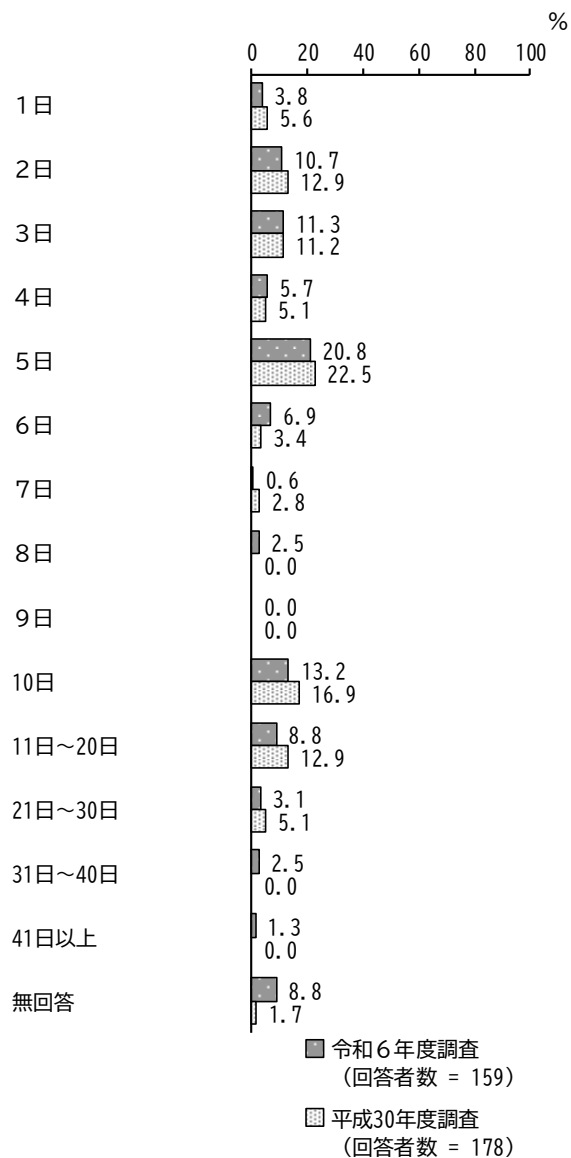
平成 30 年度調査と比較すると、「11 日～20 日」の割合が減少しています。



②冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等の日数

「5日」の割合が 20.8%と最も高く、次いで「10日」の割合が 13.2%、「3日」の割合が 11.3%となっています。

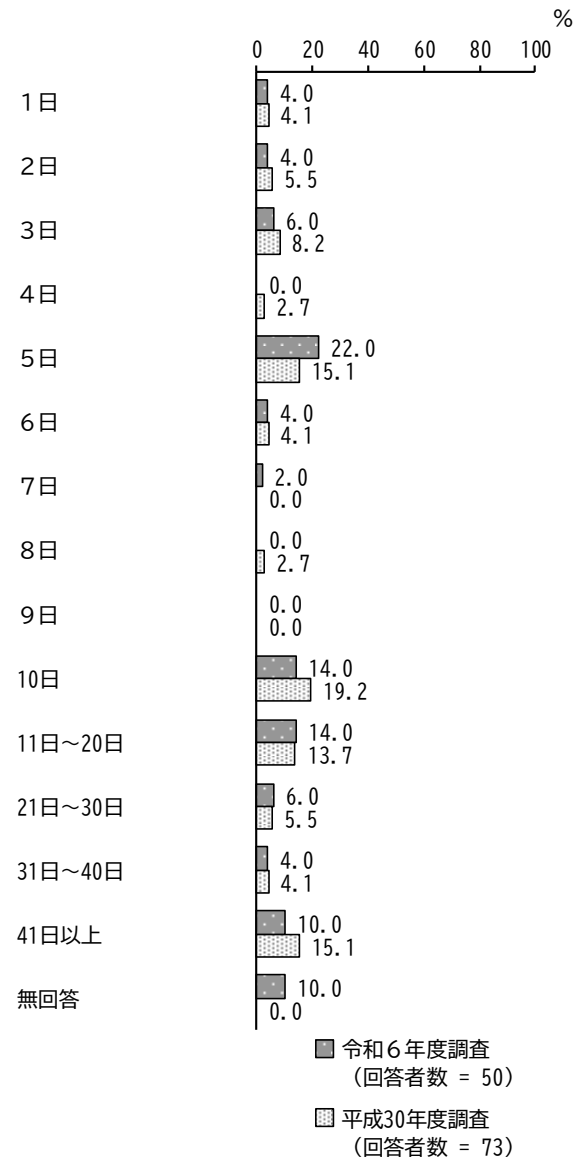
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



③不定期の就労の日数

「5日」の割合が22.0%と最も高く、次いで「10日」、「11日～20日」の割合が14.0%となっています。

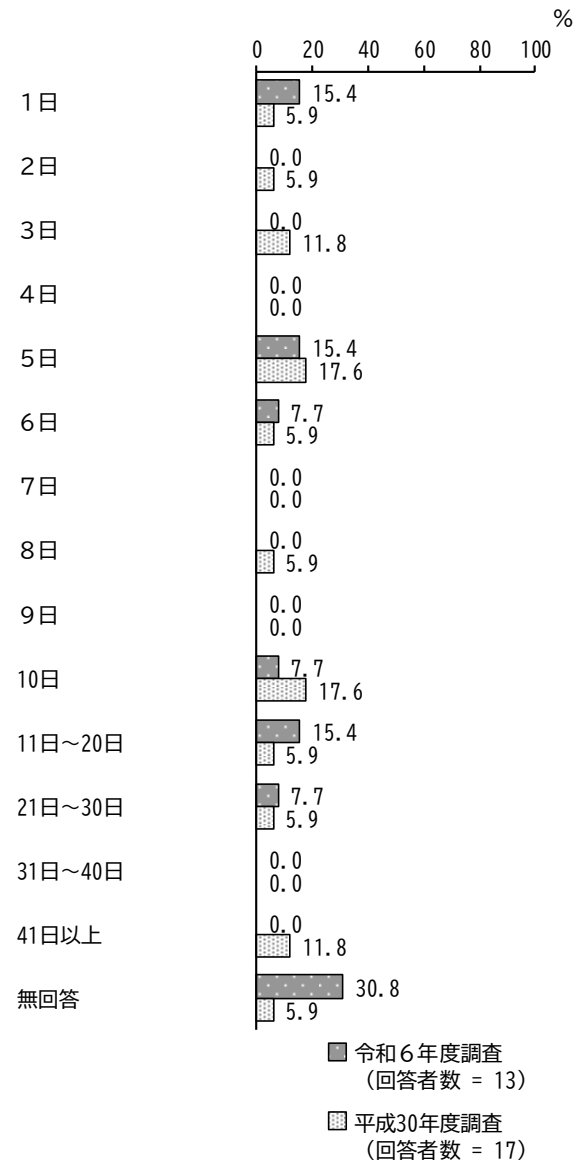
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「10日」「41日以上」の割合が減少しています。



④その他の日数

「1日」、「5日」、「11日～20日」の割合が15.4%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」「11日～20日」の割合が増加しています。一方、「2日」「3日」「8日」「10日」「41日以上」の割合が減少しています。



問 19 対象のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）などにより、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（ ）内に数字でご記入ください）。

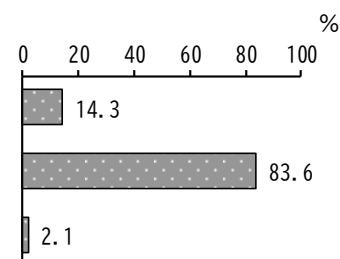
「利用したい」の割合が 14.3%、「利用する必要はない」の割合が 83.6%となっています。

回答者数 = 574

利用したい

利用する必要はない

無回答



利用目的

「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 68.3%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」の割合が 54.9%、「冠婚葬祭」の割合が 31.7%となっています。

回答者数 = 82

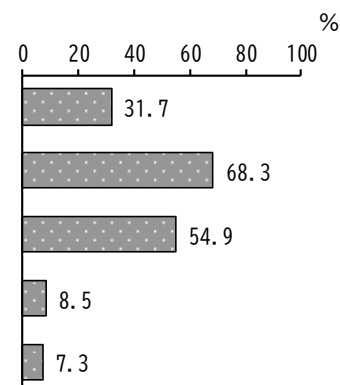
冠婚葬祭

保護者や家族の育児疲れ・不安

保護者や家族の病気

その他

無回答



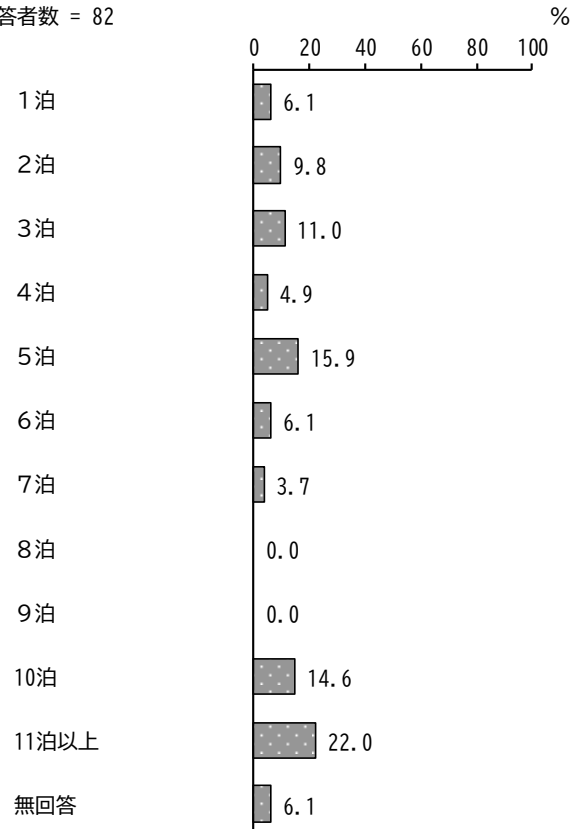
【その他の内容】

- ・ 幼稚園のおとまりなど
- ・ 子どもの発達おくれのためドクターのオッケーがでるまで。
- ・ 繁忙期で夫婦共に残業があるときや子どもの病気で急な休みをとった場合に起こる仕事への対処。

年間の合計泊数

「11泊以上」の割合が22.0%と最も高く、次いで「5泊」の割合が15.9%、「10泊」の割合が14.6%となっています。

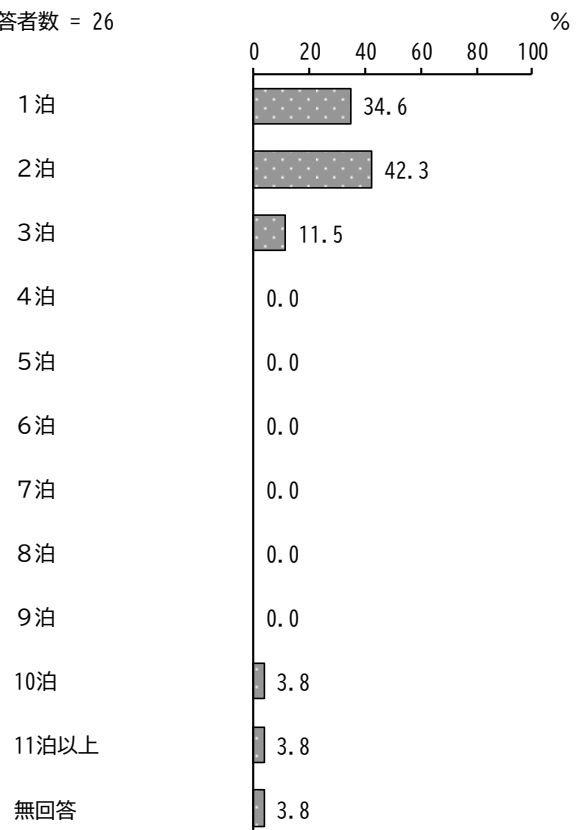
回答者数 = 82



①冠婚葬祭の泊数

「2泊」の割合が42.3%と最も高く、次いで「1泊」の割合が34.6%、「3泊」の割合が11.5%となっています。

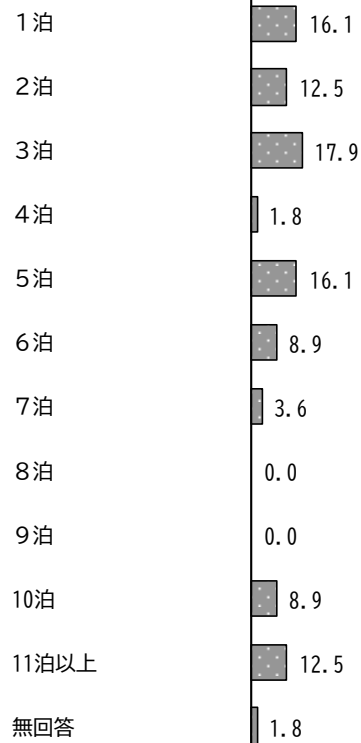
回答者数 = 26



②保護者や家族の育児疲れ・不安の泊数

「3泊」の割合が 17.9%と最も高く、次いで
「1泊」、「5泊」の割合が 16.1%となっています。

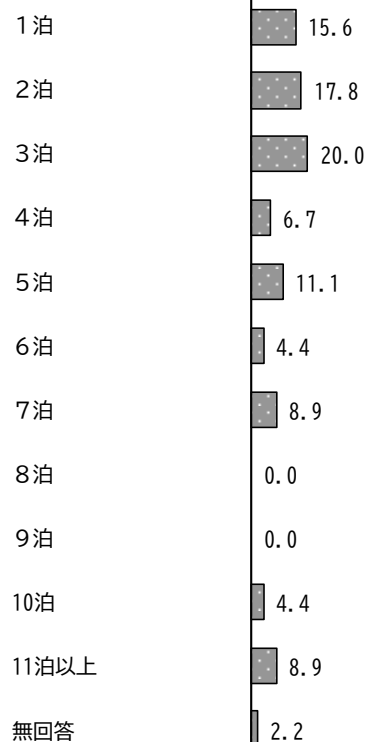
回答者数 = 56



③保護者や家族の病気の泊数

「3泊」の割合が 20.0%と最も高く、次いで
「2泊」の割合が 17.8%、「1泊」の割合が 15.6%
となっています。

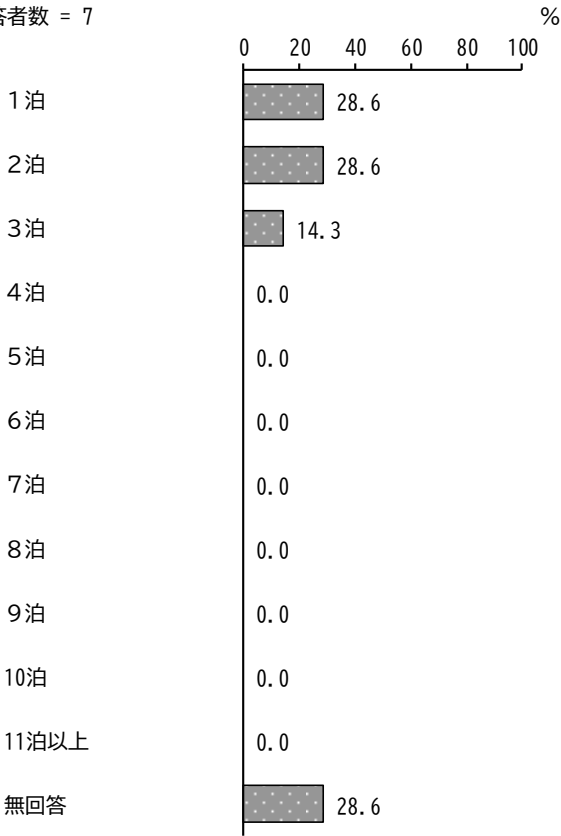
回答者数 = 45



④その他の泊数

「1泊」、「2泊」が2件となっています。「3泊」が1件となっています。

回答者数 = 7



(8) 小学生になってからの放課後の過ごし方について

対象のお子さんが年長児クラスの方のみお答えください。

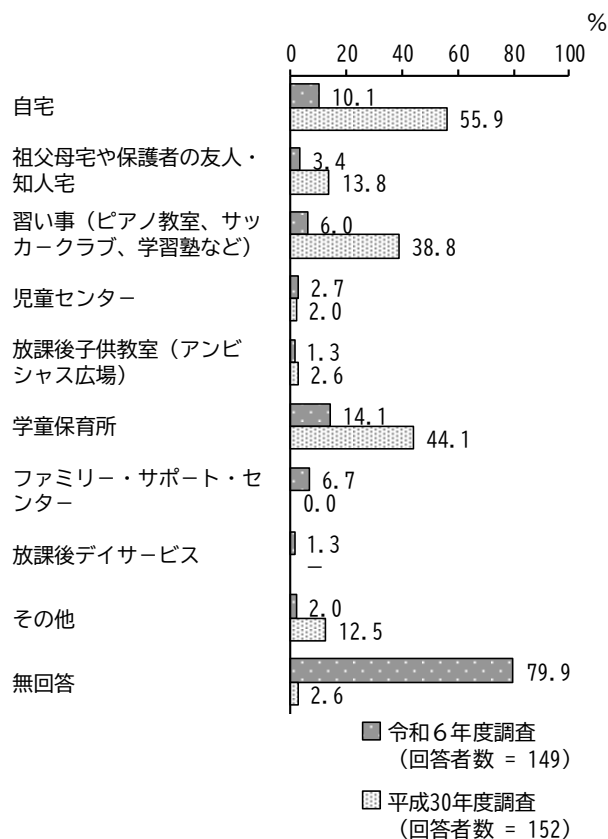
問 20 対象のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、学童保育所の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。

「学童保育所」の割合が 14.1%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 10.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「ファミリー・サポート・センター」の割合が増加しています。

一方、「自宅」「祖父母宅や保護者の友人・知人宅」

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「学童保育所」の割合が減少しています。



※前回調査では、「児童センター」の選択肢は「児童館・児童センター」となっていました。

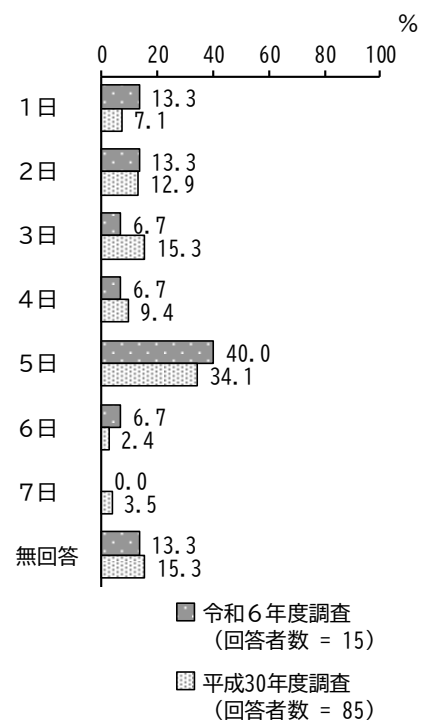
※前回調査では、「放課後子供教室（アンビシャス広場）」の選択肢は「放課後こども広場（アンビシャス広場）」となっていました。

※前回調査では、「放課後デイサービス」の選択肢はありませんでした。

1. 自宅の日数

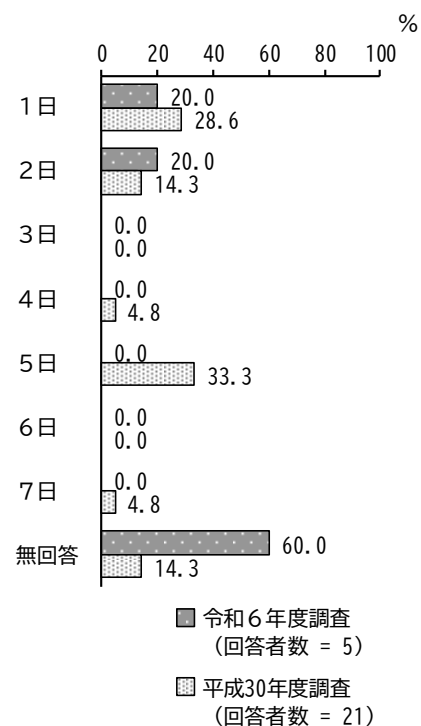
「5日」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「1日」、「2日」の割合が 13.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1日」「5日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



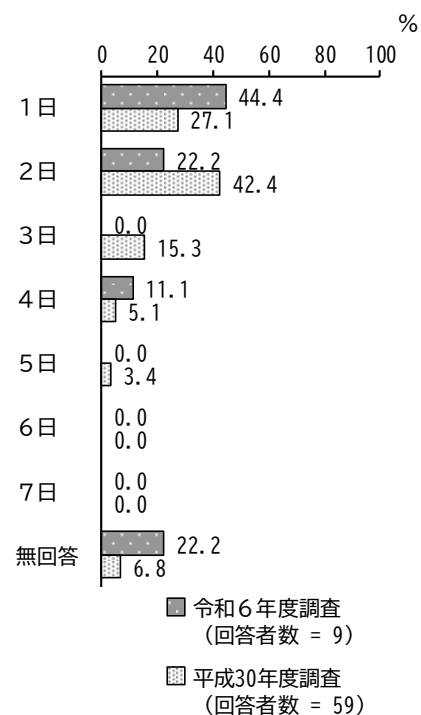
2. 祖父母宅や保護者の友人・知人宅の日数

「1日」、「2日」が1件となっています。



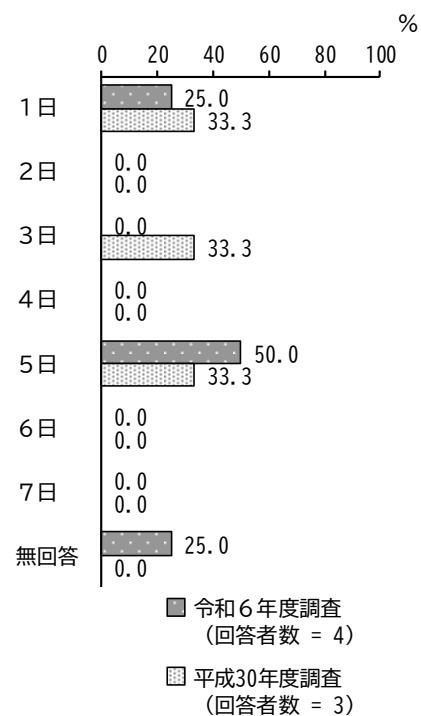
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）の日数

「1日」が4件となっています。「2日」が2件、
「4日」が1件となっています。



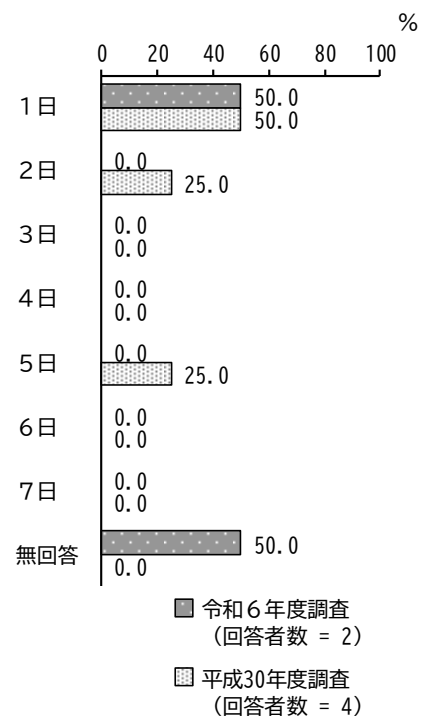
4. 児童センターの日数

「5日」が2件となっています。「1日」が1件
となっています。



5. 放課後子供教室（アンビシャス広場）の日数

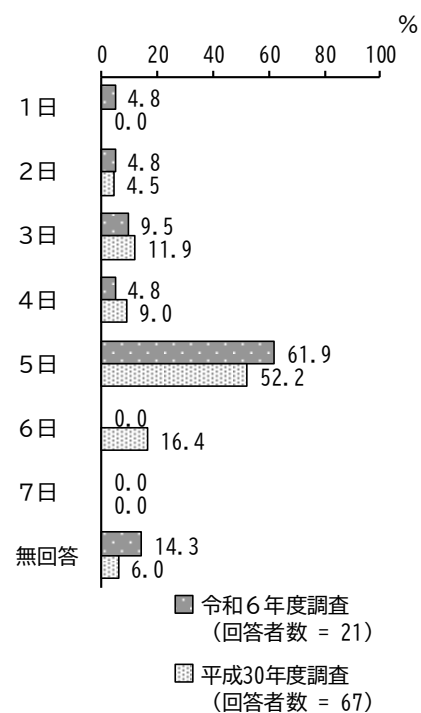
「1日」が1件となっています。



6. 学童保育所の日数

「5日」の割合が61.9%と最も高くなっています。

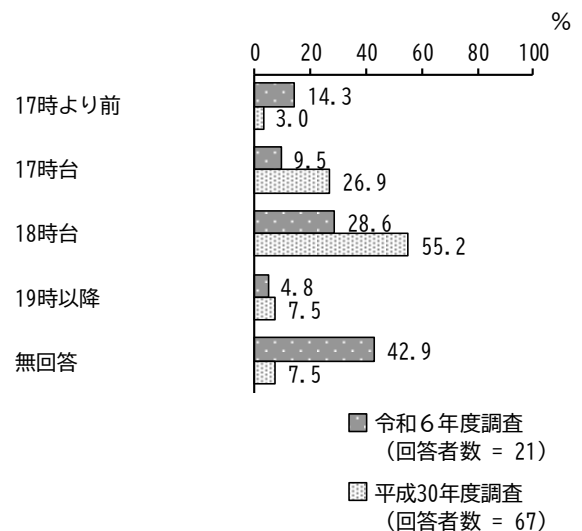
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「6日」の割合が減少しています。



利用終了時間

「18 時台」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「17 時より前」の割合が 14.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「17 時より前」の割合が増加しています。一方、「17 時台」「18 時台」の割合が減少しています。



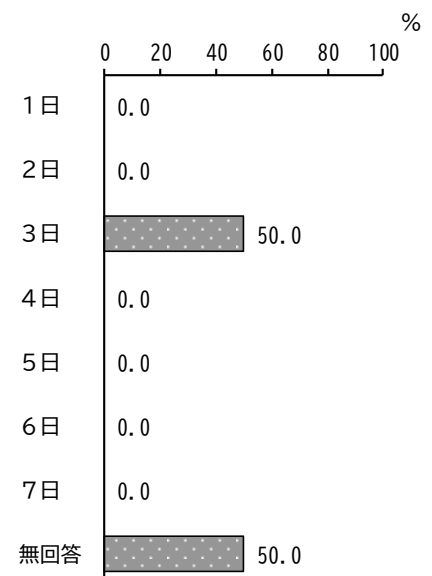
7. ファミリー・サポート・センターの日数

有効回答がありませんでした。

8. 放課後デイサービスの日数

「3日」が1件となっています。

回答者数 = 2



9. その他の日数

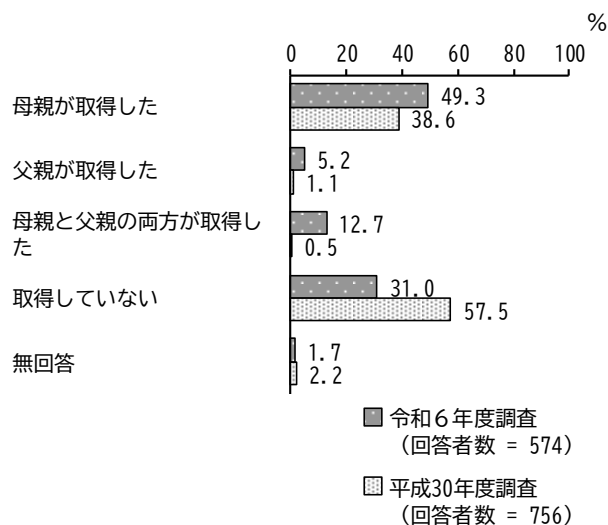
有効回答がありませんでした。

(9) 仕事と子育ての両立支援制度について

問 21 対象のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

「母親が取得した」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「取得していない」の割合が 31.0%、「母親と父親の両方が取得した」の割合が 12.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「母親が取得した」「母親と父親の両方が取得した」の割合が増加しています。一方、「取得していない」の割合が減少しています。



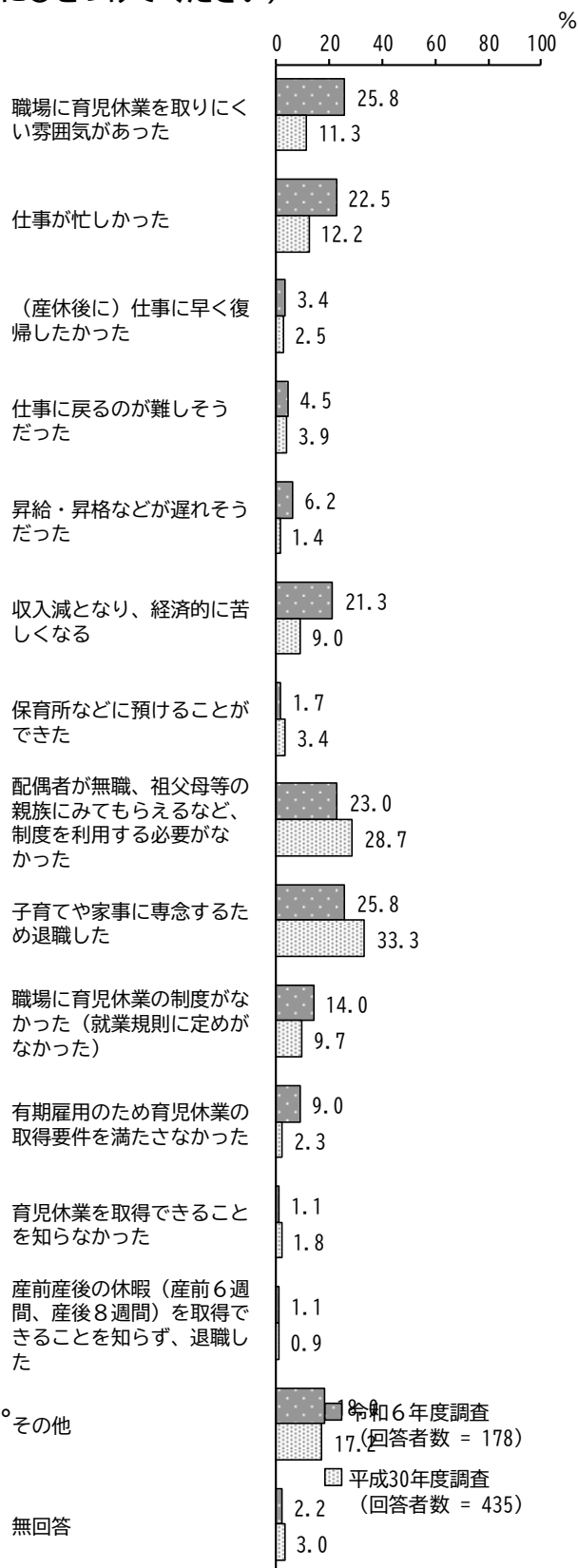
取得していない理由（下から、当てはまる番号すべてに○をつけてください）

「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が25.8%と最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が23.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」の割合が増加しています。一方、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が減少しています。

【その他の内容】

- ・在宅勤務のため。
- ・自営業のため。
- ・復帰希望だったが、保育料が高いので退職しました。
- など

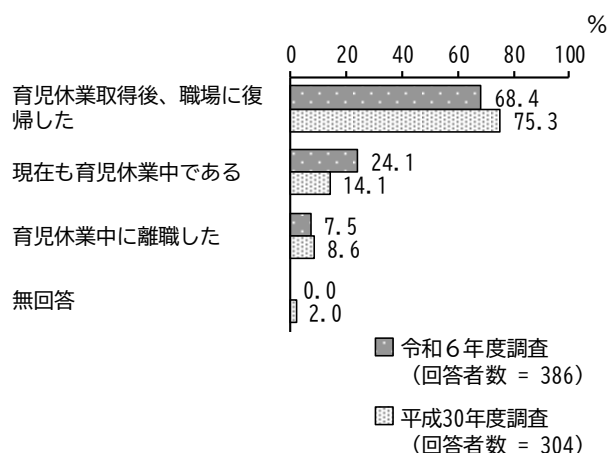


問 21 で「母親が取得した」～「母親と父親の両方が取得した」に○をつけた方（父母のいずれか、または両方が育児休業を取得した方）にうかがいます。

問 21－1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 68.4%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 24.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「現在も育児休業中である」の割合が増加しています。一方、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が減少しています。



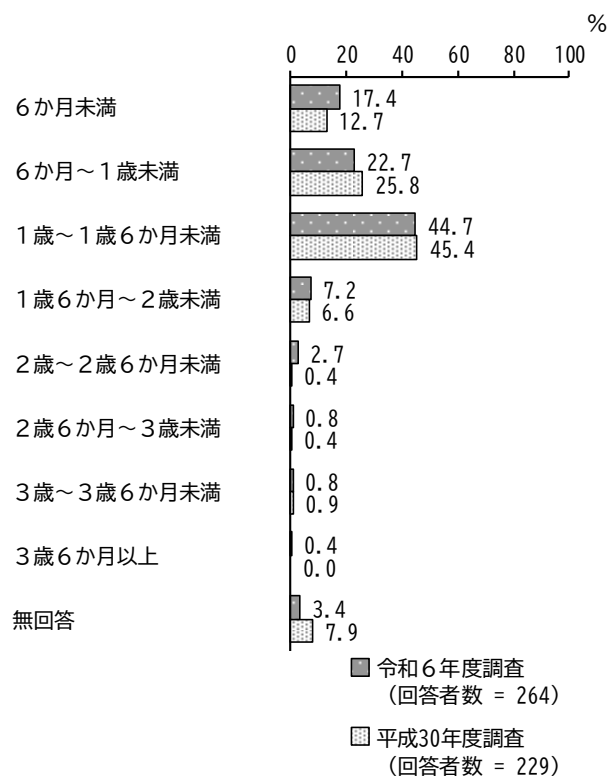
問 21－1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方に、問 21－2、問 21－3 についてうかがいます。

問 21－2 育児休業から「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

実際の取得期間

「1 歳～1 歳 6 か月未満」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「6 か月～1 歳未満」の割合が 22.7%、「6 か月未満」の割合が 17.4%となっています。

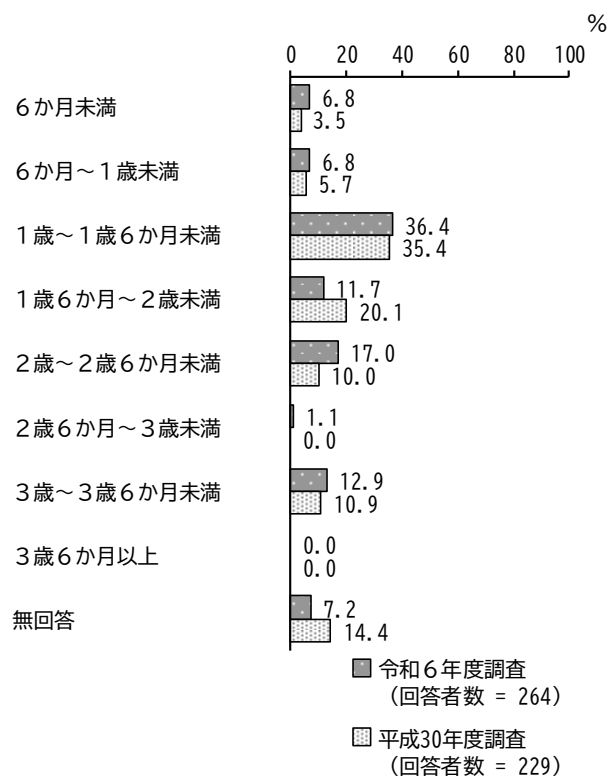
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



希望

「1歳～1歳6か月未満」の割合が36.4%と最も高く、次いで「2歳～2歳6か月未満」の割合が17.0%、「3歳～3歳6か月未満」の割合が12.9%となっています。

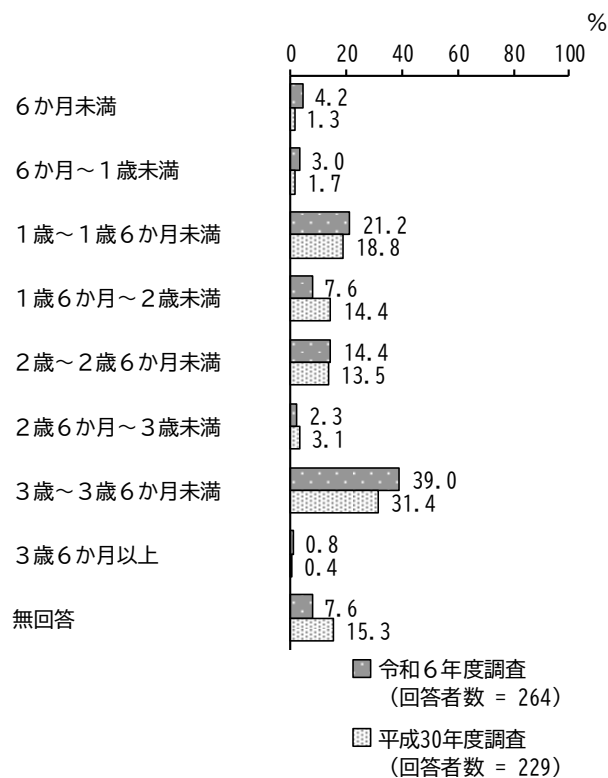
平成30年度調査と比較すると、「2歳～2歳6か月未満」の割合が増加しています。一方、「1歳6か月～2歳未満」の割合が減少しています。



問21-3 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

「3歳～3歳6か月未満」の割合が39.0%と最も高く、次いで「1歳～1歳6か月未満」の割合が21.2%、「2歳～2歳6か月未満」の割合が14.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3歳～3歳6か月未満」の割合が増加しています。一方、「1歳6か月～2歳未満」の割合が減少しています。



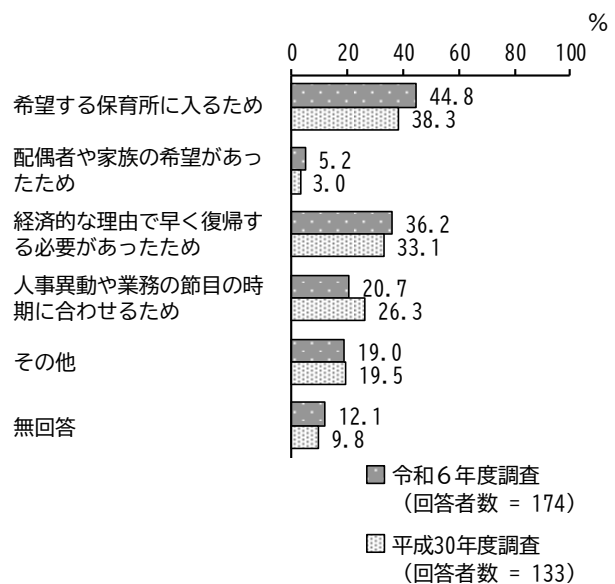
問 21－2 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 21－4 希望の時期に職場復帰しなかった、またはできなかった理由についてうかがいます。※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方

「希望する保育所に入るため」の割合が 44.8% と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が 36.2%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 20.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「希望する保育所に入るため」の割合が増加しています。一方、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が減少しています。

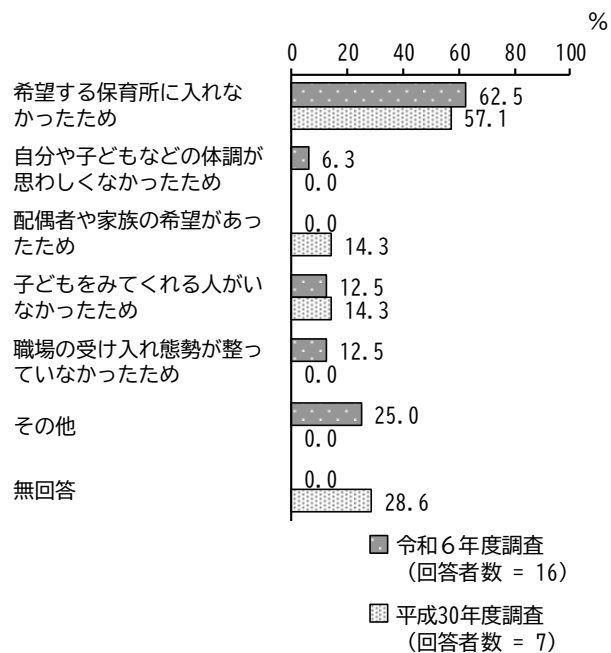


【その他の内容】

- ・育児休業が1歳までと決まっていたため、下の子の1歳の時に復帰。
 - ・会社の制度上1年しか休めないから。
 - ・他社員の目が気になる為。
 - ・仕事内容についていけなくなる不安があったため。
 - ・働きたいと思ったため。
 - ・長く取れないと職場に言われた。本人も転職したばかりで、上司も育休についてよくわかっていない様子だった。
 - ・育休制度がなかった。2週間以上休むと休業扱いになると言われた。
 - ・男性の育児休業の前例が無く、長い期間は取りづらかったため。
 - ・人手不足で、早く復帰を求められたから。
 - ・第二子出産の前に集団生活になれさせておきたかったから。再入園時に加点があるから。
- など

(2)「希望」より遅く復帰した方

「希望する保育所に入れなかったため」の割合が62.5%と最も高く、次いで「子どもをみてる人がいなかったため」、「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」の割合が12.5%となっています。



【その他の内容】

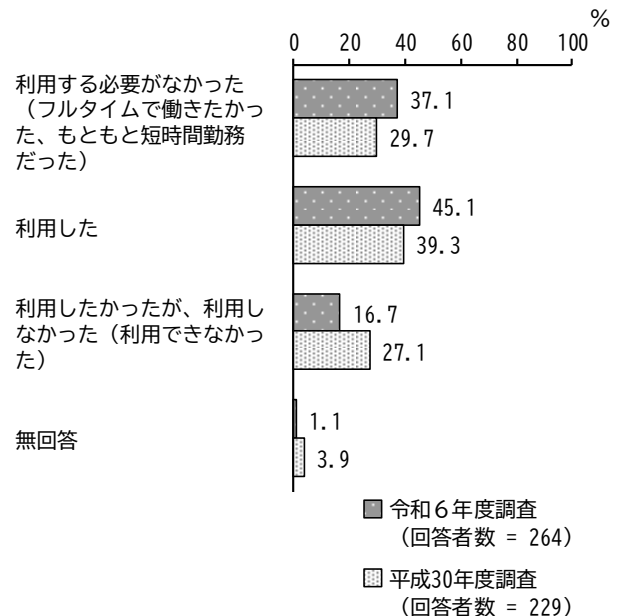
- ・コロナが流行したため。
- ・転勤の都合
- ・第二子を妊娠したため。
- ・まだ子どもをゆっくり見てたかった。

問 21－1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 21－5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「利用した」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 37.1%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 16.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」「利用した」の割合が増加しています。一方、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が減少しています。

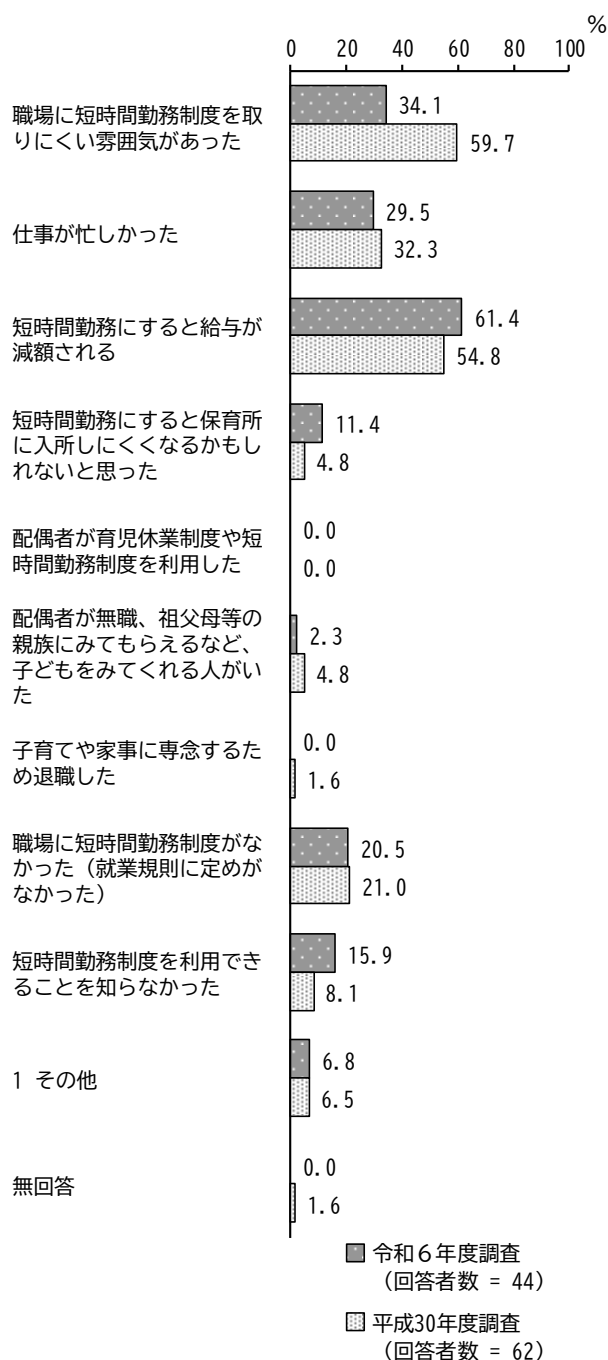


問 21－5 で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問 21－6 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 61.4%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 34.1%、「仕事が忙しかった」の割合が 29.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「短時間勤務にすると給与が減額される」「短時間勤務にすると保育所に入所しにくくなるかもしれないと思った」「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」の割合が増加しています。一方、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が減少しています。



【その他の内容】

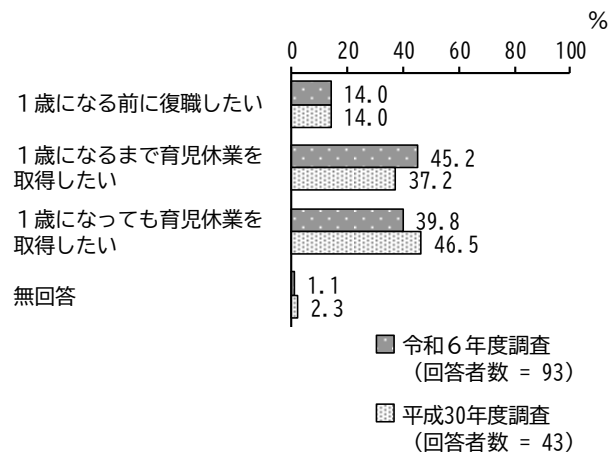
- ・遠方の為通勤が苦しく、病気などの呼出へ対応できない為。
- ・つわりなどで育休までつづけられなかった。
- ・パートでもどるようにしたため。
- ・前例がなかったから（父親）
- ・職場に託児所があるので、時短勤務が認められませんでした。

問 21－1 で「現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問 21－7 対象のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業（幼稚園や保育所など）があれば、どのくらい育児休業を取得しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が45.2%と最も高く、次いで「1歳になっても育児休業を取得したい」の割合が39.8%、「1歳になる前に復職したい」の割合が14.0%となっています。

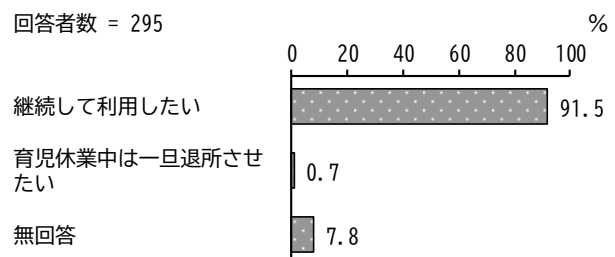
平成30年度調査と比較すると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が増加しています。一方、「1歳になっても育児休業を取得したい」の割合が減少しています。



「保育所」「認定こども園」を利用されている方にうかがいます。

問 22 第2子以降の育児休業取得中、在園中のきょうだい児について、保育所を継続して利用したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「継続して利用したい」の割合が91.5%、「育児休業中は一旦退所させたい」の割合が0.7%となっています。

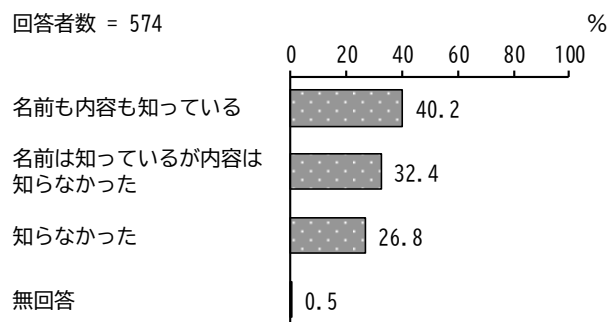


(10) 子どもの権利について

問 23 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「名前も内容も知っている」の割合が40.2%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が32.4%、「知らなかった」の割合が26.8%となっています。

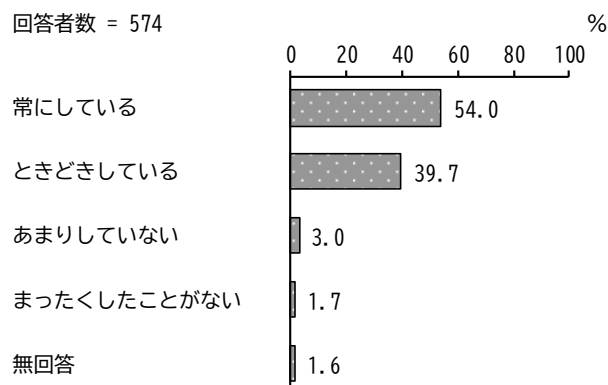
回答者数 = 574



問 24 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

「常にしている」の割合が54.0%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が39.7%となっています。

回答者数 = 574



問 25 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもが暴力や言葉で傷つけられないこと」の割合が90.6%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えること」の割合が85.7%、「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」の割合が83.1%となっています。

回答者数 = 574

人種や性別、宗教などで差別されないこと

障がいのある子が差別されないこと

子どもが知りたいことを隠さないこと

子どもが暴力や言葉で傷つけられないこと

家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと

自分の考えを自由に言えること

人と違う自分らしさが認められること

自分の秘密が守られること

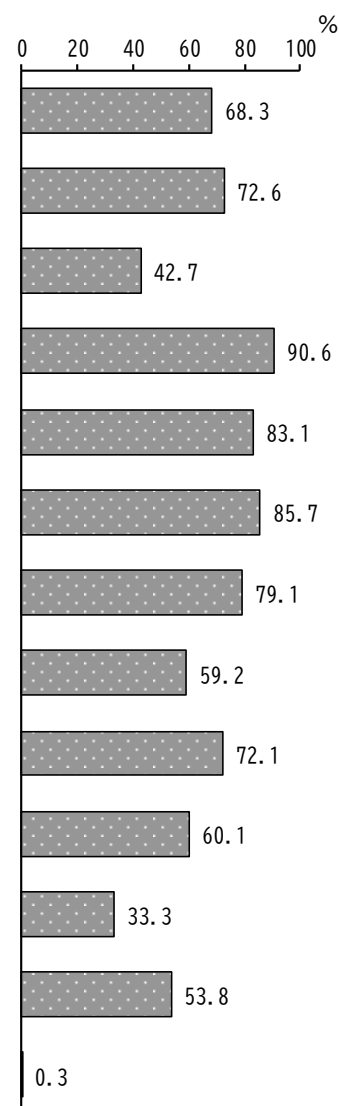
自分のことは自分で決められること

自由な時間をもつこと

自由な呼び掛けでグループを作り集まれること

必要な情報をしることや、参加する手助けを受けられる

無回答

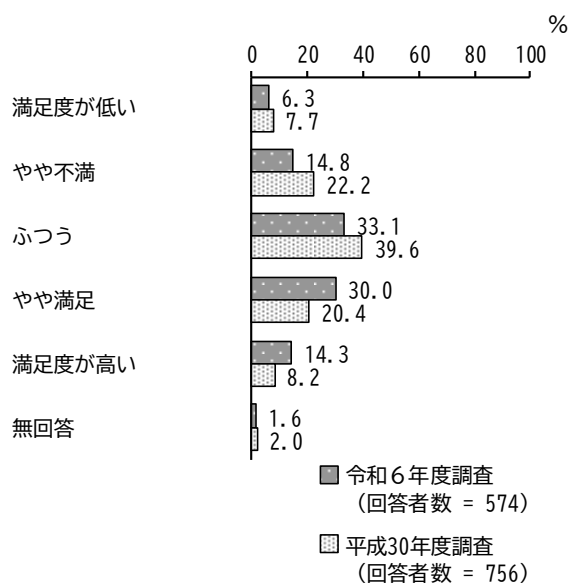


(11) 子育て全般について

問 26 子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「ふつう」の割合が 33.1%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 30.0%、「やや不満」の割合が 14.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「やや満足」「満足度が高い」の割合が増加しています。一方、「やや不満」「ふつう」の割合が減少しています。



【満足度についての記載内容】

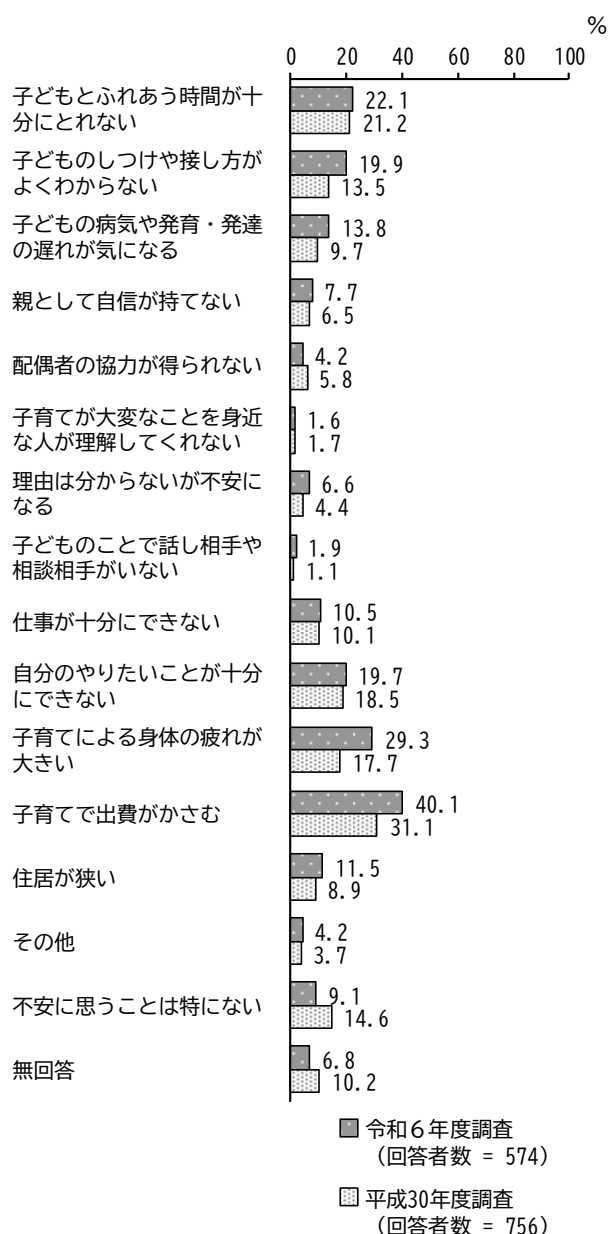
- ・子どもの医療費が 18 歳まで引き上げられたから良かった。
- ・福岡市のようなオムツ定期便的なサービスがあるとありがたい。
- ・保育料が高い。共働きしているが、保育料が高く何のために働いているかわからない。
- ・図書カードいただいたり、良くしてもらっていると思う。
- ・支援が手厚く感謝している。
- ・海も山も自然に恵まれ、人もいいが、もっと小さい子どもがあそべる場所がほしい。
- ・子育てに関する古賀市の情報発信が分かりにくい。古賀市のホームページも古く検索もしづらいつ感じます。
- ・困ったことがあれば相談など聞いてくれる。
- ・子育て支援の内容をよく認知できていない。
- ・特に問題を感じていない。

など

問 27 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどんなことですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「子育てで出費がかさむ」の割合が40.1%と最も高く、次いで「子育てによる身体の疲れが大きい」の割合が29.3%、「子どもとふれあう時間が十分にとれない」の割合が22.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子どものしつけや接し方がよくわからない」「子育てによる身体の疲れが大きい」「子育てで出費がかさむ」の割合が増加しています。一方、「不安に思うことは特にない」の割合が減少しています。



【その他の内容】

- ・母子家庭であること。
 - ・将来どの位お金が必要か分からない。
 - ・病気の際の預かり場所。
 - ・アパートなので周囲からのクレーム。
 - ・保育園が決まるかどうか。
 - ・公園が少ない。
 - ・同じくらいの年齢の子どもを持つお母さん方とすぐに仲良くなれない。
 - ・支援制度が整っていない自治体に住んでしまった。
- など

【年齢別】

年齢別にみると、4歳で「子どもとふれあう時間が十分にとれない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どもとふれあう時間が十分にとれない	子どものしつけや接し方がよくわからない	子どもの病気や発育・発達の遅れが気になる	親として自信が持てない	配偶者の協力が得られない	子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	理由は分からないが不安になる	子どものことで話し相手や相談相手がない
全 体	574	22.1	19.9	13.8	7.7	4.2	1.6	6.6	1.9
0歳	163	14.7	13.5	14.7	9.2	4.9	0.6	10.4	3.7
1歳	137	19.0	21.2	13.9	5.1	5.1	3.6	7.3	1.5
2歳	3	33.3	—	—	—	—	—	—	—
3歳	116	27.6	25.0	15.5	6.9	0.9	0.9	4.3	1.7
4歳	140	30.0	23.6	10.7	7.9	5.7	1.4	3.6	0.7
5歳	9	22.2	11.1	22.2	11.1	—	—	11.1	—

区分	仕事が多忙で十分なことができない	自分のやりたいことが十分にできない	子育てによる身体の疲れが大きい	子育てで出費がかさむ	住居が狭い	その他	不安に思うことは特にない	無回答
全 体	10.5	19.7	29.3	40.1	11.5	4.2	9.1	6.8
0歳	10.4	16.6	27.6	41.7	13.5	5.5	12.3	4.3
1歳	5.8	19.7	27.0	44.5	14.6	3.6	6.6	6.6
2歳	—	—	66.7	66.7	—	—	33.3	—
3歳	12.1	19.0	32.8	37.9	12.1	1.7	8.6	7.8
4歳	15.0	22.9	27.9	31.4	6.4	5.7	7.9	10.0
5歳	—	44.4	44.4	77.8	—	—	11.1	—

【子育てを主に行っている人別】

子育てを主に行っている人別にみると、保育所で「子どもとふれあう時間が十分にとれない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	子どもとふれあう 時間が十分にとれ ない	子どもとのしつけや 接し方がよくわか らない	子どもへの病気や発 育・発達への遅れが気 になる	親として自信が持 てない	配偶者の協力が得 られない	子育てが大変なこ とを身近な人が理 解してくれない	理由は分からない が不安になる	子どものことで話 し相手や相談相手 がいない
全 体	574	22.1	19.9	13.8	7.7	4.2	1.6	6.6	1.9
母親	558	21.7	20.1	14.2	7.9	4.3	1.6	6.8	2.0
父親	465	22.6	21.1	13.5	8.4	3.4	1.3	7.5	1.9
祖父	97	19.6	20.6	13.4	6.2	3.1	—	6.2	—
祖母	167	21.0	19.2	11.4	7.2	4.2	1.2	6.0	1.2
幼稚園	85	16.5	23.5	12.9	5.9	3.5	—	7.1	—
保育所	70	38.6	21.4	21.4	8.6	4.3	1.4	8.6	1.4
認定こども園	218	35.3	22.0	11.5	8.3	4.6	1.8	5.0	1.4
小規模保育事業所	2	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—
届出保育施設	3	—	—	—	—	—	—	33.3	—
企業主導型保育施設	5	20.0	40.0	20.0	—	20.0	—	—	—
その他	18	16.7	22.2	38.9	11.1	16.7	11.1	16.7	5.6

区分	仕事 が十分 にでき ない	自分 のやり たいこ とが十 分にで きない	子育 てによ る身体 の疲れ が大きい	子育 てで出 費がか さむ	住居 が狭い	その他	不安に 思うこ とは特 にない	無回 答
全 体	10.5	19.7	29.3	40.1	11.5	4.2	9.1	6.8
母親	10.8	19.9	28.9	39.4	11.1	4.3	9.3	6.8
父親	9.9	21.5	29.7	38.9	10.5	4.3	8.8	6.5
祖父	6.2	19.6	23.7	42.3	10.3	6.2	10.3	6.2
祖母	8.4	22.2	24.0	43.1	10.8	5.4	9.6	8.4
幼稚園	11.8	14.1	24.7	47.1	10.6	3.5	8.2	9.4
保育所	12.9	22.9	28.6	41.4	11.4	4.3	—	7.1
認定こども園	11.5	20.6	31.7	32.1	10.6	4.1	7.8	8.3
小規模保育事業所	—	—	50.0	50.0	50.0	—	—	—
届出保育施設	—	33.3	66.7	66.7	—	—	—	—
企業主導型保育施設	—	20.0	20.0	80.0	40.0	—	—	—
その他	5.6	11.1	44.4	22.2	—	5.6	5.6	11.1

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別にみると、日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいるで「自分のやりたいことが十分にできない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	子どもとふれあう 時間が十分にた らない	子どもがよけや かしく接しな い	子どもの病気の 発達の遅れが気 になる	親として自信が 持てない	配偶者の協力が 得られない	子育てが大変な ことを身近な人 が理解してくれ ない	理由は分からな い不安になる	子どものことで 話し相手や相談 相手がない
全 体	574	22.1	19.9	13.8	7.7	4.2	1.6	6.6	1.9
日常的に祖父母等の親族にみ てもらえる	137	16.8	19.0	16.1	5.8	4.4	0.7	6.6	0.7
緊急時もしくは用事の際には 祖父母等の親族にみてもら える	397	21.9	21.2	14.4	7.6	4.5	1.5	6.3	0.8
日常的に子どもをみてもら える友人・知人がいる	11	—	9.1	9.1	9.1	—	—	—	—
緊急時もしくは用事の際には 子どもをみてもらえる友人・ 知人がいる	49	16.3	14.3	10.2	6.1	2.0	—	2.0	—
いずれもない	76	22.4	18.4	11.8	10.5	2.6	2.6	6.6	9.2

区分	仕事 が十分 にでき ない	自分 のやり たいこ とが十 分に できな い	子育 てによ る身体 の疲れ が大きい	子育 てで出 費がか さむ	住居 が狭い	その他	不安に 思うこ とは特 にない	無回 答
全 体	10.5	19.7	29.3	40.1	11.5	4.2	9.1	6.8
日常的に祖父母等の親族にみ てもらえる	6.6	21.2	26.3	40.9	13.1	5.8	12.4	5.1
緊急時もしくは用事の際には 祖父母等の親族にみてもら える	10.3	19.1	29.5	42.6	11.6	3.5	8.3	6.3
日常的に子どもをみてもら える友人・知人がいる	—	27.3	18.2	45.5	9.1	—	36.4	—
緊急時もしくは用事の際には 子どもをみてもらえる友人・ 知人がいる	10.2	20.4	24.5	42.9	18.4	—	16.3	4.1
いずれもない	14.5	21.1	28.9	28.9	6.6	6.6	9.2	10.5

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「子どもとふれあう時間が十分にとれない」の割合が高くなっています。

単位：％

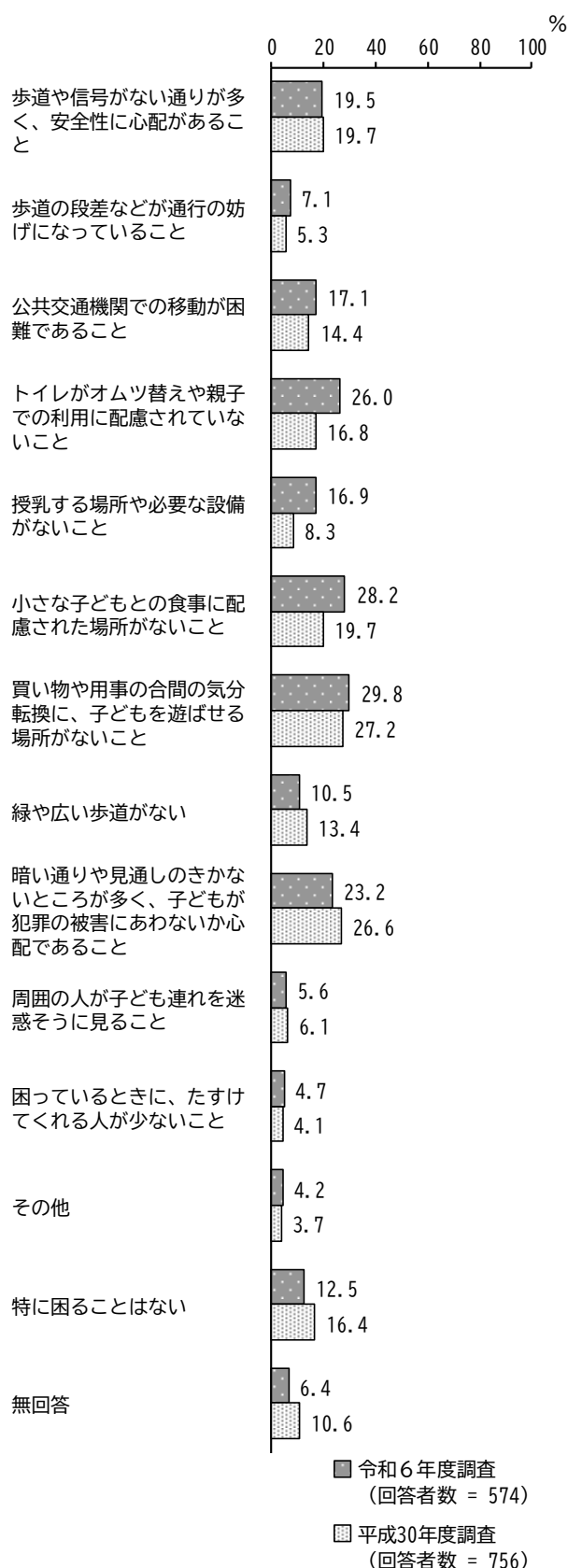
区分	回答者数（件）	子どもとふれあう時間が十分にとれない	子どものしつけや接し方がよくわからない	子どもの病気や発育・発達の遅れが気になる	親として自信が持てない	配偶者の協力が得られない	子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	理由は分からないが不安になる	子どものことで話し相手や相談相手がいない
全 体	574	22.1	19.9	13.8	7.7	4.2	1.6	6.6	1.9
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	172	42.4	23.8	14.5	7.0	4.1	1.7	4.1	－
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	100	13.0	14.0	13.0	6.0	3.0	2.0	13.0	5.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	141	22.0	22.7	11.3	8.5	7.1	1.4	5.7	2.8
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	23	8.7	13.0	26.1	4.3	－	－	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	125	5.6	17.6	13.6	10.4	3.2	1.6	7.2	1.6
これまで就労したことがない	9	－	22.2	22.2	－	－	－	11.1	－

区分	仕事が多忙で十分にできない	自分のやりたいことが十分にできない	子育てによる身体の疲れが大きい	子育てで出費がかさむ	住居が狭い	その他	不安に思うことは特にない	無回答
全 体	10.5	19.7	29.3	40.1	11.5	4.2	9.1	6.8
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	12.2	21.5	29.7	32.6	8.1	4.7	5.2	8.7
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	6.0	16.0	29.0	42.0	14.0	7.0	13.0	3.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	13.5	20.6	31.2	41.8	14.9	2.8	3.5	8.5
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	8.7	13.0	30.4	52.2	8.7	－	13.0	4.3
以前は就労していたが、現在は就労していない	8.0	20.8	26.4	46.4	12.0	3.2	14.4	5.6
これまで就労したことがない	22.2	11.1	33.3	22.2	－	11.1	22.2	11.1

問 28 子どもと外出する際に困ったこと、困ることはどのようなことですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」の割合が29.8%と最も高く、次いで「小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと」の割合が28.2%、「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」の割合が26.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」「授乳する場所や必要な設備がないこと」「小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと」の割合が増加しています。



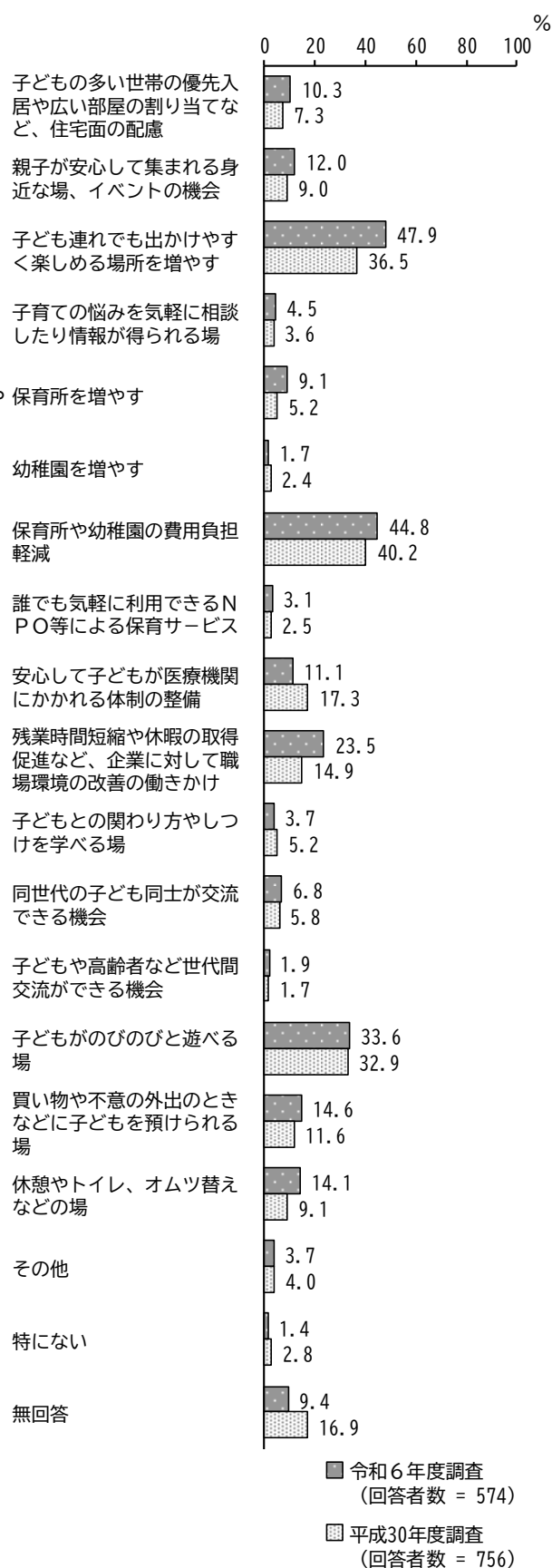
【その他の内容】

- ・遊具がある公園が少なすぎる。
- ・通っているこども園の前が車の抜け道になっていてものすごいスピードで走る。交通量も多いのに横断歩道がない。
- ・千鳥小学校近くの歩道の草がすごすぎる。
- ・室内の遊び場を増やしてほしい。
- ・すぐに走り出してしまうため他の人にぶつからないか、迷子にならないか心配。
- ・歩道や用水路にガードレールがない所が多く、近くを歩かせられない。公園の看板など外れたものが立てかけられている場合が多く、子どもがさわって危ないし、風で飛ばないか心配。遊具の点検はされているがベンチなど周りの環境も点検してほしい。など

問 29 今後、どのような取り組みがあれば子育てをしやすいと思いますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「子ども連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「保育所や幼稚園の費用負担軽減」の割合が 44.8%、「子どもがのびのびと遊べる場」の割合が 33.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子ども連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす」「残業時間短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善の働きかけ」の割合が増加しています。一方、「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備」の割合が減少しています。



【その他の内容】

- ・病児保育を増やして欲しい。
- ・定期的な経済的支援
- ・小児科が少ない。
- ・休日保育がもう少し気軽に利用できれば安心して働ける。
- ・オムツ定期便のようなサービス など
- ・道路を広くして歩道を作る。
- ・教育費の補助
- ・産休育休手当がもっと早く入るようにして欲しい。

【年齢別】

年齢別にみると、4歳で「子どもがのびのびと遊べる場」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子どもが多い世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮	親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会	子ども連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす	子育ての悩みを気軽に相談したり情報が得られる場	保育所を増やす	幼稚園を増やす	保育所や幼稚園の費用負担軽減	誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービス	安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備
全 体	574	10.3	12.0	47.9	4.5	9.1	1.7	44.8	3.1	11.1
0歳	163	10.4	15.3	47.9	6.7	11.0	2.5	49.1	2.5	7.4
1歳	137	12.4	8.0	44.5	4.4	10.2	2.2	52.6	1.5	12.4
2歳	3	—	—	33.3	33.3	—	—	66.7	—	—
3歳	116	6.9	8.6	51.7	4.3	5.2	0.9	44.0	5.2	12.1
4歳	140	10.0	12.9	47.1	2.1	9.3	1.4	34.3	4.3	14.3
5歳	9	22.2	44.4	66.7	—	11.1	—	22.2	—	11.1

区分	境の改善の働きかけ 残業時間短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善の働きかけ	子どもとの関わり方やしつけを学べる場	同世代の子ども同士が交流できる機会	子どもや高齢者など世代間交流ができる機会	子どもがのびのびと遊べる場	買い物や不意の外出のときなどに子どもを預けられる場	休憩やトイレ、オムツ替えなどの場	その他	特にない	無回答
全 体	23.5	3.7	6.8	1.9	33.6	14.6	14.1	3.7	1.4	9.4
0歳	25.2	3.7	6.7	2.5	23.3	15.3	22.1	3.7	0.6	9.8
1歳	22.6	3.6	7.3	1.5	26.3	10.9	12.4	5.8	1.5	8.8
2歳	33.3	—	—	—	66.7	33.3	33.3	—	—	—
3歳	25.9	3.4	5.2	3.4	38.8	17.2	12.9	3.4	1.7	9.5
4歳	20.7	4.3	8.6	0.7	43.6	15.0	7.9	2.1	1.4	10.7
5歳	22.2	—	—	—	55.6	11.1	—	—	11.1	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中であるで「残業時間短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善の働きかけ」の割合が高くなっています。

単位：％

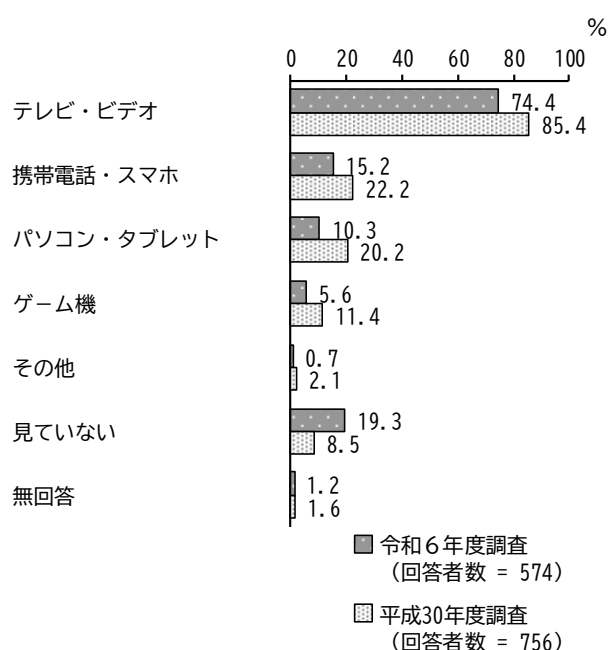
区分	回答者数(件)	子どもの多い世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮	親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会	子ども連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす	子育ての悩みを気軽に相談したり情報が得られる場	保育所を増やす	幼稚園を増やす	保育所や幼稚園の費用負担軽減	誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービス	安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備
全 体	574	10.3	12.0	47.9	4.5	9.1	1.7	44.8	3.1	11.1
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	172	11.0	8.1	49.4	2.3	11.0	1.2	40.1	4.7	11.6
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	100	7.0	16.0	46.0	4.0	12.0	1.0	54.0	2.0	7.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	141	14.9	11.3	48.9	5.0	8.5	0.7	47.5	2.8	11.3
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	23	13.0	8.7	30.4	—	8.7	—	43.5	8.7	8.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	125	7.2	12.8	49.6	8.0	5.6	4.8	44.0	1.6	12.8
これまで就労したことがない	9	—	44.4	44.4	11.1	—	—	22.2	—	33.3

区分	残業時間短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善の働きかけ	子どもとの関わり方やしつけを学べる場	同世代の子ども同士が交流できる機会	子どもや高齢者など世代間交流ができる機会	子どもがのびのびと遊べる場	買い物や不意の外出のときなどに子どもを預けられる場	休憩やトイレ、オムツ替えなどの場	その他	特にない	無回答
全 体	23.5	3.7	6.8	1.9	33.6	14.6	14.1	3.7	1.4	9.4
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	28.5	3.5	7.0	1.7	37.8	18.6	9.9	4.7	1.7	8.7
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	34.0	5.0	7.0	2.0	25.0	17.0	21.0	4.0	1.0	7.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	18.4	2.1	2.1	1.4	36.2	10.6	14.9	3.5	2.1	7.1
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	21.7	4.3	13.0	—	30.4	21.7	17.4	—	—	13.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	15.2	4.8	11.2	2.4	32.0	10.4	14.4	3.2	0.8	13.6
これまで就労したことがない	22.2	—	—	—	33.3	11.1	—	—	—	11.1

問 30 対象のお子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、テレビ・ビデオ等、次のものを使用していますか。数字でご記入ください。

「テレビ・ビデオ」の割合が74.4%と最も高く、次いで「見ていない」の割合が19.3%、「携帯電話・スマホ」の割合が15.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「見ていない」の割合が増加しています。一方、「テレビ・ビデオ」「携帯電話・スマホ」「パソコン・タブレット」「ゲーム機」の割合が減少しています。



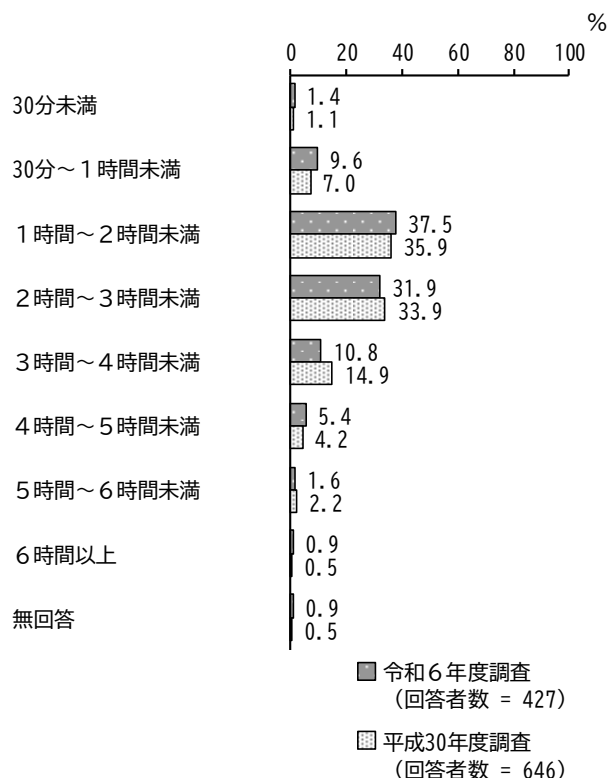
【その他の内容】

- ・土、日のみテレビをみる。

1. テレビ・ビデオ

「1時間～2時間未満」の割合が37.5%と最も高く、次いで「2時間～3時間未満」の割合が31.9%、「3時間～4時間未満」の割合が10.8%となっています。

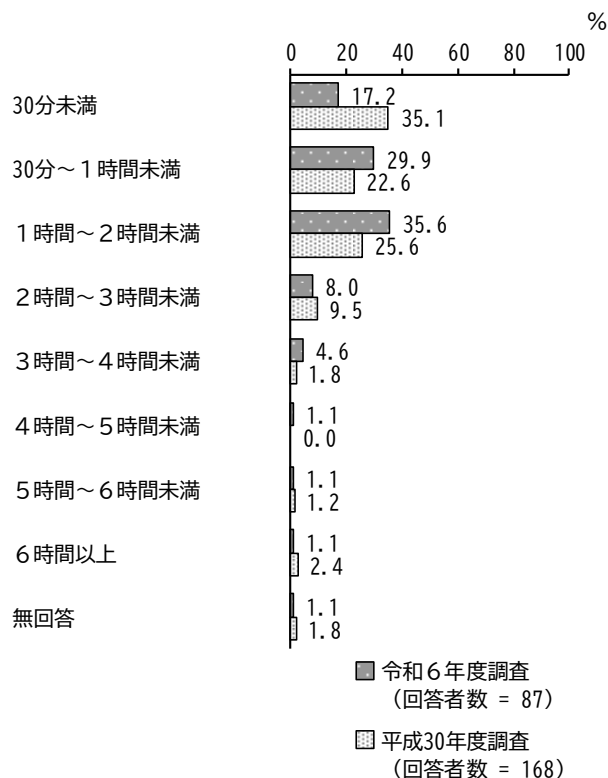
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



2. 携帯電話・スマホ

「1時間～2時間未満」の割合が35.6%と最も高く、次いで「30分～1時間未満」の割合が29.9%、「30分未満」の割合が17.2%となっています。

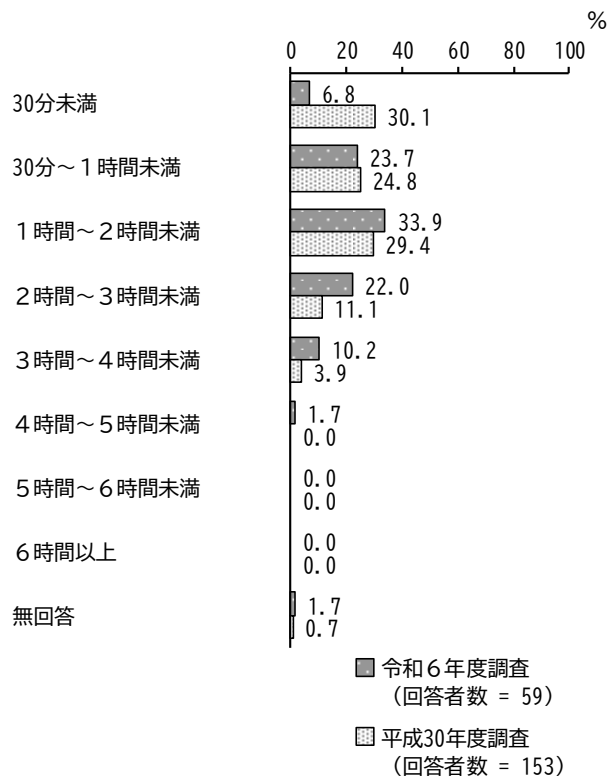
平成30年度調査と比較すると、「30分～1時間未満」「1時間～2時間未満」の割合が増加しています。一方、「30分未満」の割合が減少しています。



3. パソコン・タブレット

「1時間～2時間未満」の割合が33.9%と最も高く、次いで「30分～1時間未満」の割合が23.7%、「2時間～3時間未満」の割合が22.0%となっています。

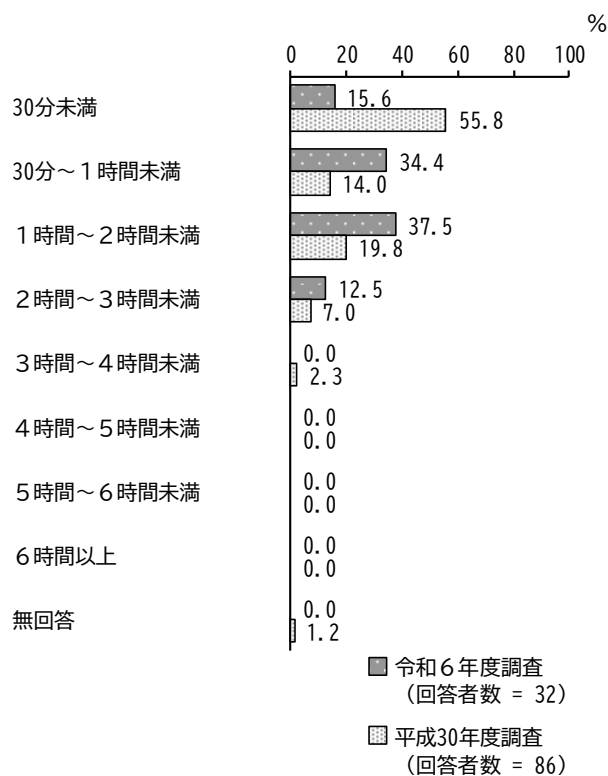
平成30年度調査と比較すると、「2時間～3時間未満」「3時間～4時間未満」の割合が増加しています。一方、「30分未満」の割合が減少しています。



4. ゲーム機

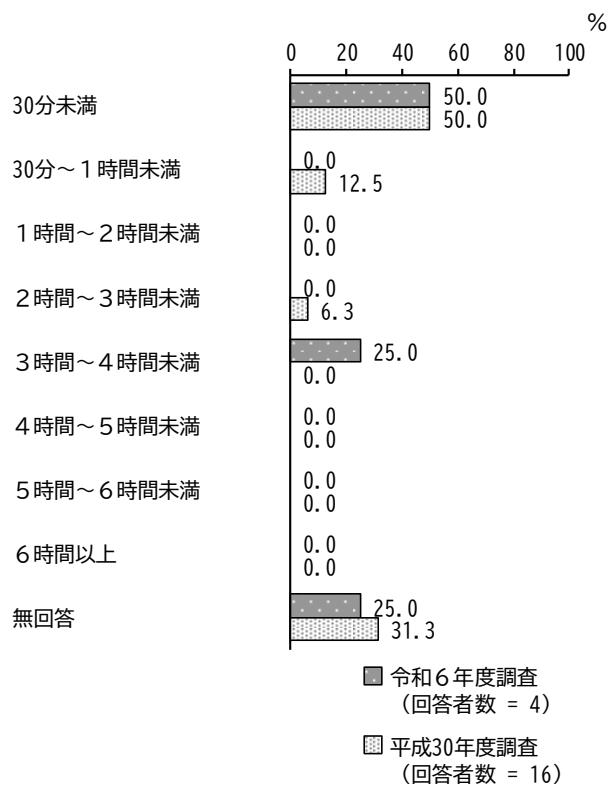
「1時間～2時間未満」の割合が37.5%と最も高く、次いで「30分～1時間未満」の割合が34.4%、「30分未満」の割合が15.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「30分～1時間未満」「1時間～2時間未満」「2時間～3時間未満」の割合が増加しています。一方、「30分未満」の割合が減少しています。



5. その他

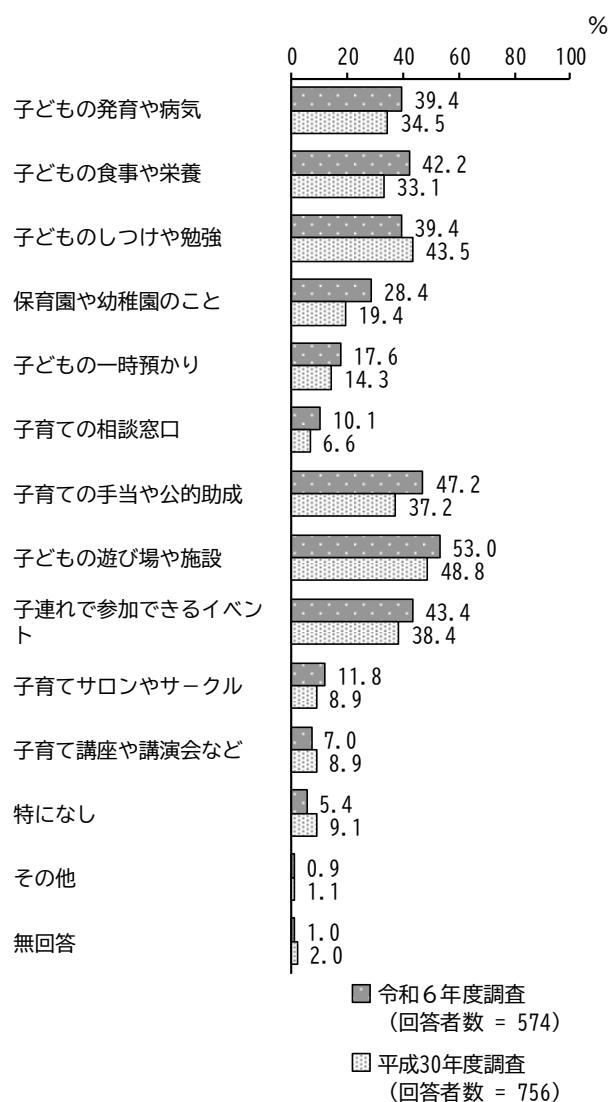
「30分未満」が2件となっています。「3時間～4時間未満」が1件となっています。



問 31 現在、子育てについてどんな情報を得たいと思っていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの遊び場や施設」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「子育ての手当や公的助成」の割合が 47.2%、「子連れで参加できるイベント」の割合が 43.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子どもの食事や栄養」「保育園や幼稚園のこと」「子育ての手当や公的助成」の割合が増加しています。



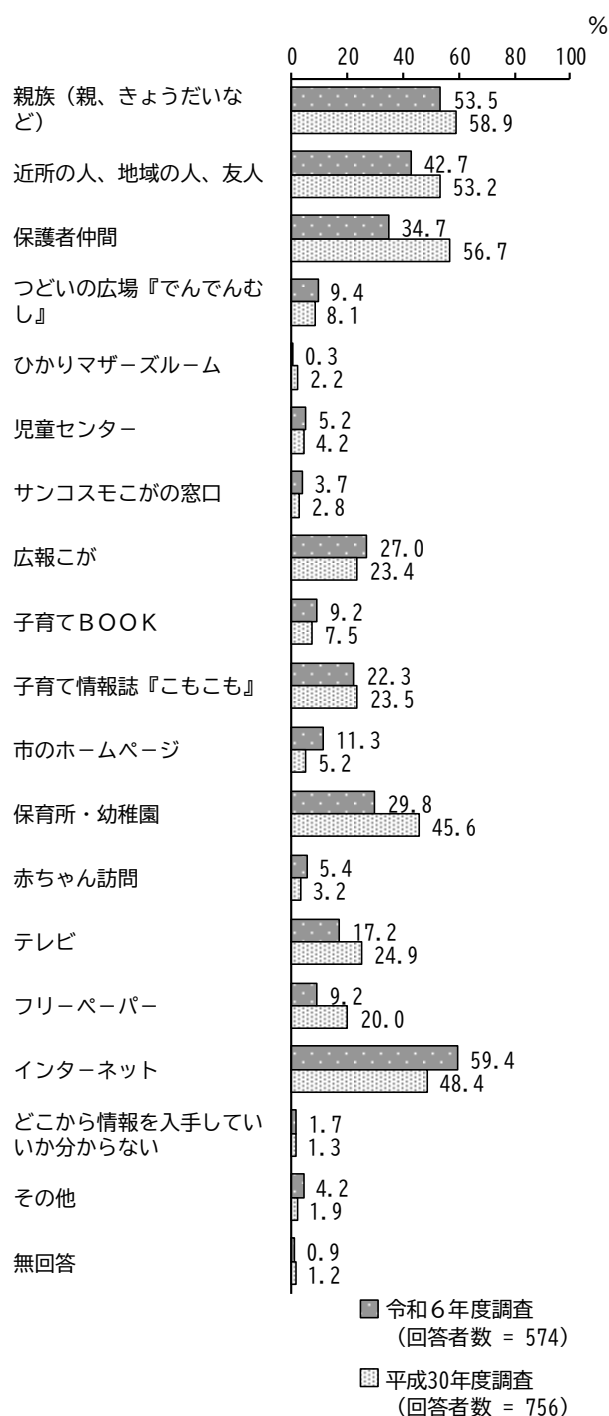
【その他の内容】

- ・夏休みなどの体験教室で、幼稚園児が出来るものがもう少しあれば…。いつもフラダンスくらいしかなくて残念。いろいろ体験して、習い事ややりたい事を見つけてほしい。選んでほしい。
- ・就学に向けての小学校の情報（タブレットを使う学校なのか、雰囲気や評判）
- ・小学校入学前の準備や同級生との交流機会がないか。
- ・遊びやすい公園など。

問 32 子育てに関する情報をどこから入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「インターネット」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「親族（親、きょうだいなど）」の割合が 53.5%、「近所の人、地域の人、友人」の割合が 42.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「市のホームページ」「インターネット」の割合が増加しています。一方、「親族（親、きょうだいなど）」「近所の人、地域の人、友人」「保護者仲間」「保育所・幼稚園」「テレビ」「フリーペーパー」の割合が減少しています。



※前回調査では、「児童センター」の選択肢は「児童館、児童センター」となっていました。

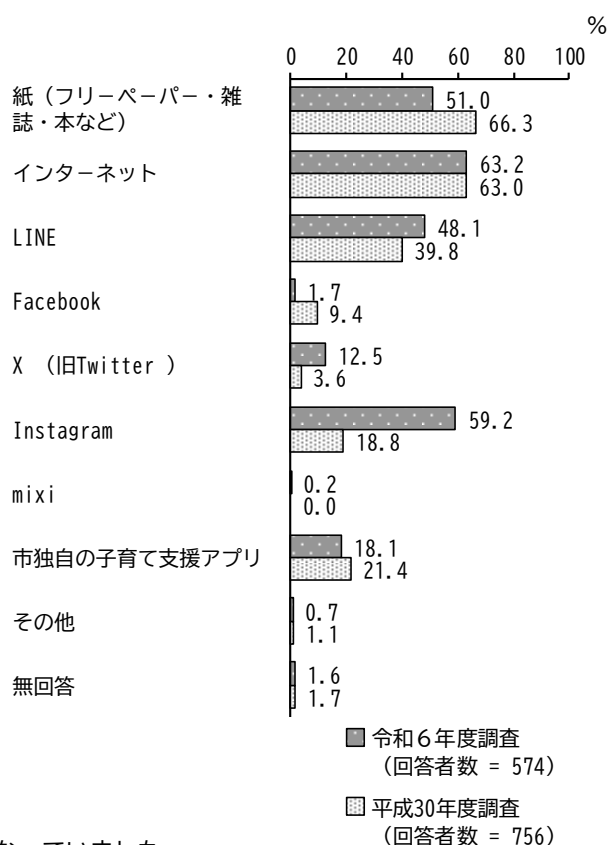
【その他の内容】

- ・ NPO Hug っこさん
- ・ はじめのいっぽ
- ・ 教育誌
- ・ 産院のスタッフの方々
- ・ 幼児教室
- ・ 全く得ていない、それどころではない。

問 33 子育て情報を得るために、利用したいと思う手段や機能を教えてください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「インターネット」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「Instagram」の割合が 59.2%、「紙（フリーペーパー・雑誌・本など）」の割合が 51.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「LINE」「X（旧 Twitter）」「Instagram」の割合が増加しています。一方、「紙（フリーペーパー・雑誌・本など）」「Facebook」の割合が減少しています。



※前回調査では、「X（旧 Twitter）」の選択肢は「Twitter」となっていました。

【その他の内容】

- ・テレビ
- ・集まり、直接話を聞くスタイル
- ・引っ越し先でも継続して使える子育て支援アプリ
- ・フリーペーパーは見る時間がないので、携帯で好きな時間に見たい。

【どのような機能があれば使いたいと思うかの回答】

- ・健診や予防接種などの必要な情報をプッシュ通知で知らせてほしい。
- ・イベントのお知らせなど
- ・月齢にあった知識を定期的に教えて欲しい。
- ・健診の情報や病気の時などの対処法がわかりやすくてある。
- ・子ども連れで行きやすい公園（遊び場）マップ
- ・割引やサービス、ポイント給付など。
- ・病院の検索や急患センターのお知らせ。
- ・母子手帳のアプリ化
- ・困った時の相談窓口（電話）
- ・必要な申請をネットでできる。

など

問 34 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「言葉も内容も知っている」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 20.2%、「言葉は聞いたことがある」の割合が 12.4%となっています。

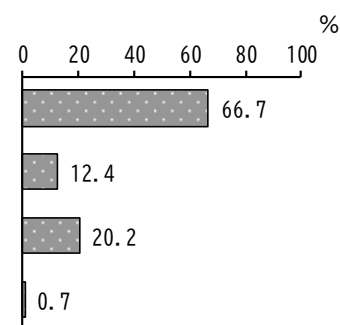
回答者数 = 574

言葉も内容も知っている

言葉は聞いたことがある

知らない

無回答



問 35 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「わからない」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「本人に様子を聞く」の割合が 35.5%、「家族、知人、友人に相談する」の割合が 30.0%となっています。

回答者数 = 574

本人に様子を聞く

家族、知人、友人に相談する

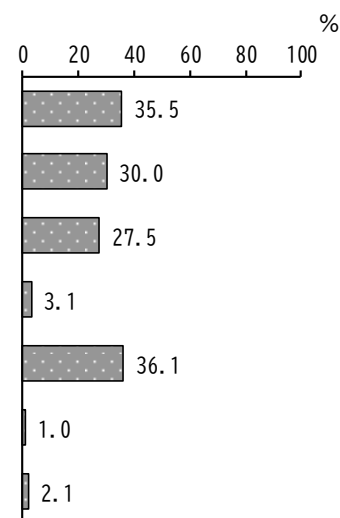
関係機関に相談する

何もしない

わからない

その他

無回答



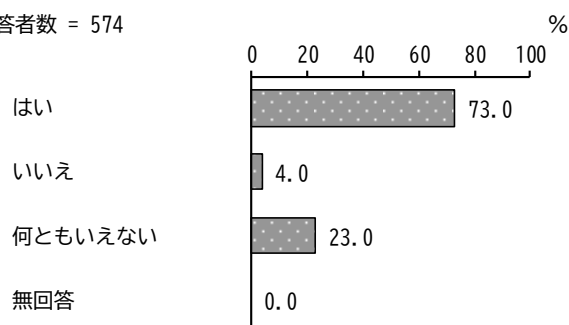
【その他の内容】

- ・家族の様子を見に行く、聞きとり。
- ・どのぐらいの関係性か、にもよる。
- ・助けて欲しそうであれば一緒に対処法を考える。

問 36 お子さんとゆったりした時間を過ごす時間がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「はい」の割合が 73.0%と最も高く、次いで「何ともいえない」の割合が 23.0%となっています。

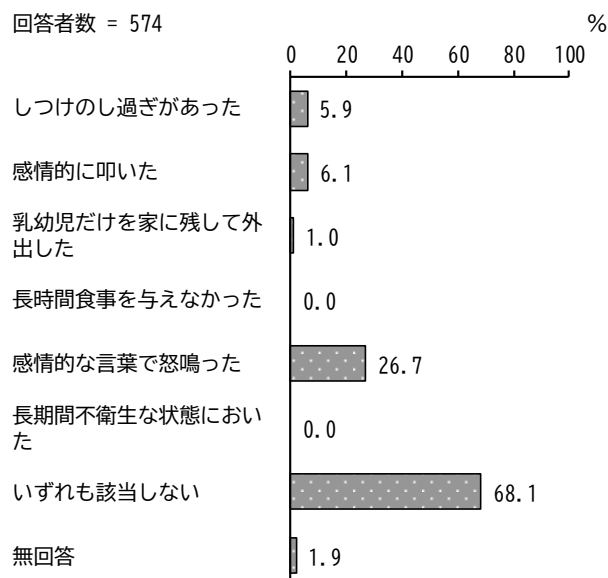
回答者数 = 574



問 37 この数か月の間に、ご家族で以下のことがありませんでしたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「いずれも該当しない」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「感情的な言葉で怒鳴った」の割合が 26.7%となっています。

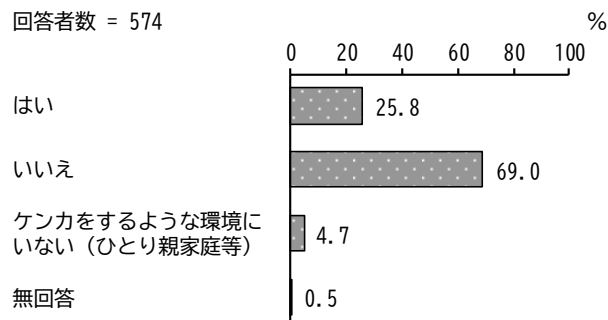
回答者数 = 574



問 38 この数か月の間に、子どもの前でパートナーとケンカをしたことがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「いいえ」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「はい」の割合が 25.8%となっています。

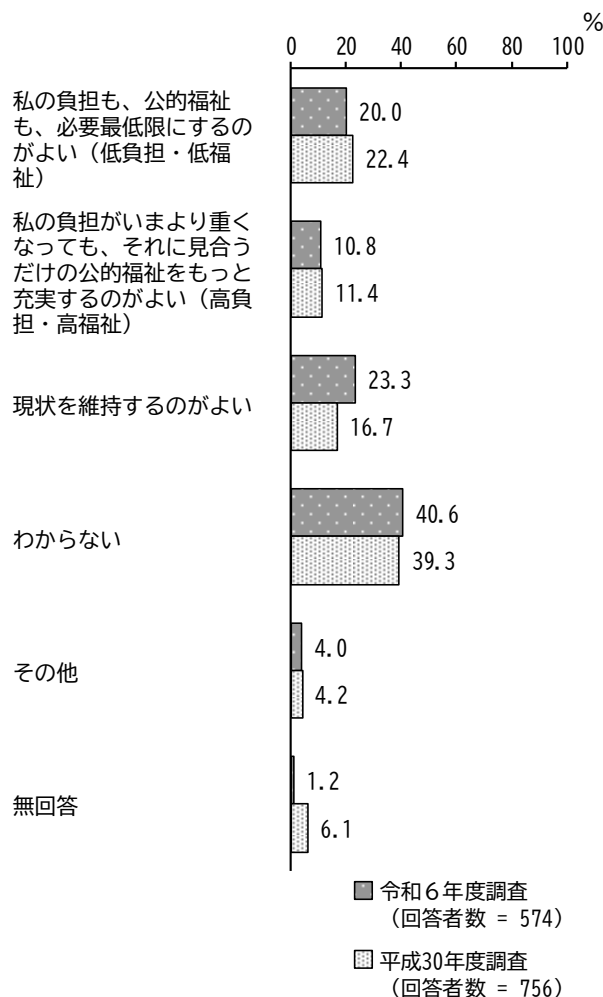
回答者数 = 574



問 39 国や市が負担する「公的福祉」の提供と、「あなたの負担」とのバランスについて、あなたの考えに最もちかいものはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「わからない」の割合が40.6%と最も高く、次いで「現状を維持するのがよい」の割合が23.3%、「私の負担も、公的福祉も、必要最低限にするのがよい（低負担・低福祉）」の割合が20.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「現状を維持するのがよい」の割合が増加しています。



【その他の内容】

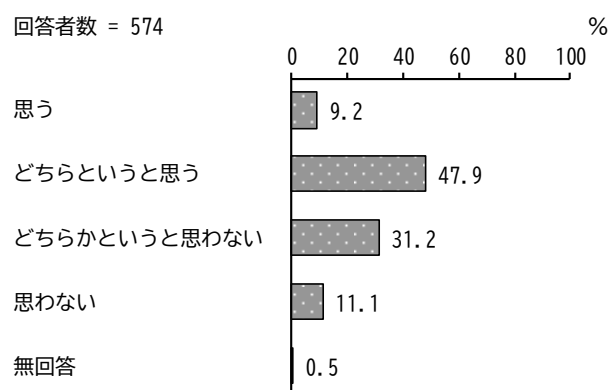
- ・負担は同じで、サービスの内容や取りくみを改めたほうが良い。
- ・本当に充実するのなら負担してもよいけど、できないなら軽くしてほしい。
- ・物価高で、負担が現在大きいので、これ以上高負担はいやだが、福祉はもう少しだけ充実してほしい。
- ・公共福祉はもっと充実させて欲しい。
- ・子育て世帯の税負担軽減と支援拡充をして欲しい。
- ・市は高福祉だと思うけど、国の無駄遣いがすごすぎるのでそこを変えて低負担、高福祉にしてほしい。
- ・現状維持は当たり前です。自身は負担が多少増えても良いですが、見合う以上だと思えないと納得できないです。
- ・若い子育て世代、これから担う世代へ充実させる（高福祉であることはありがたいが平等でないことが多い）。
- ・高齢者などに使うお金を子どものために使っていただければ負担が高くなっても構わない。
- ・古賀市が取り組んでいる18歳以下医療費無料はとても助かる。負担のバランスはよくわからない。

など

問 40 あなたは古賀市がチルドレン・ファーストのまちだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「どちらというと思う」の割合が47.9%と最も高く、次いで「どちらかというと思わない」の割合が31.2%、「思わない」の割合が11.1%となっています。

回答者数 = 574

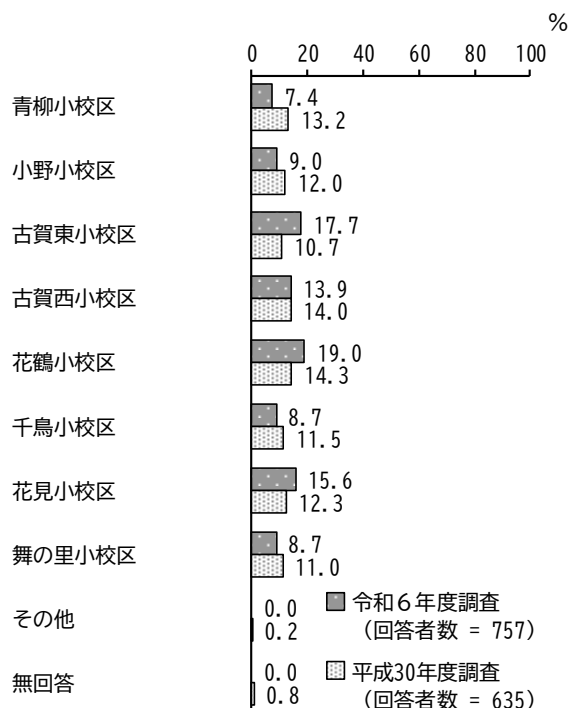


2 小学生保護者

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「花鶴小校区」の割合が19.0%と最も高く、次いで「古賀東小校区」の割合が17.7%、「花見小校区」の割合が15.6%となっています。

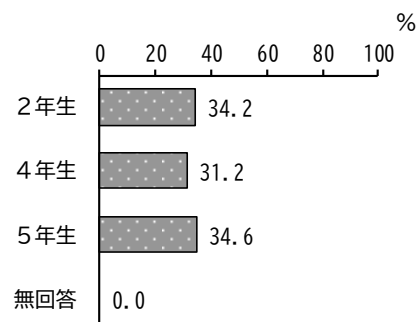
平成30年度調査と比較すると、「古賀東小校区」の割合が増加しています。一方、「青柳小校区」の割合が減少しています。



問2 対象のお子さんの学年をお聞かせください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「5年生」の割合が34.6%と最も高く、次いで「2年生」の割合が34.2%、「4年生」の割合が31.2%となっています。

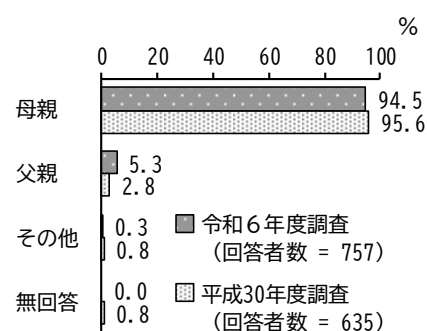
回答者数 = 757



問3 調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が 94.5%、「父親」の割合が 5.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



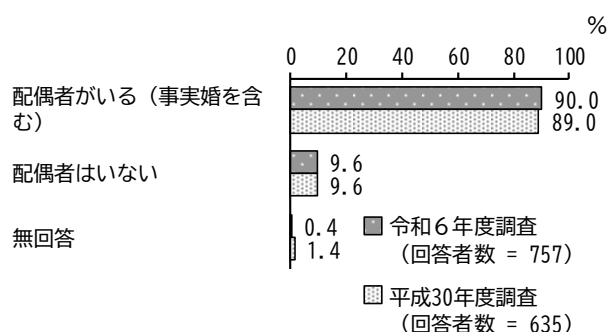
【その他の内容】

・祖母

問4 調査票にご回答いただいている方の配偶関係について当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる（事実婚を含む）」の割合が 90.0%、「配偶者がいない」の割合が 9.6%となっています。

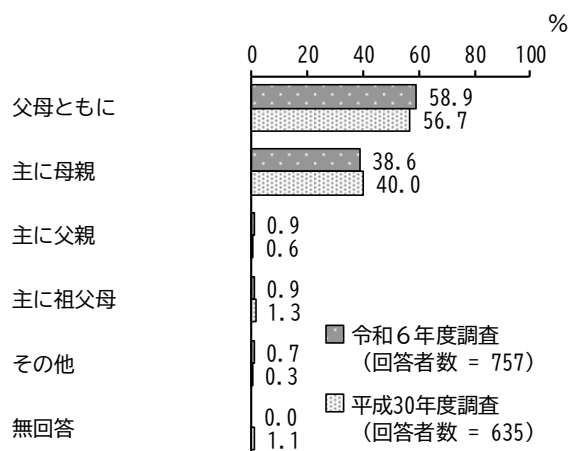
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 対象のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 38.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【その他の内容】

・父母と同居の祖母

・父母と祖母同じくらい ・母親と祖父母

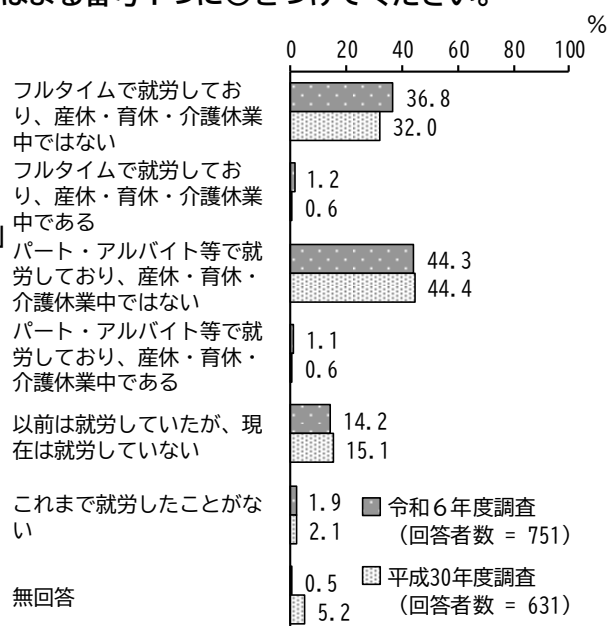
(1) 保護者の就労状況について

問6 対象のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が44.3%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が36.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が14.2%となっています。

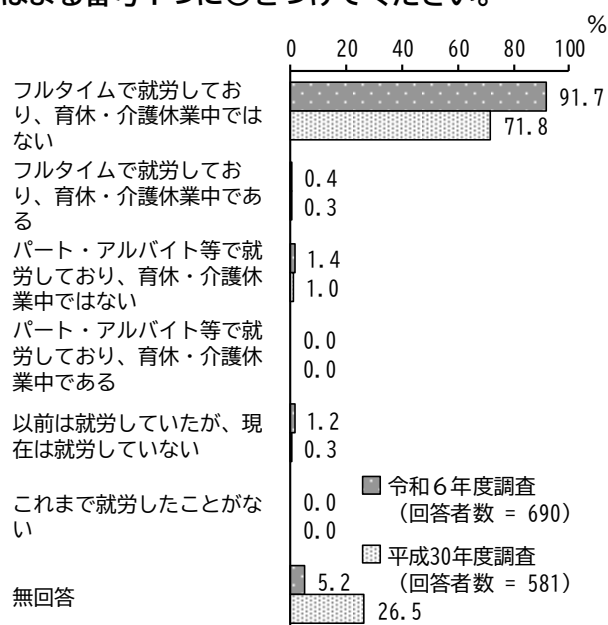
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイムで就労しており、産休・介護休業中ではない」の割合が91.7%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。



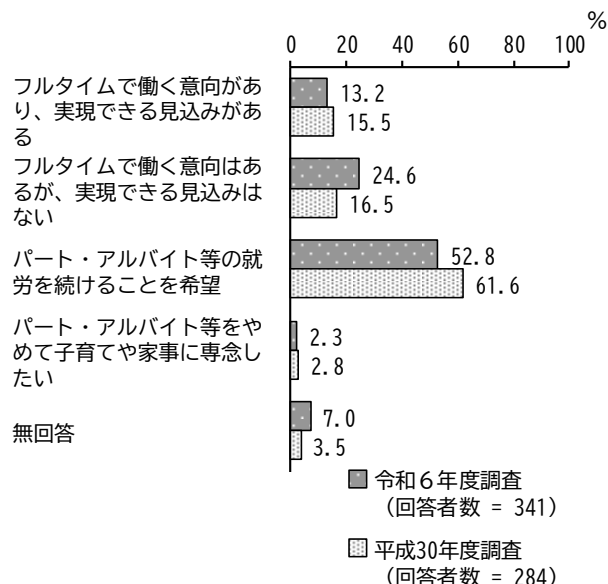
問6の(1)または(2)で「パート・アルバイト等で就労しており、(産休・)育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しており、(産休・)育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問6-1 今後、フルタイムで働く意向がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

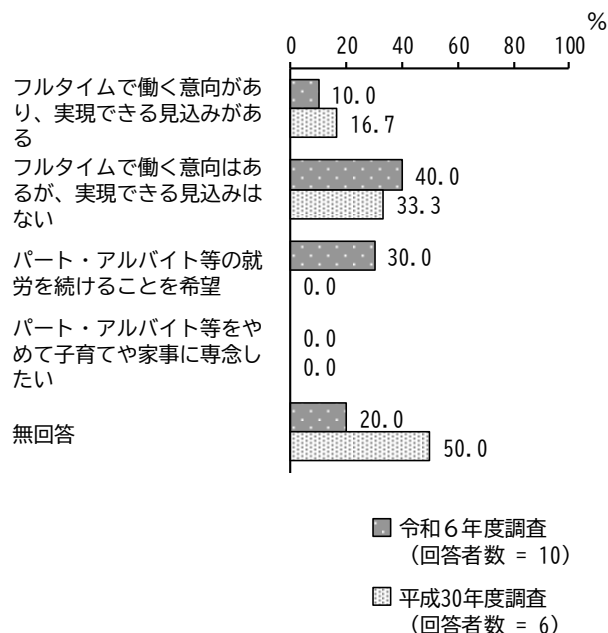
「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が52.8%と最も高く、次いで「フルタイムで働く意向はあるが、実現できる見込みはない」の割合が24.6%、「フルタイムで働く意向があり、実現できる見込みがある」の割合が13.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで働く意向はあるが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。一方、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が減少しています。



(2) 父親

「フルタイムで働く意向はあるが、実現できる見込みはない」の割合が40.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が30.0%、「フルタイムで働く意向があり、実現できる見込みがある」の割合が10.0%となっています。



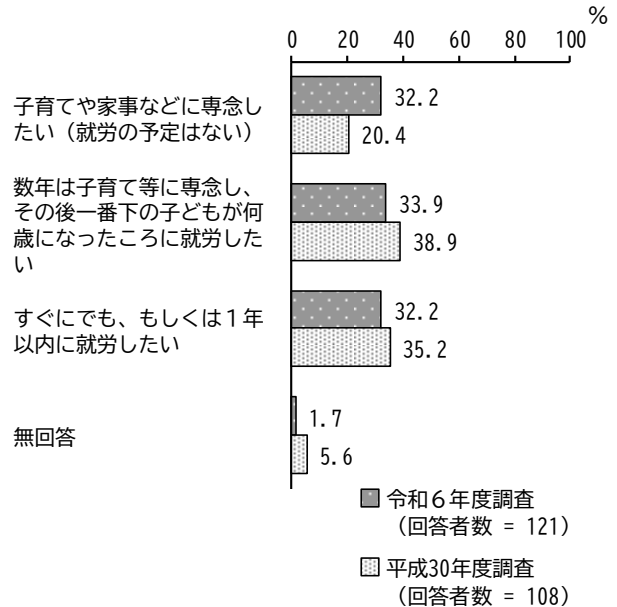
問6の(1)または(2)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問6-2 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1) 母親

「数年は子育て等に専念し、その後一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が33.9%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が32.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が増加しています。

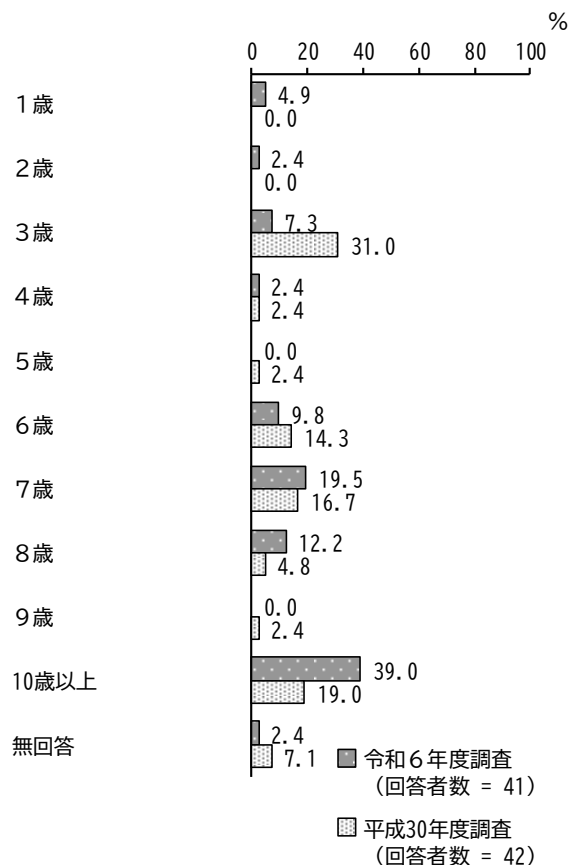


※前回調査では、「数年は子育て等に専念し、その後一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の選択肢は「数年は子育て等に専念し、その後一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」となっていました。

一番下の子どもが何歳になったところに就労したいか

「10歳以上」の割合が39.0%と最も高く、次いで「7歳」の割合が19.5%、「8歳」の割合が12.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8歳」「10歳以上」の割合が増加しています。一方、「3歳」の割合が減少しています。

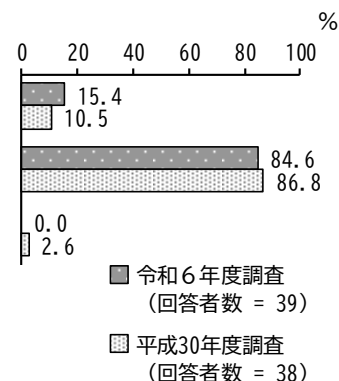


希望する就労形態

「①フルタイム」の割合が15.4%、「②パートタイム、アルバイト等」の割合が84.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

- ①フルタイム
- ②パートタイム、アルバイト等
- 無回答



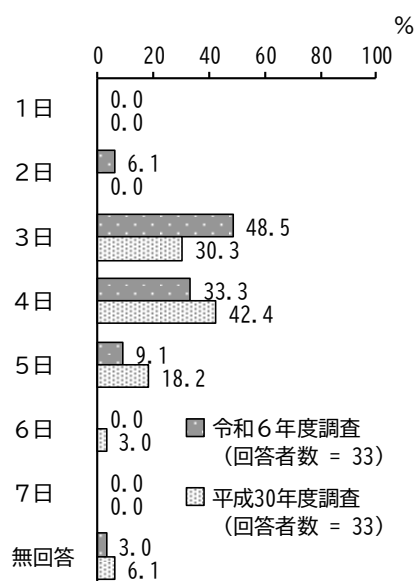
※前回調査では、「①フルタイム」の選択肢は「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」となっていました。

※前回調査では、「②パートタイム、アルバイト等」の選択肢は「パートタイム、アルバイト等（「①」以外）」となっていました。

パートタイム・アルバイト 1週あたり希望就労日数

「3日」の割合が48.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が33.3%となっています。

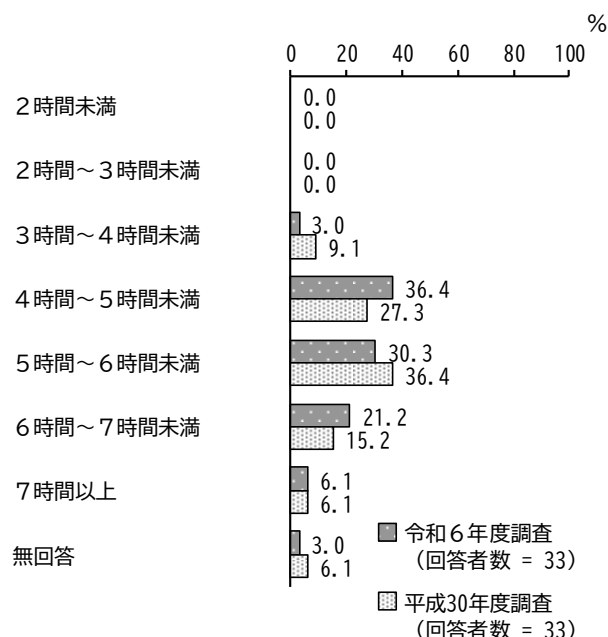
平成30年度調査と比較すると、「2日」「3日」の割合が増加しています。一方、「4日」「5日」の割合が減少しています。



1日あたり就労時間

「4時間～5時間未満」の割合が36.4%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が30.3%、「6時間～7時間未満」の割合が21.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4時間～5時間未満」「5時間～6時間未満」の割合が増加しています。一方、「3時間～4時間未満」「5時間～6時間未満」の割合が減少しています。



(2) 父親

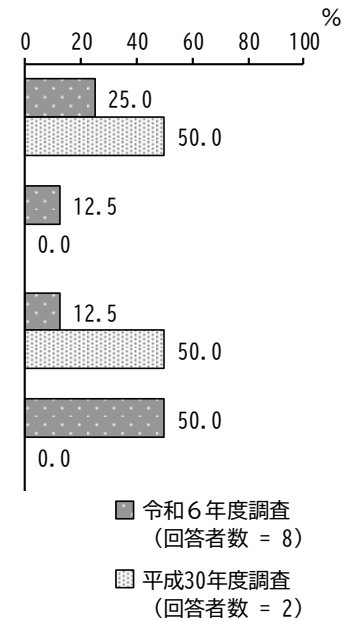
「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が2件となっています。「数年は子育て等に専念し、その後一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。

子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

数年は子育て等に専念し、その後一番下の子どもが何歳になったところに就労したい

すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

無回答



※前回調査では、「数年は子育て等に専念し、その後一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の選択肢は「数年は子育て等に専念し、その後一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」となっていました。

一番下の子どもが何歳になったところに就労したいか

「7歳」が1件となっています。

回答者数 = 1

1歳

2歳

3歳

4歳

5歳

6歳

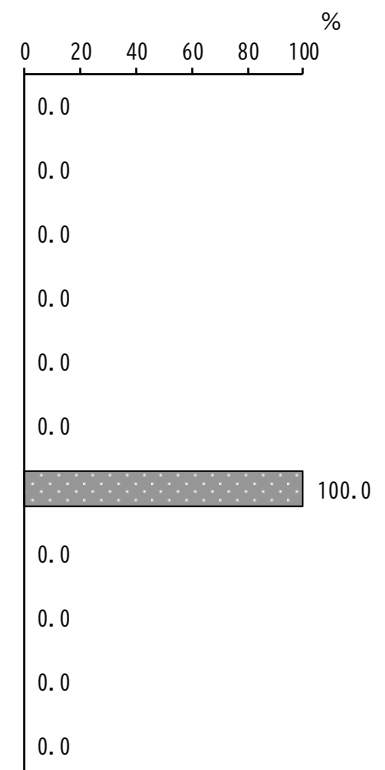
7歳

8歳

9歳

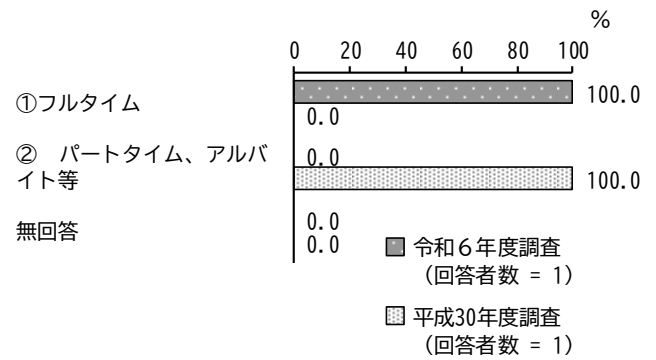
10歳以上

無回答



希望する就労形態

「①フルタイム」が1件、「②パートタイム、アルバイト等」が0件となっています。



※前回調査では、「①フルタイム」の選択肢は「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」となっていました。
 ※前回調査では、「②パートタイム、アルバイト等」の選択肢は「パートタイム、アルバイト等（「①」以外）」となっていました。

パートタイム・アルバイト 1週あたり希望就労日数

有効回答がありませんでした。

1日あたり就労時間

有効回答がありませんでした。

(2) お子さんの病気対応について

問7 あなたは市内に、病児保育があることを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

独立行政法人福岡東医療センター「たんぽぽ」

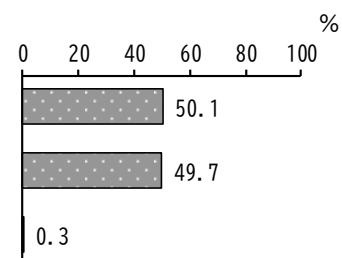
「知っている」の割合が 50.1%、「知らない」の割合が 49.7%となっています。

回答者数 = 757

知っている

知らない

無回答



こでまり小児科クリニック「ここん・こが」

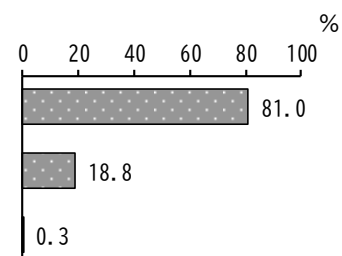
「知っている」の割合が 81.0%、「知らない」の割合が 18.8%となっています。

回答者数 = 757

知っている

知らない

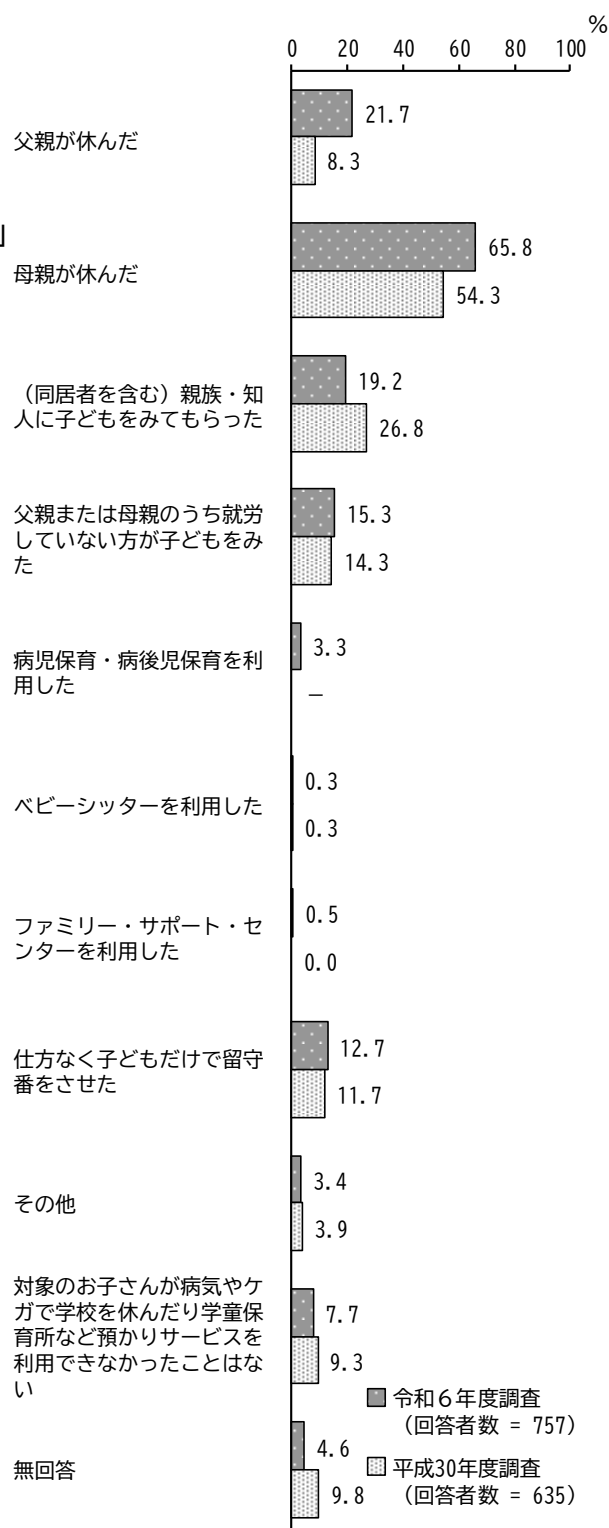
無回答



問8 対象のお子さんが病気やケガで学校を休んだり、学童保育所などの預かりサービスが利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。
(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

「母親が休んだ」の割合が65.8%と最も高く、
次いで「父親が休んだ」の割合が21.7%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が19.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」「母親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が減少しています。



※前回調査では、「病児保育・病後児保育を利用した」の選択肢はありませんでした。

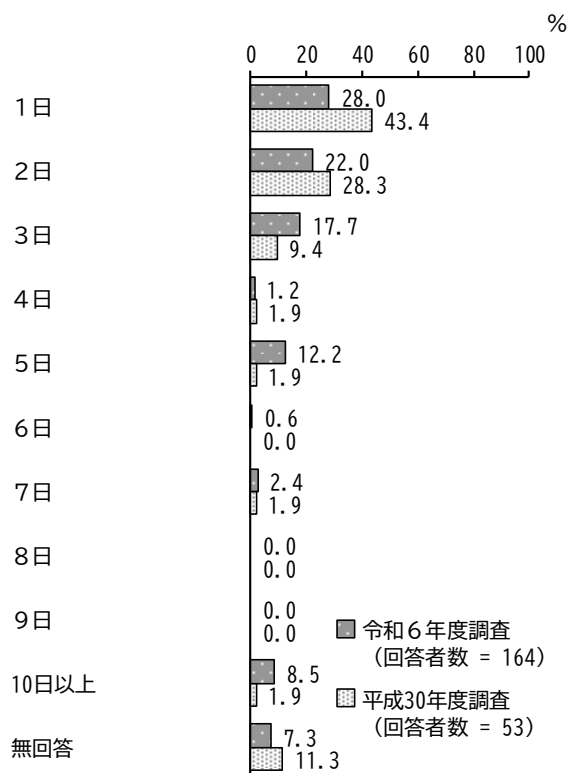
【その他の内容】

- ・自営業のため自宅で仕事しながら一緒に過ごす。
- ・在宅勤務に変えてもらった。 ・ 会社に連れて行く。
- ・自営業なので、職場に連れて行き、様子をみた。
- ・母親の職場が家の隣なので休んでない。
- ・自閉症スペクトラムで子どもとのコミュニケーションが取れないため、ほぼ不登校の為、自宅でみ
ています。
- ・午前中母親が働き、母親の勤務が終わりそうなタイミングで、父親が出勤。その入れ替わりのタイ
ミングの1時間ほどは1人で留守番していたので、4と8を合わせた感じ。 など

①父親が休んだ日数

「1日」の割合が 28.0%と最も高く、次いで
「2日」の割合が 22.0%、「3日」の割合が 17.7%
となっています。

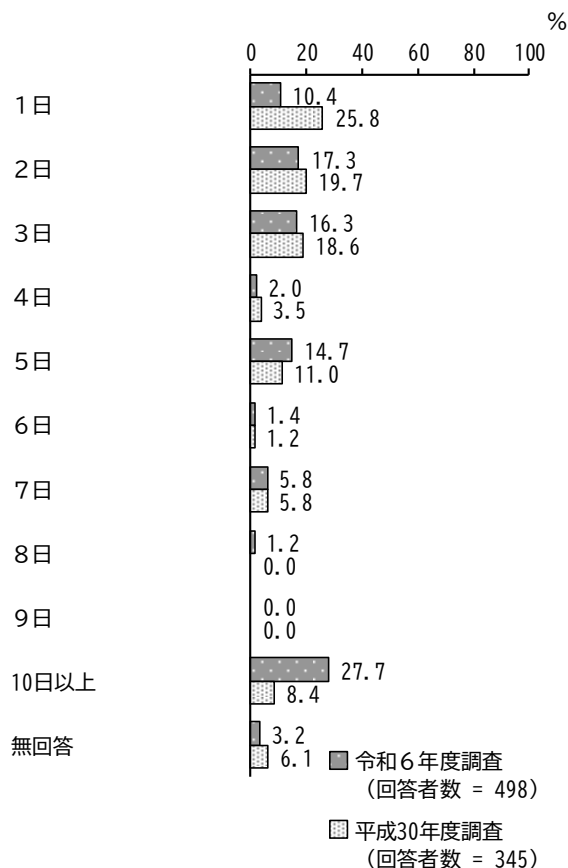
平成 30 年度調査と比較すると、「3日」「5日」
「10日以上」の割合が増加しています。一方、「1
日」「2日」の割合が減少しています。



②母親が休んだ日数

「10 日以上」の割合が 27.7%と最も高く、次いで「2 日」の割合が 17.3%、「3 日」の割合が 16.3%となっています。

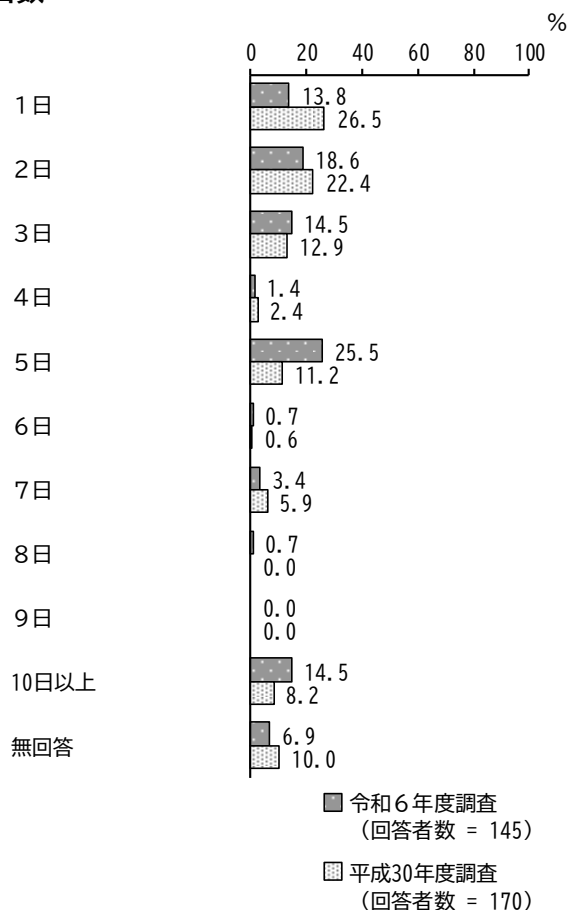
平成 30 年度調査と比較すると、「10 日以上」の割合が増加しています。一方、「1 日」の割合が減少しています。



③（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった日数

「5 日」の割合が 25.5%と最も高く、次いで「2 日」の割合が 18.6%、「3 日」、「10 日以上」の割合が 14.5%となっています。

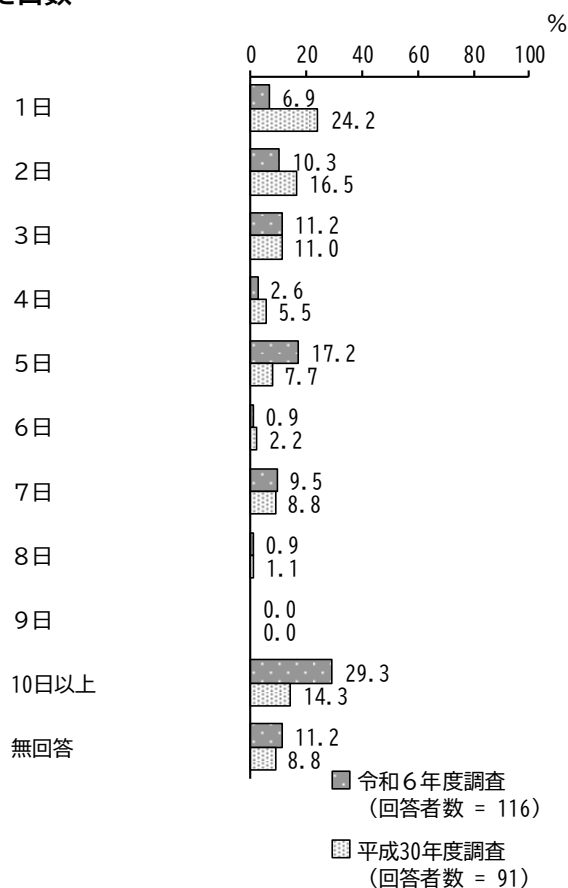
平成 30 年度調査と比較すると、「5 日」「10 日以上」の割合が増加しています。一方、「1 日」の割合が減少しています。



④父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数

「10 日以上」の割合が 29.3%と最も高く、次いで「5 日」の割合が 17.2%、「3 日」の割合が 11.2%となっています。

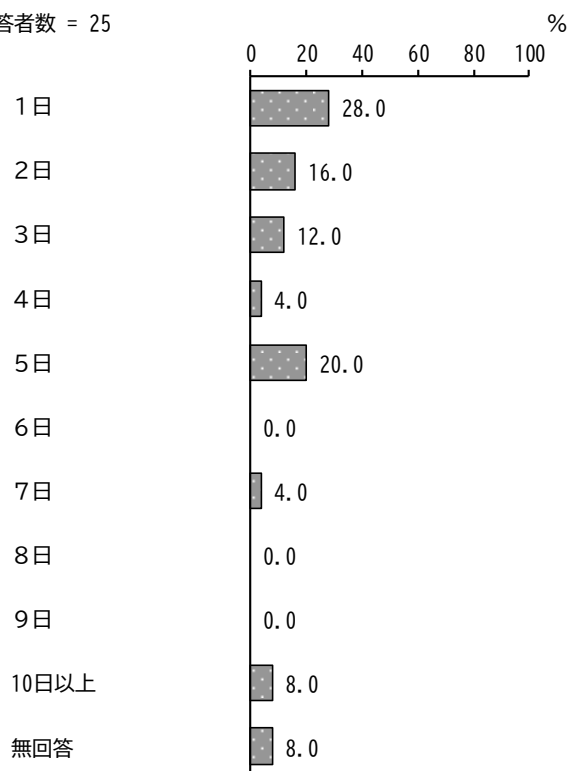
平成 30 年度調査と比較すると、「5 日」「10 日以上」の割合が増加しています。一方、「1 日」「2 日」の割合が減少しています。



⑤病児保育・病後児保育を利用した日数

「1 日」の割合が 28.0%と最も高く、次いで「5 日」の割合が 20.0%、「2 日」の割合が 16.0%となっています。

回答者数 = 25



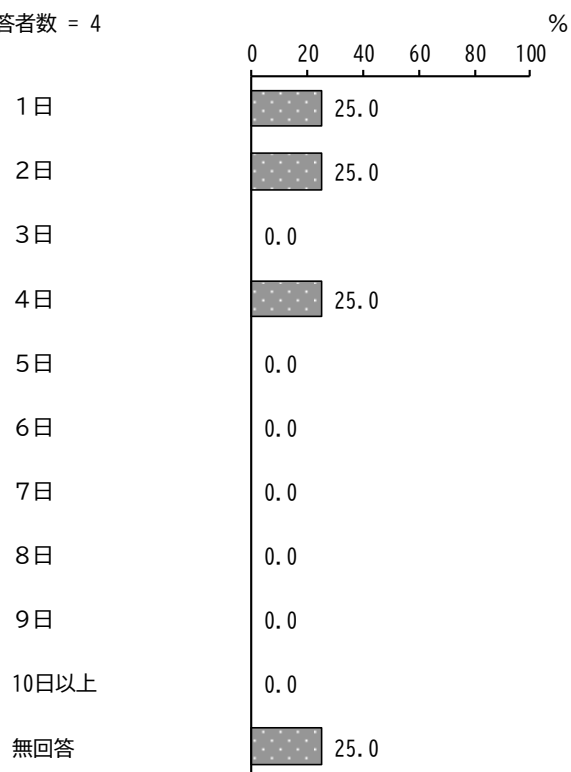
⑥ベビーシッターを利用した日数

有効回答がありませんでした。

⑦ファミリー・サポート・センターを利用した日数

回答者数 = 4

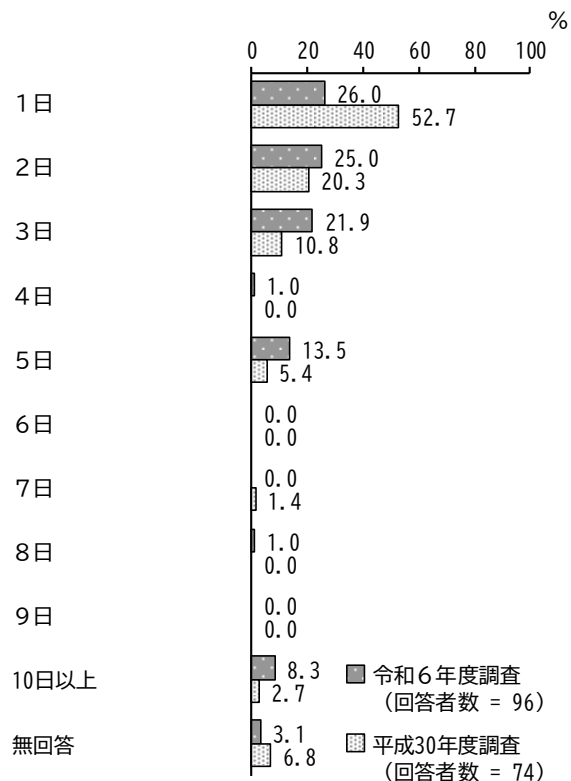
「1日」、「2日」、「4日」が1件となっています。



⑧仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

「1日」の割合が 26.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が 25.0%、「3日」の割合が 21.9%となっています。

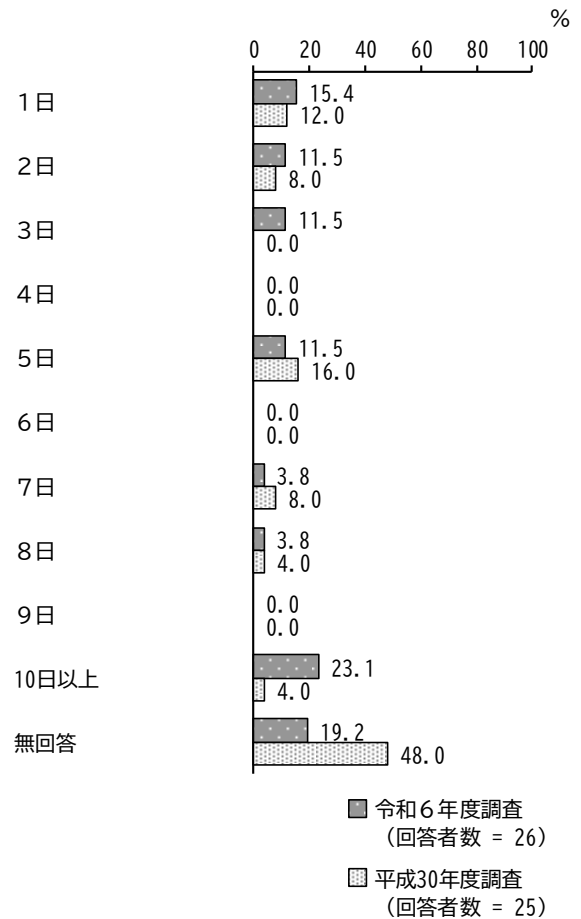
平成 30 年度調査と比較すると、「3日」「5日」「10日以上」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



⑨その他の日数

「10 日以上」の割合が 23.1%と最も高く、次いで「1 日」の割合が 15.4%、「2 日」、「3 日」、「5 日」の割合が 11.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「3 日」「10 日以上」の割合が増加しています。



問9 今後、病児保育や病後児保育の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい日数を（ ）内に数字でご記入ください。

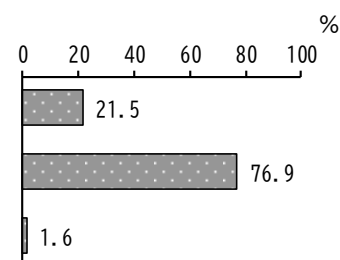
「利用したい」の割合が21.5%、「利用したい
と思わない」の割合が76.9%となっています。

回答者数 = 757

利用したい

利用したいと思わない

無回答



利用したい年間日数

「5日」の割合が26.4%と最も高く、次いで
「2日」、「10日以上」の割合が20.2%となっ
ています。

回答者数 = 163

1日

2日

3日

4日

5日

6日

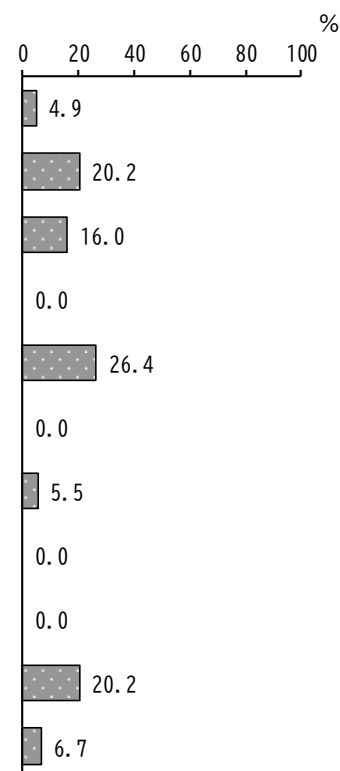
7日

8日

9日

10日以上

無回答

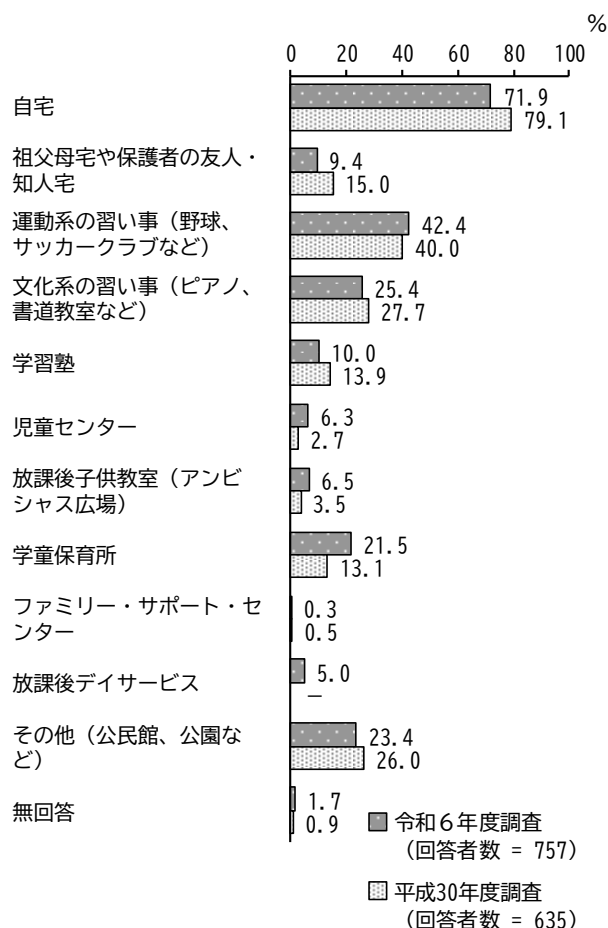


(3) お子さんの放課後の過ごし方について

問 10 対象のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所でご過ごしていますか。当てまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育所」の場合には、利用している時間も（ ）内に数字でご記入ください。

「自宅」の割合が 71.9%と最も高く、次いで「運動系の習い事（野球、サッカークラブなど）」の割合が 42.4%、「文化系の習い事（ピアノ、書道教室など）」の割合が 25.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「学童保育所」の割合が増加しています。一方、「自宅」「祖父母宅や保護者の友人・知人宅」の割合が減少しています。



※前回調査では、「児童センター」の選択肢は「児童館・児童センター」となっていました。

※前回調査では、「放課後子供教室（アンビシャス広場）」の選択肢は「放課後こども広場（アンビシャス広場）」となっていました。

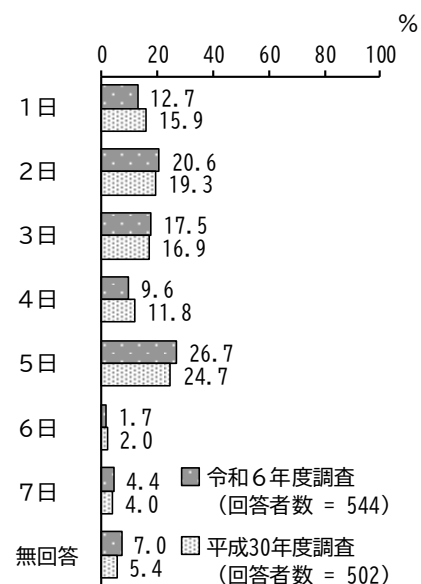
※前回調査では、「放課後デイサービス」の選択肢はありませんでした。

※前回調査では、「その他（公民館、公園など）」の選択肢は「その他」となっていました。

①自宅 週あたり日数

「5日」の割合が26.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が20.6%、「3日」の割合が17.5%となっています。

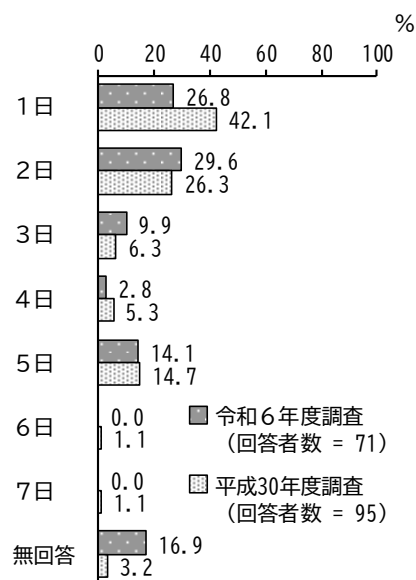
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②祖父母宅や保護者の友人・知人宅 週あたり日数

「2日」の割合が29.6%と最も高く、次いで「1日」の割合が26.8%、「5日」の割合が14.1%となっています。

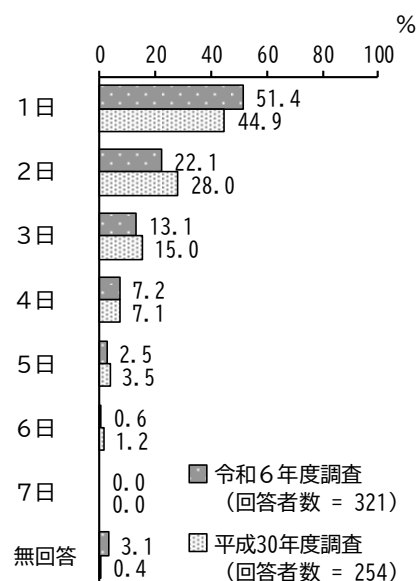
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が減少しています。



③運動系の習い事（野球、サッカークラブなど） 週あたり日数

「1日」の割合が51.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が22.1%、「3日」の割合が13.1%となっています。

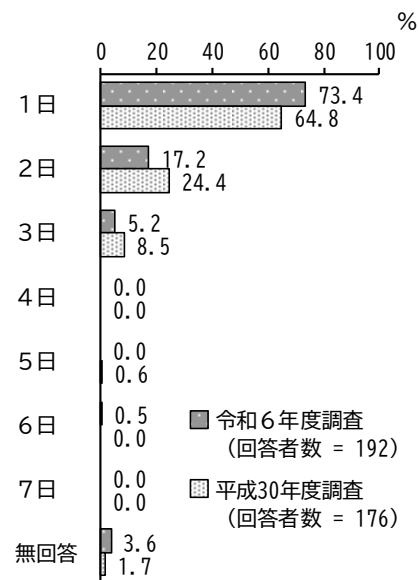
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



④文化系の習い事（ピアノ、書道教室など） 週あたり日数

「1日」の割合が 73.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が 17.2%となっています。

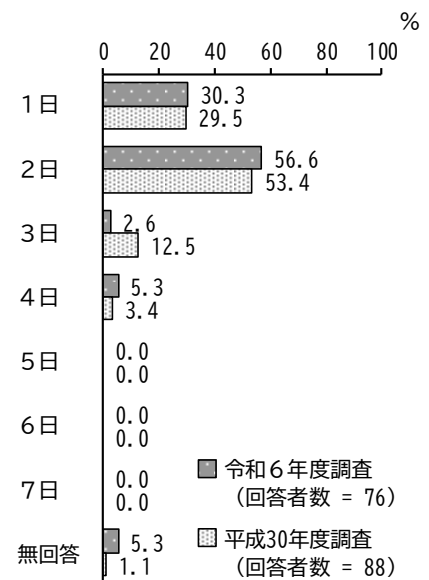
平成 30 年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



⑤学習塾 週あたり日数

「2日」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「1日」の割合が 30.3%となっています。

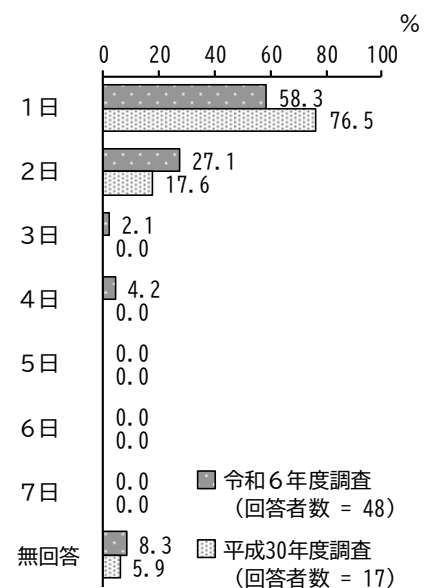
平成 30 年度調査と比較すると、「3日」の割合が減少しています。



⑥児童センター 週あたり日数

「1日」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が 27.1%となっています。

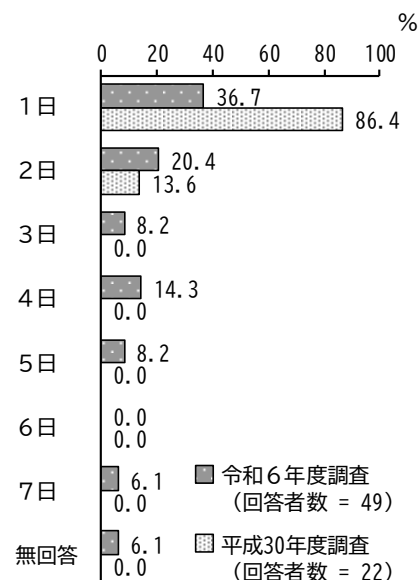
平成 30 年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



⑦放課後子供教室（アンビシャス広場） 月あたり日数

「1日」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が 20.4%、「4日」の割合が 14.3%となっています。

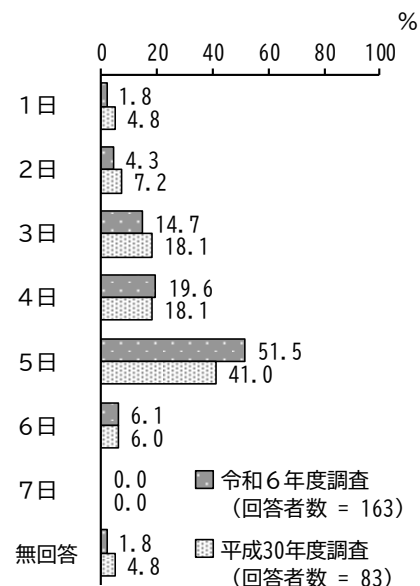
平成 30 年度調査と比較すると、「2日」「3日」「4日」「5日」「7日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



⑧学童保育所 週あたり日数

「5日」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が 19.6%、「3日」の割合が 14.7%となっています。

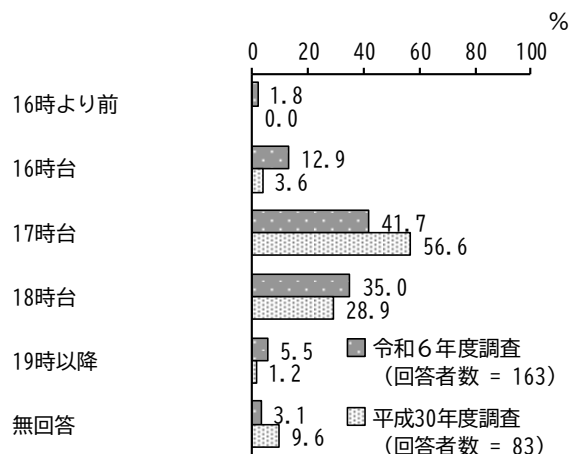
平成 30 年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。



利用終了時刻

「17 時台」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 35.0%、「16 時台」の割合が 12.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」「18 時台」の割合が増加しています。一方、「17 時台」の割合が減少しています。



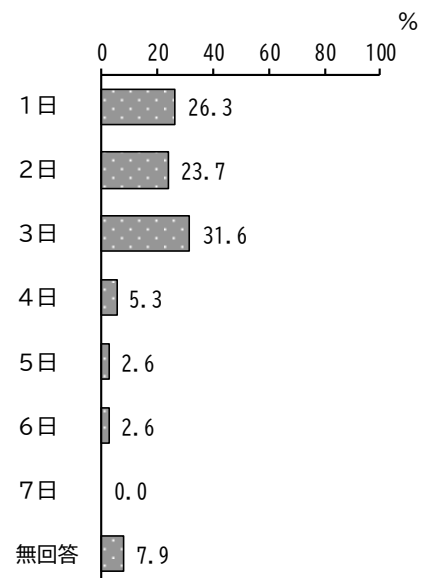
⑨ファミリー・サポート・センター 週あたり日数

有効回答がありませんでした。

⑩放課後デイサービス 週あたり日数

「3日」の割合が 31.6%と最も高く、次いで
「1日」の割合が 26.3%、「2日」の割合が 23.7%
となっています。

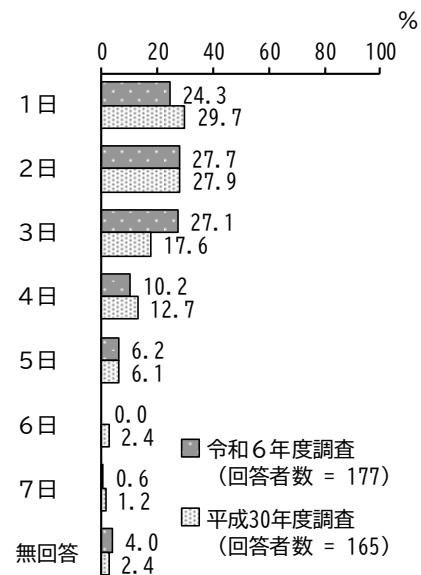
回答者数 = 38



⑪その他（公民館、公園など） 週あたり日数

「2日」の割合が 27.7%と最も高く、次いで
「3日」の割合が 27.1%、「1日」の割合が 24.3%
となっています。

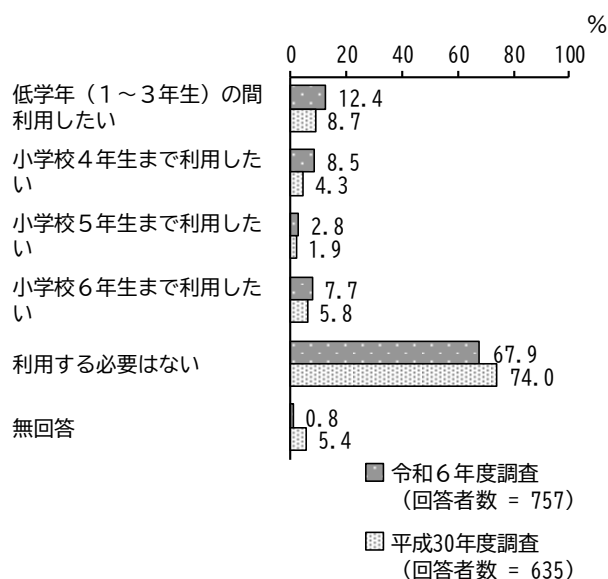
平成 30 年度調査と比較すると、「3日」の割合
が増加しています。一方、「1日」の割合が減少し
ています。



問 11 対象のお子さんについて、学童保育所の利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。
また、利用したい時間帯を、() 内に(例) 9 時～18 時のように 24 時間表示でご記入ください。

「利用する必要はない」の割合が 67.9%と最も高く、次いで「低学年（1～3 年生）の間利用したい」の割合が 12.4%となっています。

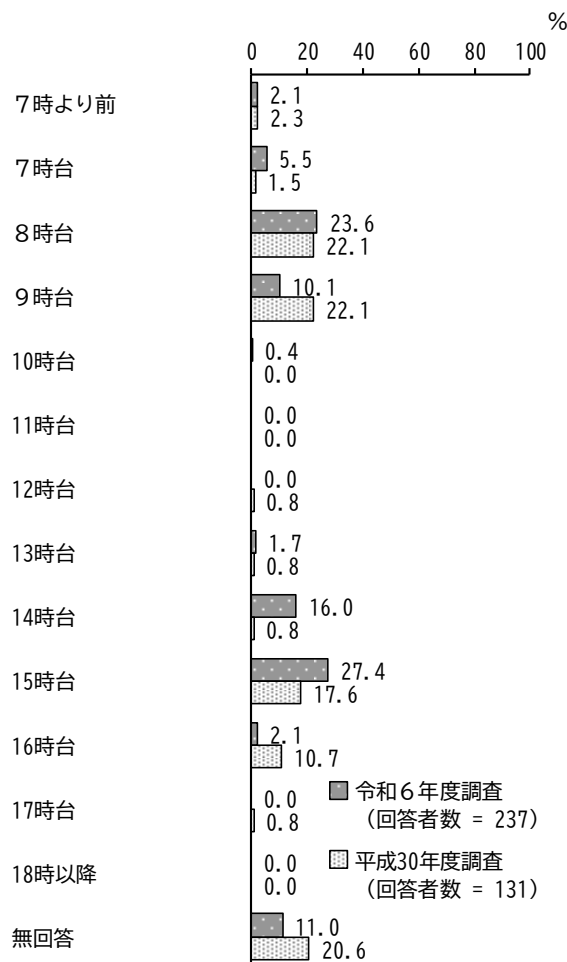
平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が減少しています。



利用したい時間帯 利用開始時刻

「15 時台」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「8 時台」の割合が 23.6%、「14 時台」の割合が 16.0%となっています。

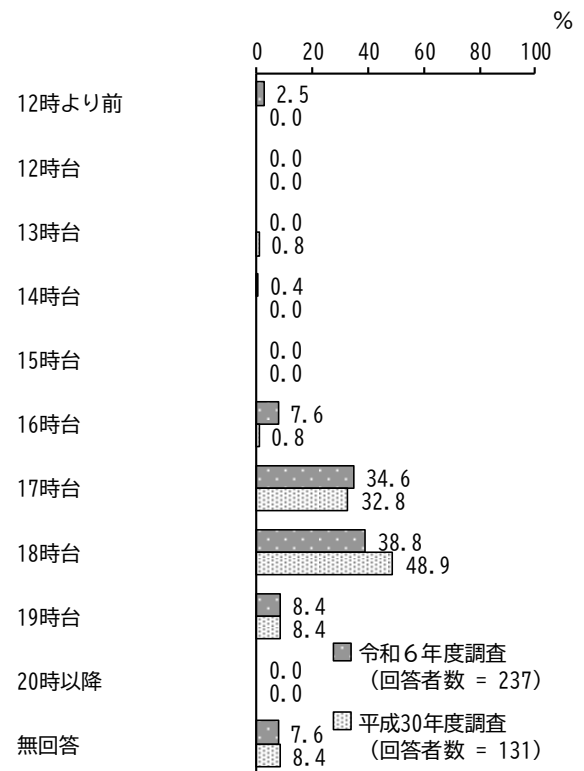
平成 30 年度調査と比較すると、「14 時台」「15 時台」の割合が増加しています。一方、「9 時台」「16 時台」の割合が減少しています。



利用したい時間帯 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 34.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」の割合が増加しています。一方、「18 時台」の割合が減少しています。

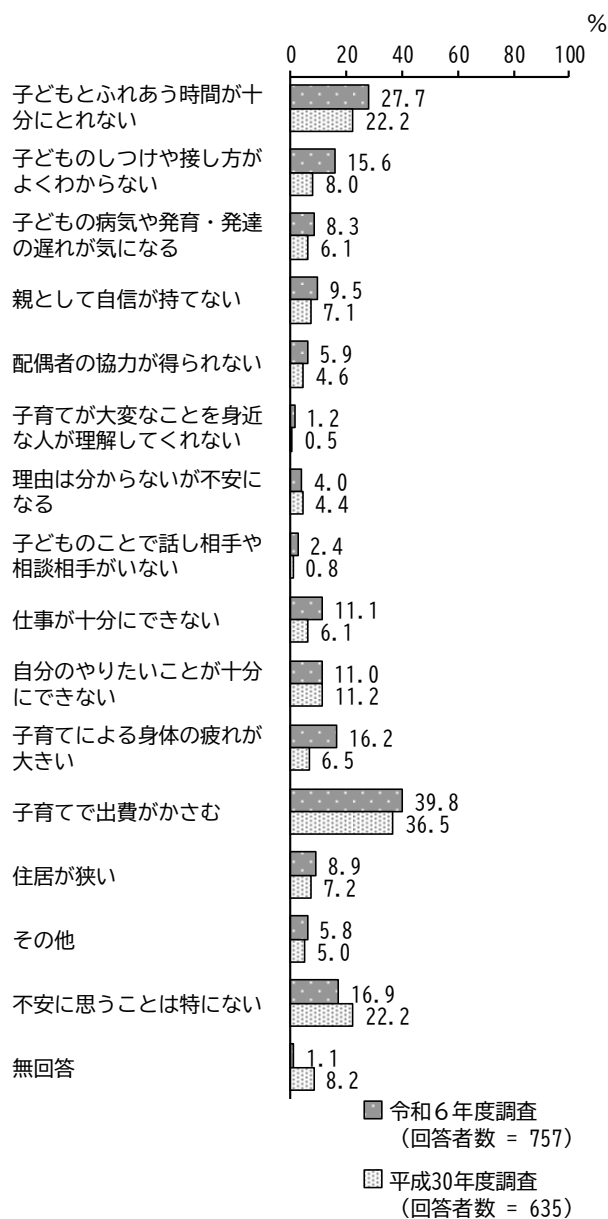


(4) 子育て全般について

問 12 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることがありましたら、当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「子育てで出費がかさむ」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「子どもとふれあう時間が十分にとれない」の割合が 27.7%、「不安に思うことは特にない」の割合が 16.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子どもとふれあう時間が十分にとれない」「子どものしつけや接し方がよくわからない」「子育てによる身体の疲れが大きい」の割合が増加しています。一方、「不安に思うことは特にない」の割合が減少しています。



【その他の内容】

- ・学年が上がるにつれ、学習面での対応が難しい。
- ・不登校（学校が楽しくない、行きたくないと言うことがある）
- ・友達関係
- ・子どもたちが自由に思い切りボール遊びができる場所がない。
- ・子どもの放課後の居場所(夏休みや早帰りの時は特に)。それに伴う今後の母親の働き方。
- ・きょうだい同士の喧嘩。
- ・防犯や事故。
- ・時間のゆとりがなくゆっくりできない。
- など

【学年別】

学年別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	子どものことであう時間が十分にとれない	子どものしつけや接し方がよくわからない	子どもの病気や発育・発達の遅れが気になる	親として自信が持てない	配偶者の協力が得られない	子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	理由は分からないが不安になる	子どものことで話し相手や相談相手がいない
全 体	757	27.7	15.6	8.3	9.5	5.9	1.2	4.0	2.4
2年生	259	30.5	18.9	8.9	10.8	3.5	1.2	6.2	1.9
4年生	236	26.3	12.7	9.3	9.7	7.6	1.3	2.5	2.1
5年生	262	26.3	14.9	6.9	8.0	6.9	1.1	3.1	3.1

区分	仕事に十分にできない	自分のやりたいことが十分にできない	子育てによる身体の疲れが大きい	子育てで出費がかさむ	住居が狭い	その他	不安に思うことは特にない	無回答
全 体	11.1	11.0	16.2	39.8	8.9	5.8	16.9	1.1
2年生	13.1	14.7	19.7	37.1	7.3	4.6	16.2	—
4年生	9.7	10.2	16.1	37.7	5.9	5.5	19.9	2.1
5年生	10.3	8.0	13.0	44.3	13.0	7.3	14.9	1.1

【子育てを主に行っている人別】

子育てを主に行っている人別にみると、父母ともにで「不安に思うことは特にない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どもとふれあう時間が十分にとれない	子どものしつけや接し方がよくわからない	子どもの病気や発育・発達の遅れが気になる	親として自信が持てない	配偶者の協力が得られない	子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	理由は分からないが不安になる	子どものことで話し相手や相談相手がいらない
全 体	757	27.7	15.6	8.3	9.5	5.9	1.2	4.0	2.4
父母ともに	446	25.8	16.1	5.8	8.5	1.1	0.7	2.9	2.0
主に母親	292	29.8	15.1	11.6	11.0	13.7	2.1	5.1	2.7
主に父親	7	57.1	—	42.9	—	—	—	—	—
主に祖父母	7	57.1	14.3	—	14.3	—	—	14.3	14.3
その他	5	—	20.0	—	20.0	—	—	20.0	—

区分	仕事が多忙で十分にできない	自分のやりたいことが十分にできない	子育てによる身体の疲れが大きい	子育てで出費がかさむ	住居が狭い	その他	不安に思うことは特にない	無回答
全 体	11.1	11.0	16.2	39.8	8.9	5.8	16.9	1.1
父母ともに	9.4	10.8	13.7	39.7	7.6	6.3	22.0	0.4
主に母親	13.7	11.3	20.5	40.1	11.0	5.1	9.9	1.7
主に父親	28.6	28.6	—	28.6	14.3	14.3	—	—
主に祖父母	—	—	28.6	28.6	—	—	—	14.3
その他	—	—	—	60.0	—	—	20.0	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「子どもとふれあう時間が十分にとれない」の割合が高くなっています。

単位：％

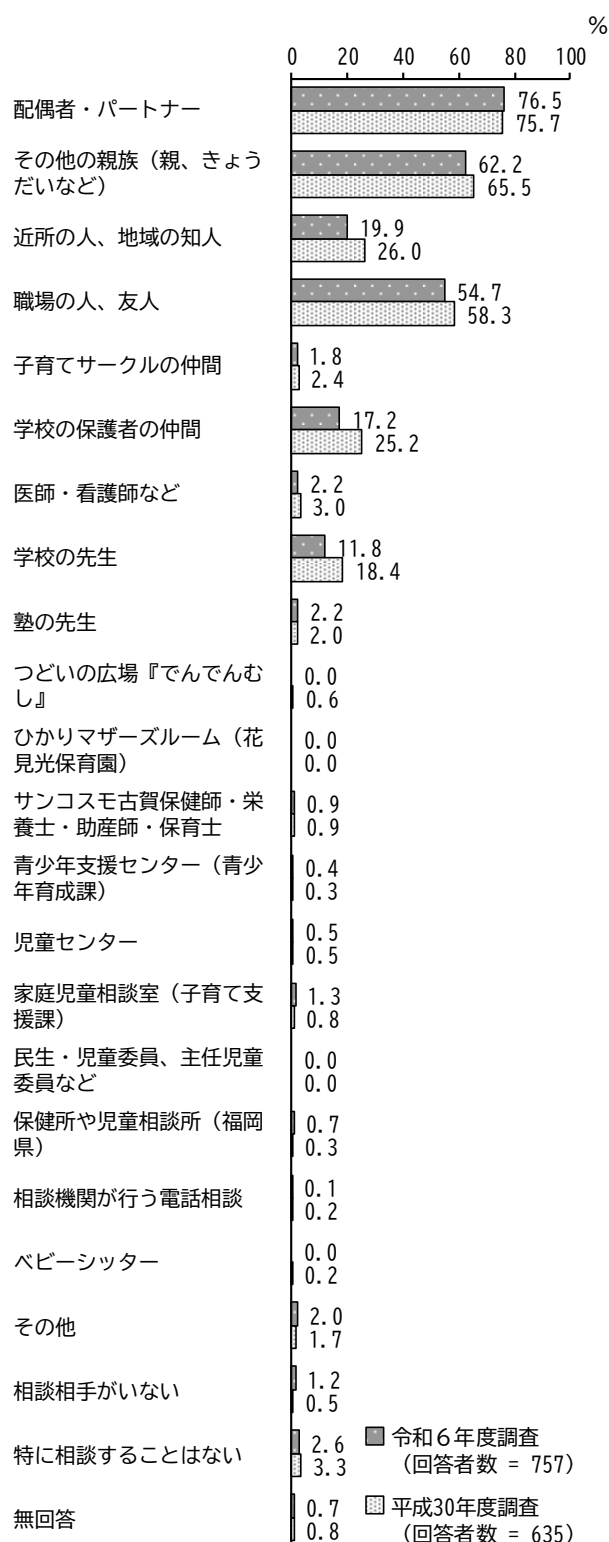
区分	回答者数（件）	子どもとふれあう時間が十分にとれない	子どものしつけや接し方がよくわからない	子どもの病気や発育・発達の遅れが気になる	親として自信が持てない	配偶者の協力が得られない	子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	理由は分からないが不安になる	子どものことで話し相手や相談相手がいない
全 体	751	27.6	15.6	8.1	9.5	6.0	1.2	4.0	2.3
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	276	51.4	18.1	7.6	10.1	5.8	1.1	4.0	2.2
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	9	22.2	—	22.2	—	—	—	—	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	333	18.0	13.8	6.9	8.4	6.3	1.2	3.3	2.1
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	8	—	25.0	—	12.5	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	107	2.8	16.8	13.1	12.1	7.5	1.9	5.6	3.7
これまで就労したことがない	14	—	7.1	7.1	7.1	—	—	7.1	—

区分	仕事に十分に取り組めない	自分のやりたいことが十分にできない	子育てによる身体の疲れが大きい	子育てで出費がかさむ	住居が狭い	その他	不安に思うことは特にな	無回答
全 体	11.2	10.9	16.4	39.8	8.9	5.7	17.0	1.1
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	8.7	13.0	13.8	34.4	10.5	4.3	13.4	0.4
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	—	11.1	22.2	55.6	—	—	22.2	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	15.6	11.1	17.1	44.4	8.4	7.5	16.5	1.5
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	—	—	25.0	62.5	—	12.5	12.5	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	6.5	5.6	18.7	37.4	7.5	4.7	25.2	0.9
これまで就労したことがない	7.1	14.3	21.4	35.7	7.1	—	35.7	—

問 13 子育てに関する悩みや不安はどなたに相談していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「配偶者・パートナー」の割合が76.5%と最も高く、次いで「その他の親族（親、きょうだいなど）」の割合が62.2%、「職場の人、友人」の割合が54.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「近所の人、地域の知人」「学校の保護者の仲間」「学校の先生」の割合が減少しています。



【その他の内容】

- ・療育機関
- ・放課後デイサービスのスタッフの方
- ・スクールソーシャルワーカー
- ・はじめの一步事業所
- ・子どもに相談する

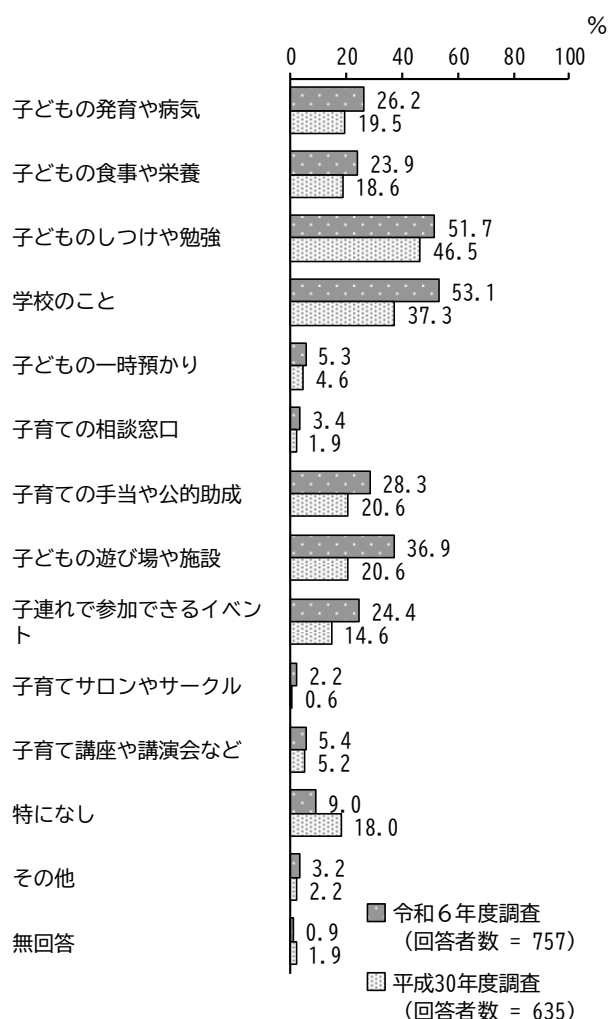
※前回調査では、「サンコスモ古賀保健師・栄養士・助産師・保育士」の選択肢は「サンコスモ古賀保健師・栄養士」となっていました。

※前回調査では、「児童センター」の選択肢は「児童館・児童センター」となっていました。

問 14 現在、子育てについてどんな情報を得たいと思っていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「学校のこと」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「子どものしつけや勉強」の割合が 51.7%、「子どもの遊び場や施設」の割合が 36.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子どもの発育や病気」「子どもの食事や栄養」「子どものしつけや勉強」「学校のこと」「子育ての手当や公的助成」「子どもの遊び場や施設」「子連れで参加できるイベント」の割合が増加しています。一方、「特になし」の割合が減少しています。



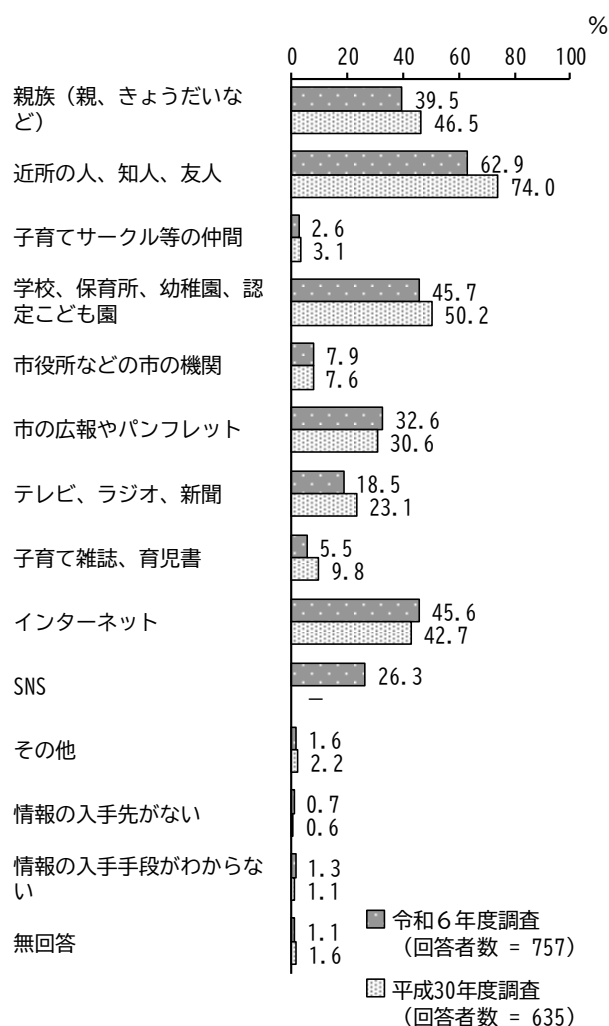
【その他の内容】

- ・ 習い事
- ・ 不安を口にする子ども（登校拒否）に対しての声かけ等。
- ・ LGBTQ+の子どもに対しての理解、対応について。
- ・ 子どもだけで参加可能なイベントや教室。
- ・ 発達障害児の学習方法について。
- ・ 子連れで行きやすいお食事所。
- ・ お金の勉強、インターネットの活用。
- ・ 雨の日も体を動かせるところ。 など

問 15 子育てに関する情報をどこ（だれ）から入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「近所の人、知人、友人」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「学校、保育所、幼稚園、認定こども園」の割合が 45.7%、「インターネット」の割合が 45.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「親族（親、きょうだいなど）」「近所の人、知人、友人」の割合が減少しています。



※前回調査では、「学校、保育所、幼稚園、認定こども園」の選択肢は「学校、保育所、幼稚園」となっていました。

※前回調査では、「SNS」の選択肢はありませんでした。

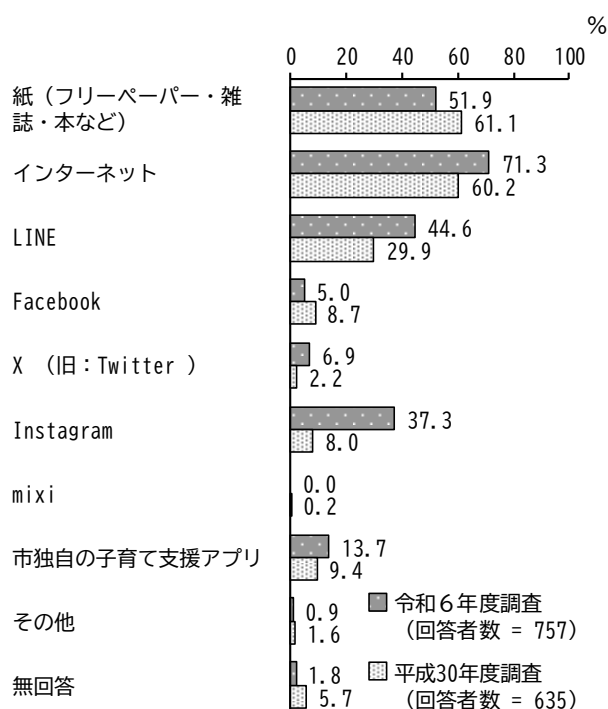
【その他の内容】

- ・ 職場の同僚
- ・ 療育機関
- ・ パート先の同年代の母親達
- ・ 相談員さん、放課後デイサービス
- ・ 自己責任で、その場その場で判断するようにしている。その時の状況により。

問 16 子育て情報を得るために、利用したいと思う手段や機能を教えてください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「インターネット」の割合が 71.3%と最も高く、次いで「紙（フリーペーパー・雑誌・本など）」の割合が 51.9%、「LINE」の割合が 44.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「インターネット」「LINE」「Instagram」の割合が増加しています。一方、「紙（フリーペーパー・雑誌・本など）」の割合が減少しています。



※前回調査では、「X（旧：Twitter）」の選択肢は「Twitter」となっていました。

【その他の内容】

- ・ 学校からのメール
- ・ どれが自分にとって適切な情報入手機能なのか分からない。
- ・ ネット系は見ないようにしています。頭が混乱するから。

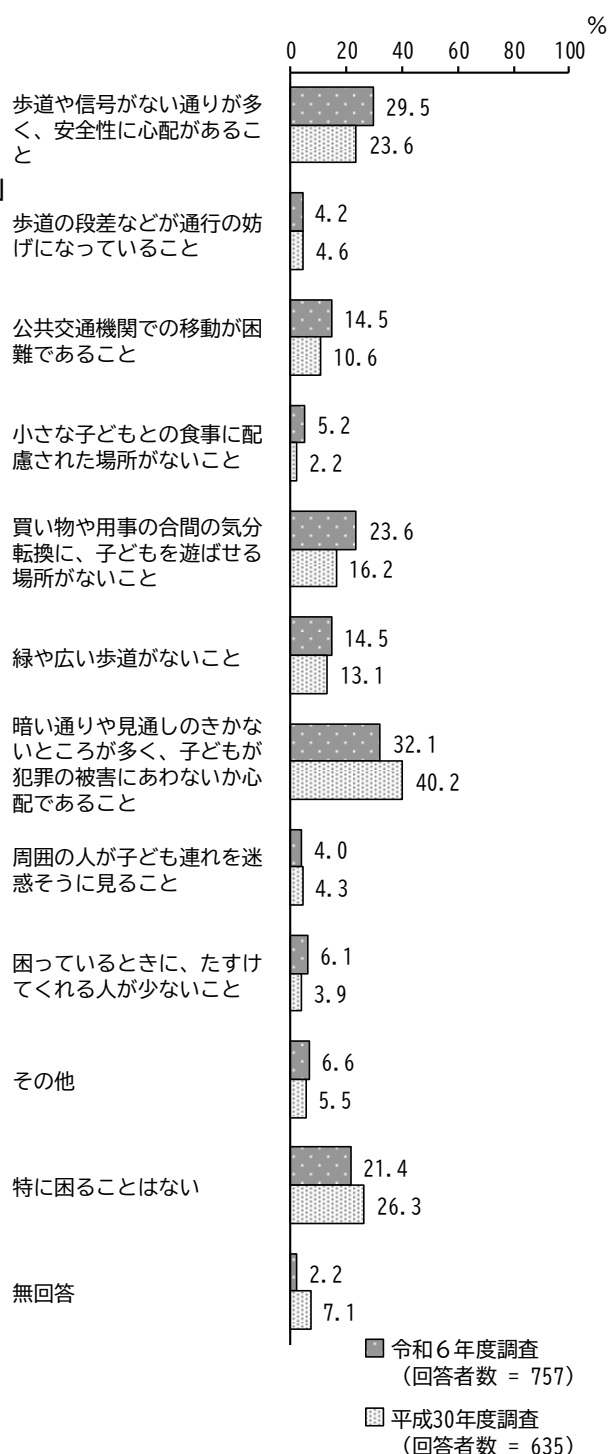
【どのような機能があれば使いたいと思うかの回答】

- ・ 健診や予防接種などの必要な情報をプッシュ通知で知らせてほしい。
- ・ 地域イベントなど
- ・ 地域で流行っている病気など、医療機関の情報
- ・ やはり学校を通してお手紙の配布の方が目を通す事が多いです。
- ・ 災害時や悪天候等の具体的なサポート
- ・ 24 時間対応の相談窓口 イジメや不登校等、市独自の 24 時間相談窓口があれば相談しやすい。ラインでも良い。
- ・ 子ども手当などの助成のお知らせなど
- ・ 母子手帳電子化
- ・ GPS 機能
- ・ 子ども割引やクーポン など

問 17 対象のお子さんと外出する際に困ったこと、困ることはどのようなことですか。
当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配であること」の割合が32.1%と最も高く、次いで「歩道や信号がない通りが多く、安全性に心配があること」の割合が29.5%、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」の割合が23.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「歩道や信号がない通りが多く、安全性に心配があること」「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」の割合が増加しています。一方、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配であること」の割合が減少しています。



【その他の内容】

- ・公園が少し遠く、気軽に安心して遊ばせられる場所が少ないこと。
- ・自転車と分けた歩道の整備をしてほしい。
- ・雨の日も体を動かせる場所が少ない。
- ・トイレがすぐに見つからない時。
- ・交通マナーが悪い。
- ・歩いていける距離で家族で食べられるような飲食店がない。
- ・アレルギーをもつ子どもの食事への対応
- ・歩道はあるけど雑草だらけで歩けない。
- ・どこでもお金がかかること
- など

問 18 対象のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）などにより、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（ ）内に数字でご記入ください）。

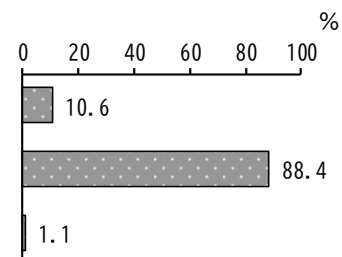
「利用したい」の割合が 10.6%、「利用する必要はない」の割合が 88.4%となっています。

回答者数 = 757

利用したい

利用する必要はない

無回答



利用したい

「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」の割合が 51.3%、「冠婚葬祭」の割合が 22.5%となっています。

回答者数 = 80

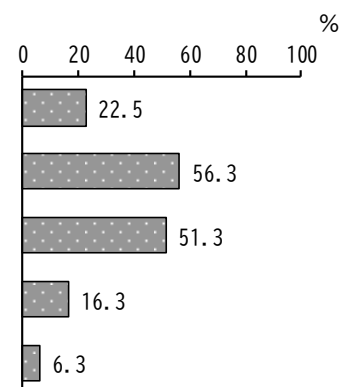
冠婚葬祭

保護者や家族の育児疲れ・不安

保護者や家族の病気

その他

無回答



【その他の内容】

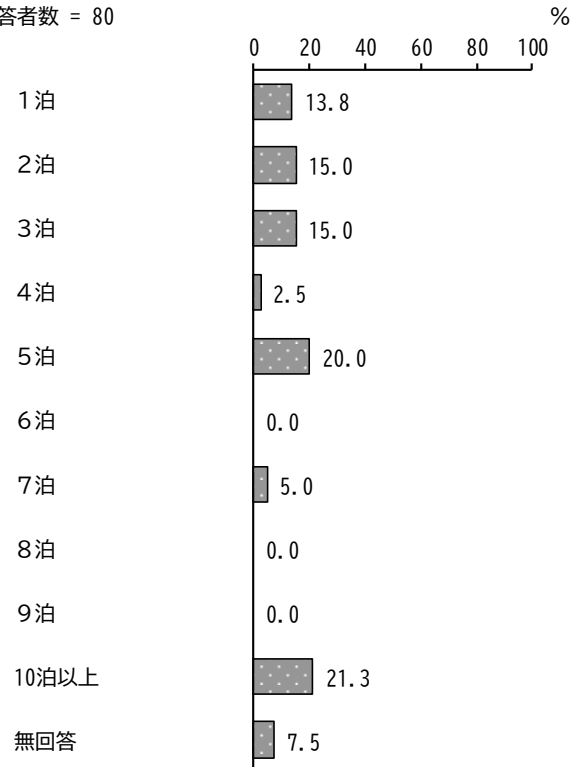
- ・ 基本的な生活をこなして自信をつけさせるため。
- ・ 冠婚葬祭を除く保護者の用事等
- ・ 仕事の都合
- ・ 帰省
- ・ 夫婦の時間など
- ・ 自立支援
- ・ 出張
- ・ 母親の学習外出

など

年間合計泊数

「10泊以上」の割合が21.3%と最も高く、次いで「5泊」の割合が20.0%、「2泊」、「3泊」の割合が15.0%となっています。

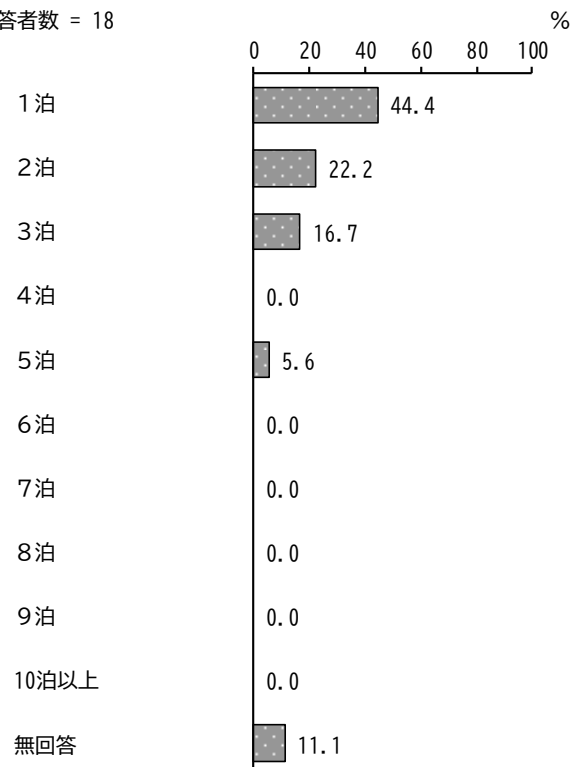
回答者数 = 80



①冠婚葬祭 年間泊数

「1泊」の割合が44.4%と最も高く、次いで「2泊」の割合が22.2%、「3泊」の割合が16.7%となっています。

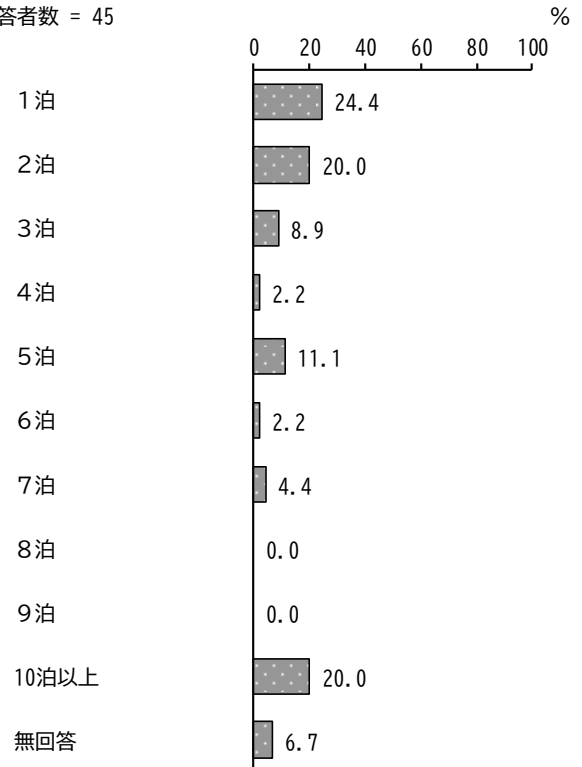
回答者数 = 18



②保護者や家族の育児疲れ・不安 年間泊数

「1泊」の割合が24.4%と最も高く、次いで「2泊」、「10泊以上」の割合が20.0%となっています。

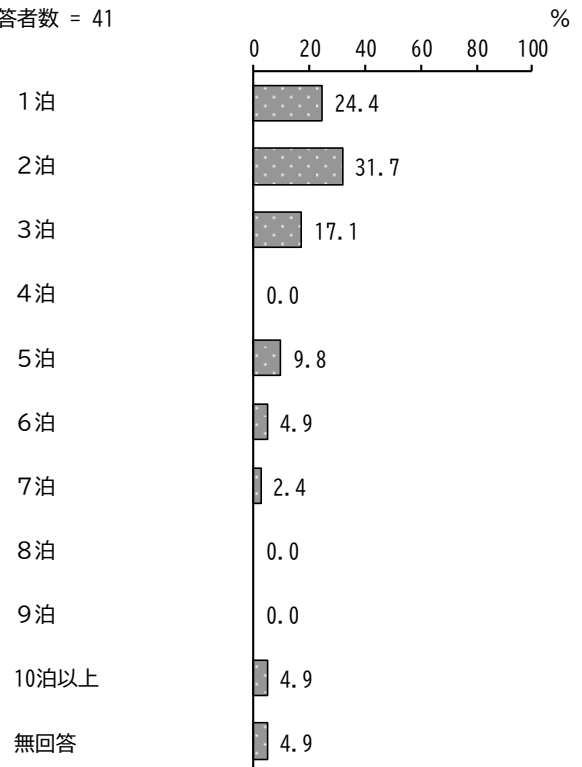
回答者数 = 45



③保護者や家族の病気 年間泊数

「2泊」の割合が31.7%と最も高く、次いで「1泊」の割合が24.4%、「3泊」の割合が17.1%となっています。

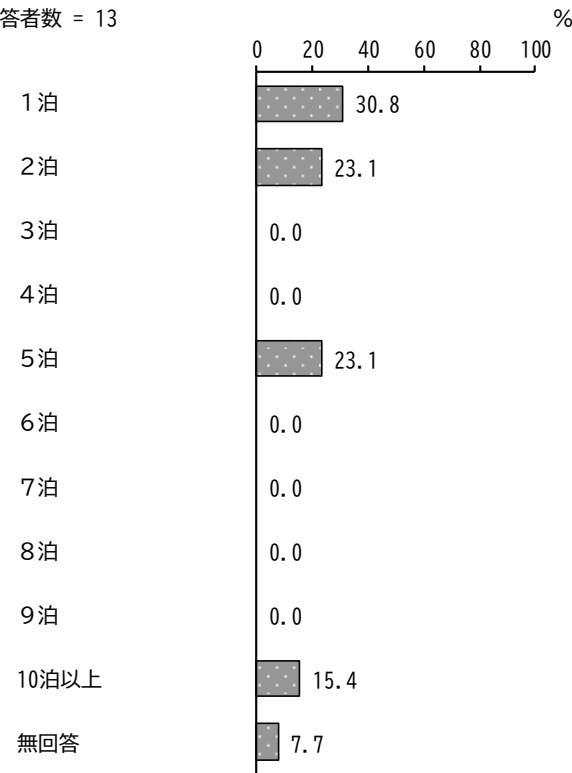
回答者数 = 41



④その他 年間泊数

「1泊」の割合が30.8%と最も高く、次いで「2泊」、「5泊」の割合が23.1%となっています。

回答者数 = 13

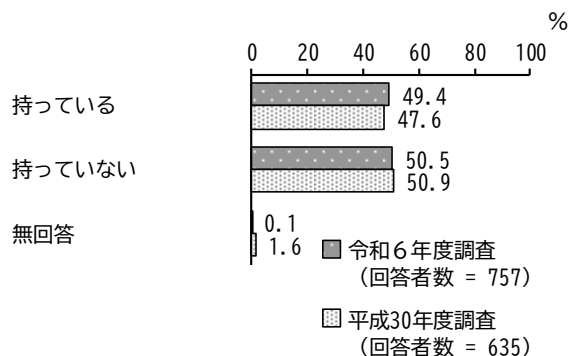


(5) お子さんの家庭生活について

問 19 対象のお子さんは自分専用の携帯型インターネット機器（携帯電話、スマホ、iPad、DS等）を持っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「持っている」の割合が49.4%、「持っていない」の割合が50.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

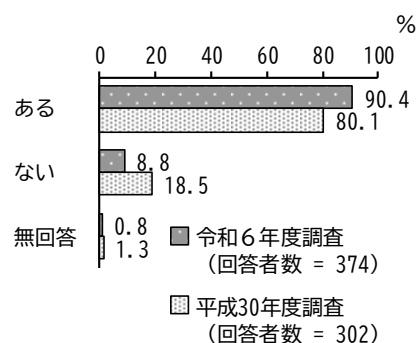


問 19 で「持っている」と回答した方に、問 19-1 ～問 19-3 についてうかがいます。

問 19-1 対象のお子さんには携帯型のインターネット機器を使うときのきまりがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「ある」の割合が90.4%、「ない」の割合が8.8%となっています。

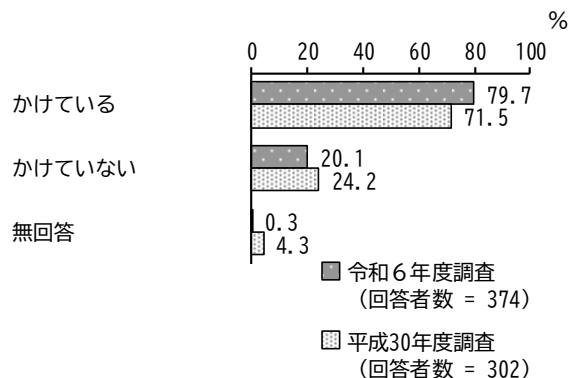
平成30年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。一方、「ない」の割合が減少しています。



問 19-2 対象のお子さんのインターネット機器には閲覧制限などのインターネットセキュリティをかけていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「かけている」の割合が79.7%、「かけていない」の割合が20.1%となっています。

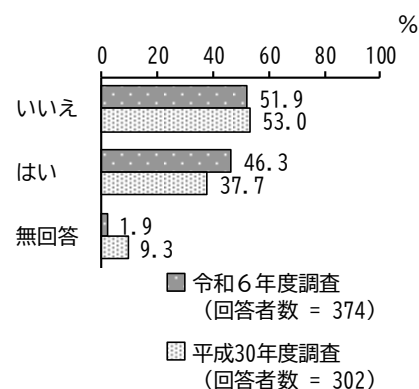
平成30年度調査と比較すると、「かけている」の割合が増加しています。



問 19－3 対象のお子さんがインターネット機器を使用するにあたり、心配なことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。2の場合はその理由をご記入ください。

「いいえ」の割合が51.9%、「はい」の割合が46.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



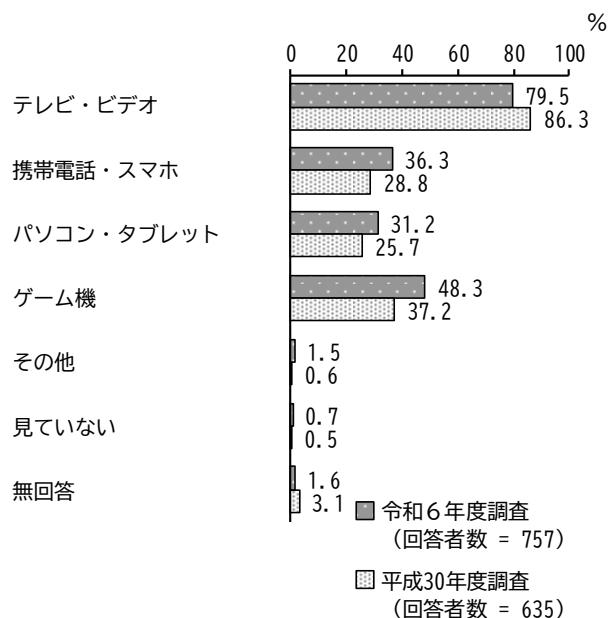
【心配なことの内容】

- ・トラブルに巻き込まれないか心配
- ・視力の低下が心配
- ・悪質なサイトに誤ってアクセスしないか。
- ・課金システムの利用
- ・依存してしまわないか。
- ・長時間の使用
- ・知らない人とのやりとり
- ・不必要な情報を見てしまっていないか。
- ・真贋を分からず、情報を鵜呑みにしてしまう。
- ・使用時間を守らない。 など

問 20 対象のお子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、テレビ・ビデオ等、次のものを使用していますか。数字でご記入ください。

「テレビ・ビデオ」の割合が79.5%と最も高く、次いで「ゲーム機」の割合が48.3%、「携帯電話・スマホ」の割合が36.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「携帯電話・スマホ」「パソコン・タブレット」「ゲーム機」の割合が増加しています。一方、「テレビ・ビデオ」の割合が減少しています。



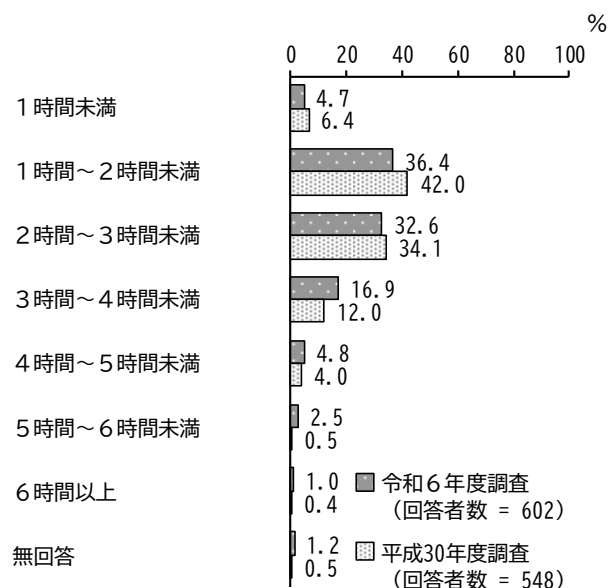
【その他の内容】

- ・通信教育のタブレット
- ・本を読んでいます。

1. テレビ・ビデオ

「1時間～2時間未満」の割合が36.4%と最も高く、次いで「2時間～3時間未満」の割合が32.6%、「3時間～4時間未満」の割合が16.9%となっています。

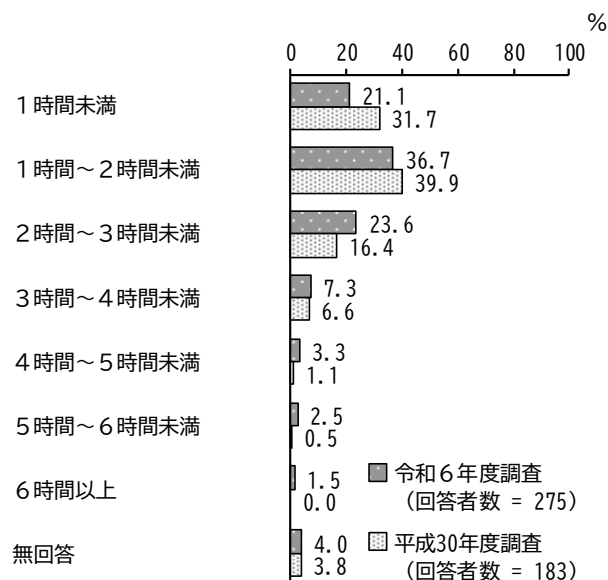
平成30年度調査と比較すると、「1時間～2時間未満」の割合が減少しています。



2. 携帯電話・スマホ

「1時間～2時間未満」の割合が36.7%と最も高く、次いで「2時間～3時間未満」の割合が23.6%、「1時間未満」の割合が21.1%となっています。

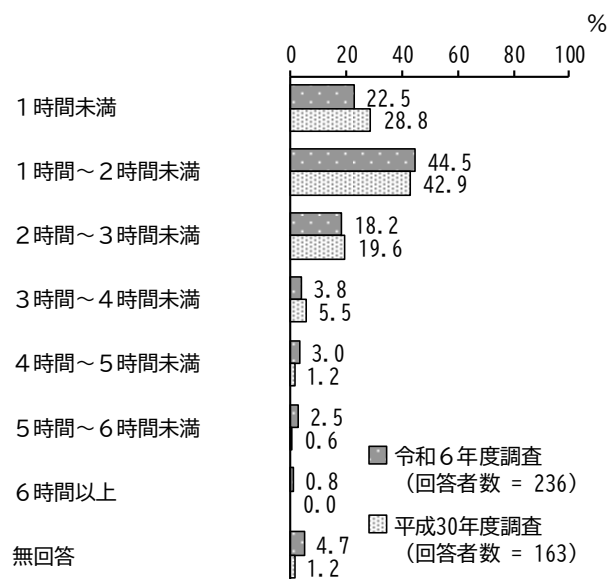
平成30年度調査と比較すると、「2時間～3時間未満」の割合が増加しています。一方、「1時間未満」の割合が減少しています。



3. パソコン・タブレット

「1時間～2時間未満」の割合が44.5%と最も高く、次いで「1時間未満」の割合が22.5%、「2時間～3時間未満」の割合が18.2%となっています。

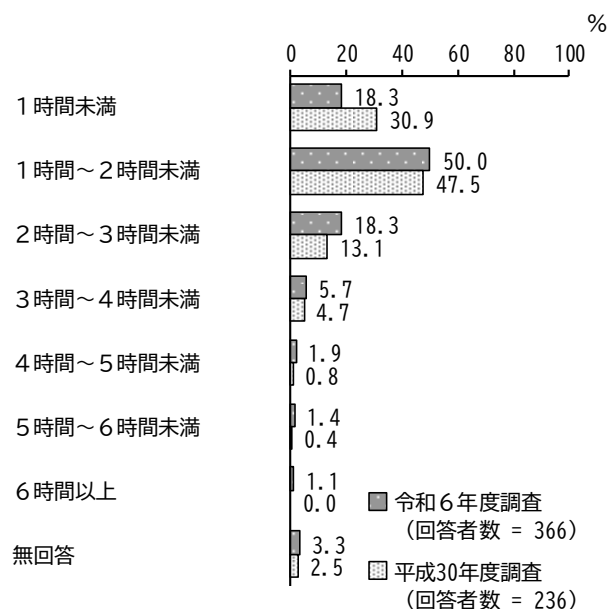
平成30年度調査と比較すると、「1時間未満」の割合が減少しています。



4. ゲーム機

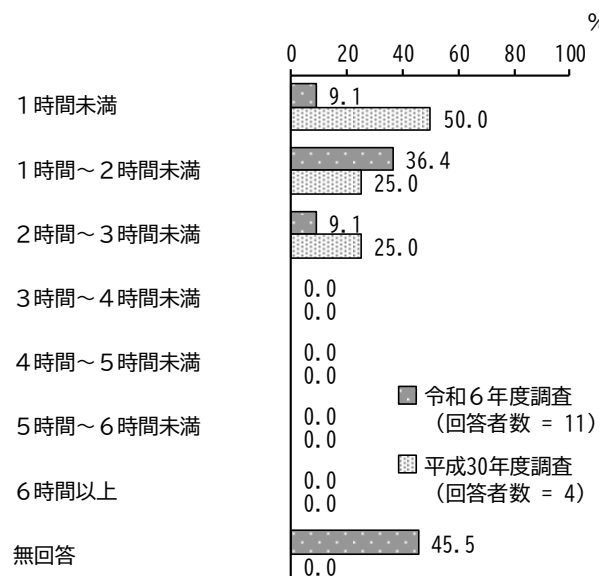
「1時間～2時間未満」の割合が50.0%と最も高く、次いで「1時間未満」、「2時間～3時間未満」の割合が18.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2時間～3時間未満」の割合が増加しています。一方、「1時間未満」の割合が減少しています。



5. その他

「1時間～2時間未満」の割合が36.4%と最も高くなっています。



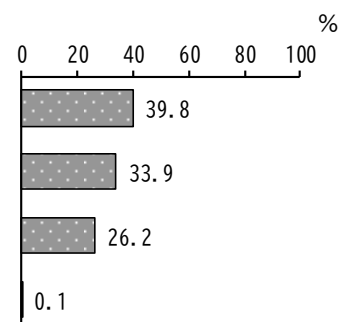
（６）子どもの権利について

問 21 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「名前も内容も知っている」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 33.9%、「知らなかった」の割合が 26.2%となっています。

回答者数 = 757

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は
知らなかった
知らなかった
無回答

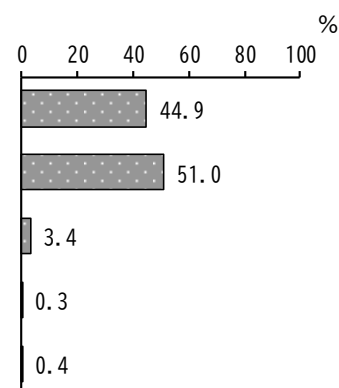


問 22 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。（あてはまる番号 1 つに○）

「ときどきしている」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「常にしている」の割合が 44.9%となっています。

回答者数 = 757

常にしている
ときどきしている
あまりしていない
まったくしたことがない
無回答



問 23 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもが暴力や言葉で傷つけられないこと」の割合が84.5%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えること」の割合が79.4%、「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」の割合が71.3%となっています。

回答者数 = 757

人種や性別、宗教などで差別されないこと

障がいのある子が差別されないこと

子どもが知りたいことを隠さないこと

子どもが暴力や言葉で傷つけられないこと

家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと

自分の考えを自由に言えること

人と違う自分らしさが認められること

自分の秘密が守られること

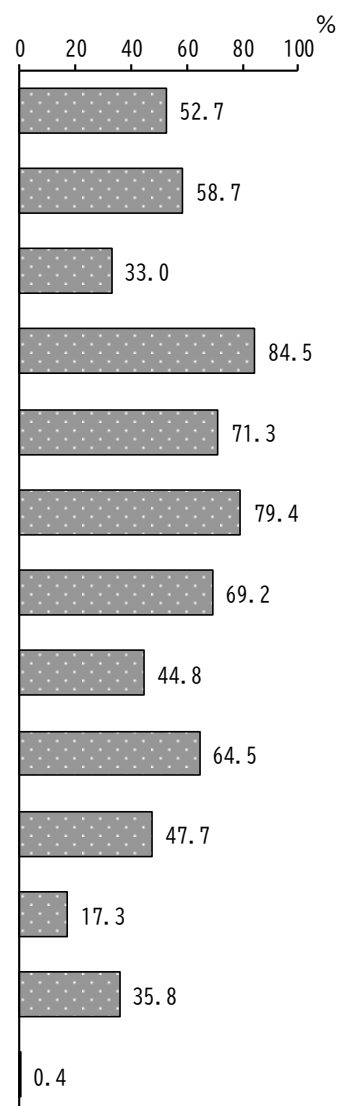
自分のことは自分で決められること

自由な時間をもつこと

自由な呼び掛けでグループを作り集まれること

必要な情報をしることや、参加する手助けを受けられる

無回答



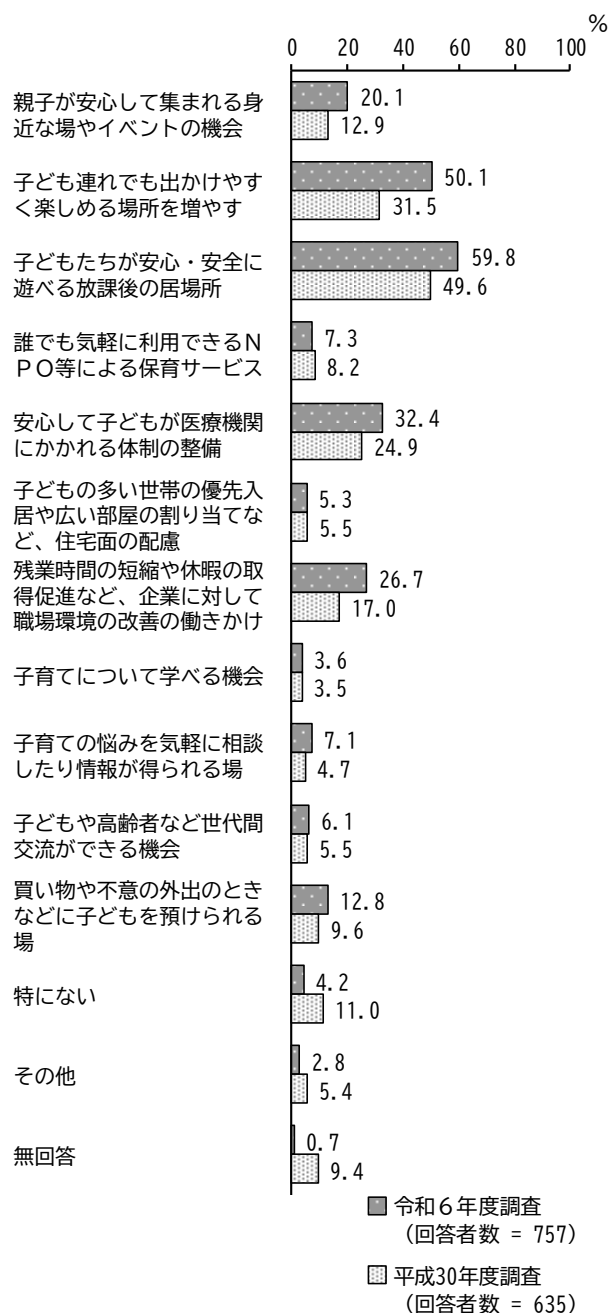
(7) 子育てに関する施策について

問 24 今後、どのような取り組みがあれば子育てをしやすいと思いますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「子どもたちが安心・安全に遊べる放課後の居場所」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「子ども連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす」の割合が 50.1%、「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備」の割合が 32.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「親子が安心して集まれる身近な場やイベントの機会」「子ども連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす」

「子どもたちが安心・安全に遊べる放課後の居場所」「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備」「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善の働きかけ」の割合が増加しています。一方、「特にない」の割合が減少しています。



※前回調査では、「親子が安心して集まれる身近な場やイベントの機会」の選択肢は「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場やイベントの機会」となっていました。

【その他の内容】

- ・ 参観日の年間日数を減らしてほしい。
- ・ 夏休み、冬休み、春休みなどの長期休暇の時だけ、学童保育を利用する事が可能になればとても助かります。子どもが学校に行っている時間に仕事をしているので、長期休暇の間は利用条件を 15 時まで就労していると言う区切りではなく、午前中に仕事をしていても利用可能にして欲しいです。
- ・ 自転車やボール遊びが自由にできる広い公園。
- ・ 交通機関の充実、バスが少なすぎて使いにくい。車ばかりが交通手段になると、一緒に公共交通機関での外出が難しい。
- ・ 子育て支援（児童手当など）、給料面などがもっとたくさんあれば、仕事の時間を減らせるし、その分子供と向き合える時間も増やせる。たくさん色々話を聞くことができる。
- ・ 給食に食物アレルギーの代替食があれば嬉しい。
- ・ 医療ケア児を預けられるなないろ等が拡充されること。
- ・ 夏休みに無料の英会話教室がありましたが、家計に負担なく子どもに学ばせられたり、経験させられたりする機会が増えたらいいと思う。
- ・ 他人のことを考える社会に変わること。『同じ』を押し付けないこと。

など

【学年別】

学年別にみると、2年生で「子ども連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	親子が安心して集まれる身近な場やイベントの機会	子ども連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす	子どもたちが安心・安全に遊べる放課後の居場所	誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービス	安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備	子どもの多い世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮	残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善の働きかけ
全 体	757	20.1	50.1	59.8	7.3	32.4	5.3	26.7
2年生	259	25.5	58.7	64.1	8.9	25.1	4.6	26.3
4年生	236	15.3	47.9	57.6	8.1	32.6	4.2	28.8
5年生	262	19.1	43.5	57.6	5.0	39.3	6.9	25.2

区分	子育てについて学ぶ機会	子育ての悩みを気軽に相談したり情報が得られる場	子どもや高齢者など世代間交流ができる機会	買い物や不意の外出のときなどに子どもを預けられる場	特にない	その他	無回答
全 体	3.6	7.1	6.1	12.8	4.2	2.8	0.7
2年生	2.7	5.8	3.1	19.3	2.7	1.9	0.4
4年生	5.1	7.2	9.3	9.7	3.8	3.4	0.8
5年生	3.1	8.4	6.1	9.2	6.1	3.1	0.8

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、これまで就労したことがないで「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	親子が安心して集まれる身近な場やイベントの機会	子ども連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす	子どもたちが安心・安全に遊べる放課後の居場所	誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービス	安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備	子どもの多い世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮	残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善の働きかけ
全 体	751	20.1	49.9	59.9	7.3	32.4	5.3	26.9
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	276	18.5	44.2	60.1	9.4	27.9	5.4	32.2
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	9	22.2	66.7	44.4	—	22.2	—	11.1
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	333	21.0	51.7	62.5	6.3	34.8	4.8	23.4
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	8	25.0	75.0	50.0	—	25.0	—	12.5
以前は就労していたが、現在は就労していない	107	22.4	55.1	51.4	6.5	34.6	8.4	28.0
これまで就労したことがない	14	14.3	57.1	71.4	7.1	50.0	—	21.4

単位：％

区分	子育てについて学べる機会	子育ての悩みを気軽に相談したり情報が得られる場	子どもや高齢者など世代間交流ができる機会	買い物や不意の外出のときなどに子どもを預けられる場	特にない	その他	無回答
全 体	3.6	7.1	6.1	12.9	4.1	2.7	0.7
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	2.5	5.1	5.1	12.0	5.8	3.3	0.7
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	－	11.1	－	22.2	11.1	－	－
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3.3	6.6	7.5	13.5	3.0	1.8	0.9
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	－	12.5	12.5	37.5	－	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	8.4	12.1	5.6	11.2	2.8	4.7	－
これまで就労したことがない	－	7.1	－	7.1	7.1	－	－

(前ページ表 続き)

問 25 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「言葉も内容も知っている」の割合が81.0%と最も高くなっています。

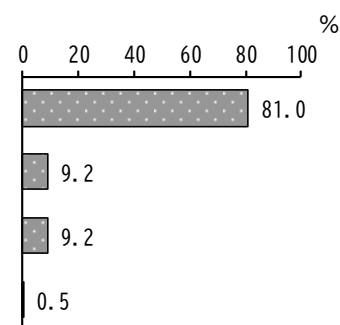
回答者数 = 757

言葉も内容も知っている

言葉は聞いたことがある

知らない

無回答



問 26 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「本人に様子を聞く」の割合が39.4%と最も高く、次いで「家族、知人、友人に相談する」の割合が31.7%、「関係機関に相談する」の割合が30.0%となっています。

回答者数 = 757

本人に様子を聞く

家族、知人、友人に相談する

先生や部活の顧問等に相談する

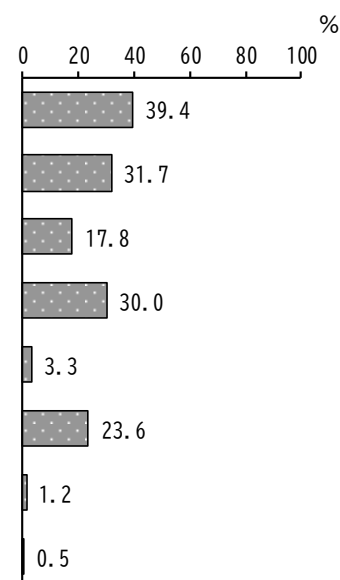
関係機関に相談する

何もしない

わからない

その他

無回答

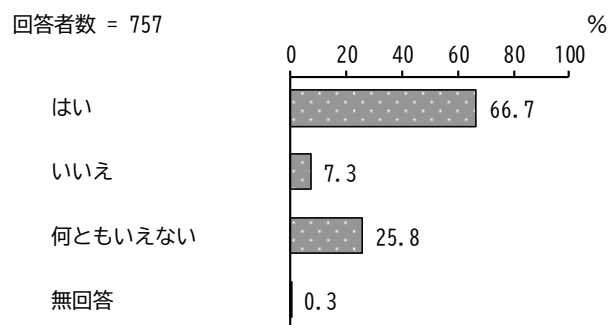


【その他の内容】

- ・ヤングケアラー自体の意味がわからないので回答のしようがない。
- ・いつでも声をかけてもらえるよう、こちらからも声かけを行う。
- ・他人の家庭に直接口出ししづらい。あまりに見過ごすことができない家庭がある場合は、そのことを通報する機関があればするかもしれない。
- ・余計なお世話かもしれないから自分からは声をかけない。子ども同士親しくて、親も知ってるとかであれば状況を書いて助けられる時は助けたいと思う。
- ・学校の先生に相談した事もあるが、煙たがられ、おこがましいとの発言もあり。そういう子が可哀想だとは限らないとも言われ失望した。
- ・他の家のことなので、本人に聞くのも聞きにくい。本人が困っていることがはっきりすれば、関係機関に相談できると思う。
- ・その家庭の状況がわからなかったり、本人がそれでいいと思ってやっていたら何もできない。

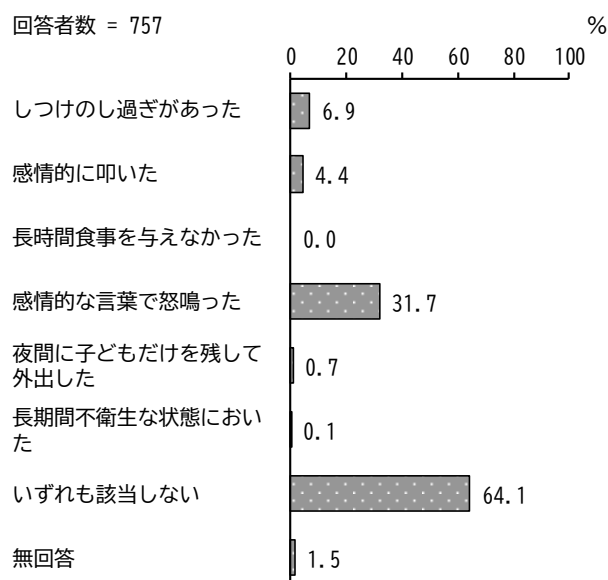
問 27 お子さんとゆったりした時間を過ごす時間がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「はい」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「何ともいえない」の割合が 25.8%となっています。



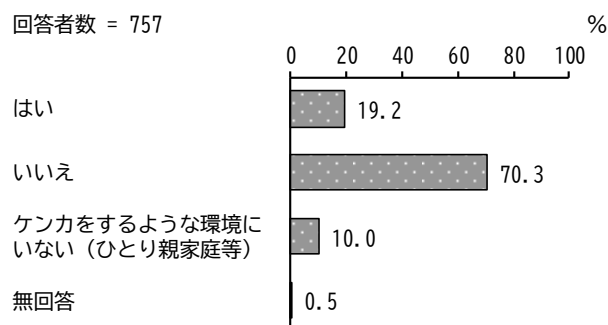
問 28 この数ヵ月の間に、ご家族で以下のことがありませんでしたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「いずれも該当しない」の割合が 64.1%と最も高く、次いで「感情的な言葉で怒鳴った」の割合が 31.7%となっています。



問 29 この数ヵ月の間に、子どもの前でパートナーとケンカをしたことがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

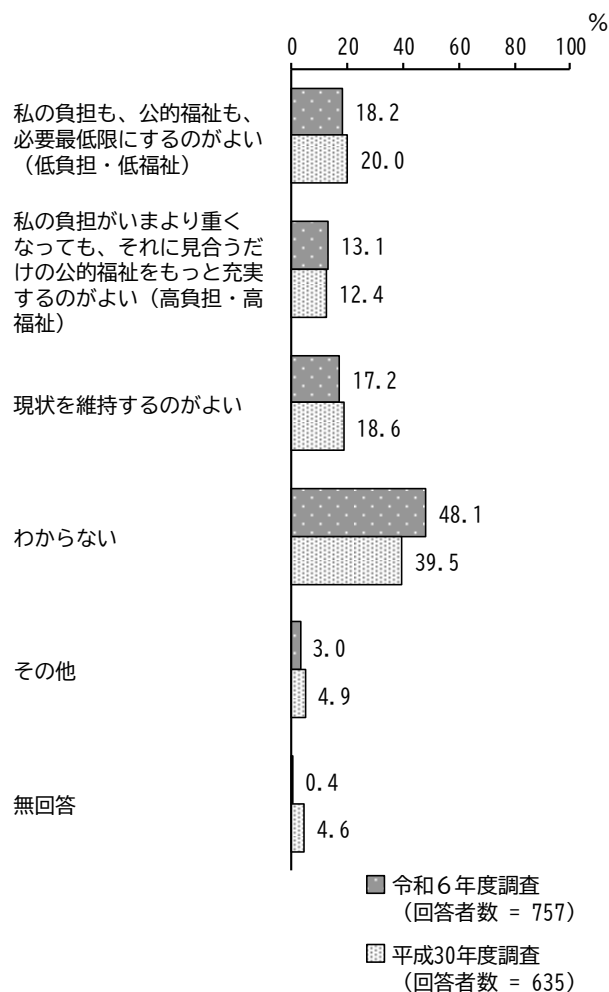
「いいえ」の割合が 70.3%と最も高く、次いで「はい」の割合が 19.2%、「ケンカをするような環境にいない(ひとり親家庭等)」の割合が 10.0%となっています。



問 30 国や市が負担する「公的福祉」の提供と、「あなたの負担」とのバランスについて、あなたの考えに最もちかいものはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「わからない」の割合が48.1%と最も高く、次いで「私の負担も、公的福祉も、必要最低限にするのがよい（低負担・低福祉）」の割合が18.2%、「現状を維持するのがよい」の割合が17.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。



【その他の内容】

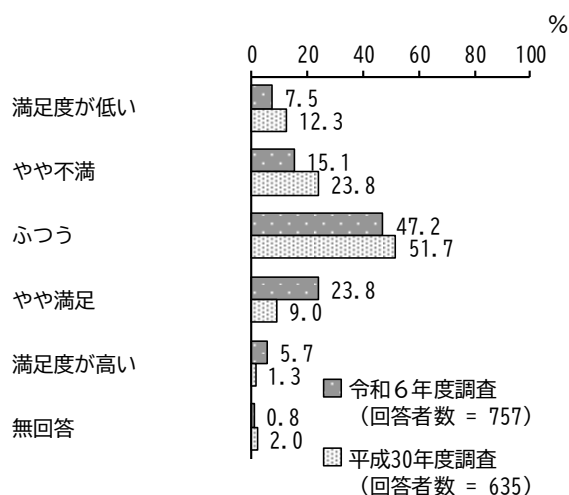
- ・すでに負担を感じているので、低負担・高福祉にしてほしい。
- ・負担は、変わらず福祉を充実。
- ・もう少し幅広く福祉が受けれる環境があればいい。
- ・収入や家族構成に見合った負担をして、今より充実した福祉を受けられたらいい。
- ・負担を減らして福祉を充実してほしい。
- ・負担しているだけのサービスを受けていない。
- ・子育て世代、税金を多く支払っている支える世代への支援をしなければ発展は見込めない。低所得や高齢者も大切ですが、そのような方々への支援が過多すぎないでほしい。子どもがいる家庭は平等に見て欲しい。
- ・どの福祉を充実させるかによる。

など

問 31 子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「ふつう」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 23.8%、「やや不満」の割合が 15.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「やや満足」の割合が増加しています。一方、「やや不満」の割合が減少しています。



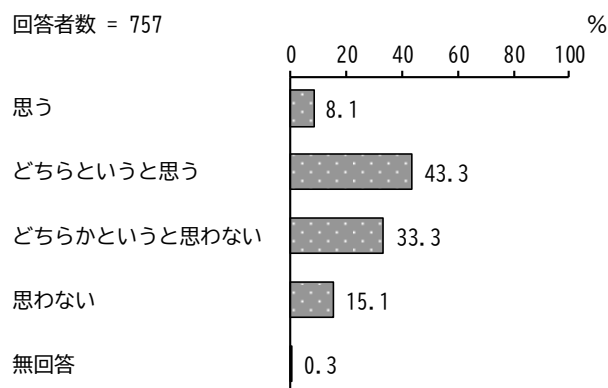
【満足度についての記載内容】

- ・子どもの医療費が支援され病院に行きやすくなった。
- ・古賀市は充実した遊具がある公園が少ない。
- ・学費負担や習い事など支援の幅を広げて欲しい。
- ・充実している部分とまだまだな部分がある。
- ・子育ての環境や支援に不満は無い。
- ・子育て世代に対する、金銭的支援が乏しい。お祝い金や、保育料無償化など。
- ・給食費を無償化にしてほしい。
- ・比べるものがない。
- ・通学路上に歩道が無い場所があって心配。
- ・子育てに関して相談する場所がない。常に、子育ては一人である。

など

問 32 あなたは古賀市がチルドレン・ファーストのまちだと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「どちらかというと思う」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「どちらかというと思わない」の割合が 33.3%、「思わない」の割合が 15.1%となっています。

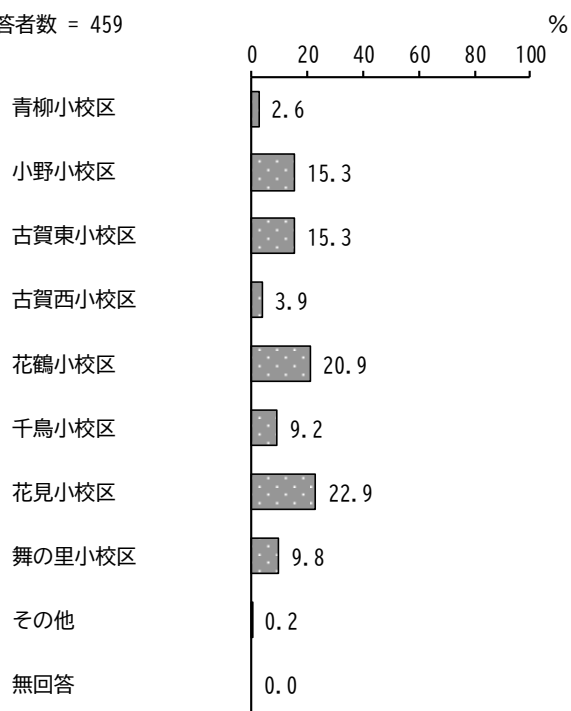


3 小学6年生

F 1 お住まいの小学校区はどちらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「花見小校区」の割合が 22.9%と最も高く、次いで「花鶴小校区」の割合が 20.9%、「小野小校区」、「古賀東小校区」の割合が 15.3%となっています。

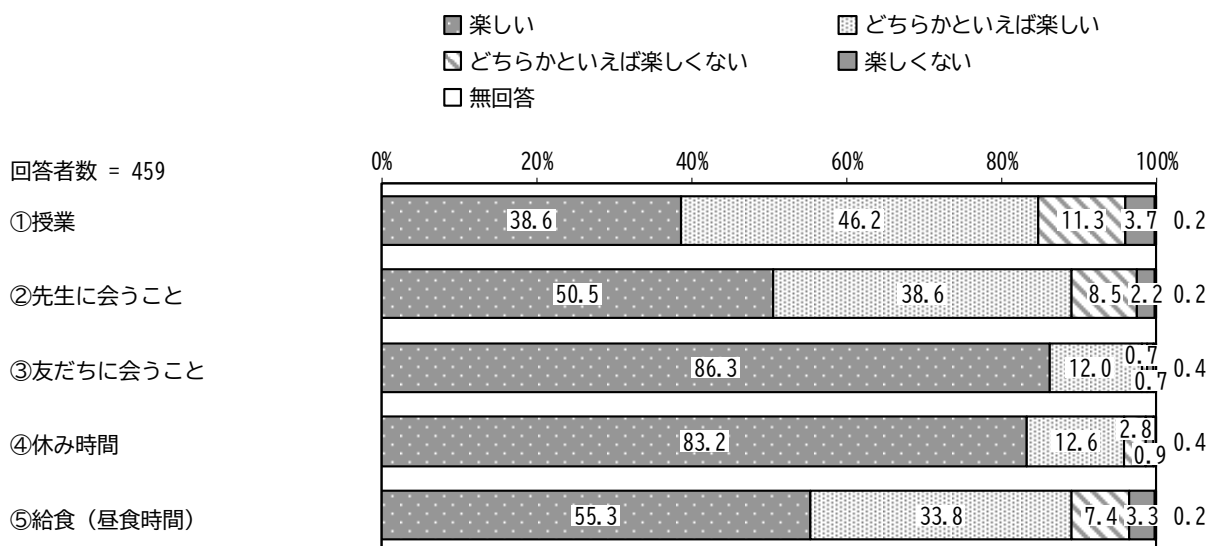
回答者数 = 459



(1) 学校や勉強について

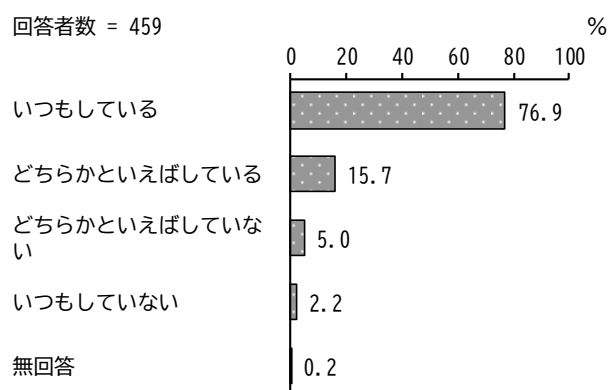
問1 次の①～⑤の内容それぞれについて、あなたの考えに合うもの1つに○をつけてください。(それぞれ、1つに○)

『③友だちに会うこと』『④休み時間』で「楽しい」の割合が、『①授業』で「どちらかといえば楽しい」の割合が高くなっています。



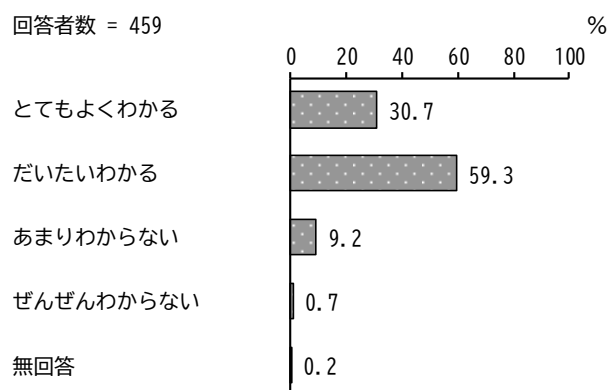
問2 あなたは、学校の宿題をしていますか。(1つに○)

「いつもしている」の割合が 76.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばしている」の割合が 15.7%となっています。



問3 あなたは、学校の授業がどのくらいわかりますか。(1つに○)

「だいたいわかる」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「とてもよくわかる」の割合が 30.7%となっています。



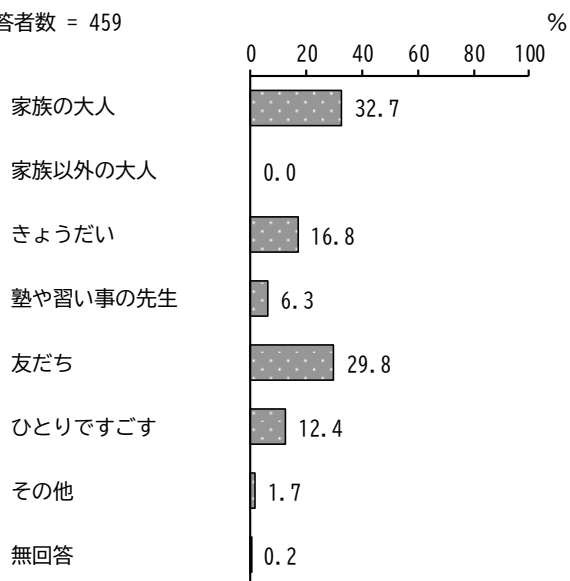
(2) 放課後のすごしかたについて

問4 あなたは、学校が終わって夕ごはんを食べるまで、だれと過ごすことが一番多いですか。多い順に3つ番号を書いてください。

1 番目

「家族の大人」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「友だち」の割合が 29.8%、「きょうだい」の割合が 16.8%となっています。

回答者数 = 459



【その他の意見】

- ・ペット

- ・いとこ

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「友だち」の割合が高くなっています。

單位：%

区分	回答者数 (件)	家族の大人	家族以外の大人	きょうだい	塾や習い事の先生	友だち	ひとりです	その他	無回答
全 体	459	32.7	－	16.8	6.3	29.8	12.4	1.7	0.2
中央値の1／2未満	14	21.4	－	28.6	－	42.9	－	7.1	－
中央値の1／2以上中央値未満	47	34.0	－	25.5	6.4	17.0	17.0	－	－
中央値以上	155	32.9	－	12.3	9.7	29.0	12.9	3.2	－

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「友だち」の割合が高くなっています。

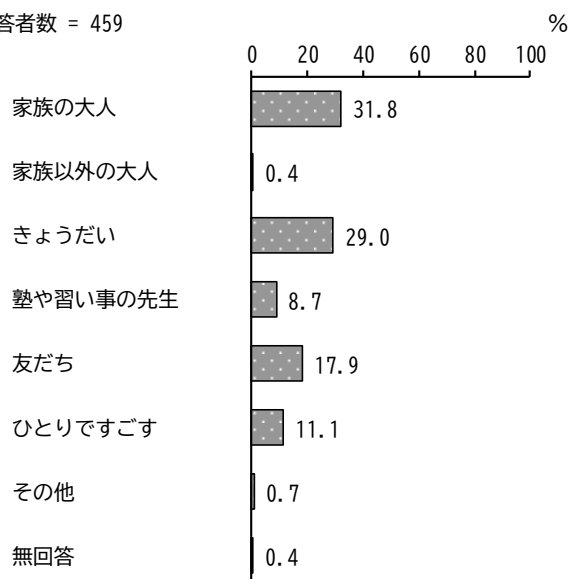
單位：%

区分	回答者数 (件)	家族の大人	家族以外の大人	きょうだい	塾や習い事の先生	友だち	ひとりです	その他	無回答
全 体	459	32.7	－	16.8	6.3	29.8	12.4	1.7	0.2
ふたり親世帯	217	34.6	－	17.1	7.8	25.3	12.4	2.3	0.5
ひとり親世帯	22	13.6	－	13.6	13.6	36.4	18.2	4.5	－
その他（不明等）	3	33.3	－	－	－	66.7	－	－	－

2 番目

「家族の大人」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「きょうだい」の割合が 29.0%、「友だち」の割合が 17.9%となっています。

回答者数 = 459



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「友だち」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家族の大人	家族以外の大人	きょうだい	塾や習い事の先生	友だち	ひとりですぐす	その他	無回答
全 体	459	31.8	0.4	29.0	8.7	17.9	11.1	0.7	0.4
中央値の1／2未満	14	28.6	—	28.6	7.1	21.4	14.3	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	47	31.9	—	29.8	—	27.7	10.6	—	—
中央値以上	155	29.0	—	31.6	9.7	18.1	11.6	—	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「ひとりですぐす」の割合が高くなっています。

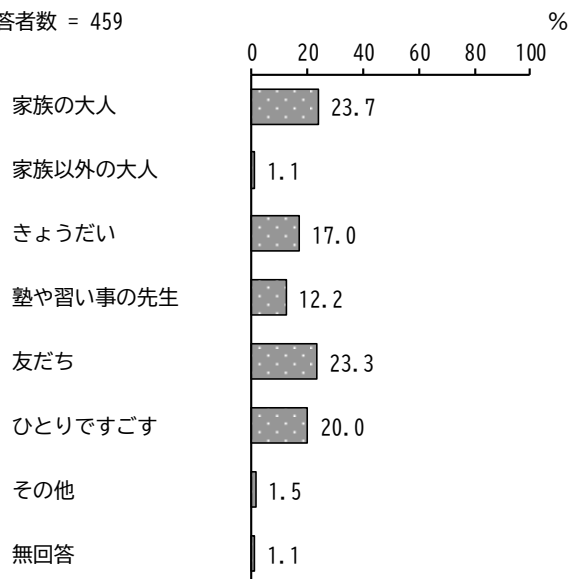
単位：％

区分	回答者数 (件)	家族の大人	家族以外の大人	きょうだい	塾や習い事の先生	友だち	ひとりですぐす	その他	無回答
全 体	459	31.8	0.4	29.0	8.7	17.9	11.1	0.7	0.4
ふたり親世帯	217	30.0	—	30.9	7.8	20.3	10.6	—	0.5
ひとり親世帯	22	31.8	—	22.7	4.5	22.7	18.2	—	—
その他（不明等）	3	33.3	—	66.7	—	—	—	—	—

3 番目

「家族の大人」の割合が 23.7%と最も高く、次いで「友だち」の割合が 23.3%、「ひとりですぐす」の割合が 20.0%となっています。

回答者数 = 459



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「塾や習い事の先生」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家族の大人	家族以外の大人	きょうだい	塾や習い事の先生	友だち	ひとりですぐす	その他	無回答
全 体	459	23.7	1.1	17.0	12.2	23.3	20.0	1.5	1.1
中央値の1／2未満	14	21.4	—	21.4	28.6	14.3	7.1	—	7.1
中央値の1／2以上中央値未満	47	17.0	—	12.8	17.0	29.8	21.3	2.1	—
中央値以上	155	21.9	1.3	16.8	12.9	23.9	21.3	1.3	0.6

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「塾や習い事の先生」の割合が高くなっています。

単位：％

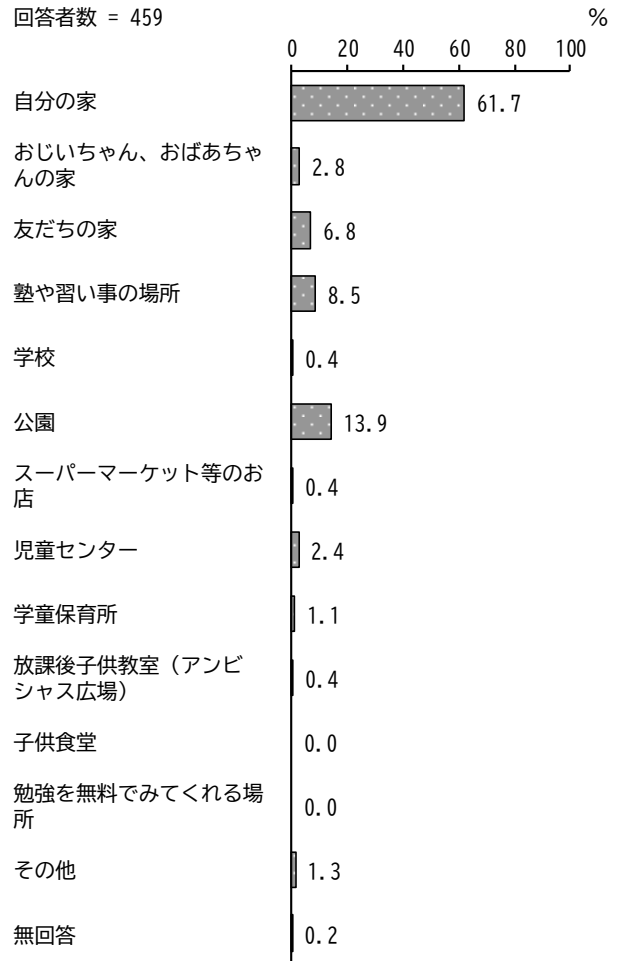
区分	回答者数 (件)	家族の大人	家族以外の大人	きょうだい	塾や習い事の先生	友だち	ひとりですぐす	その他	無回答
全 体	459	23.7	1.1	17.0	12.2	23.3	20.0	1.5	1.1
ふたり親世帯	217	22.1	0.9	16.1	15.2	24.9	18.4	1.4	0.9
ひとり親世帯	22	18.2	—	18.2	18.2	22.7	18.2	—	4.5
その他（不明等）	3	33.3	—	—	33.3	—	33.3	—	—

問5 あなたは、放課後どこで過ごすことが一番多いですか。多い順に3つ番号を書いてください。

1 番目

「自分の家」の割合が 61.7%と最も高く、次いで「公園」の割合が 13.9%となっています。

回答者数 = 459



【その他の内容】

- ・ 公共施設
- ・ 家の前など
- ・ ししぎ山

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「自分の家」の割合が高くなっています。

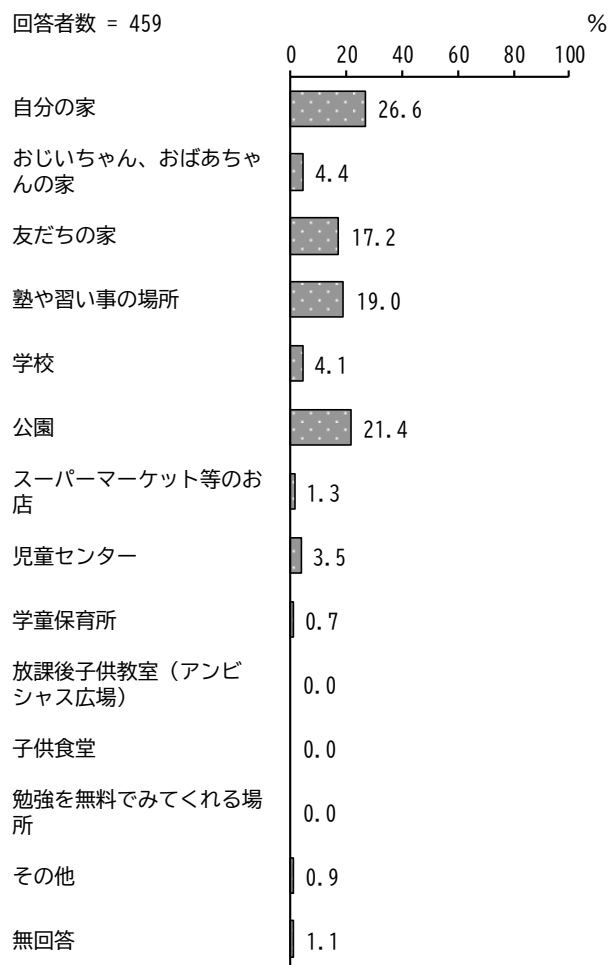
単位：%

区分	回答者数（件）	自分の家	おじいちゃん、おばあちゃんの家	友だちの家	塾や習い事	学校	公園	スーパーマーケット等のお店	児童センター	学童保育所	放課後子供教室（アンビシャス広場）	子供食堂	勉強を無料でみてる場所	その他	無回答
全 体	459	61.7	2.8	6.8	8.5	0.4	13.9	0.4	2.4	1.1	0.4	—	—	1.3	0.2
中央値の1／2未満	14	50.0	—	7.1	21.4	—	7.1	—	—	7.1	7.1	—	—	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	47	70.2	2.1	—	6.4	—	14.9	—	4.3	2.1	—	—	—	—	—
中央値以上	155	59.4	3.2	8.4	9.7	—	14.2	—	1.9	0.6	0.6	—	—	1.9	—

2 番目

「自分の家」の割合が 26.6%と最も高く、次いで「公園」の割合が 21.4%、「塾や習い事」の割合が 19.0%となっています。

回答者数 = 459



【その他の内容】

- ・いとこの家
- ・クラブチーム

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の 1 / 2 以上中央値未満で「友だちの家」の割合が高くなっています。

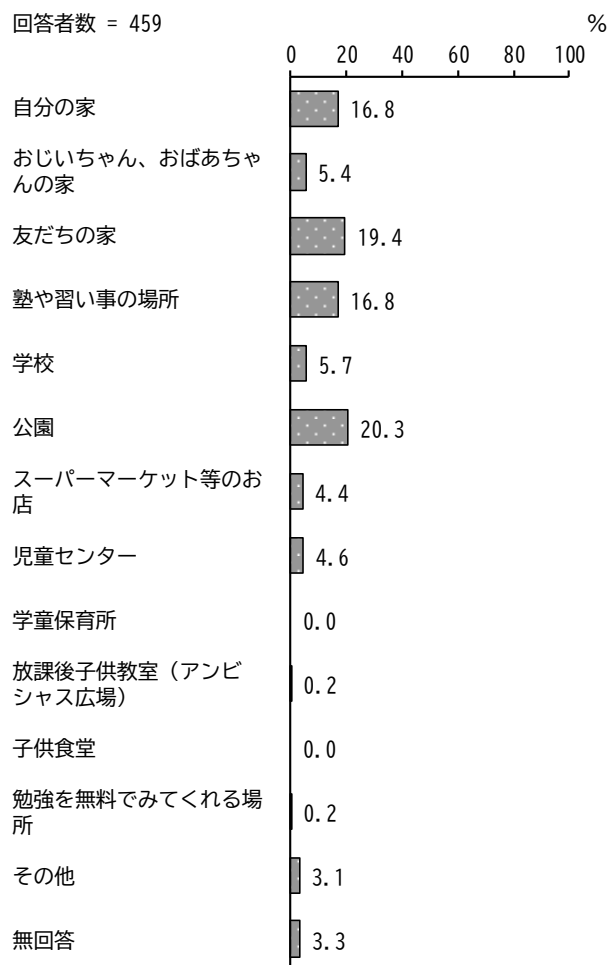
単位：%

区分	回答者数 (件)	自分の家	おじいちゃん、おばあちゃんの家	友だちの家	塾や習い事	学校	公園	スーパーマーケット等のお店	児童センター	学童保育所	放課後子供教室（アンビシャス広場）	子ども食堂	勉強を無料でみてる場所	その他	無回答
全 体	459	26.6	4.4	17.2	19.0	4.1	21.4	1.3	3.5	0.7	—	—	—	0.9	1.1
中央値の 1 / 2 未満	14	28.6	—	21.4	7.1	7.1	28.6	—	7.1	—	—	—	—	—	—
中央値の 1 / 2 以上中央値未満	47	21.3	2.1	25.5	17.0	8.5	12.8	2.1	6.4	—	—	—	—	—	4.3
中央値以上	155	27.7	5.8	14.2	17.4	2.6	27.7	0.6	3.2	—	—	—	—	—	0.6

3番目

「公園」の割合が 20.3%と最も高く、次いで「友だちの家」の割合が 19.4%、「自分の家」、「塾や習い事の場所」の割合が 16.8%となっています。

回答者数 = 459



【その他の意見】

- ・ 外
- ・ リーパスプラザこが(図書館)
- ・ 放課後デイサービス
- ・ いとこの家

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1 / 2 以上中央値未満で「公園」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自分の家	おじいちゃん、おばあちゃんの家	友だちの家	塾や習い事の場所	学校	公園	スーパーマーケット等のお店	児童センター	学童保育所	放課後子供教室 (アンビシャス広場)	子ども食堂	勉強を無料でみてる場所	その他	無回答
全 体	459	16.8	5.4	19.4	16.8	5.7	20.3	4.4	4.6	—	0.2	—	0.2	3.1	3.3
中央値の1 / 2 未満	14	14.3	—	14.3	14.3	14.3	28.6	7.1	—	—	—	—	—	—	7.1
中央値の1 / 2 以上中央値未満	47	10.6	4.3	6.4	17.0	6.4	29.8	2.1	12.8	—	—	—	—	2.1	8.5
中央値以上	155	20.6	7.7	20.0	20.0	1.9	16.8	2.6	5.2	—	—	—	0.6	1.9	2.6

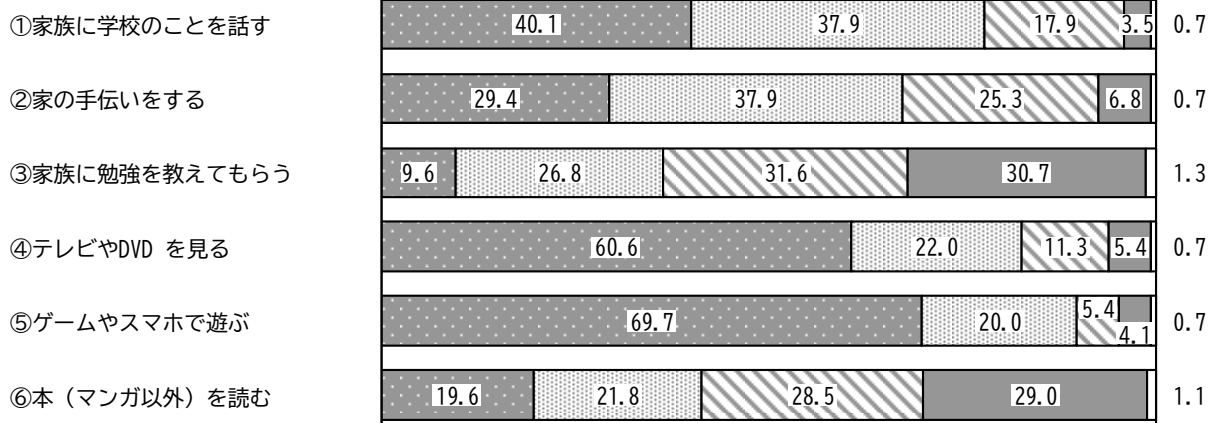
(3) 家でのごしかたについて

問6 次の①～⑥の内容それぞれについて、家でのあなたに最も当てはまるもの1つに○をつけてください。(それぞれ、1つに○)

『④テレビやDVDを見る』『⑤ゲームやスマホで遊ぶ』で「よくする」の割合が高くなっています。一方、『③家族に勉強を教えてもらう』『⑥本（マンガ以外）を読む』で「しない」の割合が高くなっています。

■ よくする ■ ときどきする ■ たまにする ■ しない □ 無回答

回答者数 = 459



①家族に学校のことを話す

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「ときどきする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくする	ときどきする	たまにする	しない	無回答
全 体	459	40.1	37.9	17.9	3.5	0.7
中央値の1／2未満	14	21.4	57.1	21.4	—	—
中央値の1／2以上中央 値未満	47	31.9	46.8	19.1	2.1	—
中央値以上	155	43.2	38.1	14.8	3.9	—

②家の手伝いをする

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「ときどきする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくする	ときどきする	たまにする	しない	無回答
全 体	459	29.4	37.9	25.3	6.8	0.7
中央値の1／2未満	14	21.4	42.9	21.4	14.3	—
中央値の1／2以上中央 値未満	47	29.8	31.9	29.8	8.5	—
中央値以上	155	32.3	35.5	24.5	7.7	—

③家族に勉強を教えてもらう

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「たまにする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくする	ときどきする	たまにする	しない	無回答
全 体	459	9.6	26.8	31.6	30.7	1.3
中央値の1／2未満	14	14.3	28.6	21.4	35.7	—
中央値の1／2以上中央 値未満	47	10.6	27.7	40.4	21.3	—
中央値以上	155	9.7	25.8	31.6	31.0	1.9

④テレビやDVDを見る

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「ときどきする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくする	ときどきする	たまにする	しない	無回答
全 体	459	60.6	22.0	11.3	5.4	0.7
中央値の1／2未満	14	57.1	35.7	—	7.1	—
中央値の1／2以上中央 値未満	47	66.0	19.1	10.6	4.3	—
中央値以上	155	61.3	23.2	11.0	4.5	—

⑤ゲームやスマホで遊ぶ

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「よくする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくする	ときどきする	たまにする	しない	無回答
全 体	459	69.7	20.0	5.4	4.1	0.7
中央値の1／2未満	14	78.6	14.3	7.1	—	—
中央値の1／2以上中央 値未満	47	78.7	19.1	2.1	—	—
中央値以上	155	65.2	23.2	4.5	7.1	—

⑥本（マンガ以外）を読む

【生活困窮度別】

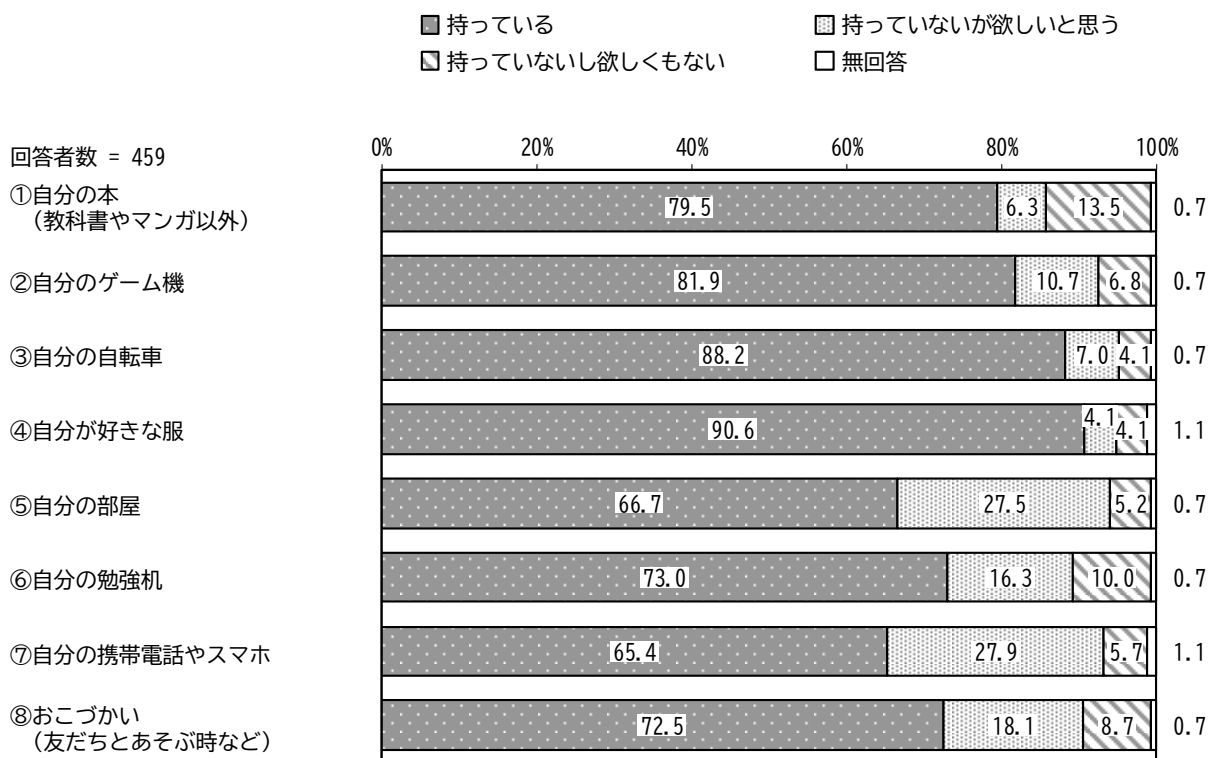
生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「ときどきする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくする	ときどきする	たまにする	しない	無回答
全 体	459	19.6	21.8	28.5	29.0	1.1
中央値の1／2未満	14	7.1	35.7	21.4	35.7	—
中央値の1／2以上中央 値未満	47	12.8	25.5	34.0	27.7	—
中央値以上	155	23.2	23.2	26.5	27.1	—

問7 次の①～⑧の内容それぞれについて、あなたに最も当てはまるもの1つに○をつけてください。(それぞれ、1つに○)

『③自分の自転車』『④自分が好きな服』で「持っている」の割合が高くなっています。一方、『⑤自分の部屋』『⑦自分の携帯電話やスマホ』で「持っていないが欲しいと思う」の割合が高くなっています。



① 自分の本（教科書やマンガ以外）

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「持っている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	持っている	持っていないが 欲しいと思う	持っていないし 欲しくない	無回答
全 体	459	79.5	6.3	13.5	0.7
中央値の1／2未満	14	92.9	—	7.1	—
中央値の1／2以上中央値未 満	47	80.9	2.1	17.0	—
中央値以上	155	84.5	5.8	9.7	—

②自分のゲーム機

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「持っている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	持っている	持っていないが 欲しいと思う	持っていないし 欲しくない	無回答
全 体	459	81.9	10.7	6.8	0.7
中央値の1／2未満	14	85.7	7.1	7.1	—
中央値の1／2以上中央値未 満	47	87.2	10.6	2.1	—
中央値以上	155	81.3	9.0	9.7	—

③自分の自転車

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	持っている	持っていないが 欲しいと思う	持っていないし 欲しくない	無回答
全 体	459	88.2	7.0	4.1	0.7
中央値の1／2未満	14	85.7	14.3	—	—
中央値の1／2以上中央値未 満	47	91.5	6.4	2.1	—
中央値以上	155	89.7	5.8	4.5	—

④自分が好きな服

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	持っている	持っていないが欲しいと思う	持っていないし欲しくない	無回答
全 体	459	90.6	4.1	4.1	1.1
中央値の1／2未満	14	85.7	14.3	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	47	89.4	2.1	8.5	—
中央値以上	155	91.6	4.5	3.2	0.6

⑤自分の部屋

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「持っていないが欲しいと思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	持っている	持っていないが欲しいと思う	持っていないし欲しくない	無回答
全 体	459	66.7	27.5	5.2	0.7
中央値の1／2未満	14	50.0	42.9	7.1	—
中央値の1／2以上中央値未満	47	61.7	34.0	4.3	—
中央値以上	155	72.9	21.9	5.2	—

⑥自分の勉強机

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「持っていないが欲しいと思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	持っている	持っていないが欲しいと思う	持っていないし欲しくない	無回答
全 体	459	73.0	16.3	10.0	0.7
中央値の1／2未満	14	71.4	21.4	7.1	—
中央値の1／2以上中央値未満	47	76.6	14.9	8.5	—
中央値以上	155	74.2	15.5	10.3	—

⑦自分の携帯電話やスマホ

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「持っている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	持っている	持っていないが欲しいと思う	持っていないし欲しくもない	無回答
全 体	459	65.4	27.9	5.7	1.1
中央値の1／2未満	14	64.3	35.7	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	47	74.5	23.4	2.1	—
中央値以上	155	60.6	31.0	7.7	0.6

⑧おこづかい（友だちとあそぶ時など）

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

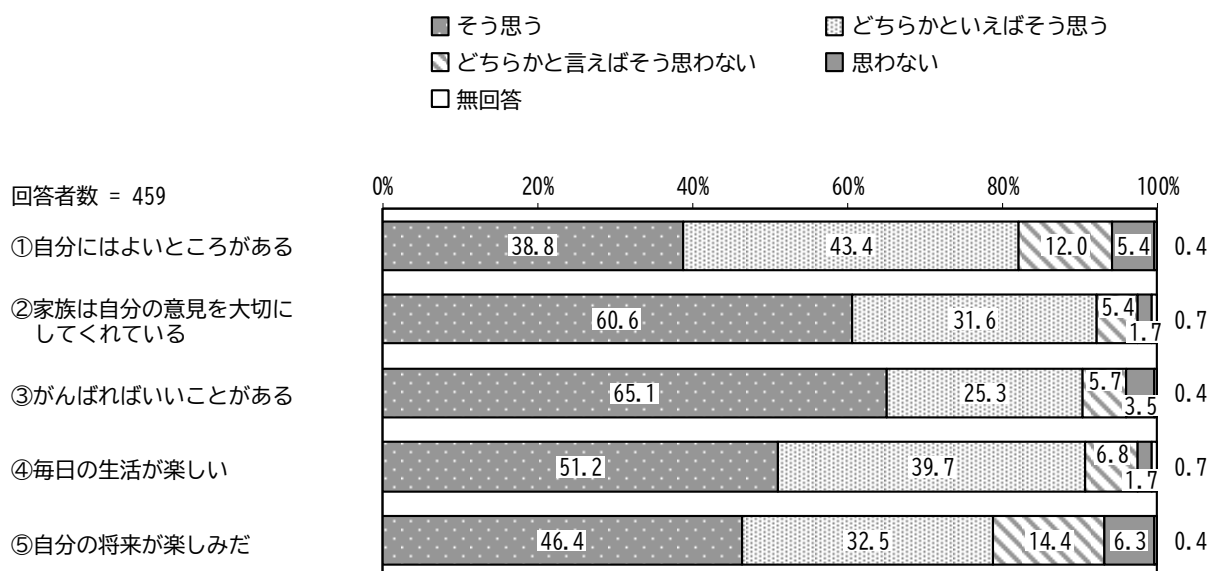
単位：％

区分	回答者数 (件)	持っている	持っていないが欲しいと思う	持っていないし欲しくもない	無回答
全 体	459	72.5	18.1	8.7	0.7
中央値の1／2未満	14	71.4	21.4	7.1	—
中央値の1／2以上中央値未満	47	74.5	19.1	6.4	—
中央値以上	155	72.9	19.4	7.7	—

(4) あなたの考えについて

問8 次の①～⑤の内容それぞれについて、あなたの考えに当てはまるもの1つに○をつけてください。(それぞれ、1つに○)

『②家族は自分の意見を大切にしてくれている』『③がんばればいいことがある』で「そう思う」の割合が高くなっています。



①自分にはよいところがある

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	どちら かとい えば そう 思う	どちら かとい えば そう 思わ ない	思 わ な い	無 回 答
全 体	459	38.8	43.4	12.0	5.4	0.4
中央値の1／2未満	14	14.3	57.1	14.3	14.3	—
中央値の1／2以上中央 値未満	47	44.7	40.4	10.6	4.3	—
中央値以上	155	40.6	44.5	12.3	2.6	—

【悩みを相談できる人の有無別】

悩みを相談できる人の有無別にみると、その他の大人（学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など）で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	どちら かとい えば そう 思う	どちら かとい えば そう 思わ ない	思 わ な い	無 回 答
全 体	459	38.8	43.4	12.0	5.4	0.4
親	340	42.6	42.9	10.9	3.2	0.3
おじいちゃん、おばあ ちゃん	91	51.6	33.0	9.9	5.5	—
きょうだい	115	47.0	37.4	12.2	3.5	—
友だち	292	41.1	43.5	9.9	5.1	0.3
学校の先生	140	49.3	37.9	9.3	3.6	—
学校外の友だち	79	41.8	45.6	6.3	6.3	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	10	50.0	20.0	30.0	—	—
その他の大人（学童保育 所の人、塾・習い事の先 生、地域の人など）	33	60.6	33.3	6.1	—	—
ネットで知り合った人	16	37.5	25.0	18.8	18.8	—
誰にも相談できない、相 談したくない	43	20.9	46.5	14.0	18.6	—

②家族は自分の意見を大切にしてくれている

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わない	思わない	無回答
全 体	459	60.6	31.6	5.4	1.7	0.7
中央値の1／2未満	14	28.6	50.0	14.3	7.1	—
中央値の1／2以上中央 値未満	47	59.6	36.2	4.3	—	—
中央値以上	155	58.7	33.5	5.2	2.6	—

【悩みを相談できる人の有無別】

悩みを相談できる人の有無別にみると、誰にも相談できない、相談したくないで「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わない	思わない	無回答
全 体	459	60.6	31.6	5.4	1.7	0.7
親	340	67.6	28.5	2.4	0.9	0.6
おじいちゃん、おばあちゃん	91	78.0	19.8	2.2	—	—
きょうだい	115	73.0	22.6	3.5	0.9	—
友だち	292	63.7	29.1	5.1	1.4	0.7
学校の先生	140	75.7	20.7	3.6	—	—
学校外の友だち	79	68.4	29.1	1.3	1.3	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカーなど	10	60.0	40.0	—	—	—
その他の大人（学童保育 所の人、塾・習い事の先生、 地域の人など）	33	69.7	30.3	—	—	—
ネットで知り合った人	16	56.3	37.5	6.3	—	—
誰にも相談できない、相談 したくない	43	27.9	55.8	9.3	7.0	—

③がんばればいいことがある

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか と言え ば そう思 わない	思わ ない	無回 答
全 体	459	65.1	25.3	5.7	3.5	0.4
中央値の1／2未満	14	42.9	35.7	7.1	14.3	—
中央値の1／2以上中央 値未満	47	68.1	23.4	6.4	2.1	—
中央値以上	155	68.4	25.2	5.2	1.3	—

【悩みを相談できる人の有無別】

悩みを相談できる人の有無別にみると、その他の大人（学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など）で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえ ば そう思 う	どちらか と言え ば そう思 わない	思わ ない	無回 答
全 体	459	65.1	25.3	5.7	3.5	0.4
親	340	72.1	22.6	4.1	0.9	0.3
おじいちゃん、おばあ ちゃん	91	81.3	14.3	3.3	1.1	—
きょうだい	115	73.9	19.1	6.1	0.9	—
友だち	292	71.2	20.9	5.1	2.4	0.3
学校の先生	140	77.1	20.0	2.1	0.7	—
学校外の友だち	79	81.0	12.7	6.3	—	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	10	70.0	30.0	—	—	—
その他の大人（学童保育 所の人、塾・習い事の先 生、地域の人など）	33	84.8	12.1	3.0	—	—
ネットで知り合った人	16	50.0	18.8	18.8	12.5	—
誰にも相談できない、相 談したくない	43	34.9	34.9	11.6	18.6	—

④毎日の生活が楽しい

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	どちらか といえば そう 思う	どちらか と言え ば そう 思わ ない	思 わ な い	無 回 答
全 体	459	51.2	39.7	6.8	1.7	0.7
中央値の1／2未満	14	35.7	42.9	14.3	7.1	—
中央値の1／2以上中央 値未満	47	63.8	34.0	2.1	—	—
中央値以上	155	47.1	44.5	5.8	2.6	—

【悩みを相談できる人の有無別】

悩みを相談できる人の有無別にみると、誰にも相談できない、相談したくないで「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	どちらか といえ ば そう 思う	どちらか と言え ば そう 思わ ない	思 わ な い	無 回 答
全 体	459	51.2	39.7	6.8	1.7	0.7
親	340	57.9	35.9	4.7	0.9	0.6
おじいちゃん、おばあ ちゃん	91	65.9	30.8	3.3	—	—
きょうだい	115	58.3	35.7	4.3	1.7	—
友だち	292	55.8	37.0	5.5	1.4	0.3
学校の先生	140	65.7	32.1	2.1	—	—
学校外の友だち	79	57.0	39.2	2.5	1.3	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	10	40.0	50.0	10.0	—	—
その他の大人（学童保育 所の人、塾・習い事の先 生、地域の人など）	33	69.7	24.2	6.1	—	—
ネットで知り合った人	16	25.0	43.8	25.0	6.3	—
誰にも相談できない、相 談したくない	43	18.6	60.5	11.6	9.3	—

⑤自分の将来が楽しみだ

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか と言え ば そう思 わない	思わ ない	無回 答
全 体	459	46.4	32.5	14.4	6.3	0.4
中央値の1／2未満	14	50.0	14.3	21.4	14.3	—
中央値の1／2以上中央 値未満	47	46.8	40.4	10.6	2.1	—
中央値以上	155	44.5	32.9	17.4	5.2	—

【悩みを相談できる人の有無別】

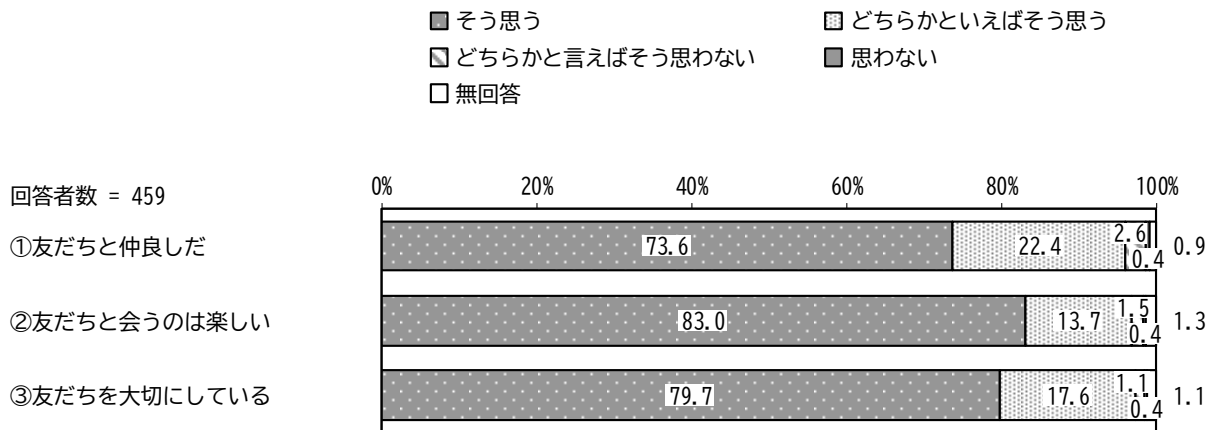
悩みを相談できる人の有無別にみると、その他の大人（学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など）で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

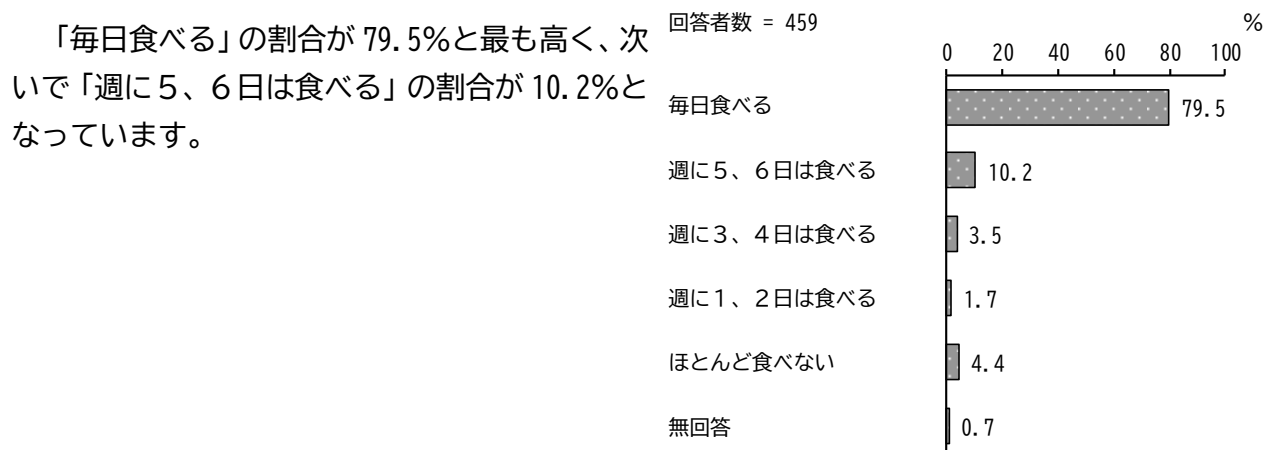
区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか と言え ば そう思 わない	思わ ない	無回 答
全 体	459	46.4	32.5	14.4	6.3	0.4
親	340	50.6	31.8	12.9	4.4	0.3
おじいちゃん、おばあ ちゃん	91	53.8	34.1	8.8	3.3	—
きょうだい	115	48.7	31.3	13.9	6.1	—
友だち	292	49.7	31.5	12.7	5.8	0.3
学校の先生	140	55.0	30.7	10.7	3.6	—
学校外の友だち	79	49.4	35.4	10.1	5.1	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	10	30.0	50.0	20.0	—	—
その他の大人（学童保育 所の人、塾・習い事の先 生、地域の人など）	33	66.7	21.2	12.1	—	—
ネットで知り合った人	16	62.5	12.5	6.3	18.8	—
誰にも相談できない、相 談したくない	43	25.6	44.2	11.6	18.6	—

問9 次の①～③の内容それぞれについて、あなたの考えに当てはまるもの1つに○をつけてください。(それぞれ、1つ○)

『①友だちと仲良しだ』で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。



問 10 あなたは、週に何回朝ごはんを食べていますか。（1つに○）



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「毎日食べる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	毎日 食べる	週に5、 6日は 食べる	週に3、 4日は 食べる	週に1、 2日は 食べる	ほとん ど食べ ない	無回 答
全 体	459	79.5	10.2	3.5	1.7	4.4	0.7
中央値の1／2未満	14	71.4	14.3	14.3	—	—	—
中央値の1／2以上中 央値未満	47	85.1	4.3	—	4.3	6.4	—
中央値以上	155	85.2	8.4	3.2	—	3.2	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「週に5、6日は食べる」の割合が高くなっています。

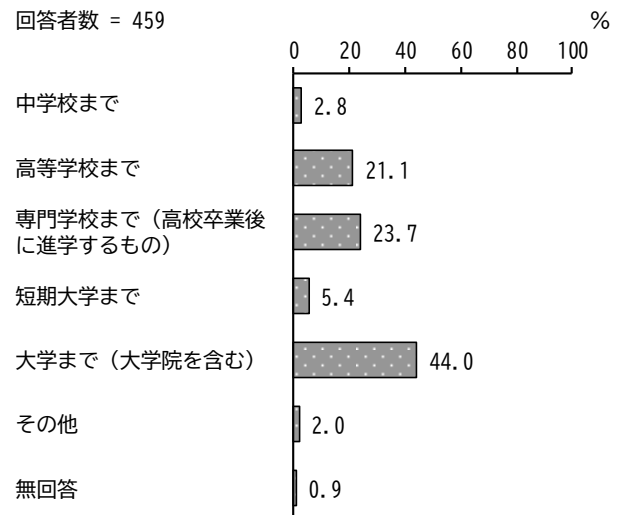
単位：%

区分	回答者数 (件)	毎日 食べる	週に5、 6日は 食べる	週に3、 4日は 食べる	週に1、 2日は 食べる	ほとん ど食べ ない	無回 答
全 体	459	79.5	10.2	3.5	1.7	4.4	0.7
ふたり親世帯	217	86.6	6.0	3.2	0.5	3.2	0.5
ひとり親世帯	22	59.1	22.7	9.1	4.5	4.5	—
その他（不明等）	3	100.0	—	—	—	—	—

問 11 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。(1つに○)

「大学まで（大学院を含む）」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「専門学校まで（高校卒業後に進学するもの）」の割合が 23.7%、「高等学校まで」の割合が 21.1%となっています。

回答者数 = 459



【その他の内容】

- ・決めていない。
- ・親や友達しだい。
- ・まだよくわからない。
- ・夢が叶うまで頑張る。
- ・やりたいことが見つかったら大学はいかないが、やりたいことがないときはそれを探すために大学に行く。

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「高等学校まで」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校まで	高等学校まで	専門学校まで (高校卒業後に進学するもの)	短期大学まで	大学まで (大学院を含む)	その他	無回答
全 体	459	2.8	21.1	23.7	5.4	44.0	2.0	0.9
中央値の1／2未満	14	7.1	35.7	21.4	14.3	21.4	—	—
中央値の1／2以上 中央値未満	47	—	34.0	38.3	2.1	25.5	—	—
中央値以上	155	2.6	13.5	18.1	5.2	56.8	3.2	0.6

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校まで	高等学校まで	専門学校まで (高校卒業後に進学するもの)	短期大学まで	大学まで (大学院を含む)	その他	無回答
全 体	459	2.8	21.1	23.7	5.4	44.0	2.0	0.9
ふたり親世帯	217	1.8	18.9	22.1	5.5	48.4	2.3	0.9
ひとり親世帯	22	4.5	22.7	18.2	4.5	45.5	4.5	—
その他（不明等）	3	—	33.3	33.3	33.3	—	—	—

【保護者の希望別】

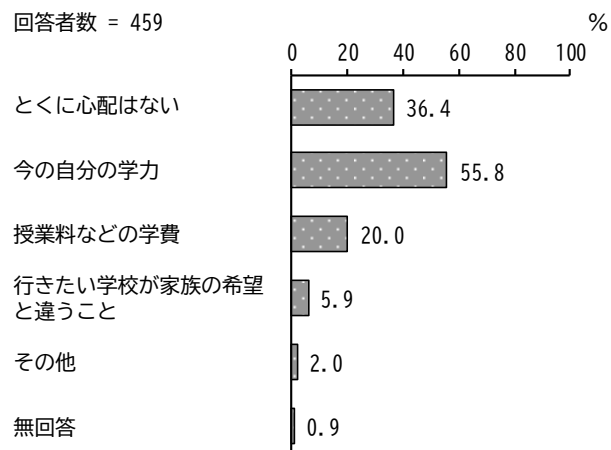
保護者の希望別にみると、高等学校までで「高等学校まで」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校まで	高等学校まで	専門学校まで (高校卒業後に進学するもの)	短期大学まで	大学まで (大学院を含む)	その他	無回答
全 体	459	2.8	21.1	23.7	5.4	44.0	2.0	0.9
中学校まで	—	—	—	—	—	—	—	—
高等学校まで	31	6.5	51.6	19.4	9.7	9.7	—	3.2
専門学校まで（高校卒業後に進学するもの）	26	—	26.9	50.0	7.7	15.4	—	—
短期大学まで	8	—	12.5	12.5	—	62.5	12.5	—
大学まで（大学院を含む）	155	1.9	12.9	16.1	5.2	60.6	3.2	—
その他	22	—	13.6	36.4	4.5	40.9	—	4.5

問 12 進学のこと、心配なことはありますか。(すべてに○)

「今の自分の学力」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「とくに心配はない」の割合が 36.4%、「授業料などの学費」の割合が 20.0%となっています。



【その他の内容】

- ・勉強
- ・通知表
- ・友達関係
- ・友だちができるか。
- ・考えたことがない。
- ・またいじめられそうで怖い。
- ・やりたいことがまだわからない。
- ・まだそんなに大学のこととか考えていない。

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1 / 2未満で「今の自分の学力」の割合が高くなっています。

単位：%

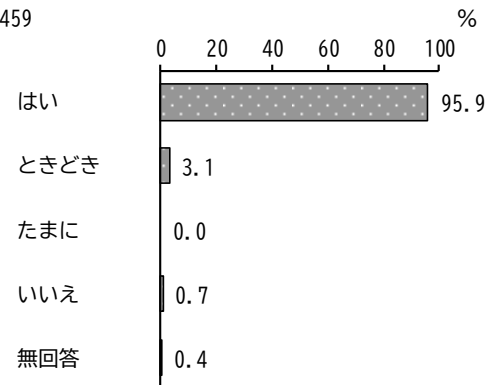
区分	回答者数 (件)	とくに心配はない	今の自分の学力	授業料などの学費	行きたい学校が家族の希望と違うこと	その他	無回答
全 体	459	36.4	55.8	20.0	5.9	2.0	0.9
中央値の1 / 2未満	14	28.6	71.4	21.4	—	—	—
中央値の1 / 2以上中央値未満	47	29.8	59.6	23.4	6.4	2.1	—
中央値以上	155	41.9	52.9	21.3	5.8	1.9	0.6

問 13 次の①～③の内容それぞれについて、あなたの考えに当てはまるもの 1 つに○をつけてください。(それぞれ、1 つ○)

①せんとくした服を着ていますか

「はい」の割合が 95.9%と最も高くなっています。

回答者数 = 459



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

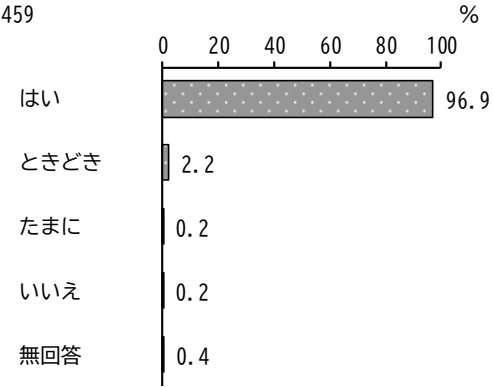
単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	とくどき	たまに	いいえ	無回答
全 体	459	95.9	3.1	—	0.7	0.4
中央値の 1 / 2 未満	14	100.0	—	—	—	—
中央値の 1 / 2 以上中央 値未満	47	97.9	2.1	—	—	—
中央値以上	155	96.1	3.2	—	0.6	—

②お風呂に入っていますか

「はい」の割合が 96.9%と最も高くなっています。

回答者数 = 459



【生活困窮度別】

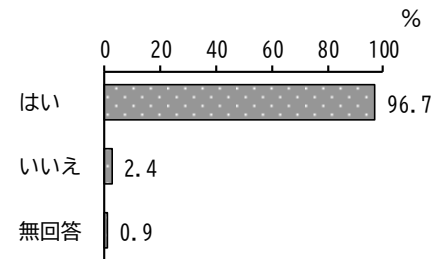
生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	ときどき	たまに	いいえ	無回答
全 体	459	96.9	2.2	0.2	0.2	0.4
中央値の 1 / 2 未満	14	100.0	—	—	—	—
中央値の 1 / 2 以上中央 値未満	47	93.6	6.4	—	—	—
中央値以上	155	98.7	1.3	—	—	—

③必要なものを買ってもらえますか

「はい」の割合が96.7%、「いいえ」の割合が2.4%となっています。
回答者数 = 459



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

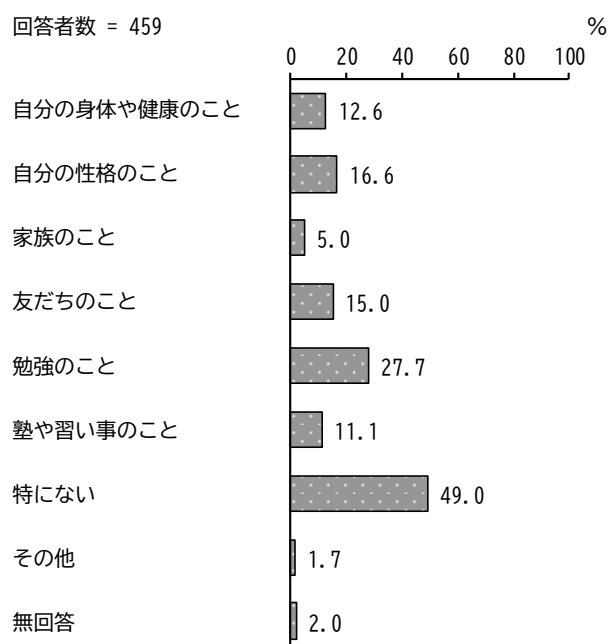
単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	459	96.7	2.4	0.9
中央値の1／2未満	14	85.7	7.1	7.1
中央値の1／2以上中央値未満	47	100.0	—	—
中央値以上	155	98.1	1.9	—

問 14 あなたは、今悩んでいることや心配なこと、困っていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「特にない」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「勉強のこと」の割合が 27.7%、「自分の性格のこと」の割合が 16.6%となっています。

回答者数 = 459



【その他の内容】

- ・ 環境のこと
- ・ 将来の事
- ・ 学校のこと

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「勉強のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自分の 身体や健康 のこと	自分の 性格のこと	家族の こと	友だちの こと	勉強の こと	塾や習い 事のこと	特にな い	その他	無回 答
全 体	459	12.6	16.6	5.0	15.0	27.7	11.1	49.0	1.7	2.0
中央値の1／2 未満	14	21.4	28.6	—	—	57.1	21.4	28.6	—	—
中央値の1／2 以上中央値未満	47	6.4	12.8	2.1	12.8	19.1	8.5	51.1	—	2.1
中央値以上	155	11.6	14.8	5.8	16.1	29.7	12.9	48.4	1.9	2.6

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「塾や習い事のこと」の割合が高くなっています。

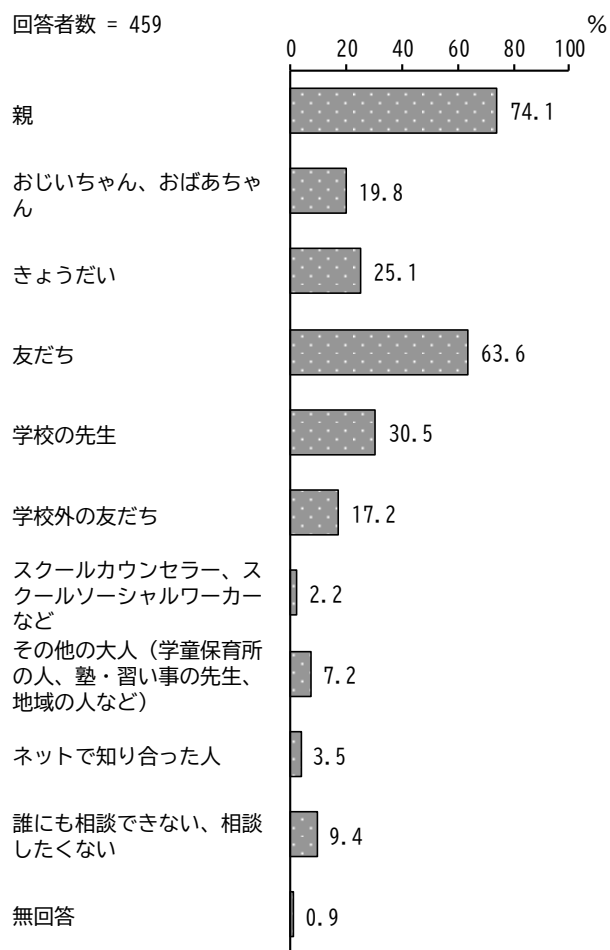
単位：％

区分	回答者数 (件)	自分の 身体や健康 のこと	自分の 性格のこと	家族の こと	友だちの こと	勉強の こと	塾や習い 事のこと	特にな い	その他	無回 答
全 体	459	12.6	16.6	5.0	15.0	27.7	11.1	49.0	1.7	2.0
ふたり親世帯	217	11.1	16.1	4.1	13.4	30.0	10.1	47.5	2.3	2.8
ひとり親世帯	22	13.6	13.6	4.5	18.2	27.3	27.3	45.5	—	—
その他（不明 等）	3	—	—	—	33.3	33.3	—	33.3	—	—

問 15 悩みや心配ごとがあるときは、話したり相談したりできる人がいますか。
(あてはまるものすべてに○)

「親」の割合が 74.1%と最も高く、次いで「友だち」の割合が 63.6%、「学校の先生」の割合が 30.5%となっています。

回答者数 = 459



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「友だち」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	親	おじいちゃん、おばあちゃん	きょうだい	友だち	学校の先生	学校外の友だち	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人（学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など）	ネットで知り合った人	誰にも相談できない、相談したくない	無回答
全 体	459	74.1	19.8	25.1	63.6	30.5	17.2	2.2	7.2	3.5	9.4	0.9
中央値の1／2未満	14	57.1	—	21.4	71.4	14.3	—	—	—	14.3	7.1	—
中央値の1／2以上中央値未満	47	80.9	21.3	23.4	66.0	23.4	17.0	2.1	10.6	2.1	6.4	—
中央値以上	155	72.9	18.1	23.2	59.4	29.0	20.0	2.6	8.4	2.6	12.9	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

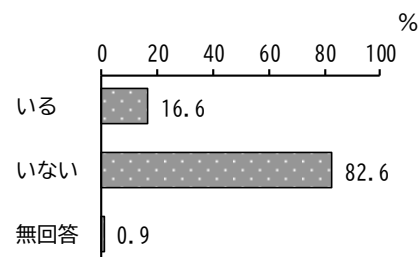
単位：％

区分	回答者数（件）	親	おじいちゃん、おばあちゃん	きょうだい	友だち	学校の先生	学校外の友だち	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人（学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など）	ネットで知り合った人	誰にも相談できない、相談したくない	無回答
全 体	459	74.1	19.8	25.1	63.6	30.5	17.2	2.2	7.2	3.5	9.4	0.9
ふたり親世帯	217	75.1	18.0	23.5	61.3	29.0	18.0	2.3	7.4	3.7	10.1	0.5
ひとり親世帯	22	68.2	9.1	22.7	68.2	22.7	9.1	9.1	9.1	4.5	9.1	—
その他（不明等）	3	100.0	33.3	33.3	33.3	66.7	—	—	33.3	—	—	—

(5) その他

問 16 家族の中にあなたが世話（ケア）をしている人はいますか。（ここで「お世話」とは本来大人がやっていると想定されている家事や家族の世話などをすることです。）（1つに○）

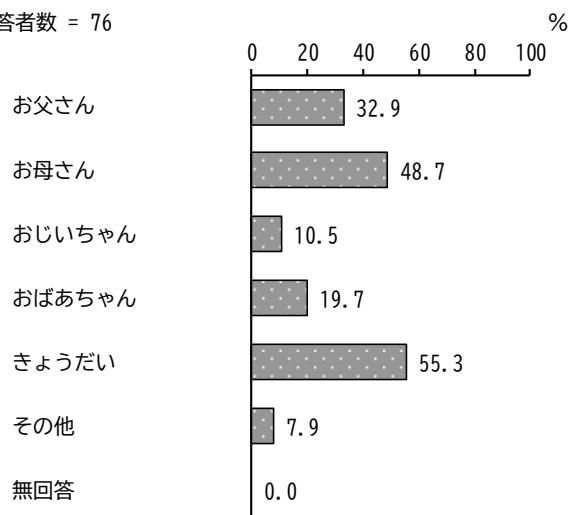
「いる」の割合が 16.6%、「いない」の割合が 82.6%となっています。 回答者数 = 459



問 16 で「いる」に○を付けた方のみ

問 16-1 お世話（ケア）を必要としている方（していた方）はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

「きょうだい」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「お母さん」の割合が 48.7%、「お父さん」の割合が 32.9%となっています。 回答者数 = 76



【その他の内容】

・ いとこ

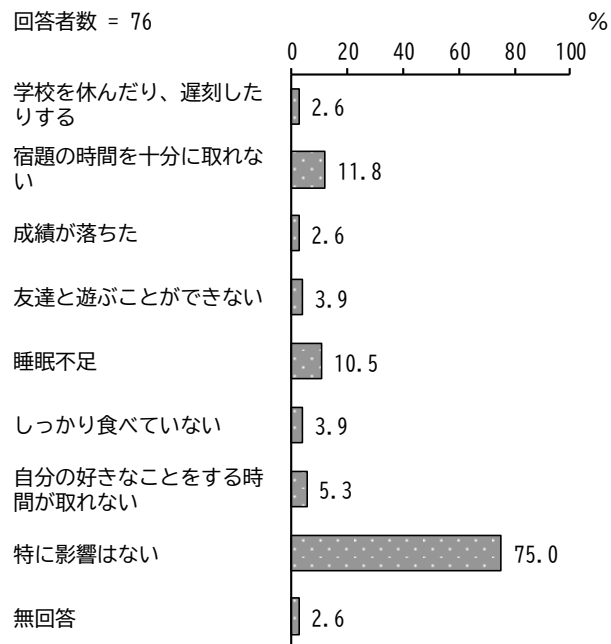
・ はとこ

問 16 で「いる」に○を付けた方のみ

問 16-2 家族のお世話（ケア）をすることで困っていることは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

「特に影響はない」の割合が 75.0%と最も高く、次いで「宿題の時間を十分に取れない」の割合が 11.8%、「睡眠不足」の割合が 10.5%となっています。

回答者数 = 76

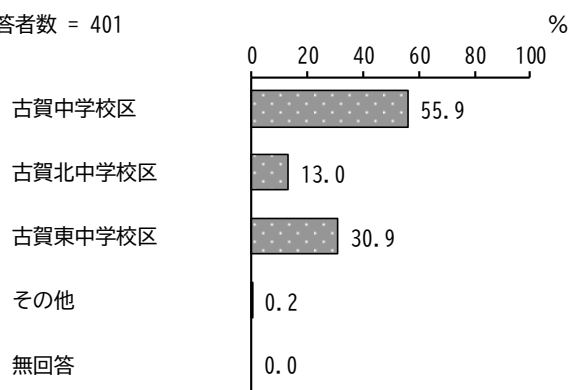


4 中学3年生

F 1 お住まいの中学校区はどちらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「古賀中学校区」の割合が 55.9%と最も高く、
次いで「古賀東中学校区」の割合が 30.9%、「古賀北中学校区」の割合が 13.0%となっています。

回答者数 = 401



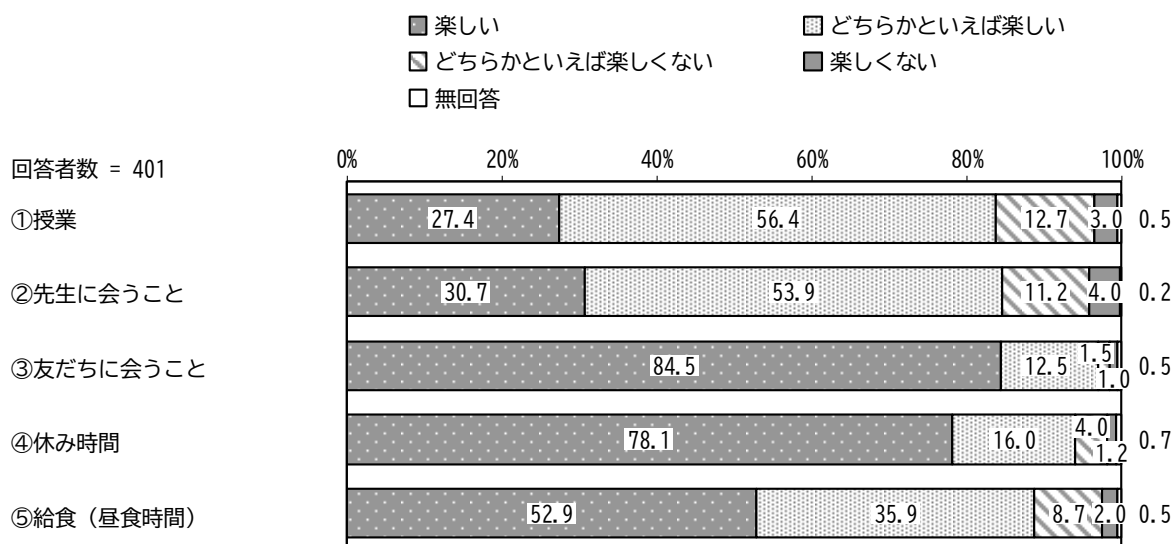
【その他の内容】

・ 福間中学校区

(1) 学校や勉強について

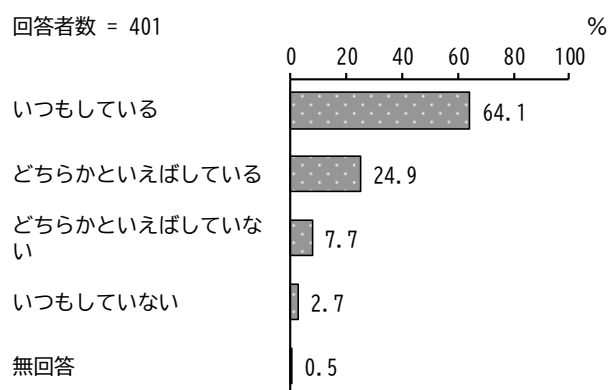
問1 次の①～⑤の内容それぞれについて、あなたの考えに合うもの1つに○をつけてください。(それぞれ、1つに○)

『③友だちに会うこと』『④休み時間』で「楽しい」の割合が、『①授業』『②先生に会うこと』で「どちらかといえば楽しい」の割合が高くなっています。



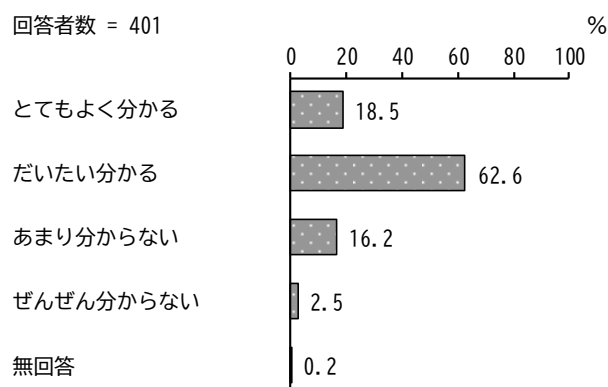
問2 あなたは、学校の宿題をしていますか。(1つに○)

「いつもしている」の割合が 64.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばしている」の割合が 24.9%となっています。



問3 あなたは、学校の授業がどのくらい分かりますか。(1つに○)

「だいたい分かる」の割合が 62.6%と最も高く、次いで「とてもよく分かる」の割合が 18.5%、「あまり分からない」の割合が 16.2%となっています。



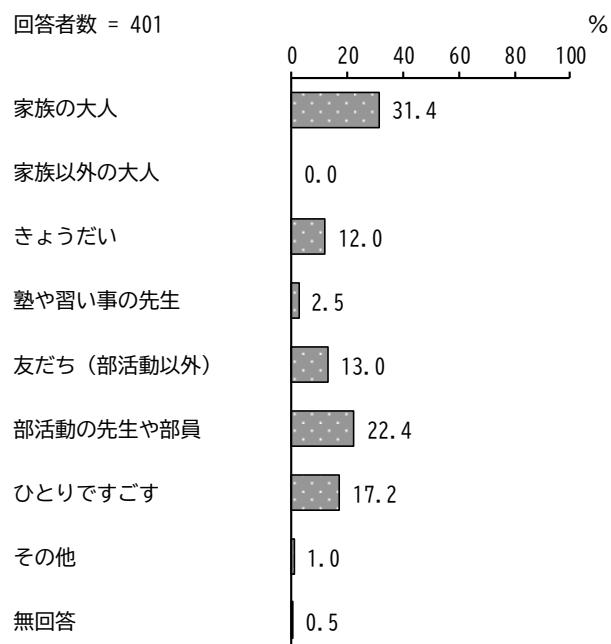
(2) 放課後の過ごし方について

問4 あなたは放課後だれと過ごすことが一番多いですか。多い順に3つ番号を書いてください。

1 番目

「家族の大人」の割合が31.4%と最も高く、次いで「部活動の先生や部員」の割合が22.4%、「ひとりですごす」の割合が17.2%となっています。

回答者数 = 401



【その他の内容】

- ・ 従姉妹
- ・ クラブチームの友達

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「きょうだい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家族の大人	家族以外の大人	きょうだい	塾や習い事の先生	友だち (部活動以外)	部活動の先生や部員	ひとりですぐす	その他	無回答
全 体	401	31.4	－	12.0	2.5	13.0	22.4	17.2	1.0	0.5
中央値の1／2未満	14	7.1	－	42.9	－	14.3	7.1	28.6	－	－
中央値の1／2以上中央値未満	29	27.6	－	27.6	3.4	6.9	20.7	13.8	－	－
中央値以上	125	35.2	－	8.0	4.0	15.2	22.4	13.6	－	1.6

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「きょうだい」の割合が高くなっています。

単位：％

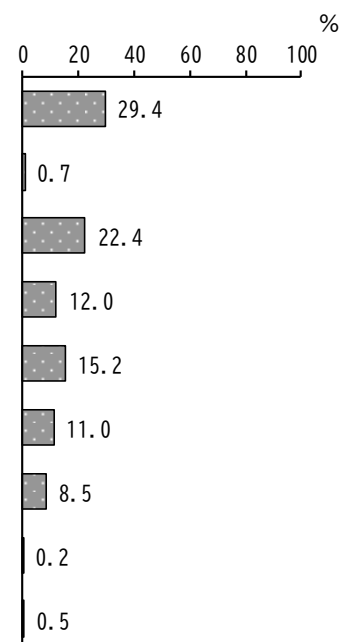
区分	回答者数 (件)	家族の大人	家族以外の大人	きょうだい	塾や習い事の先生	友だち (部活動以外)	部活動の先生や部員	ひとりですぐす	その他	無回答
全 体	401	31.4	－	12.0	2.5	13.0	22.4	17.2	1.0	0.5
ふたり親世帯	156	35.3	－	10.3	3.8	13.5	19.2	16.7	－	1.3
ひとり親世帯	24	8.3	－	37.5	－	8.3	16.7	29.2	－	－
その他（不明等）	1	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－

2 番目

「家族の大人」の割合が 29.4%と最も高く、次いで「きょうだい」の割合が 22.4%、「友だち（部活動以外）」の割合が 15.2%となっています。

回答者数 = 401

家族の大人
家族以外の大人
きょうだい
塾や習い事の先生
友だち（部活動以外）
部活動の先生や部員
ひとりですぐす
その他
無回答



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「家族の大人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	家族の大人	家族以外の大人	きょうだい	塾や習い事の先生	友だち（部活動以外）	部活動の先生や部員	ひとりですぐす	その他	無回答
全 体	401	29.4	0.7	22.4	12.0	15.2	11.0	8.5	0.2	0.5
中央値の1／2未満	14	42.9	—	21.4	7.1	21.4	7.1	—	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	34.5	—	20.7	10.3	10.3	10.3	13.8	—	—
中央値以上	125	27.2	0.8	24.0	16.8	12.0	11.2	5.6	0.8	1.6

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「部活動の先生や部員」の割合が高くなっています。

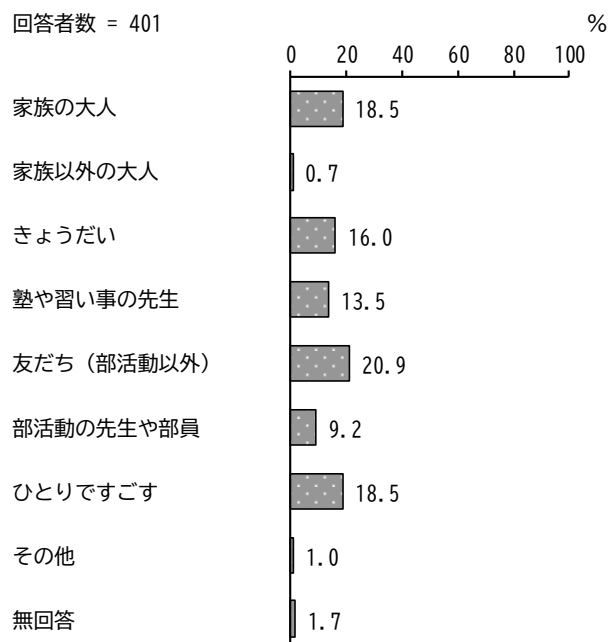
単位：%

区分	回答者数（件）	家族の大人	家族以外の大人	きょうだい	塾や習い事の先生	友だち（部活動以外）	部活動の先生や部員	ひとりですぐす	その他	無回答
全 体	401	29.4	0.7	22.4	12.0	15.2	11.0	8.5	0.2	0.5
ふたり親世帯	156	27.6	0.6	25.0	16.7	12.2	9.6	6.4	0.6	1.3
ひとり親世帯	24	37.5	—	12.5	8.3	16.7	20.8	4.2	—	—
その他（不明等）	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—

3番目

「友だち（部活動以外）」の割合が20.9%と最も高く、次いで「家族の大人」、「ひとりですぐす」の割合が18.5%となっています。

回答者数 = 401



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「ひとりですぐす」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	家族の大人	家族以外の大人	きょうだい	塾や習い事の先生	友だち（部活動以外）	部活動の先生や部員	ひとりですぐす	その他	無回答
全 体	401	18.5	0.7	16.0	13.5	20.9	9.2	18.5	1.0	1.7
中央値の1／2未満	14	14.3	—	21.4	—	21.4	14.3	28.6	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	24.1	—	10.3	10.3	24.1	13.8	13.8	3.4	—
中央値以上	125	15.2	—	12.8	18.4	19.2	10.4	20.0	0.8	3.2

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「友だち（部活動以外）」の割合が高くなっています。

単位：%

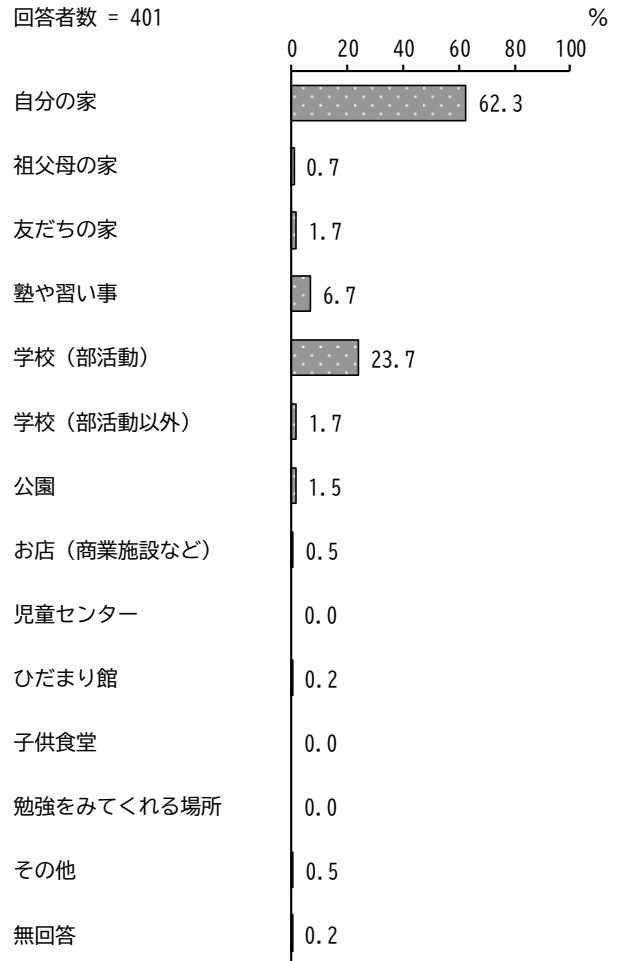
区分	回答者数（件）	家族の大人	家族以外の大人	きょうだい	塾や習い事の先生	友だち（部活動以外）	部活動の先生や部員	ひとりですぐす	その他	無回答
全 体	401	18.5	0.7	16.0	13.5	20.9	9.2	18.5	1.0	1.7
ふたり親世帯	156	18.6	—	12.8	16.0	17.3	12.8	17.9	1.9	2.6
ひとり親世帯	24	16.7	—	12.5	8.3	33.3	4.2	25.0	—	—
その他（不明等）	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—

問5 あなたは放課後、どこで過ごすことが一番多いですか。多い順に3つ番号を書いてください。

1 番目

「自分の家」の割合が 62.3%と最も高く、次いで「学校（部活動）」の割合が 23.7%となっています。

回答者数 = 401



【その他の内容】

・遊びにいく ・道の端

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「自分の家」の割合が高くなっています。

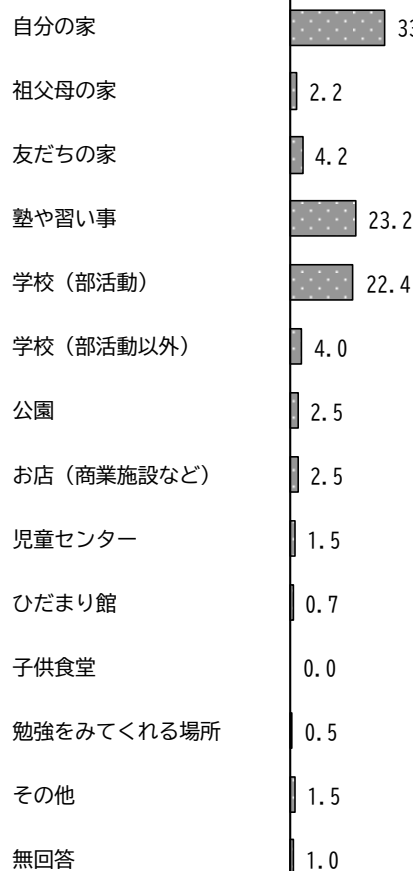
単位：%

区分	回答者数（件）	自分の家	祖父母の家	友だちの家	塾や習い事	学校（部活動）	学校（部活動以外）	公園	お店（商業施設など）	児童センター	ひだまり館	子ども食堂	勉強をみてる場所	その他	無回答
全 体	401	62.3	0.7	1.7	6.7	23.7	1.7	1.5	0.5	—	0.2	—	—	0.5	0.2
中央値の1／2未満	14	57.1	7.1	—	14.3	7.1	7.1	—	7.1	—	—	—	—	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	72.4	—	—	3.4	20.7	—	3.4	—	—	—	—	—	—	—
中央値以上	125	59.2	0.8	1.6	4.0	28.8	1.6	0.8	0.8	—	—	—	—	1.6	0.8

2 番目

「自分の家」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「塾や習い事」の割合が 23.2%、「学校（部活動）」の割合が 22.4%となっています。

回答者数 = 401



【その他の内容】

- ・遊び
- ・清滝川
- ・公民館
- ・リーパスプラザこが

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の 1 / 2 未満で「学校（部活動）」の割合が高くなっています。

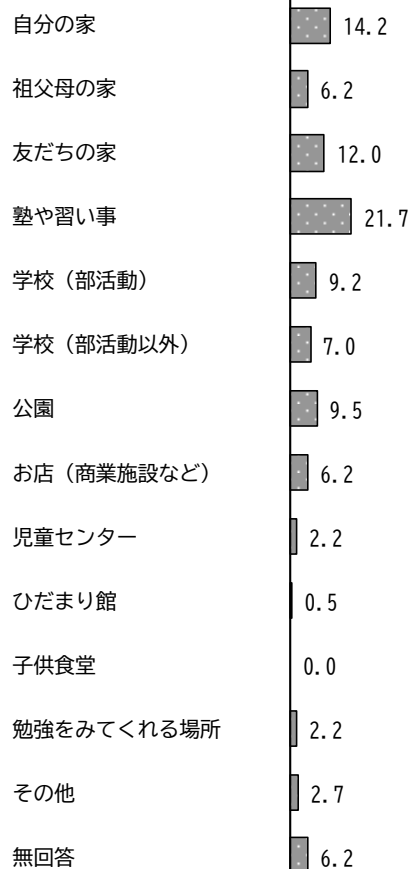
単位：%

区分	回答者数（件）	自分の家	祖父母の家	友だちの家	塾や習い事	学校（部活動）	学校（部活動以外）	公園	お店（商業施設など）	児童センター	ひだまり館	子ども食堂	勉強をみてくれる場所	その他	無回答
全 体	401	33.7	2.2	4.2	23.2	22.4	4.0	2.5	2.5	1.5	0.7	—	0.5	1.5	1.0
中央値の 1 / 2 未満	14	7.1	7.1	14.3	14.3	35.7	14.3	—	—	—	—	—	7.1	—	—
中央値の 1 / 2 以上中央値未満	29	27.6	6.9	3.4	20.7	24.1	6.9	3.4	3.4	3.4	—	—	—	—	—
中央値以上	125	30.4	1.6	1.6	35.2	21.6	1.6	3.2	0.8	0.8	0.8	—	—	1.6	0.8

3番目

「塾や習い事」の割合が21.7%と最も高く、次いで「自分の家」の割合が14.2%、「友だちの家」の割合が12.0%となっています。

回答者数 = 401



【その他の内容】

・駐輪場

・リーパスプラザこが

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「自分の家」の割合が高くなっています。

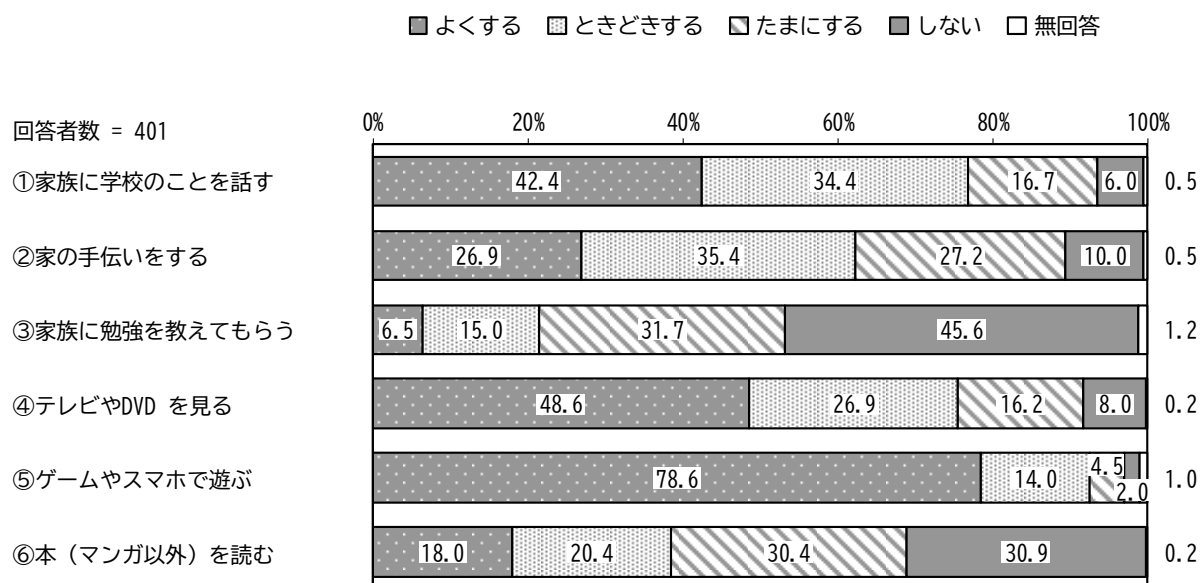
単位：％

区分	回答者数（件）	自分の家	祖父母の家	友だちの家	塾や習い事	学校（部活動）	学校（部活動以外）	公園	お店（商業施設など）	児童センター	ひだまり館	子ども食堂	勉強をみてくれる場所	その他	無回答
全 体	401	14.2	6.2	12.0	21.7	9.2	7.0	9.5	6.2	2.2	0.5	—	2.2	2.7	6.2
中央値の1／2未満	14	28.6	—	7.1	—	14.3	7.1	28.6	—	14.3	—	—	—	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	17.2	—	10.3	10.3	13.8	—	20.7	—	3.4	3.4	—	10.3	—	10.3
中央値以上	125	10.4	5.6	11.2	28.0	12.0	6.4	6.4	5.6	1.6	—	—	—	4.8	8.0

(3) 家での過ごし方について

問6 次の①～⑥の内容それぞれについて、家でのあなたに最も当てはまるもの1つに○をつけてください。(それぞれ、1つに○)

『⑤ゲームやスマホで遊ぶ』で「よくする」の割合が高くなっています。一方、『③家族に勉強を教えてもらう』で「しない」の割合が高くなっています。



①家族に学校のことを話す

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「よくする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくする	ときどきする	たまにする	しない	無回答
全 体	401	42.4	34.4	16.7	6.0	0.5
中央値の1／2未満	14	57.1	14.3	14.3	14.3	—
中央値の1／2以上中央 値未満	29	41.4	31.0	24.1	3.4	—
中央値以上	125	44.8	32.8	16.0	4.8	1.6

②家の手伝いをする

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「ときどきする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくする	ときどきする	たまにする	しない	無回答
全 体	401	26.9	35.4	27.2	10.0	0.5
中央値の1／2未満	14	28.6	42.9	21.4	7.1	—
中央値の1／2以上中央 値未満	29	13.8	37.9	34.5	13.8	—
中央値以上	125	28.8	30.4	29.6	10.4	0.8

③家族に勉強を教えてもらう

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「しない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくする	ときどきする	たまにする	しない	無回答
全 体	401	6.5	15.0	31.7	45.6	1.2
中央値の1／2未満	14	7.1	7.1	35.7	50.0	—
中央値の1／2以上中央 値未満	29	6.9	6.9	31.0	55.2	—
中央値以上	125	8.8	12.0	38.4	39.2	1.6

④テレビやDVDを見る

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「ときどきする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくする	ときどきする	たまにする	しない	無回答
全 体	401	48.6	26.9	16.2	8.0	0.2
中央値の1／2未満	14	42.9	35.7	7.1	14.3	—
中央値の1／2以上中央 値未満	29	37.9	34.5	10.3	17.2	—
中央値以上	125	56.0	21.6	13.6	8.0	0.8

⑤ゲームやスマホで遊ぶ

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「ときどきする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくする	ときどきする	たまにする	しない	無回答
全 体	401	78.6	14.0	4.5	2.0	1.0
中央値の1／2未満	14	78.6	21.4	—	—	—
中央値の1／2以上中央 値未満	29	72.4	13.8	6.9	6.9	—
中央値以上	125	82.4	7.2	6.4	2.4	1.6

⑥本（マンガ以外）を読む

【生活困窮度別】

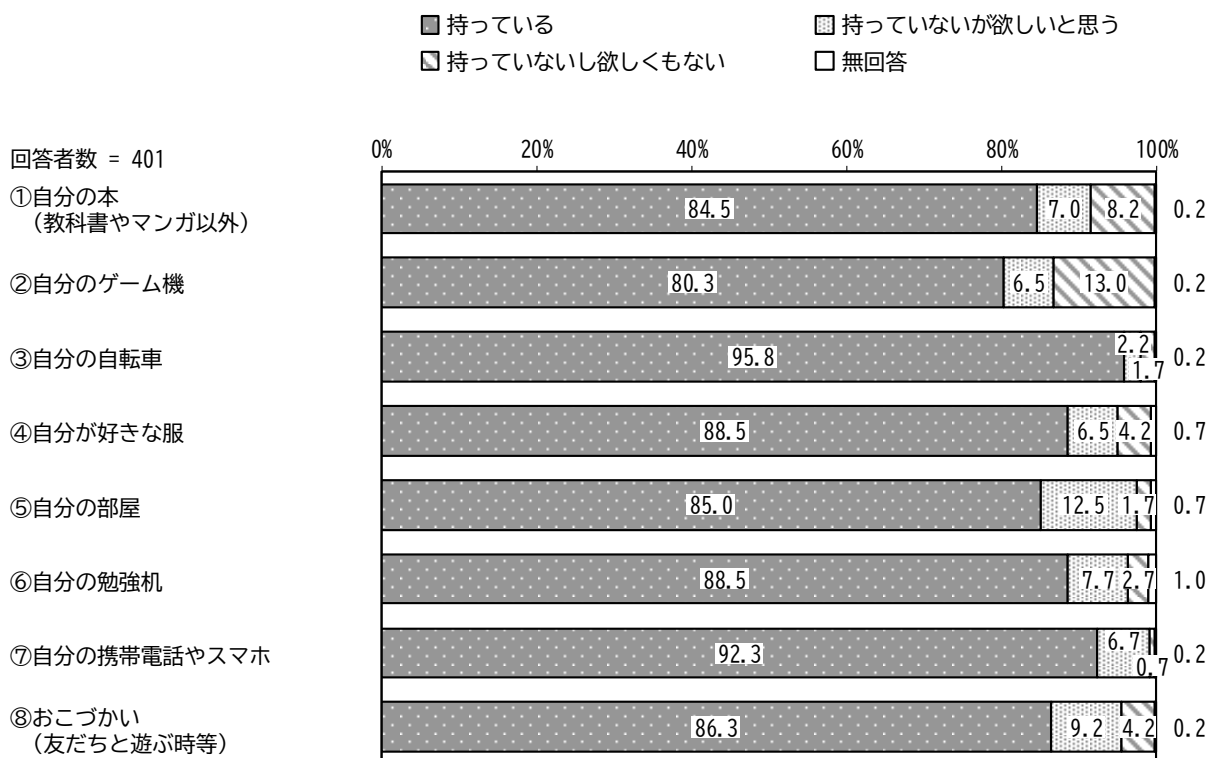
生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「よくする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくする	ときどきする	たまにする	しない	無回答
全 体	401	18.0	20.4	30.4	30.9	0.2
中央値の1／2未満	14	28.6	21.4	21.4	28.6	—
中央値の1／2以上中央 値未満	29	10.3	24.1	34.5	31.0	—
中央値以上	125	24.8	15.2	36.8	22.4	0.8

問7 次の①～⑧の内容それぞれについて、あなたに最も当てはまるもの1つに○をつけてください。(それぞれ、1つに○)

『③自分の自転車』『⑦自分の携帯電話やスマホ』で「持っている」の割合が高くなっています。一方、『②自分のゲーム機』で「持っていないし欲しくもない」の割合が高くなっています。



①自分の本（教科書やマンガ以外）

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「持っている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	持っている	持っていないが 欲しいと思う	持っていないし 欲しくもない	無回答
全 体	401	84.5	7.0	8.2	0.2
中央値の1／2未満	14	85.7	7.1	7.1	—
中央値の1／2以上中央値未 満	29	75.9	6.9	17.2	—
中央値以上	125	90.4	4.0	4.8	0.8

②自分のゲーム機

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「持っていないし欲しくもない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	持っている	持っていないが 欲しいと思う	持っていないし 欲しくもない	無回答
全 体	401	80.3	6.5	13.0	0.2
中央値の1／2未満	14	71.4	7.1	21.4	—
中央値の1／2以上中央値未 満	29	62.1	10.3	27.6	—
中央値以上	125	80.0	6.4	12.8	0.8

③自分の自転車

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	持っている	持っていないが 欲しいと思う	持っていないし 欲しくもない	無回答
全 体	401	95.8	2.2	1.7	0.2
中央値の1／2未満	14	85.7	7.1	7.1	—
中央値の1／2以上中央値未 満	29	89.7	—	10.3	—
中央値以上	125	96.8	2.4	—	0.8

④自分が好きな服

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	持っている	持っていないが欲しいと思う	持っていないし欲しくもない	無回答
全 体	401	88.5	6.5	4.2	0.7
中央値の1／2未満	14	64.3	28.6	7.1	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	75.9	20.7	3.4	—
中央値以上	125	92.0	3.2	3.2	1.6

⑤自分の部屋

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「持っている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	持っている	持っていないが欲しいと思う	持っていないし欲しくもない	無回答
全 体	401	85.0	12.5	1.7	0.7
中央値の1／2未満	14	92.9	—	7.1	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	82.8	13.8	3.4	—
中央値以上	125	85.6	11.2	1.6	1.6

⑥自分の勉強机

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	持っている	持っていないが欲しいと思う	持っていないし欲しくもない	無回答
全 体	401	88.5	7.7	2.7	1.0
中央値の1／2未満	14	85.7	7.1	7.1	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	86.2	6.9	3.4	3.4
中央値以上	125	91.2	5.6	1.6	1.6

⑦自分の携帯電話やスマホ

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	持っている	持っていないが 欲しいと思う	持っていないし 欲しくない	無回答
全 体	401	92.3	6.7	0.7	0.2
中央値の1／2未満	14	78.6	14.3	7.1	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	79.3	17.2	3.4	—
中央値以上	125	94.4	4.8	—	0.8

⑧おこづかい（友だちと遊ぶ時等）

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

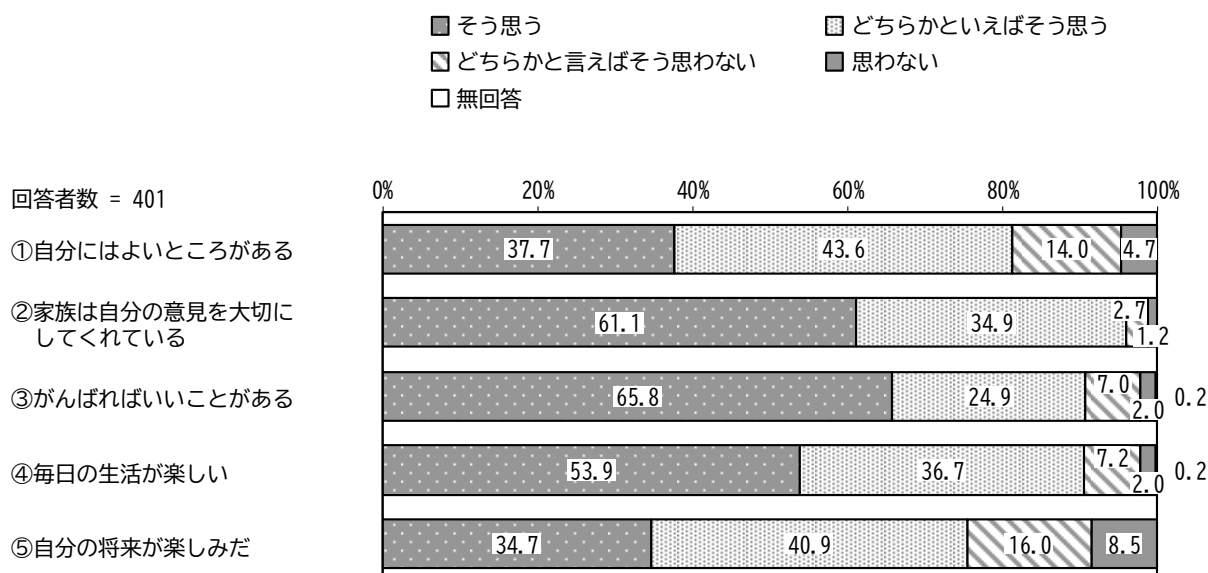
単位：％

区分	回答者数 (件)	持っている	持っていないが 欲しいと思う	持っていないし 欲しくない	無回答
全 体	401	86.3	9.2	4.2	0.2
中央値の1／2未満	14	64.3	14.3	21.4	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	82.8	13.8	3.4	—
中央値以上	125	88.8	5.6	4.8	0.8

(4) あなたの考えについて

問8 次の①～⑤の内容それぞれについて、あなたの考えに当てはまるもの1つに○をつけてください。(それぞれ、1つに○)

『②家族は自分の意見を大切にしてくれている』『③がんばればいいことがある』で「そう思う」の割合が高くなっています。



①自分にはよいところがある

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「どちらかと言えばそう思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか というと	どちらか と 思わない	思わない	無回答
全 体	401	37.7	43.6	14.0	4.7	—
中央値の1／2未満	14	28.6	28.6	35.7	7.1	—
中央値の1／2以上中央 値未満	29	44.8	27.6	20.7	6.9	—
中央値以上	125	44.0	40.0	12.8	3.2	—

【悩みを相談できる人の有無別】

悩みを相談できる人の有無別にみると、誰にも相談できない、相談したくないで「どちらかと言えばそう思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか というと	どちらか と 思わない	思わない	無回答
全 体	401	37.7	43.6	14.0	4.7	—
親	296	39.2	46.6	11.1	3.0	—
祖父母	48	43.8	50.0	6.3	—	—
きょうだい	98	38.8	44.9	13.3	3.1	—
友だち	291	40.2	43.3	13.4	3.1	—
学校の先生	127	40.9	46.5	10.2	2.4	—
学校外の友だち	57	49.1	29.8	17.5	3.5	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	6	16.7	16.7	50.0	16.7	—
その他の大人（学童保育 所の人、塾・習い事の先 生、地域の人など）	28	53.6	32.1	10.7	3.6	—
ネットで知り合った人	24	12.5	45.8	20.8	20.8	—
誰にも相談できない、相 談したくない	15	20.0	33.3	40.0	6.7	—

②家族は自分の意見を大切にしてくれている

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わない	思わない	無回答
全 体	401	61.1	34.9	2.7	1.2	—
中央値の1／2未満	14	50.0	42.9	7.1	—	—
中央値の1／2以上中央 値未満	29	55.2	37.9	6.9	—	—
中央値以上	125	60.8	36.0	3.2	—	—

【悩みを相談できる人の有無別】

悩みを相談できる人の有無別にみると、誰にも相談できない、相談したくないで「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わない	思わない	無回答
全 体	401	61.1	34.9	2.7	1.2	—
親	296	69.6	29.1	1.4	—	—
祖父母	48	81.3	18.8	—	—	—
きょうだい	98	73.5	25.5	1.0	—	—
友だち	291	63.9	33.0	2.1	1.0	—
学校の先生	127	72.4	26.8	—	0.8	—
学校外の友だち	57	75.4	24.6	—	—	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	6	66.7	16.7	—	16.7	—
その他の大人（学童保育 所の人、塾・習い事の先 生、地域の人など）	28	71.4	25.0	3.6	—	—
ネットで知り合った人	24	50.0	41.7	4.2	4.2	—
誰にも相談できない、相 談したくない	15	33.3	60.0	6.7	—	—

③がんばればいいことがある

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか と言え ば そう 思わ ない	思わ ない	無回 答
全 体	401	65.8	24.9	7.0	2.0	0.2
中央値の1／2未満	14	71.4	28.6	—	—	—
中央値の1／2以上中央 値未満	29	48.3	37.9	13.8	—	—
中央値以上	125	64.0	24.8	9.6	1.6	—

【悩みを相談できる人の有無別】

悩みを相談できる人の有無別にみると、祖父母で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか と言え ば そう 思わ ない	思わ ない	無回 答
全 体	401	65.8	24.9	7.0	2.0	0.2
親	296	70.9	24.3	4.1	0.3	0.3
祖父母	48	81.3	16.7	2.1	—	—
きょうだい	98	75.5	21.4	3.1	—	—
友だち	291	69.4	22.3	6.2	1.7	0.3
学校の先生	127	77.2	17.3	3.9	1.6	—
学校外の友だち	57	73.7	17.5	5.3	3.5	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	6	83.3	—	—	16.7	—
その他の大人（学童保育 所の人、塾・習い事の先 生、地域の人など）	28	67.9	21.4	7.1	3.6	—
ネットで知り合った人	24	41.7	33.3	20.8	4.2	—
誰にも相談できない、相 談したくない	15	53.3	26.7	20.0	—	—

④毎日の生活が楽しい

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わない	思わない	無回答
全 体	401	53.9	36.7	7.2	2.0	0.2
中央値の1／2未満	14	57.1	28.6	14.3	—	—
中央値の1／2以上中央 値未満	29	34.5	44.8	13.8	6.9	—
中央値以上	125	60.8	32.0	6.4	—	0.8

【悩みを相談できる人の有無別】

悩みを相談できる人の有無別にみると、誰にも相談できない、相談したくないで「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わない	思わない	無回答
全 体	401	53.9	36.7	7.2	2.0	0.2
親	296	59.8	34.5	4.7	1.0	—
祖父母	48	62.5	33.3	4.2	—	—
きょうだい	98	57.1	38.8	3.1	1.0	—
友だち	291	59.8	34.7	4.8	0.7	—
学校の先生	127	61.4	32.3	5.5	0.8	—
学校外の友だち	57	63.2	31.6	5.3	—	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	6	—	66.7	16.7	16.7	—
その他の大人（学童保育 所の人、塾・習い事の先 生、地域の人など）	28	60.7	32.1	7.1	—	—
ネットで知り合った人	24	20.8	50.0	16.7	12.5	—
誰にも相談できない、相 談したくない	15	20.0	60.0	13.3	6.7	—

⑤自分の将来が楽しみだ

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	どちら かとい え ば そう 思う	どちら かとい え ば そう 思わ ない	思わ ない	無回 答
全 体	401	34.7	40.9	16.0	8.5	—
中央値の1／2未満	14	21.4	57.1	21.4	—	—
中央値の1／2以上中央 値未満	29	31.0	34.5	17.2	17.2	—
中央値以上	125	33.6	43.2	16.0	7.2	—

【悩みを相談できる人の有無別】

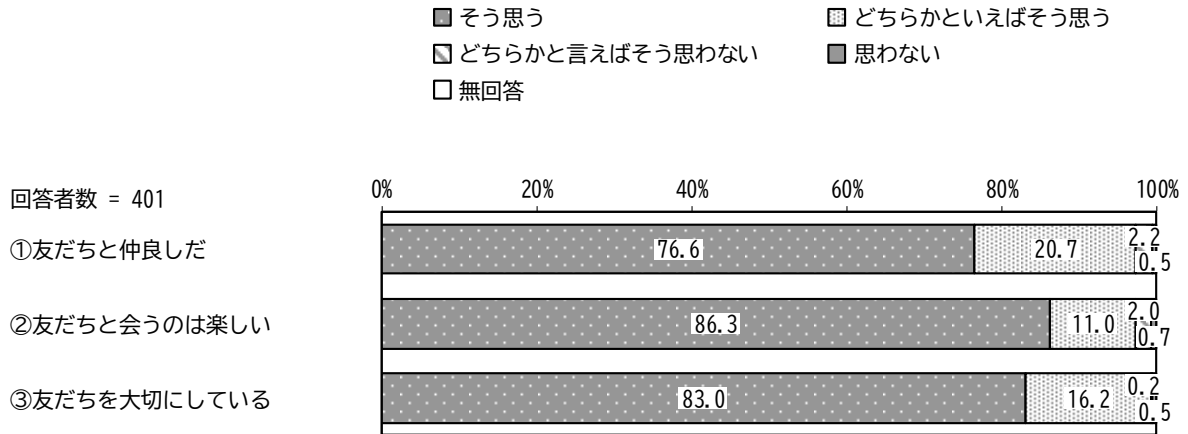
悩みを相談できる人の有無別にみると、学校外の友だちで「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	どちら かとい え ば そう 思う	どちら かとい え ば そう 思わ ない	思わ ない	無回 答
全 体	401	34.7	40.9	16.0	8.5	—
親	296	38.5	42.9	14.5	4.1	—
祖父母	48	47.9	35.4	12.5	4.2	—
きょうだい	98	45.9	36.7	14.3	3.1	—
友だち	291	38.5	42.3	13.4	5.8	—
学校の先生	127	41.7	38.6	14.2	5.5	—
学校外の友だち	57	49.1	31.6	10.5	8.8	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	6	16.7	—	50.0	33.3	—
その他の大人（学童保育 所の人、塾・習い事の先 生、地域の人など）	28	39.3	35.7	14.3	10.7	—
ネットで知り合った人	24	20.8	29.2	16.7	33.3	—
誰にも相談できない、相 談したくない	15	20.0	20.0	26.7	33.3	—

問9 次の①～③の内容それぞれについて、あなたの考えに当てはまるもの1つに○をつけてください。(それぞれ、1つに○)

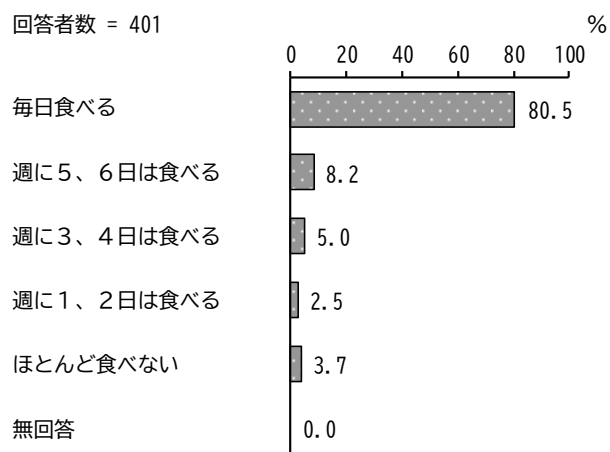
『②友だちと会うのは楽しい』で「そう思う」の割合が、『①友だちと仲良しだ』で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。



問 10 あなたは、週に何回朝ごはんを食べていますか。（1つに○）

「毎日食べる」の割合が80.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 401



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「毎日食べる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	毎日 食べる	週に 5、 6日は 食べ る	週に 3、 4日は 食べ る	週に 1、 2日は 食べ る	ほと んど 食べ ない	無 回 答
全 体	401	80.5	8.2	5.0	2.5	3.7	—
中央値の1／2未満	14	78.6	—	21.4	—	—	—
中央値の1／2以上中 央値未満	29	79.3	6.9	3.4	—	10.3	—
中央値以上	125	87.2	5.6	3.2	1.6	2.4	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ふたり親世帯で「毎日食べる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	毎日 食べる	週に 5、 6日は 食べ る	週に 3、 4日は 食べ る	週に 1、 2日は 食べ る	ほと んど 食べ ない	無 回 答
全 体	401	80.5	8.2	5.0	2.5	3.7	—
ふたり親世帯	156	86.5	5.8	3.8	0.6	3.2	—
ひとり親世帯	24	66.7	12.5	12.5	4.2	4.2	—
その他（不明等）	1	100.0	—	—	—	—	—

問 11 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。（1つに○）

「大学まで(大学院をふくむ)」の割合が 55.9%と最も高く、次いで「高等学校まで」の割合が 26.2%、「専門学校まで（高校卒業後に進学するもの）」の割合が 14.0%となっています。

回答者数 = 401

中学校まで

高等学校まで

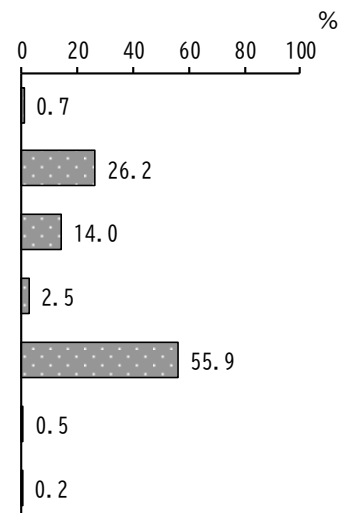
専門学校まで（高校卒業後に進学するもの）

短期大学まで

大学まで（大学院をふくむ）

その他

無回答



【その他の内容】

- ・高校で決める

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「大学まで（大学院をふくむ）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	中学校まで	高等学校まで	専門学校まで (高校卒業後に進学するもの)	短期大学まで	大学まで (大学院をふくむ)	その他	無回答
全 体	401	0.7	26.2	14.0	2.5	55.9	0.5	0.2
中央値の1／2未満	14	—	28.6	14.3	14.3	35.7	7.1	—
中央値の1／2以上 中央値未満	29	—	27.6	17.2	—	55.2	—	—
中央値以上	125	—	19.2	13.6	3.2	64.0	—	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「高等学校まで」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校まで	高等学校まで	専門学校まで (高校卒業後に進学するもの)	短期大学まで	大学まで (大学院を含む)	その他	無回答
全 体	401	0.7	26.2	14.0	2.5	55.9	0.5	0.2
ふたり親世帯	156	—	18.6	13.5	3.2	64.1	0.6	—
ひとり親世帯	24	—	37.5	20.8	4.2	33.3	4.2	—
その他（不明等）	1	—	100.0	—	—	—	—	—

【保護者の希望別】

保護者の希望別にみると、高等学校までで「高等学校まで」の割合が高くなっています。

単位：％

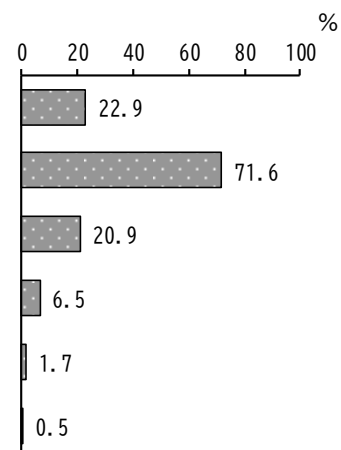
区分	回答者数 (件)	中学校まで	高等学校まで	専門学校まで (高校卒業後に進学するもの)	短期大学まで	大学まで (大学院を含む)	その他	無回答
全 体	401	0.7	26.2	14.0	2.5	55.9	0.5	0.2
中学校まで	—	—	—	—	—	—	—	—
高等学校まで	17	—	64.7	5.9	5.9	23.5	—	—
専門学校まで（高校卒業後に進学するもの）	27	—	48.1	37.0	3.7	11.1	—	—
短期大学まで	5	—	20.0	40.0	20.0	20.0	—	—
大学まで（大学院を含む）	122	—	9.8	9.8	1.6	77.9	0.8	—
その他	10	—	20.0	10.0	10.0	50.0	10.0	—

問 12 進学のこと、心配なことはありますか。(すべてに○)

「今の自分の学力」の割合が 71.6%と最も高く、次いで「特に心配はない」の割合が 22.9%、「授業料などの学費」の割合が 20.9%となっています。

回答者数 = 401

特に心配はない
今の自分の学力
授業料などの学費
行きたい学校が家族の希望と違うこと
その他
無回答



【その他の内容】

- ・内申点が足りない。
- ・将来の夢がわからない。
- ・親からのプレッシャー
- ・行きたい高校に落ちてしまった後
- ・将来、自分が何になりたいかまだ決まっていない。

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「授業料などの学費」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	特に心配はない	今の自分の学力	授業料などの学費	行きたい学校が家族の希望と違うこと	その他	無回答
全 体	401	22.9	71.6	20.9	6.5	1.7	0.5
中央値の1／2未満	14	21.4	64.3	42.9	7.1	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	20.7	75.9	17.2	6.9	—	—
中央値以上	125	24.8	71.2	16.8	7.2	4.0	0.8

問 13 次の①～③の内容それぞれについて、あなたの考えに当てはまるもの 1 つに○をつけてください。(それぞれ、1 つ○)

①洗濯した服を着ていますか

「よくする」の割合が 97.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 401

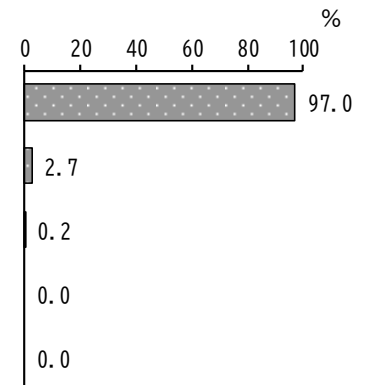
よくする

ときどきする

たまにする

しない

無回答



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	よくする	ときどきする	たまにする	しない	無回答
全 体	401	97.0	2.7	0.2	—	—
中央値の 1 / 2 未満	14	100.0	—	—	—	—
中央値の 1 / 2 以上中央 値未満	29	100.0	—	—	—	—
中央値以上	125	96.0	4.0	—	—	—

②おふろに入っていますか

「よくする」の割合が98.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 401

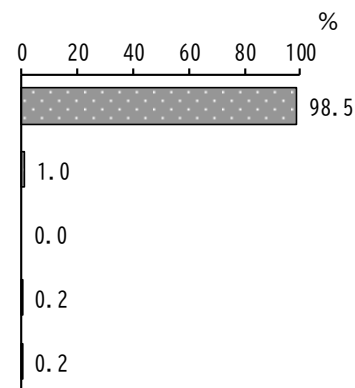
よくする

ときどきする

たまにする

しない

無回答



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	よくする	ときどきする	たまにする	しない	無回答
全 体	401	98.5	1.0	—	0.2	0.2
中央値の1／2未満	14	100.0	—	—	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	93.1	6.9	—	—	—
中央値以上	125	99.2	—	—	0.8	—

③必要なものを買ってもらえますか

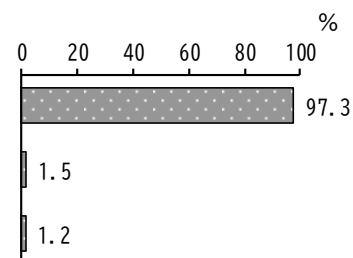
「はい」の割合が97.3%、「いいえ」の割合が1.5%となっています。

回答者数 = 401

はい

いいえ

無回答



【生活困窮度別】

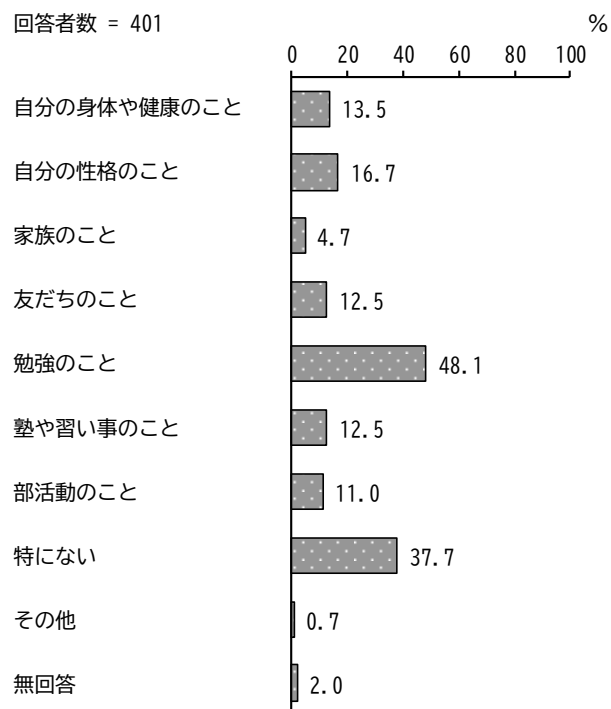
生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	401	97.3	1.5	1.2
中央値の1／2未満	14	92.9	7.1	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	96.6	3.4	—
中央値以上	125	96.8	—	3.2

問 14 あなたには、今悩んでいることや心配なこと、困っていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「勉強のこと」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 37.7%、「自分の性格のこと」の割合が 16.7%となっています。



【その他の内容】

・学校が楽しくない。

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「友だちのこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自分の 身体や健康 のこと	自分の 性格のこと	家族 のこと	友だち のこと	勉強 のこと	塾や 習い事 のこと	部活 のこと	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全 体	401	13.5	16.7	4.7	12.5	48.1	12.5	11.0	37.7	0.7	2.0
中央値の1／ 2未満	14	28.6	21.4	7.1	35.7	42.9	14.3	21.4	28.6	7.1	－
中央値の1／ 2以上中央値 未満	29	13.8	20.7	3.4	10.3	31.0	6.9	10.3	48.3	3.4	3.4
中央値以上	125	9.6	18.4	5.6	16.0	48.8	17.6	10.4	38.4	－	2.4

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「部活動のこと」の割合が高くなっています。

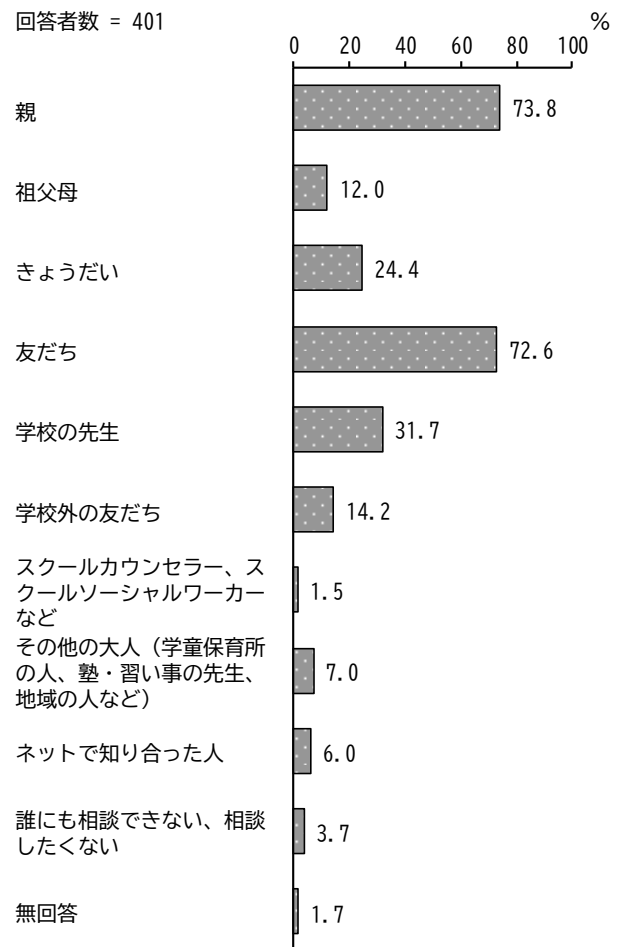
単位：％

区分	回答者数 (件)	自分の 身体や健康 のこと	自分の 性格のこと	家族 のこと	友だち のこと	勉強 のこと	塾や 習い事 のこと	部活 のこと	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全 体	401	13.5	16.7	4.7	12.5	48.1	12.5	11.0	37.7	0.7	2.0
ふたり親世帯	156	10.9	19.9	4.5	16.7	46.2	14.7	9.6	39.7	0.6	2.6
ひとり親世帯	24	16.7	12.5	8.3	20.8	50.0	16.7	20.8	33.3	4.2	－
その他（不明 等）	1	100.0	100.0	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－

問 15 悩みや心配ごとがあるときは、話したり相談したりできる人がいますか。
(あてはまるものすべてに○)

「親」の割合が 73.8%と最も高く、次いで「友だち」の割合が 72.6%、「学校の先生」の割合が 31.7%となっています。

回答者数 = 401



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「祖父母」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	親	祖父母	きょうだい	友だち	学校の先生	学校外の友だち	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人（学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など）	ネットで知り合った人	誰にも相談できない、相談したくない	無回答
全 体	401	73.8	12.0	24.4	72.6	31.7	14.2	1.5	7.0	6.0	3.7	1.7
中央値の1／2未満	14	71.4	21.4	21.4	78.6	35.7	21.4	7.1	7.1	7.1	－	－
中央値の1／2以上中央値未満	29	72.4	－	17.2	62.1	24.1	17.2	－	6.9	10.3	10.3	3.4
中央値以上	125	72.0	11.2	25.6	68.8	27.2	14.4	1.6	11.2	7.2	3.2	1.6

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

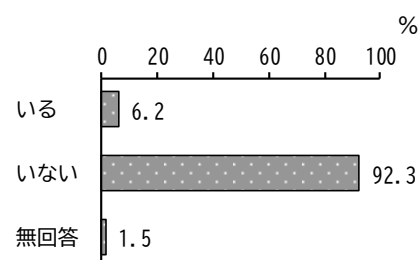
単位：％

区分	回答者数（件）	親	祖父母	きょうだい	友だち	学校の先生	学校外の友だち	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人（学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など）	ネットで知り合った人	誰にも相談できない、相談したくない	無回答
全 体	401	73.8	12.0	24.4	72.6	31.7	14.2	1.5	7.0	6.0	3.7	1.7
ふたり親世帯	156	72.4	10.9	24.4	65.4	28.8	15.4	2.6	9.0	7.1	4.5	1.9
ひとり親世帯	24	62.5	12.5	25.0	62.5	16.7	16.7	－	16.7	8.3	8.3	－
その他（不明等）	1	100.0	－	－	100.0	－	－	－	－	100.0	－	－

(5) その他

問 16 家族の中にあなたが世話（ケア）をしている人はいますか。（ここで「お世話」とは本来大人がやっていると想定されている家事や家族の世話などをすることです。）（1つに○）

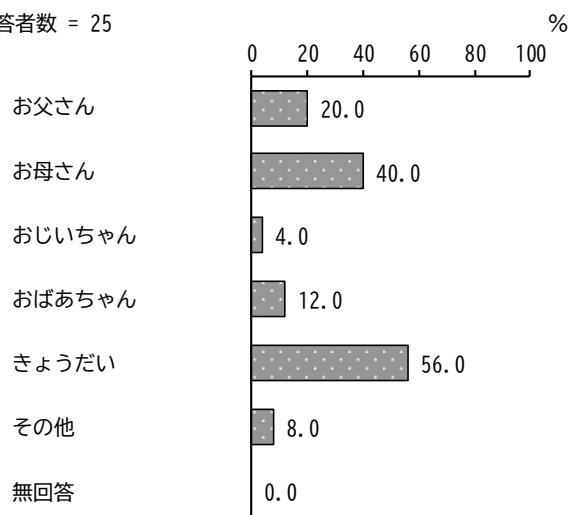
「いる」の割合が 6.2%、「いない」の割合が 92.3%となっています。 回答者数 = 401



問 16 で「いる」に○を付けた方のみ

問 16-1 お世話（ケア）を必要としている方（していた方）はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

「きょうだい」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「お母さん」の割合が 40.0%、「お父さん」の割合が 20.0%となっています。 回答者数 = 25



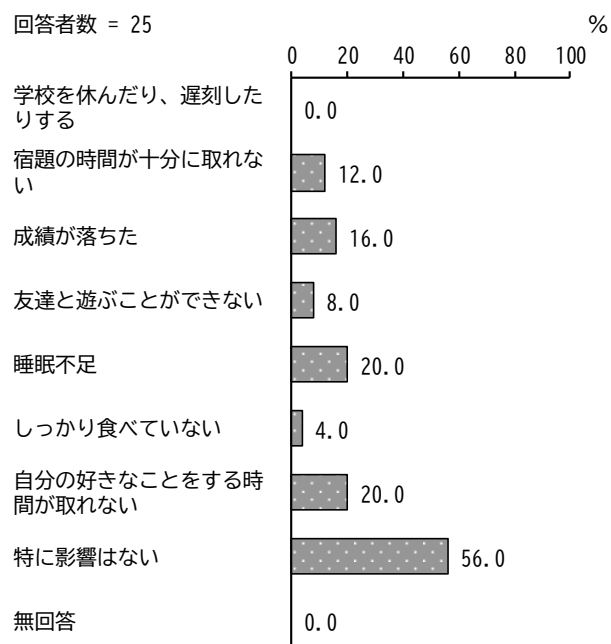
【その他の内容】

・友達

問 16－2 問 16 で「1 いる」に○を付けた方のみ

家族のお世話（ケア）をすることで困っていることは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

「特に影響はない」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「睡眠不足」、「自分の好きなことをする時間が取れない」の割合が 20.0%となっています。



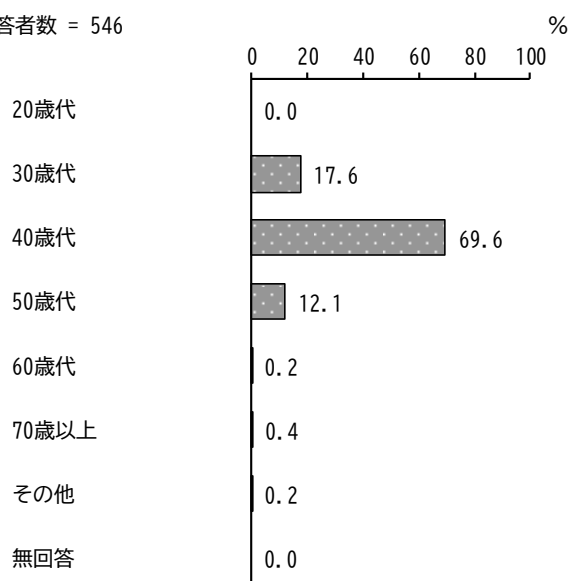
5 保護者

(1) あなた（記入者）のことについて

問1 あなたの年齢をお答えください。（1つに○）

「40 歳代」の割合が 69.6%と最も高く、次いで「30 歳代」の割合が 17.6%、「50 歳代」の割合が 12.1%となっています。

回答者数 = 546



【その他の内容】

・10代

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「30 歳代」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	その他	無回答
全 体	546	—	17.6	69.6	12.1	0.2	0.4	0.2	—
中央値の1／2未満	38	—	42.1	44.7	10.5	—	—	2.6	—
中央値の1／2以上中央値未満	107	—	23.4	69.2	6.5	0.9	—	—	—
中央値以上	352	—	13.6	71.3	14.5	—	0.6	—	—

【家族構成別】

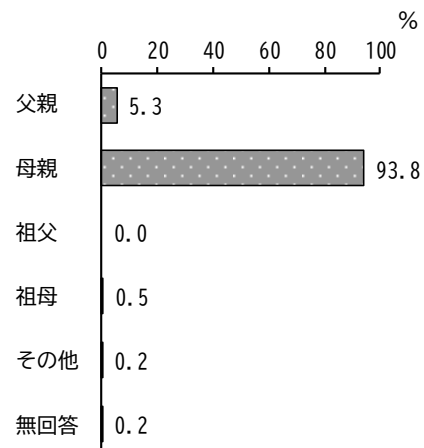
家族構成別にみると、ひとり親世帯で「30 歳代」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	その他	無回答
全 体	546	—	17.6	69.6	12.1	0.2	0.4	0.2	—
ふたり親世帯	482	—	15.6	72.2	12.2	—	—	—	—
ひとり親世帯	60	—	31.7	51.7	11.7	1.7	1.7	1.7	—
その他（不明等）	4	—	50.0	25.0	—	—	25.0	—	—

問2 お子さんからみた、あなたとの関係をお答えください。(1つに○)

「母親」の割合が93.8%と最も高くなっています。
回答者数 = 546



【その他の内容】

・おば（里親）

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	父親	母親	祖父	祖母	その他	無回答
全 体	546	5.3	93.8	—	0.5	0.2	0.2
中央値の1／2未満	38	—	97.4	—	—	—	2.6
中央値の1／2以上中 中央値未満	107	5.6	93.5	—	0.9	—	—
中央値以上	352	6.5	92.6	—	0.6	0.3	—

【家族構成別】

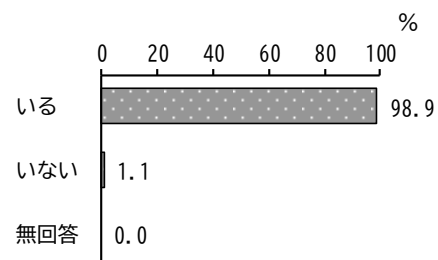
家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	父親	母親	祖父	祖母	その他	無回答
全 体	546	5.3	93.8	—	0.5	0.2	0.2
ふたり親世帯	482	4.1	95.9	—	—	—	—
ひとり親世帯	60	15.0	78.3	—	3.3	1.7	1.7
その他（不明等）	4	—	75.0	—	25.0	—	—

問3 あなたは、相談できる人がいますか。(1つに○)

「いる」の割合が98.9%、「いない」の割合が1.1%となっています。 回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	546	98.9	1.1	—
中央値の1／2未満	38	94.7	5.3	—
中央値の1／2以上中央値未満	107	100.0	—	—
中央値以上	352	99.1	0.9	—

【家族構成別】

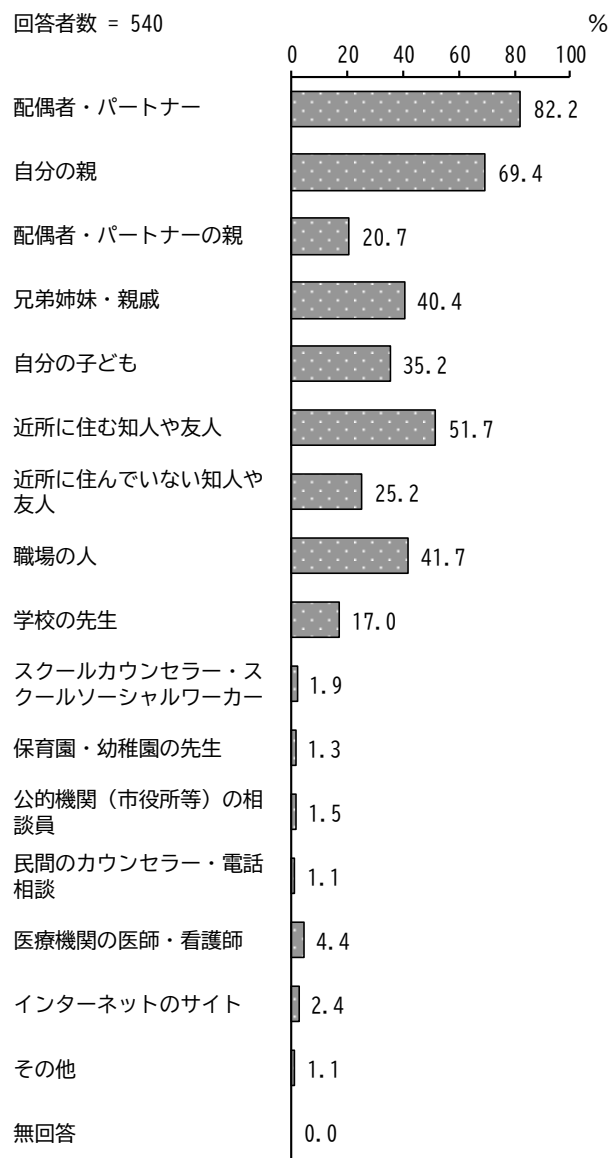
家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	546	98.9	1.1	—
ふたり親世帯	482	99.2	0.8	—
ひとり親世帯	60	96.7	3.3	—
その他（不明等）	4	100.0	—	—

問4 問3で「いる」に○をつけた方のみお答えください。
あなたが相談できる相手はどんな人ですか。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者・パートナー」の割合が82.2%と最も高く、次いで「自分の親」の割合が69.4%、「近所に住む知人や友人」の割合が51.7%となっています。



【その他の内容】

- ・弁護士
- ・習い事の先生
- ・自分の恩師や放課後ディサービスの先生や相談員の先生

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「自分の親」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者・パートナ ー	自分の親	配偶者・パートナ ーの親	兄弟姉妹・親戚	自分の子ども	友人 近所に住む知人や	近所に住んでいな い知人や友人	職場の人
全 体	540	82.2	69.4	20.7	40.4	35.2	51.7	25.2	41.7
中央値の1／2未満	36	50.0	91.7	2.8	38.9	41.7	58.3	2.8	38.9
中央値の1／2以上中央値未満	107	76.6	72.9	19.6	43.0	39.3	49.5	23.4	41.1
中央値以上	349	86.8	65.9	22.3	39.8	33.2	52.4	27.8	43.8

区分	学校の先生	スクールカウンセ ラー・スクールソ ーシャルワーカー	生 保育園・幼稚園の先	公的機関（市役所 等）の相談員	民間のカウンセラ ー・電話相談	医療機関の医師・看 護師	インターネットの サイト	その他	無回答
全 体	17.0	1.9	1.3	1.5	1.1	4.4	2.4	1.1	－
中央値の1／2未満	5.6	－	2.8	2.8	－	5.6	2.8	2.8	－
中央値の1／2以上中央値未満	22.4	3.7	0.9	2.8	－	3.7	0.9	0.9	－
中央値以上	16.3	1.1	0.9	0.9	1.4	3.7	2.6	0.9	－

【家族構成別】

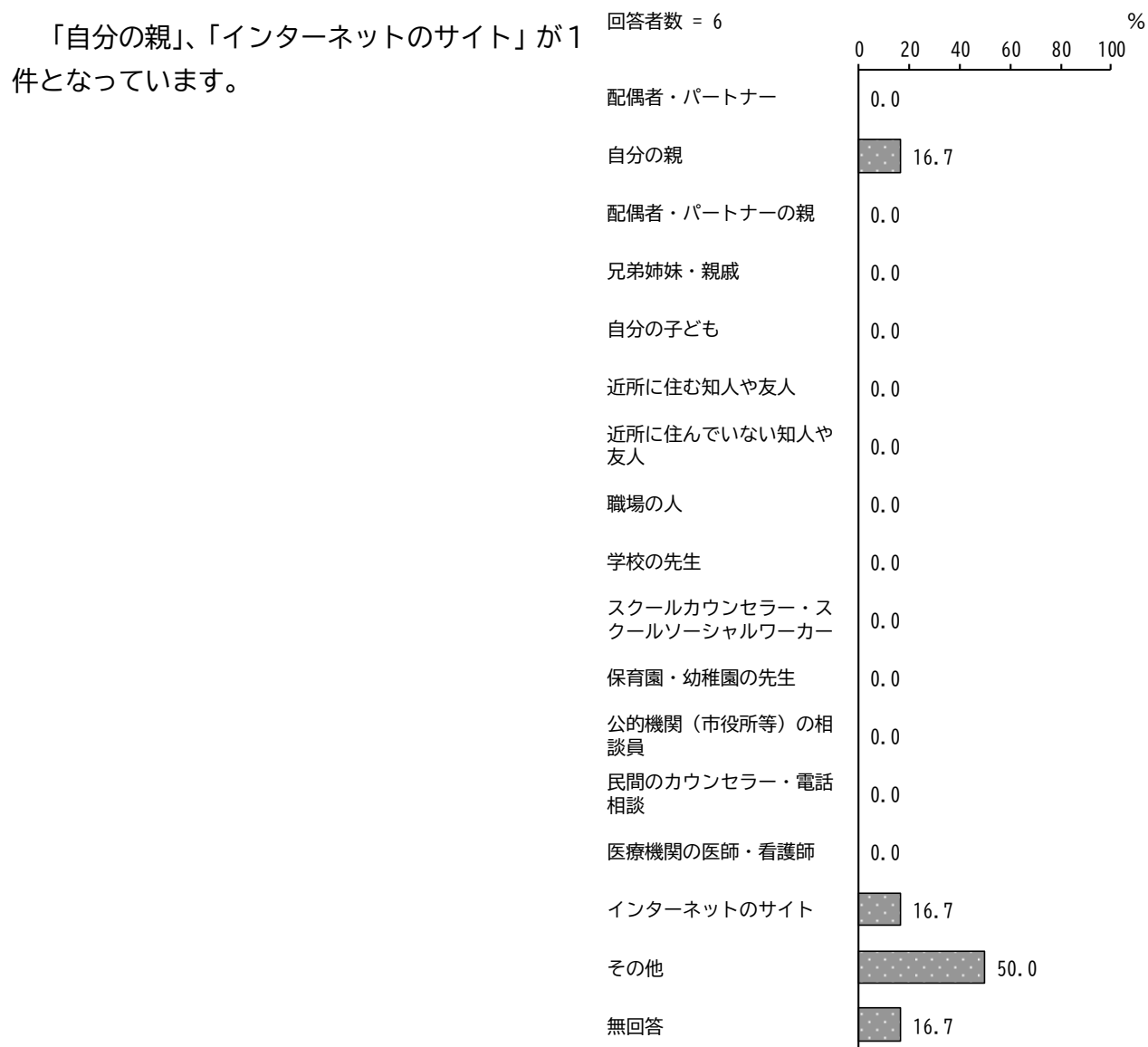
家族構成別にみると、ひとり親世帯で「自分の親」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者・パートナ ー	自分の親	配偶者・パートナ ーの親	兄弟姉妹・親戚	自分の子ども	友人 近所に住む知人や	近所に住んでいな い知人や友人	職場の人
全 体	540	82.2	69.4	20.7	40.4	35.2	51.7	25.2	41.7
ふたり親世帯	478	89.3	67.4	23.2	38.7	33.7	50.6	25.7	41.6
ひとり親世帯	58	24.1	87.9	1.7	55.2	50.0	58.6	20.7	44.8
その他（不明等）	4	75.0	50.0	－	25.0	－	75.0	25.0	－

区分	学校の先生	スクールカウンセ ラー・スクールソ ーシャルワーカー	生 保育園・幼稚園の先	公的機関（市役所 等）の相談員	民間のカウンセラ ー・電話相談	医療機関の医師・看 護師	インターネットの サイト	その他	無回答
全 体	17.0	1.9	1.3	1.5	1.1	4.4	2.4	1.1	－
ふたり親世帯	17.2	1.9	1.3	1.3	0.8	4.4	2.5	1.3	－
ひとり親世帯	17.2	1.7	1.7	3.4	3.4	5.2	1.7	－	－
その他（不明等）	－	－	－	－	－	－	－	－	－

問5 問3で「いない」に○をつけた方のみお答えください。
 どんな人に相談したいですか。(あてはまるものすべてに○)



【その他の内容】

・特にない

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者・パートナー	自分の親	配偶者・パートナー の親	兄弟姉妹・親戚	自分の子ども	友人 近所に住む知人や 友人	近所に住んでいな い知人や友人	職場の人
全 体	6	—	16.7	—	—	—	—	—	—
中央値の1／2未満	2	—	—	—	—	—	—	—	—
中央値の1／2以上 中央値未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中央値以上	3	—	33.3	—	—	—	—	—	—

区分	学校の先生	スクールカウンセ ラー・スクールソ シアルワーカー	生 保育園・幼稚園の先	公的機関（市役所 等）の相談員	民間のカウンセラ ー・電話相談	医療機関の医師・看 護師	インターネットの サイト	その他	無回答
全 体	—	—	—	—	—	—	16.7	50.0	16.7
中央値の1／2未満	—	—	—	—	—	—	50.0	50.0	—
中央値の1／2以上 中央値未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中央値以上	—	—	—	—	—	—	—	33.3	33.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者・パートナー	自分の親	配偶者・パートナー の親	兄弟姉妹・親戚	自分の子ども	友人 近所に住む知人や 友人	近所に住んでいな い知人や友人	職場の人
全 体	6	—	16.7	—	—	—	—	—	—
ふたり親世帯	4	—	25.0	—	—	—	—	—	—
ひとり親世帯	2	—	—	—	—	—	—	—	—
その他（不明等）	—	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	学校の先生	スクールカウンセ ラー・スクールソ シアルワーカー	生 保育園・幼稚園の先	公的機関（市役所 等）の相談員	民間のカウンセラ ー・電話相談	医療機関の医師・看 護師	インターネットの サイト	その他	無回答
全 体	—	—	—	—	—	—	16.7	50.0	16.7
ふたり親世帯	—	—	—	—	—	—	—	50.0	25.0
ひとり親世帯	—	—	—	—	—	—	50.0	50.0	—
その他（不明等）	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2) お子さんについて

問6 お子さんは、1週間に朝食をどれくらい食べていますか。(1つに○)

「毎日食べる」の割合が86.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 546

毎日食べる

週に5、6日は食べる

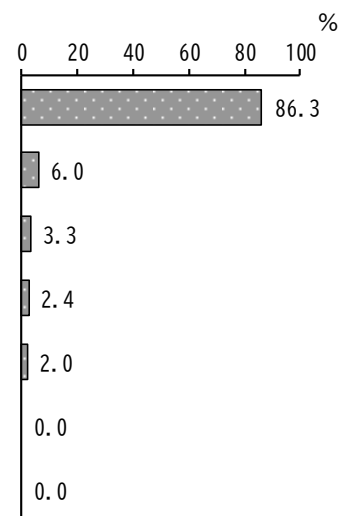
週に3、4日食べる

週に1、2日は食べる

ほとんど食べない

わからない

無回答



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	毎日食べる	週に5、6日は食べる	週に3、4日食べる	週に1、2日は食べる	ほとんど食べない	わからない	無回答
全 体	546	86.3	6.0	3.3	2.4	2.0	—	—
中央値の1／2未満	38	73.7	7.9	7.9	7.9	2.6	—	—
中央値の1／2以上 中央値未満	107	84.1	5.6	4.7	1.9	3.7	—	—
中央値以上	352	88.1	6.0	2.3	2.0	1.7	—	—

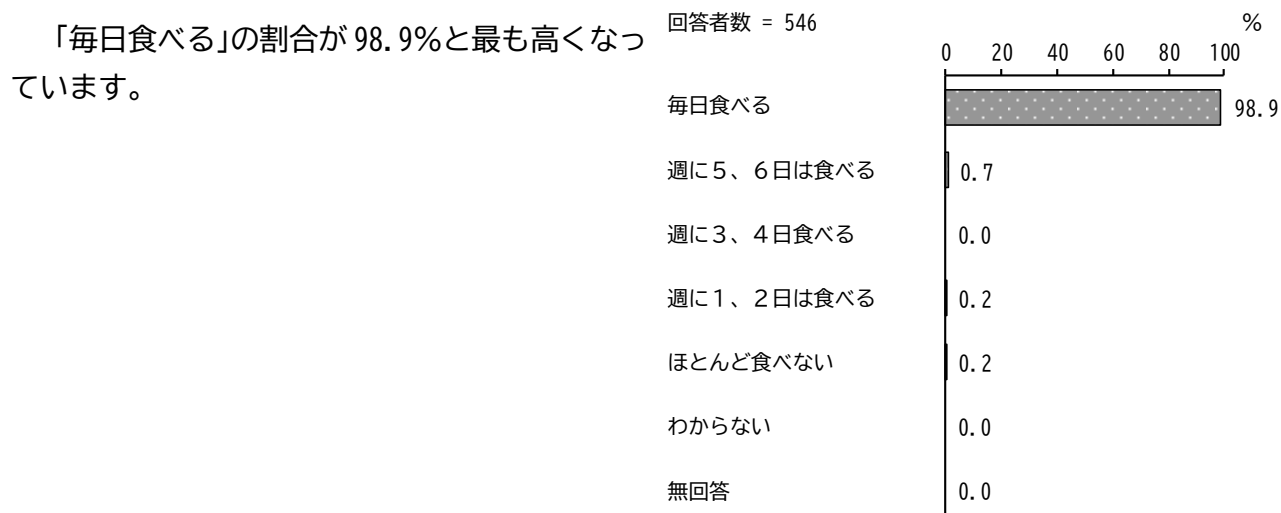
【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	毎日食べる	週に5、6日は食べる	週に3、4日食べる	週に1、2日は食べる	ほとんど食べない	わからない	無回答
全 体	546	86.3	6.0	3.3	2.4	2.0	—	—
ふたり親世帯	482	88.2	5.6	2.3	2.1	1.9	—	—
ひとり親世帯	60	70.0	10.0	11.7	5.0	3.3	—	—
その他（不明等）	4	100.0	—	—	—	—	—	—

問7 お子さんは、1週間に夕食をどれくらい食べていますか。(1つに○)



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	毎日食べる	週に5、6日は食べる	週に3、4日食べる	週に1、2日は食べる	ほとんど食べない	わからない	無回答
全 体	546	98.9	0.7	—	0.2	0.2	—	—
中央値の1／2未満	38	92.1	7.9	—	—	—	—	—
中央値の1／2以上 中央値未満	107	99.1	0.9	—	—	—	—	—
中央値以上	352	99.4	—	—	0.3	0.3	—	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

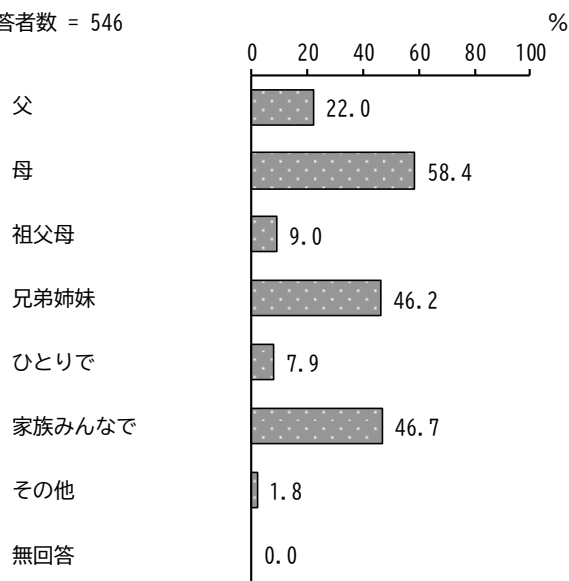
単位：%

区分	回答者数(件)	毎日食べる	週に5、6日は食べる	週に3、4日食べる	週に1、2日は食べる	ほとんど食べない	わからない	無回答
全 体	546	98.9	0.7	—	0.2	0.2	—	—
ふたり親世帯	482	99.0	0.6	—	0.2	0.2	—	—
ひとり親世帯	60	98.3	1.7	—	—	—	—	—
その他(不明等)	4	100.0	—	—	—	—	—	—

問8 お子さんは、夕食をだれと食べることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

「母」の割合が58.4%と最も高く、次いで「家族みんなで」の割合が46.7%、「兄弟姉妹」の割合が46.2%となっています。

回答者数 = 546



【その他の内容】

- ・同居人
- ・叔母

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	父	母	祖父母	兄弟姉妹	ひとりで	家族みんなで	その他	無回答
全 体	546	22.0	58.4	9.0	46.2	7.9	46.7	1.8	—
中央値の1／2未満	38	13.2	44.7	7.9	50.0	13.2	50.0	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	107	21.5	54.2	9.3	45.8	7.5	50.5	1.9	—
中央値以上	352	23.0	61.1	8.5	45.2	7.7	44.9	2.3	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

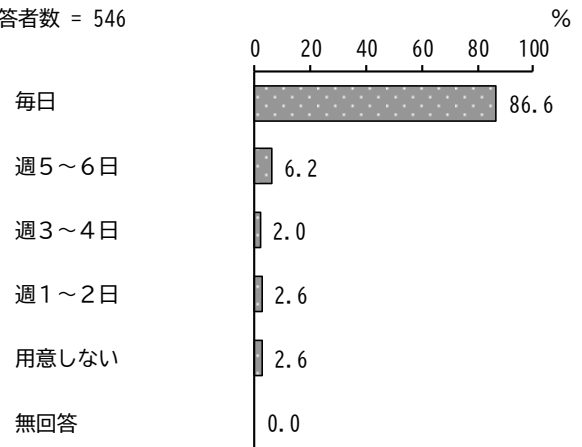
区分	回答者数 (件)	父	母	祖父母	兄弟姉妹	ひとりで	家族みんなで	その他	無回答
全 体	546	22.0	58.4	9.0	46.2	7.9	46.7	1.8	—
ふたり親世帯	482	23.4	59.1	7.7	48.1	7.5	47.9	1.9	—
ひとり親世帯	60	11.7	53.3	18.3	30.0	10.0	38.3	1.7	—
その他（不明等）	4	—	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	—	—

問9 お子さんに1週間にどれくらい食事を用意していますか。(1つに○)

朝食

「毎日」の割合が86.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	毎日	週5 ～ 6日	週3 ～ 4日	週1 ～ 2日	用意 しない	無回 答
全 体	546	86.6	6.2	2.0	2.6	2.6	—
中央値の1／2未満	38	81.6	7.9	2.6	5.3	2.6	—
中央値の1／2以上中 央値未満	107	81.3	7.5	2.8	2.8	5.6	—
中央値以上	352	88.9	4.8	2.0	2.3	2.0	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

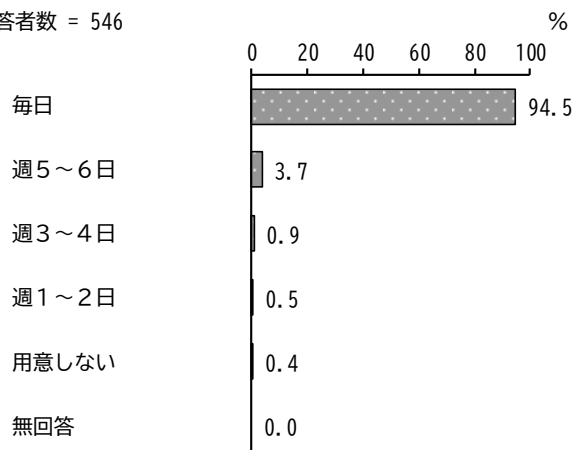
単位：%

区分	回答者数 (件)	毎日	週5 ～ 6日	週3 ～ 4日	週1 ～ 2日	用意 しない	無回 答
全 体	546	86.6	6.2	2.0	2.6	2.6	—
ふたり親世帯	482	88.0	5.6	1.7	2.5	2.3	—
ひとり親世帯	60	75.0	11.7	5.0	3.3	5.0	—
その他（不明等）	4	100.0	—	—	—	—	—

夕食

「毎日」の割合が 94.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	毎日	週5 ～ 6日	週3 ～ 4日	週1 ～ 2日	用意 しない	無回 答
全 体	546	94.5	3.7	0.9	0.5	0.4	—
中央値の1／2未満	38	84.2	7.9	2.6	2.6	2.6	—
中央値の1／2以上中 央値未満	107	94.4	2.8	1.9	0.9	—	—
中央値以上	352	96.0	2.8	0.6	0.3	0.3	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

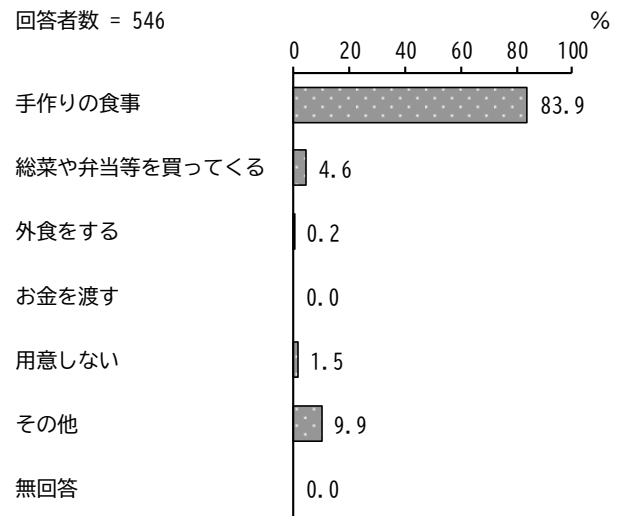
区分	回答者数 (件)	毎日	週5 ～ 6日	週3 ～ 4日	週1 ～ 2日	用意 しない	無回 答
全 体	546	94.5	3.7	0.9	0.5	0.4	—
ふたり親世帯	482	95.2	3.1	0.8	0.4	0.4	—
ひとり親世帯	60	88.3	8.3	1.7	1.7	—	—
その他（不明等）	4	100.0	—	—	—	—	—

問 10 お子さんの食事は、どんなものを用意していますか。
(多い順に3つ番号を書いてください。)

朝食 1 番目

「手作りの食事」の割合が 83.9%と最も高くな
っています。

回答者数 = 546



【その他の内容】

- ・ 前日夕食の残り。
- ・ 自分で用意させる。
- ・ 事前に準備しておいたもの。(パンやコーンフレーク等)
- ・ 自分で選べるように朝食セットを揃えています。卵、ハム、納豆、ご飯、パンなど。
- ・ 子どもが自分で食べたいものを用意する。(シリアルとか、ごはんとか、パンとか)

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	手作りの食事	総菜や弁当等を買 つてくる	外食をする	お金を渡す	用意しない	その他	無回答
全 体	546	83.9	4.6	0.2	－	1.5	9.9	－
中央値の1／2未満	38	73.7	15.8	－	－	2.6	7.9	－
中央値の1／2以上 中央値未満	107	78.5	3.7	0.9	－	2.8	14.0	－
中央値以上	352	86.1	3.4	－	－	1.1	9.4	－

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

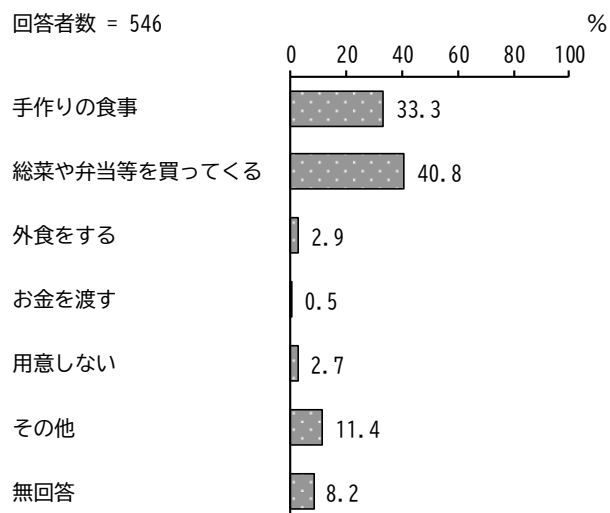
単位：％

区分	回答者数 (件)	手作りの食事	総菜や弁当等を買 つてくる	外食をする	お金を渡す	用意しない	その他	無回答
全 体	546	83.9	4.6	0.2	－	1.5	9.9	－
ふたり親世帯	482	84.4	4.8	－	－	1.5	9.3	－
ひとり親世帯	60	80.0	3.3	－	－	1.7	15.0	－
その他（不明等）	4	75.0	－	25.0	－	－	－	－

2番目

「総菜や弁当等を買ってくる」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「手作りの食事」の割合が 33.3%となっています。

回答者数 = 546



【その他の内容】

- ・自分で用意する。
- ・夕飯の残り。
- ・事前に準備しておいたもの。(パンやコーンフレーク等)

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1 / 2未満で「手作りの食事」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	手作りの食事	総菜や弁当等を買 つてくる	外食をする	お金を渡す	用意しない	その他	無回答
全 体	546	33.3	40.8	2.9	0.5	2.7	11.4	8.2
中央値の1 / 2未満	38	42.1	36.8	2.6	2.6	5.3	7.9	2.6
中央値の1 / 2以上 中央値未満	107	36.4	37.4	2.8	0.9	3.7	9.3	9.3
中央値以上	352	30.7	44.0	3.1	0.3	2.0	11.9	8.0

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

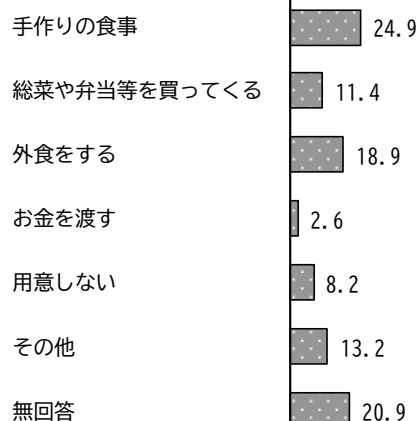
単位：%

区分	回答者数 (件)	手作りの食事	総菜や弁当等を買 つてくる	外食をする	お金を渡す	用意しない	その他	無回答
全 体	546	33.3	40.8	2.9	0.5	2.7	11.4	8.2
ふたり親世帯	482	33.2	40.9	2.5	0.6	2.3	11.6	8.9
ひとり親世帯	60	33.3	41.7	5.0	—	6.7	10.0	3.3
その他(不明等)	4	50.0	25.0	25.0	—	—	—	—

3番目

「手作りの食事」の割合が24.9%と最も高く、次いで「外食をする」の割合が18.9%、「総菜や弁当等を買ってくる」の割合が11.4%となっています。

回答者数 = 546



【その他の内容】

- ・自分で用意する。
- ・事前に準備しておいたもの。(パンやコーンフレーク等)

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「総菜や弁当等を買ってくる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	手作りの食事	総菜や弁当等を買 ってくる	外食をする	お金を渡す	用意しない	その他	無回答
全 体	546	24.9	11.4	18.9	2.6	8.2	13.2	20.9
中央値の1／2未満	38	31.6	21.1	18.4	2.6	15.8	2.6	7.9
中央値の1／2以上 中央値未満	107	24.3	12.1	21.5	0.9	9.3	13.1	18.7
中央値以上	352	23.0	10.2	19.3	3.4	7.1	14.5	22.4

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	手作りの食事	総菜や弁当等を買 ってくる	外食をする	お金を渡す	用意しない	その他	無回答
全 体	546	24.9	11.4	18.9	2.6	8.2	13.2	20.9
ふたり親世帯	482	24.3	10.8	19.5	2.5	7.1	13.5	22.4
ひとり親世帯	60	28.3	15.0	15.0	1.7	18.3	11.7	10.0
その他（不明等）	4	50.0	25.0	—	25.0	—	—	—

夕食 1 番目

「手作りの食事」の割合が 98.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 546



【その他の内容】

- ・自分たちで作らせる。
- ・好き嫌いが激しい為、仕事から帰って一緒に買い物に行く。手作りかお弁当かは子どもが決めている。

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	手作りの食事	総菜や弁当等を買 ってくる	外食をする	お金を渡す	用意しない	その他	無回答
全 体	546	98.2	1.3	0.2	—	—	0.4	—
中央値の1／2未満	38	94.7	5.3	—	—	—	—	—
中央値の1／2以上 中央値未満	107	98.1	0.9	—	—	—	0.9	—
中央値以上	352	98.3	1.1	0.3	—	—	0.3	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	手作りの食事	総菜や弁当等を買 ってくる	外食をする	お金を渡す	用意しない	その他	無回答
全 体	546	98.2	1.3	0.2	—	—	0.4	—
ふたり親世帯	482	98.5	1.2	—	—	—	0.2	—
ひとり親世帯	60	95.0	1.7	1.7	—	—	1.7	—
その他（不明等）	4	100.0	—	—	—	—	—	—

2番目

「総菜や弁当等を買ってくる」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「外食をする」の割合が 16.8%、「手作りの食事」の割合が 11.9%となっています。

回答者数 = 546

手作りの食事

総菜や弁当等を買ってくる

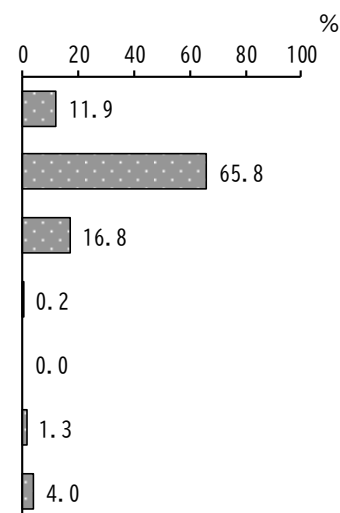
外食をする

お金を渡す

用意しない

その他

無回答



【その他の内容】

- ・自分が食べたい物を作る。(子ども自身が)
- ・事前に準備しておいたもの。(パンや冷凍食品等)

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1 / 2未満で「総菜や弁当等を買ってくる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	手作りの食事	総菜や弁当等を買 つてくる	外食をする	お金を渡す	用意しない	その他	無回答
全 体	546	11.9	65.8	16.8	0.2	—	1.3	4.0
中央値の1 / 2未満	38	10.5	71.1	18.4	—	—	—	—
中央値の1 / 2以上 中央値未満	107	14.0	65.4	10.3	—	—	1.9	8.4
中央値以上	352	11.4	65.9	18.5	0.3	—	1.1	2.8

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

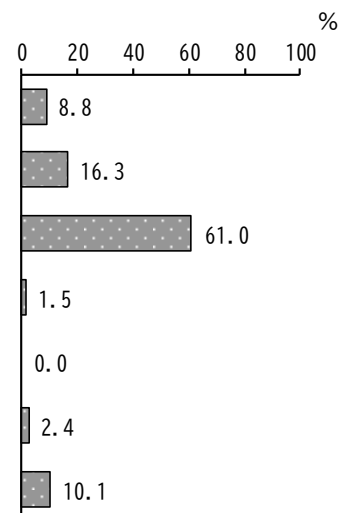
区分	回答者数 (件)	手作りの食事	総菜や弁当等を買 つてくる	外食をする	お金を渡す	用意しない	その他	無回答
全 体	546	11.9	65.8	16.8	0.2	—	1.3	4.0
ふたり親世帯	482	12.0	66.2	16.6	0.2	—	0.8	4.1
ひとり親世帯	60	10.0	63.3	18.3	—	—	5.0	3.3
その他(不明等)	4	25.0	50.0	25.0	—	—	—	—

3番目

「外食をする」の割合が61.0%と最も高く、次いで「総菜や弁当等を買ってくる」の割合が16.3%となっています。

回答者数 = 546

手作りの食事
総菜や弁当等を買ってくる
外食をする
お金を渡す
用意しない
その他
無回答



【その他の内容】

- ・祖母に届けてもらう。
- ・実家に頼む。
- ・一緒に作る。
- ・事前に準備しておいたもの。(パンや冷凍食品等)
- ・夜勤で準備ができなかった時は、家にある材料で作って食べてもらう時がある。

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	手作りの食事	総菜や弁当等を買 つてくる	外食をする	お金を渡す	用意しない	その他	無回答
全 体	546	8.8	16.3	61.0	1.5	—	2.4	10.1
中央値の1／2未満	38	10.5	15.8	63.2	2.6	—	2.6	5.3
中央値の1／2以上 中央値未満	107	9.3	11.2	59.8	1.9	—	3.7	14.0
中央値以上	352	8.0	18.2	61.6	1.4	—	2.0	8.8

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	手作りの食事	総菜や弁当等を買 つてくる	外食をする	お金を渡す	用意しない	その他	無回答
全 体	546	8.8	16.3	61.0	1.5	—	2.4	10.1
ふたり親世帯	482	8.3	16.0	61.6	1.7	—	2.1	10.4
ひとり親世帯	60	11.7	18.3	56.7	—	—	5.0	8.3
その他(不明等)	4	25.0	25.0	50.0	—	—	—	—

問 11 お子さんには、むし歯がありますか。(1つに○)

「ない」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「あった(治療済み)」の割合が 43.6%となっています。

回答者数 = 546

ある(治療していない)

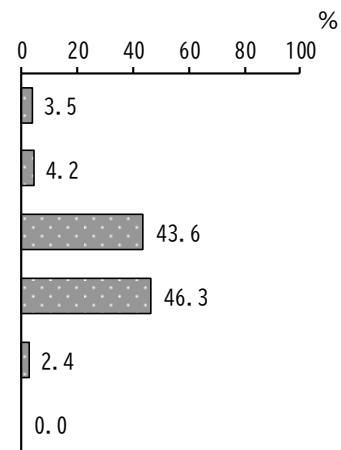
ある(現在治療中)

あった(治療済み)

ない

わからない

無回答



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1/2未満で「あった(治療済み)」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ある(治療していない)	ある(現在治療中)	あった(治療済み)	ない	わからない	無回答
全 体	546	3.5	4.2	43.6	46.3	2.4	—
中央値の1/2未満	38	2.6	5.3	63.2	26.3	2.6	—
中央値の1/2以上中央値未満	107	5.6	8.4	42.1	41.1	2.8	—
中央値以上	352	2.0	3.4	43.2	49.4	2.0	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

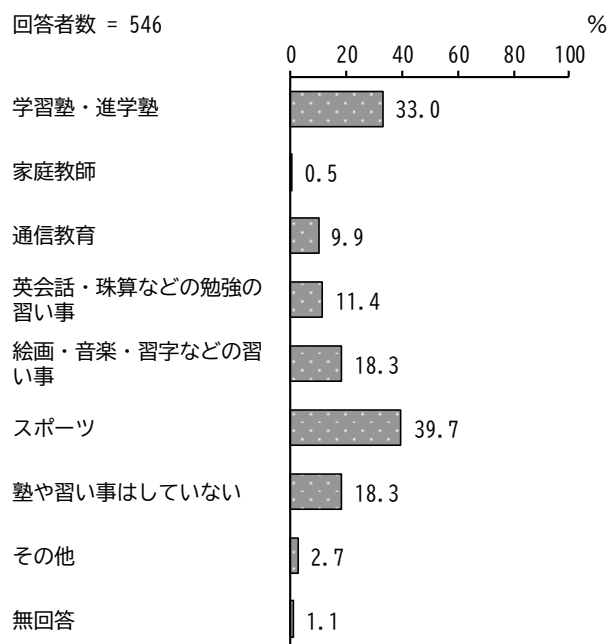
単位：%

区分	回答者数(件)	ある(治療していない)	ある(現在治療中)	あった(治療済み)	ない	わからない	無回答
全 体	546	3.5	4.2	43.6	46.3	2.4	—
ふたり親世帯	482	3.5	4.4	42.9	46.9	2.3	—
ひとり親世帯	60	3.3	3.3	48.3	41.7	3.3	—
その他(不明等)	4	—	—	50.0	50.0	—	—

問 12 お子さんは、現在、塾や習い事に通っていますか。無料の活動等は含みません。
(あてはまるものすべてに○)

「スポーツ」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「学習塾・進学塾」の割合が 33.0%、「絵画・音楽・習字などの習い事」、「塾や習い事はしていない」の割合が 18.3%となっています。

回答者数 = 546



【その他の内容】

- ・プログラミング
- ・クラシックバレエ
- ・ダンス
- ・パソコン
- ・料理
- ・モデルプロダクション
- ・囲碁
- ・放課後ディサービスと子どもが興味のある分野へ通わせている。

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「塾や習い事はしていない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	学習塾・進学塾	家庭教師	通信教育	英会話・珠算などの勉強の習い事	絵画・音楽・習字などの習い事	スポーツ	塾や習い事はしていない	その他	無回答
全 体	546	33.0	0.5	9.9	11.4	18.3	39.7	18.3	2.7	1.1
中央値の1／2未満	38	23.7	—	2.6	2.6	18.4	26.3	39.5	7.9	—
中央値の1／2以上中央値未満	107	18.7	—	5.6	6.5	12.1	39.3	28.0	1.9	3.7
中央値以上	352	37.8	0.9	12.2	13.4	19.6	41.5	13.1	2.6	0.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「塾や習い事はしていない」の割合が高くなっています。

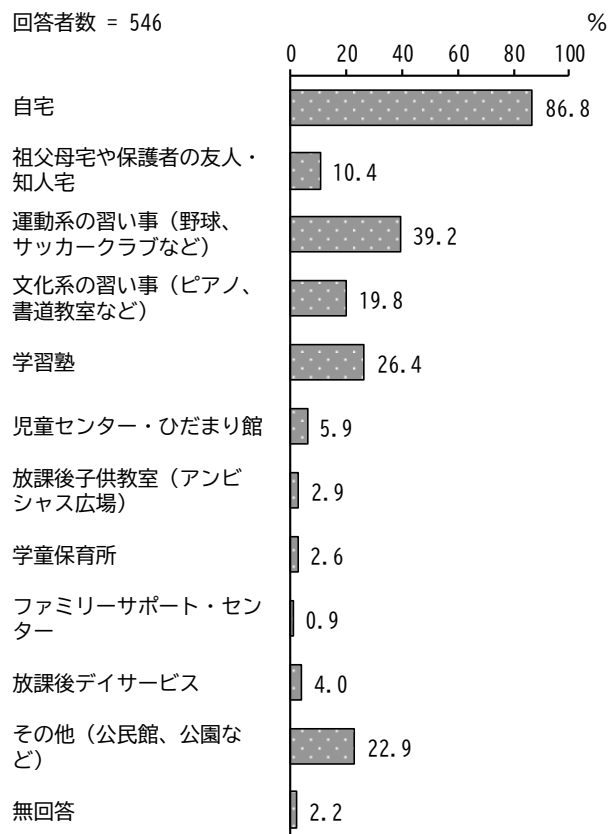
単位：％

区分	回答者数 (件)	学習塾・進学塾	家庭教師	通信教育	英会話・珠算などの 勉強の習い事	絵画・音楽・習字な どの習い事	スポーツ	塾や習い事はして いない	その他	無回答
全 体	546	33.0	0.5	9.9	11.4	18.3	39.7	18.3	2.7	1.1
ふたり親世帯	482	33.6	0.6	10.8	11.8	18.0	40.7	16.6	3.1	1.2
ひとり親世帯	60	28.3	—	3.3	8.3	20.0	30.0	33.3	—	—
その他（不明等）	4	25.0	—	—	—	25.0	75.0	—	—	—

問 13 お子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか／過ごしていましたか。当てまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育所」の場合には、利用している時間も（ ）内に数字でご記入ください。

「自宅」の割合が 86.8%と最も高く、次いで「運動系の習い事（野球、サッカークラブなど）」の割合が 39.2%、「学習塾」の割合が 26.4%となっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自宅	祖父母宅や保護者の友人・知人宅	運動系の習い事(野球、サッカークラブなど)	文化系の習い事(ピアノ、書道教室など)	学習塾	児童センター・ひだまり館	放課後子供教室(アンビシヤス広場)	学童保育所	ファミリースポーツセンター	放課後デイサービス	その他(公民館、公園など)	無回答
全 体	546	86.8	10.4	39.2	19.8	26.4	5.9	2.9	2.6	0.9	4.0	22.9	2.2
中央値の1／2未満	38	76.3	10.5	26.3	15.8	23.7	5.3	7.9	2.6	—	5.3	10.5	—
中央値の1／2以上 中央値未満	107	89.7	12.1	35.5	14.0	14.0	9.3	1.9	3.7	0.9	3.7	24.3	1.9
中央値以上	352	86.6	9.9	41.5	21.0	29.8	4.8	2.6	2.3	1.1	4.0	23.6	1.7

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

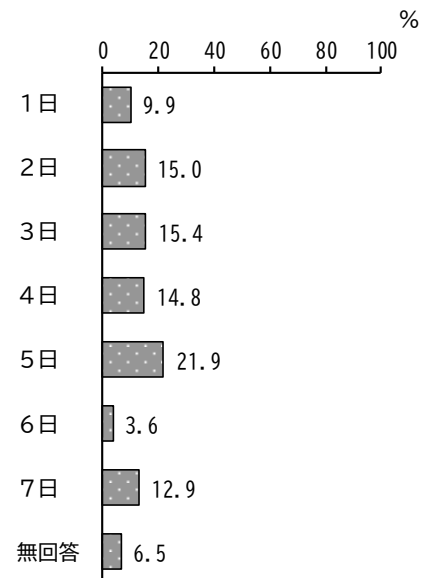
区分	回答者数 (件)	自宅	祖父母宅や保護者の友人・知人宅	運動系の習い事(野球、サッカークラブなど)	文化系の習い事(ピアノ、書道教室など)	学習塾	児童センター・ひだまり館	放課後子供教室(アンビシヤス広場)	学童保育所	ファミリースポーツセンター	放課後デイサービス	その他(公民館、公園など)	無回答
全 体	546	86.8	10.4	39.2	19.8	26.4	5.9	2.9	2.6	0.9	4.0	22.9	2.2
ふたり親世帯	482	86.7	10.2	40.5	20.1	26.8	5.2	3.3	2.7	1.0	3.9	23.2	2.5
ひとり親世帯	60	86.7	11.7	26.7	18.3	23.3	10.0	—	1.7	—	5.0	18.3	—
その他(不明等)	4	100.0	25.0	75.0	—	25.0	25.0	—	—	—	—	50.0	—

週あたり日数

自宅

「5日」の割合が 21.9%と最も高く、次いで
「3日」の割合が 15.4%、「2日」の割合が 15.0%
となっています。

回答者数 = 474



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	474	9.9	15.0	15.4	14.8	21.9	3.6	12.9	6.5
中央値の1／2未満	29	10.3	13.8	10.3	17.2	13.8	6.9	13.8	13.8
中央値の1／2以上 中央値未満	96	9.4	16.7	17.7	11.5	22.9	1.0	14.6	6.3
中央値以上	305	10.2	14.8	14.8	14.4	24.6	3.9	12.5	4.9

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

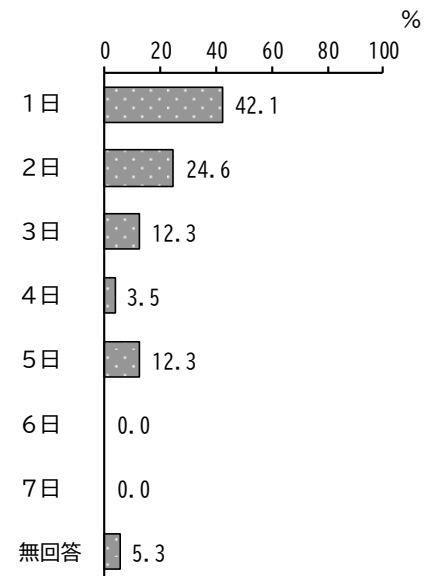
区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	474	9.9	15.0	15.4	14.8	21.9	3.6	12.9	6.5
ふたり親世帯	418	10.3	15.6	16.5	14.4	22.0	2.9	12.4	6.0
ひとり親世帯	52	5.8	9.6	5.8	19.2	23.1	7.7	17.3	11.5
その他（不明等）	4	25.0	25.0	25.0	—	—	25.0	—	—

週あたり日数

祖父母宅や保護者の友人・知人宅

「1日」の割合が42.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が24.6%、「3日」、「5日」の割合が12.3%となっています。

回答者数 = 57



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1 / 2以上中央値未満で「2日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	57	42.1	24.6	12.3	3.5	12.3	—	—	5.3
中央値の1 / 2未満	4	—	50.0	25.0	—	—	—	—	25.0
中央値の1 / 2以上 中央値未満	13	38.5	38.5	15.4	—	7.7	—	—	—
中央値以上	35	48.6	17.1	11.4	2.9	14.3	—	—	5.7

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

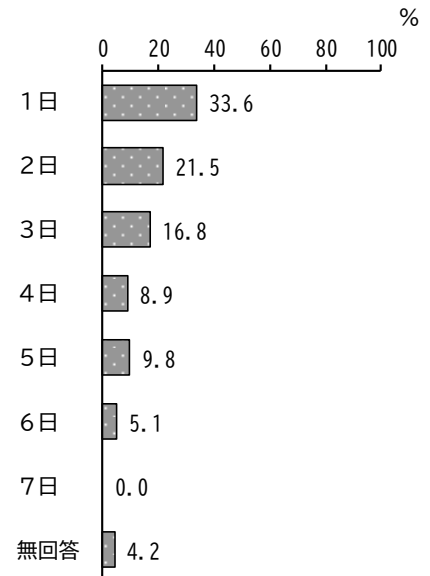
区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	57	42.1	24.6	12.3	3.5	12.3	—	—	5.3
ふたり親世帯	49	42.9	22.4	12.2	4.1	12.2	—	—	6.1
ひとり親世帯	7	42.9	28.6	14.3	—	14.3	—	—	—
その他（不明等）	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—

週あたり日数

運動系の習い事（野球、サッカークラブなど）

「1日」の割合が 33.6%と最も高く、次いで
「2日」の割合が 21.5%、「3日」の割合が 16.8%
となっています。

回答者数 = 214



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	214	33.6	21.5	16.8	8.9	9.8	5.1	—	4.2
中央値の1／2未満	10	30.0	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	—	10.0
中央値の1／2以上 中央値未満	38	28.9	15.8	10.5	7.9	23.7	13.2	—	—
中央値以上	146	31.5	24.0	20.5	8.9	6.2	3.4	—	5.5

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「3日」の割合が高くなっています。

単位：%

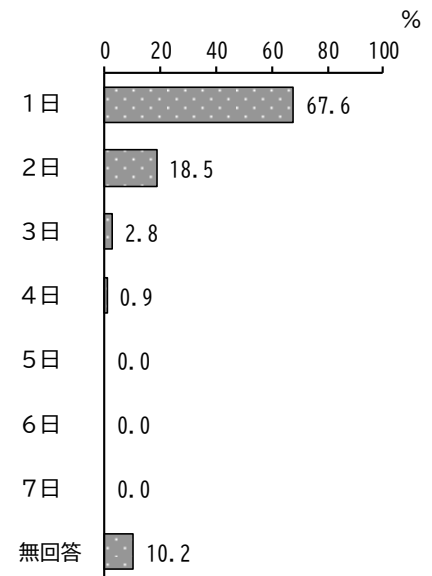
区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	214	33.6	21.5	16.8	8.9	9.8	5.1	—	4.2
ふたり親世帯	195	33.8	23.1	14.9	9.2	9.7	5.1	—	4.1
ひとり親世帯	16	25.0	6.3	37.5	6.3	12.5	6.3	—	6.3
その他（不明等）	3	66.7	—	33.3	—	—	—	—	—

週あたり日数

文化系の習い事（ピアノ、書道教室など）

「1日」の割合が 67.6%と最も高く、次いで
「2日」の割合が 18.5%となっています。

回答者数 = 108



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	108	67.6	18.5	2.8	0.9	—	—	—	10.2
中央値の1／2未満	6	100.0	—	—	—	—	—	—	—
中央値の1／2以上 中央値未満	15	66.7	13.3	—	6.7	—	—	—	13.3
中央値以上	74	66.2	20.3	2.7	—	—	—	—	10.8

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「2日」の割合が高くなっています。

単位：%

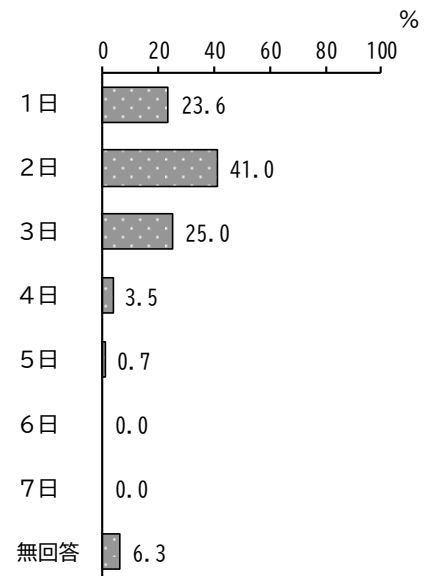
区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	108	67.6	18.5	2.8	0.9	—	—	—	10.2
ふたり親世帯	97	69.1	17.5	3.1	—	—	—	—	10.3
ひとり親世帯	11	54.5	27.3	—	9.1	—	—	—	9.1
その他（不明等）	—	—	—	—	—	—	—	—	—

週あたり日数

学習塾

「2日」の割合が 41.0%と最も高く、次いで
「3日」の割合が 25.0%、「1日」の割合が 23.6%
となっています。

回答者数 = 144



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1 / 2以上中央値未満で「1日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	144	23.6	41.0	25.0	3.5	0.7	—	—	6.3
中央値の1 / 2未満	9	33.3	33.3	33.3	—	—	—	—	—
中央値の1 / 2以上 中央値未満	15	40.0	40.0	13.3	—	—	—	—	6.7
中央値以上	105	20.0	41.9	25.7	4.8	1.0	—	—	6.7

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「1日」の割合が高くなっています。

単位：%

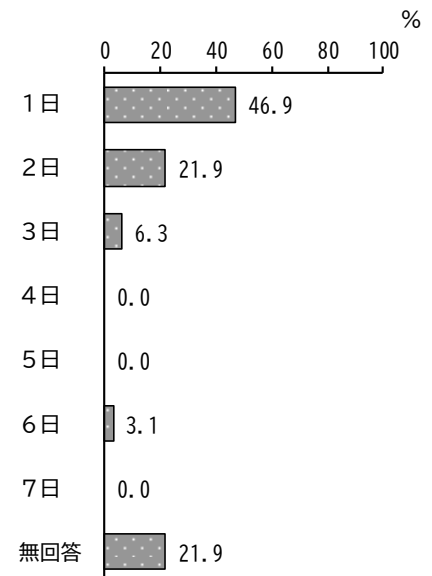
区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	144	23.6	41.0	25.0	3.5	0.7	—	—	6.3
ふたり親世帯	129	21.7	42.6	24.8	3.1	0.8	—	—	7.0
ひとり親世帯	14	35.7	28.6	28.6	7.1	—	—	—	—
その他（不明等）	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—

週あたり日数

児童センター・ひだまり館

「1日」の割合が 46.9%と最も高く、次いで
「2日」の割合が 21.9%となっています。

回答者数 = 32



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「1日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	32	46.9	21.9	6.3	—	—	3.1	—	21.9
中央値の1／2未満	2	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—
中央値の1／2以上 中央値未満	10	40.0	20.0	10.0	—	—	10.0	—	20.0
中央値以上	17	52.9	23.5	5.9	—	—	—	—	17.6

【家族構成別】

家族構成別にみると、ふたり親世帯で「1日」の割合が高くなっています。

単位：%

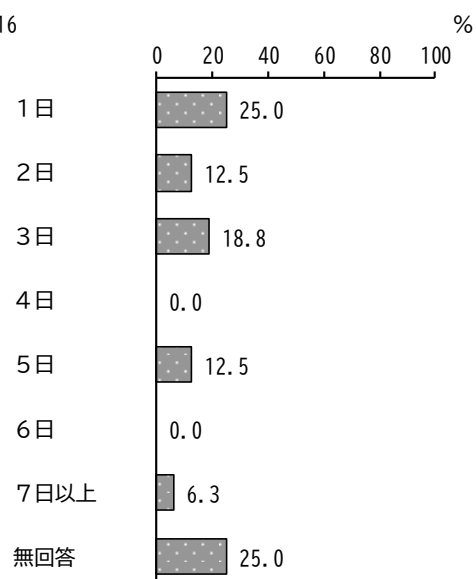
区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	32	46.9	21.9	6.3	—	—	3.1	—	21.9
ふたり親世帯	25	56.0	12.0	4.0	—	—	4.0	—	24.0
ひとり親世帯	6	16.7	66.7	—	—	—	—	—	16.7
その他（不明等）	1	—	—	100.0	—	—	—	—	—

月あたり日数

放課後子供教室（アンビシャス広場）

「1日」の割合が25.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が18.8%、「2日」、「5日」の割合が12.5%となっています。

回答者数 = 16



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日以上	無回答
全 体	16	25.0	12.5	18.8	—	12.5	—	6.3	25.0
中央値の1／2未満	3	33.3	—	66.7	—	—	—	—	—
中央値の1／2以上 中央値未満	2	50.0	—	—	—	—	—	—	50.0
中央値以上	9	22.2	22.2	—	—	22.2	—	—	33.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

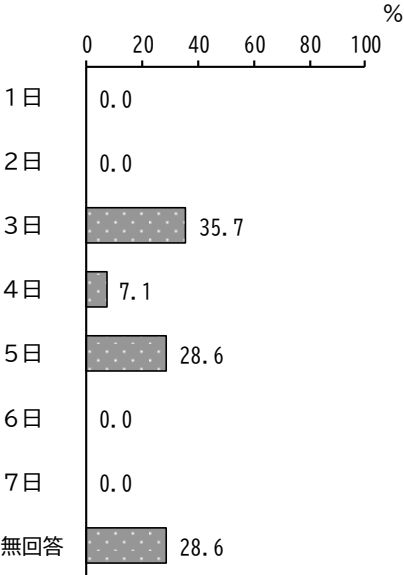
区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日以上	無回答
全 体	16	25.0	12.5	18.8	—	12.5	—	6.3	25.0
ふたり親世帯	16	25.0	12.5	18.8	—	12.5	—	6.3	25.0
ひとり親世帯	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他（不明等）	—	—	—	—	—	—	—	—	—

週あたり日数

学童保育所

「3日」の割合が 35.7%と最も高く、次いで
「5日」の割合が 28.6%となっています。

回答者数 = 14



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	14	—	—	35.7	7.1	28.6	—	—	28.6
中央値の1／2未満	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—
中央値の1／2以上 中央値未満	4	—	—	75.0	—	—	—	—	25.0
中央値以上	8	—	—	25.0	12.5	25.0	—	—	37.5

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	14	—	—	35.7	7.1	28.6	—	—	28.6
ふたり親世帯	13	—	—	38.5	7.7	23.1	—	—	30.8
ひとり親世帯	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—
その他（不明等）	—	—	—	—	—	—	—	—	—

学童保育所

利用している時間

「18 時台」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 21.4%となっています。

回答者数 = 14

16時より前

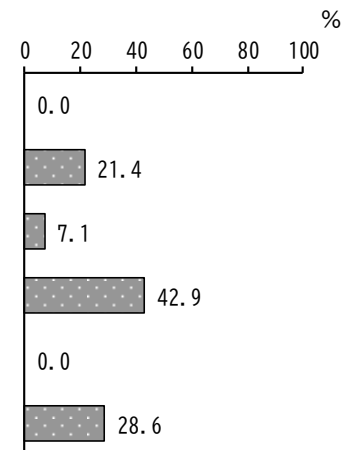
16時台

17時台

18時台

19時以降

無回答



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	16時より前	16時台	17時台	18時台	19時以降	無回答
全 体	14	—	21.4	7.1	42.9	—	28.6
中央値の1／2未満	1	—	—	—	100.0	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	4	—	50.0	—	25.0	—	25.0
中央値以上	8	—	12.5	12.5	37.5	—	37.5

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

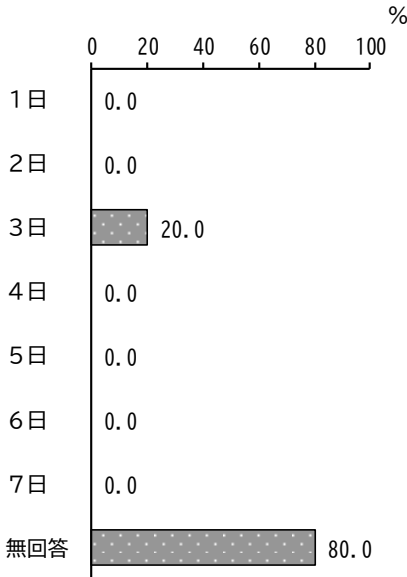
区分	回答者数 (件)	16時より前	16時台	17時台	18時台	19時以降	無回答
全 体	14	—	21.4	7.1	42.9	—	28.6
ふたり親世帯	13	—	23.1	7.7	38.5	—	30.8
ひとり親世帯	1	—	—	—	100.0	—	—
その他（不明等）	—	—	—	—	—	—	—

週あたり日数

ファミリーサポート・センター

「3日」が1件となっています。

回答者数 = 5



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	5	—	—	20.0	—	—	—	—	80.0
中央値の1／2未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中央値の1／2以上 中央値未満	1	—	—	—	—	—	—	—	100.0
中央値以上	4	—	—	25.0	—	—	—	—	75.0

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

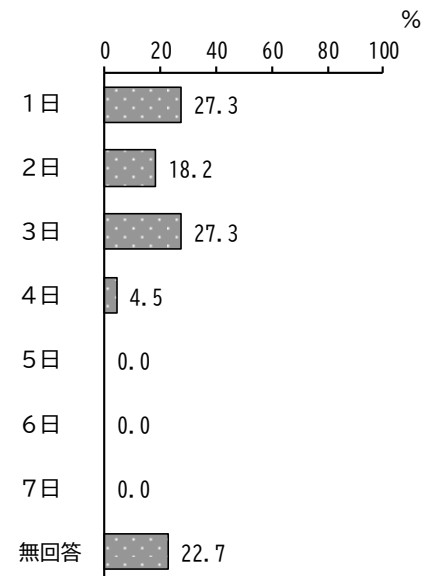
区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	5	—	—	20.0	—	—	—	—	80.0
ふたり親世帯	5	—	—	20.0	—	—	—	—	80.0
ひとり親世帯	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他（不明等）	—	—	—	—	—	—	—	—	—

週あたり日数

放課後デイサービス

「1日」、「3日」の割合が27.3%と最も高く、
次いで「2日」の割合が18.2%となっています。

回答者数 = 22



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	22	27.3	18.2	27.3	4.5	—	—	—	22.7
中央値の1／2未満	2	—	50.0	—	—	—	—	—	50.0
中央値の1／2以上 中央値未満	4	—	25.0	50.0	—	—	—	—	25.0
中央値以上	14	28.6	14.3	28.6	7.1	—	—	—	21.4

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

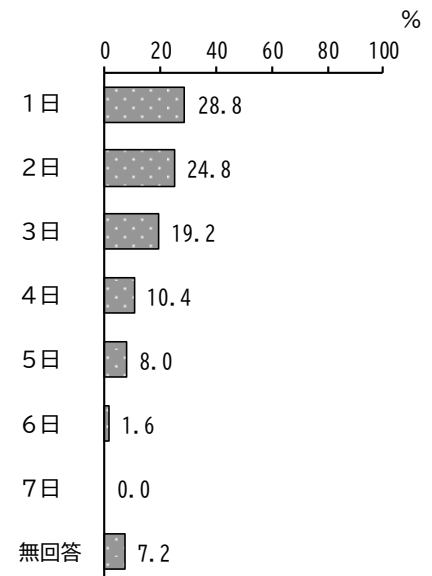
区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	22	27.3	18.2	27.3	4.5	—	—	—	22.7
ふたり親世帯	19	26.3	15.8	26.3	5.3	—	—	—	26.3
ひとり親世帯	3	33.3	33.3	33.3	—	—	—	—	—
その他（不明等）	—	—	—	—	—	—	—	—	—

週あたり日数

その他（公民館、公園など）

「1日」の割合が 28.8%と最も高く、次いで
「2日」の割合が 24.8%、「3日」の割合が 19.2%
となっています。

回答者数 = 125



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1 / 2以上中央値未満で「4日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	125	28.8	24.8	19.2	10.4	8.0	1.6	—	7.2
中央値の1 / 2未満	4	—	—	75.0	—	25.0	—	—	—
中央値の1 / 2以上 中央値未満	26	11.5	23.1	19.2	19.2	15.4	—	—	11.5
中央値以上	83	33.7	24.1	18.1	8.4	6.0	2.4	—	7.2

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「2日」の割合が高くなっています。

単位：%

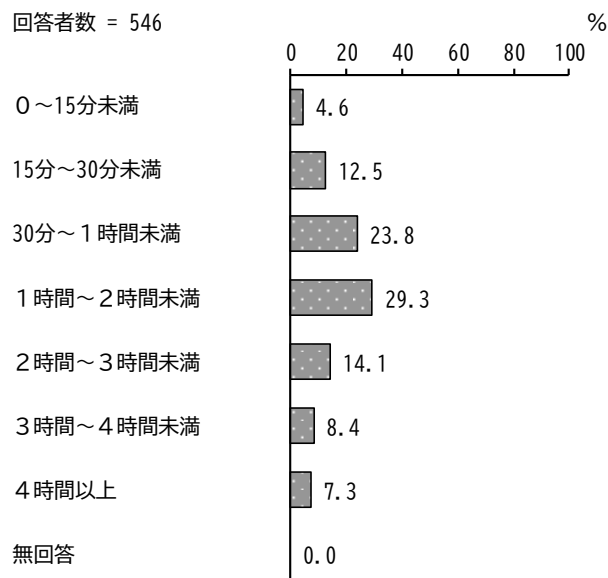
区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	125	28.8	24.8	19.2	10.4	8.0	1.6	—	7.2
ふたり親世帯	112	30.4	23.2	19.6	11.6	8.0	1.8	—	5.4
ひとり親世帯	11	18.2	36.4	18.2	—	9.1	—	—	18.2
その他（不明等）	2	—	50.0	—	—	—	—	—	50.0

問 14 あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、平日と休日それぞれ1日あたりどれくらいですか。寝ている時間は含みません。（1つに○）

平日

「1時間～2時間未満」の割合が29.3%と最も高く、次いで「30分～1時間未満」の割合が23.8%、「2時間～3時間未満」の割合が14.1%となっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「30分～1時間未満」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	0～15分未満	15分～30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上	無回答
全 体	546	4.6	12.5	23.8	29.3	14.1	8.4	7.3	—
中央値の1／2未満	38	2.6	10.5	28.9	28.9	18.4	2.6	7.9	—
中央値の1／2以上 中央値未満	107	5.6	11.2	25.2	25.2	15.0	5.6	12.1	—
中央値以上	352	4.5	13.1	23.0	30.7	13.4	9.1	6.3	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「2時間～3時間未満」の割合が高くなっています。

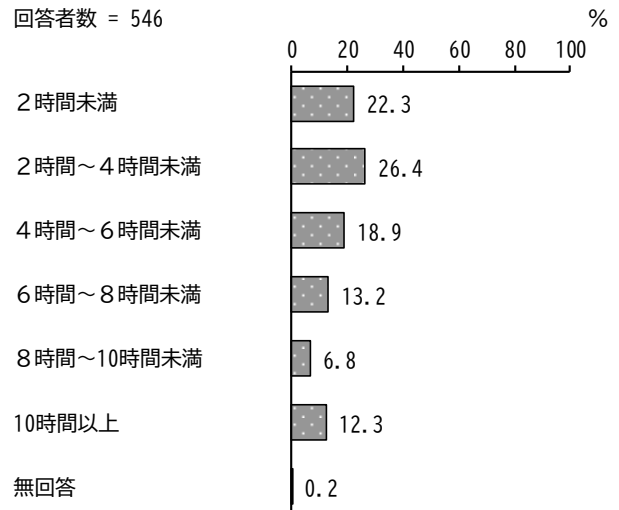
単位：％

区分	回答者数（件）	0～15分未満	15分～30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上	無回答
全 体	546	4.6	12.5	23.8	29.3	14.1	8.4	7.3	—
ふたり親世帯	482	4.4	12.9	23.4	29.9	12.9	9.1	7.5	—
ひとり親世帯	60	5.0	6.7	28.3	25.0	25.0	3.3	6.7	—
その他（不明等）	4	25.0	50.0	—	25.0	—	—	—	—

休日

「2時間～4時間未満」の割合が26.4%と最も高く、次いで「2時間未満」の割合が22.3%、「4時間～6時間未満」の割合が18.9%となっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「4時間～6時間未満」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	2時間未満	2時間～4時間未満	4時間～6時間未満	6時間～8時間未満	8時間～10時間未満	10時間以上	無回答
全 体	546	22.3	26.4	18.9	13.2	6.8	12.3	0.2
中央値の1／2未満	38	26.3	18.4	26.3	10.5	5.3	13.2	—
中央値の1／2以上 中央値未満	107	15.9	30.8	15.9	13.1	11.2	13.1	—
中央値以上	352	22.4	26.1	20.2	14.2	5.7	11.1	0.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「2時間未満」の割合が高くなっています。

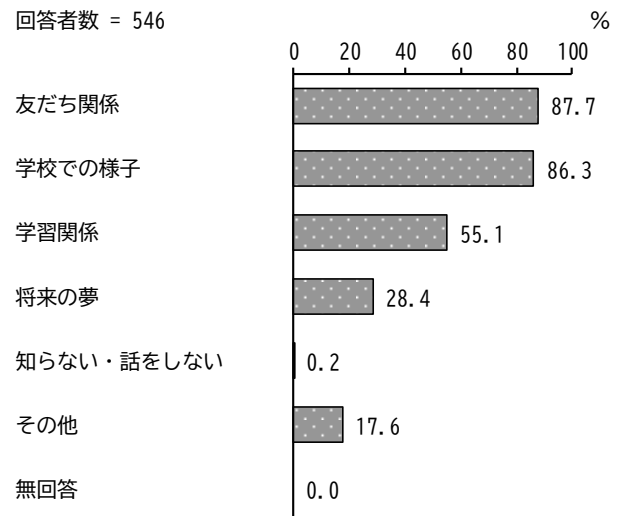
単位：%

区分	回答者数 (件)	2時間未満	2時間～4時間未満	4時間～6時間未満	6時間～8時間未満	8時間～10時間未満	10時間以上	無回答
全 体	546	22.3	26.4	18.9	13.2	6.8	12.3	0.2
ふたり親世帯	482	21.4	26.8	19.3	12.9	6.6	12.9	0.2
ひとり親世帯	60	28.3	23.3	15.0	16.7	8.3	8.3	—
その他（不明等）	4	50.0	25.0	25.0	—	—	—	—

問 15 お子さんについて知っていることや、お子さんとよく話すことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「友だち関係」の割合が 87.7%と最も高く、次いで「学校での様子」の割合が 86.3%、「学習関係」の割合が 55.1%となっています。

回答者数 = 546



【その他の内容】

- ・趣味の話
 - ・アニメの話
 - ・ペット
 - ・部活や習い事について
 - ・スポーツのこと
 - ・野球チームの話
 - ・世間話
 - ・他愛もない話
 - ・ゲームや YouTube の話
- など

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	友だち関係	学校での様子	学習関係	将来の夢	知らない・話をしない	その他	無回答
全 体	546	87.7	86.3	55.1	28.4	0.2	17.6	－
中央値の1／2未満	38	92.1	89.5	52.6	23.7	－	10.5	－
中央値の1／2以上 中央値未満	107	83.2	81.3	50.5	24.3	0.9	18.7	－
中央値以上	352	89.5	87.5	55.4	28.4	－	17.6	－

【家族構成別】

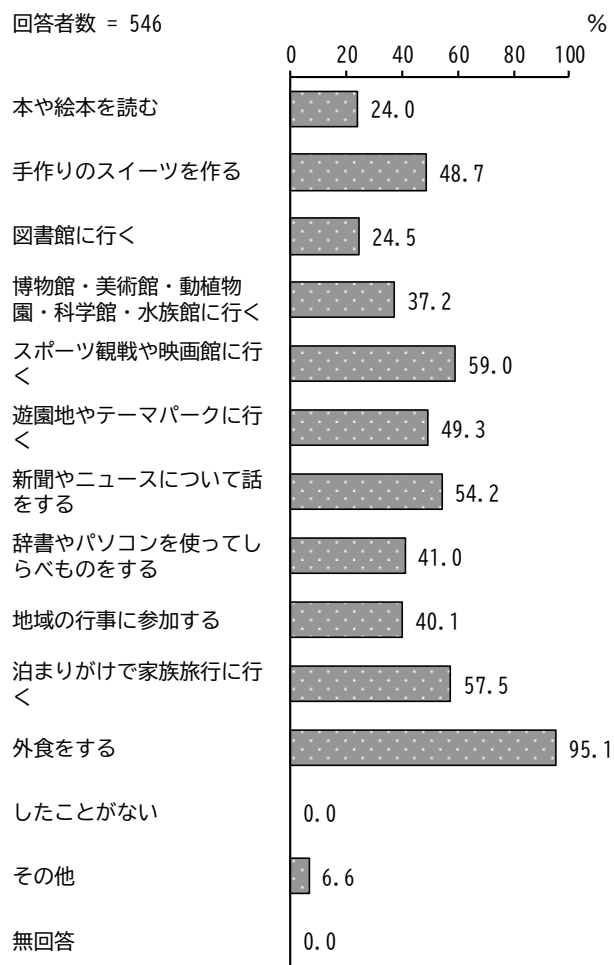
家族構成別にみると、ひとり親世帯で「将来の夢」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	友だち関係	学校での様子	学習関係	将来の夢	知らない・話をしない	その他	無回答
全 体	546	87.7	86.3	55.1	28.4	0.2	17.6	－
ふたり親世帯	482	88.4	87.6	54.8	27.0	－	17.2	－
ひとり親世帯	60	83.3	75.0	58.3	40.0	1.7	21.7	－
その他（不明等）	4	75.0	100.0	50.0	25.0	－	－	－

問 16 あなたはお子さんと、過去1年間に次のようなことをしましたか。
(あてはまるものすべてに○)

「外食をする」の割合が95.1%と最も高く、次いで「スポーツ観戦や映画館に行く」の割合が59.0%、「泊まりがけで家族旅行に行く」の割合が57.5%となっています。



【その他の内容】

- ・一緒にお買い物に行く。
- ・魚釣り、川遊び
- ・祖父母宅へ泊まりに行く。
- ・ボランティア活動に参加する。
- ・ライブに行く。
- ・ゲーム
- ・キャンプ
- ・バーベキュー
- ・子ども劇場など

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「泊まりがけで家族旅行に行く」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	本や絵本を読む	手作りのスイーツを作る	図書館に行く	博物館・美術館・動植物園・科学館・水族館に行く	スポーツ観戦や映画館に行く	遊園地やテーマパークに行く	新聞やニュースについて話をする	辞書やパソコンを使ってしらべものをする	地域の行事に参加する	泊まりがけで家族旅行に行く	外食をする	したことがない	その他	無回答
全 体	546	24.0	48.7	24.5	37.2	59.0	49.3	54.2	41.0	40.1	57.5	95.1	－	6.6	－
中央値の1／2未満	38	15.8	42.1	18.4	21.1	42.1	34.2	44.7	34.2	31.6	31.6	94.7	－	10.5	－
中央値の1／2以上中央値未満	107	27.1	51.4	25.2	29.0	61.7	39.3	47.7	30.8	38.3	46.7	92.5	－	6.5	－
中央値以上	352	23.9	48.0	25.0	40.6	60.8	52.6	56.8	42.6	41.5	63.4	95.7	－	6.0	－

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

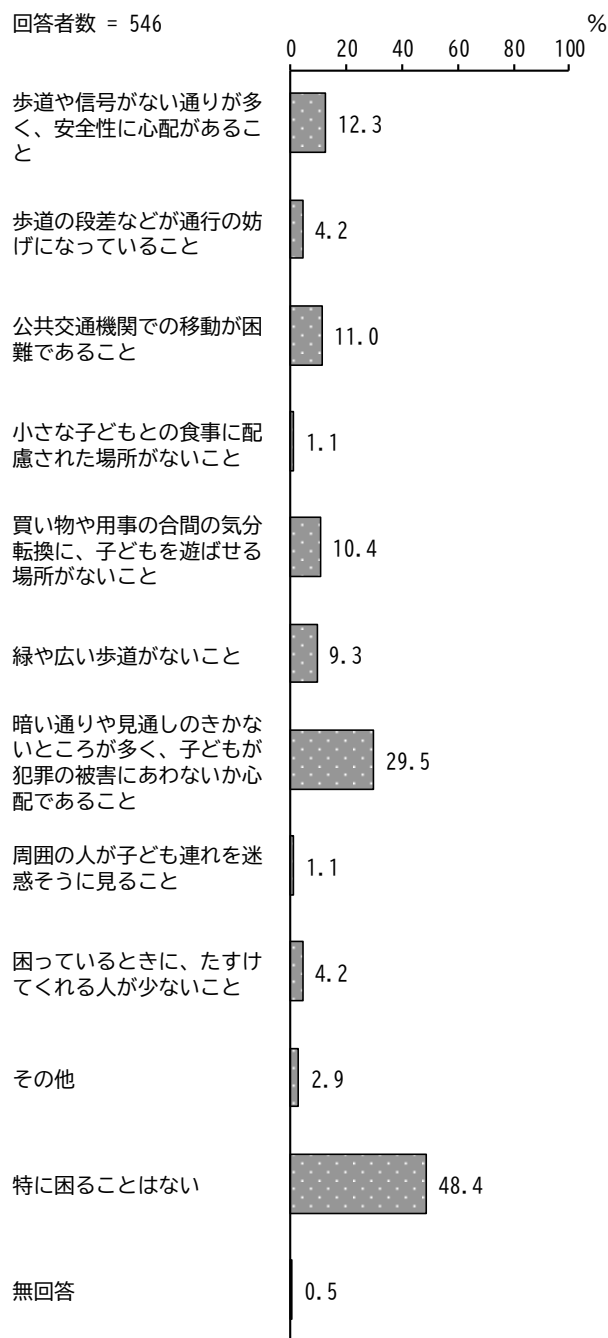
単位：％

区分	回答者数（件）	本や絵本を読む	手作りのスイーツを作る	図書館に行く	博物館・美術館・動植物園・科学館・水族館に行く	スポーツ観戦や映画館に行く	遊園地やテーマパークに行く	新聞やニュースについて話をする
全 体	546	24.0	48.7	24.5	37.2	59.0	49.3	54.2
ふたり親世帯	482	24.5	50.0	25.1	37.3	59.3	50.0	54.1
ひとり親世帯	60	21.7	41.7	20.0	38.3	60.0	43.3	55.0
その他（不明等）	4	－	－	25.0	－	－	50.0	50.0

区分	辞書やパソコンを使ってしらべものをする	地域の行事に参加する	泊まりがけで家族旅行に行く	外食をする	したことがない	その他	無回答
全 体	41.0	40.1	57.5	95.1	－	6.6	－
ふたり親世帯	40.7	41.1	59.1	94.4	－	6.8	－
ひとり親世帯	43.3	35.0	45.0	100.0	－	5.0	－
その他（不明等）	50.0	－	50.0	100.0	－	－	－

問 17 対象のお子さんと外出する際に困ったこと、困ることはどのようなことですか。
 当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「特に困ることはない」の割合が48.4%と最も高く、次いで「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配であること」の割合が29.5%、「歩道や信号がない通りが多く、安全性に心配があること」の割合が12.3%となっています。



【その他の内容】

- ・ボール遊びができる広場が少ない。
- ・中学、高校生が遊ぶ場所がない事。
- ・外出しても家でゲームしたいからすぐに帰ろうと言われること。
- ・コストアップインフレでどこに行っても高額に感じる。
- ・近所に手軽に行けるスーパーがないこと。
- ・子ども自身が危ない自転車の運転をしていないか心配。
- ・近辺では無いが、ニュースで小学生の交通事故や、水難事故が多く心配になる。
- ・運転マナーの悪い人が多く、信号を渡る時に危険を伴う。(歩行者の確認せずに交差点に右折車が突っ込んでくる。特に高齢者の運転)

など

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配であること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	歩道や信号がない通りが多く、安全性に心配があること	歩道の段差などが通行の妨げになっていること	公共交通機関での移動が困難であること	小さな子どもとの食事にと配慮された場所がないこと	買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと	緑や広い歩道がないこと
全 体	546	12.3	4.2	11.0	1.1	10.4	9.3
中央値の1／2未満	38	7.9	2.6	10.5	—	10.5	2.6
中央値の1／2以上中央値未満	107	14.0	4.7	15.0	0.9	13.1	11.2
中央値以上	352	11.6	4.3	9.9	1.4	9.9	10.2

区分	暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配であること	周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見ること	困っているときに、たとえてくれる人が少ないこと	その他	特に困ることはない	無回答
全 体	29.5	1.1	4.2	2.9	48.4	0.5
中央値の1／2未満	15.8	2.6	7.9	—	57.9	—
中央値の1／2以上中央値未満	39.3	1.9	4.7	1.9	38.3	—
中央値以上	28.1	0.9	3.7	3.4	50.6	0.6

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

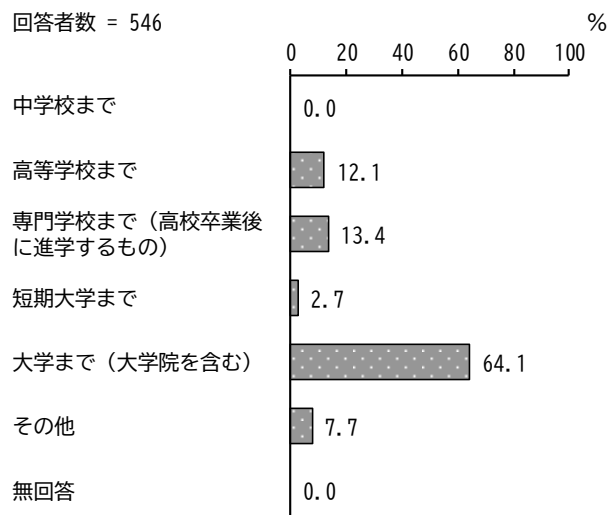
区分	回答者数 (件)	歩道や信号がない通りが 多く、安全性に心配があ ること	歩道の段差などが通行の 妨げになっていること	公共交通機関での移動が 困難であること	小さな子どもとの食事に 配慮された場所がないこ と	買い物や用事の合間の気 分転換に、子どもを遊ば せる場所がないこと	緑や広い歩道がないこと
全 体	546	12.3	4.2	11.0	1.1	10.4	9.3
ふたり親世帯	482	13.1	4.1	11.0	1.2	10.6	9.1
ひとり親世帯	60	6.7	5.0	11.7	－	10.0	11.7
その他（不明等）	4	－	－	－	－	－	－

区分	暗い通りや見通しのきか ないところが多く、子ど もが犯罪の被害にあわな いか心配であること	周囲の人が子ども連れを 迷惑そうに見ること	困っているときに、たす けてくれる人が少ないこ と	その他	特に困ることはない	無回答
全 体	29.5	1.1	4.2	2.9	48.4	0.5
ふたり親世帯	29.5	1.2	4.1	3.3	47.9	0.6
ひとり親世帯	30.0	－	5.0	－	50.0	－
その他（不明等）	25.0	－	－	－	75.0	－

問 18 あなたは、お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。(1つに○)

「大学まで（大学院を含む）」の割合が 64.1%と最も高く、次いで「専門学校まで（高校卒業後に進学するもの）」の割合が 13.4%、「高等学校まで」の割合が 12.1%となっています。

回答者数 = 546



【その他の内容】

- ・特に決めてない。
- ・本人が望むので博士課程まで。
- ・子どもが、どうしても勉強が嫌だったら無理強いしない。
- ・高校以降も進学させたいが、特定した学校は決まってない。
- ・親の希望より、子ども本人が望む段階まで教育を受けさせたい。
- ・高校までは行ってほしいが、その後は本人の希望をなるべく尊重したいと思う。
- ・子ども自身が決めていく事だと思っています。自分の好きなことや長所を伸ばして個性を大切にしてほしい。

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「高等学校まで」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校まで	高等学校まで	専門学校まで (高校卒業後に進学する もの)	短期大学まで	大学まで (大学院を含む)	その他	無回答
全 体	546	－	12.1	13.4	2.7	64.1	7.7	－
中央値の1／2未満	38	－	34.2	18.4	5.3	34.2	7.9	－
中央値の1／2以上 中央値未満	107	－	20.6	17.8	2.8	51.4	7.5	－
中央値以上	352	－	6.8	12.2	2.3	72.7	6.0	－

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「高等学校まで」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校まで	高等学校まで	専門学校まで (高校卒業後に進学する もの)	短期大学まで	大学まで (大学院を含む)	その他	無回答
全 体	546	－	12.1	13.4	2.7	64.1	7.7	－
ふたり親世帯	482	－	10.4	13.3	2.5	66.6	7.3	－
ひとり親世帯	60	－	25.0	13.3	5.0	45.0	11.7	－
その他（不明等）	4	－	25.0	25.0	－	50.0	－	－

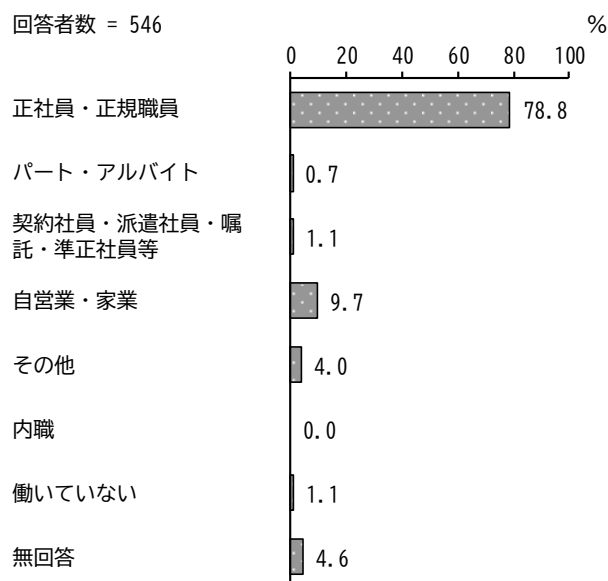
(3) お子さんの保護者について

問 19 お子さんの保護者の仕事について、お答えください。
(それぞれ1つずつ番号を記入)

お子さんの父親

「正社員・正規職員」の割合が78.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 546



【その他の内容】

- ・ いない
- ・ フリーランス

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「正社員・正規職員」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	正社員・正規職員	パート・アルバイト	契約社員・派遣社員・嘱託・準正社員等	自営業・家業	その他	内職	働いていない	無回答
全 体	546	78.8	0.7	1.1	9.7	4.0	—	1.1	4.6
中央値の1／2未満	38	34.2	7.9	—	13.2	23.7	—	5.3	15.8
中央値の1／2以上 中央値未満	107	68.2	0.9	1.9	12.1	2.8	—	1.9	12.1
中央値以上	352	87.8	—	0.9	7.1	2.6	—	0.3	1.4

【家族構成別】

家族構成別にみると、ふたり親世帯で「正社員・正規職員」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	正社員・正規職員	パート・アルバイト	契約社員・派遣社員・嘱託・準正社員等	自営業・家業	その他	内職	働いていない	無回答
全 体	546	78.8	0.7	1.1	9.7	4.0	—	1.1	4.6
ふたり親世帯	482	86.3	0.6	1.2	10.4	0.8	—	0.6	—
ひとり親世帯	60	23.3	1.7	—	5.0	30.0	—	5.0	35.0
その他(不明等)	4	—	—	—	—	—	—	—	100.0

お子さんの祖父

「働いていない」の割合が44.5%と最も高く、次いで「自営業・家業」の割合が13.4%となっています。

回答者数 = 546

正社員・正規職員

パート・アルバイト

契約社員・派遣社員・嘱託・準正社員等

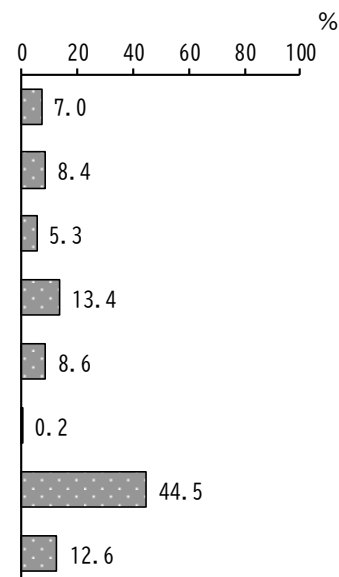
自営業・家業

その他

内職

働いていない

無回答



【その他の内容】

- ・ いない
- ・ 同居していない
- ・ シルバー人材
- ・ わからない

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「自営業・家業」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	正社員・正規職員	パート・アルバイト	契約社員・派遣社員・嘱託・準正社員等	自営業・家業	その他	内職	働いていない	無回答
全 体	546	7.0	8.4	5.3	13.4	8.6	0.2	44.5	12.6
中央値の1／2未満	38	5.3	2.6	—	21.1	10.5	—	39.5	21.1
中央値の1／2以上 中央値未満	107	7.5	14.0	5.6	13.1	10.3	—	36.4	13.1
中央値以上	352	7.7	6.5	6.0	11.1	8.2	0.3	48.3	11.9

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	正社員・正規職員	パート・アルバイト	契約社員・派遣社員・嘱託・準正社員等	自営業・家業	その他	内職	働いていない	無回答
全 体	546	7.0	8.4	5.3	13.4	8.6	0.2	44.5	12.6
ふたり親世帯	482	7.3	8.9	5.6	13.3	7.9	0.2	46.3	10.6
ひとり親世帯	60	5.0	3.3	3.3	15.0	15.0	—	31.7	26.7
その他(不明等)	4	—	25.0	—	—	—	—	25.0	50.0

お子さんの母親

「パート・アルバイト」の割合が44.9%と最も高く、次いで「正社員・正規職員」の割合が27.8%、「働いていない」の割合が11.4%となっています。

回答者数 = 546

正社員・正規職員

パート・アルバイト

契約社員・派遣社員・嘱託・準正社員等

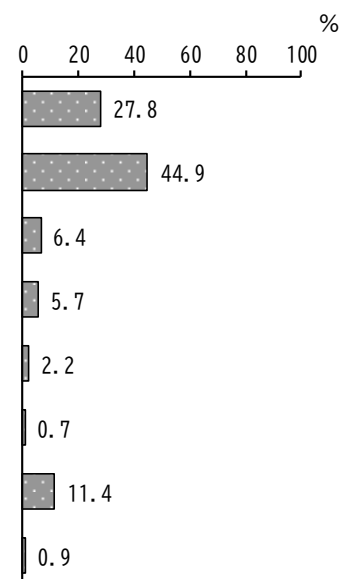
自営業・家業

その他

内職

働いていない

無回答



【その他の内容】

- ・ わからない
- ・ 一緒に住んでいない
- ・ いない

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1/2未満で「パート・アルバイト」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	正社員・正規職員	パート・アルバイト	契約社員・派遣社員・嘱託・準正社員等	自営業・家業	その他	内職	働いていない	無回答
全 体	546	27.8	44.9	6.4	5.7	2.2	0.7	11.4	0.9
中央値の1/2未満	38	21.1	57.9	7.9	5.3	—	—	5.3	2.6
中央値の1/2以上 中央値未満	107	27.1	48.6	5.6	5.6	—	2.8	9.3	0.9
中央値以上	352	29.5	42.0	6.8	5.4	3.1	0.3	11.9	0.9

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「正社員・正規職員」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	正社員・正規職員	パート・アルバイト	契約社員・派遣社員・嘱託・準正社員等	自営業・家業	その他	内職	働いていない	無回答
全 体	546	27.8	44.9	6.4	5.7	2.2	0.7	11.4	0.9
ふたり親世帯	482	25.9	47.5	6.2	5.4	1.2	0.8	12.9	—
ひとり親世帯	60	45.0	26.7	8.3	6.7	10.0	—	—	3.3
その他(不明等)	4	—	—	—	25.0	—	—	—	75.0

お子さんの祖母

「働いていない」の割合が57.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が14.7%となっています。

回答者数 = 546

正社員・正規職員

パート・アルバイト

契約社員・派遣社員・嘱託・準正社員等

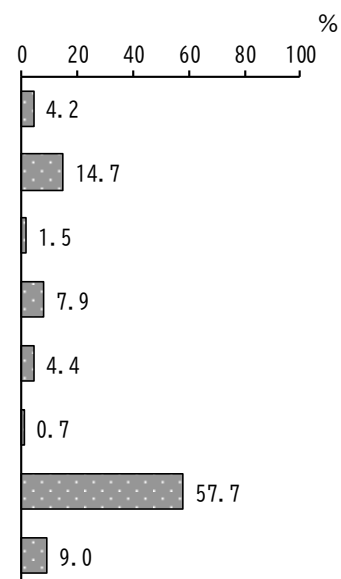
自営業・家業

その他

内職

働いていない

無回答



【その他の内容】

- ・同居していない
- ・いない
- ・病気のため自宅療養中
- ・いろいろ

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「パート・アルバイト」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	正社員・正規職員	パート・アルバイト	契約社員・派遣社員・嘱託・準正社員等	自営業・家業	その他	内職	働いていない	無回答
全 体	546	4.2	14.7	1.5	7.9	4.4	0.7	57.7	9.0
中央値の1／2未満	38	7.9	15.8	—	7.9	—	2.6	57.9	7.9
中央値の1／2以上中央値未満	107	4.7	23.4	2.8	10.3	3.7	—	47.7	7.5
中央値以上	352	3.7	12.8	1.4	6.8	4.5	0.9	60.5	9.4

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	正社員・正規職員	パート・アルバイト	契約社員・派遣社員・嘱託・準正社員等	自営業・家業	その他	内職	働いていない	無回答
全 体	546	4.2	14.7	1.5	7.9	4.4	0.7	57.7	9.0
ふたり親世帯	482	4.6	14.7	1.5	7.5	3.9	0.6	59.3	7.9
ひとり親世帯	60	1.7	13.3	1.7	11.7	8.3	1.7	46.7	15.0
その他(不明等)	4	—	25.0	—	—	—	—	25.0	50.0

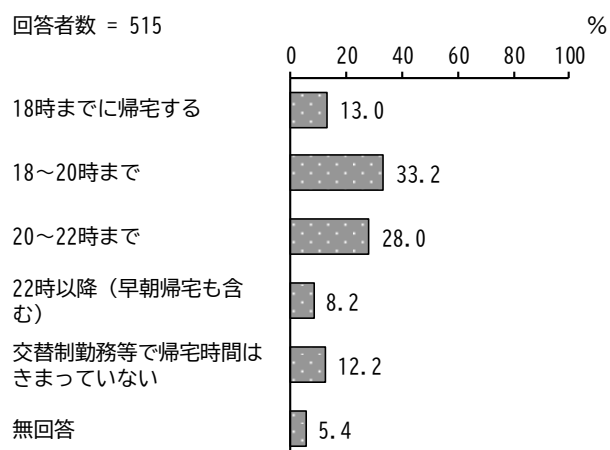
問 20 問 19 で「1～5」と回答した方にお聞きします。

だいたいの帰宅時間を教えてください。（それぞれ1つずつ番号を記入）

お子さんの父親

「18～20時まで」の割合が33.2%と最も高く、次いで「20～22時まで」の割合が28.0%、「18時までに帰宅する」の割合が13.0%となっています。

回答者数 = 515



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「18時までに帰宅する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	18時までに帰宅する	18～20時まで	20～22時まで	22時以降（早朝帰宅も含む）	交替制勤務等で帰宅時間はきまっていない	無回答
全 体	515	13.0	33.2	28.0	8.2	12.2	5.4
中央値の1／2未満	30	13.3	23.3	13.3	—	13.3	36.7
中央値の1／2以上中央値未満	92	26.1	31.5	20.7	7.6	8.7	5.4
中央値以上	346	10.1	34.1	30.6	9.5	13.0	2.6

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

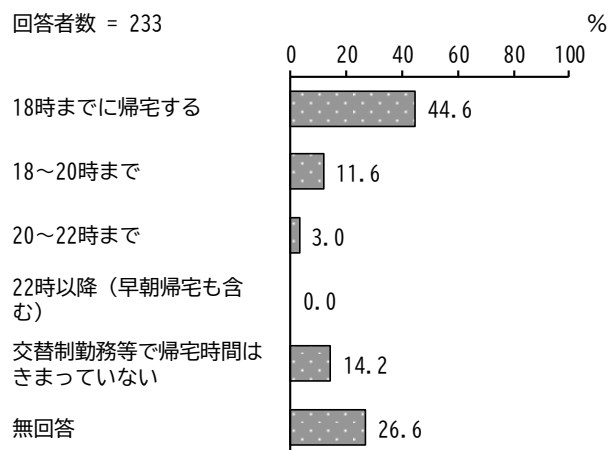
単位：％

区分	回答者数 (件)	18時までに帰宅する	18～20時まで	20～22時まで	22時以降（早朝帰宅も含む）	交替制勤務等で帰宅時間はきまっていない	無回答
全 体	515	13.0	33.2	28.0	8.2	12.2	5.4
ふたり親世帯	479	13.4	34.4	29.2	8.6	12.7	1.7
ひとり親世帯	36	8.3	16.7	11.1	2.8	5.6	55.6
その他（不明等）	—	—	—	—	—	—	—

お子さんの祖父

「18 時までに帰宅する」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「交替制勤務等で帰宅時間はきまっていない」の割合が 14.2%、「18～20 時まで」の割合が 11.6%となっています。

回答者数 = 233



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「18 時までに帰宅する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	18 時までに帰宅する	18 ～ 20 時まで	20 ～ 22 時まで	22 時以降（早朝帰宅も含む）	交替制勤務等で帰宅時間はきまっていない	無回答
全 体	233	44.6	11.6	3.0	—	14.2	26.6
中央値の1／2未満	15	40.0	13.3	—	—	6.7	40.0
中央値の1／2以上中央値未満	54	51.9	1.9	5.6	—	13.0	27.8
中央値以上	139	43.2	14.4	2.2	—	14.4	25.9

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「交替制勤務等で帰宅時間はきまっていない」の割合が高くなっています。

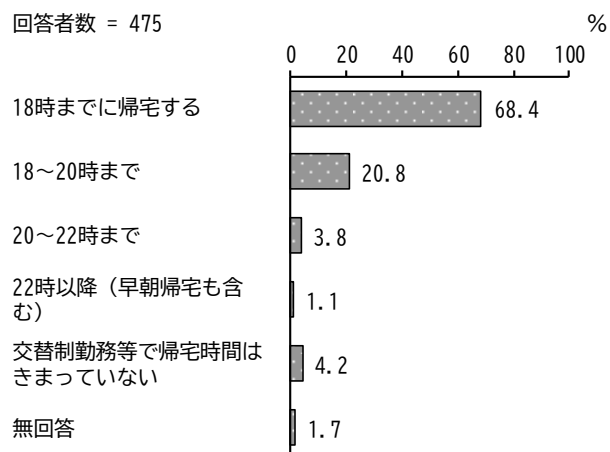
単位：%

区分	回答者数 (件)	18 時までに帰宅する	18 ～ 20 時まで	20 ～ 22 時まで	22 時以降（早朝帰宅も含む）	交替制勤務等で帰宅時間はきまっていない	無回答
全 体	233	44.6	11.6	3.0	—	14.2	26.6
ふたり親世帯	207	46.4	13.0	2.4	—	13.5	24.6
ひとり親世帯	25	32.0	—	4.0	—	20.0	44.0
その他（不明等）	1	—	—	100.0	—	—	—

お子さんの母親

「18 時までに帰宅する」の割合が 68.4%と最も高く、次いで「18～20 時まで」の割合が 20.8%となっています。

回答者数 = 475



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	18時までに帰宅する	18～20時まで	20～22時まで	22時以降（早朝帰宅も含む）	交替制勤務等で帰宅時間はきまっていない	無回答
全 体	475	68.4	20.8	3.8	1.1	4.2	1.7
中央値の1／2未満	35	65.7	8.6	11.4	5.7	8.6	—
中央値の1／2以上中央値未満	93	64.5	24.7	3.2	2.2	4.3	1.1
中央値以上	306	69.0	22.2	2.9	—	3.9	2.0

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

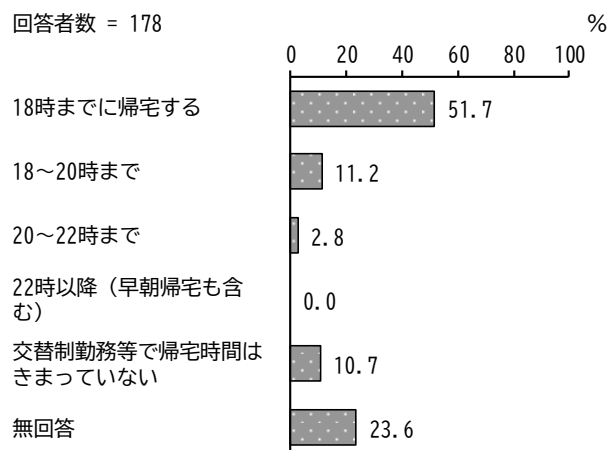
単位：%

区分	回答者数 (件)	18時までに帰宅する	18～20時まで	20～22時まで	22時以降（早朝帰宅も含む）	交替制勤務等で帰宅時間はきまっていない	無回答
全 体	475	68.4	20.8	3.8	1.1	4.2	1.7
ふたり親世帯	416	72.4	20.4	3.1	0.2	3.6	0.2
ひとり親世帯	58	39.7	24.1	8.6	6.9	8.6	12.1
その他（不明等）	1	100.0	—	—	—	—	—

お子さんの祖母

「18 時までに帰宅する」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「18～20 時まで」の割合が 11.2%、「交替制勤務等で帰宅時間はきまっていない」の割合が 10.7%となっています。

回答者数 = 178



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「18～20 時まで」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	18 時までに帰宅する	18 ～ 20 時まで	20 ～ 22 時まで	22 時以降（早朝帰宅も含む）	交替制勤務等で帰宅時間はきまっていない	無回答
全 体	178	51.7	11.2	2.8	—	10.7	23.6
中央値の1／2未満	12	50.0	25.0	—	—	—	25.0
中央値の1／2以上中央値未満	48	62.5	8.3	2.1	—	10.4	16.7
中央値以上	103	51.5	8.7	2.9	—	11.7	25.2

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「18 時までに帰宅する」の割合が高くなっています。

単位：%

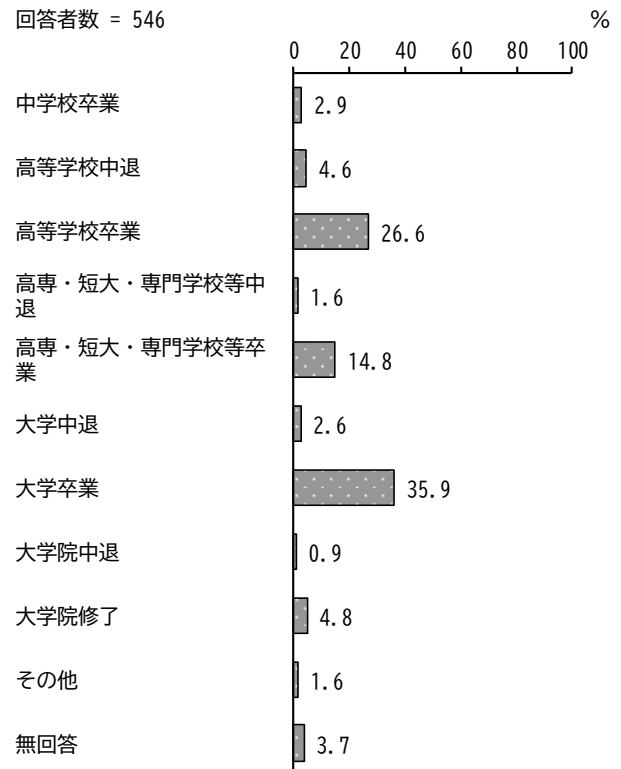
区分	回答者数 (件)	18 時までに帰宅する	18 ～ 20 時まで	20 ～ 22 時まで	22 時以降（早朝帰宅も含む）	交替制勤務等で帰宅時間はきまっていない	無回答
全 体	178	51.7	11.2	2.8	—	10.7	23.6
ふたり親世帯	155	51.0	10.3	2.6	—	12.3	23.9
ひとり親世帯	22	59.1	13.6	4.5	—	—	22.7
その他（不明等）	1	—	100.0	—	—	—	—

問 21 お子さんの保護者の方の最終学歴について教えてください。
(それぞれ1つずつ番号を記入)

お子さんの父親

「大学卒業」の割合が 35.9%と最も高く、次いで「高等学校卒業」の割合が 26.6%、「高専・短大・専門学校等卒業」の割合が 14.8%となっています。

回答者数 = 546



【その他の内容】

- ・高校卒業後一旦働き、その後公務員専門学校に通った。

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「大学卒業」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校卒業	高等学校中退	高等学校卒業	高専・短大・専門学 校等中退	高専・短大・専門学 校等卒業	大学中退	大学卒業	大学院中退	大学院修了	その他	無回答
全 体	546	2.9	4.6	26.6	1.6	14.8	2.6	35.9	0.9	4.8	1.6	3.7
中央値の1／2未満	38	5.3	10.5	28.9	5.3	10.5	—	13.2	—	—	5.3	21.1
中央値の1／2以上 中央値未満	107	5.6	8.4	26.2	0.9	16.8	3.7	27.1	—	—	1.9	9.3
中央値以上	352	2.3	3.1	26.1	1.4	14.5	2.3	40.9	1.1	6.8	0.9	0.6

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

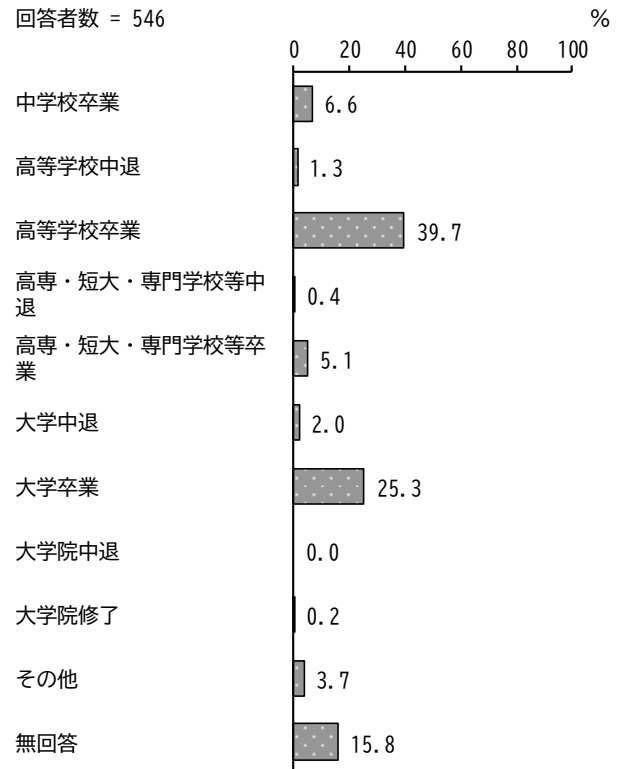
単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校卒業	高等学校中退	高等学校卒業	高専・短大・専門学 校等中退	高専・短大・専門学 校等卒業	大学中退	大学卒業	大学院中退	大学院修了	その他	無回答
全 体	546	2.9	4.6	26.6	1.6	14.8	2.6	35.9	0.9	4.8	1.6	3.7
ふたり親世帯	482	2.7	4.6	27.2	1.9	16.2	2.9	37.1	1.0	5.4	1.0	—
ひとり親世帯	60	5.0	5.0	21.7	—	5.0	—	28.3	—	—	6.7	28.3
その他（不明等）	4	—	—	25.0	—	—	—	—	—	—	—	75.0

お子さんの祖父

「高等学校卒業」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「大学卒業」の割合が 25.3%となっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「高等学校卒業」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校卒業	高等学校中退	高等学校卒業	高専・短大・専門学 校等中退	高専・短大・専門学 校等卒業	大学中退	大学卒業	大学院中退	大学院修了	その他	無回答
全 体	546	6.6	1.3	39.7	0.4	5.1	2.0	25.3	－	0.2	3.7	15.8
中央値の1／2未満	38	18.4	－	28.9	2.6	2.6	－	18.4	－	－	5.3	23.7
中央値の1／2以上 中央値未満	107	2.8	4.7	44.9	0.9	7.5	1.9	18.7	－	－	1.9	16.8
中央値以上	352	6.8	0.6	38.9	－	4.8	2.6	29.0	－	0.3	3.4	13.6

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

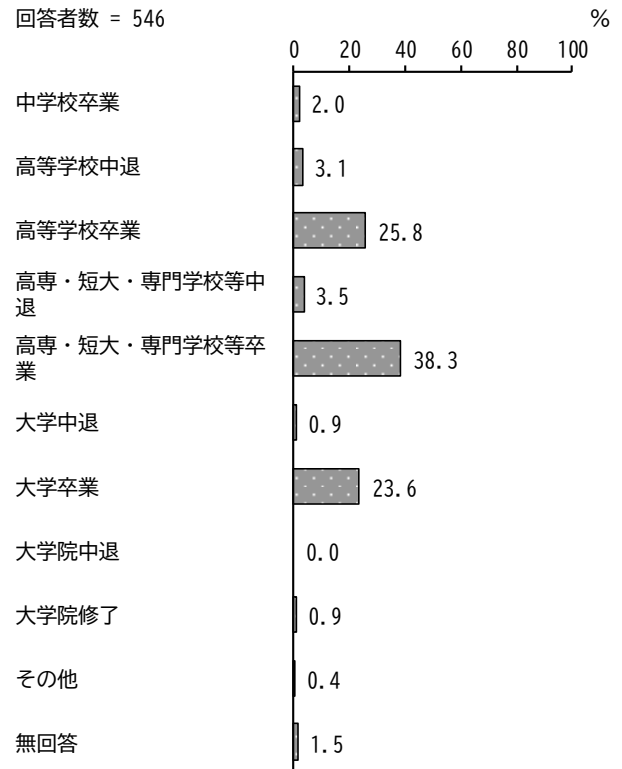
単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校卒業	高等学校中退	高等学校卒業	高専・短大・専門学 校等中退	高専・短大・専門学 校等卒業	大学中退	大学卒業	大学院中退	大学院修了	その他	無回答
全 体	546	6.6	1.3	39.7	0.4	5.1	2.0	25.3	－	0.2	3.7	15.8
ふたり親世帯	482	6.2	1.0	41.1	0.2	5.4	2.1	25.9	－	0.2	3.9	13.9
ひとり親世帯	60	10.0	3.3	30.0	1.7	3.3	1.7	20.0	－	－	1.7	28.3
その他（不明等）	4	－	－	25.0	－	－	－	25.0	－	－	－	50.0

お子さんの母親

「高専・短大・専門学校等卒業」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「高等学校卒業」の割合が 25.8%、「大学卒業」の割合が 23.6%となっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「高等学校卒業」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校卒業	高等学校中退	高等学校卒業	高専・短大・専門学 校等中退	高専・短大・専門学 校等卒業	大学中退	大学卒業	大学院中退	大学院修了	その他	無回答
全 体	546	2.0	3.1	25.8	3.5	38.3	0.9	23.6	－	0.9	0.4	1.5
中央値の1／2未満	38	7.9	5.3	42.1	－	39.5	－	－	－	－	2.6	2.6
中央値の1／2以上中央値未満	107	2.8	3.7	36.4	6.5	32.7	0.9	15.9	－	－	－	0.9
中央値以上	352	1.4	2.6	20.7	2.3	40.1	0.9	29.0	－	1.4	0.3	1.4

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

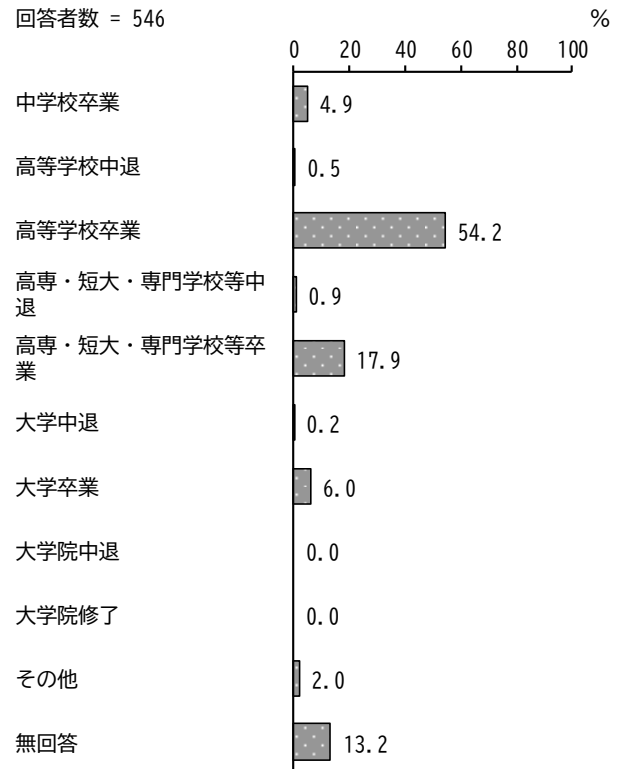
単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校卒業	高等学校中退	高等学校卒業	高専・短大・専門学 校等中退	高専・短大・専門学 校等卒業	大学中退	大学卒業	大学院中退	大学院修了	その他	無回答
全 体	546	2.0	3.1	25.8	3.5	38.3	0.9	23.6	－	0.9	0.4	1.5
ふたり親世帯	482	1.2	2.9	25.9	3.5	39.0	0.8	25.1	－	1.0	0.2	0.2
ひとり親世帯	60	8.3	5.0	26.7	1.7	35.0	1.7	13.3	－	－	1.7	6.7
その他（不明等）	4	－	－	－	25.0	－	－	－	－	－	－	75.0

お子さんの祖母

「高等学校卒業」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「高専・短大・専門学校等卒業」の割合が 17.9%となっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校卒業	高等学校中退	高等学校卒業	高専・短大・専門学 校等中退	高専・短大・専門学 校等卒業	大学中退	大学卒業	大学院中退	大学院修了	その他	無回答
全 体	546	4.9	0.5	54.2	0.9	17.9	0.2	6.0	－	－	2.0	13.2
中央値の1／2未満	38	13.2	－	55.3	2.6	10.5	－	5.3	－	－	2.6	10.5
中央値の1／2以上中央値未満	107	9.3	－	56.1	0.9	16.8	0.9	3.7	－	－	－	12.1
中央値以上	352	3.1	0.9	53.7	0.3	19.9	－	7.4	－	－	2.0	12.8

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校卒業	高等学校中退	高等学校卒業	高専・短大・専門学 校等中退	高専・短大・専門学 校等卒業	大学中退	大学卒業	大学院中退	大学院修了	その他	無回答
全 体	546	4.9	0.5	54.2	0.9	17.9	0.2	6.0	－	－	2.0	13.2
ふたり親世帯	482	4.1	0.6	55.0	1.0	18.0	0.2	6.4	－	－	2.3	12.2
ひとり親世帯	60	11.7	－	48.3	－	18.3	－	3.3	－	－	－	18.3
その他（不明等）	4	－	－	50.0	－	－	－	－	－	－	－	50.0

問 22 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

「常にしている」の割合が52.9%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が44.5%となっています。

回答者数 = 546

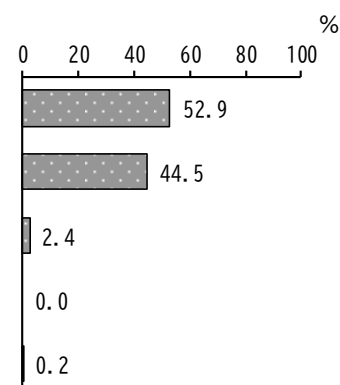
常にしている

ときどきしている

あまりしていない

まったくしたことがない

無回答



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	常に している	ときどき している	あまり していない	ま ったく し た こ と が な い	無 回 答
全 体	546	52.9	44.5	2.4	—	0.2
中央値の1／2未満	38	52.6	39.5	5.3	—	2.6
中央値の1／2以上中央 値未満	107	56.1	40.2	3.7	—	—
中央値以上	352	54.5	44.0	1.4	—	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「常にしている」の割合が高くなっています。

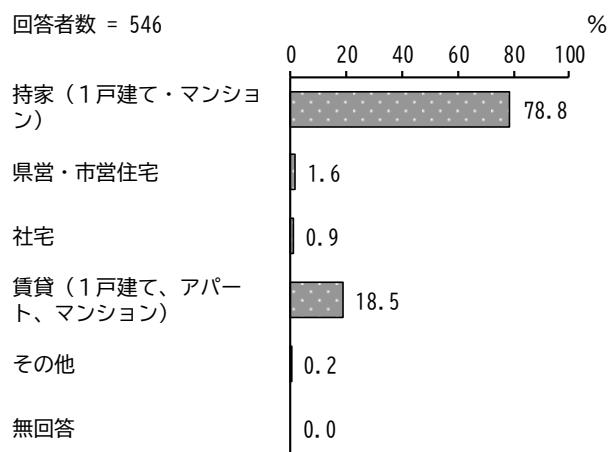
単位：％

区分	回答者数 (件)	常に している	ときどき している	あまり していない	ま ったく し た こ と が な い	無 回 答
全 体	546	52.9	44.5	2.4	—	0.2
ふたり親世帯	482	51.9	46.1	2.1	—	—
ひとり親世帯	60	61.7	31.7	5.0	—	1.7
その他（不明等）	4	50.0	50.0	—	—	—

(4) 世帯の状況について

問 23 現在のお住まいの状況について教えてください。(1つに○)

「持家（1戸建て・マンション）」の割合が78.8%と最も高く、次いで「賃貸（1戸建て、アパート、マンション）」の割合が18.5%となっています。



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1/2未満で「賃貸（1戸建て、アパート、マンション）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	持家（1戸建て・マ ンション）	県営・市営住宅	社宅	賃貸（1戸建て、ア パート、マ ンション）	その他	無回 答
全 体	546	78.8	1.6	0.9	18.5	0.2	—
中央値の1/2未満	38	60.5	5.3	—	34.2	—	—
中央値の1/2以上中 中央値未満	107	65.4	4.7	2.8	26.2	0.9	—
中央値以上	352	84.7	0.6	0.3	14.5	—	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「賃貸（1戸建て、アパート、マンション）」の割合が高くなっています。

単位：%

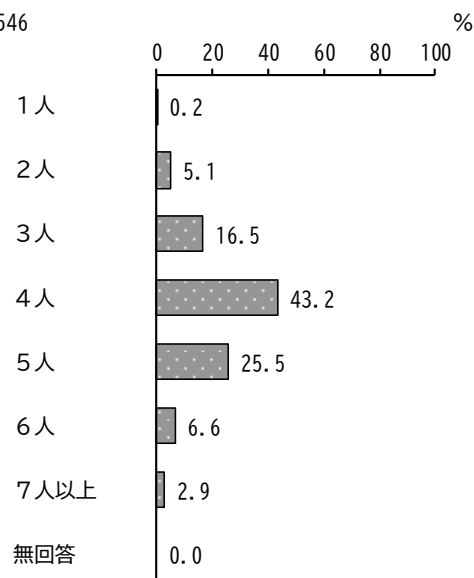
区分	回答者数 (件)	持家（1戸建て・マ ンション）	県営・市営住宅	社宅	賃貸（1戸建て、ア パート、マ ンション）	その他	無回 答
全 体	546	78.8	1.6	0.9	18.5	0.2	—
ふたり親世帯	482	82.6	1.0	0.8	15.4	0.2	—
ひとり親世帯	60	46.7	6.7	1.7	45.0	—	—
その他（不明等）	4	100.0	—	—	—	—	—

問 24 ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方（世帯員）は、あなたを含めて何人ですか。また、子どもの人数と現在の年齢区分を教えてください。（数字を記入）

世帯員人数（あなたを含めて）

「4人」の割合が 43.2%と最も高く、次いで
「5人」の割合が 25.5%、「3人」の割合が 16.5%
となっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
全 体	546	0.2	5.1	16.5	43.2	25.5	6.6	2.9	—
中央値の1／2未満	38	—	7.9	15.8	36.8	21.1	5.3	13.2	—
中央値の1／2以上中央値未満	107	—	7.5	16.8	33.6	23.4	13.1	5.6	—
中央値以上	352	0.3	4.5	17.9	44.9	26.7	4.8	0.9	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「3人」の割合が高くなっています。

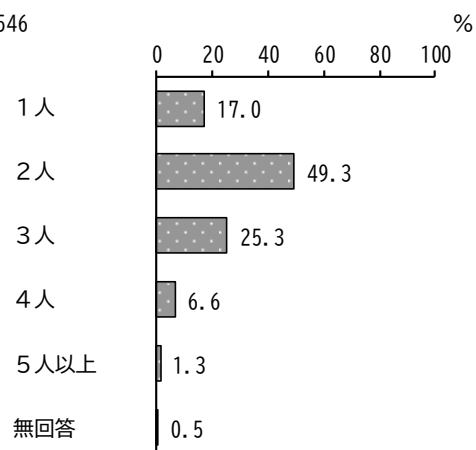
単位：%

区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
全 体	546	0.2	5.1	16.5	43.2	25.5	6.6	2.9	—
ふたり親世帯	482	—	2.1	13.9	46.7	27.4	7.3	2.7	—
ひとり親世帯	60	1.7	30.0	36.7	15.0	11.7	1.7	3.3	—
その他（不明等）	4	—	—	25.0	50.0	—	—	25.0	—

そのうち、子どもの人数

「2人」の割合が 49.3%と最も高く、次いで
「3人」の割合が 25.3%、「1人」の割合が 17.0%
となっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「3人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全 体	546	17.0	49.3	25.3	6.6	1.3	0.5
中央値の1／2未満	38	10.5	34.2	34.2	7.9	10.5	2.6
中央値の1／2以上中 央値未満	107	16.8	44.9	21.5	15.0	0.9	0.9
中央値以上	352	18.5	50.9	25.3	4.8	0.3	0.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「1人」の割合が高くなっています。

単位：%

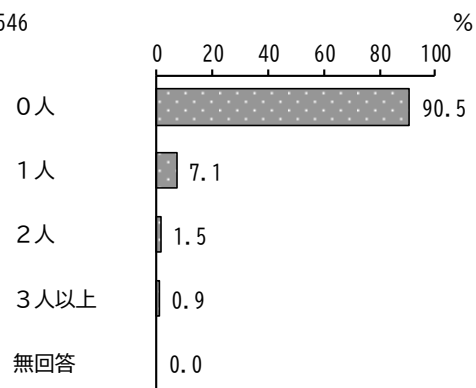
区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全 体	546	17.0	49.3	25.3	6.6	1.3	0.5
ふたり親世帯	482	14.5	51.0	26.8	6.4	0.8	0.4
ひとり親世帯	60	36.7	35.0	15.0	8.3	3.3	1.7
その他（不明等）	4	25.0	50.0	—	—	25.0	—

子どもの年齢区分

就学前

「0人」の割合が90.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	0人	1人	2人	3人以上	無回答
全 体	546	90.5	7.1	1.5	0.9	—
中央値の1／2未満	38	76.3	15.8	7.9	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	107	88.8	7.5	1.9	1.9	—
中央値以上	352	92.6	6.0	0.6	0.9	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

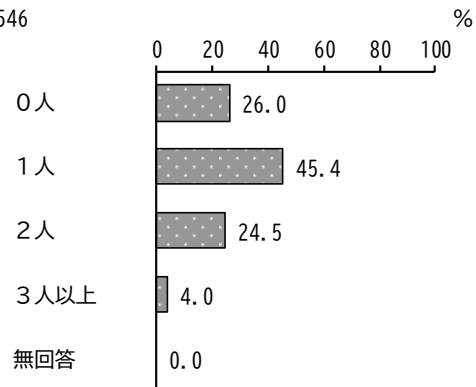
単位：%

区分	回答者数 (件)	0人	1人	2人	3人以上	無回答
全 体	546	90.5	7.1	1.5	0.9	—
ふたり親世帯	482	91.1	7.3	0.8	0.8	—
ひとり親世帯	60	86.7	5.0	6.7	1.7	—
その他（不明等）	4	75.0	25.0	—	—	—

小学生

「1人」の割合が45.4%と最も高く、次いで「0人」の割合が26.0%、「2人」の割合が24.5%となっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1/2未満で「2人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	0人	1人	2人	3人以上	無回答
全 体	546	26.0	45.4	24.5	4.0	—
中央値の1/2未満	38	23.7	39.5	31.6	5.3	—
中央値の1/2以上中央値未満	107	17.8	46.7	29.0	6.5	—
中央値以上	352	29.0	45.5	22.7	2.8	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「0人」の割合が高くなっています。

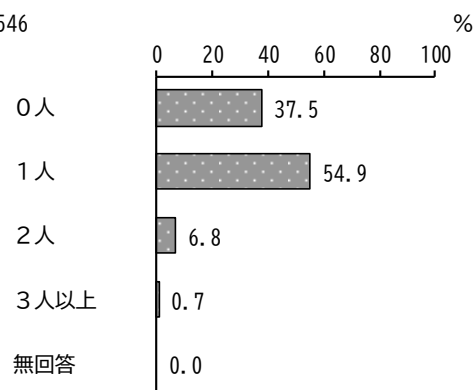
単位：%

区分	回答者数 (件)	0人	1人	2人	3人以上	無回答
全 体	546	26.0	45.4	24.5	4.0	—
ふたり親世帯	482	24.9	45.2	25.7	4.1	—
ひとり親世帯	60	36.7	46.7	13.3	3.3	—
その他（不明等）	4	—	50.0	50.0	—	—

中学生

「1人」の割合が 54.9%と最も高く、次いで
「0人」の割合が 37.5%となっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1 / 2以上中央値未満で「0人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	0人	1人	2人	3人以上	無回答
全 体	546	37.5	54.9	6.8	0.7	—
中央値の1 / 2未満	38	28.9	55.3	13.2	2.6	—
中央値の1 / 2以上中央 値未満	107	43.9	51.4	4.7	—	—
中央値以上	352	36.4	56.5	6.3	0.9	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

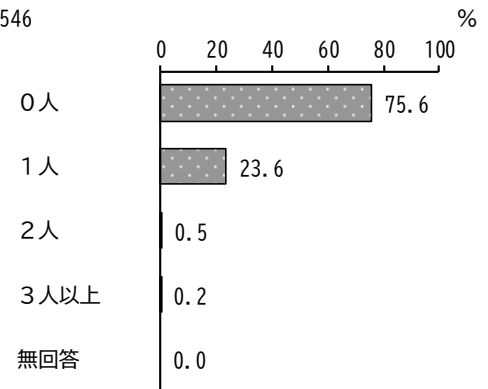
単位：%

区分	回答者数 (件)	0人	1人	2人	3人以上	無回答
全 体	546	37.5	54.9	6.8	0.7	—
ふたり親世帯	482	37.6	55.2	7.1	0.2	—
ひとり親世帯	60	36.7	53.3	5.0	5.0	—
その他（不明等）	4	50.0	50.0	—	—	—

高校生

「0人」の割合が75.6%と最も高く、次いで
「1人」の割合が23.6%となっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	0人	1人	2人	3人以上	無回答
全 体	546	75.6	23.6	0.5	0.2	—
中央値の1／2未満	38	73.7	23.7	2.6	—	—
中央値の1／2以上中央 値未満	107	75.7	24.3	—	—	—
中央値以上	352	75.6	23.6	0.6	0.3	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「0人」の割合が高くなっています。

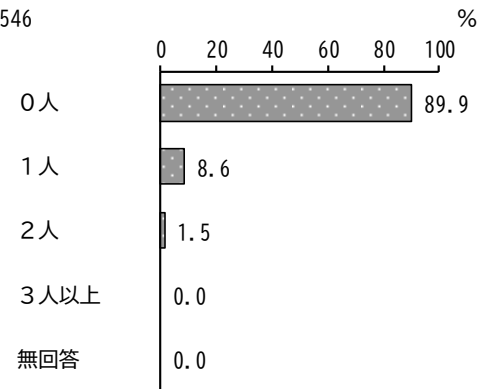
単位：%

区分	回答者数 (件)	0人	1人	2人	3人以上	無回答
全 体	546	75.6	23.6	0.5	0.2	—
ふたり親世帯	482	74.9	24.3	0.6	0.2	—
ひとり親世帯	60	81.7	18.3	—	—	—
その他（不明等）	4	75.0	25.0	—	—	—

大学生、短大生、専門学校生等

「0人」の割合が89.9%と最も高くなっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	0人	1人	2人	3人以上	無回答
全 体	546	89.9	8.6	1.5	—	—
中央値の1／2未満	38	92.1	7.9	—	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	107	87.9	11.2	0.9	—	—
中央値以上	352	89.8	8.2	2.0	—	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

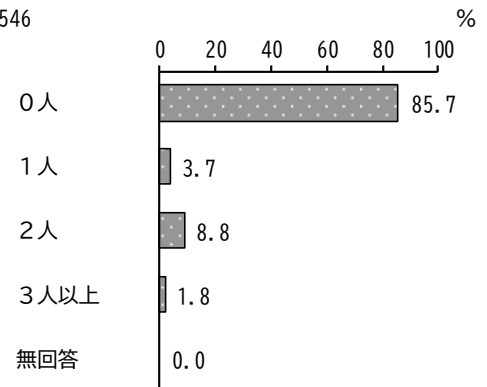
単位：%

区分	回答者数 (件)	0人	1人	2人	3人以上	無回答
全 体	546	89.9	8.6	1.5	—	—
ふたり親世帯	482	89.6	8.7	1.7	—	—
ひとり親世帯	60	91.7	8.3	—	—	—
その他（不明等）	4	100.0	—	—	—	—

成人

「0人」の割合が85.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	0人	1人	2人	3人以上	無回答
全 体	546	85.7	3.7	8.8	1.8	—
中央値の1／2未満	38	81.6	5.3	10.5	2.6	—
中央値の1／2以上中央値未満	107	86.9	5.6	4.7	2.8	—
中央値以上	352	86.4	3.1	9.4	1.1	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

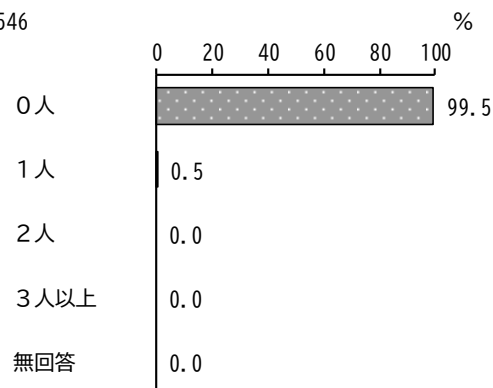
単位：%

区分	回答者数 (件)	0人	1人	2人	3人以上	無回答
全 体	546	85.7	3.7	8.8	1.8	—
ふたり親世帯	482	85.5	3.7	9.1	1.7	—
ひとり親世帯	60	88.3	3.3	6.7	1.7	—
その他（不明等）	4	75.0	—	—	25.0	—

その他

「0人」の割合が99.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	0人	1人	2人	3人以上	無回答
全 体	546	99.5	0.5	—	—	—
中央値の1／2未満	38	97.4	2.6	—	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	107	100.0	—	—	—	—
中央値以上	352	99.7	0.3	—	—	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	0人	1人	2人	3人以上	無回答
全 体	546	99.5	0.5	—	—	—
ふたり親世帯	482	99.6	0.4	—	—	—
ひとり親世帯	60	98.3	1.7	—	—	—
その他（不明等）	4	100.0	—	—	—	—

問 25 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。(1つに○)

「該当しない」の割合が88.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 546

該当しない

該当する(別居)

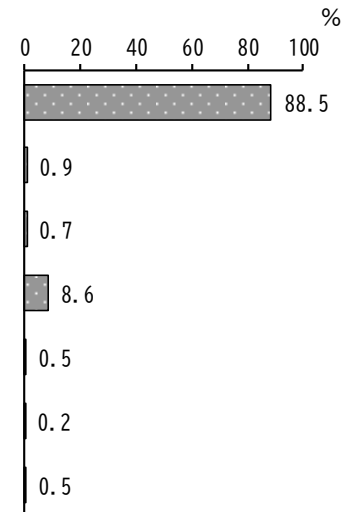
該当する(死別)

該当する(離婚)

該当する(未婚)

該当する(その他)

無回答



【その他の内容】

- ・書類上は母子と内縁の夫と生活しています。中身は普通の家族と変わりません。

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「該当しない」の割合が高くなっています。

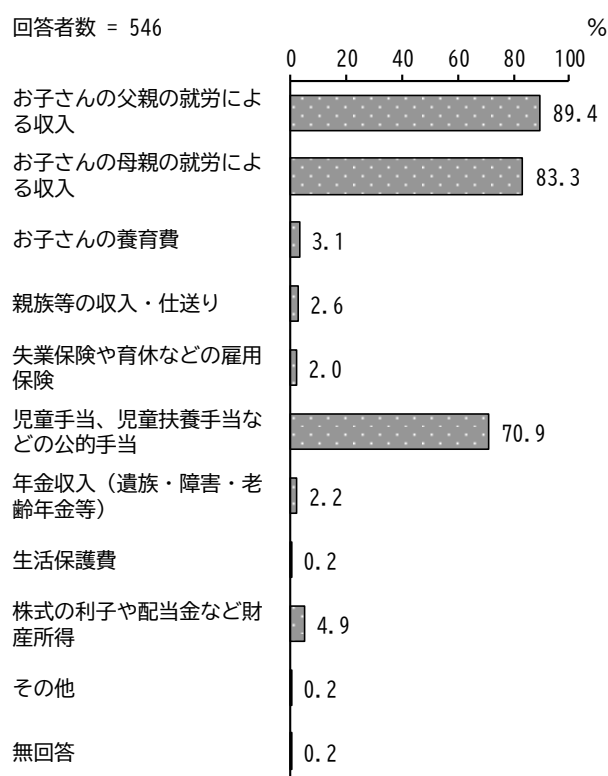
単位：%

区分	回答者数(件)	該当しない	該当する(別居)	該当する(死別)	該当する(離婚)	該当する(未婚)	該当する(その他)	無回答
全 体	546	88.5	0.9	0.7	8.6	0.5	0.2	0.5
中央値の1／2未満	38	50.0	—	2.6	47.4	—	—	—
中央値の1／2以上	107	81.3	1.9	—	15.9	—	—	0.9
中央値未満								
中央値以上	352	93.8	0.9	0.9	2.8	0.9	0.3	0.6

問 26 あなたの世帯全体では1年間に、以下の収入はありましたか。
(あてはまるものすべてに○)

「お子さんの父親の就労による収入」の割合が89.4%と最も高く、次いで「お子さんの母親の就労による収入」の割合が83.3%、「児童手当、児童扶養手当などの公的手当」の割合が70.9%となっています。

回答者数 = 546



【その他の内容】

・特別弔慰金

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「児童手当、児童扶養手当などの公的手当」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	お子さんの父親の就労による収入	お子さんの母親の就労による収入	お子さんの養育費	親族等の収入・仕送り	失業保険や育休などの雇用保険	児童手当、児童扶養手当などの公的手当	年金収入（遺族・障害・老齢年金等）	生活保護費	株式の利子や配当金など財産所得	その他	無回答
全 体	546	89.4	83.3	3.1	2.6	2.0	70.9	2.2	0.2	4.9	0.2	0.2
中央値の1／2未満	38	42.1	76.3	15.8	2.6	7.9	86.8	5.3	2.6	2.6	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	107	80.4	88.8	4.7	2.8	0.9	71.0	—	—	0.9	—	—
中央値以上	352	96.6	82.7	1.7	2.3	2.0	70.5	2.3	—	6.8	0.3	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ふたり親世帯で「お子さんの父親の就労による収入」の割合が高くなっています。

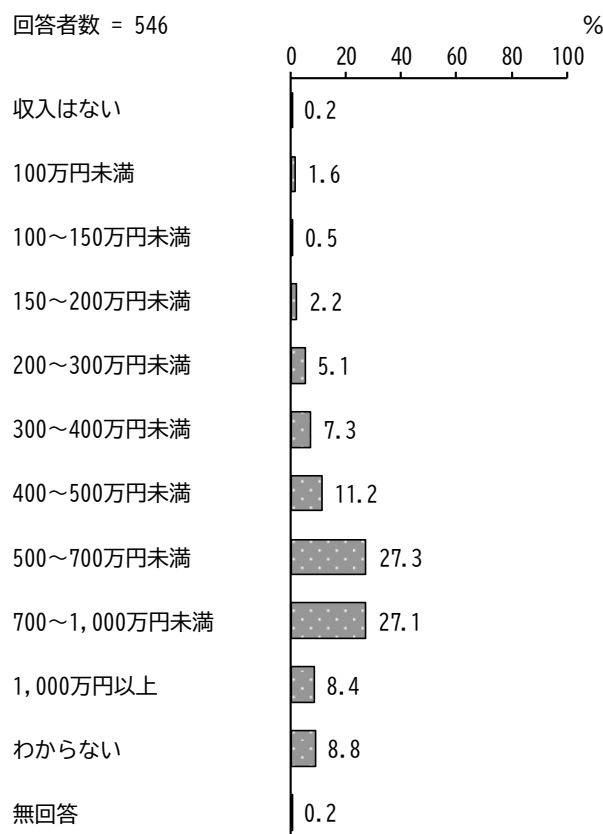
単位：％

区分	回答者数（件）	お子さんの父親の就労による収入	お子さんの母親の就労による収入	お子さんの養育費	親族等の収入・仕送り	失業保険や育休などの雇用保険	児童手当、児童扶養手当などの公的手当	年金収入（遺族・障がい・老齢年金等）	生活保護費	株式の利子や配当金など財産所得	その他	無回答
全 体	546	89.4	83.3	3.1	2.6	2.0	70.9	2.2	0.2	4.9	0.2	0.2
ふたり親世帯	482	98.3	84.6	0.8	2.7	1.7	70.7	0.8	—	5.0	0.2	0.2
ひとり親世帯	60	20.0	73.3	21.7	1.7	5.0	71.7	11.7	1.7	5.0	—	—
その他（不明等）	4	50.0	75.0	—	—	—	75.0	25.0	—	—	—	—

問 27 上記で答えていただいた、あなたの世帯全体の1年間の収入（税込）を合計した総額を教えてください。（1つに○）

「500～700 万円未満」の割合が 27.3%と最も高く、次いで「700～1,000 万円未満」の割合が 27.1%、「400～500 万円未満」の割合が 11.2%となっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「400～500万円未満」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	収入は ない	100 万円未 満	100 ～ 150 万円未 満	150 ～ 200 万円未 満	200 ～ 300 万円未 満	300 ～ 400 万円未 満	400 ～ 500 万円未 満	500 ～ 700 万円未 満	700 ～ 1,000 万円未 満	1,000 万円以 上	わか らない	無回 答
全 体	546	0.2	1.6	0.5	2.2	5.1	7.3	11.2	27.3	27.1	8.4	8.8	0.2
中央値の1 ／2未満	38	2.6	23.7	7.9	31.6	28.9	5.3	—	—	—	—	—	—
中央値の1 ／2以上中 央値未満	107	—	—	—	—	15.9	34.6	40.2	8.4	—	0.9	—	—
中央値以上	352	—	—	—	—	—	0.3	5.1	39.8	42.0	12.8	—	—

【家族構成別】

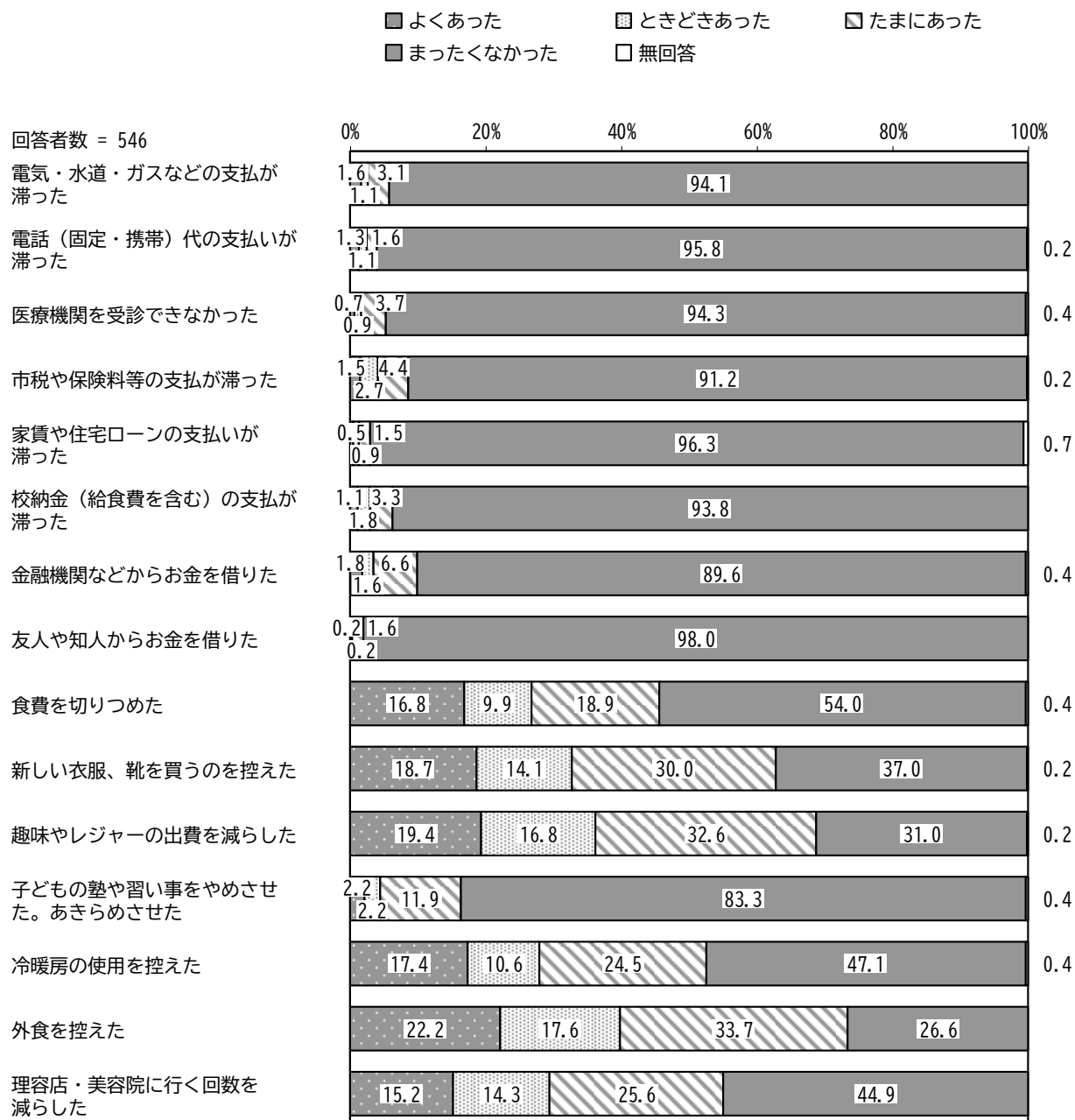
家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	収入は ない	100 万円未 満	100 ～ 150 万円未 満	150 ～ 200 万円未 満	200 ～ 300 万円未 満	300 ～ 400 万円未 満	400 ～ 500 万円未 満	500 ～ 700 万円未 満	700 ～ 1,000 万円未 満	1,000 万円以 上	わか らない	無回 答
全 体	546	0.2	1.6	0.5	2.2	5.1	7.3	11.2	27.3	27.1	8.4	8.8	0.2
ふたり親世 帯	482	—	1.0	0.4	0.8	1.7	6.8	11.2	29.7	29.7	8.9	9.5	0.2
ひとり親世 帯	60	1.7	6.7	1.7	13.3	31.7	10.0	10.0	10.0	6.7	5.0	3.3	—
その他（不 明等）	4	—	—	—	—	25.0	25.0	25.0	—	25.0	—	—	—

問 28 あなたの世帯では、過去 1 年間で経済的な理由で次のような経験をされたことがありますか（それぞれ一つに○）

『外食を控えた』で「よくあった」の割合が高くなっています。一方、『友人や知人からお金を借りた』で「まったくなかった」の割合が高くなっています。



電気・水道・ガスなどの支払が滞った

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあつた	ときどきあつた	たまにあつた	まったくなかった	無回答
全 体	546	1.6	1.1	3.1	94.1	—
中央値の1／2未満	38	10.5	5.3	5.3	78.9	—
中央値の1／2以上中央 値未満	107	1.9	1.9	8.4	87.9	—
中央値以上	352	0.9	0.3	1.7	97.2	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあつた	ときどきあつた	たまにあつた	まったくなかった	無回答
全 体	546	1.6	1.1	3.1	94.1	—
ふたり親世帯	482	1.2	0.8	2.9	95.0	—
ひとり親世帯	60	5.0	3.3	5.0	86.7	—
その他（不明等）	4	—	—	—	100.0	—

電話（固定・携帯）代の支払いが滞った

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあつた	ときどきあつた	たまにあつた	まったくなかった	無回答
全 体	546	1.3	1.1	1.6	95.8	0.2
中央値の1／2未満	38	7.9	2.6	2.6	84.2	2.6
中央値の1／2以上中央 値未満	107	2.8	1.9	4.7	90.7	—
中央値以上	352	0.3	0.3	0.9	98.6	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあつた	ときどきあつた	たまにあつた	まったくなかった	無回答
全 体	546	1.3	1.1	1.6	95.8	0.2
ふたり親世帯	482	1.0	1.0	1.5	96.5	—
ひとり親世帯	60	3.3	1.7	3.3	90.0	1.7
その他（不明等）	4	—	—	—	100.0	—

医療機関を受診できなかった

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	0.7	0.9	3.7	94.3	0.4
中央値の1／2未満	38	－	5.3	10.5	84.2	－
中央値の1／2以上中央 値未満	107	1.9	1.9	6.5	89.7	－
中央値以上	352	0.6	0.3	2.0	96.6	0.6

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	0.7	0.9	3.7	94.3	0.4
ふたり親世帯	482	0.8	0.8	3.5	94.4	0.4
ひとり親世帯	60	－	1.7	5.0	93.3	－
その他（不明等）	4	－	－	－	100.0	－

市税や保険料等の支払が滞った

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあつた	ときどきあつた	たまにあつた	まったくなかった	無回答
全 体	546	1.5	2.7	4.4	91.2	0.2
中央値の1／2未満	38	7.9	5.3	7.9	78.9	—
中央値の1／2以上中央 値未満	107	1.9	4.7	10.3	83.2	—
中央値以上	352	0.6	2.0	2.0	95.2	0.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあつた	ときどきあつた	たまにあつた	まったくなかった	無回答
全 体	546	1.5	2.7	4.4	91.2	0.2
ふたり親世帯	482	1.5	2.1	4.6	91.7	0.2
ひとり親世帯	60	1.7	6.7	3.3	88.3	—
その他（不明等）	4	—	25.0	—	75.0	—

家賃や住宅ローンの支払いが滞った

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあつた	ときどきあつた	たまにあつた	まったくなかった	無回答
全 体	546	0.5	0.9	1.5	96.3	0.7
中央値の1／2未満	38	2.6	2.6	5.3	86.8	2.6
中央値の1／2以上中央 値未満	107	0.9	0.9	3.7	93.5	0.9
中央値以上	352	0.3	0.6	0.3	98.6	0.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあつた	ときどきあつた	たまにあつた	まったくなかった	無回答
全 体	546	0.5	0.9	1.5	96.3	0.7
ふたり親世帯	482	0.6	0.6	1.2	96.9	0.6
ひとり親世帯	60	—	3.3	3.3	91.7	1.7
その他（不明等）	4	—	—	—	100.0	—

校納金（給食費を含む）の支払が滞った

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあつた	ときどきあつた	たまにあつた	まったくなかった	無回答
全 体	546	1.1	1.8	3.3	93.8	—
中央値の1／2未満	38	—	10.5	2.6	86.8	—
中央値の1／2以上中央 値未満	107	2.8	2.8	6.5	87.9	—
中央値以上	352	0.9	0.9	2.3	96.0	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあつた	ときどきあつた	たまにあつた	まったくなかった	無回答
全 体	546	1.1	1.8	3.3	93.8	—
ふたり親世帯	482	1.0	1.2	2.9	94.8	—
ひとり親世帯	60	1.7	6.7	6.7	85.0	—
その他（不明等）	4	—	—	—	100.0	—

金融機関などからお金を借りた

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	1.8	1.6	6.6	89.6	0.4
中央値の1／2未満	38	－	7.9	2.6	89.5	－
中央値の1／2以上中央 値未満	107	7.5	－	11.2	81.3	－
中央値以上	352	0.6	1.4	5.7	92.0	0.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	1.8	1.6	6.6	89.6	0.4
ふたり親世帯	482	1.5	1.7	6.6	89.8	0.4
ひとり親世帯	60	5.0	1.7	6.7	86.7	－
その他（不明等）	4	－	－	－	100.0	－

友人や知人からお金を借りた

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	0.2	0.2	1.6	98.0	—
中央値の1／2未満	38	2.6	—	2.6	94.7	—
中央値の1／2以上中央 値未満	107	—	0.9	4.7	94.4	—
中央値以上	352	—	—	0.6	99.4	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	0.2	0.2	1.6	98.0	—
ふたり親世帯	482	0.2	0.2	1.2	98.3	—
ひとり親世帯	60	—	—	5.0	95.0	—
その他（不明等）	4	—	—	—	100.0	—

食費を切りつめた

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「よくあった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	16.8	9.9	18.9	54.0	0.4
中央値の1／2未満	38	39.5	18.4	15.8	26.3	－
中央値の1／2以上中央 値未満	107	29.0	15.0	19.6	36.4	－
中央値以上	352	11.9	7.7	19.3	60.8	0.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「よくあった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	16.8	9.9	18.9	54.0	0.4
ふたり親世帯	482	14.5	10.4	19.3	55.4	0.4
ひとり親世帯	60	35.0	6.7	15.0	43.3	－
その他（不明等）	4	25.0	－	25.0	50.0	－

新しい衣服、靴を買うのを控えた

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「よくあった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	18.7	14.1	30.0	37.0	0.2
中央値の1／2未満	38	36.8	23.7	23.7	15.8	－
中央値の1／2以上中央 値未満	107	29.9	21.5	29.9	18.7	－
中央値以上	352	13.4	11.6	32.1	42.9	－

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「よくあった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	18.7	14.1	30.0	37.0	0.2
ふたり親世帯	482	17.2	13.7	30.9	38.0	0.2
ひとり親世帯	60	30.0	16.7	23.3	30.0	－
その他（不明等）	4	25.0	25.0	25.0	25.0	－

趣味やレジャーの出費を減らした

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「よくあった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	19.4	16.8	32.6	31.0	0.2
中央値の1／2未満	38	47.4	15.8	21.1	15.8	—
中央値の1／2以上中央値未満	107	31.8	21.5	29.0	17.8	—
中央値以上	352	13.1	16.5	34.9	35.5	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「よくあった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	19.4	16.8	32.6	31.0	0.2
ふたり親世帯	482	17.8	17.8	32.6	31.5	0.2
ひとり親世帯	60	31.7	10.0	31.7	26.7	—
その他（不明等）	4	25.0	—	50.0	25.0	—

子どもの塾や習い事をやめさせた。あきらめさせた

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「たまにあった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	2.2	2.2	11.9	83.3	0.4
中央値の1／2未満	38	5.3	2.6	18.4	73.7	—
中央値の1／2以上中央 値未満	107	4.7	3.7	14.0	77.6	—
中央値以上	352	1.1	2.0	11.1	85.8	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「たまにあった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	2.2	2.2	11.9	83.3	0.4
ふたり親世帯	482	2.1	2.3	11.0	84.2	0.4
ひとり親世帯	60	3.3	1.7	18.3	76.7	—
その他（不明等）	4	—	—	25.0	75.0	—

冷暖房の使用を控えた

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「よくあった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	17.4	10.6	24.5	47.1	0.4
中央値の1／2未満	38	34.2	13.2	23.7	26.3	2.6
中央値の1／2以上中央 値未満	107	24.3	9.3	29.9	35.5	0.9
中央値以上	352	14.5	10.8	23.9	50.9	－

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「よくあった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	17.4	10.6	24.5	47.1	0.4
ふたり親世帯	482	16.0	10.4	25.3	48.1	0.2
ひとり親世帯	60	26.7	11.7	20.0	40.0	1.7
その他（不明等）	4	50.0	25.0	－	25.0	－

外食を控えた

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「よくあった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	22.2	17.6	33.7	26.6	—
中央値の1／2未満	38	50.0	18.4	21.1	10.5	—
中央値の1／2以上中央 値未満	107	34.6	13.1	33.6	18.7	—
中央値以上	352	15.6	19.0	36.4	29.0	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「よくあった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	22.2	17.6	33.7	26.6	—
ふたり親世帯	482	20.3	18.9	34.6	26.1	—
ひとり親世帯	60	36.7	8.3	25.0	30.0	—
その他（不明等）	4	25.0	—	50.0	25.0	—

理容店・美容院に行く回数を減らした

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「よくあった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	15.2	14.3	25.6	44.9	—
中央値の1／2未満	38	36.8	31.6	15.8	15.8	—
中央値の1／2以上中央 値未満	107	27.1	15.9	29.0	28.0	—
中央値以上	352	8.8	11.6	27.0	52.6	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「よくあった」の割合が高くなっています。

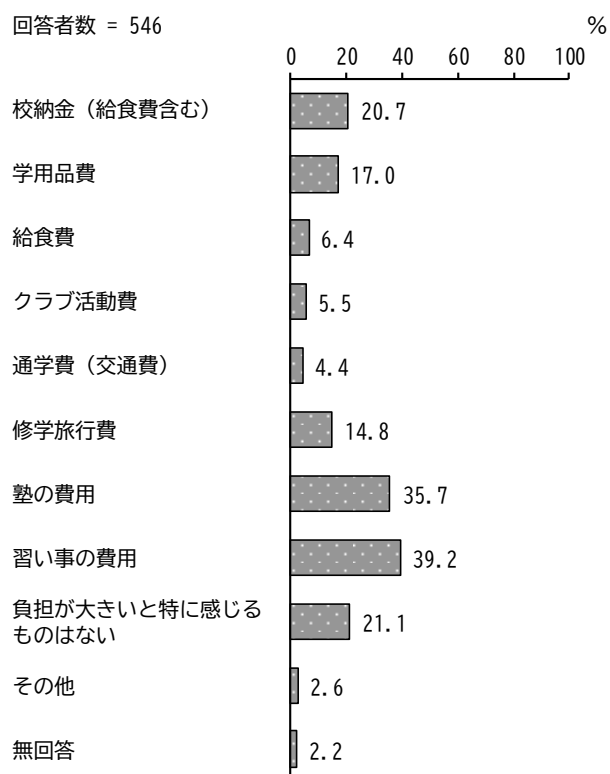
単位：％

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	たまにあった	まったくなかった	無回答
全 体	546	15.2	14.3	25.6	44.9	—
ふたり親世帯	482	13.5	13.9	26.8	45.9	—
ひとり親世帯	60	28.3	16.7	16.7	38.3	—
その他（不明等）	4	25.0	25.0	25.0	25.0	—

問 29 過去1年間で、子どもの教育費で負担が大きいと感じたものがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「習い事の費用」の割合が39.2%と最も高く、
次いで「塾の費用」の割合が35.7%、「負担が大
きいと特に感じるものはない」の割合が21.1%と
なっています。

回答者数 = 546



【その他の内容】

- ・ フリースクールへの支払い。
- ・ まだ修学旅行費は支払っていないが積立ではなく、一括になるときついと思う。
- ・ 子ども本人の娯楽費 (友達と遊びに行く、食事に行く、そのために着る洋服等)
- ・ 成長と共に毎シーズン服の購入 (体操服も市役所のリユースとして取り入れて欲しい)
- ・ 新学期や季節の変わり目や、学校の行事等が兄弟で重なり衣服やカバンの準備をしないといけないと金額出費を重く感じる。

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「校納金（給食費含む）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	校納金 (給食費含む)	学用品費	給食費	クラブ活動費	通学費 (交通費)	修学旅行費	塾の費用	習い事の費用	負担が大きいと特に 感じるものはない	その他	無回答
全 体	546	20.7	17.0	6.4	5.5	4.4	14.8	35.7	39.2	21.1	2.6	2.2
中央値の1／2未満	38	34.2	23.7	10.5	10.5	5.3	18.4	36.8	34.2	18.4	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	107	33.6	29.0	12.1	7.5	7.5	23.4	22.4	32.7	20.6	4.7	1.9
中央値以上	352	15.3	12.5	4.5	4.3	4.0	11.6	40.9	40.6	22.2	2.6	2.0

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

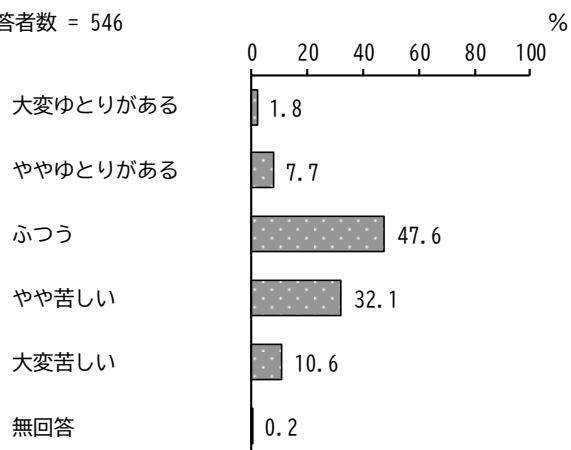
単位：％

区分	回答者数 (件)	校納金 (給食費含む)	学用品費	給食費	クラブ活動費	通学費 (交通費)	修学旅行費	塾の費用	習い事の費用	負担が大きいと特に 感じるものはない	その他	無回答
全 体	546	20.7	17.0	6.4	5.5	4.4	14.8	35.7	39.2	21.1	2.6	2.2
ふたり親世帯	482	20.1	16.6	6.2	5.2	4.1	14.9	36.7	39.2	20.5	2.7	2.3
ひとり親世帯	60	25.0	21.7	8.3	8.3	6.7	13.3	30.0	40.0	23.3	1.7	1.7
その他（不明等）	4	25.0	—	—	—	—	25.0	—	25.0	50.0	—	—

問 30 経済的にみて、現在の生活状況についてどのように感じていますか。(1つに○)

「ふつう」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 32.1%、「大変苦しい」の割合が 10.6%となっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1/2未満で「やや苦しい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	大変ゆとりがある	ややゆとりがある	ふつう	やや苦しい	大変苦しい	無回答
全 体	546	1.8	7.7	47.6	32.1	10.6	0.2
中央値の1/2未満	38	—	2.6	18.4	55.3	23.7	—
中央値の1/2以上中 中央値未満	107	0.9	2.8	31.8	42.1	22.4	—
中央値以上	352	2.6	10.5	55.4	25.9	5.7	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「大変苦しい」の割合が高くなっています。

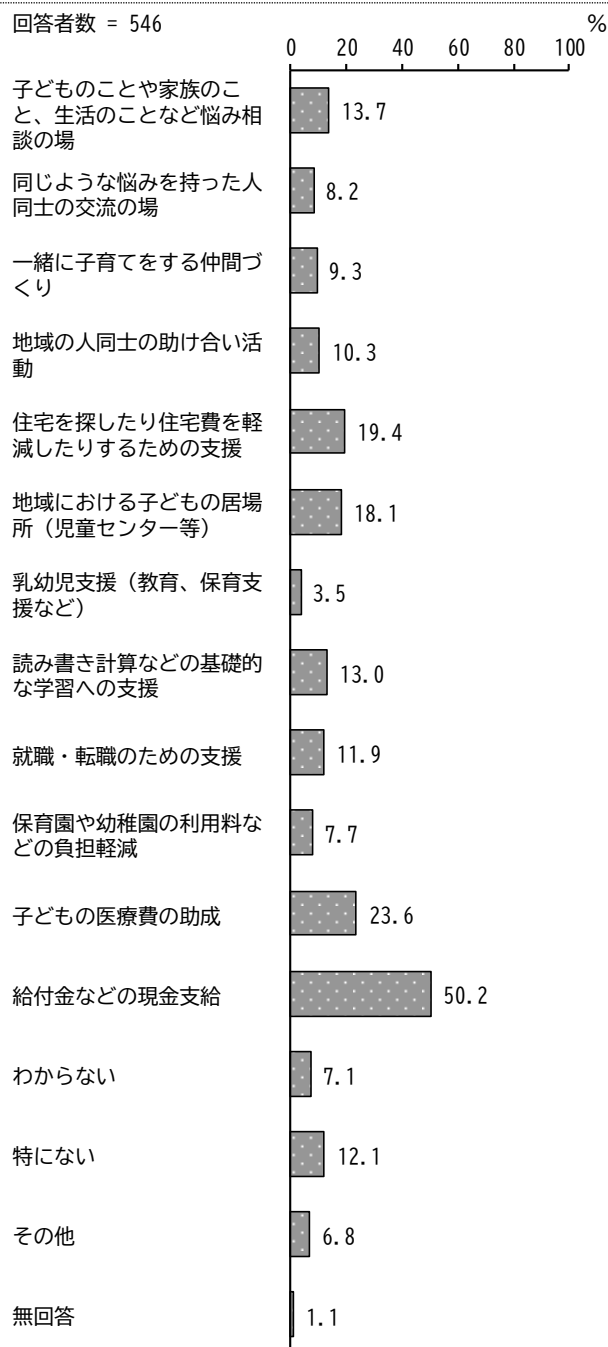
単位：%

区分	回答者数 (件)	大変ゆとりがある	ややゆとりがある	ふつう	やや苦しい	大変苦しい	無回答
全 体	546	1.8	7.7	47.6	32.1	10.6	0.2
ふたり親世帯	482	1.5	8.1	49.4	31.3	9.5	0.2
ひとり親世帯	60	5.0	5.0	33.3	38.3	18.3	—
その他(不明等)	4	—	—	50.0	25.0	25.0	—

(5) 市の子育て支援について

問 31 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどうのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

「給付金などの現金支給」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「子どもの医療費の助成」の割合が 23.6%、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援」の割合が 19.4%となっています。



【その他の内容】

- ・学費無償化
- ・給食費無償化
- ・いじめ、犯罪など社会教育
- ・小学校における PTA 活動のあり方の改善
- ・大学までの教育費負担を減らしてほしい。
- ・多子世帯への援助、対策、給付。大学進学においての支援
- ・子どもが自由に運動できる場所があったら良いと思います。
- ・高額所得だと児童手当は無く、税金だけ高い。子どもには平等に手当を頂きたいです。
- ・子どもが希望する学習環境をえられるように所得に関係なく、私立高校や大学費用の支援がほしい。
- ・物価が上がって、多少給与が上がっても、手当を下げられてしまっは、生活費が足りない。進学費用が準備できない。
- ・習い事、塾の月謝が高いので支援があれば助かります。学習の向上に意欲があるのに経済的な理由で出来ないのは心苦しい。

など

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「給付金などの現金支給」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	子どものことや家族 のこと、生活のこと など悩み相談の場	同じような悩みを持 った人同士の交流の 場	一緒に子育てをする 仲間づくり	地域の人同士の助け 合い活動	住宅を減したり住宅 費を軽減したりする ための支援	地域における子ども の居場所（児童セン ター等）	乳幼児支援（教育、保 育支援など）	読み書き計算などの 基礎的な学習への支 援
全 体	546	13.7	8.2	9.3	10.3	19.4	18.1	3.5	13.0
中央値の1／2 未満	38	18.4	10.5	10.5	5.3	28.9	10.5	－	2.6
中央値の1／2 以上中央値未満	107	16.8	12.1	11.2	8.4	24.3	15.0	4.7	18.7
中央値以上	352	12.8	7.1	8.8	11.1	16.8	20.2	3.4	12.5

区分	就職・転職のための 支援	保育園や幼稚園の利 用料などの負担軽減	子どもの医療費の助 成	給付金などの現金支 給	わからない	特にな い	その他	無回 答
全 体	11.9	7.7	23.6	50.2	7.1	12.1	6.8	1.1
中央値の1／2 未満	21.1	10.5	13.2	65.8	5.3	7.9	－	－
中央値の1／2 以上中央値未満	13.1	9.3	23.4	60.7	7.5	8.4	4.7	0.9
中央値以上	9.9	6.3	25.9	46.9	6.0	13.1	8.5	0.9

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	子どものことや家族 のこと、生活のこと など悩み相談の場	同じような悩みを持 った人同士の交流の 場	一緒に子育てをする 仲間づくり	地域の人同士の助け 合い活動	住宅を探したり住宅 費を軽減したりする ための支援	地域における子ども の居場所（児童セン ター等）	乳幼児支援（教育、保 育支援など）	読み書き計算などの 基礎的な学習への支 援
全 体	546	13.7	8.2	9.3	10.3	19.4	18.1	3.5	13.0
ふたり親世帯	482	13.5	8.3	9.8	10.8	18.0	18.7	3.3	13.3
ひとり親世帯	60	16.7	8.3	6.7	6.7	31.7	13.3	5.0	11.7
その他（不明等）	4	—	—	—	—	—	25.0	—	—

区分	就職・転職のための 支援	保育園や幼稚園の利 用料などの負担軽減	子どもの医療費の助 成	給付金などの現金支 給	わからない	特にな い	その他	無回 答
全 体	11.9	7.7	23.6	50.2	7.1	12.1	6.8	1.1
ふたり親世帯	11.8	7.5	24.5	49.0	6.8	12.4	7.1	0.8
ひとり親世帯	11.7	10.0	18.3	60.0	8.3	10.0	5.0	1.7
その他（不明等）	25.0	—	—	50.0	25.0	—	—	25.0

問 32 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
 (a～dそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○) また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤のあてはまるもの1つに○)

a 就学援助

「利用したことがない」の割合が81.1%と最も高く、次いで「現在利用している」の割合が12.3%となっています。

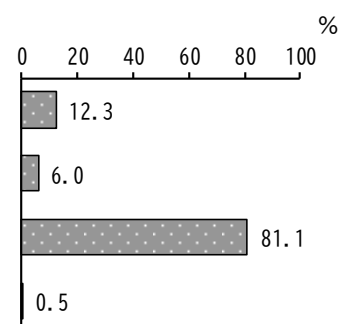
回答者数 = 546

現在利用している

現在利用していないが、以前利用したことがある

利用したことがない

無回答



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「現在利用している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全 体	546	12.3	6.0	81.1	0.5
中央値の1／2未満	38	65.8	7.9	26.3	—
中央値の1／2以上中央値未満	107	29.0	12.1	57.9	0.9
中央値以上	352	1.4	4.8	93.5	0.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「現在利用している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全 体	546	12.3	6.0	81.1	0.5
ふたり親世帯	482	6.6	5.4	87.6	0.4
ひとり親世帯	60	56.7	10.0	33.3	—
その他(不明等)	4	25.0	25.0	25.0	25.0

利用したことがない理由

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）
 だと思うから」の割合が93.7%と最も高くなっ
 ています。

回答者数 = 443

制度の対象外（収入等の条
 件を満たさない）だと思っ
 から

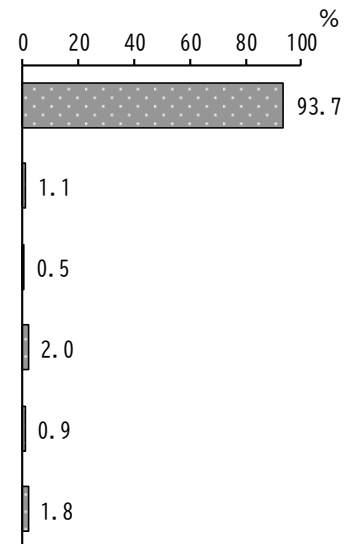
利用はできるが、特に利用
 したいと思わなかったから

利用したいが、今までこの
 支援制度を知らなかったか
 ら

利用したいが、手続きがわか
 らなかったり、利用しにく
 いから

それ以外の理由

無回答



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思っから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
全 体	443	93.7	1.1	0.5	2.0	0.9	1.8
中央値の1／2未満	10	50.0	20.0	—	30.0	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	62	88.7	1.6	3.2	1.6	—	4.8
中央値以上	329	97.3	0.3	—	0.6	0.9	0.9

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

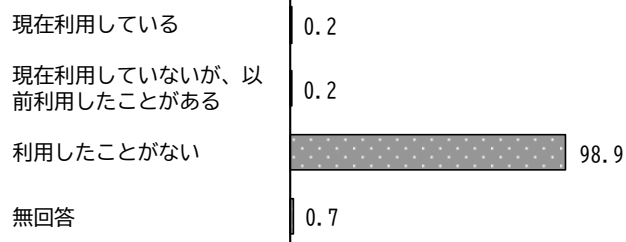
単位：%

区分	回答者数（件）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思っから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
全 体	443	93.7	1.1	0.5	2.0	0.9	1.8
ふたり親世帯	422	94.3	0.5	0.5	1.9	0.9	1.9
ひとり親世帯	20	85.0	10.0	—	5.0	—	—
その他（不明等）	1	—	100.0	—	—	—	—

b 生活保護

「利用したことがない」の割合が98.9%と最も高くなっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全 体	546	0.2	0.2	98.9	0.7
中央値の1／2未満	38	—	—	97.4	2.6
中央値の1／2以上中央値未満	107	—	0.9	98.1	0.9
中央値以上	352	0.3	—	99.1	0.6

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全 体	546	0.2	0.2	98.9	0.7
ふたり親世帯	482	0.2	0.2	99.2	0.4
ひとり親世帯	60	—	—	98.3	1.7
その他(不明等)	4	—	—	75.0	25.0

利用したことがない理由

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）
 だと思うから」の割合が94.6%と最も高くなっ
 ています。

回答者数 = 540

制度の対象外（収入等の条
 件を満たさない）だと思っ
 たら

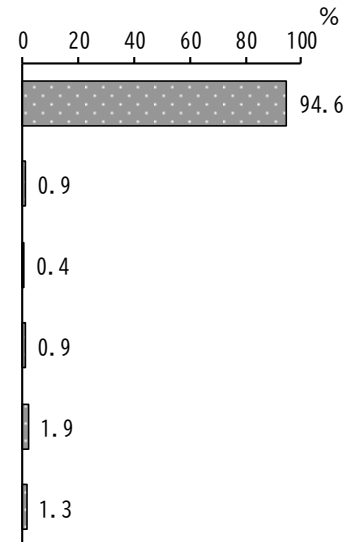
利用はできるが、特に利用
 したいと思わなかったから

利用したいが、今までこの
 支援制度を知らなかったか
 ら

利用したいが、手続きがわか
 らなかったり、利用しにく
 いから

それ以外の理由

無回答



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	制度の対象外（収入 等の条件を満たさ ない）だと思っ たら	利用はできるが、特 に利用したいと思 わなかったから	利用したいが、今 までの支援制度を 知らなかったから	利用したいが、手 続きがわからな かったり、利用し にくいから	それ以外の理由	無 回 答
全 体	540	94.6	0.9	0.4	0.9	1.9	1.3
中央値の1／2未満	37	75.7	8.1	5.4	8.1	2.7	—
中央値の1／2以上中 央値未満	105	93.3	1.0	—	1.0	2.9	1.9
中央値以上	349	97.4	0.3	—	—	1.7	0.6

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

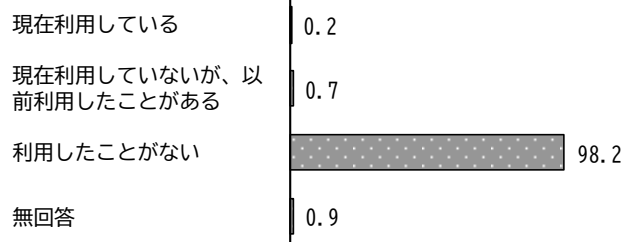
単位：%

区分	回答者数 (件)	制度の対象外（収入 等の条件を満たさ ない）だと思っ たら	利用はできるが、特 に利用したいと思 わなかったから	利用したいが、今 までの支援制度を 知らなかったから	利用したいが、手 続きがわからな かったり、利用し にくいから	それ以外の理由	無 回 答
全 体	540	94.6	0.9	0.4	0.9	1.9	1.3
ふたり親世帯	478	96.4	—	0.4	0.6	1.3	1.3
ひとり親世帯	59	81.4	6.8	—	3.4	6.8	1.7
その他（不明等）	3	66.7	33.3	—	—	—	—

c 生活困窮者の自立支援相談窓口

「利用したことがない」の割合が98.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 546



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全 体	546	0.2	0.7	98.2	0.9
中央値の1／2未満	38	2.6	—	94.7	2.6
中央値の1／2以上中央値未満	107	—	2.8	95.3	1.9
中央値以上	352	—	0.3	99.4	0.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全 体	546	0.2	0.7	98.2	0.9
ふたり親世帯	482	—	0.8	98.8	0.4
ひとり親世帯	60	1.7	—	95.0	3.3
その他(不明等)	4	—	—	75.0	25.0

利用したことがない理由

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）
 だと思うから」の割合が91.6%と最も高くなっ
 ています。

回答者数 = 536

制度の対象外（収入等の条
 件を満たさない）だと思っ
 たら

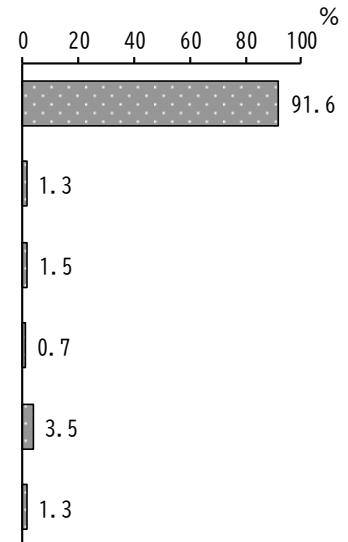
利用はできるが、特に利用
 したいと思わなかったから

利用したいが、今までこの
 支援制度を知らなかったか
 ら

利用したいが、手続きがわか
 らなかったり、利用しにく
 いから

それ以外の理由

無回答



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思ったら	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
全 体	536	91.6	1.3	1.5	0.7	3.5	1.3
中央値の1／2未満	36	66.7	8.3	5.6	8.3	11.1	—
中央値の1／2以上中央値未満	102	85.3	2.0	3.9	—	6.9	2.0
中央値以上	350	96.3	0.6	0.3	—	2.0	0.9

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思ったら	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
全 体	536	91.6	1.3	1.5	0.7	3.5	1.3
ふたり親世帯	476	93.9	0.6	1.1	0.6	2.5	1.3
ひとり親世帯	57	73.7	5.3	5.3	1.8	12.3	1.8
その他（不明等）	3	66.7	33.3	—	—	—	—

d 児童扶養手当

「利用したことがない」の割合が83.5%と最も高く、次いで「現在利用している」の割合が10.6%となっています。

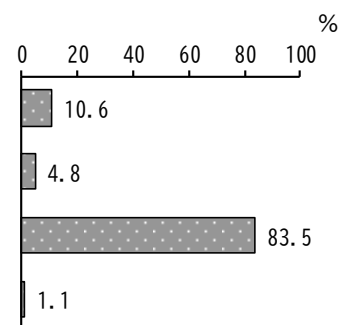
回答者数 = 546

現在利用している

現在利用していないが、以前利用したことがある

利用したことがない

無回答



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「現在利用している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全 体	546	10.6	4.8	83.5	1.1
中央値の1／2未満	38	39.5	10.5	50.0	—
中央値の1／2以上中央値未満	107	17.8	5.6	74.8	1.9
中央値以上	352	5.4	4.3	89.5	0.9

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「現在利用している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全 体	546	10.6	4.8	83.5	1.1
ふたり親世帯	482	5.6	3.1	90.2	1.0
ひとり親世帯	60	51.7	15.0	33.3	—
その他（不明等）	4	—	50.0	25.0	25.0

利用したことがない理由

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）
だと思ふから」の割合が95.2%と最も高くなっ
ています。

回答者数 = 456

制度の対象外（収入等の条
件を満たさない）だと思
うから

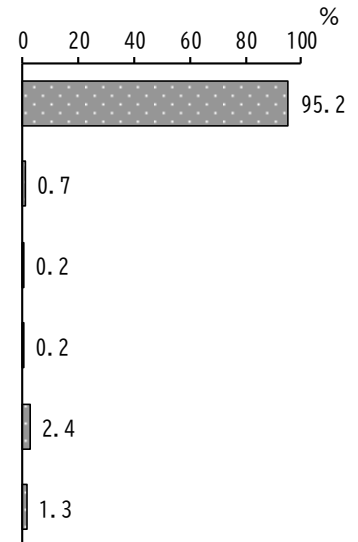
利用はできるが、特に利用
したいと思わなかったから

利用したいが、今までこの
支援制度を知らなかったか
ら

利用したいが、手続きがわか
らなかったり、利用しにく
いから

それ以外の理由

無回答



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思ふから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
全 体	456	95.2	0.7	0.2	0.2	2.4	1.3
中央値の1／2未満	19	73.7	10.5	—	5.3	10.5	—
中央値の1／2以上中央値未満	80	93.8	—	—	—	3.8	2.5
中央値以上	315	96.8	0.3	0.3	—	1.6	1.0

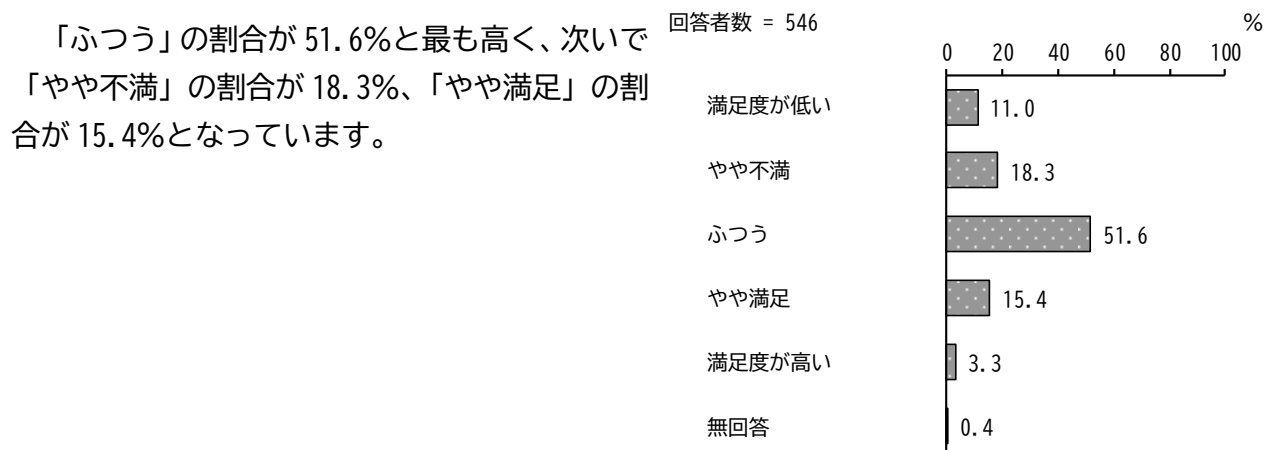
【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思ふから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
全 体	456	95.2	0.7	0.2	0.2	2.4	1.3
ふたり親世帯	435	96.6	0.2	—	0.2	1.6	1.4
ひとり親世帯	20	70.0	5.0	5.0	—	20.0	—
その他（不明等）	1	—	100.0	—	—	—	—

問 33 子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。



【満足度が低いと回答した理由】

- ・小さい子ばかりが対象だが実は大きい子のほうが大変。
- ・低所得者ばかりにお金を配っている。配るならみんなに配るべき。
- ・チルドレンファーストと言っているが、全くそうではない。言葉で発信してるだけで、アピールでしかない。
- ・リーパスプラザこがを学習の場に利用したいが遠く、駐車場も少ない。バス代も高く、本数も少なく、運行経路も時間がかかり不便。イベントがあっても交通の便が悪く行きづらい。
- ・中間層は税金ばかりとられて大変なのに支援はない。母子家庭や生活保護者ばかり優遇している。高校、大学子ども進学が当然の時代に奨学金を借りてまでいく学校のメリットは何なのか。共働きでお金を稼ぐかわりに家族の時間はない。 など

【やや不満と回答した理由】

- ・中学の部活の時間が少ない。
- ・児童手当がもう少しあれば子どもがしたい習い事など行かせられる。
- ・学力面で気になる。日々の宿題や長期休みの宿題が少ないかなと思う。特に中学校はワークがなかったり、もっとしっかり勉強に力をいれてほしいと思う。
- ・2学期制や授業時間、部活動の活動時間・夏休みの短縮などによって、子どもたちが楽しく「こども時代」を過ごせるような環境が作られているのか疑問。先生の働き方改革も視野に入れているだろうが、もう一度子どもたちの視点に立って良く考えてみてほしい。
- ・高校、大学と進学するに連れて金銭的に負担が大きい。また、子どもたちがコロナの影響で運動会短縮、遠足が校外から校内へ、バザー等の行事が無くなり『体験』の場が減っていると思う。 など

【ふつうと回答した理由】

- ・ 支援について特に何も考えたことがない。
- ・ 良いとも思わないし、悪いとも思わないから。
- ・ 学習支援体制をもっと整えて欲しい。学習に遅れのある子に対する特別なアプローチがほしい。
- ・ 同世代が多く集まっているし、子どもが学年関係なく遊んでくれるので、環境は良いと思っている。
- ・ 支援が厚いかと言われたら厚くはない。薄くもない。学校のリユース等の取組はとても助かっている。

など

【やや満足と回答した理由】

- ・ 特に何か困るようなことはなかったから。
- ・ 医療費がかからなくなったのでとても助かっている。
- ・ ひとり親の支援援助があるのは大変助かる。
- ・ 子どもが、児童館に行くのが楽しそう。もう少し児童館の数があるといいなと思う。
- ・ 小学校に入る前にサンコスモの療育に通っていたが、親子共々本当に助かった。小学校へ丁寧につながりいただき、サポートを受けることができた。

など

【満足度が高いと回答した理由】

- ・ 子どもの医療費免除は大変助かっている。
- ・ 今年（令和6年）の4月から医療費がかからなくなったから。
- ・ 小学校も人数が少なく（市内全小・中学校全学年で少人数学級編制（原則 35 人以下学級））、子どもがのびのび生活できている。
- ・ 高校生まで医療費がかからないこと。子どもが、ずっと薬を飲み続けなくていいので、本当に助かる。
- ・ 児童センターやアンビシャス広場など、子どもたちの居場所も設けられていてとても良いと思う。

など

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「やや満足」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足度が低い	やや不満	ふつう	やや満足	満足度が高い	無回答
全 体	546	11.0	18.3	51.6	15.4	3.3	0.4
中央値の1／2未満	38	13.2	21.1	36.8	23.7	5.3	－
中央値の1／2以上中央値未満	107	10.3	20.6	55.1	11.2	1.9	0.9
中央値以上	352	11.1	17.0	52.3	15.9	3.4	0.3

【家族構成別】

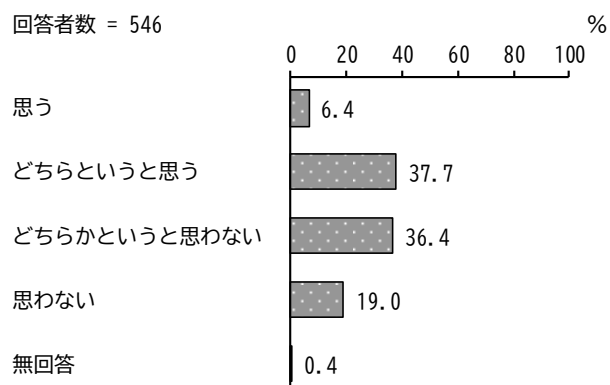
家族構成別にみると、ひとり親世帯で「満足度が低い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	満足度が低い	やや不満	ふつう	やや満足	満足度が高い	無回答
全 体	546	11.0	18.3	51.6	15.4	3.3	0.4
ふたり親世帯	482	9.5	19.1	52.9	15.4	2.9	0.2
ひとり親世帯	60	21.7	13.3	41.7	16.7	6.7	－
その他（不明等）	4	25.0	－	50.0	－	－	25.0

問 34 あなたは古賀市がチルドレン・ファーストのまちだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「どちらかという思う」の割合が37.7%と最も高く、次いで「どちらかという思わない」の割合が36.4%、「思わない」の割合が19.0%となっています。



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「どちらかという思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	思う	どちらかという 思う	どちらかという 思わない	思わない	無回答
全 体	546	6.4	37.7	36.4	19.0	0.4
中央値の1／2未満	38	7.9	36.8	42.1	13.2	—
中央値の1／2以上中央 値未満	107	5.6	42.1	34.6	17.8	—
中央値以上	352	7.1	36.9	36.1	19.3	0.6

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	思う	どちらかという 思う	どちらかという 思わない	思わない	無回答
全 体	546	6.4	37.7	36.4	19.0	0.4
ふたり親世帯	482	6.2	38.4	37.1	17.8	0.4
ひとり親世帯	60	8.3	31.7	30.0	30.0	—
その他（不明等）	4	—	50.0	50.0	—	—

6 若者

(1) 普段の生活について

問1 あなたが同居している方で、あてはまる人をお答えください。また、同居している人数（あなたも含め）も教えてください。

(1) 同居している方（○はいくつでも）

「母」の割合が50.6%と最も高く、次いで「配偶者・パートナー」の割合が42.1%、「父」の割合が38.7%となっています。

回答者数 = 235

父

母

兄

姉

弟

妹

祖父

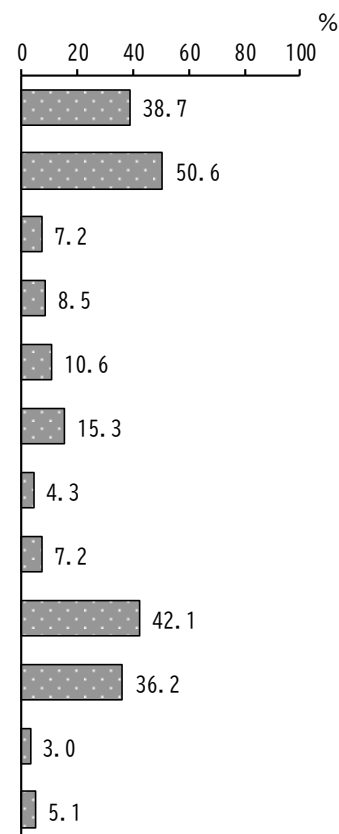
祖母

配偶者・パートナー

ご自身のお子さん

その他

無回答



【その他の内容】

- ・義妹
- ・一人暮らし
- ・叔父
- ・姪
- ・姉家族

(2) 同居している人数（あなたも含め）

「4人」の割合が32.3%と最も高く、次いで「3人」の割合が27.7%、「5人」の割合が14.5%となっています。

回答者数 = 235

1人

2人

3人

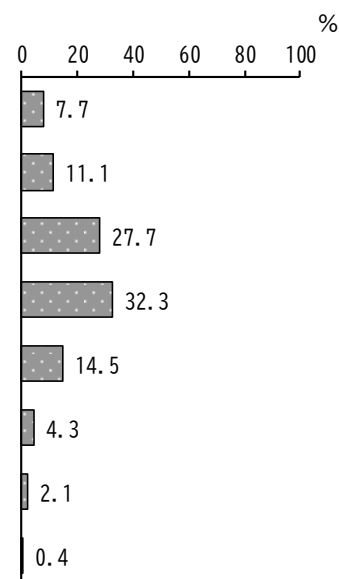
4人

5人

6人

7人以上

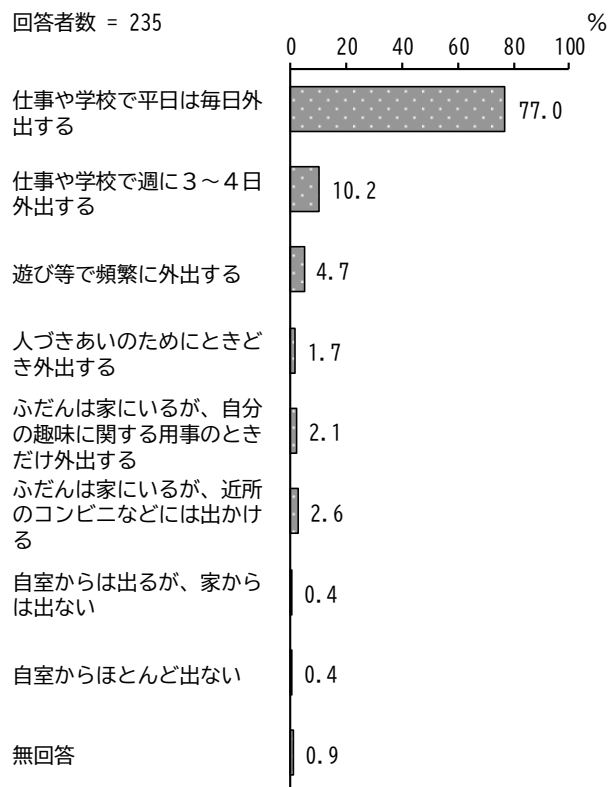
無回答



問2 ふだんどのくらい外出しますか。(○はひとつだけ)

「仕事や学校で平日は毎日外出する」の割合が77.0%と最も高く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」の割合が10.2%となっています。

回答者数 = 235

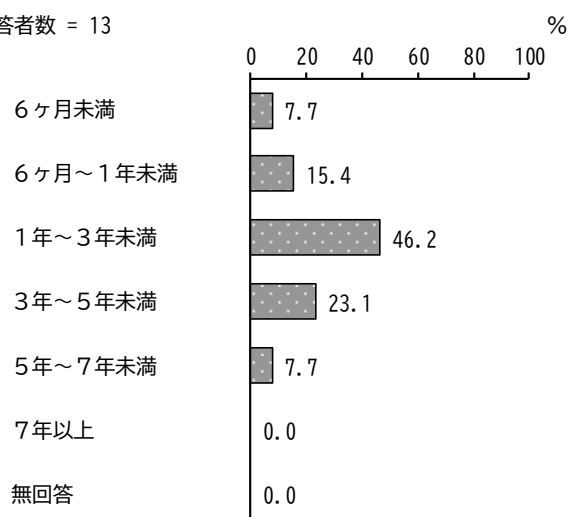


問2で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」～「自室からほとんど出ない」と答えた方のみ

問3 現在の状態となってどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

「1年～3年未満」の割合が46.2%と最も高く、次いで「3年～5年未満」の割合が23.1%、「6ヶ月～1年未満」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 13

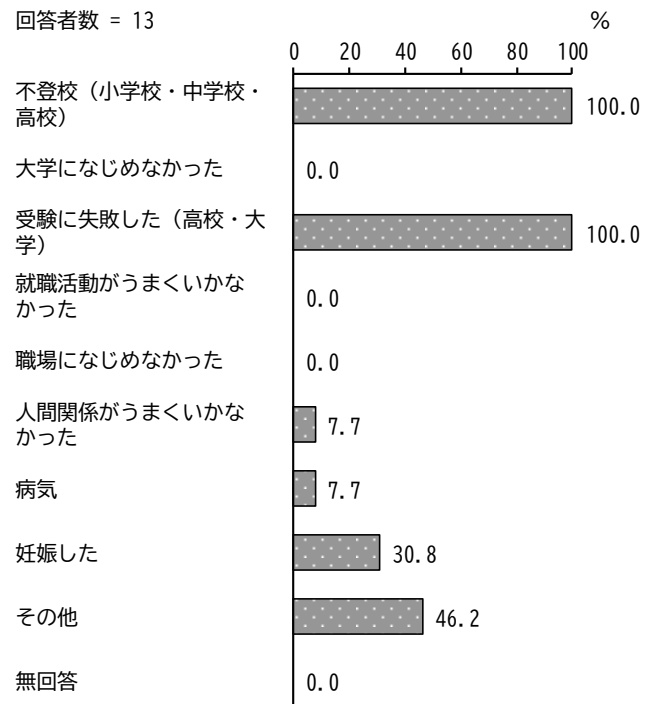


問2で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」～「自室からほとんど出ない」と答えた方のみ

問4 現在の状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

「不登校（小学校・中学校・高校）」、「受験に失敗した（高校・大学）」の割合が100.0%と最も高く、次いで「妊娠した」の割合が30.8%となっています。

回答者数 = 13



【病気になった方の病名】

- ・多極性障がい

【その他の内容】

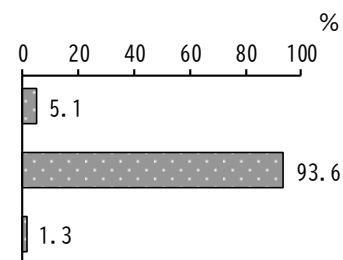
- ・結婚して専業になったから
- ・人の視線が怖い
- ・在宅で仕事をしているから
- ・祖母の介護のために仕事を辞めた。寝たきりになったので再就職し施設に入れるか検討中。

問5 あなたの学生時代、家族の中にあなたがお世話（ケア）をしている人はいます（した）か。（ここで「お世話」とは本来大人がやっていると想定されている家事や家族の世話などをすることです。）（○は1つだけ）

「いる（いた）」の割合が5.1%、「いない（いなかった）」の割合が93.6%となっています。

回答者数 = 235

いる（いた）
いない（いなかった）
無回答



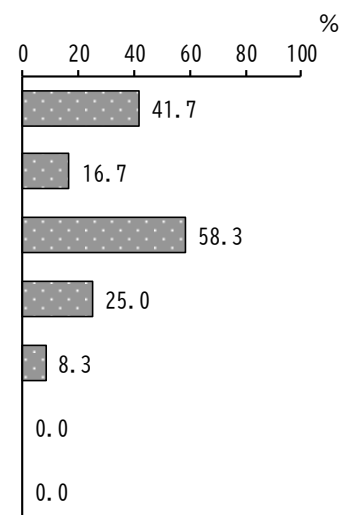
問5で「いる（いた）」と答えた方のみ

問6（1）お世話（ケア）を必要としている方（していた方）はどなたですか。（○はいくつでも）

「祖母」の割合が58.3%と最も高く、次いで「母」の割合が41.7%、「祖父」の割合が25.0%となっています。

回答者数 = 12

母
父
祖母
祖父
きょうだい
その他
無回答

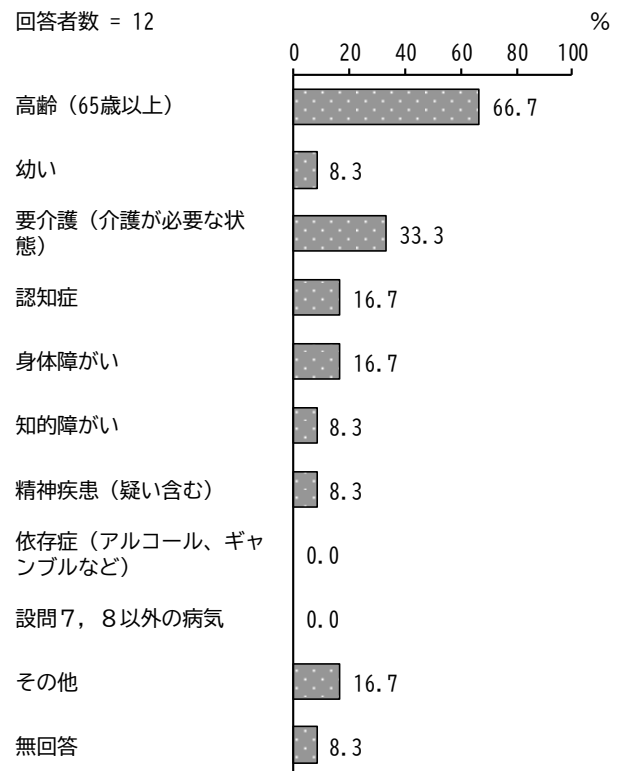


問5で「いる（いた）」と答えた方のみ

問6（2）お世話（ケア）を必要としている方（していた方）の状況（○はいくつでも）

「高齢（65歳以上）」の割合が66.7%と最も高く、次いで「要介護（介護が必要な状態）」の割合が33.3%、「認知症」、「身体障がい」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 12



【その他の内容】

- ・癌（がん）
- ・女は家の中、男は外という考えの元、家事・自営業の手伝いをしていた。

【自己肯定感別】

自己肯定感別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	高齢（65歳以上）	若い	要介護（介護が必要な状態）	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患（疑い含む）	依存症（アルコール、ギャンブルなど）	設問7, 8以外の病気	その他	無回答
全 体	12	66.7	8.3	33.3	16.7	16.7	8.3	8.3	—	—	16.7	8.3
はい	1	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
どちらかといえばはい	4	25.0	—	25.0	—	—	25.0	—	—	—	25.0	25.0
どちらかといえばいいえ	4	100.0	25.0	25.0	50.0	25.0	—	—	—	—	—	—
いいえ	3	66.7	—	33.3	—	33.3	—	33.3	—	—	33.3	—

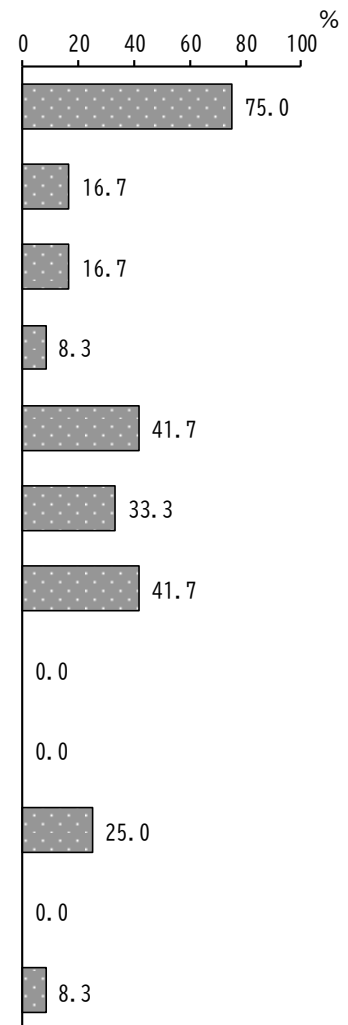
問5で「いる（いた）」と答えた方のみ

問6（3）あなたが行っている（行っていた）お世話（ケア）の内容（〇はいくつでも）

「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が75.0%と最も高く、次いで「通院の付き添い」、「見守り」の割合が41.7%となっています。

回答者数 = 12

家事（食事の準備や掃除、洗濯）
きょうだいの世話や保育所等への送迎など
身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）
外出の付き添い（買い物、散歩など）
通院の付き添い
健康面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）
見守り
通訳（日本語や手話など）
金銭管理
薬の管理
その他
無回答



【自己肯定感別】

自己肯定感別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

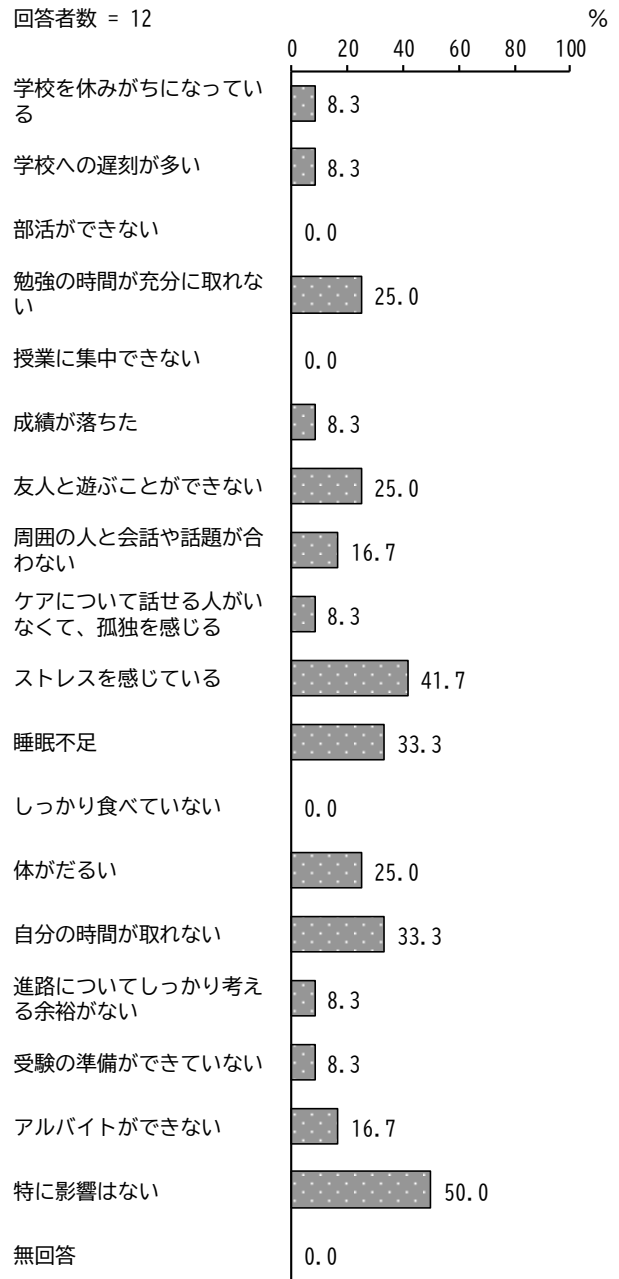
区分	回答者数（件）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	健康面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
全 体	12	75.0	16.7	16.7	8.3	41.7	33.3	41.7	—	—	25.0	—	8.3
はい	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
どちらかといえばはい	4	75.0	—	—	—	50.0	25.0	25.0	—	—	25.0	—	25.0
どちらかといえばいいえ	4	75.0	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	75.0	—	—	25.0	—	—
いいえ	3	100.0	33.3	33.3	—	33.3	33.3	—	—	—	33.3	—	—

問5で「いる（いた）」と答えた方のみ

問6（4） 家族のお世話（ケア）をしているために、自分の生活にどんな影響が出ている（出ていた）と思いますか。（〇はいくつでも）

「特に影響はない」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「ストレスを感じている」の割合が 41.7%、「睡眠不足」、「自分の時間が取れない」の割合が 33.3%となっています。

回答者数 = 12



【自己肯定感別】

自己肯定感別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

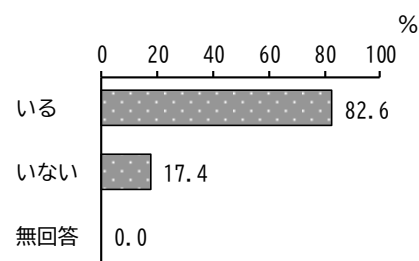
区分	回答者数(件)	学校を休みがちになっている	学校への遅刻が多い	部活ができない	勉強の時間が充分に取れない	授業に集中できない	成績が落ちた	友人と遊ぶことができない	周囲の人と会話や話題が合わない	ケアについて話せる人がいなくて、孤独を感じる
全 体	12	8.3	8.3	—	25.0	—	8.3	25.0	16.7	8.3
はい	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
どちらかといえばはい	4	—	—	—	—	—	—	—	25.0	—
どちらかといえばいいえ	4	25.0	25.0	—	—	—	25.0	—	—	—
いいえ	3	—	—	—	100.0	—	—	100.0	33.3	33.3

区分	ストレスを感じている	睡眠不足	しっかり食べていない	体がだるい	自分の時間が取れない	進路についてしっかり考える余裕がない	受験の準備ができていない	アルバイトができない	特に影響はない	無回答
全 体	41.7	33.3	—	25.0	33.3	8.3	8.3	16.7	50.0	—
はい	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
どちらかといえばはい	25.0	25.0	—	—	—	—	—	—	75.0	—
どちらかといえばいいえ	25.0	25.0	—	25.0	25.0	25.0	25.0	—	50.0	—
いいえ	100.0	66.7	—	66.7	100.0	—	—	66.7	—	—

(2) 人間関係や悩み事について

問7 あなたは、親友と呼べる友人がいますか。(○は1つだけ)

「いる」の割合が82.6%、「いない」の割合が17.4%となっています。 回答者数 = 235



【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

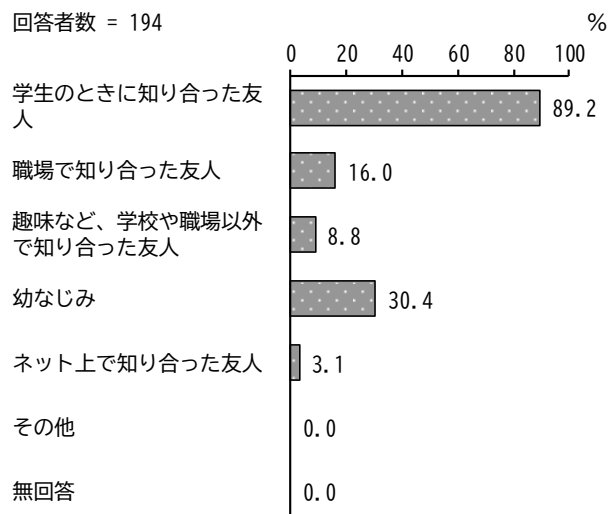
区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	235	82.6	17.4	—
広義のひきこもり群	7	71.4	28.6	—
親和群	25	80.0	20.0	—
一般群	201	83.1	16.9	—

問7で「いる」と答えた方のみ

問8 その人はどのような人ですか次のうちからあてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

「学生のとときに知り合った友人」の割合が89.2%と最も高く、次いで「幼なじみ」の割合が30.4%、「職場で知り合った友人」の割合が16.0%となっています。

回答者数 = 194



問9 あなたは、家族とは仲が良いと思いますか。(○は1つだけ)

「そう思う」の割合が73.2%と最も高く、次いで「ややそう思う」の割合が23.4%となっています。

回答者数 = 235

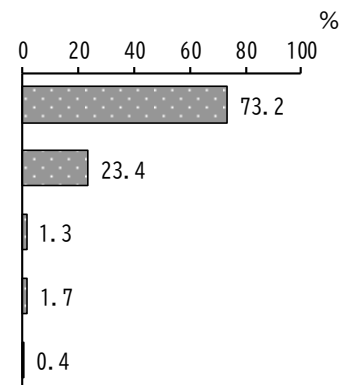
そう思う

ややそう思う

あまりそう思わない

そう思わない

無回答



問10 あなたはふだん悩み事を誰かに相談したいと思いますか。(○は1つだけ)

「思う」の割合が39.1%と最も高く、次いで「非常に思う」の割合が23.8%、「少し思う」の割合が20.9%となっています。

回答者数 = 235

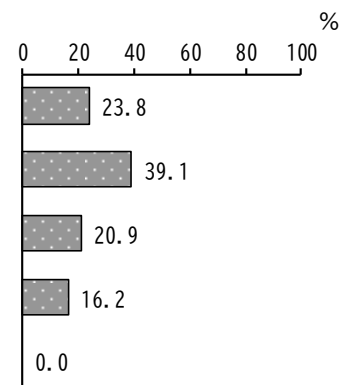
非常に思う

思う

少し思う

思わない

無回答



【同居家族別】

同居家族別にみると、ご自身のお子さんと「思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	非常に 思う	思う	少し 思う	思わ ない	無 回答
全 体	235	23.8	39.1	20.9	16.2	—
父	91	18.7	36.3	26.4	18.7	—
母	119	21.0	35.3	24.4	19.3	—
兄弟・姉妹	77	18.2	35.1	27.3	19.5	—
配偶者・パートナー	22	18.2	40.9	31.8	9.1	—
祖父・祖母	99	27.3	43.4	16.2	13.1	—
ご自身のお子さん	85	22.4	51.8	14.1	11.8	—
その他	7	42.9	28.6	14.3	14.3	—

【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、親和群で「少し思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	非常に思う	思う	少し思う	思わない	無回答
全 体	235	23.8	39.1	20.9	16.2	—
広義のひきこもり群	7	—	28.6	28.6	42.9	—
親和群	25	36.0	12.0	40.0	12.0	—
一般群	201	22.9	42.8	18.4	15.9	—

【自己肯定感別】

自己肯定感別にみると、いいえで「思わない」の割合が高くなっています。

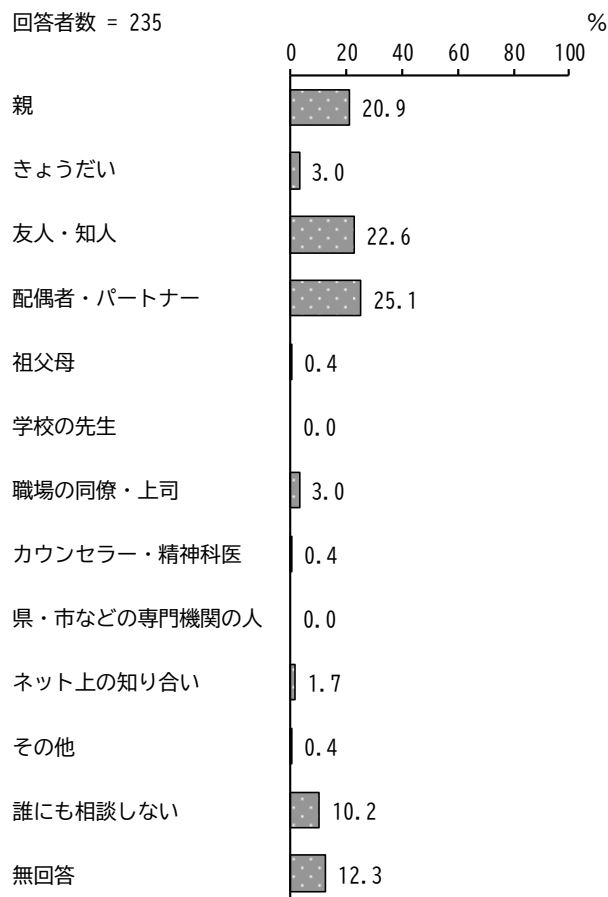
単位：％

区分	回答者数 (件)	非常に思う	思う	少し思う	思わない	無回答
全 体	235	23.8	39.1	20.9	16.2	—
はい	39	28.2	43.6	15.4	12.8	—
どちらかといえばはい	102	25.5	47.1	15.7	11.8	—
どちらかといえばいいえ	65	21.5	33.8	27.7	16.9	—
いいえ	27	11.1	18.5	33.3	37.0	—

問 11 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。(○は1つだけ)

「配偶者・パートナー」の割合が25.1%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が22.6%、「親」の割合が20.9%となっています。

回答者数 = 235



【その他の内容】

・ほとんど悩まない

【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、親和群で「誰にも相談しない」の割合が高くなっています。

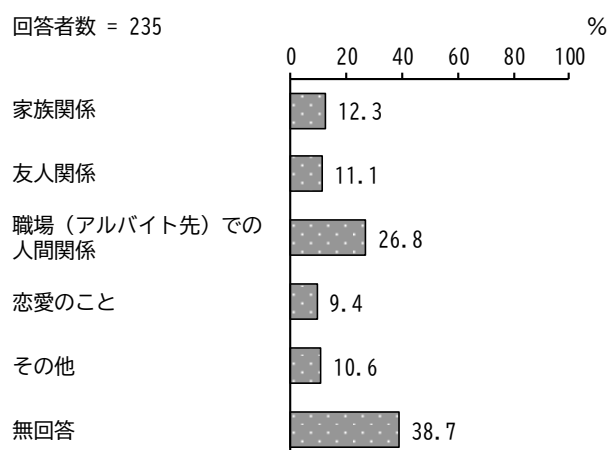
単位：%

区分	回答者数(件)	親	きょうだい	友人・知人	配偶者・パートナー	祖父母	学校の先生	職場の同僚・上司	科医 カウンセラー・精神	県・市などの専門機関の人	ネット上の知り合い	その他	誰にも相談しない	無回答
全 体	235	20.9	3.0	22.6	25.1	0.4	－	3.0	0.4	－	1.7	0.4	10.2	12.3
広義のひきこもり群	7	－	14.3	－	－	－	－	14.3	－	－	－	－	57.1	14.3
親和群	25	12.0	12.0	24.0	12.0	－	－	8.0	－	－	4.0	－	20.0	8.0
一般群	201	22.4	1.5	23.4	27.9	0.5	－	2.0	0.5	－	1.5	0.5	7.5	12.4

問 12 あなたが、現在の人間関係に関して不安に思っているものがあれば、次の中から選んでください。(〇はいくつでも)

「職場（アルバイト先）での人間関係」の割合が 26.8%と最も高く、次いで「家族関係」の割合が 12.3%、「友人関係」の割合が 11.1%となっています。

回答者数 = 235



【その他の内容】

- ・子どもの人間関係
- ・学校
- ・近隣住民との関係

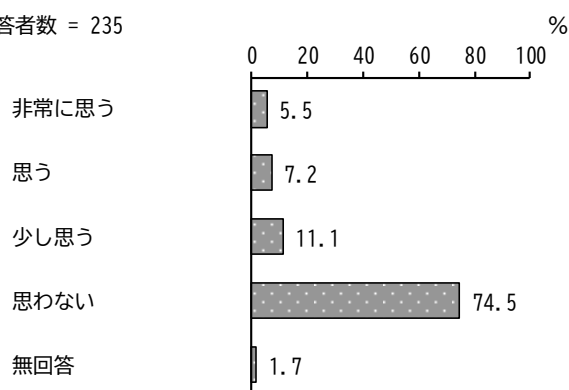
- ・自己のこと
- ・子どものこと

- ・不安に思っていない
- ・学業

問 13 現在の状態（人間関係など置かれている環境や、不安に思っているもの・悩みなど）について、関係機関に相談したいと思いますか。(〇は1つだけ)

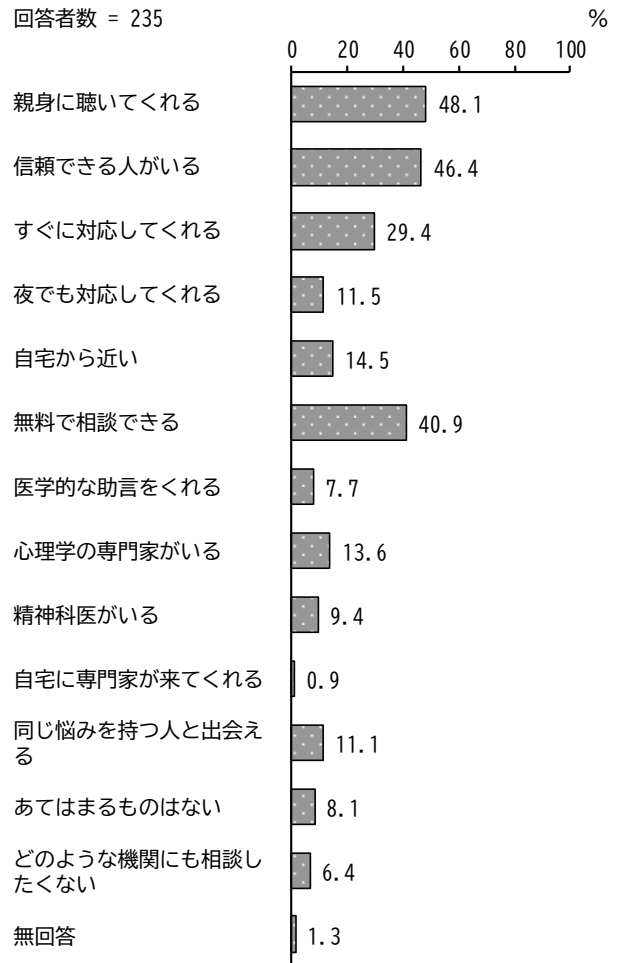
「思わない」の割合が 74.5%と最も高く、次いで「少し思う」の割合が 11.1%となっています。

回答者数 = 235



問 14 現在の状態について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

「親身に聴いてくれる」の割合が48.1%と最も高く、次いで「信頼できる人がいる」の割合が46.4%、「無料で相談できる」の割合が40.9%となっています。



【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、親和群で「心理学の専門家がいます」の割合が高くなっています。

単位：%

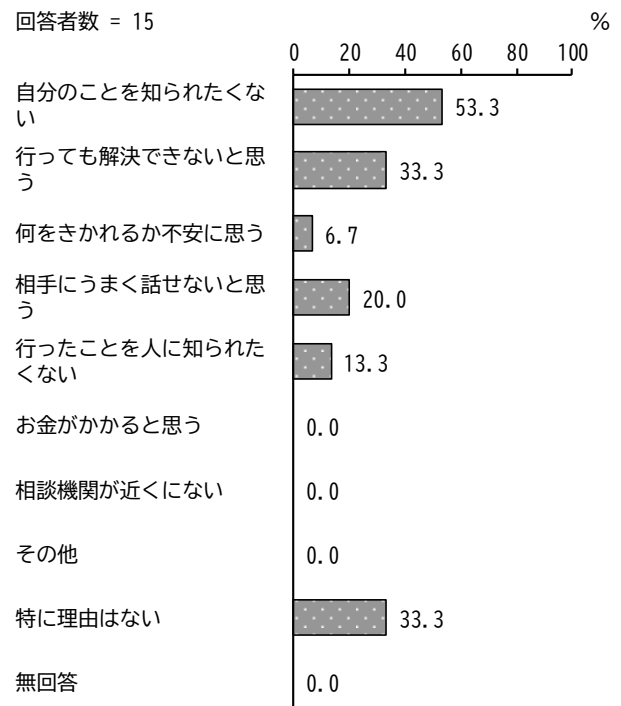
区分	回答者数(件)	親身に聴いてくれる	信頼できる人がいる	すぐに対応してくれる	夜でも対応してくれる	自宅から近い	無料で相談できる	医学的な助言をくれる	心理学の専門家がいます	精神科医がいます	自宅に専門家が来てくれる	同じ悩みを持つ人と出会える	あてはまるものはない	どのような機関にも相談したくない	無回答
全 体	235	48.1	46.4	29.4	11.5	14.5	40.9	7.7	13.6	9.4	0.9	11.1	8.1	6.4	1.3
広義のひきこもり群	7	57.1	28.6	—	—	28.6	42.9	14.3	—	—	—	28.6	—	14.3	14.3
親和群	25	60.0	32.0	24.0	12.0	12.0	48.0	—	32.0	28.0	—	8.0	4.0	12.0	—
一般群	201	46.8	48.3	31.3	11.9	14.4	40.3	8.5	11.9	7.5	1.0	10.9	9.0	5.5	1.0

問 14 で「どのような機関にも相談したくない」と答えた方のみ

問 15 相談したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

「自分のことを知られたくない」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「行っても解決できないと思う」、「特に理由はない」の割合が 33.3%となっています。

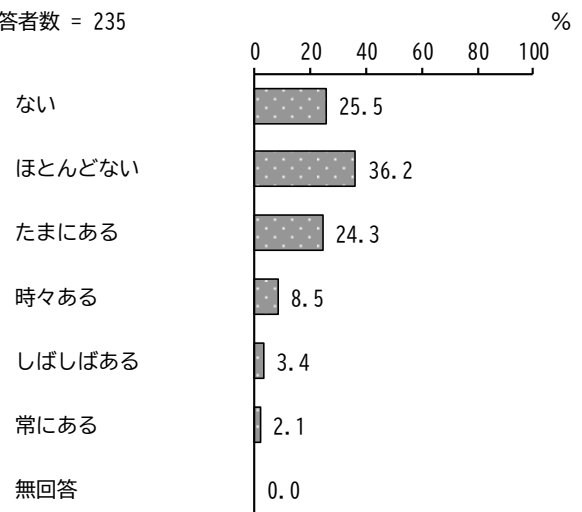
回答者数 = 15



問 16 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(○は1つだけ)

「ほとんどない」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「ない」の割合が 25.5%、「たまにある」の割合が 24.3%となっています。

回答者数 = 235

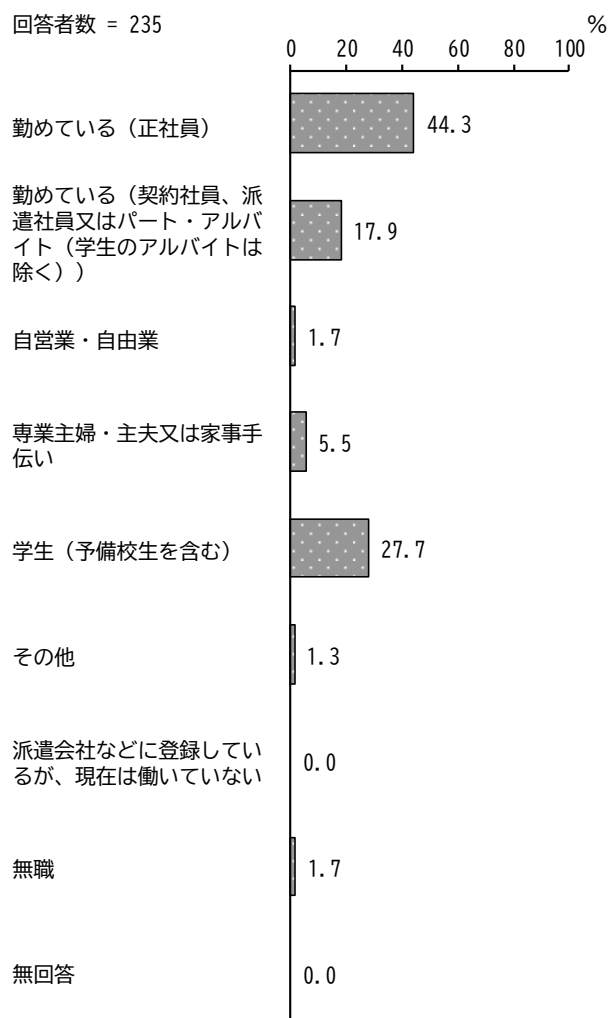


(3) 仕事について

問 17 あなたは現在働いていますか。(○は1つだけ)

「勤めている（正社員）」の割合が 44.3%と最も高く、次いで「学生（予備校生を含む）」の割合が 27.7%、「勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））」の割合が 17.9%となっています。

回答者数 = 235



【その他の内容】

- ・フリーランス
- ・産休中
- ・育休中

【自己肯定感別】

自己肯定感別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

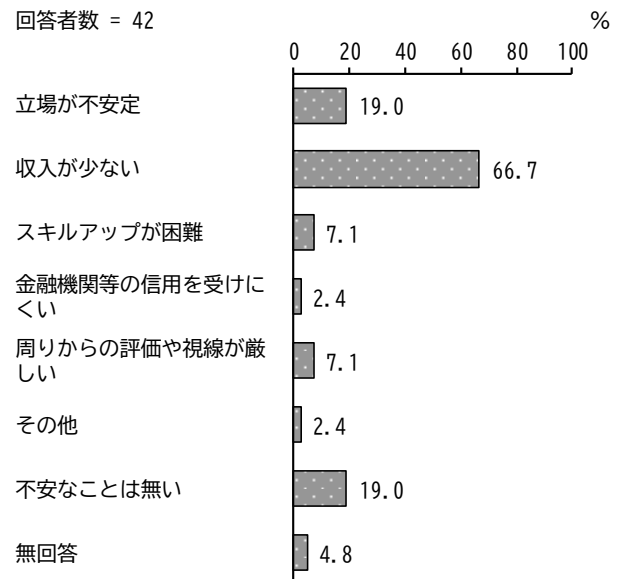
区分	回答者数（件）	勤めている（正社員）	勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））	自営業・自由業	専業主婦・主夫又は家事手伝い	学生（予備校生を含む）	その他	派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない	無職	無回答
全 体	235	44.3	17.9	1.7	5.5	27.7	1.3	—	1.7	—
はい	39	35.9	20.5	5.1	12.8	25.6	—	—	—	—
どちらかといえ ばはい	102	48.0	16.7	1.0	2.9	28.4	2.0	—	1.0	—
どちらかといえ ばいいえ	65	41.5	16.9	1.5	6.2	32.3	1.5	—	—	—
いいえ	27	44.4	22.2	—	3.7	18.5	—	—	11.1	—

問17で「勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））」と答えた方のみ

問18 あなたは現在の雇用形態について不安なことはありますか。（○はいいくつでも）

「収入が少ない」の割合が66.7%と最も高く、次いで「立場が不安定」、「不安なことは無い」の割合が19.0%となっています。

回答者数 = 42



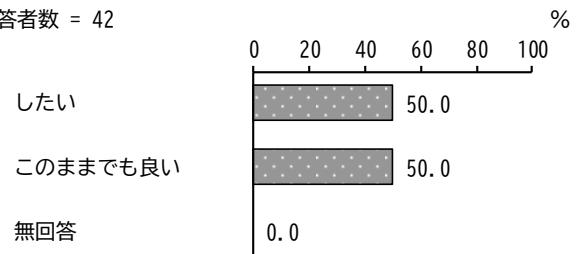
【その他の内容】

- ・障がい者雇用について

問19 あなたは、正社員として就職したいですか。（○は1つだけ）

「したい」の割合が50.0%、「このままでも良い」の割合が50.0%となっています。

回答者数 = 42

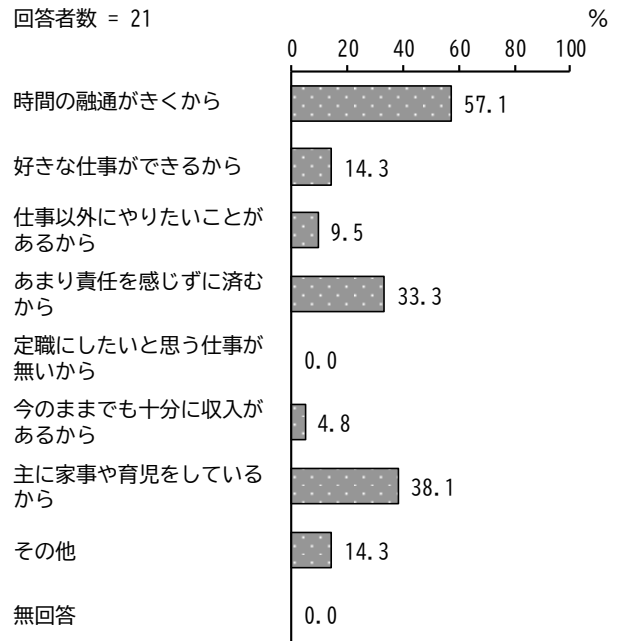


問 19 で「このままでも良い」と答えた方のみ

問 20 あなたが、現在の雇用形態のままでも良いと考える理由であてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

「時間の融通がきくから」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「主に家事や育児をしているから」の割合が 38.1%、「あまり責任を感じずに済むから」の割合が 33.3%となっています。

回答者数 = 21



【その他の内容】

- ・特に何も考えていないから
- ・親と弟妹が心配だから
- ・扶養内にしたいから
- ・将来のことがわからない
- ・通院しているから
- ・趣味を仕事にしたいから
- ・正社員だから
- ・将来離職する予定があるため

問 17 で「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」「無職」と答えた方のみ

問 21 あなたは現在就職活動や、進学のための勉強などをしていますか。
(○は1つだけ)

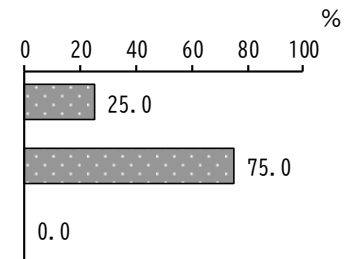
「している」が1件、「していない」が3件となっています。

回答者数 = 4

している

していない

無回答



問 22 あなたは現在仕事をしたいと思っていますか。(○は1つだけ)

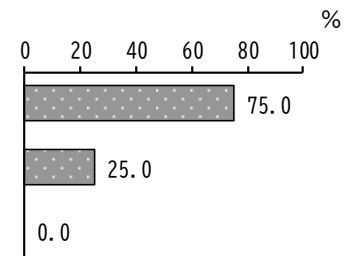
「仕事をしたい」が3件、「仕事をしたくない」が1件となっています。

回答者数 = 4

仕事をしたい

仕事をしたくない

無回答



問 22 で「仕事をしたくない」と答えた方のみ、問 23 の質問に回答してください。

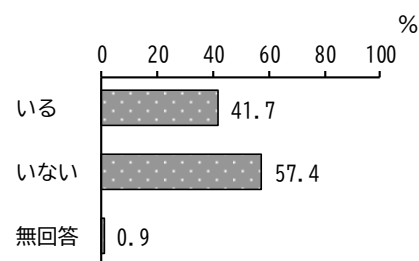
問 23 あなたが仕事をしたくないと思う理由について教えてください。

- ・労働環境がひどいから。
- ・ストレスなく家にいたい。
- ・子育て、家事に専念したい。
- ・アート活動で収入を得たいから。
- ・趣味だけをして生きられるならその方がいい。
- ・休憩時間がないから。給料と仕事内容が見合っていないから。
- ・育休中でももう少し子どもと過ごしたいから。育休が一年は短すぎます。
- ・家事、育児、仕事で疲れてしまったから。少しの間休みたいと思うから。
- ・ゆとりある生活がしたい。毎日があっという間で1日バタバタしているから。 など

(4) 結婚について

問 24 あなたは現在配偶者がいますか。(○は1つだけ)

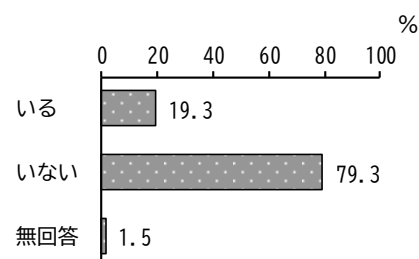
「いる」の割合が41.7%、「いない」の割合が57.4%となっています。 回答者数 = 235



問 24 で「いない」と答えた方のみ

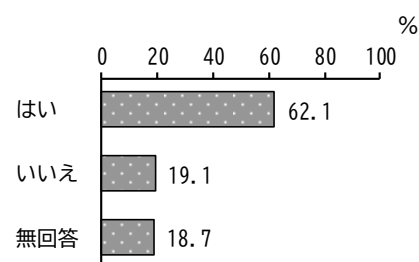
問 25 あなたは、現在交際しているパートナーはいますか。(○は1つだけ)

「いる」の割合が19.3%、「いない」の割合が79.3%となっています。 回答者数 = 135



問 26 あなたは、いつかは結婚して家庭を持ちたいと思いますか。(○は1つだけ)

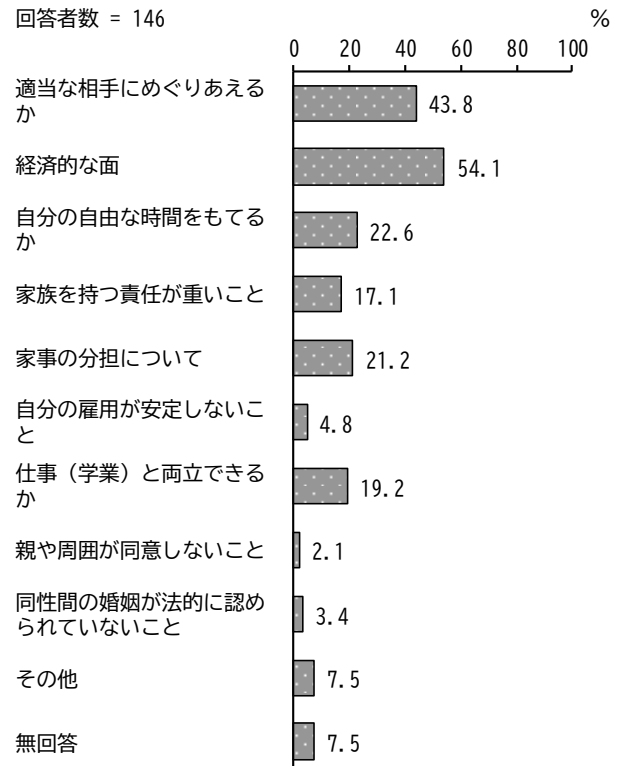
「はい」の割合が62.1%、「いいえ」の割合が19.1%となっています。 回答者数 = 235



問 26 で「はい」と答えた方のみ

問 27 あなたが現在結婚について抱いている不安として、当てはまるものを次のうちから選んでください。(〇はいくつでも)

「経済的な面」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「適当な相手にめぐりあえるか」の割合が 43.8%、「自分の自由な時間をもてるか」の割合が 22.6%となっています。



【その他の内容】

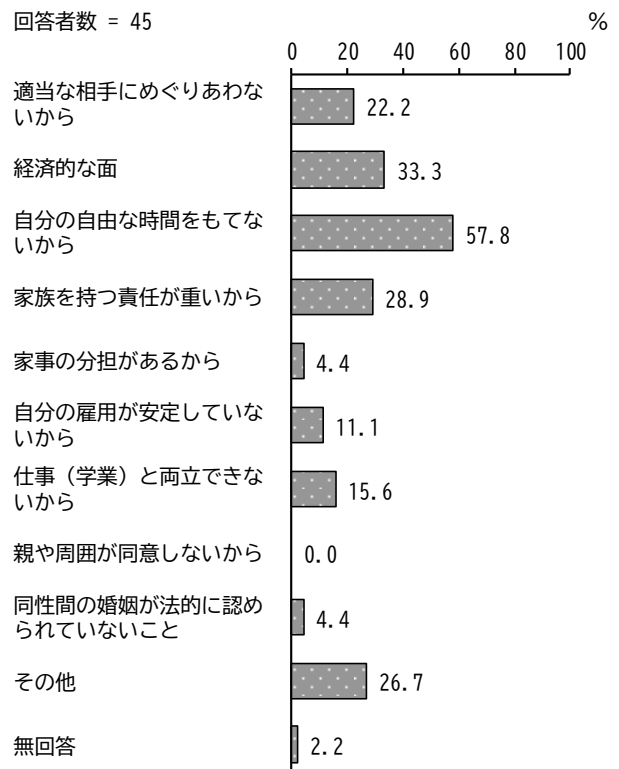
- ・人が怖い。
- ・子どもの養育に必要なインフラが整っていない。(金銭面以外で)
- ・父が母に暴力を振るう姿を目の前で見たことがあり男性に対する恐怖心がある。
- ・今のパートナーと結婚し県外に行く予定だが、高齢の親が一人暮らしになり周りに頼れる人もいない事が不安。

問 26 で「いいえ」と答えた方のみ

問 28 あなたが結婚したくないと考える理由を次のうちからお答えください。
(〇はいくつでも)

「自分の自由な時間をもてないから」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「経済的な面」の割合が 33.3%、「家族を持つ責任が重いから」の割合が 28.9%となっています。

回答者数 = 45



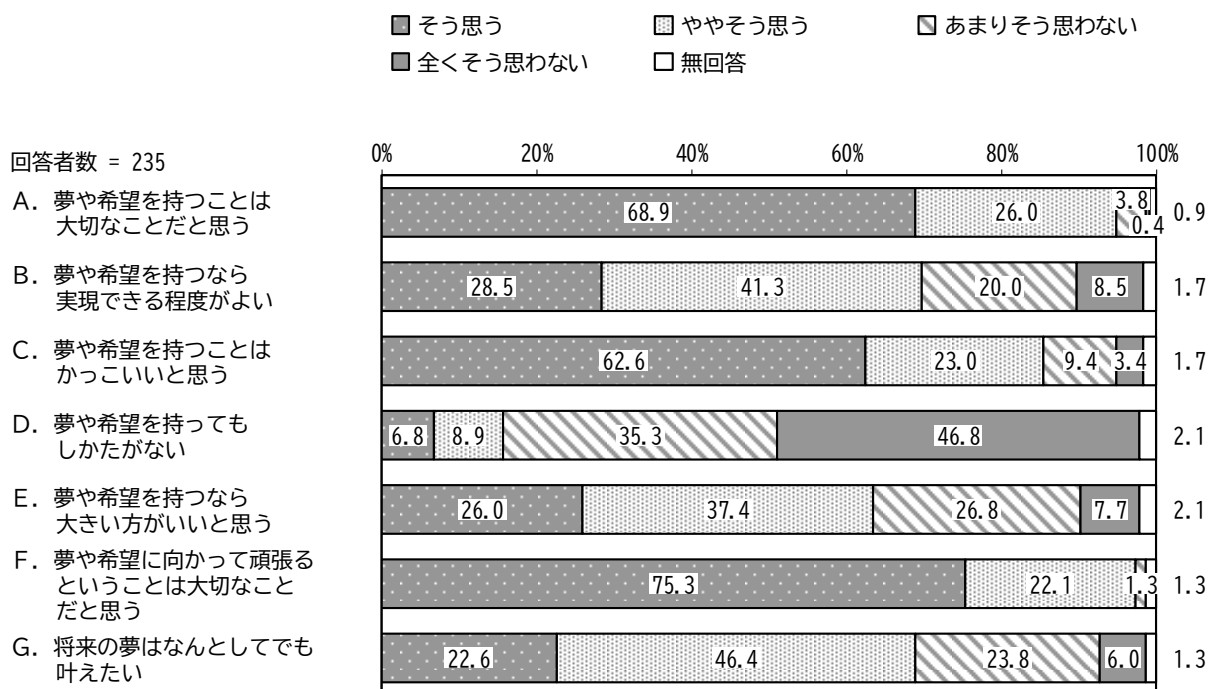
【その他の内容】

- ・興味がない
- ・趣味の時間が減るから
- ・人を信用出来ないから
- ・自分にふさわしくないから
- ・結婚に興味がなく、特にメリットも感じないから
- ・離婚して、二度と結婚はしたくないと思っている
- ・親にされて嫌だったことを自分の子どもにしてしまうと思うから

(5) 将来について

問 29 夢を持つことについて、次の項目ごとにあなたの考えに最もあてはまるものをそれぞれお答えください。(○は各項目につき1つ)

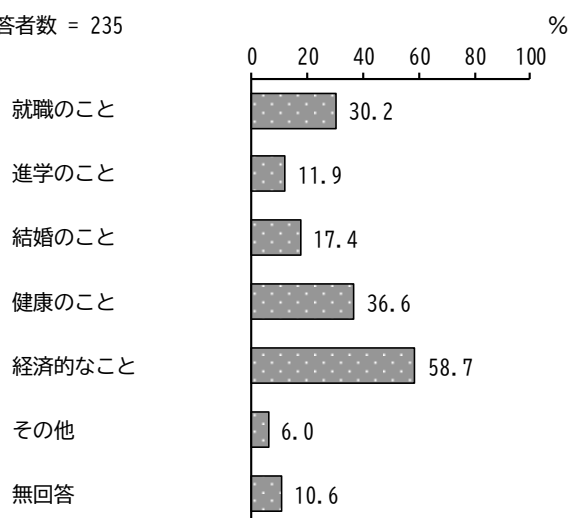
『F. 夢や希望に向かって頑張るということは大切なことだと思う』で「そう思う」の割合が高くなっています。一方、『D. 夢や希望を持ってもしかたがない』で「全くそう思わない」の割合が高くなっています。



問 30 あなたが将来に関することで不安に思っていることがあれば、次のうちから選んでください。(〇はいくつでも)

「経済的なこと」の割合が 58.7%と最も高く、次いで「健康のこと」の割合が 36.6%、「就職のこと」の割合が 30.2%となっています。

回答者数 = 235



【その他の内容】

- ・ 人類のこと
- ・ 家族のこと
- ・ 子どものこと
- ・ 子どもの教育
- ・ 子どもの進学、就職
- ・ 子育て、年金制度、住まいのこと
- ・ 趣味を仕事にしたいって思うこと
- ・ 今は父が単身赴任で県外にいるが戻って来た時にまた DV が始まるのではと不安に思う。母も持病がありそのサポートもしているので、一人暮らしをしたいと思う気持ちはあるが心配な気持ちが大きい。

【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、親和群で「就職のこと」の割合が高くなっています。

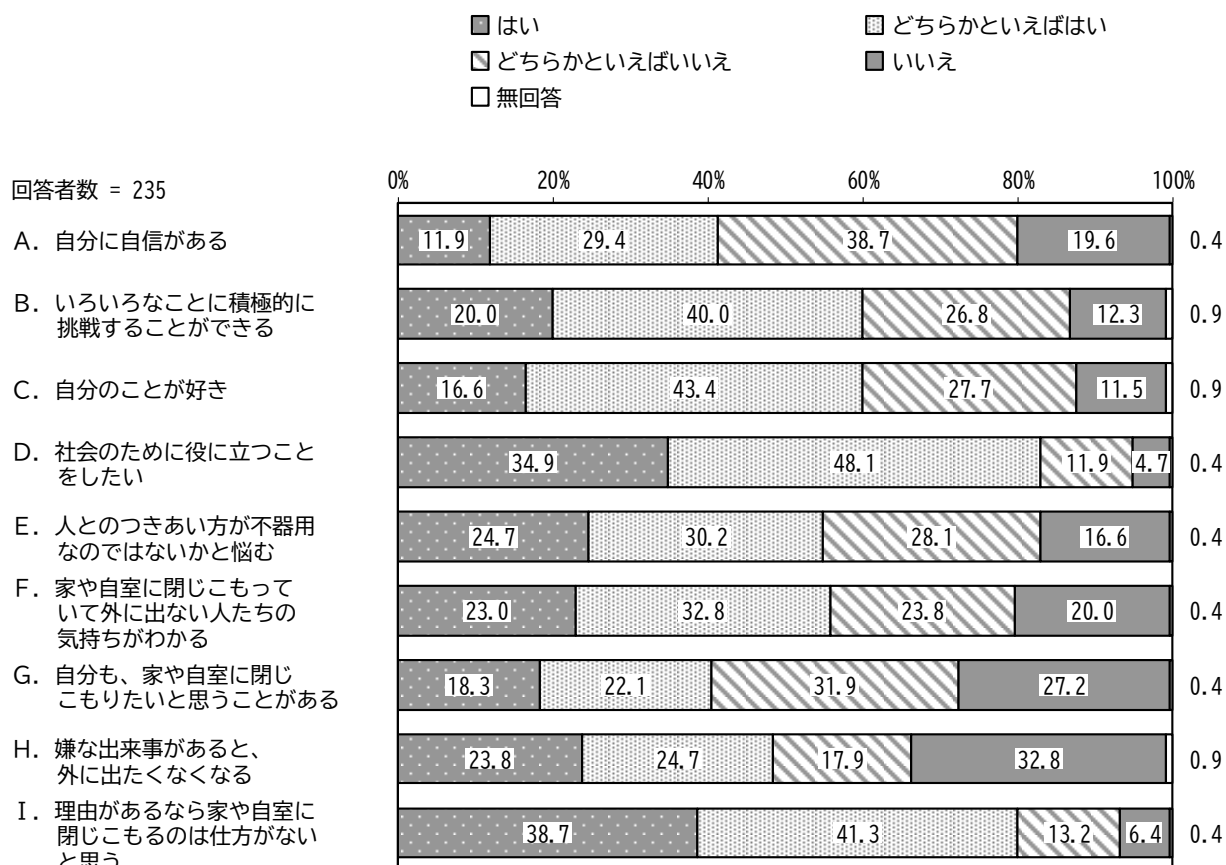
単位：%

区分	回答者数 (件)	就職のこと	進学のこと	結婚のこと	健康のこと	経済的なこと	その他	無回答
全 体	235	30.2	11.9	17.4	36.6	58.7	6.0	10.6
広義のひきこもり群	7	14.3	—	28.6	28.6	71.4	14.3	28.6
親和群	25	48.0	12.0	24.0	48.0	60.0	12.0	—
一般群	201	28.9	11.9	16.4	35.3	58.2	5.0	11.4

(6) 自身について

問 31 次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる数字に○をつけてください。(○は各項目につき1つ)

『D. 社会のために役に立つことをしたい』『I. 理由があるなら家や自室に閉じこもるのは仕方がないと思う』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『H. 嫌な出来事があると、外に出たくなる』で「いいえ」の割合が高くなっています。



A. 自分に自信がある

【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、親和群で「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	はい どちらか といえ ば	いいえ どちらか といえ ば	いいえ	無回答
全 体	235	11.9	29.4	38.7	19.6	0.4
広義のひきこもり群	7	—	14.3	28.6	57.1	—
親和群	25	12.0	20.0	28.0	40.0	—
一般群	201	12.4	30.8	40.8	15.9	—

B. いろいろなことに積極的に挑戦することができる

【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、親和群で「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	はい どちらか といえ ば	いいえ どちらか といえ ば	いいえ	無回答
全 体	235	20.0	40.0	26.8	12.3	0.9
広義のひきこもり群	7	—	28.6	14.3	42.9	14.3
親和群	25	16.0	48.0	8.0	28.0	—
一般群	201	21.4	39.3	29.9	9.5	—

C. 自分のことが好き

【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、親和群で「どちらかといえはいいいえ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	はい どちらか といえ ば	いいえ どちらか といえ ば	いいえ	無回答
全 体	235	16.6	43.4	27.7	11.5	0.9
広義のひきこもり群	7	—	14.3	28.6	57.1	—
親和群	25	12.0	20.0	44.0	24.0	—
一般群	201	17.9	47.3	25.9	8.5	0.5

D. 社会のために役に立つことをしたい

【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	はい どちらか といえ	どちらか といえ いいえ	いいえ	無回答
全 体	235	34.9	48.1	11.9	4.7	0.4
広義のひきこもり群	7	28.6	57.1	14.3	—	—
親和群	25	36.0	44.0	12.0	8.0	—
一般群	201	35.3	48.3	11.9	4.5	—

E. 人とのつきあい方が不器用なのではないかと悩む

【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、親和群で「はい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	はい どちらか といえ	どちらか といえ いいえ	いいえ	無回答
全 体	235	24.7	30.2	28.1	16.6	0.4
広義のひきこもり群	7	57.1	14.3	14.3	14.3	—
親和群	25	56.0	20.0	20.0	4.0	—
一般群	201	19.9	32.3	29.4	18.4	—

F. 家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる

【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、親和群で「はい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	はい どちらか といえ	どちらか といえ いいえ	いいえ	無回答
全 体	235	23.0	32.8	23.8	20.0	0.4
広義のひきこもり群	7	42.9	28.6	28.6	—	—
親和群	25	84.0	16.0	—	—	—
一般群	201	14.9	34.8	26.9	23.4	—

G. 自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある

【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、親和群で「はい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	はい どちらか といえ	いいえ どちらか といえ	いいえ	無回答
全 体	235	18.3	22.1	31.9	27.2	0.4
広義のひきこもり群	7	28.6	42.9	28.6	—	—
親和群	25	84.0	16.0	—	—	—
一般群	201	10.0	22.4	35.8	31.8	—

H. 嫌な出来事があると、外に出たくなる

【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、親和群で「はい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	はい どちらか といえ	いいえ どちらか といえ	いいえ	無回答
全 体	235	23.8	24.7	17.9	32.8	0.9
広義のひきこもり群	7	42.9	57.1	—	—	—
親和群	25	92.0	8.0	—	—	—
一般群	201	14.9	25.9	20.9	38.3	—

I. 理由があるなら家や自室に閉じこもるのは仕方ないと思う

【ひきこもり類別】

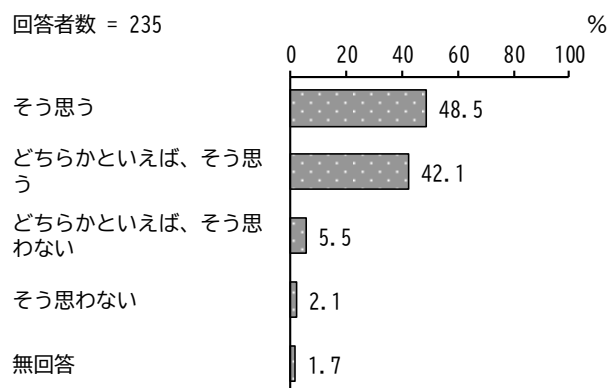
ひきこもり類別にみると、親和群で「はい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	はい どちらか といえ	いいえ どちらか といえ	いいえ	無回答
全 体	235	38.7	41.3	13.2	6.4	0.4
広義のひきこもり群	7	28.6	57.1	14.3	—	—
親和群	25	96.0	4.0	—	—	—
一般群	201	32.3	45.3	14.9	7.5	—

問 32 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。
(○は1つだけ)

「そう思う」の割合が48.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」の割合が42.1%となっています。



問 33 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。(○は各項目につき1つ)

『A. 自分の部屋』『B. 家庭（実家や親族の家を含む）』で「そう思う」の割合が高くなっています。一方、『D. 職場（過去の職場を含む）』で「あてはまるものはない、わからない」の割合が高くなっています。

■ そう思う ▨ どちらかといえば、そう思う
▩ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない
▨ あてはまるものはない、わからない □ 無回答

回答者数 = 235

A. 自分の部屋

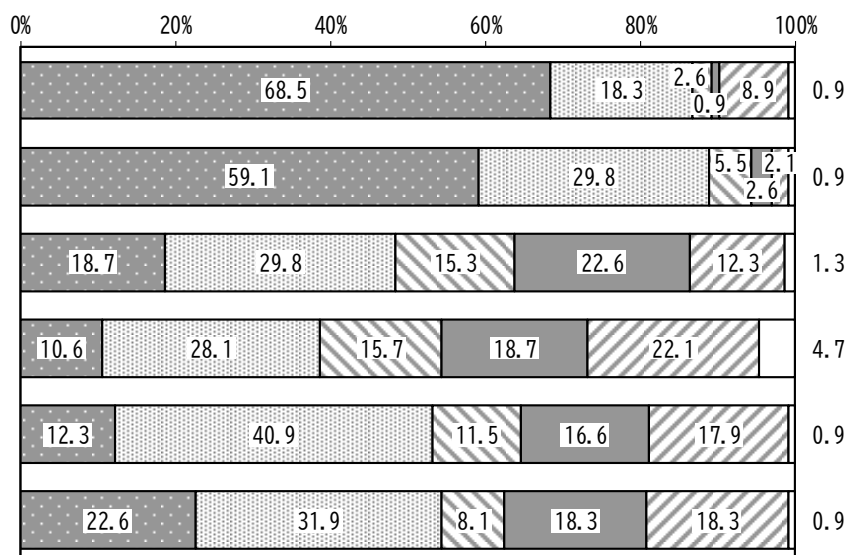
B. 家庭
(実家や親族の家を含む)

C. 学校
(卒業した学校を含む)

D. 職場（過去の職場を含む）

E. 地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）

F. インターネット空間
(SNS、YouTube やオンラインゲームなど)



A. 自分の部屋

【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、親和群で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば、 そう思う	どちらかといえば、 そう思わない	そう思わない	あてはまるものは ない、わからない	無回答
全 体	235	68.5	18.3	2.6	0.9	8.9	0.9
広義のひきこもり群	7	42.9	28.6	—	—	28.6	—
親和群	25	80.0	8.0	—	—	12.0	—
一般群	201	68.7	18.9	3.0	1.0	8.0	0.5

B. 家庭（実家や親族の家を含む）

【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、親和群で「どちらかといえば、そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば、 そう思う	どちらかといえば、 そう思わない	そう思わない	あてはまるものは ない、わからない	無回答
全 体	235	59.1	29.8	5.5	2.6	2.1	0.9
広義のひきこもり群	7	14.3	57.1	14.3	—	14.3	—
親和群	25	36.0	36.0	24.0	4.0	—	—
一般群	201	63.7	28.4	3.0	2.5	2.0	0.5

C. 学校（卒業した学校を含む）

【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、親和群で「どちらかといえば、そう思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば、 そう思う	どちらか といえば、 そう思わない	そう思わない	あてはまるもの はない、わ からない	無 回 答
全 体	235	18.7	29.8	15.3	22.6	12.3	1.3
広義のひきこもり群	7	—	14.3	14.3	57.1	14.3	—
親和群	25	16.0	24.0	24.0	24.0	12.0	—
一般群	201	19.9	30.8	14.4	21.4	12.4	1.0

D. 職場（過去の職場を含む）

【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、親和群で「そう思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば、 そう思う	どちらか といえば、 そう思わない	そう思わない	あてはまるもの はない、わ からない	無 回 答
全 体	235	10.6	28.1	15.7	18.7	22.1	4.7
広義のひきこもり群	7	—	—	14.3	42.9	28.6	14.3
親和群	25	8.0	28.0	12.0	24.0	24.0	4.0
一般群	201	11.4	29.4	16.4	17.4	21.4	4.0

E. 地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）

【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、親和群で「どちらかといえば、そう思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば、 そう思う	どちらか といえば、 そう思わない	そう思わない	あてはまるもの はない、わ からない	無回答
全 体	235	12.3	40.9	11.5	16.6	17.9	0.9
広義のひきこもり群	7	14.3	14.3	14.3	42.9	14.3	—
親和群	25	12.0	36.0	20.0	16.0	16.0	—
一般群	201	12.4	42.8	10.4	15.4	18.4	0.5

F. インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）

【ひきこもり類別】

ひきこもり類別にみると、親和群で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば、 そう思う	どちらか といえば、 そう思わない	そう思わない	あてはまるもの はない、わ からない	無回答
全 体	235	22.6	31.9	8.1	18.3	18.3	0.9
広義のひきこもり群	7	14.3	57.1	—	14.3	14.3	—
親和群	25	44.0	36.0	4.0	8.0	8.0	—
一般群	201	20.4	30.8	9.0	19.4	19.9	0.5

(7) 政策について

問 34 あなたは、子どもや若者の悩みや聞いてほしいことがあったときに相談できる、古賀市の相談窓口を知っていますか。(○は1つだけ)

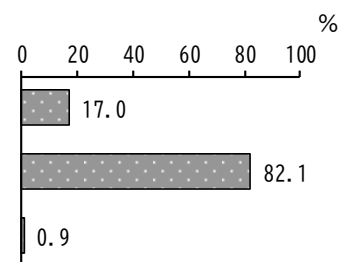
「知っている」の割合が 17.0%、「知らない」の割合が 82.1%となっています。

回答者数 = 235

知っている

知らない

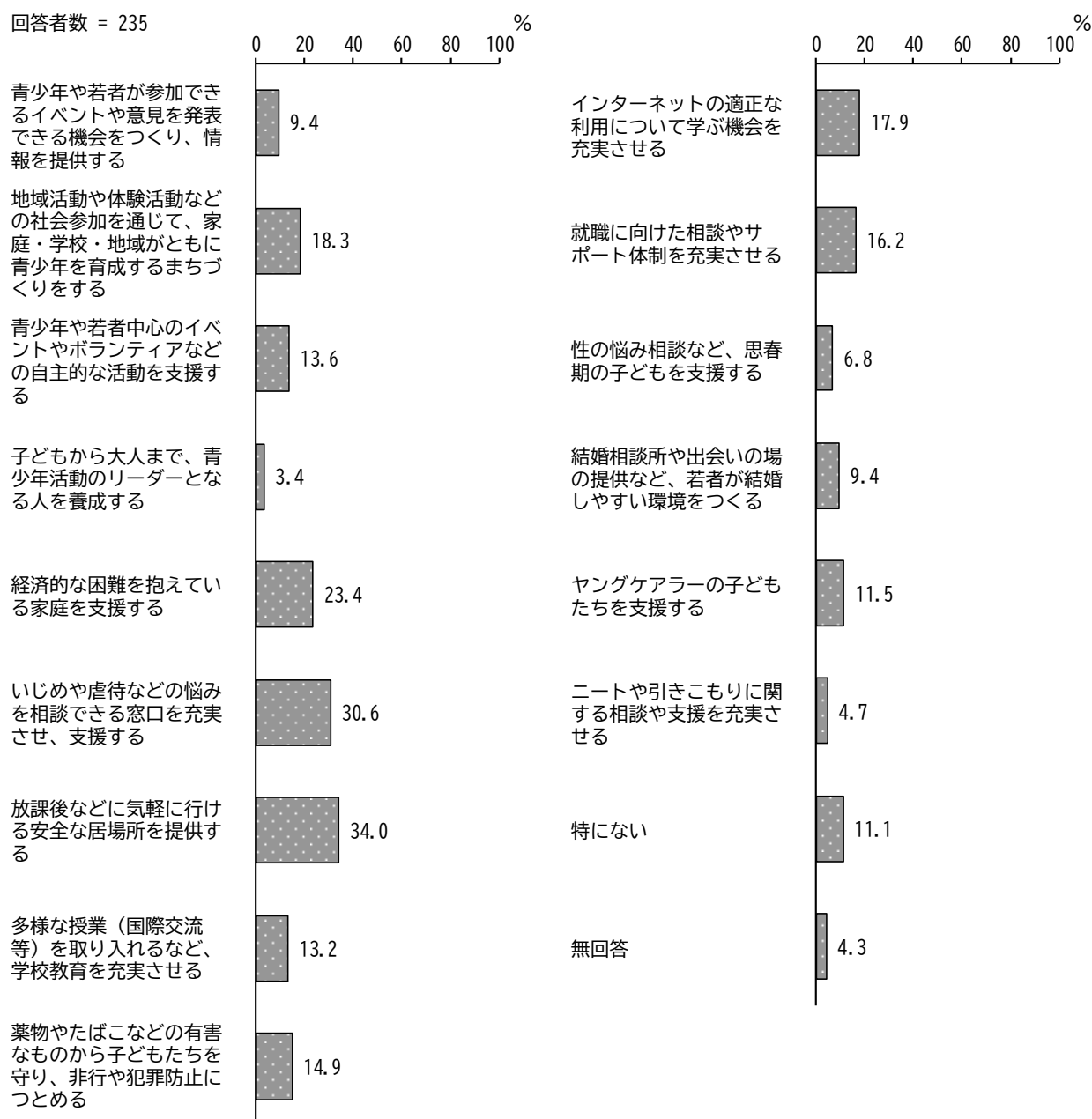
無回答



問 35 あなたは、古賀市が取り組む青少年や若者の政策にどんなことを望みますか。
(〇は3つまで)

「放課後などに気軽に行ける安全な居場所を提供する」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口を充実させ、支援する」の割合が 30.6%、「経済的な困難を抱えている家庭を支援する」の割合が 23.4%となっています。

回答者数 = 235



IV 自由回答

1 就学前児童の保護者

1. 古賀市に住んでよかったと思えるところ

※（ ）は意見数

項目	主な意見
1. 子どもの健やかな心身の育成支援 (66)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯が多い。スーパーや商業施設などよく見かける。子どもに話しかけてくれる人が多い。買い物、病院などとても便利。 ・自分も育ったまちなので子育てしやすい。 ・いろんなお店が集まっているから買い物しやすい。子育て支援が手厚い。 ・でんでんむし(親子のつどいの広場)や児童館に行きやすく、割と子育てしやすい。道路の工事が進み、歩道が広くなったりして、子どもにとって安全なまちになっていっているのが助かる。 ・地域の人が優しい。児童館が多い。
2. 豊かな人間性を育むための支援 (132)	<ul style="list-style-type: none"> ・広い公園がある。自然が近い。 ・古賀に住んで5年たった。自然が多く、子どもも私もグリーンパークがお気に入りの場所。自然が多く、のびのびとした環境にひかれ、引っこしてきてよかったと思っている。 ・人が温かい。自然が多い。 ・山もあり海もあり子どもが遊べる公園もあり充実した子どもとの遊びの時間をとることができる。 ・自然が多く、グリーンパークや水辺公園など、子連れで自然とふれ合うスポットが多いのも良い。
3. 次世代を担う子どもへの支援体制の充実(20)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものイベントが多い。 ・子育てに関するサロンや、支援・イベントが多い。 ・都心に近い。車があればどこにでも行きやすい。スーパーが多く、病院も多い。 ・子育て支援の方々もとても優しく、地域のイベントもあったりして良いところだと思う。 ・もっと市の活性化を願う。
4. 子育て力向上のための支援(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすい。 ・子どもがより育てやすい街になるよう取り組んでもらっていることは住んでみて感じる。

<p>5. 安心して出産を迎えるための支援 (5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療センターが近くて安心感がある。 ・出産後のサンコスモの対応が良かった。 ・産前～産後の支援では、助産師さんのサポートが心強かった。又、子どもの2歳頃までは、でんでんむし利用ができて助かった。 ・助産師さんと保健師さんの支え。出産後の赤ちゃん訪問や電話相談では、入退院を繰り返す子どもを心配し、いつも温かく対応してもらい心強かった。子どもの成長を涙目で喜んでくれた姿は忘れない。 ・古賀に住み、第二子を妊娠したが、古賀にも妊婦さんタクシー？があればどれだけいいことかと思った。陣痛が来た際、配偶者は仕事で自分で運転もできなかったのも、古賀のタクシー会社に連絡をとると、1社目は「ああ、妊婦さんですか…確認をとりますので、お待ちくださいね。」と一度電話が切られたが、電話を切ったと思った。陣痛が始まっており、時間もないうちで電話口で確認できないものなのかと…対応が不親切だと感じ、他社に連絡を入れた。その会社からはすぐにタクシーを動かしてくれ、電話から3分ほどで自宅まで迎えにきてくれた。それから1社目のタクシーから大丈夫、との連絡がきたが、そこはお断りしたし、もし今後妊娠をして利用することがあれば、妊婦さんに優しいタクシーを利用したいなと思った。
<p>6. 子育て情報の提供と支援の充実 (46)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援に力を入れているところ。 ・子育て支援が充実しているところ。 ・子育て世代に手厚い。住みやすい。 ・子育てのサポート事業がある所。 ・子育て支援に関しては早く決議などされて実施が早いと思う。
<p>7. 生活支援・経済的支援(109)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生まで医療費が無償になったこと。 ・子どもの医療費0円がとても助かる。対象年齢が広いのもすごい。 ・医療費も心配することなく病院に行ける。 ・子育てが順調かどうか気にしてくれるところ。おむつやスタイや離乳食スプーンをいただけたところ。タクシーチケットをもらえたこと。 ・図書カードがもらえること。
<p>8. 育児と仕事の両立支援(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私の職場はシフト制なので、土曜日も仕事であることが多いが、その際にあずけたり、半日の休みであっても用事があれば、保育園で預かってもらえるところ（他の市は親が休みのときは基本預かってもらえない）。 ・自然いっぱい、の街だし、お店も充実してきてよくなってきていると思う。あとは子育てしながら母親が働きやすい環境があるととても助かる。時間などが限られるため、選べる仕事が少ないことが悩み。
<p>9. 安心して外出できる環境の整備 (82)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便がよい。 ・福岡市や北九州などにもアクセスしやすいところ。 ・高速の出入り口がある。近くに色々あるところ。 ・自然が多い所。JRでのアクセス、高速のアクセスが良い。 ・近くにイオンなどがあり、買い物に行きやすい。
<p>10. 定期的な教育・保育施設の提供体制の確保(3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生まれてからずっと古賀だが、友人も世帯を持ち古賀に家を持っていて住みやすいんだと思う。新たに古賀にやってきた方でもよい人が多く児童館などで気軽にお話し出来るのがよい。 ・支援センターや親子教室が充実しているところ。 ・児童館、でんでんむし、サンリブのキッズパーク等）子どもが好きな場所がたくさん。子育て支援のスタッフさんが皆やさしく話しやすい。

11. 保育サービスの充実(25)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園が多く子どもに合った園を見つけやすい。 ・ 保育園に入りやすい。 ・ 保育園の待機児童が少ないところ。 ・ 納得・信頼のできる幼稚園がある。 ・ 保育園に預けやすい。待機がない。
12. 教育・保育施設の質の向上(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T C Aがない。学校が割と少人数であること。待機児童が少ない。 ・ 私自身がずっと古賀に住んでいて、私が子どもの時よりも小学校の教育体制（教師の配置や保護者への配慮等）しっかりしていて安心できる。地域の交流も多い為、安心して子育てができる。 ・ 福津、新宮、久山、どの方面へもアクセスしやすい場所にある。新興住宅地ではないので、待機児童にもならず、小学校も多すぎず少なすぎずの児童数がいて良いと思う。
13. その他(7)	<ul style="list-style-type: none"> ・ こうやってアンケートで市民の実際の声を聞いてくれるのはありがたい。ずっと意見を伝える場があればと思っていたので。 ・ まだ住んで1年未満なのでこれからみつけていきたい。 ・ 転居してすぐのためあまりまだ把握できていないためわからない。 ・ 物件選び失敗した。子育てしにくいまちだ。 ・ 土地が安かった。 ・ 他の地域に比べて家賃が安いこと。

2. 子育ての環境や支援について

※（ ）は意見数

項目	主な意見
1. 子どもの健やかな心身の育成支援 (50)	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめのいっぽに参加してたくさんお友達ができた。一緒に児童館等にも遊びに行き、楽しい育休をすごすことができた。 ・児童館の兄弟児でも未就学児は15時までというのを、せめて17時頃にしてもらえると(親同伴)、午後からでも利用しやすい。土日に下の子が昼寝後だと思うと時間がないので。 ・定期的に通える場があり、覚えてもらい、成長を共に感じてもらえる。近所に高齢の方が多いからか、よく声をかけて頂く。 ・児童センターやでんでんむしも良いが、室内でのびのびと身体を動かせる様な場所を、1つで良いので作ってほしい。(子が育つのシンボルのような) ・サンコスモの子育て支援の方達もとても親切に対応してくれる。わからない事など丁寧に説明してくれ、とても良いと思う。
2. 豊かな人間性を育むための支援 (44)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の場が多い。公園によく行く。ただ夏前になると雑草が茂っていて入りづらく子どもがハイハイで動きにくそう。公園の整備があると嬉しい。 ・自然が多くて良い。 ・海、山があり、自然とふれ合う機会が多いので、よかった。第一子の時に同じ月齢のママと交流するいっぽがあり、今でも交流が続いているので、参加して良かった。 ・公園がもう少しほしい。 ・もう少し公園の整備をしてほしい。壊れた遊具が何ヶ月もそのままになっている。
3. 次世代を担う子どもへの支援体制の充実(11)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと参加できるイベントが多いのがうれしい。 ・「チルドレンファースト」と市長は良く言うが、中間層の私たち家庭は恩恵がないことも多くさびしいこともある。少しずつ整ってきているとは思いますが真新しいことばかりに目を向けず古賀市を選んで住み支えている20歳～40歳代の子育て世代(税金をきちんと払っている中間層)を大切に還元できる誠意ある市、市長でいてほしい。 ・自宅保育だと毎日何するか悩んでしまうので、すぐイベントが確認できるサイトがあると嬉しい。また、表題だけでは内容が分からないので、写真等も見られるイベントだと行きやすい。 ・土曜ミニつどいの開催頻度を増やしてほしい。土、日につれていく所に困る。 ・NPOの活動も盛んで楽しい。大体の場所がベビーカーでも行けるので良い。LINEで予約などできるので便利。

4. 安心して出産を迎えるための支援 (7)	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーチケットはとてもよかった。産後1年は定期的にほしかった。(車なし、頼れる人もいないため)産後ホテルの施設をふやしてほしい。産後ホテルくらい金額負担してほしい。使える期限を長くしてほしい。使いたいと相談した時にあまり使っている人いないというような態度をしないでほしかった。 ・産後にこまめに訪問して頂いてメンタル的に助かった。ただ、産後1～2か月だと気持ちに余裕がなく、支援や事業についてアナウンスがあったのかもしれないが、あまり記憶に残っておらず、利用の仕方が分からない状態になっているので、再度の案内や情報がくわしく載っているようなものを準備して頂けるとありがたい。 ・出産前から出産後も支援があり、充実していると思う。 ・支援面でいうと、妊娠した時にタクシーチケットを頂いたが、一枚も使うことがなく期限がなくなった。それよりもどこでも使える一回頂いたギフトカードや QUO カードみたいな形でもらえた方が嬉しかった。 ・コロナ禍真っ只中の妊娠期に、マスクが不足していたが、妊婦に優先的にマスクを配布してもらったことが守ってもらえているようでごく嬉しかった。
5. 子育て情報の提供と支援の充実 (121)	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科が少ない。病児保育が無料なのは助かるが、受け入れ施設も少なく、急な体調不良の時はほぼ利用できない。 ・もう少し情報がほしい(出産時が他市だった為)。 ・0歳児健診、午前だと助かる。14時ごろは本人が眠たい。時間も2時間かかることもあり。ほぼ待ち時間。月に2回に分けるなど、改善お願いしたい。グズグズで保健師さんの話を聞くところではなさそうな子も見かけたので。 ・赤ちゃん訪問など相談できる人がいて助かる。 ・広報誌を読んでいるが実際に利用したことはない。活動内容をインスタ等で知れると、気軽に利用しやすくなると思う。
6. 生活支援・経済的支援(94)	<ul style="list-style-type: none"> ・18歳まで医療費無料にしてくれてありがとう。 ・福岡市みたく、おむつ定期便をしてほしい。福津市みたいに子育て世帯にお米の券など配ってほしい。古賀市は子育て世帯に優しいイメージはない。せっかく待機児童なし、高校生まで医療費なしなのに、もったいない。もう少し小さい子どもがいる世帯にも支援がほしい。 ・時々子どもに図書カードやギフトカード等で支援してもらえた時は、子育て世帯に優しいなと感じている。 ・ひとり親に対する支援を増やしてほしい。 ・給食費の無償化。
7. 育児と仕事の両立支援(11)	<ul style="list-style-type: none"> ・共働きであっても未だ母親の負担が多く、家事、育児の疲れで潰れてしまいそうになることが何度もある。両親も遠方であり頼れない。そんな状況であっても、子どもがやりたい習い事をさせてあげ、親が息抜きできるような環境作りや支援を増やしてほしい。 ・ひとり親だが、沢山働いている。好きでやっていることだが、手当のない給与のため、そのバランスにいつも悩む。お金があるから大丈夫と手当がないのかもしれないが、子どもとの時間、休みはない。何かよい方法があればと考えている。 ・男性も育休をとりやすい環境になってほしい。 ・子育ての支援は全国的にもどんどん見直され、充実してきているが、働き方の改革はなかなか進んでいないと感じる。共働きの家庭は日々時間に追われ、常に余裕のない状態。子育てにもう少し力を入れられる様な働き方を選択できるようになるととてもありがたい。 ・父親の勉強(子どものこと)の場を作してほしい。強制力のあるもので、父親アンケート等もするべき。

8. 安心して外出できる環境の整備 (29)	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の街灯を増やしてほしい。子どもの通学路が暗い。 ・道路が狭いと感じる。自宅周囲の道路が狭く、通学の際に車との距離が近くて危ないと感じる。 ・信号のない細道、人気がない所がいくつか多いので、防犯対策をもう少し増やしてほしいと思う。 ・歩道の整備が全くされておらずベビーカーを動かすのに苦労している。雑草や、平たんな歩道の確保を優先させてほしい。 ・信号の設置場所の見直し。
9. 保育サービスの充実(89)	<ul style="list-style-type: none"> ・育休中に保育園を退園しなくても良い環境を作してほしい。 ・保育所第3子無償化のきょうだいカウントについて、第1子の年齢に関わらず無償化にしてほしい。年子又は多胎優遇なのか、根拠が本当に分からない。不公平感がある。 ・保育料が3歳児未満も無料になればよいなと思っている。 ・待機児童が少ない所。 ・保育園を増やしてほしい。
10. 教育・保育施設の質の向上(14)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の小学校学区について気になる。2クラス、1クラスしかない学校があるときいた。学区割を見直して統合などはないのか。通学が大変になるのでスクールバスなどがあると助かる。少ないクラスで何人くらいいるのがベストなのか自分が分かっていないが、少なすぎるのはどうなのか。メリット、デメリットが知りたい。 ・もし、いじめなど子どもが困ることがあったら、対応してほしい。 ・保育施設、幼稚園、学校を清潔にしてほしい。 ・不登校の子への対応が良くないと思う。教育のレベルも下がっていると思う。人によって理解度が違うので、到達、理解できている所を明確にして、足りない所を補う教育はどうかと思っている。 ・小学校と中学校はまだなので分からないが、教育の場（保育園、幼稚園、小学校、中学校）での負担が少しでも減るとよいなと思う。
11. その他(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・このようなアンケートをとってもらえること自体が、子育てをしている者にとって、心強く、嬉しく思う。未来ある子ども達が安心して健やかに成長できるまちになることを願っている。 ・たくさんの支援やサポートがあるので、子どもが大きくなる前に参加してみようこのアンケートに答えながら思った。 ・トンビをどうにかしてほしい。 ・自然がいっぱい。 ・他の地域にすんでないからわからない。

2 小学生（2・4・5年生）の保護者

1. 古賀市に住んでよかったと思えるところ

※（ ）は意見数

項目	主な意見
1. 子どもの健やかな心身の育成支援 (37)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童センターが近く、施設の方が常時おり遊べる施設があるのは本当に有難い。 ・町の人が温かく、沢山の方々が子どもを見守ってくれている。 ・大都会でもなく田舎でもなく住みやすい。 ・高齢者が多く生活の知恵を教えていただけること。 ・同じような年齢の子たちが自宅周辺に居て仲良く遊べている。
2. 豊かな人間性を育むための支援 (104)	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンパークがあり、ちょうど良い自然の中で生活できているから。 ・海も山もあり自然に恵まれているので身近に四季を楽しめるのが良い。 ・もっと子どもたちが遊べるように公園や公共施設の環境を見直してほしい。 ・緑が多い。 ・人が温かく地域のみなさんも子どもを受け入れていて過ごしやすい。新鮮な野菜や果物を安く買うことができるので買い物も便利だし、子どもたちに旬な食材を食べさせることができるので助かっている。
3. 次世代を担う子どもへの支援体制の充実(11)	<ul style="list-style-type: none"> ・まちがコンパクトで行政との距離が近いと感じている。子ども連れで参加しやすい無料、または低料金のイベントが多く、楽しい。 ・育成会の会費がかからない。図書館の本の種類が増えると嬉しい。借りたい本が福津市にしかなかったりすることが多い。 ・近隣都市のように開発過多にならず、自然や歴史を守りながら発展しているところ。食品団地などの産業が盛んなところも、税収や街の活気の面で心強い。 ・古賀放生会のような人が集まるイベント、施設などもっと増えれば活気が出るかと思う。 ・子育てのイベントも多い。
4. 子育て力向上のための支援(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てをする上で相談できる人間関係が築けたのはよかった(近所の人だったり、友人だったり)。
5. 子育て情報の提供と支援の充実 (14)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てがしやすい。子ども達に対しての支援がたくさんあるように思う。 ・子ども医療がとても充実していて ありがたい。 ・数年前までは子育ての面で古賀市に住んで後悔したことが多々あったが、現在はとてもよく対応してくださっているように感じている。発達障がいの子へのサービスも充実してきてとても助かっている。ただでさえ子どもの特性の悩み、友達関係への対応、将来への不安などで親にとっては負担が多いため、さらにサービスを拡充してほしい。 ・出産時に市外から転入してきたが、とても子育てしやすい市だと思う。広報紙が自宅に届くので、情報を得ることができ、イベントやサービスもたくさん利用してきた。また、企業と協力して古賀市を盛り上げているところも良いと思う。市のやっていることが、身近に感じられる事業がたくさんあって良いと思う。 ・市役所などが近く、書類発行等もあまり待たずに発行してくれるので助かる。以前は福岡市に住んでいて、とても時間がかかり大変だったので。

6. 生活支援・経済的支援(76)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費を無料にしてくれたのは、感謝している。 ・子どもに図書カードのプレゼントがあるのは良かったと思う。 ・医療費はとても助かっている。シングルマザーだが、住宅手当とか、少しでもあると生活費が助かるかなと。市営住宅は当たらない。 ・結婚した時にお米を頂いた。 ・田辺市長は図書券を子ども達に配ってくださったり、医療費負担をなくしてくださったりと、子育てしやすい古賀市を日々実感している。ジェンダー専門家の同僚も、田辺市長は新しくいい事はとても前向きに取り入れてくれるフットワークの軽い市長さんだと言っていた。（せっかく色々素晴らしい政策をされているのだから移住者を取り組む税収アップのためのアピール不足がやや残念。HPでの広報はもちろん、例えば、不動産会社に古賀の魅力などパンフを作って配布できないか？）を申して幾つかお願いさせてほしい。ご検討いただけると嬉しい。
7. 育児と仕事の両立支援(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事が多いところ。 ・福岡市通勤圏内であるところ。
8. 安心して外出できる環境の整備(110)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通がほどよく整っている。高速のインターがある。 ・交通の便が良い。(JR、高速インター)不審者情報が意外と多くドキドキしている。自転車に乗る小学生、ヘルメットを着用していない子が圧倒的に多いように思う。ヒヤヒヤする。 ・道路設備等もしっかり安全対策をとってほしい。歩道橋を作るなど。3号線沿いの横断が危ない。 ・環境も良く、すごく生活しやすい。ありがとう。 ・3歳からずっと古賀に住んでいて家族もみんな古賀なので、何かと便利。スーパーも、ドラッグストア、病院もあってすみやすい。
9. 保育サービスの充実(6)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園に入りやすかった。 ・隣の市町村に比べると比較的待機児童も少なく、学童も入りやすいので助かっている。 ・保育園、待機児童がいらない、それを提供できる財源があるということ。 ・基本的に保育園に入れる事。
10. 教育・保育施設の質の向上(43)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校のクラス数が周辺市町村に比べて多すぎず、先生たちとの距離も近いように感じる。 ・小学校の先生方、サンコスモの発達支援の先生、幼稚園の先生方、みなさんがとてもよくしてくれて助かった。 ・特別支援教育が福岡市より充実している。 ・他市に比べると児童数も少ないため、クラスの友達との仲も深まると思う。 ・先生たちが若く子どもたちが親しみを守って接することができる環境はいいと思う反面、中学校は若すぎて勉強面が不安。
11. その他(8)	<ul style="list-style-type: none"> ・下の子のアンケートにも答えた。こういうアンケートがあることがいいなあと思う。 ・ごみ収集の方で、ゴミのネットを畳んでくれている方が居る。とっても感動する。(舞の里1丁目)いつかお礼を言いたいが、なかなか出会えず。若くて、とっても嫌な態度をされる方も居るが、ゴミを収集してくれているので我慢はできる。 ・子育て世帯には古賀市に住んでよかったと思えることが1つもない。 ・色々高いし住みにくい。 ・正直魅力的な部分がなにもない。不具合もそれほど多くは感じてはいないが、突出して良い部分もない。

2. 子育ての環境や支援について

※（ ）は意見数

項目	主な意見
1. 子どもの健やかな心身の育成支援 (33)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館がとてもよい。子どもも楽しく通っている。 ・図書館の児童書が少ないので、増やしてほしい。 ・もっと子ども達が安全に遊べる広場を作してほしい。 ・登校の見守りが助かっている。 ・乳幼児の頃は遊びにいく公的な場所が沢山あったが、小学生になると思いっきり遊べる場所が少ない。外で遊べないので家でテレビやゲームをしてしまう。もっと学校でも子ども達の意見を聞き取り入れてほしい。
2. 豊かな人間性を育むための支援 (26)	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の浜公園から、ブランコが撤去されて、そのまま。新しいブランコは設置されないのだろうか。遊具をもっと子どもが喜ぶようなものにしてほしい。 ・自然豊かで育てやすい。 ・もっと広い公園を作してほしい。 ・グリーンパークや市民グラウンド、テニスコートやフットサルコートなどを活用しもっと子どもが楽しんで運動するイベントを開催してほしい。公民館はあるが鍵が閉まっているのでいつでも出入り出来ない。年代を問わず子どもも自然とコミュニケーション能力が身に付くと思うので、新宮や福津とは違う古賀市の特性を活かした住みたい街になればいいと感じる。校区外だが千鳥児童センターのような施設が近所にほしい。 ・子どもが自転車やキックボードを乗る練習をする場所がない。自転車の練習をするのに道路は危険が多く不向きで、公園も乗り入れ禁止の場所が多い。グリーンパークは乗り入れ禁止、小さな公園はボール遊びすら禁止。東区には交通ルールが学べる場所があるが、距離があり遠いので自転車公園のような場所が古賀にもあればいいと思った。
3. 次世代を担う子どもへの支援体制の充実(11)	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で参加できるイベントをもっと増やしてほしい。食費が高いので食のイベントが嬉しい。 ・子どもだけが参加できるイベントも多い。 ・リーパスプラザこがや図書館など子どもにとって便利な環境が近くにありいいと思う。子どものイベントや教室なども多く取り組んでいると思い、嬉しく思っている。 ・チルドレンファーストをかかげ、PRして頑張っているところは良いと思うが、生活していてその実感がなく、生活が楽になったようには感じていない。ただ、少しずつ、学校と地域が協力して子どもたちのために何かしようとしていると思う。もう少し、習い事の時間を減らして、親がゆっくり子どもたちと向き合える時間があれば、良いと思う。 ・放課後デイサービスを利用しているが他県に高齢者と一体型になったらデイサービスがあるのを知り、近くにあったら是非利用したいと思った。

4. 子育て力向上のための支援(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・サンコスモの発達ルームからの縁で、NP というママさんたちとの縁をつないでもらった。今もつながっている。 ・母親が繋がれる機会がもっとほしい。PTCA など、参加したくても方法がすぐにわからないことが多い。 ・当たり前かもしれないが、支援を知ることや受けるためには、自分から行動しなければならないということに、かなりのハードルを感じる。とくに3才未満を育てている真っ只中のころは、目の前のこと、はじめてのことでいっぱいいっぱい、調べるという行動すらしんどいと思う。ママ友も居ない私みたいな方もいるのかと思うと、なんとか助けてあげてほしいし、支援があることを知ってほしいなと感じている。いい周知の仕方があればいいなと思う。
5. 安心して出産を迎えるための支援(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・産後ケアを充実してほしい。
6. 子育て情報の提供と支援の充実(57)	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいのある子ども2人を育てている。子どもへの支援はサービスが受けられる施設も増え徐々に充実してきていると感じる。しかしその育児をしている親への支援はなかなか進んでいないように感じる。親は自分の子どもなので大変でもやって当たり前だと自分で全て背負ってしまいがち。発達障がいの子どもの子育ての大変さは実際に子どもに関わって日々一緒に過ごしていないとなかなか他者(親族も含め)に理解されにくく、我々の親世代(60代以降)の皆さんには障がい自体の理解を得ることが難しく感じる。同じ診断名でも人それぞれ困りごとの程度も内容も全く違う。何か明確なアドバイスがほしい訳ではなく、自分の気持ちやしんどさを共感してただ受け止めてもらえてほっと一瞬力が抜けるような場所があればいいなと思う。 ・福津の方も子どもが増えて、古賀市の小児科が少ない。冬場等感染など流行っている時に、小児科の受付がすぐ締切になり、診てもらいたときに受診できないことが多々ある。他の保護者も言っている。なので、福津や新宮の方面まで行かないと診てもらえないこともあるので、小児科をどうにかしてほしい。 ・病児保育等、もっと手厚くしてほしい。 ・年寄り母子ばかり支援しないで兄弟が多いところも支援してほしい。子どもの数だけ倍かかる事をわかってほしい。 ・多胎児支援に力をいれてほしい。我が家は双子なので、育児を手助けしてくれる方がよかった。
7. 生活支援・経済的支援(103)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの医療費の無償化になったのは助かっている。 ・図書カードはありがたい。 ・子どもはほしいが金銭的に増やさない選択をする人は多いと思う。色んな支援に収入でもらえないなど、制限があるが、子ども1人でも3人以上でも世帯主の年収で決まるのはつらい。同じ1000万でも、子どもが1人なのと、5人いるのと、3人いるのとでは、生活は雲泥の差だと思う。古賀市ではそういう収入による差というか、子どもの人数に合わせた支援を考えてほしい。 ・高校生以降も低所得者世帯への援助をお願いしたい。 ・児童扶養手当が足りない。生活が苦しい。どうしてもながく仕事できないので、給料もあがらない。身体がきつくと休めない。習い事が全て高すぎるから、習い事もさせてあげられない。

8. 育児と仕事の両立支援(15)	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育所について、夏休みなど長期休暇期間だけの利用ができるようにしてほしい。学童保育所の1人帰りの時間が17時までとなっているが、夏季は夕方はまだ明るいので、延長してもらえると助かる。 ・子育て世代の税金や支援金の見直しを行い夫婦正社員で共働きでなくても過ごせる環境にしてほしい。 ・サービス業や土日祝関係ない仕事をしている家庭のためのお盆や年末年始等の預け先があると助かる。 ・子どもとの時間を作れる制度がほしい。意味もなく会社をやすめない。 ・市外の送迎付きの民間学童保育に行っている。習い事も塾も兼ねている。仕事をしているため、習い事させたいが送迎がネック。子どもが学びの場が減る。医療費がかからないのは嬉しい。
9. 安心して外出できる環境の整備(26)	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀駅前商店街かシャッター通りになっており暗い。道幅がせまく、車の行き来が多いので、子どもと歩くのが怖い。駅前に、図書館や子どもが利用しやすい公共の施設など明るいものがあればいいなと思う。いこいの広場には、タバコを吸う方やお酒を飲んでいる方がたまにいるので、不安な部分がある。 ・自転車用の横断歩道も作ってほしい。 ・山の方で街灯が少ない地域なので、子どもが増えている分、街灯を増やしてほしい。 ・交通手段がない。生活道路を車で勢いよく通るので、事故がおきないか心配。(下校時)子どもに何かあっても仕事上携帯を職場に持ち込めない、運転手なので走行中は電話にでられないのですぐに子どもと連絡もつかないから不安だ。こども110番があるがやはり何かあっても行きづらいと言っている。 ・安全に登下校出来る歩道を増やしてほしい。
10. 定期的な教育・保育施設の提供体制の確保(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・学童でのトラブルをよく耳にする。問題のある子や家庭は児相に繋ぐなど、ルールを守れない方を無理して預かる必要はないのではないだろうか。現場も疲弊し、他の子にも悪影響でしかない。親も子どもも安心して過ごせる場所という役割を重視してほしい。性教育について、親子で受講できる講座があるとありがたい。子どもにどう伝えたら良いのか、特に異性の子への伝え方が悩む。 ・学童に入りやすい。
11. 保育サービスの充実(9)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園にスムーズにはいれたこと。 ・保育園の待機児童が多すぎる。 ・保育園の制度について上の子が保育園で下の子を出産する際、上の子が3歳以上でないと、産休の際に保育園を出ないといけない制度に不満がある。一度保育園を出てしまうと次に同じ保育園に入れるかわからない。保育園を出たり入ったりで上の子の負担。下の子の育児で母親に負荷がかかっている中での負担。上記のことを考えると子どもは数人ほしいと思っていても3歳間隔をあけた方がいいと判断してしまう。そうこうしているうちに子どもが産めなくなる。古賀市は子どもを増やしたくないのかと思う ・保育料無償化などがありがたかった。 ・保育園の休日保育があったこと。

12. 教育・保育施設の質の向上(79)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校が少人数制で良い。金曜日の放課後に友達と過ごせる、星の子文庫に毎週楽しみに行っている。ぜひ続けてほしい取り組み。 ・ ギフテッドと言われる子の対応を改善してほしい。教員が不足しているからと、手薄になっているように感じる。支援クラスの方にも力をいれてほしい。市で後援会などしてくれないか。古賀市ではなかなかないので、我が家は市外の後援会に出掛けている。ASD、ADHD、LD、知的など個性いろいろあるが、いろいろな個性のお子さんも親御さんもたくさん、泣いて悩んでいる。もっと寄り添ってほしい。 ・ 特に小学校の先生方、地域の方が、子どもにできることは何でもしてやりたい、という気持ち、姿勢が感じられるので、子育てしやすいと実感している。 ・ また小学校のクラスが他市よりも多すぎず先生たちがしっかり見てくれていると感じられる。学校のトイレを全て洋式にしてほしい。 ・ 学校の人数が多すぎず、少なすぎずでちょうどいい。
13. その他(7)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今はもう小学生になったが、このアンケートのように、要望を聞いてもらえる機会がある事がとてもいい事だと思う。 ・ 育成会に毎年送られるアンケートも、集計結果のお知らせもなく、どのように活かされているかも分からない。市は支援する気があるのかと疑問に感じている。 ・ 他の市区町村より少し遅れていると思う。 ・ 古賀市は子育て支援より、高齢者へのサポートの方が手厚いイメージ。地域の自治会も子育てしながら参加するのは負担になっている。役のできない高齢者が多いので、役が回ってくる頻度が多く会議参加なども夜が多く子どもの預け先に困る。自治会で担っている部分を市で負担してもらえれば、自治会参加の負担も減るのでは無いかと感じている。 ・ 以前住んでいたところの方の支援が手厚かったので、今のところは良いとも悪いとも言えない。

3 小学6年生

学校や家での生活で困っていることがあれば、自由に書いてください。

※（ ）は意見数

項目	主な意見
1. 子どもの健やかな心身の育成支援 (27)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で友達のこと困っているけどだれにもいえない。 ・友達やクラスメイトのこと自分の意見が言いにくく生きづらい。 ・家族と価値観が合わなくて、ぼくは分かろうとしているけど家族は多くのことを否定気味で、好きなこと、苦手なこと、嫌いなこと、得意なこと、とか言いたくないし知られたくない。学校では、ともだちの声以外は不快に感じてしまったりするのがいや。言葉にして説明するのがすきじゃないので説明しなさいとか言われるの結構不快。 ・学校に行きたくない時お母さんにいってみると…「頑張って」「だめ」などと言われて「頑張ってるんだって!」「だるいから休みたいとかじゃない」「気持ちわかってよ…」など思う。 ・新しい環境が苦手。
2. 豊かな人間性を育むための支援 (9)	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強が難しくついていけないかもしれない。 ・勉強が本当に理解できているのか心配。 ・宿題をやりたくない。 ・宿題をしたいのに時間が取れない。 ・英語の勉強ができない。塾で英検があるが難しい。
3. 次世代を担う子どもへの支援体制の充実(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・将来自分のなりたい職業に就けるか心配。
4. 生活支援・経済的支援(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ほしいものを買ってくれない。
5. 教育・保育施設の質の向上(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校から遠い。 ・学校の終わりが遅くなったから宿題をする時間がなくなった(塾の時間と少しかぶっている) こと。 ・給食でパンが少ない。
6. その他(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨て。

4 中学3年生

学校や家での生活で困っていることがあれば、自由に書いてください。

※（ ）は意見数

項目	主な意見
1. 子どもの健やかな心身の育成支援 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ない。楽しい時間は、みんなと遊ぶことと、部活をすることだ。 ・ 自分の部屋が汚い。 ・ 親がすぐ怒る（叩く等）
2. 豊かな人間性を育むための支援 (11)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勉強がむずかしい。授業中うるさい。静かな環境で授業がしたい。 ・ 勉強が苦手なので、受験やテストが心配。 ・ 学力で困ってる。 ・ 自分の偏差値が志望校の偏差値に達していないこと。 ・ 習い事が終わってから一通りのこと（風呂やご飯、洗濯）が終わってから自学をする時間をとろうとすると寝る時間が 12 時をすぎてしまうこと。
3. 次世代を担う子どもへの 支援体制の充実(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親の志望校とは別に行きたい高校があると言えない。
4. 安心して外出できる環境の整備 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通学中の曲がり角などでミラーが少ないため危ない。増やしてほしい。 ・ 学校の前の坂がきつい。
5. 教育・保育施設の質の向上(9)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生たちの対応がひどすぎるときがある。 ・ 学校の授業のレベルが低い。もっと考えさせるような問題を扱うべき。 ・ 給食が美味しくない。エアコンつけるのが遅い。教室が狭い。机の形を変えてほしい。夏休みが短い。教科書がわかりにくい。体育祭がいい。文化祭したい。 ・ エアコンがつくのが遅い。給食のご飯のおとものレパートリーが少ない。学校行事が少なくて楽しみが少ない。外のトイレが2箇所ほしい。学校に流れる音楽をもっといい奴にしてほしい。 ・ 学校のことで部活時間が短いのももう少し伸ばしてもいいんじゃないかなと思う。

5 小学6年生・中学3年生の保護者

日々の生活や子育ての中で、困っていることがあればご自由にお書きください。

※（ ）は意見数

項目	主な意見
1. 子どもの健やかな心身の育成支援 (45)	<ul style="list-style-type: none"> ・近所に公園など子どもの遊べる場所が少ない。 ・子どもが安心して遊べる広場や遊具が少なすぎると思う。 ・中学の部活動の時間制限、また下校時間について短縮された具体的な経緯をご教示願えたら。子ども達からも、練習時間の短縮に関しては不満が出ている。先生方に頼りすぎることがないように保護者との連携を取っていける様な仕組みづくりも今後必要なのでは、と考えている。 ・部活の地域移行と先生の働き方改革の狭間で、部活を頑張ろうと思っている子どもたちがかわいそう。バランスよく進めてほしい。部活の時間だけが少なくなってしまうている。他地域との部活時間の格差で、練習時間の不足になっていると思う。 ・スマホを使う時間が長い。注意しても聞かない。スマホを使うために宿題や勉強を適当にしているような様子がある。
2. 豊かな人間性を育むための支援 (7)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生になると、定期テストなどがあるが、学習できるような場があるといいなと思う。図書館は遠いし、児童館のようなところで、テスト勉強なども可能な場所を提供してもらえるといいなと思う。 ・子どもの学校外での活動（習い事やスポーツ等）をする、教えている場所が少ない。特に語学（英会話）を教えている所が、ほぼに近い形で無い。 ・コロナ禍の影響から、横のつながりが減っている。挨拶のできない大人が挨拶しない子を育てている。それで良しとする風潮に辟易する。市からも警鐘を鳴らしてもらいたい。このままでは犯罪者も見抜けない孤独死多発の寂しい近所付き合い無しのつながりのない地域が増えてゆく未来しか見えない。 ・保護者の問題なのか、子ども自身の問題なのか、家庭内では良い子にしている、家庭から出るとメチャクチャなことをしている子への指導。学校に訴えても聞いてくれるが、保護者が全く取り合わない時などの間に立ってくれる人などがいてほしい。 ・子ども新聞なんかあったら、いいな。
3. 次世代を担う子どもへの支援体制の充実(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・この先高齢化を支えていくであろう子どもたちが、希望の職につき、家庭を持ち、明るい将来を見据えて生きていけるようになるべくいい環境で教育を受けさせたいが、大学の費用も高く我慢させてしまうこともある。 ・チルドレンファーストならば、まずは子どもの権利を保障することではないか。子ども自身が「自身の権利」を知らない。乳幼児期からの「子どもの権利条約」についての学びの場（保育園、幼稚園～）、大人も子どもも共に学ぶ社会をつくってほしい。子どもの要望を子どもの声で聴く場を、きちんと設定してほしい。 ・考え方の格差を感じている。子どもの意思を聞くこと、子どもが何をしたいのかさえ知ろうとしない親が多すぎる。まさに子どもが子どもを育てている。スタンドアローン？自立を促すなら中学生からではなくもっと前から。親になったばかりの保護者を対象に子どもの権利条約の認知度があがるような活動を市として、してほしい。

4. 子育て力向上のための支援(6)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの勉強意欲を引き出す方法がわからない。 ・ひとり親なのでスケジュールが重なる事があるが、自分で調整するしかない。 ・子どもの友人の親としつけに関しての価値観が違うようで、子の友人の行動が、自分の中の基準では非常識だと思ってしまい、フラストレーションがたまること。 ・すぐ目に見えてわかる施策だけを目指すのではなく、数年先、数十年先を見据えた施策も考えていただきたく、そのためには、その部分をきちんと理解するべき「親の教育」そのものが必要になってくるのではないかと思う。したがって、日々の子育ての中でそういう視点で話ができる同年代の親がいないので、親への教育が長期ビジョンとして必要ではないかと思う。 ・子育てを、親だけでなく周りの全ての人たちでする気持ちが持てる社会になればいいなと思う。
5. 子育て情報の提供と支援の充実(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の政策が少ないのでチルドレンファーストではないと思う。 ・どのような支援があって自分はそれに該当するか不明。 ・高校進学受験が不安。どこに行きたいのか、どこがいいのか、どこなら行けそうなのか、分からない事ばかりだが、時間だけが迫ってきて焦りがある。お金の問題も関係するので情報がほしい。 ・支援が必要な子どもに対しどこまで支援を求めてどのような事が受けられるのか全くわからない。
6. 生活支援・経済的支援(70)	<ul style="list-style-type: none"> ・塾に行かせるお金がない。働かないと食べていけないので子どもたちを見る余裕がない。 ・子どもが塾に行きたいと言ったのを、金銭面であきらめさせてしまった。受験生なのに申し訳ない。せめて、高校、専門学校に進学させたいが、今の収入で用意できるか不安。日々の生活費も足りていない。 ・病院が少ないような気がする。 ・インフルエンザやコロナの検査をしたい時に1日の大半病院に電話するが、検査できない時がある。病院以外で検査だけできる場所等やオンラインで一括で予約できると良い。 ・もっと子育て世代（大きい子を育てている）に対しての補助を充実させてほしい。
7. 育児と仕事の両立支援(15)	<ul style="list-style-type: none"> ・働く時間を増やせば収入は増えるけど、その分こどもたちと過ごせる時間が減るという悪循環になる。 ・本業の他にアルバイトを3つかけもちして、やっと生活が成り立っている。子どもと関わる時間をもっと作りたいし、子どもにいろんな経験をさせたいが、時間とお金がない。 ・働きながら家事育児をしていると、子どもの宿題を見る時間やゆっくり話せる時間が足りない。習い事の送迎も難しく通わせられない。都会に比べて暗いのと、歩道のない道が多くいつも心配な気持ちがある。 ・共働きで、子どもの習い事の送迎が難しいので、好きな習い事をさせてあげられない。 ・共働きの親も増えていて、昔とは生活スタイルも変わっているのに、変化に追いつかない世の中。

<p>8. 安心して外出できる環境の整備 (26)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校前に抜け道があってかなりスピードを出す車が多いのが怖い。通学路の車の通行に規制がかけられないかな、と思う。それ以外は、自然も多く、とてもおのびのびと子育てができる環境だと感じている。 ・ 通学路の安全がとても心配。ガードレールのない交通量の多い道路脇を通学路にしている場所が気になる。 ・ あすなろ教室を古賀駅周辺に作って頂けると利用しやすいと思う。車が無い世帯には現在の場所は通にくい。 ・ 子育て支援の欄にも書いたが、市の主要施設が駅から離れているのが非常に不便。サンコスモは子どもが赤ちゃんの時は検診などでよく行く場所なのに、車がないと不便な場所になっている。日中に車がないうちではよくタクシーを利用していた。古賀駅前の開発を考えているなら、是非とも古賀駅に主要施設を集約していただきたい。その方が人も集まり、駅の活性化にも繋がる。 ・ 交通の便が悪い。
<p>9. 定期的な教育・保育施設の提供体制の確保(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教員の数が足りていないと思う。支援を必要とする子どもに、十分な支援がないと感じる。教員だけではなく、支援員をもっと充実させるべきだと思う。もっと公的な教育にお金をかけてほしい。 ・ 現在、下の子が学校にずっと行けておらず、毎日家で一緒に過ごしている。本人がやっと適応指導室に興味を示したので希望を感じ、すぐに申し込みしたが申し出て1ヶ月以上になるが、入級の通知がなく、子どもも行く気をなくしてしまい、私も仕事を減らし、一緒に過ごす日々に精神的、経済的にも苦痛を感じている。不登校の1日1日は本人、親にとってもとてもしんどいもので、こんなにも時間がかかるものなのかと疑問を感じている。
<p>10. 教育・保育施設の質の向上(23)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休み、冬休みが短すぎる。近隣の市町村の友達を羨ましがるのがかわいそう。夏休み後半の合宿などに参加できない不都合がある事をわかってほしい。古賀市の先生方もかわいそう。せめて秋休みを増やしてほしい。2学期制が意味がわからない。 ・ 子どもの夏休みが短くなって、子どもとの思い出作りがしにくくなった。教員の働き方改革や共働き世帯を考慮してのことだと思うが、年々、夏休みの期間が短くなったり、ゴールデンウィークに授業参観があったり、今しかできない子どもとの旅行がしづらくなっている。せめて、年に数日でもいいので、家族休暇を自由に取れるようにしてほしい。海外ではよくある取組だし、国内でも少しずつ増えてきているので、古賀市も是非設定してほしい。 ・ 学校生活における教育内容が薄っぺらく感じる。とりわけ社会科見学等の体験行事がほぼないに等しいのを残念に思う。近隣の市町村の小学校との違いを知って、子どもも残念に思っている。 ・ 地域によって学力の差がある。古賀は遅れているとよく言われ悔しい思いをした。子ども達全体の成績が上がるような取り組みを考えてほしい。 ・ 学校の設備が古い。トイレ、体育館の空調など早く整備してほしい。

11. その他(12)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが大きくなり、子育てに困っていることはなくなってきたが…小学生の頃、地域での子ども会の活動、小学校の PTCA 活動…すべてが強制でなく自由参加に変わったことで、横の繋がりがなくなったなと感じた。親どうしが関わる機会が減り、楽でもあるがなんだか寂しく感じた。 ・市役所職員はなぜこんなに連携がとれてないのか。同じ部署でそれぞれ話がわかってないので二度手間三度手間になる。雰囲気も悪いので声が掛け辛い。 ・古賀市は子育てに関しては育てやすい良い街だとは思うが、これと言って目玉な建物がないように思う。市民が自由に使えるキレイで大きな体育館などあれば嬉しい。 ・田辺市長の政策に非常に感謝している。 ・みんな平等にしてほしい。
-------------	---

6 若者

若者に関する政策全般について、古賀市への思いや望むことなど

※（ ）は意見数

項目	主な意見
1. 子どもの健やかな心身の育成支援 (10)	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が少なくなっている感じがするので大型施設（イオンモールみたいな場所）があつたりすればなあと思う。 ・市民体育館を壊さないでほしい。学生がみんなで遊べる娯楽施設が、ほしい。 ・ゲームセンターやパチンコなどの施設より、（町の見た目も治安も悪くなるので）子ども達や若者たちが楽しく安全に安心して過ごせる施設を増やしてほしい。幼児の雨の日の遊べる施設も増やしてほしい。 ・両親が共働きの子どもたちが気軽に立ち寄れる安全な場所が増えるといいと思う。 ・経済と健康は対になっている。ここの部分を知ってもらふ機会を増やしてもらえたら若者も将来に少しは光を見い出すんじゃないかなと思う。
2. 豊かな人間性を育むための支援 (7)	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS との付き合い方について教えてもらえる機会があればよいと思う。若者がよく利用している公園のゴミがとて多いことが気になっている。このような小さなことから伝えてほしい。 ・子どもが遊べる場所を増やしてほしい（室内遊び場など）。公園をもっと整備してほしい。子どもと親があつまれる場所がほしい。（引っ越しをしてきたがどこに行っても子どもがいらない） ・古賀駅周辺だけでなく、山の方も商業施設を作ってもらえたらありがたい。山の方に住んでいるので自然もありつつ便利さも兼ね備えられたらとっても嬉しい。子どものための整備された公園ももっとあつたらいいと思う。第二子の保育料無料も早めに取り入れてもらいたい。福岡市ではすでに実施されているので。 ・新宮町のように自慢できる所をつくってほしい。 ・自分が大人になったときに”古賀市”という地名、存在がなくなっていないようにしてほしい。なんとか自然をそのまま残してほしい。
3. 次世代を担う子どもへの支援体制の充実(17)	<ul style="list-style-type: none"> ・若者主体のイベントなど行っていくと参加しやすいのかなと思う。 ・大学進学時に上京する予定だが、古賀に戻ってきたい。それくらい私たち若者にとっても住みやすく大好きな場所だし、そうあり続けてほしい。 ・自分の力では、どうにも解決できない課題を抱える未成年の方が、安心して、学業や、自分の夢に向かって、自身の時間を使えるような市になれば、自分たちの市が、よりよいものだと感じられる。わがままを言うなら、若いうちに親となった若者をサポートとする仕組み（子どもを守る）があると、地域全体が、よりおちついた雰囲気になり、うれしく思う。すこしでも、みんなが、安心して、生活できる世の中になればと願っている。 ・子どもの未来の為、習い事等の補助があると色々とチャレンジできるかと思う。 ・子どもをいじめや犯罪などから守る市になればと思う。

4. 安心して出産を迎えるための支援 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・若者に結婚させたいのなら、住民税をもう少し下げた方が高卒の社会人に優しいと思う。現状収入の半分ぐらい税金に取られているから、若者から金を取りすぎ。結婚させたいのなら、補助金などもっと出して子どもをつくらせて大丈夫なのか？と不安にさせないように経済的支援をした方がいいと思う。正直今の賃金だと共働きじゃないと子どもをつくるのは難しいと思う。
5. 子育て情報の提供と支援の充実 (12)	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいや知的障がいなど、子どもから大人までが気軽に相談できる場所、安心できる場所、支援してもらえる場所を作してほしい。SSTなど大人でもうけられるように。 ・SNSが発達している現在、いじめなどが陰しつになっていそう。気軽に相談できたり、親へいいづらい人でも、安心して居られる居場所があればよいと思う。 ・以前、家庭内DVで古賀市の相談窓口相談の電話をしたが親身になってくれなかった。マニュアル通りの受け答えしか貰えずこちらの状況を理解しようとしたり助けようとする意思を感じられず絶望した。親身になってくれる人を窓口にしてほしい。 ・もっと情報を得られる場所を増やしてほしい。ネットだけでなく、紙でも配布など、積極的に情報収集できない人も得られるように。放送が聞こえない場所がある(交通量が多いなどで)。もう少しゆっくり言ってもらえると聞き取りやすいと思う。 ・市の子育て支援課の方にも、2歳、0歳を育てている際、カウンセリング等大変お世話になったので、古賀市に引っ越してこられて本当によかった。ありがとう。
6. 生活支援・経済的支援(18)	<ul style="list-style-type: none"> ・給食費の無償化や市独自の児童手当など子どもに手厚く施してもらえると嬉しい。 ・医療費の無償化(18歳まで)は助かっているが出来れば給食費等の学校の納付金を無償化の方が嬉しかった…。小学生が2人いるので…。 ・経済的に(大学など)進学ができない。進学したくても家庭環境が悪くて断念してしまう子が多いと思う。子どもたちへの補助金などのサポート、老人向けの政策ばかりでなく、若者を守るような政策をしてほしい。古賀は老人が多いイメージがある。 ・古賀市の未来ある10代20代の若い人たちに生活手当などを支給してほしい。 ・児童扶養手当の申請など、ひとり親家庭は仕事で忙しいので、郵送で手続きできるようにしてほしい。でなければ、仕事を早上がりしたりと大変だから。

7. 育児と仕事の両立支援(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が働ける場所を作ってほしい。 ・古賀でいい仕事あるか（大卒の平均ぐらいの）。 ・この時代、結婚をする選択をとる若者が少なくなっているように感じる。昔と違い、女性ひとりでも生きていける社会になったことはとても生きやすさを感じるが、結婚をしたいと思う人と出会ったとき、経済面や地域性に関して、古賀市以外で見比べることがある。住みやすさはもちろん、結婚や子育て支援の充実はこの先古賀市に住み続ける上で重要なポイントになると思う。余談だが不燃物の処理が、少々手間がかかるので家庭で捨てられるようにしてほしい。 ・古賀市の職場に勤めているが、給料が上がらず、副業としてアルバイトを3つ掛け持ちして、やっと家族5人が生活できている。貯蓄は全くできていない。子どもと過ごす時間がほしいが、仕事をしないと生活が成り立たない。働き過ぎて、心も体もどんどん疲弊していつているのを感じるが、休息をとる選択肢がない。子育てへの支援、労働環境（主に賃金）の改善、古賀市へ期待できるなら期待したい。 ・学童しか放課後あずける場所がないので夏休み等の長期休暇に午前中だけでもあずける場所があれば親は働きやすい（長期休暇は学童の定員の幅広げるとかでも助かる）。
8. 安心して外出できる環境の整備(13)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年から娘が小学校に通うようになり近所の公園も1人で遊びに行くようになった。しかし不審者情報も多く不安もある。地域で見守りができるような環境になると嬉しい。 ・見守り隊のおかげもあって、小・中学生は歩道や横断歩道などでのマナーは凄く良いと思う。ひとつ要望がある。小・中学生は明るい時間に帰るので、気にならないが、クラブチームや高校生以上の子は、練習、学校あとに自転車で暗くなってから帰るので、自転車のライトと後ろ側の反射板だけでは、車側からは非常に見えづらいので、街灯を増やしてほしい。（山側に）自然や景観など難しい問題とは思いますが、子ども達の明るい未来の為に、検討お願い。 ・山が多い為、子どもが学校帰り真っ暗な夜道を歩かないように街灯を沢山つけてほしい。 ・駅のバイクの駐車を有料化（1日100円等）して盗難やいたずらの心配がないものを作ってほしい。グリーンパークの木の板でできた歩くところ（鯉やホテルがある場所付近）がガタついているので安全性を高めてほしい。無料で使えるバスケットコートがあれば嬉しい。 ・自転車の小中高生をよく見かけるし自分も通勤時に使用しているが、自転車が通るには危ないところが多い（特に古賀神社前付近）ので整備をしてほしい。
9. 保育サービスの充実(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の制服、体操服、道具が高すぎると思う。たった3年しか使用しないのに、着替えを含めるとあっという間に10万近くなる。これから中学、高校の制服も心配。お下がり制度的なのをもっと充実してくれたらうれしい。 ・保育所に娘2人を預ってもらっている。とてもありがたいので、保育士さんの給料をあげたり、保育士の人数を増やし、保育士さんの負担を軽減してほしいと思う。児童センターの方にも夫が仕事の土日にお世話になっており、いつも温かく話をきいてくれるので助かっている。サービスを続けてほしい。 ・いつも定員オーバーや他の病気の方優先などで利用できず仕事を休み収入に影響するので病児保育を増やしてほしい。または、保育園に病気専用の子だけが入れる教室を設けてほしい。

10. 教育・保育施設の質の向上(6)	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校が多いので、学校の中に、みんなと、なじめない人がいられる（勉強できる空間）があると、よいと思う。リモートなど使って勉強できる体制づくり（先生の確保）。 ・不登校の子に対して学校の対応が良くない。居る場所がない子はどうすればよいのか。 ・今、中学校の部活動が週4で17時までというのが基本になっているので、高校に進学した時に、ついていけなくなるし、気持ち的にあがらなくなると思う。今まで通りに戻した方がよいと思う。 ・タブレットを用いた学習を徹底して排除する。ライスキネティックをまちが大々的に推していく。 ・相手の立場にたって考えたり、思いやりの心を持った人が当たり前のようにいる街は穏やかで温かい場所だと思う。そういう街にするためには、小さいときに受ける教育が大事だと思う。家庭での教育も大事だが、家庭だけでは難しいところを義務教育の中で補えたらとても良いのかなと思う。どうせするなら良い学びにしたいなと思うので、最終的に生徒に辿り着いてほしいであろう考えが決まっている道徳の授業よりも、読書・映画・音楽鑑賞などを通して、その生徒がそのとき感じた全てを肯定して受け止める。もし、その生徒の考えがもっと豊かになりそうだなという考えがあればそれを提案し合うなどしたらその生徒もクラスの間みんなも色々な考え・価値観に触れ合えて良い刺激になるのかなと思う。
11. その他(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・同性婚を認める取り組みをしてほしい。 ・子どもが家を出て高齢になった人達への支援も充実してくれたら良いと思う。山の方は公共交通機関も少なく運転免許を返納した高齢者に優しくないと感じる事が多々ある。その高齢者のお世話をしている若者は自由な人生の選択ができないと思う。

古賀市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
調査結果報告書

発 行 年 月：令和7年3月

発 行：古賀市 子ども家庭センター 子育て支援係
〒811-3192
福岡県古賀市駅東1-1-1

電 話：092-942-1515